愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第154集

朝日遺跡Ⅷ

本文編

2009

財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

例言

1. 本書は愛知県清須市・名古屋市西区・西春日井郡春日町に所在する朝日遺跡の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は，近畿自動車名古屋関線清洲 JCT・名岐道路・県道高速清洲一宮線及び県道高速名古屋朝日線建設に伴う事前調査として，国土交通省中部地方整備局愛知国道工事事務所・中日本高速道路株式会社名古屋工事事務所・名古屋高速道路公社より愛知県教育委員会を通じての委託事業として，財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センターが実施した。
3. 調査期間は平成 16（2004）年 10 月から平成 19（2007）年 8 月まで断続的に実施し，調査の総面積は 5,607 平米である，なお年度単位の調査経緯は本文 1.2 を参照。
4. 発掘調査は平成 16 年度（石黒立人･加藤博紀･川添和暁･早野浩二）平成 17 年度（赤塚次郎･永井宏幸・川添和暁）平成 18・19 年度（赤塚次郎・永井宏幸）を担当し，国際文化財株式会社の支援で実施した。調査・整理等スタッフ構成は本文 1.3 を参照。
5. 発掘調査にあたっては，次の各関係機関のご指導・協力を得た。
   愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室・愛知県埋蔵文化財調査センター・清須市教育委員会・春日町教育委員会・名古屋市教育委員会文化財保護室・名古屋市見晴台考古資料館・国土交通省中部地方整備局愛知国道工事事務所・中日本高速道路株式会社名古屋工事事務所・名古屋高速道路公社
6. 本書の執筆担当および文責は下記のとおりである。
   出土土器については永井宏幸・早野浩二・赤塚次郎が，石器は石黒立人，骨角器類・縄文土器は川添和暁，木製品は樋上　昇，ガラス小玉・赤色顔料は堀木真美子，科学分析は鬼頭　剛が担当し，各データを基に永井・赤塚が検討し編集した。本文編の文責は赤塚が担当し，総集編は目次に記した。
   なお，本文編3.5.2は樋泉岳二（早稲田大学）・中村賢太郎・孔智賢（パレオ･ラボ），総集編5.2は奥野絵美（名古屋大学大学院）・森　勇一（愛知県立津島東高等学校），総集編6.2は藤尾慎一郎・尾嵜大真（国立歴史民俗博物館年代研究グループ）より玉稿を賜った。
   遺物撮影は金子知久（スタジオ遊）にご協力をいただいた。
7. 本書の作成にあたっては，以下の方々にご教示・協力を賜った。
   水野正好・寺澤　薫・石野博信・白石太一郎・和氣清章・中井正幸・中島和哉・清野陽一・岡安光彦・藤波啓容・江崎　武・森　勇一・奥野絵美・高橋信明・森　泰通・伊藤淳史・岩野見司・豆谷和之・深澤芳樹・中村俊夫・藤根　久・金子知久・伊藤厚史・伊藤正人・村木　誠・野澤則幸・山本直人・柴垣哲彦・三好有香・鈴木弘子・七田忠昭・森岡秀人・伊藤伸幸・鈴木　元・原田　幹・藤井　整・黒澤　浩・福海貴子・石川日出志・設楽博己・佐藤由紀男・馬場伸一郎・伊庭　功・藤尾慎一郎・尾嵜大真（順不同敬称略）
8. 座標は旧調査区との関係上，平面直角座標第Ⅶ系（日本測地系）に準拠する。
9. 出土遺物は愛知県埋蔵文化財調査センターにて保管。
10. 本書の編集は赤塚次郎が担当し，Web データベースは堀木真美子が担当した。

目次

1.　経過 ―――― 1
1.1　調査の経過
1.2　発掘作業の経過
1.3　整理等作業の経過
2.　遺跡の位置と環境 ―――― 4
2.1　地理的環境
2.2　歴史的環境
3.　調査の方法と成果 ―――― 6
3.1　調査の方法　6
3.2　層序　7
3.3　調査区と主要遺構　8
3.4　主要遺構の概要 …… 46
3.4.1　A 区の遺構　46
3.4.2　B 区の遺構　144
3.4.3　C 区の遺構　190
3.4.4　D 区の遺構　229
3.5　特定遺物の概要 …… 246
3.5.1　玉類の分布　246
3.5.2　動物遺体　248

遺物実測図 ―――― 263
抄録 ―――― 315
写真図版　（写真図版編）
Web データベースの概要

1.　経過

1.1　調査の経過

本遺跡は愛知県清須市・西春日井郡春日町・名古屋市西区に広がる，県下最大規模を誇る弥生時代の集落である。調査は近畿自動車名古屋関線清洲 JCT・名岐道路・県道高速清洲一宮線及び県道高速名古屋朝日線建設に伴う事前調査として，国土交通省中部地方整備局愛知国道工事事務所・中日本高速道路株式会社名古屋工事事務所・名古屋高速道路公社より愛知県教育委員会を通じての委託事業として実施した。愛知県教育委員会の指導の基に，関係諸機関による発掘調査調整会議を定期的に実施し，調査の内容や進捗状況，また工事計画との調整等を行い，安全対策を最優先して実施した。なお調査現場での発掘支援体制として国際文化財株式会社の協力を得た。

1.2　発掘作業の経過

調査区は全て清洲東インターチェンジ内において，平成 16 年度は 04Aa・Ab・Ac・04Ba・Bb・Bc 区の 6 調査区を，平成 17 年度は 05Aa・Ab・Ac・05Ca・Cb・Cc・Cd・Ce・Cf・Cg・05Da・Db・Dc・Dd・De 区の 15 調査区，平成 18 年度は 06A・06Ba・Bb・Bc・Bd・06C 区の 6 調査区，平成 19 年度は 07Ba・Bb・Bc・07D 区の 4 調査区を設定して，発掘調査を実施した。調査面積と担当者及び期間については下記の表に基づく。（総集編 1.1，1.2 参照）

年度	担当者	調査区	面積	調査期間
平成 16 年度	石黒立人・加藤博紀・川添和暁・早野浩二	04Aa.b.c・04Ba.b.c	1497㎡	2004-10 ～ 2005-03
平成 17 年度	赤塚次郎・永井宏幸・川添和暁	05Aa.b.c・05Ca.b.c.d.e.f.g・05Da.b.c.d.e	2995㎡	2005-10 ～ 2006-03
平成 18 年度	赤塚次郎・永井宏幸	06A・06Ba.b.c.d・06C	767㎡	2007-01 ～ 2007-03
平成 19 年度	赤塚次郎・永井宏幸	07Ba.b.c・07D	348㎡	2007-04 ～ 2007-08

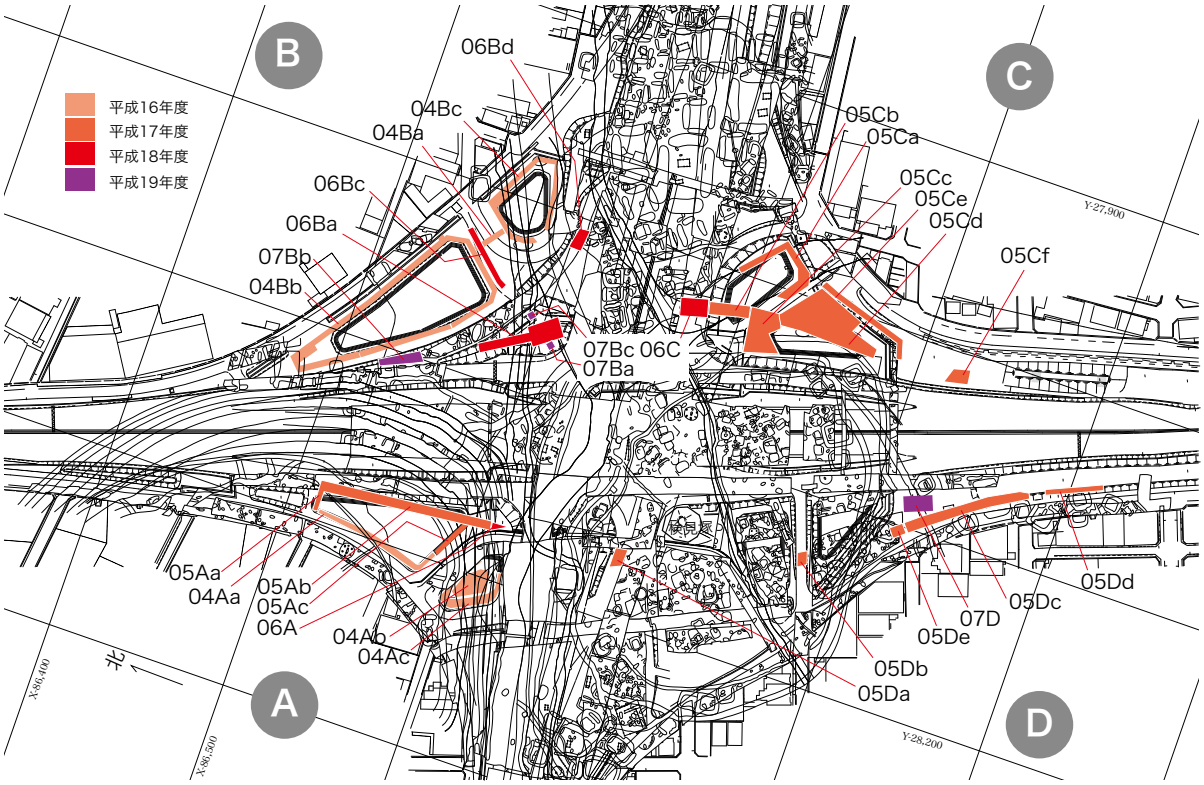


図 1.2　朝日遺跡調査区配置図 1/4000

1.3　整理等作業の過程

報告書編集のための整理作業は，平成 18 年度から 20 年度の 3 年間の工程で実施した。まず，調査現場との同時進行的な調査研究環境を整えるために，インターネットを利用した調査成果のアーカイヴ化を基本にしたシステムを，愛知県埋蔵文化財センター情報センターを中心に開発することを企画した。平成 18 年度と 19 年度は，調査現場と併行して遺物整理業務を実施することになり，インターネット環境の整備を急ぐとともに，具体的なシステム内容の整備を進めることにした。

・調査現場でのデータアーカイヴ化

発掘調査現場から整理作業，そして報告書編集作業にいたるワークフローに一貫性を持たせるために，調査成果のデジタルデータ化を目標に掲げることとし，まず調査現場においては電子平板を中心に測図作業とその編集を併行して行い，加えて各調査区においては，主要遺構を評価するための必要最低限の遺物データーに座標値を与え，遺構と遺物の属性表を web 上で入力し蓄積する体制を整えるた。このようにインターネットをプラットフォーム化することにより，調査成果をリアルタイムにアーカイヴ化するという効果的な仕組みを運用することが可能となった。

また，コンテンツサーバー（Wiki）を作成し，時系列の調査記録としての調査日誌に加えて，調査現場・整理作業での問題点等を書き込み議論する形で，スタッフによる情報の共有化をはかる試みも実施した。

・整理等作業への応用

平成 19 年度後半から 20 年度までは，通常の整理等業務が主体となり，その過程で作成される図面類等のデータ編集・処理や遺物整理等を行った。調査現場にて構築した調査成果アーカイヴシステムは，さらに報告書編集作業にいたる基礎的な資料の整理・修正・検

	調査区	遺構一覧	遺物一覧	現場写真	スタジオ写真	調査区図面
1	07D	遺構：24件	遺物:145件	現場写真:267件	スタジオ写真:15件	調査区図面:1件
2	07Bc	遺構：8件	遺物:7件	現場写真:25件		調査区図面:1件
3	07Bb	遺構：79件	遺物:88件	現場写真:340件	スタジオ写真:17件	調査区図面:1件
4	07Ba	遺構：11件	遺物:18件	現場写真:68件	スタジオ写真:2件	調査区図面:1件
5	06C	遺構：17件	遺物:106件	現場写真:227件	スタジオ写真:19件	調査区図面:1件
6	06Bd	遺構：4件	遺物:159件	現場写真:211件	スタジオ写真:4件	調査区図面:1件
7	06Bc	遺構：51件	遺物:132件	現場写真:326件	スタジオ写真:17件	調査区図面:1件
8	06Ba	遺構：185件	遺物:255件	現場写真:497件	スタジオ写真:48件	調査区図面:1件
9	06A	遺構：11件	遺物:151件	現場写真:260件	スタジオ写真:6件	調査区図面:1件
10	05De	遺構：86件	遺物:11件	現場写真:93件	スタジオ写真:4件	調査区図面:1件
11	05Dd	遺構：66件	遺物:22件	現場写真:118件	スタジオ写真:3件	調査区図面:1件

図 1.3-1　調査成果の web 上でのアーカイブ化

図 1.3-2　コンテンツサーバーの利用

証等においても絶大な効果を見せ，リアルタイムに調査現場での成果との照合が可能となり，遺構の評価等の作業に活用できる状況に整えられていった。

・システム内容

特定の OS やアプリケーション、ディバイスに依存することのないシステム開発を前提としたため，システム構成はオープンソースのソフトウェア群・LAMP を活用し，データベースである MySQL，スクリプト言語である PHP を使用して構築した。本データベースの活用には一般の標準的なブラウザだけを用意すれば良く，特定の市販ソフト等は必要ない。データの流れは以下のようになる。発掘調査現場で次々に基礎データを入力する。それぞれのコアデータがサーバ上で整えられ調査区単位のデータ管理ができあがる。また，イメージした遺構図に，必要に応じて選択した遺物がプロットされるので，例えば選択した特定の土器・石鏃の分布状況がその場で確認できる。

・報告書とデータベース

本書の内容と調査の経過は，そのままインターネット上での公開を前提とするものであり，原則的にブラウザー上での閲覧・検索を目的とした構成になっている。また本書の作成は，報告書標準仕様を前提として編集を実施したが，上記のようなインターネット活用を最優先したために，各種属性表や現場での記録写真類は一部を除いて割愛した。必要最低限の情報は網羅したつもりであるが，個々の事例等の検証にはサーバ上のデータベースの活用をお願いしたい。

こうした調査現場から整理作業へのワークフローへの取り組みに対して，以下の方々からの助言やご協力を賜った。記して感謝申し上げます。なお整理作業一般での指導等は永井宏幸が，インターネット関係の処理業務は堀木真美子が担当し，赤塚次郎が総括した。

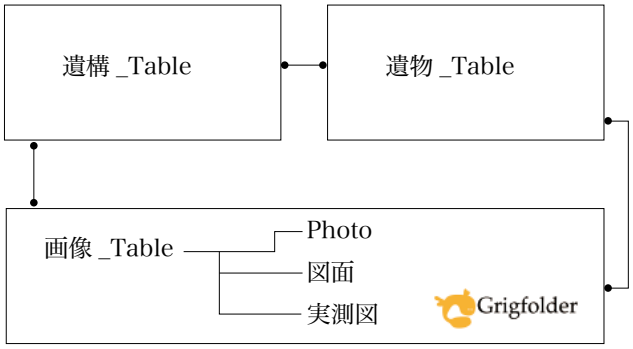


図 1.3-3　システム構成のイメージ

（整理業務一般スタッフ）
飯島　歩・野中栄子・瀧　智美
山田有美子・齋藤佳美・三浦里美
伊藤ますみ・永井智子・小嶋由美子
伊藤あけみ・小島裕子・中村たかみ

（調査現場での支援スタッフ）
国際文化財株式会社
現場管理技師：野々村光雄
調査員：土 任隆・伊藤敬太郎・町田義哉
福井流星・坂野俊哉・長林 大・辻 広志
皆川貴史・鈴木恵介
調査補助：華井京子・栗木 寧・亀井好美
奥野絵美
測量技師：諸熊和彦・上田誠人・渡邉 智
櫻井 毅・竹内裕貴・坂口幸久・星野賢一

（編集・web データーベース関係）
・編集・データ処理支援
アルケーリサーチ（藤波啓容・中村真理）
国際文化財株式会社（内田恭司）
株式会社ラング（横山　真・千葉　史）
・web データーベース作成・スクリプト
愛知県埋蔵文化財センター（堀木真美子）

* 遺構アイコンは
考古学ソリューション遺構アイコン標準案を使用

2.　遺跡の位置と環境

2.1　地理的環境

朝日遺跡が所在する場所は，現在の愛知県清須市を中心にして西春日井郡春日町・名古屋市西区に広がる。標高はおおむね２～3mを測り，ほぼ平坦な地形が展開し，つい最近までは名古屋市北部の水田地域として活用されてきた。しかし近年は，名古屋環状２号線・名阪高速道路や名古屋市と岐阜市を結ぶ大動脈である国道22号線が交差し，まさに交通の要所として物流拠点へと急速に変貌しつつある。遺跡の西側には五条川が南流し，その自然堤防と後背湿地が展開する地域であるが，基本的には中世以後には旧河道が複雑に錯綜し，その自然堤防によって形成された微高地上に集落が営まれ，周辺の低地部は水田を中心とした耕作地に利用されるような典型的な沖積低地環境にある。

朝日遺跡周辺には谷Ａに代表される埋積浅谷が確認されている。その形成が縄文中期の小海退を基本に，縄文晩期～弥生前期の弥生の小海退を経て形成されたものであり，気候変動が引き金になっている点が指摘されている。これを物語るように，谷Ａの谷底面からは縄文後期の土器とピットが確認できている。この二つの小海退の間には，縄文晩期の再海進が想定され，その海水面が標高1.5m地点にあったものと結論づけられている。こうした縄文後・晩期の気候変動を経て，弥生の小海退を契機にして朝日遺跡では本格的な集落景観が整えられていった。このように朝日遺跡は，縄文中期の頃に形成された浅谷地形と，それをわずかに遡る一時期に作られた微高地（浜堤）上に立地している。

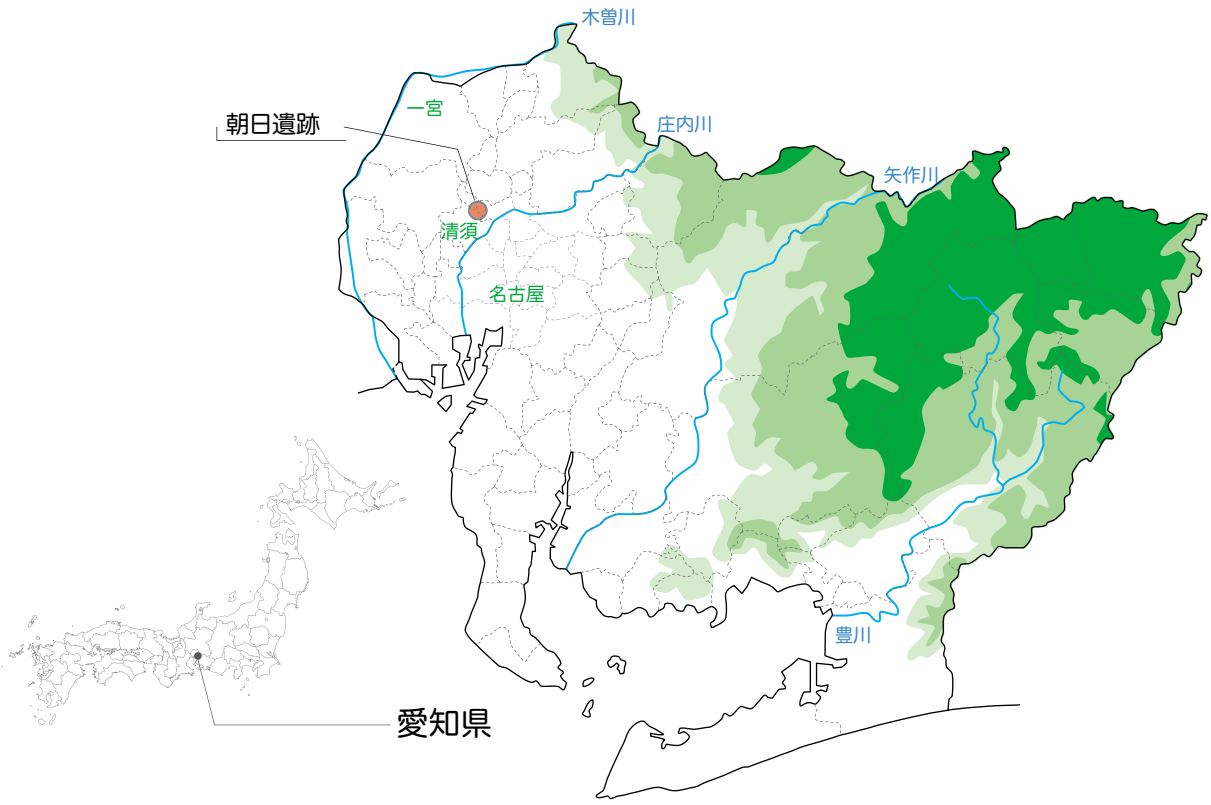


図 2.1　朝日遺跡の位置

2.2　歴史的環境

遺跡周辺には縄文晩期から弥生前期の小海退に伴い，本格的な集落景観が見られるようになる。朝日遺跡から南東へ約 5km には名古屋市西区西志賀遺跡が存在し，東へ 4km 地点には名古屋市北区月縄手遺跡が，また朝日遺跡が立地する第二浜堤列上に立地すると思われる稲沢市大塚遺跡が北西へ 5km の地点に存在する。そして弥生中期になるとさらに集落遺跡が増大し，朝日遺跡から半径 2km 圏内には甚目寺町阿弥陀寺遺跡・森南遺跡，清須市松の木遺跡などの存在が見られる。ところが弥生終末期（古墳早期）廻間様式期になると，こうした弥生中期以来の集落遺跡が大きく変貌あるいは消滅し，比較的小規模ではあるが，新たな集落遺跡が展開していく様子が確認できる。その典型的な遺跡が清須市の廻間遺跡であり，近接した土田遺跡とともに 2 世紀から 3 世紀の小集落が展開してく様子がうかがえる。この時期，弥生後期中頃をもって朝日遺跡は集落の解体がはじまっている。

古墳時代になると，朝日遺跡周辺部には安定した止水域が広がり，沼沢地とわずかに点在する微高地上に竪穴建物が点在する田園風景が続く。そしてやがて古墳時代中期後半から後期にかけて小規模ながら古墳が造営され，朝日遺跡内に点在する「検見塚」「貝殻山」などはそうした小規模な古墳の可能性が高い。やがて朝日遺跡に近接した朝日西遺跡では 11 世紀から 13 世紀にかけての集落遺跡が存在し，徐々にであるが地域再開発が進められていく。やがて 15 世紀後葉に尾張守護所が清須に移り，尾張地域の中心的な地域として，清須城を中心として再び大変革期を迎えることになる。（総集編 1.4 参照）

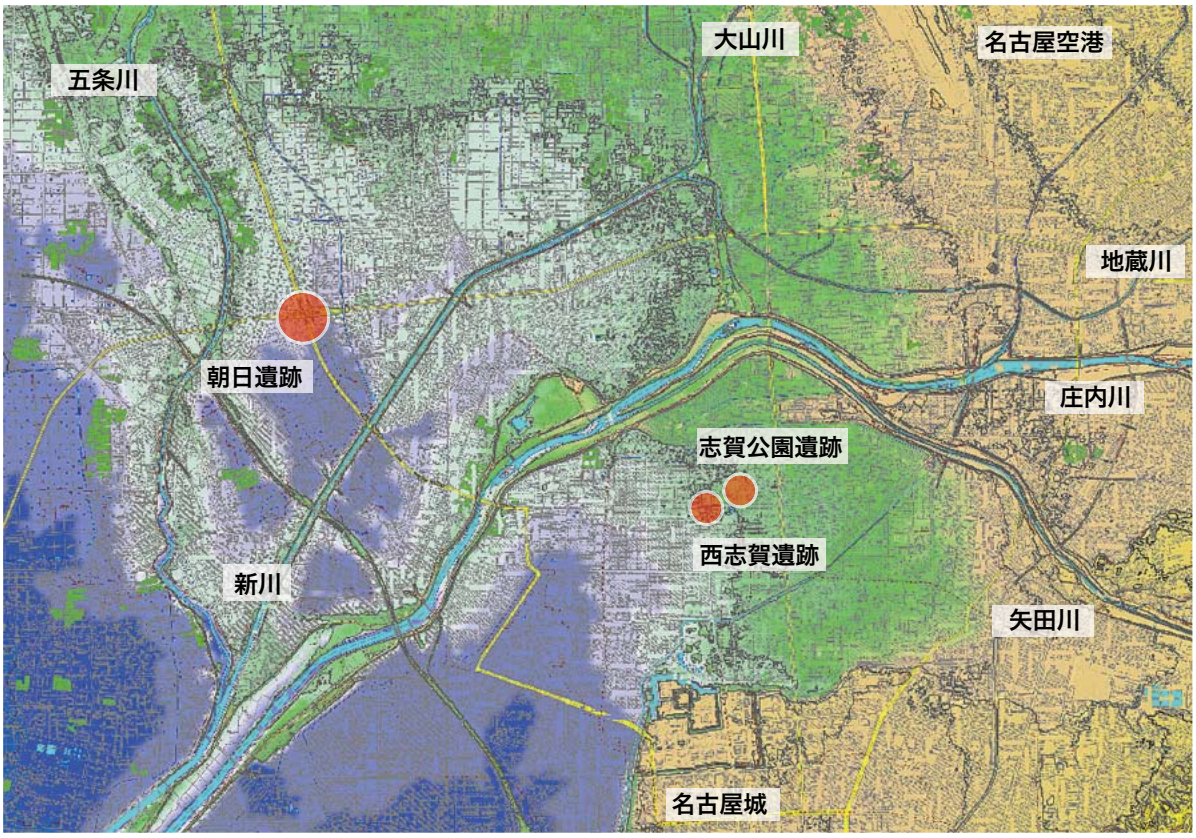


図 2.2　朝日遺跡と周辺の遺跡
（国土地理院数値地図 5m メッシュ「濃尾平野」を利用。青色は海抜 2m 未満, 緑色は 5m, 褐色は 10m を表示）

3. 調査の方法と成果

3.1 調査の方法

朝日遺跡は 10 数年にわたり，複雑で不定形な調査区を設定して，継続的な調査を実施してきた。測量図は平面直角国土座標第 7 系（旧座標系・日本測地系）に準拠した標準メッシュに基づいた調査成果に依拠している。最小グリッドは 5m 単位で統一した。

なお，平成 10 年度から東名阪高速道路と国道 22 号線により分断された清洲インターチェンジ内の調査区では，道路によって四分割された状況を前提として，北西隅から A・B・C・D 区と大区画表示を採用し，その区画内の各調査区には小文字アルファベットを付すことにして，調査区名称の統一を図った。

調査の具体的な手順は，まず各調査区において一カ所ないし複数の標準トレンチを設定し，地層の観察と遺構の残存状況，調査工程の計画等を事前に立案し，調査ステージの内容と遺構面数などを想定することにより，工事期間内という制約を前提により効率的な調査を実施した。

朝日遺跡は年間を通じて地下水位が高く，最終加工面にいたる段階での湧水が著しい。そこで部分的ではあるが，強制排水工事を実施し，工事期間内での円滑な調査期間の確保を行った。

調査区は工事ヤードに伴うものであり，複雑かつ不定形な状況を呈し，多くの場合が安全対策上シートパイル工法によるヤード確保が前提となった。そこで，発生土の除去等にベルトコンベアーが使用できず，バックホーによる除去を行い，安全確保が最重要課題となった。

05Ab 区

05Da 区

06A 区

05Da 区

07Bb 区

07Ba 区

図 3.1　朝日遺跡調査風景（総集編を参照）

3.2　層序

朝日遺跡としての「標準層序」を設定し，各調査区単位での層序区分の基本概念とし統一することとした。これにより，従来は個々調査区単位で位置づけていた層序基準と層位名の不統一を解消し，同時に不規則で小規模かつ不定形な調査区間の層位の概略を把握することができるようになった。

朝日遺跡における地層の堆積は，遺跡の範囲が広範囲であり地区単位の特徴が見られるものの，おおむね以下のような層序を形成する。まず浜堤形成の基盤層と考える地層は青灰色から黄色を呈するシルトが遺跡の中央部から北部域，南・北区画や北・東墓域などに見られ，一方で南墓域などでは中粒砂が直接露出する状況が見られる。これらの最終加工面を朝日Ｇ層として統一した。その上部には広域に黒色シルトが堆積する。こうしたシルト混じりの砂層を人為的な整地・盛土等を行った二次的な堆積土と理解し，便宜的に朝日Ｔ層と位置づけていた。

したがって朝日Ｔ層は黒色あるいは暗い褐色のシルト混じりの砂層で，多くは遺物が撹拌された状況で包含する。所属時期は高蔵式から朝日式期を中心とするものと考えておきたい。朝日Ｔ層の上位には砂まじりのシルト層が堆積する朝日Ｈ層，さらに粘土が堆積する朝日Ｍ層で，複数の炭化物層が見られる場合が多い。朝日Ｍ層上位には朝日Ｕ層が存在する。砂を挟むシルト層である場合が多く，朝日Ｍ層との間に不整合面が見られる。無遺物層であるが，谷Ｂなどでは朝日Ｍ層が厚く堆積し，その下位には宇田式期（古墳時代中期）の遺物が出土している。（総集編 2.1 参照）

＜標準層序＞
朝日Ｃ層　シルト層（中世期）
朝日Ｕ層　砂を挟むシルト層・下位に不整合面（宇田式期を中心　古墳中～古代）
朝日Ｍ層　粘土層（下部に炭化物を含む薄い層が２つ存在）（松河戸式期　古墳前）
朝日Ｈ層　砂まじりシルト層（廻間式期～山中・八王子古宮式期　弥生後期～古墳早期）
朝日Ｔ層　シルトまじり砂層（高蔵式期～朝日式期　弥生中期）
朝日Ｇ層　シルトあるいは砂層（朝日遺跡基盤層）

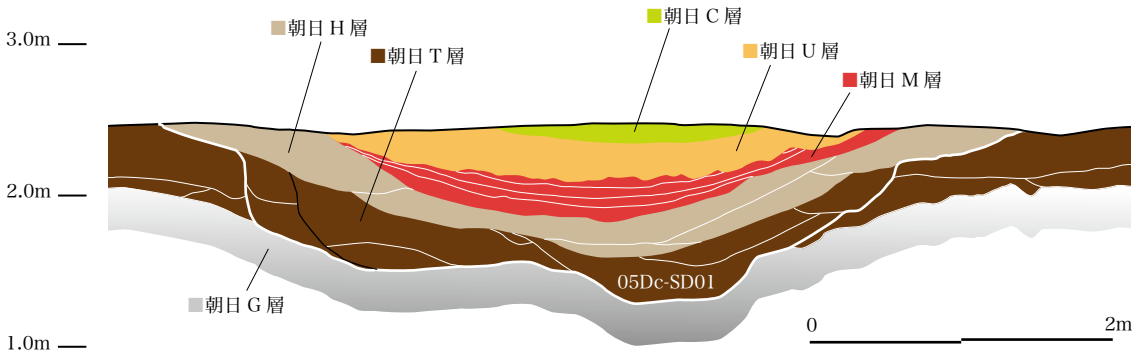


図 3.2　溝内に堆積した朝日遺跡標準層序模式図　05Dc-SD01

3.3　調査区と主要遺構

調査成果については，現在の道路軸である東名阪道路と国道22号線の交差を基軸に，北西をA区，北東をB区，南東をC区，南西をD区と四つに大きく区分して調査区を説明しておきたい。朝日遺跡としてはA区がほぼ朝日遺跡北区画，B区は北墓域，C区は東墓域と谷B，D区は南区画を中心とした地区に相当する。なお，A・B区とC・D区の間には谷Aが存在することになる。

朝日遺跡の調査は，昭和47年（1972）からの長い調査歴が存在し，その個々具体的な成果を踏まえ，それらを統合する形でまとめる事を主眼にした。調査区や遺構記号などは既刊報告書に沿うべく，統一することなくそのまま使用する。なお，方形周溝墓はその特性から，歴代の調査報告書を踏襲し，今回の調査成果を追加して統一番号を付した。

3.3.1　04Ab・Ac区

北区画の南端部で谷Aに向かって南に緩やかな傾斜を保つ。複数の環濠が廻る環濠帯が存在し，これに重複する遺構群が錯綜し，複雑な様相を呈する。

層序

04Ab区東壁の状況をから，標高2m付近までは朝日M・H層がほぼ水平堆積するが，弥生後期の大溝内には窪地状の地層が堆積する。その下層には厚く黒色シルト朝日T層が堆積するが，谷A左岸周辺部でもあり，貝層の廃棄・整地層による複雑な地層が認められる。おおむね標高1.2mほどで基盤層である朝日G層が露出する。

主要遺構

調査区北側に展開する後期環濠2条と，その南側に存在する2条の中期環濠とに大きく区分できる。04Ab区は工事設計との関係から中期遺構群の調査は部分的にとどまる。北区画 - 後期外環濠は04Ab区内で大きく北側に彎曲する状況があらたに確認できた。さらにその南側には併行するように溝SD02が存在する。SD02の掘削時期は，その出土遺物から山中Ⅰ式期内に求めることができよう。SD02を含めて多量の遺物の出土はこの空間の機能を考える上で重要な資料となる。なおSD02の掘削以前にSK03が存在し，貝田町式3期新の良好な資料が出土している。

小結

弥生時代後期の内環濠と外環濠に内側に凹む彎曲部を持つ特殊な場所が確認できた。さらにその南側にはSD02が存在し，一つの機能的な空間が設定されていたものと考えられる。なおこうした内側への彎曲部は，朝日遺跡では谷Aを挟んで3カ所において確認できる。またSD02に重複するSK03は中期後葉の良好な一括資料が出土しているが，昆虫化石による分析結果からは大量の食糞性昆虫や食肉・雑食性昆虫が出土しており（総集編5.2），その機能を考える上で興味深い調査成果となる。

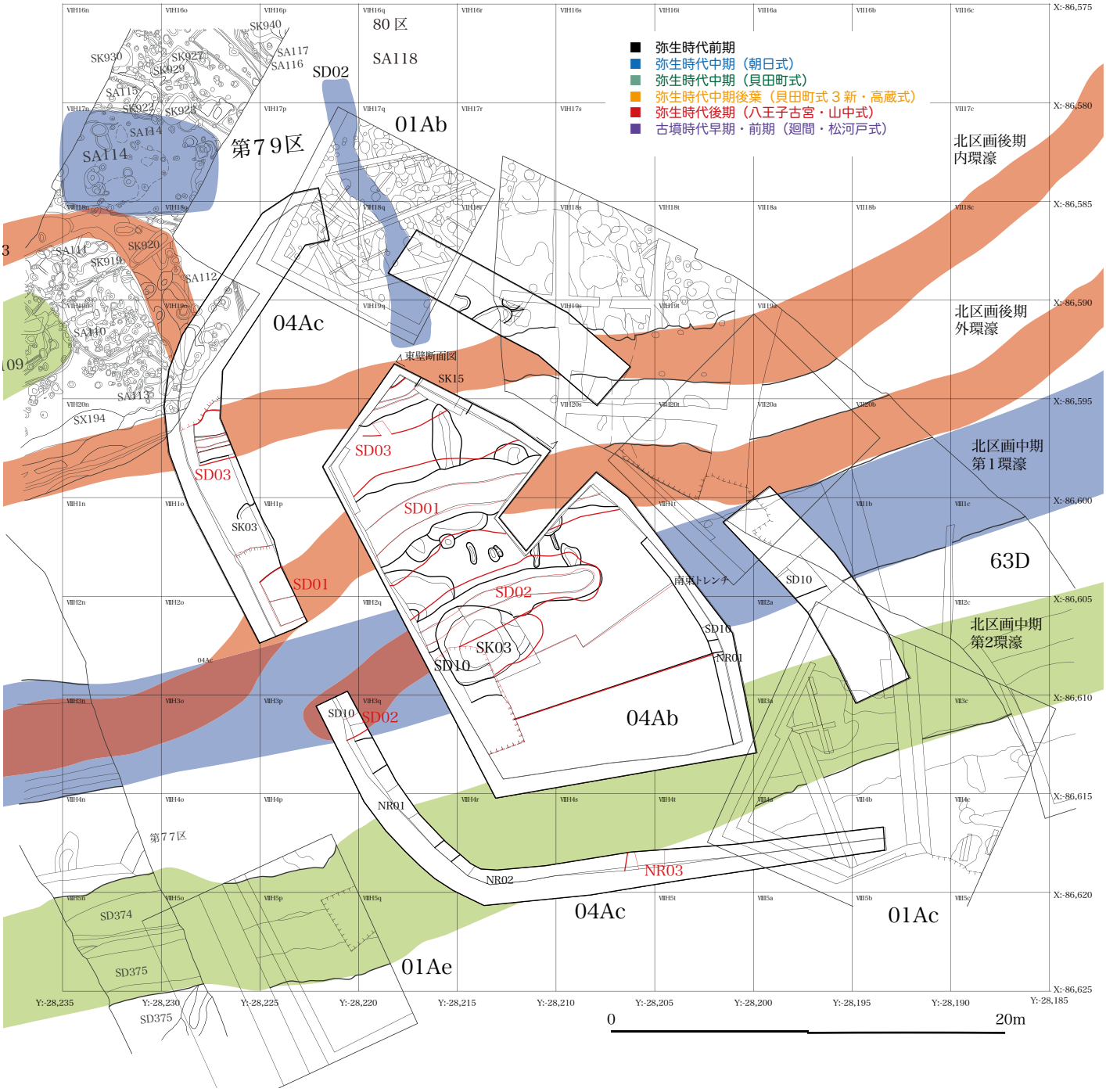


図 3.3-1　朝日 A 区　北区画南側 04Abc 区　1/300

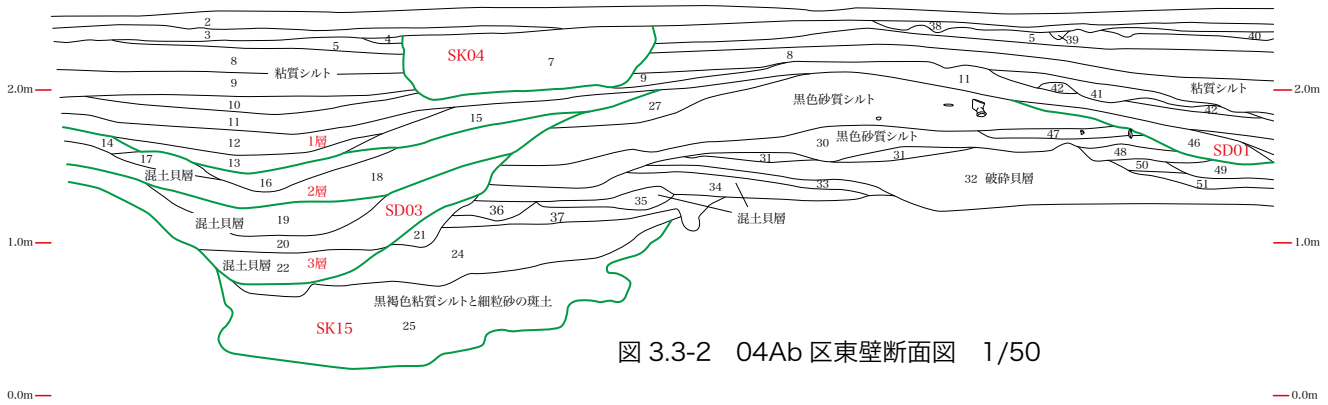


図 3.3-2　04Ab 区東壁断面図　1/50

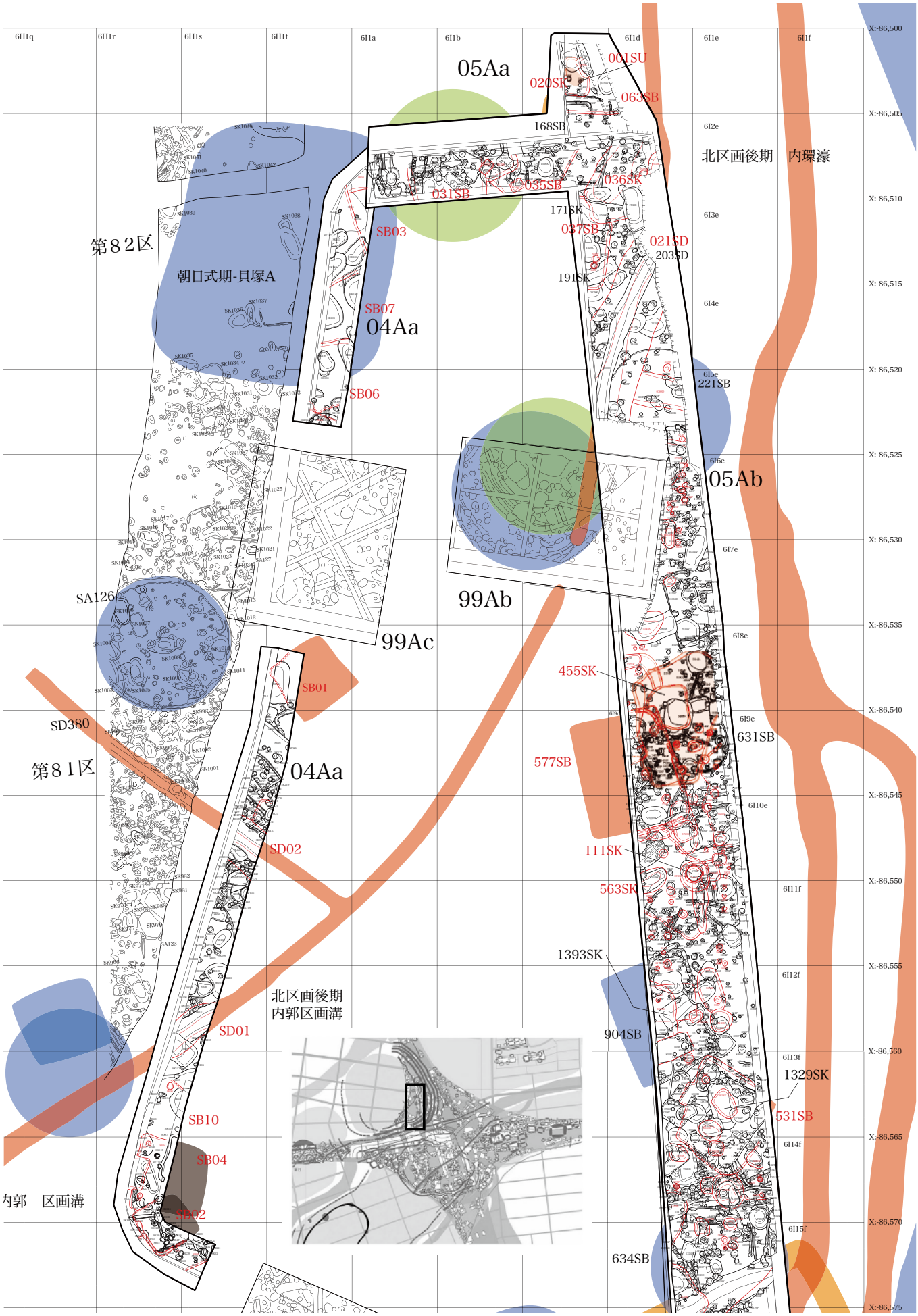


図 3.3-3　北区画 04Aa・05A 区　1/300

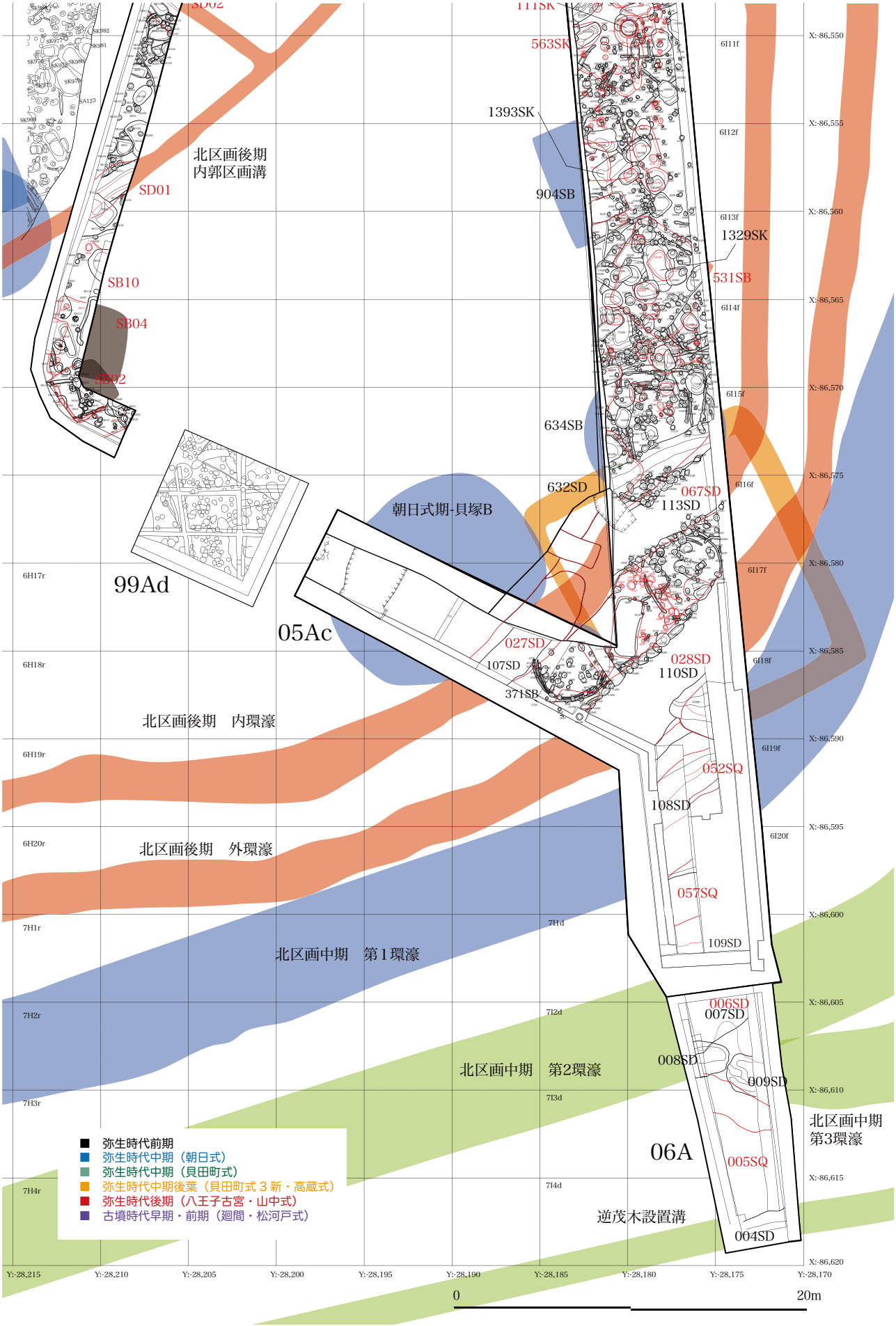


図 3.3-4　北区画 04Aa・05A 区・06A 区　1/300

3.3.2　04Aa・05Aabc・06A 区

3.3.2.1　北区画（04Aa・05Aabc）

調査区は朝日遺跡北区画南東部に位置する。環濠帯に接したその北側を中心にした調査区を設定。遺構・遺物において，他の調査区に比べ飛躍的に充実した内容が見られる。

層序

標高 1.0m 前後を測る朝日 T 層の上部には，安定して 0.2m ほどの朝日 H 層が堆積する。朝日 T 層は人為的な土壌の入れ替え等の数度に渡る複雑な整地層の連続によって構成された地層と考えられ，したがって安定した層序を見いだせるような生活面を確認する事はできない。おおむね 0.7m と厚く黒色シルト層が堆積し，膨大な遺物が包含される。

主要遺構

まずは，貝田町式期・朝日式期に所属する遺構群が展開する。これに重複する形で山中Ⅰ式期を中心とした遺構群が存在し，高蔵式期の明確な遺構が欠落する状況が見られる。

・山中期を中心とした遺構群のまとまり

調査区南端にて弥生後期の二重環濠（内環濠 05A-107SD・113SD，外環濠 110SD）が巡っており，一時期においてこの場所が入口機能（既存の内環濠を埋めて入口を作成する 05A-027SD）を有していた可能性が高い。その北側には主要な遺構がほとんど見られず，小規模な遺構が点在する広場的な空間が想定できる。なお環濠間および外環濠南には堤状の盛土（05A-052SQ, 057SQ）を確認できた。05A-203SD・04Aa-SD01 は北区画内に存在する内郭区画溝と想定され，これに直行する形で 04Aa-SD02・81 区 -SD380 の溝状遺構が存在する。99Ab 区において内郭区画溝の入口部が存在し，付近からは虺龍文鏡の破鏡が出土している。この入口部南東地区では，05A-577SB・455SK・111SK 等興味深い遺構が存在する。なお内郭区画溝の北側部には竪穴建物（04Aa-SB06・SB03・SB07）が点在する状況が推定できる。

05A-031SB は床面にワイングラス形高杯（250）などが出土し，その特徴などから山中Ⅰ式の新しい段階に所属する。また 066SB から舌状石製品（s7）が出土し（未使用品），山中Ⅰ式に所属する。

052SQ 堤状遺構からはその製作年代を推定する資料として高杯脚部（434），脚端部に小さな複数透孔があり山中Ⅰ式を降る資料ではない。

455SK からは多量の土器等が処置された形で見つかっている。一部に廻間Ⅰ式 0 段階古相の資料も含まれるが，山中Ⅱ式 3 段階新相を中心とする良好な一括資料と思われる。577SB は南北 7 mの大型の竪穴建物で，その南側堀方から舌状石製品 (s32) が出土している。531SB は内環濠の近くに存在する竪穴建物で，八王子古宮式に所属する。

05Ab 区南端部の環濠帯

Wiki・Blog-memo

113SD・内環濠、出入り口部
山中Ⅰ式後半期を中心とする土器。小型品が多く，その他に卜骨 (d-198) 。
113-SD と 027-SD との関係については，はじめに断面 V 字状の溝が掘削され (八王子古宮式から山中Ⅰ式古) 次に U 字状で幅広の溝が掘削され (山中Ⅰ式新)、その後一部を埋められて, 溝の作り替えがなされた (山中式中頃)。
溝の最終掘削時期は，出土遺物の特徴から山中Ⅰ式の末葉と推定したい。
113-SD（内環濠）の掘削面の時期を推測する資料，杯脚部で 4 方向の小さな透孔。山中Ⅰ式に所属する d-550 資料
なお竹製品が南堀方から出土 d-825
110SD 外環濠，最下層出土土器、椀型高杯で山中Ⅰ式期 (d-721)。

・貝田町式・朝日式期

環濠帯の内側に多くの竪穴建物とそれに関連する遺構群が展開する。05A 区北側には土坑群が密集して存在し，多量の灰層・炭化物とともに土坑内に堆積する。代表的な 171SK・191SK を含めてこれらは貝田町式に所属する。なお周囲には大型円形竪穴建物が点在する。

05Ac 区と 04Aa 区北側には朝日式期を中心とした貝塚状の高まり（貝塚 A・B）が存在する。そしてこの場所はそれ以降においてほとんど手つかずの空間が存在していたことが判明した。

小結

朝日式期には大型円形竪穴建物群が点在し，複数の貝塚の形成が見られる。高蔵式期に所属する遺構群はほとんど存在しない。ただ後期環濠に重複する形で，13m ほどの方形区画 632SD が存在する。後期環濠南側には内郭区画溝が設定され，内環濠との間には特殊空間（広場）が存在し，455SK 付近には祭祀場的様相が見られる。

後期環濠は八王子古宮式古宮式〜山中 I 式初頭段階に掘削され，その後に山中式中頃に一部再整備が行われ，調査区内（北区画南東部）にはあらたに出入り口部が付設される。

3.3.2.2　06A 区と逆茂木設置溝（004SD）

06 調査区は北区画環濠帯の東南隅部に位置する。谷 A 北岸部に含まれ，多重環濠帯と逆茂木設置溝等が存在する地区である。

層序

基本層序である朝日 U 層・M 層・H 層がほぼ数 10cm の単位で水平に堆積（H 層下の遺構に影響されて凹み状に堆積）する。調査区南に向って緩斜面を形成しながら谷 A に連続する。基盤層は黄色シルト層（朝日 G 層）。

主要遺構

調査区北側には北集落を巡る環濠帯の外郭を形成する大溝が，重複して存在する。北端部には東西方向の大溝が存在し，朝日 T 層を基本とする黒褐色シルトが厚く堆積する。05Ab 区 109SD を北側堀方にもち，おおむね幅 16m ほどで，深さ 1.5m を測るものと想定できる。007SD の中央部には重複して高蔵式期を中心とした遺物を包含する，砂・シルトのラミナが複雑に厚く堆積する溝状遺構が確認できる。洪水性の堆積層と思われる。不定形な流れが想定でき，溝の掘方はその浸食のためか凹凸が著しい。なお 007SD の掘削時期は貝田町式期に所属するものと考えたい。調査区南端には 004SD が存在し，その南側堀方部は調査区外に置く。いわゆる第 2「逆茂木」の延長部分に相当し，枝を付けたままの材の存在が確認できる。逆茂木の直上には砂・シルトがラミナ状に厚く堆積し，004SD の機能を消失させた起因と推測できる。高蔵式期の遺物が伴う。

小結

007SD を中心に木製品が多量に出土している。007SD 上層には朝日 H 層が堆積し，山中式期の遺物と木製高杯や三稜形木鏃などが出土している。007SD 中層は高蔵式期の砂・シルトがラミナ状に堆積し，黒褐色シルトの下層からは貝田町式期に所属する土器に伴い容器類や弓などの興味深い資料が出土した。中期第 2 環濠である 007SD は，北区画を巡る中期第 3 環濠がこの付近にて合流するような状況が確認できる。

007SD と 004SD の間には 15m の幅広い平坦面が存在し，遺構は存在しない。特に 007SD 側には 0.3m ほどの高まりが認められた。この堤状の高まり（005SQ）の盛土には山中式期の遺物が包含する。

3.3.3　06Ba・07Bb.c 区

調査区は朝日遺跡の中央部に存在する浅谷（谷 A）北岸で，朝日遺跡北集落を巡る環濠帯から東部に位置する。周辺には弥生中期の東西大溝と方形周溝墓群（東墓域）が展開する地区である。なお調査区南端は谷 A 北岸に位置し，急傾斜を伴い谷地形に移行する。

主要遺構

朝日式期に所属する居住域と思われる場所が，調査区北側に認められ円形竪穴建物 016SB とその周辺に存在する廃棄土坑群（033SK・036SK・026SK）によって構成される。また周辺には小柱穴群が存在し，一つの居住空間が想定できる。竪穴建物 016SB を破壊する形で，方形周溝墓群が展開する。最も大きいものは調査区北端に存在する 013SD であり，63N 区（朝日 1991）で調査された貝田町式前半期に所属する SZ149 の南溝。10m クラスの周溝墓に復原できる。その他に調査区中央部から谷 A にかけて三基の周溝墓が存在する。いずれも陸橋部の幅が広い小型の四隅陸橋型であり，朝日式期に所属すると考えられる。

調査区南端の谷 A 北岸周辺部には貝塚を中心とした，生産加工空間が存在する。まず，谷 A 北岸には貝塚遺構と思われる高まり（009SX・010SX）が 2 ヶ所に存在し，その間の谷への傾斜部付近には階段状の平坦面をもつ施設や土坑が存在する。またこれらを覆うように，斜面には貝層の広がりが大きく二層にわかれて認められる。さらに貝塚遺構や階段状施設の周辺には柱穴群や土坑なども存在し，朝日式期を中心とした貝製品の加工に伴う作業空間を推測される。

調査区中央部には東西方向の大溝が 2 条存在する。005SD および 006SD。溝間の幅は

層序

基本層序である朝日 U 層・M 層・H 層と約 0.1m 前後の堆積層が存在し，全体に粘り気の強い土質となる。H 層の下層には，特に調査区南側に中粒砂層が広く分布しているのが特徴的である。その下部には遺物が包含されている朝日 T 層が遺構に伴なう形で広く分布し，基盤層朝日 G 層である黄色シルト層を掘削する。

Wiki・Blog-memo

06Ba 区の谷地形を観察する限り，谷地形の恒常的な流水は，朝日式期以降ほとんど見られない。
朝日 T 層の上位に堆積した，中粒砂が T-SA 層としたものであれば，高蔵式期まできわめて安定した環境か？。 -- 2007-03-28 (水) 17:07:32
上記、011SM-1&2 破砕貝層は、99Bb 区で検出された谷の岸辺に堆積した貝層と類似した構造を持つようである。　99Bb 区の場合は今回の谷とは対岸になりかつ東側に距離も離れるが、所属時期や堆積状況に類似性が認められる。 -- 2007-03-29 (木) 01:04:45
本日の掘削状況からは，谷 A の T-1 層は貝田町期を中心とした遺物が包含されているようです。要再検討 -- 2007-03-30 (金) 20:07:23
谷 A の岸に沿って土塁状の高まりが存在するが、朝日式期～貝田町期を通じて土壌中に貝層を介在させつつ、盛り土が幾度も積み重ねられていったかの如き様相。谷に下るような開口部の窪地には不規則な段状の地形が存在するようであり、獣骨や木質を含む貝層が堆積している。 -- 2007-04-06 (金) 22:56:02

溝掘方で 5m を測り，20cm ほどの整地面が確認できる。北側の 005SD は下層から朝日式期の土器・木製品が出土しており，溝の掘削時期が朝日式期に遡ることは明らかである。一方で谷 A 側に存在する 006SD は，ある段階で溝内を整備し，その直後に人為的な埋め戻し作業を行った痕跡が認められる（T-SA 層以前）。全体として，調査区内では朝日式期に所属する遺構群を中心にして展開しており，続く貝田町式期にかけての遺物が若干認められるが，高蔵式・山中式期の遺物や明確な遺構は存在しない。

Wiki・Blog-memo

07Ba 区では 06Ba 区 010SX の西側への広がりを確認できる。また徐々に貝塚状の高まりが西に向って低くなっていく状況を確認。
貝塚下層にて溝を検出し，06Ba 区の 101SK 等と組み合って方形周溝墓が想定できる（SZ421）。07Ba 区では朝日式期の遺物が主体。
したがって朝日式期の方形周溝墓を再利用する形で，覆い尽くすように貝層が堆積したことになる。 -- 2007-08-13 (月) 10:17:43
07Bc 区でも 06Ba 区 006SD の東側延長部を確認できた。やはり同様な人為的な溝の埋め戻しを確認。T-SA 層は確認できない点や包含する遺物から高蔵式期後葉以前の作業と想定できる。 -- 2007-08-13 (月)

小結

調査区南側には，朝日 H 層を除去すると特徴的な中粒砂の堆積層が広く分布することが確認できた。この朝日 T-SA 層の分布は，おおむね南側の大溝 006SD 以南に限定できる。また谷 A 斜面では場所によって 0.5m 以上に厚く堆積しており，北岸の貝塚遺構である 090SX と 010SX の高まりの間を抜け 006SD まで分布の広がりを追うことができた。これが洪水性の砂層と推測すると，ある時点では谷をほぼ埋め尽くすような場面が存在したことになる。さらにこの砂層の末端が 005SD の朝日 H 層下，朝日 T 層の最上位で確認できことから，に朝日 T-SA 層の堆積時期を高蔵式末葉段階に求めることが可能である（総集編 2.1 基本層序参照）。

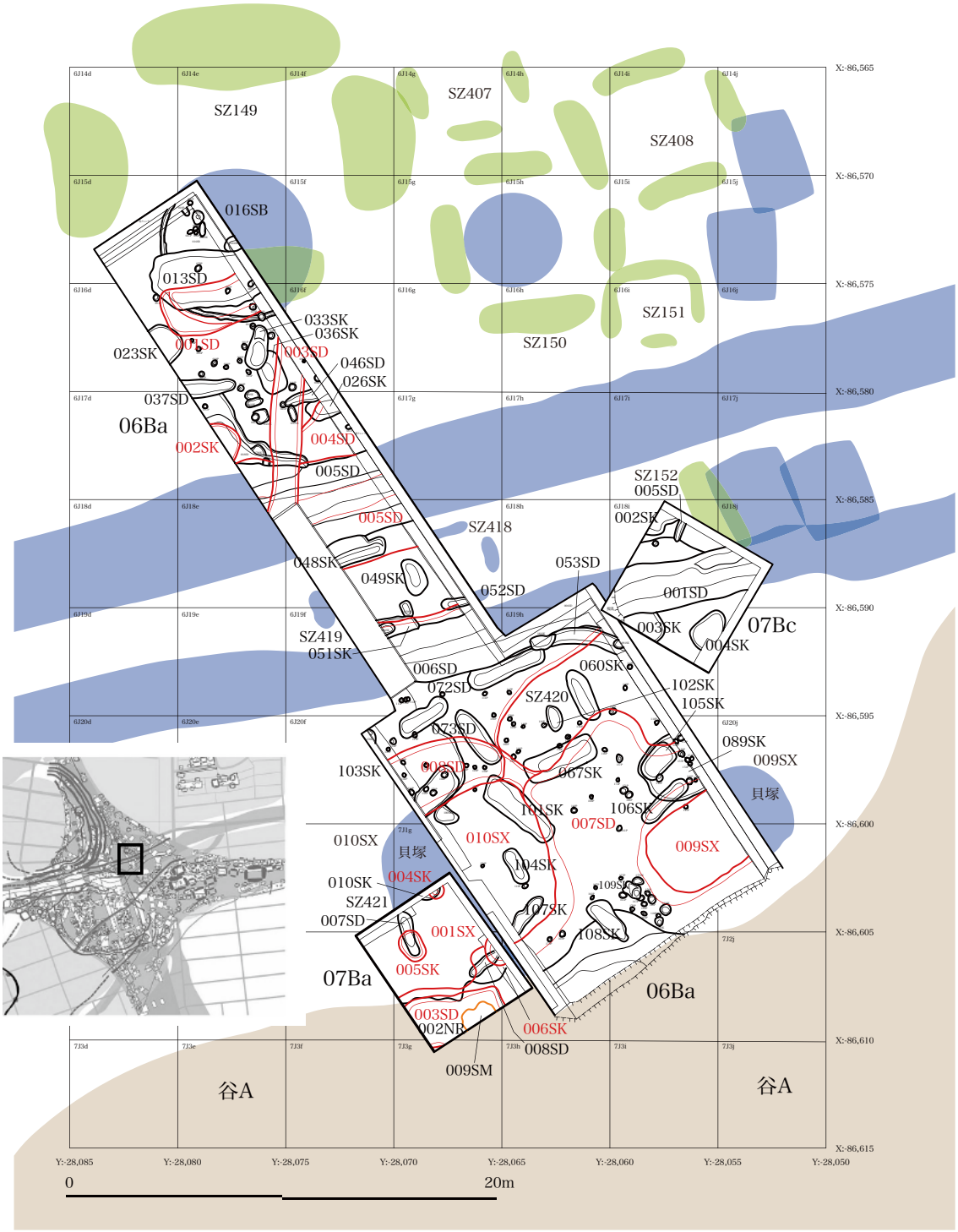


図 3.3-5　谷 A とその出入り口（06Ba・07Bac）　1/300

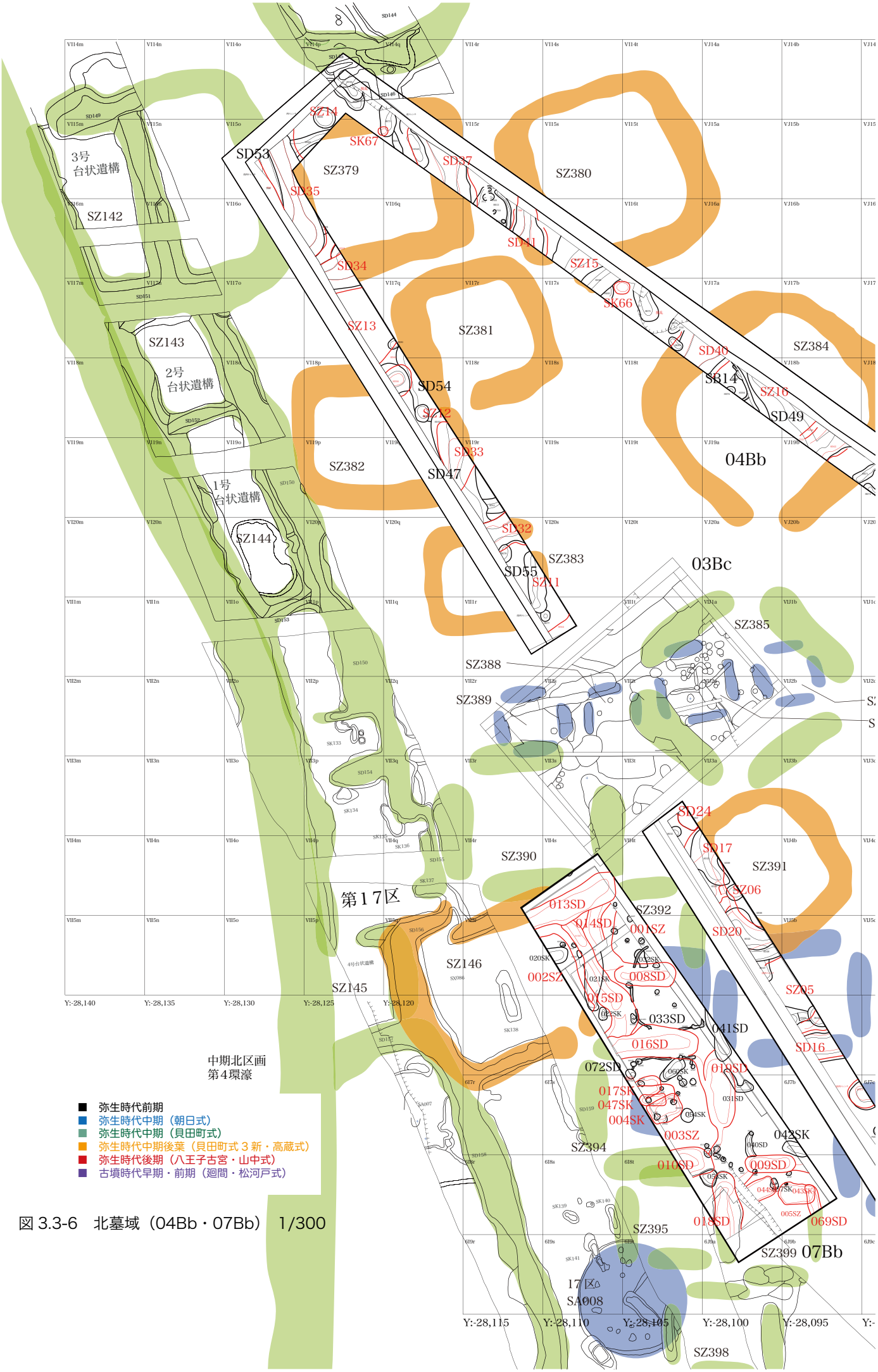
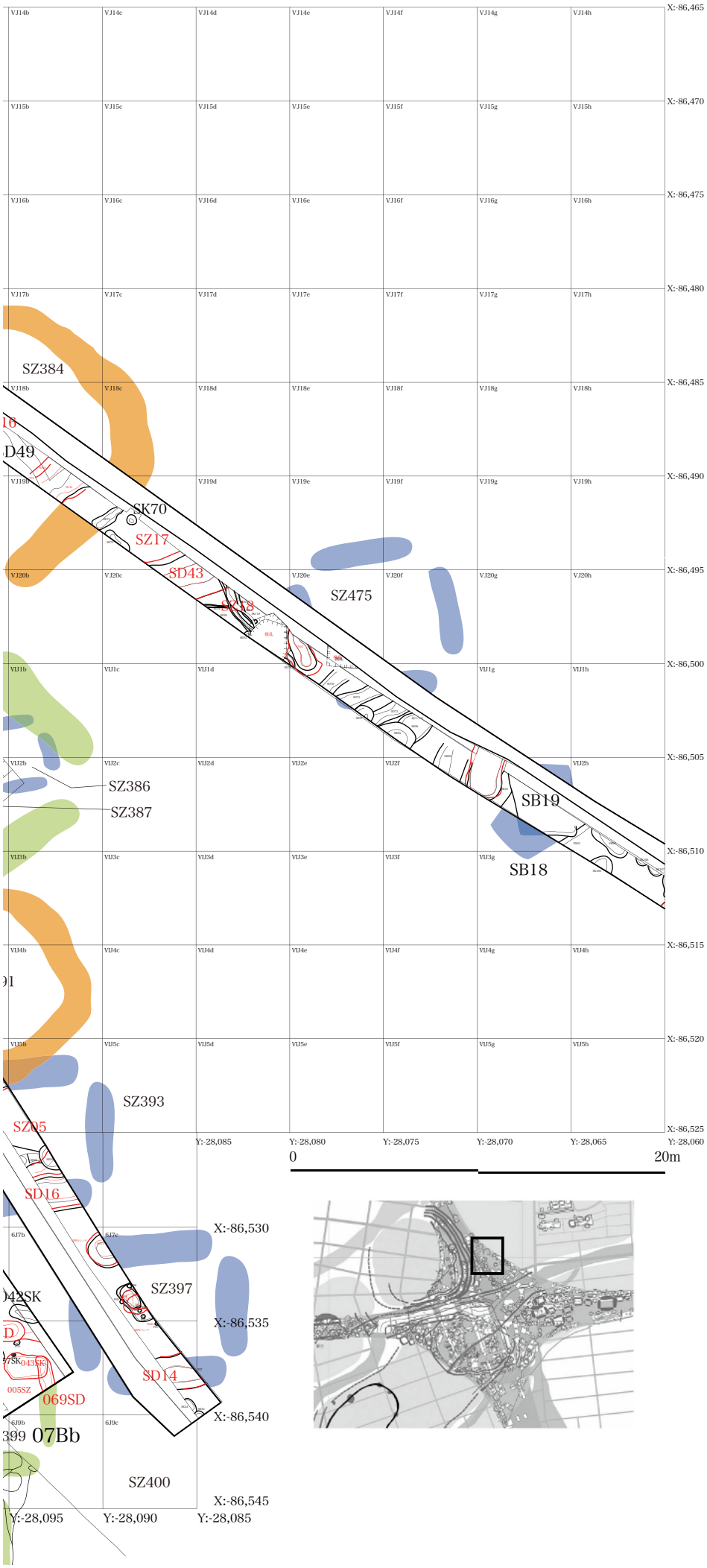


図 3.3-6　北墓域（04Bb・07Bb）　1/300


SZ384
D49
SK70
SZ17
SD43
SZ18
SZ475
SZ386
SZ387
SB19
SB18
SZ393
SZ05
SD16
SZ397
SD14
069SD
07Bb
SZ400
X:-86,465
X:-86,470
X:-86,475
X:-86,480
X:-86,485
X:-86,490
X:-86,495
X:-86,500
X:-86,505
X:-86,510
X:-86,515
X:-86,520
X:-86,525
X:-86,530
X:-86,535
X:-86,540
X:-86,545
Y:-28,085
Y:-28,080
Y:-28,075
Y:-28,070
Y:-28,065
Y:-28,060
Y:-28,095
Y:-28,090
Y:-28,085
0
20m

3.3.4　04Bb・06Bc・06Bd 区

3.3.4.1　06Bc 区調査概要

調査区は朝日遺跡東側の北墓域に位置する。周辺には中期の方形周溝墓群（北墓域）が展開する。

層序

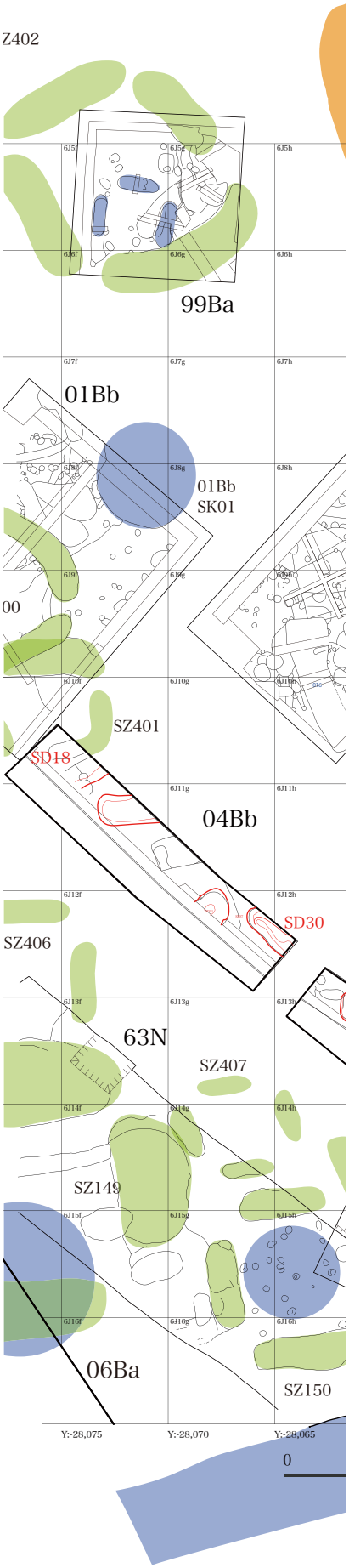
基本層序である朝日 U 層・M 層・H 層と均一な水平堆積が存在し，全体に粘り気の強い地質となる。総じて朝日 M 層・H 層は方形周溝墓に伴い溝内で窪地状に堆積する状況が確認できる。H 層下部には遺物が包含されている朝日 T 層が薄く堆積し，遺構は基盤層である黄色シルト層を掘削する場合が多い。

主要遺構

高蔵式期を中心とした方形周溝墓群とその下層に朝日式から貝田町式古段階を中心とした土坑群が展開する。調査区北側には大型の周溝墓が存在し，L 字状に屈曲する溝 008SD 及び 016SD と 017SD が伴い区画を形成する。04Ba 区 SD01 を東溝と想定し，方 13m ほどの周溝墓 SZ414 を想定できよう。なお，008SD 陸橋部付近には溝内に西三河産の壺の土器配置が見られる。012SZ（SZ413）は溝の中央部に陸橋部を有する B1 型墳に復原できる。区画内には主体部が複数存在し，04Ba 区 SK09 が位置的にも中心埋葬主体であり，その西南側には 4 基の土器棺墓が列状をなして存在する。

調査区南側では L 字状に屈曲する溝 013SD が存在し，大型の周溝墓 014SZ が想定できる。盛土を除去する過程で，013SD に併行して 050SD が存在し，西側への周溝墓の拡張が行われたことが判明した。すなわち 014SZ は造営当初の形態が東溝として 050SD が存在し，南溝が調査区南東コーナで検出した 049SD および 03Bd 区 SD04 に連続する周溝と思われる。方 12 ～ 13m の周溝墓と想定したい。その後に東側に 013SD から 03Bd 区 SD04 にコ字状を呈する溝を掘削することにより拡張工事を実施しているものと推測できる。東西 16m ほどの規模を有する。

014SZ には主体部が複数存在し，まず墳丘の中央部には，基盤黄色シルトが混在する斑土で充填された大きな落ち込みが存在し，併行する 021SK と 022SK の 2 基の主体部と 039SK が営まれている。その他に 040SK



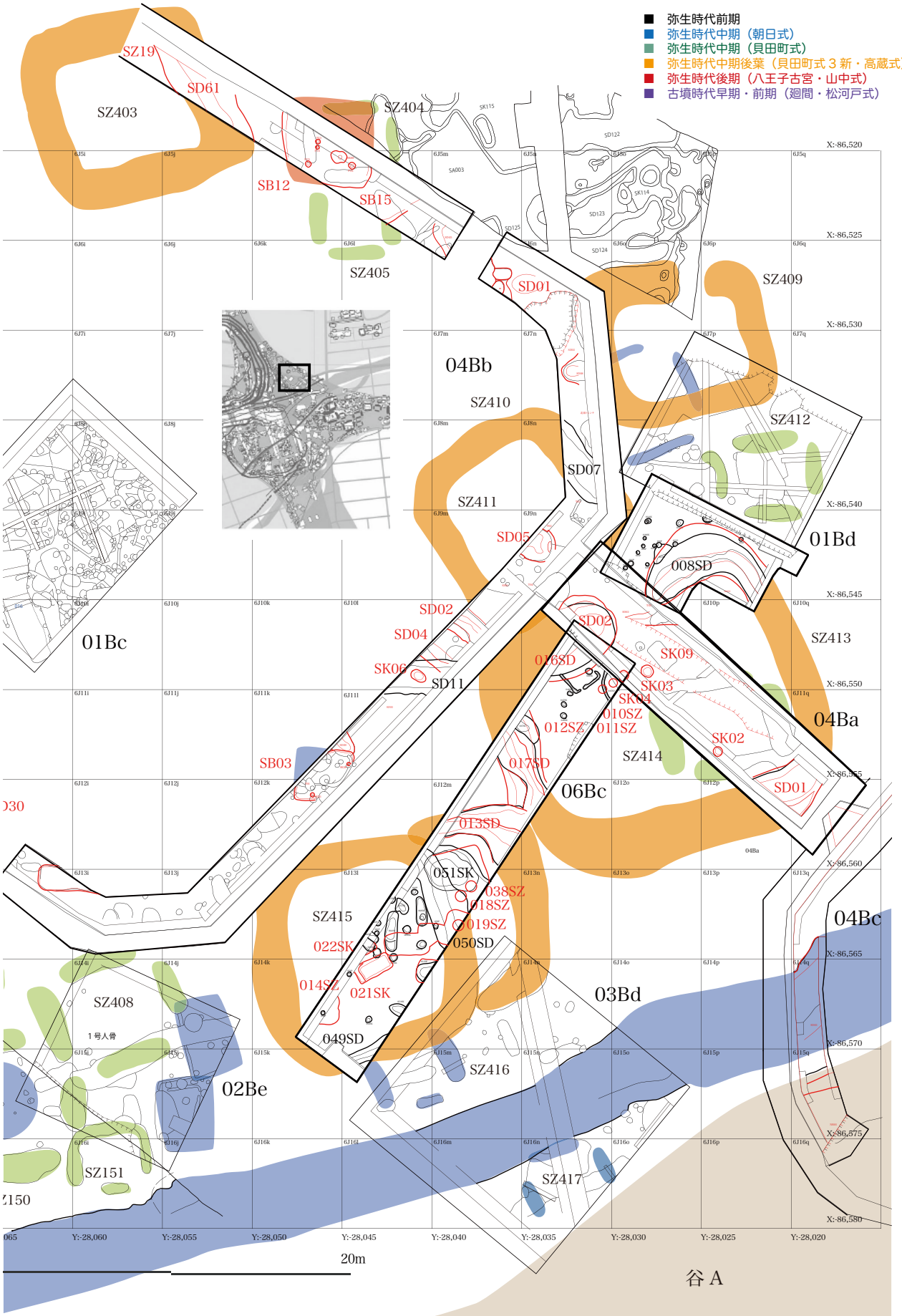


図 3.3-7　北墓域その２（04Ba・04Bb・06Bc）　1/300

と拡張された東側付近には041SK及び土器棺墓3基が見られる。

高蔵式期に営まれた周溝墓の下層には土坑やピットが散在して発見されている。その内で，050SDと重複する051SKは貝層の堆積が見られ，貝田町式古段階の土器が共伴する。明瞭な建物痕跡は認められないが，単発的な居住区が存在した事が類推できる。

Wiki・Blog-memo

墳丘墓の盛土と主体部・土器棺との関係について
墳丘墓での盛土の作業は, あらかじめ設定されたものではない可能性がある。埋葬主体の設置場面において随時実施されたと考えれば・・。要検討課題。盛土褐色粘質土が主体部埋土の上に覆われている状況が確認できた。--2007-03-13 (火) 08:27:07
014SZ マウンドの構造に関する覚え書き。朝日式または貝田町期の溝埋没後、その溝を埋め立て、ほぼ円形の貝層廃棄土坑が掘削される。その後土坑は地山土を用いて丁寧に埋め立てたのち、新たに精選された砂を用いて主体部を掘削し、再び埋め立て、その上に土器棺を埋設しながら、徐々にマウンドが形成されていったものと考えられる。--2007-03-17 (土) 16:12:22

3.3.4.2　07Bb区調査概要（図3.3-6）

調査区は北集落環濠帯に近接する北墓域の西端部に位置する。調査区から東側へは，広く中期を中心とした方形周溝墓群が展開する地区（北墓域）となる。

層序

基本層序である朝日U層・M層・H層の水平堆積が存在し，全体に粘り気の強い土質となる。その中で特にH層が，墳丘墓に伴う周溝窪地状に厚く堆積する状況が確認できた。朝日H層下部には，0.2mほどの中期の遺物包含層である朝日T層が堆積し，基盤層である黄色シルト層となる。

主要遺構

中期後半を中心とした5基の方形周溝墓が展開し，その下層には土坑・建物が散在する居住域が確認できる。調査区北側には，主軸方向が異なる001SZ・002SZが近接して営まれる。なお002SZはSZ149として報告されている周溝墓の東部に相当する。001SZは南

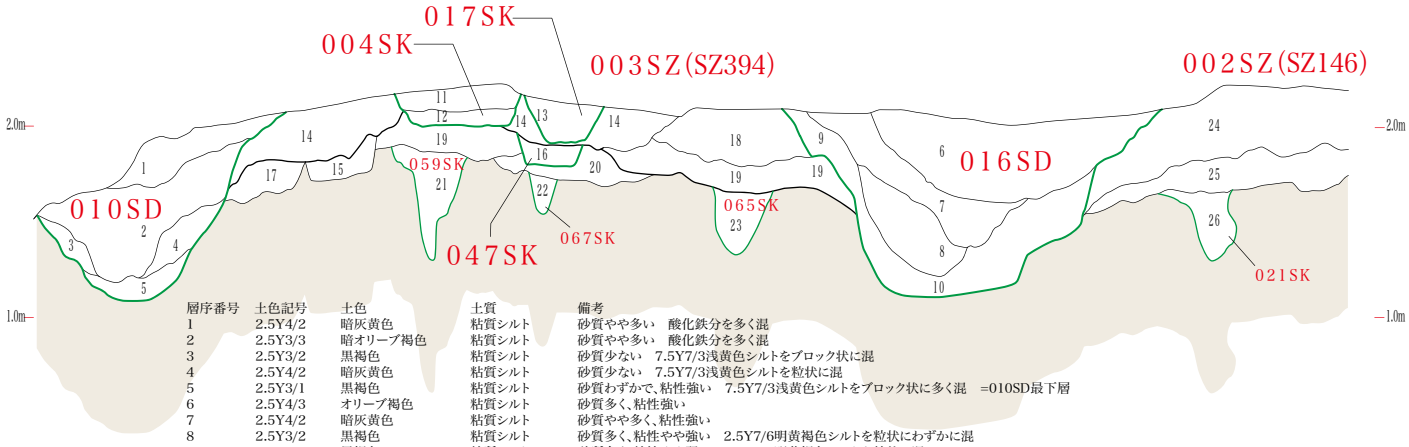
小結

012SZに営まれた土器棺墓の列状配置から，その配置状況には共通した特徴がうかがえる。すなわち墳丘の盛土上面から土坑を掘削することによりあらためて土器棺を設置するのではなく，土器棺を設置した後でその周辺と上部を土で覆うような状況が確認できた。墳丘盛土が周溝墓設定段階で一律に存在したのではなく，断続的な埋葬に伴い，徐々に段階的に盛土が形成されていくものと推測できる。なお，012SZの造営段階の東溝である050SDから蕨手状木製品（w262）が出土している。

SZ415 土器棺墓の調査

溝008SDが調査区東端で収束することが確認できたため，方6m規模の小規模な四隅陸橋型の方形周溝墓と推測できる。加えて南西の陸橋部は，基盤黄色シルトを混在する斑土で盛土に合わせる形で作り付けられたものであり，その付設が002SZ東溝015SDと重複する。001SZの南西陸橋部の付設が，002SZの造営後に実施されたものと推定できる。

調査区中央部には保存状況が良好な四隅陸橋型である方形周溝墓003SZが存在する。方7m規模の墳丘墓で高さは1.3mを測る。埋葬主体部が確認でき，ほぼ中央部には棺痕跡が想定できた047SKが存在し，その上部に017SKと004SKが併行して営まれている。017SKと004SKは盛土上部にて検出でき，基盤黄色シルトが混じる斑土で覆われていた。その下層で発見できた047SKは，003SZと主軸線を共有しており，周溝墓造



層序番号	土色記号	土色	土質	備考
1	2.5Y4/2	暗灰黄色	粘質シルト	砂質やや多い　酸化鉄分を多く混
2	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	粘質シルト	砂質やや多い　酸化鉄分を多く混
3	2.5Y3/2	黒褐色	粘質シルト	砂質少ない　7.5Y7/3浅黄色シルトをブロック状に混
4	2.5Y4/2	暗灰黄色	粘質シルト	砂質少ない　7.5Y7/3浅黄色シルトを粒状に混
5	2.5Y3/1	黒褐色	粘質シルト	砂質わずかで、粘性強い　7.5Y7/3浅黄色シルトをブロック状に多く混　=010SD最下層
6	2.5Y4/3	オリーブ褐色	粘質シルト	砂質多く、粘性強い
7	2.5Y4/2	暗灰黄色	粘質シルト	砂質やや多く、粘性強い
8	2.5Y3/2	黒褐色	粘質シルト	砂質多く、粘性やや強い　2.5Y7/6明黄褐色シルトを粒状にわずかに混
9	2.5Y3/1	黒褐色	粘質シルト	砂質多く、粘性やや弱い　2.5Y7/6明黄褐色シルトを粒状に混
10	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	粘質シルト	砂質非常に多く、粘性やや弱い　2.5Y7/6明黄褐色シルトをブロック状に多く混　=016SD最下層
11	10YR4/4	褐色	砂質シルト	003SZの墓坑=004SK　砂質多く、粘性低い　酸化鉄分を多く混　=004SKT1-1層
12	10YR4/6	褐色	砂質シルト	003SZの墓坑=004SK　砂質多く、やや粘性あり　酸化鉄分を多く混　=004SKT1-2層
13	2.5Y4/3	オリーブ褐色	砂質シルト	粘性弱い　2.5Y7/6明黄褐色シルトを粒状に少し混　=017SK
14	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	砂質シルト	粘性やや弱い　2.5Y7/1灰白色シルトをブロック状に少し混
15	2.5Y4/1	黄灰色	砂質シルト	粘性やや弱い　2.5Y7/6明黄褐色シルトをブロック状に多く混　主体部の可能性を検討したが補足調査にて否定
16	2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	砂質シルト	粘性やや弱い　2.5Y7/6明黄褐色シルトを粒状に少し混　=047SK
17	2.5Y3/2	黒褐色	砂質シルト	粘性強い　2.5Y7/1灰白色シルトをブロック状に多く混
18	2.5Y4/2	暗灰黄色	砂質シルト	粘性強い　2.5Y7/6明黄褐色シルトを粒状に混
19	2.5Y3/2	黒褐色	砂質シルト	粘性強い　2.5Y7/6明黄褐色シルトをブロック状に多く混　炭の粒状わずかに混
20	2.5Y3/1	黒褐色	砂質シルト	粘性やや強い　2.5Y7/6明黄褐色シルトをブロック状にわずかに混
21	2.5Y5/3	黄褐色	砂質シルト	粘性やや強い　酸化鉄分をやや多く混　2.5Y7/6明黄褐色シルトをブロック状に少し混　=059SK
22	2.5Y4/3	オリーブ褐色	砂質シルト	粘性やや弱い　2.5Y7/6明黄褐色シルトを粒状に多く混　=067SK
23	2.5Y3/1	黒褐色	砂質シルト	粘性弱い　2.5Y7/3浅黄色シルトをブロック状にわずかに混　=065SK
24	2.5Y4/2	暗灰黄色	砂質シルト	粘性やや強い　酸化鉄分を多く混
25	2.5Y3/2	黒褐色	砂質シルト	粘性やや強い　2.5Y7/3浅黄色シルトをブロック状に多く混
26	2.5Y4/1	黄灰色	粘質シルト	粘性強い　2.5Y7/3浅黄色シルトをブロック状に多く混

図 3.3-8　07Bb　SZ394 西壁断面図（横軸 1/80　縦軸 1/40）

営の初期段階に営まれた主体部と推測できよう。

調査区南端に存在する 005SZ は，西溝 018SD は 63N 区 SK01 として報告されている同遺構であり，方 5m ほどの小規模な方形周溝墓である。主体部が２ヶ所確認できている。なお東溝北端陸橋部付近から鉢（858）が出土している。貝田町式２期に所属する。

墳丘墓下には竪穴建物・廃棄土坑・ピット群が展開する。おおむね 001SZ と 003SZ の間を中心に，やや集中して分布するようである。朝日式２期を中心とした遺構群と思われる。竪穴建物２・廃棄土坑３など。

小結

調査区周辺は，貝田町式２～３期を中心として営まれた，一辺５・6m の比較的小型の方形周溝墓群が展開する地区である。墳丘の主軸を異にする２つの群が確認できる。調査区北側に存在する旧調査区 SZ149（002SZ）とその北側には 03Bc 区 SZ02 が展開する。調査区中央部から南にはほぼ東西南北方向に軸線を置く 001SZ・003SZ・005SZ が配置されている。周溝墓の軸線と主体部の主軸とは相関関係が見られ，家族墓群をまとめる枠組みが存在したことを推測する事例として興味深い遺構配置と思われる。

調査区南に存在する 003SZ と 005SZ の間に，陸橋部の共有が認められる。特に 003SZ の南東陸橋部では，基盤黄色シルトによる混合斑土が丁寧に貼付けられており，墳丘盛土の変化に伴い傾斜路を整備していく様子がうかがえる。またその斜面両端には加工された材が出土しており，加えて山中式Ⅰ式期の高杯の配置が認められた。07D 区の 004SZ で確認された状況と類似するものであり，墓前祭としての共通性が指摘できる。

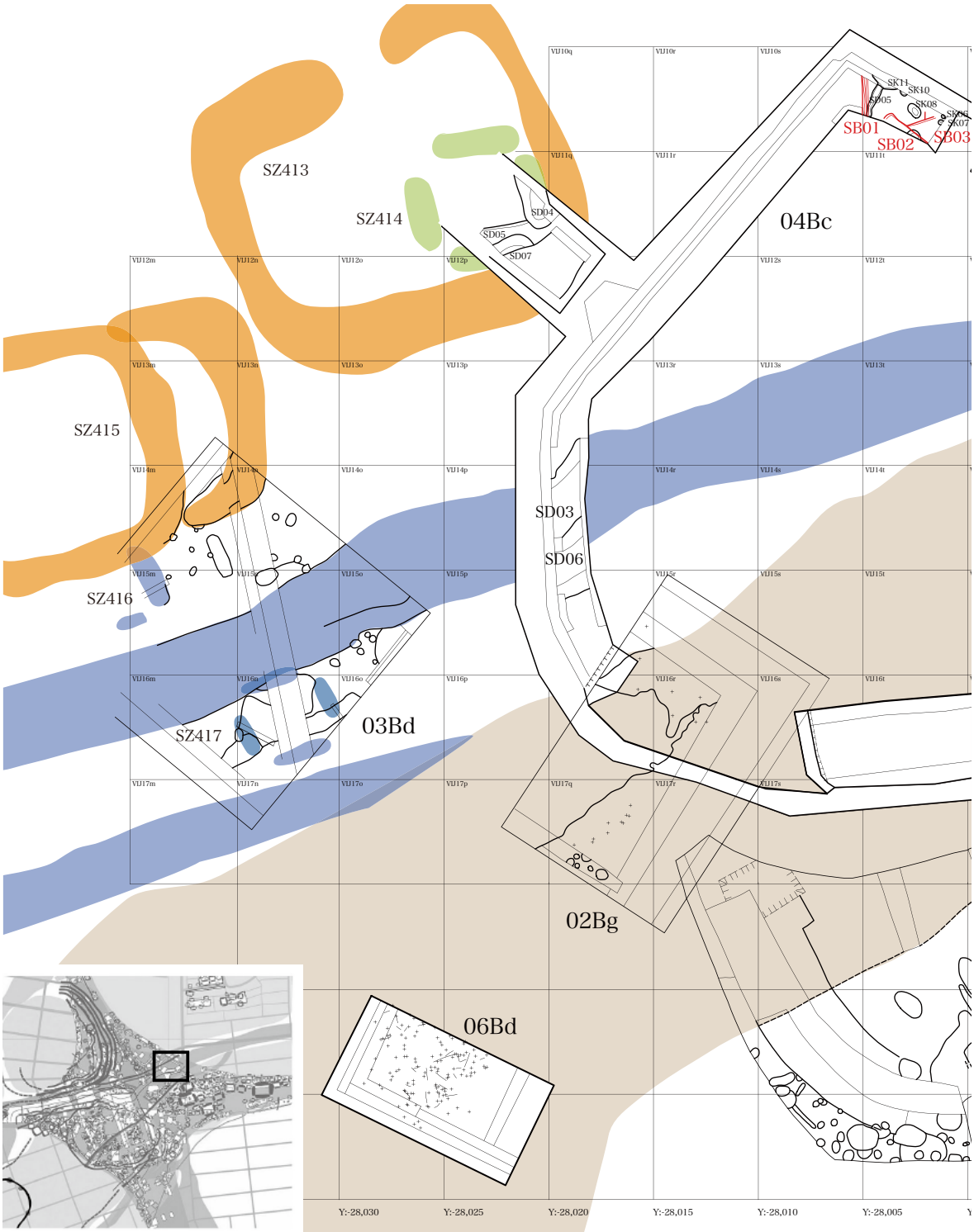
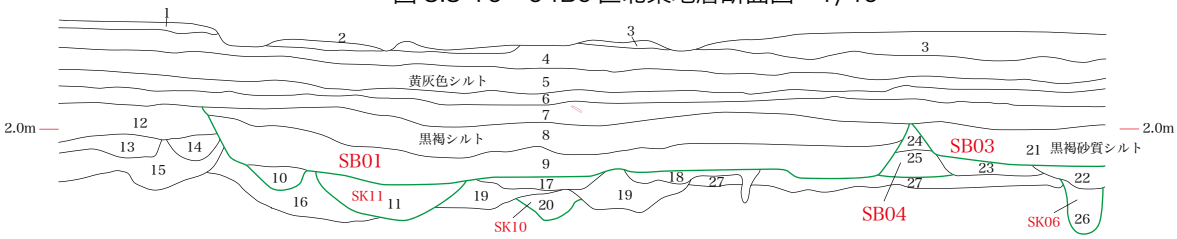
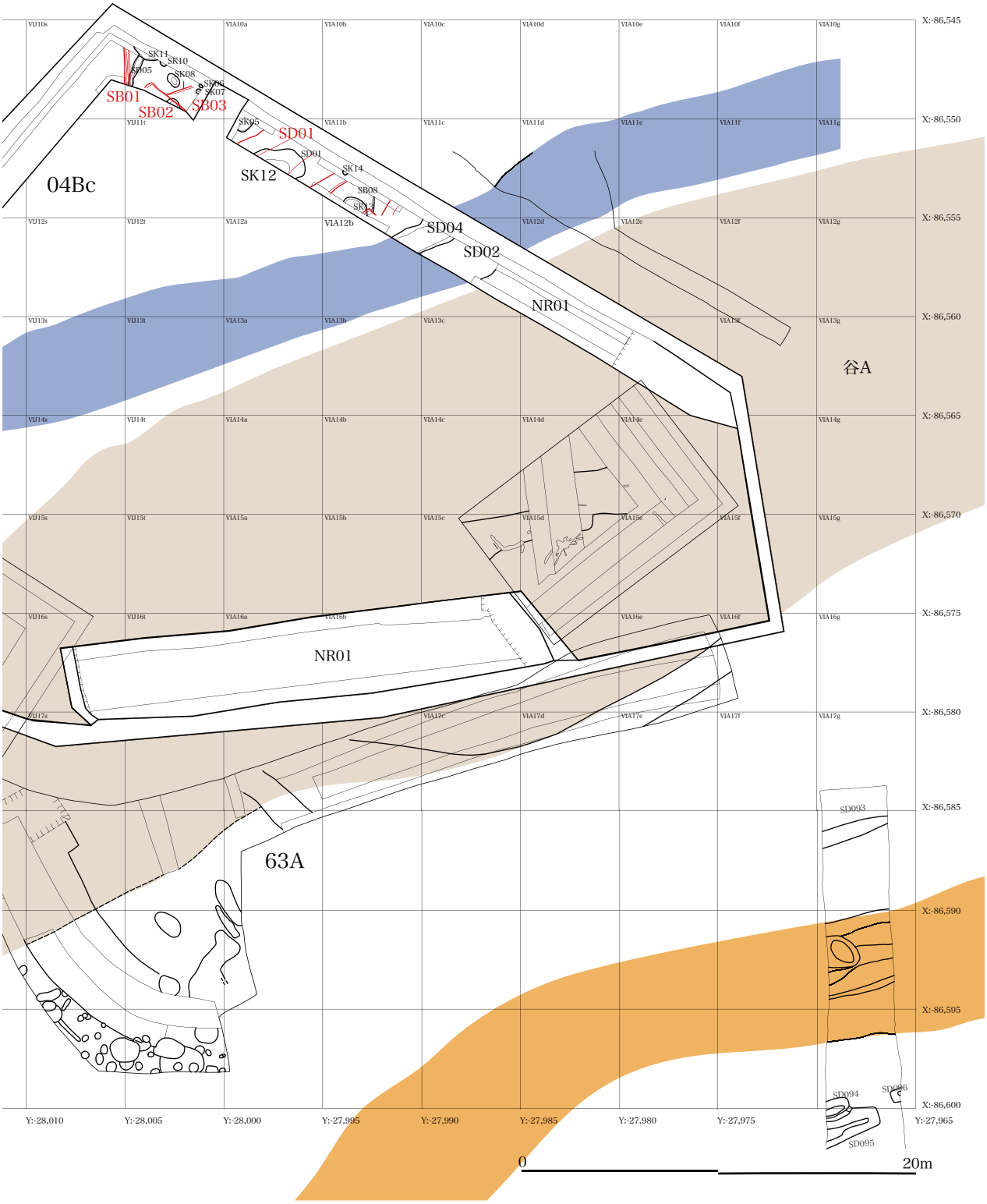


図 3.3-9　北墓域その 3（04Bc・06Bd）　1/300

図 3.3-10　04Bc 区北東地層断面図　1/40





- 弥生時代前期
- 弥生時代中期（朝日式）
- 弥生時代中期（貝田町式）
- 弥生時代中期後葉（貝田町式３新・高蔵式）
- 弥生時代後期（八王子古宮・山中式）
- 古墳時代早期・前期（廻間・松河戸式）

3.3.5　06Bd 区

調査区は朝日遺跡東側の谷 A 南岸付近に位置する。調査区から南側へは，方形周溝墓が展開する地区（東墓域）となる。

層序

調査区全体が谷 A に含まれ，基本層序である朝日 C 層・U 層・M 層・H 層までのほぼ水平堆積層が存在する。H 層以下には，砂・シルトの互層が厚く堆積し，その下部の砂層までの間に黒褐色シルトである朝日 T 層が薄く堆積する。

主要遺構

朝日 H 層を除去した標高 0.6m 付近から，調査区東側で谷 A 左岸を検出することができた。谷 A 左岸の堀方に限定して薄く砂礫層が堆積するのが確認できた。その斜面からは杭を含めて含めて板材の出土が多く，注目できる。砂・シルトの互層からは遺物の包含はほとんど見られず，その直下のシルト層に土器・木製品等が散在する。供伴する遺物からは，貝田町式期を中心とする時期に所属するものと考えられる。

調査区西端コーナー部で破砕貝層が分布し，骨角器・木製品等が共伴する。調査区南側の谷 A 左岸斜面から堆積する薄い黒褐色粘土層（最下層）からは，朝日式土器を伴う。

全体に貝田町式期を中心にした遺物群と思われ，高蔵式以降の遺物はほとんど見られない。

小結

居住域からやや離れた地点である 06Bd 区において，骨角器・木製品，さらに貝層が存在する点は留意する必要があり，調査区西南側に存在する人為的な整地土・杭列を含め，谷岸での特定目的を意図した何らかの施設の存在を類推させる。所属時期は朝日式 1 期。

Wiki・Blog-memo

06Bd 区：調査区北側に存在する谷 A 右岸と想定した落ち込み状の傾斜が存在する。注目すべきは，その上部だけに薄く砂礫層が堆積する。あるいは谷 A 岸部に設定された特殊な祭祀場跡である可能性も考慮する必要がある。周辺から板材の出土が多く注意が必要である。砂層内からの土器の共伴資料からは弥生中期前半期が中心と思われる。---2007-02-01

06Bd 区：001NR の掘削。T 層下砂層の掘削完了し、３段目掘削に移行。砂層中より多量の木製品等が出土（d-013～048）。d-019 木容器、d-020 木製刺突具、d-030・044 鍬柄等注目される遺物が出土した。東側谷落ち際出土の d014 板杭周辺に複数の杭が確認され、今後黒色粘土層掘削時に注意が必要。---2007-02-01

06Bd 区：001NR の掘削。東側より灰褐色土層の傾斜検出始める。中央部より西側の砂層下黒色粘土層より多量の木製品等が出土（d-049～075）。d-057 切目石錘、木製品等が注目される。西端トレンチ内より貝層を確認、破砕貝層のため内容種別は難しいがカキあるいはハマグリのように見える。同トレンチ内での標高は海抜０ｍを下回るものの、地下水浸潤は少ない。月曜日は引き続き黒色粘土層の掘削、地層断面図作成の予定。---2007-02-02

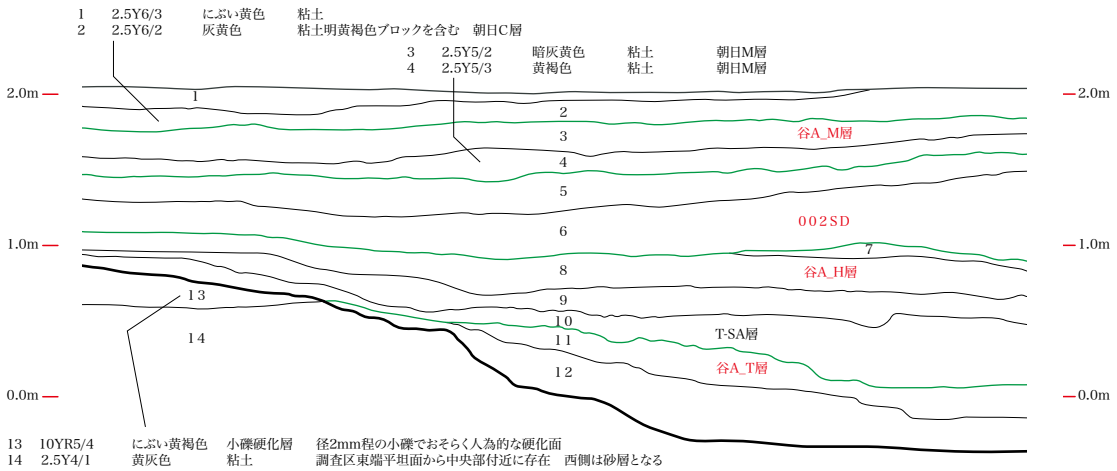


図 3.3-11　06Bd 区地層断面図　1/50

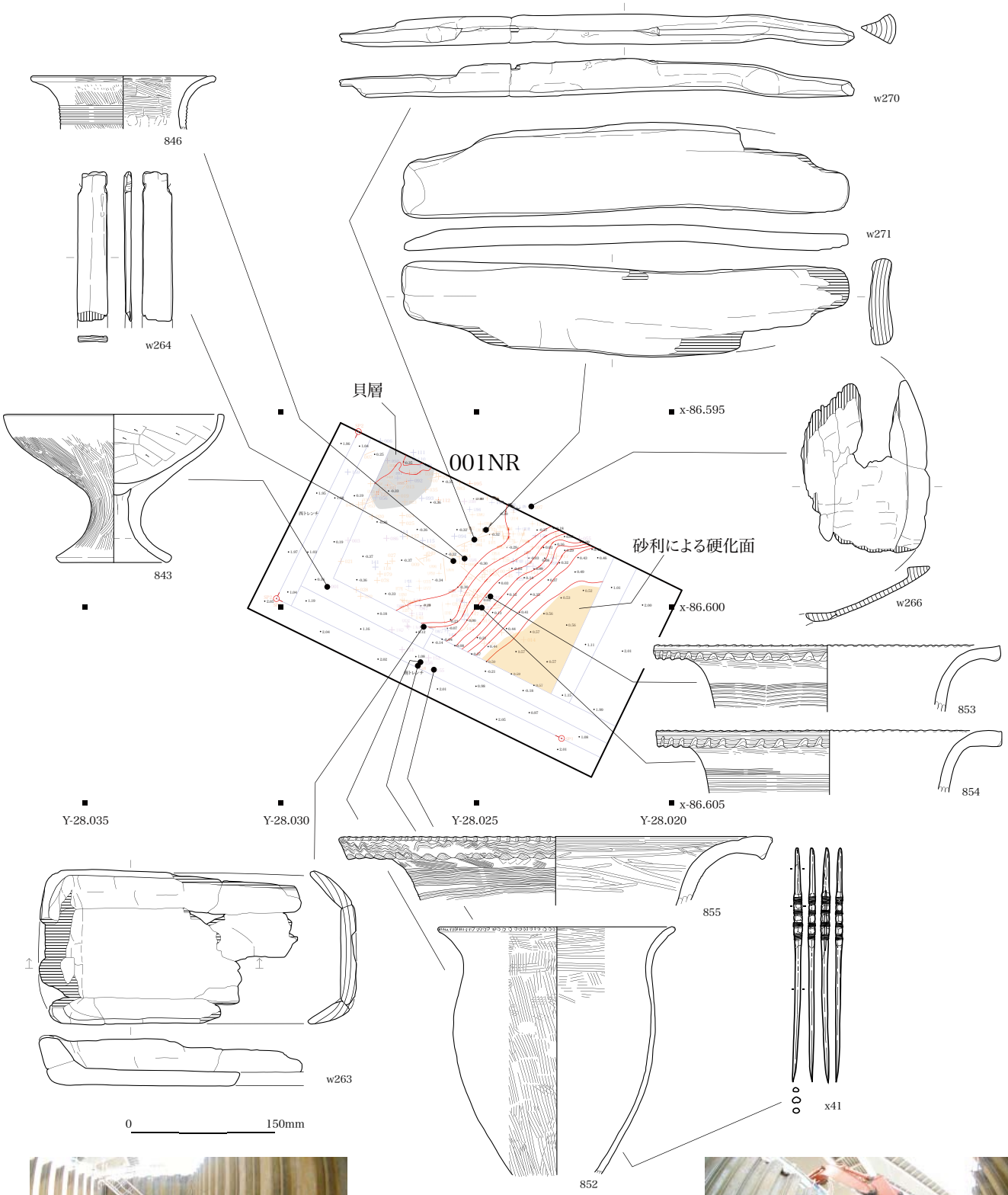


図 3.3-12　06Bd 区（谷 A）
遺物出土状況　1/150

3.3.6　06C 区

調査区は谷 B が谷 A から分岐し，南東側に流路を変化する場所に位置する。調査区北東部には，谷 B 左岸である東墓域の西端部に位置する微高地がわずかに見られ，調査区南西に向って急速に傾斜面を形成する。

層序

谷 B に堆積した基本層序は，上から朝日 C 層・U 層・M 層と 0.3m ほどの単位で厚く堆積し，谷 B 最下層付近には朝日 H 層を中心とした複雑な砂・シルトの堆積が認められる。

主要遺構

調査区全体が，谷 B 左岸（東岸）に相当し，西に向って傾斜がきつく，標高 0.4m 付近からは緩斜面に以降する。谷 B 下層の砂堆積層までの深さは，基盤シルトが露出する微高地から 2m を測る。

谷 B の最下層には砂と黒色シルトが交互に堆積し，多量の土器細片が出土している。ほとんどが二次的なものと思われ，明瞭な遺物の出土状況は山中式期に所属する資料に限定できる。棒状・オール状の木製品などが出土している。調査区中央部には不定形な大型土坑 004SX が存在し，砂・シルトのラミナ状の堆積が認められる。東岸の斜面には 003SD と 005SD が存在し，墳丘墓に伴う周溝の痕跡と思われる。61M2 区 SZ185 の南東部分に相当する。

小結

谷 B 左岸に存在する貝田町式期の方形周溝型墳丘墓の縁を破壊する形で流路が形成された。谷 B への多量の流水は少なくても中期後半以降である可能性が高い。調査区は谷 A と谷 B が分岐し，61M2 区 SD8・9 に沿って存在するもう一つの流路が合流する地点。山中式期に中に流路の付け替え時期と多量の流水が存在した時期を想定できるようである。

Wiki・Blog-memo

06C 区：001NR-M・H、003SD、004SX トレンチ掘削を行う。M 層下の植物質砂質シルト層を H 層として掘削。003SD（周溝墓溝残欠）を完掘。調査区南側谷斜面から東西に広がる落ち込みを 004SX としてトレンチ掘削。底直上の斑土層から高蔵期の土器片が多数出土している。001NR-H と 004SX の境界と思われる付近から杭列（5 本）が検出された。遺物地点取り上げ d-048 ～ 067。---2007-02-28

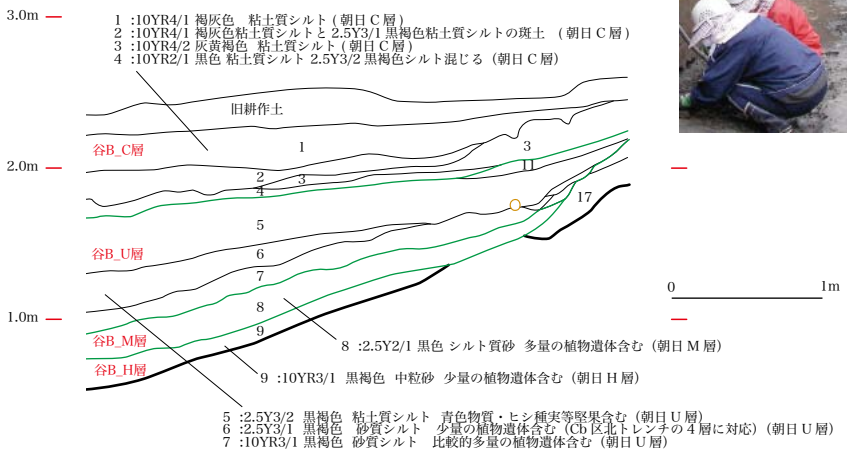


図 3.3-13　06Bd 区遺物出土地点

■ 弥生時代前期
■ 弥生時代中期（朝日式）
■ 弥生時代中期（貝田町式）
■ 弥生時代中期後葉（貝田町式３新・高蔵式）
■ 弥生時代後期（八王子古宮・山中式）
■ 古墳時代早期・前期（廻間・松河戸式）

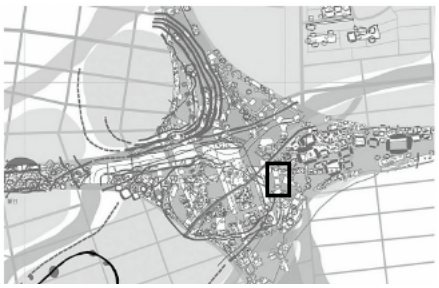


図 3.3-14　06C 区主要遺構配置図　1/300

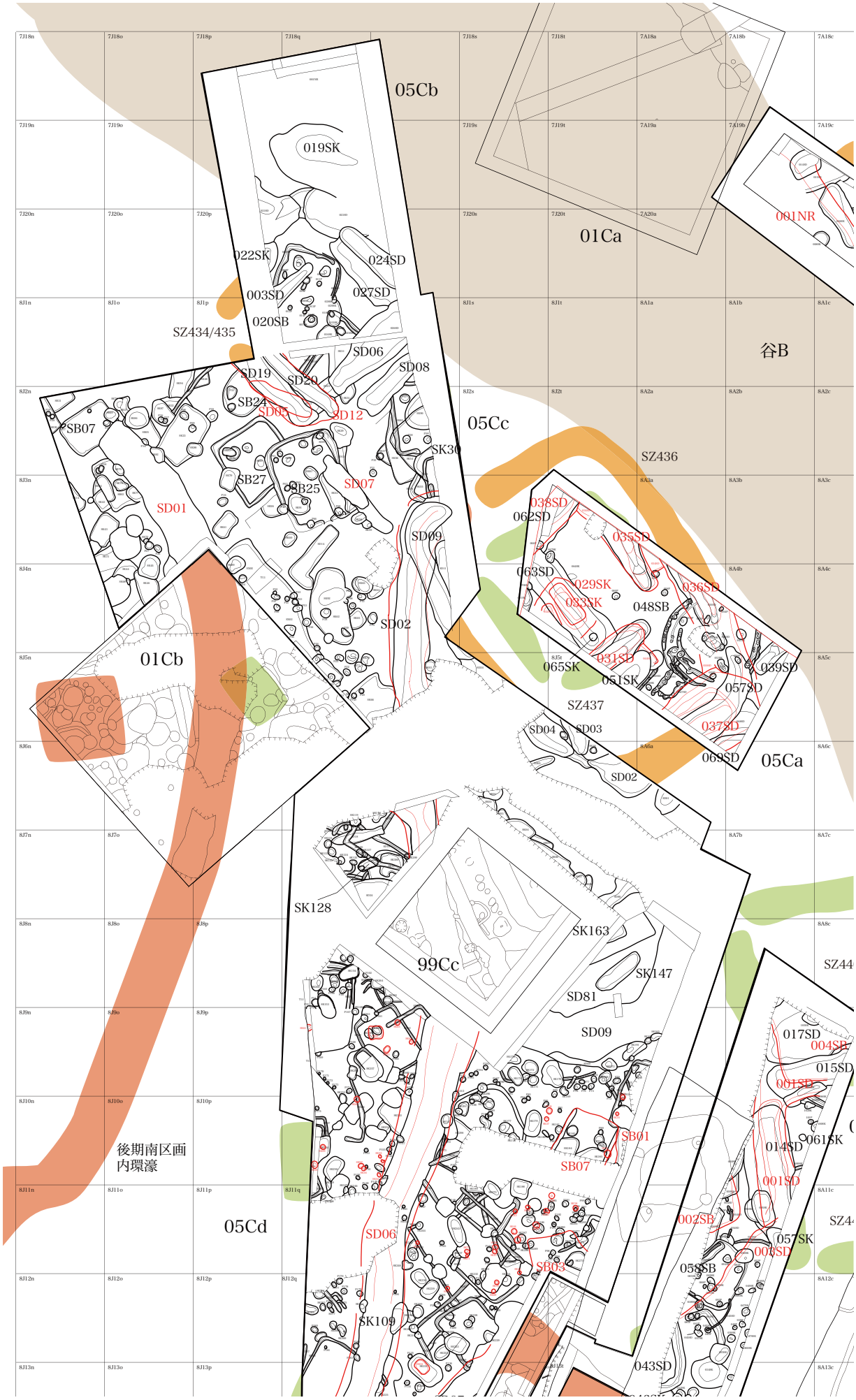
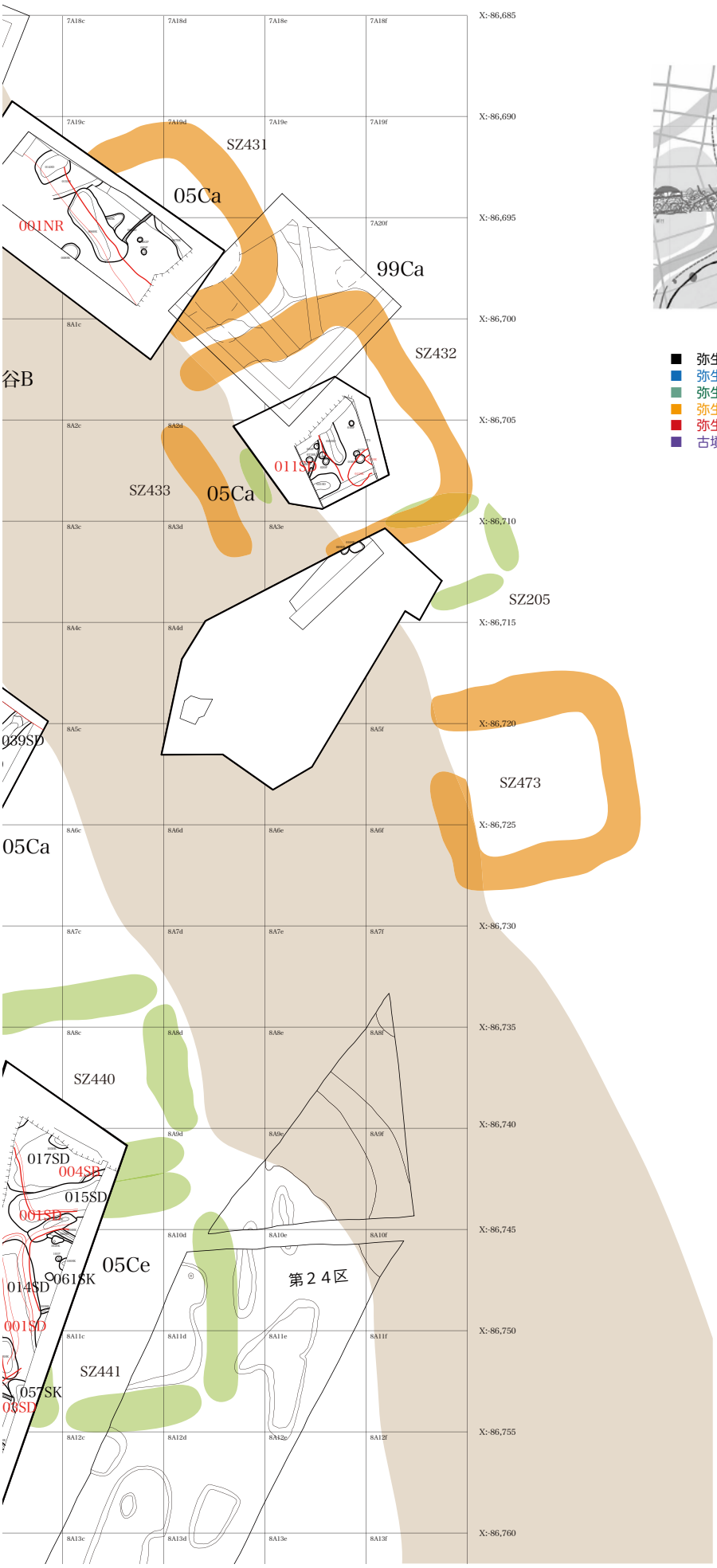


図 3.3-15　朝日 C 区　谷 B と南区画環濠　1/300



- 弥生時代前期
- 弥生時代中期（朝日式）
- 弥生時代中期（貝田町式）
- 弥生時代中期後葉（貝田町式３新・高蔵式）
- 弥生時代後期（八王子古宮・山中式）
- 古墳時代早期・前期（廻間・松河戸式）

図 3.3-16　朝日Ｃ区　谷Ｂと南区画環濠その２　1/300

3.3.8　05Ca・Cb・Cc・Cd・Ce 区

Ca・Cb 区は谷 B の両岸域に位置し，調査区が旧調査区および工事ヤード等の関係から 5 箇所に分断される。谷 B 両岸を中心とした地区で，右岸には南区画東端部の環濠が存在する。

層序

朝日 T 層の上部には 0.2m の朝日 H 層が安定して堆積し，遺構内には朝日 M 層が比較的厚く（0.3m 前後）堆積する。なお，朝日 M 層と U 層の間に中粒砂の堆積が部分的に確認できる。中期の遺物を包含する T 層は 0.3 ～ 0.5m 前後で Cd 区で厚く堆積する。

主要遺構

05Cc 区では，調査区西寄りに後期南区画の内環濠 SD01 が存在し，調査区内で終焉する状況が確認できる。同様に外環濠 SD02 は谷 B に向かって彎曲して終焉するものと想定したい。谷 B と後期環濠の終焉部に囲まれた特異な空間を想定できる。05Cd-SD06 は後期南区画外環濠，SD02 の延長に位置し，調査区の中央部を南南西から北北東にゆるやかに蛇行しながら縦断する。溝底の高さが蛇行の折目部を境にして北を高く約 0.2m の段差を持つ。05Cc-SU01 ～ 10 は谷 B 沿いに帯状に集積した高蔵式期の土器を含む土器群であるが，これらは山中期の環濠の設定とその出入り口付近の整地作業により，二次的に集積したものと推測したい。

中期の遺構群としては，まず谷 B 両岸に沿って貝田町式から高蔵期の方形周溝墓が展開する。特に右岸には高蔵期の大型方形周溝墓 SZ436 が存在し，SZ437 を取り込んで大きく拡張する形で造営された。このような状況は近接する 05Cd 区 SZ438・SZ439 の関係と共通する。SZ436 のほぼ中央部には大型の方形墓壙 029SK が存在し，２個所の主体部を検出。その内の 032SK は木棺墓で，東隅から頭部の人骨，中央部にて屈折した脚部と思われる骨痕跡を確認した。なおその周囲から僅かな赤色顔料の粒子が点在する。調査区北東端に検出した松菊里型円形竪穴建物 048SB は，南側にピット列を伴い突出部を付設する可能性がある。

おおむね竪穴建物を中心とした居住域が展開するが，時期は高蔵期を中心に貝田町式後半期に所属するものが含まれる。竪穴建物が方形周溝墓と大きく重複関係が見られるも，その逆はない。朝日遺跡全域に共通するように，墓域から居住域に変遷をたどる地区は存在しない。

小結

Cc 区では朝日期に遡る資料も散見するが、遺構としては SK54 のみであり，貝田町式前半期の遺構（SK53・SK30・SB12・SB25・SB24）も少なく，おおむね谷 B 左岸にでは貝田町後半期を中心とする遺構群（居住域・墓域）が展開するものと思われる。これに重複する形で谷 B 両岸には大型方形周溝墓を伴い，高蔵期の墓域が設定された。そして後期になると山中 I 式期に北区画環濠を掘削し，調査区北端・谷 B 右岸に出入り口が設定された。なお他の地区と異なる点として，谷 B 右岸周辺地区の上層には廻間 III 式後半期から松河戸 I 式期にかけての竪穴建物が点在。

3.3.9　05Cf 区

調査区は朝日遺跡南墓域の東端部に位置し，調査区の東側を谷 B が南流する。

層序

他の地区と大きく異なり，朝日遺跡標準層序が確認できず，全体として黒色中粒砂が厚く堆積する状況が確認できる。

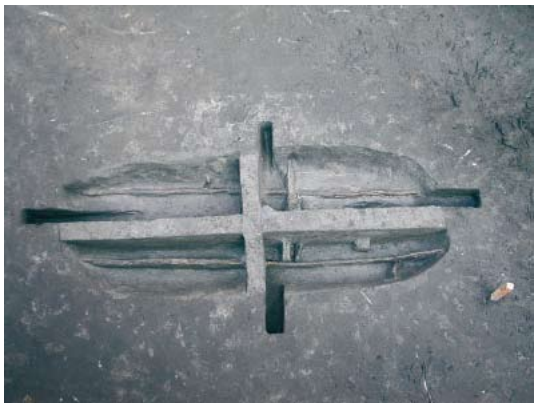
主要遺構

調査区北端に見られる溝 003SD とこれに併行する溝 009SD による蛇行溝に区画される形で，高蔵式期の方形周溝墓が展開する。出土遺物はほとんど見られないが，005SD 上層から左図の壺が出土している。こうした高蔵式期の周溝墓群を破壊する形で中粒砂が堆積したことが断面観察から確認できる。その後，009SD 上に方形掘方をもつ墓壙 006SK が存在する。006SK は長軸 2.43m・短軸 1.51m・深さ 0.20m を測り，内部に木棺墓の痕跡を確認することができた。なお，木棺墓は中粒砂で覆い尽くされていた。

木棺墓 004SK

墓壙上から棺内部にかけて中粒砂が堆積し，比較的良好な形で木棺痕跡を確認することができた。棺の形状は小口部と側板が傾斜をもつ槽形木棺と思われる。棺側で厚さ 0.05m 前後を想定でき，長軸 2.23m・短軸 0.92m・深さ 0.18m を測る。ただ複数の板材を組み合わせた構造であった可能性が高い。頭位を南南東に置き，棺内には側板に沿って２つの木弓状の木製品が副葬されている。さらに小杭が数カ所木弓に沿って打ち込まれていた。棺上にはほぼ中央部に拳大の河原石(安山岩）の配石が認められる。やや特異な墓壙であり，周囲に区画溝を伴う可能性は見られず，単独の埋葬と思われる。供伴する土器がなく，所属時期は不明瞭であるが，遺構や砂層の堆積状況から後期初頭を遡ることは考え難い。

なお，05Cf 区周辺では木弓の出土が集中しており，朝日遺跡南東端での特異なあり方は注目しておく必要がある。



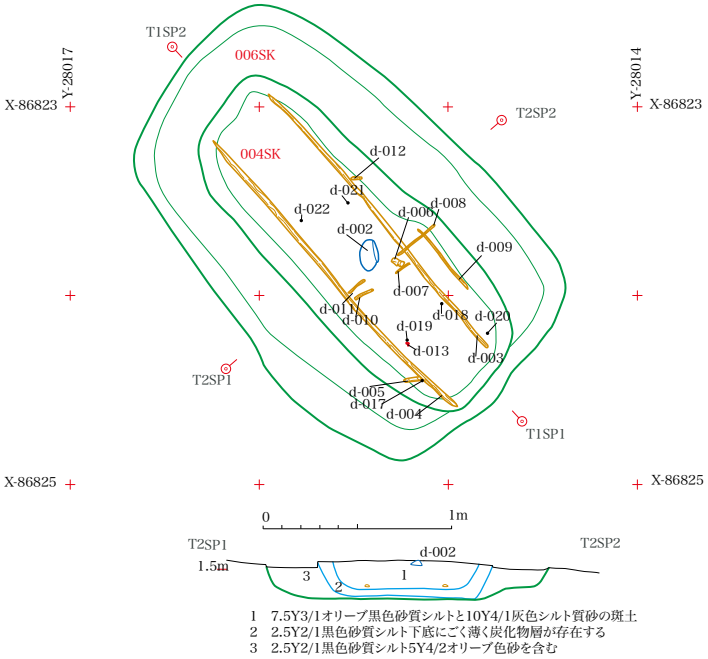


図 3.3-17　05Cf 区 006SK（1/40）

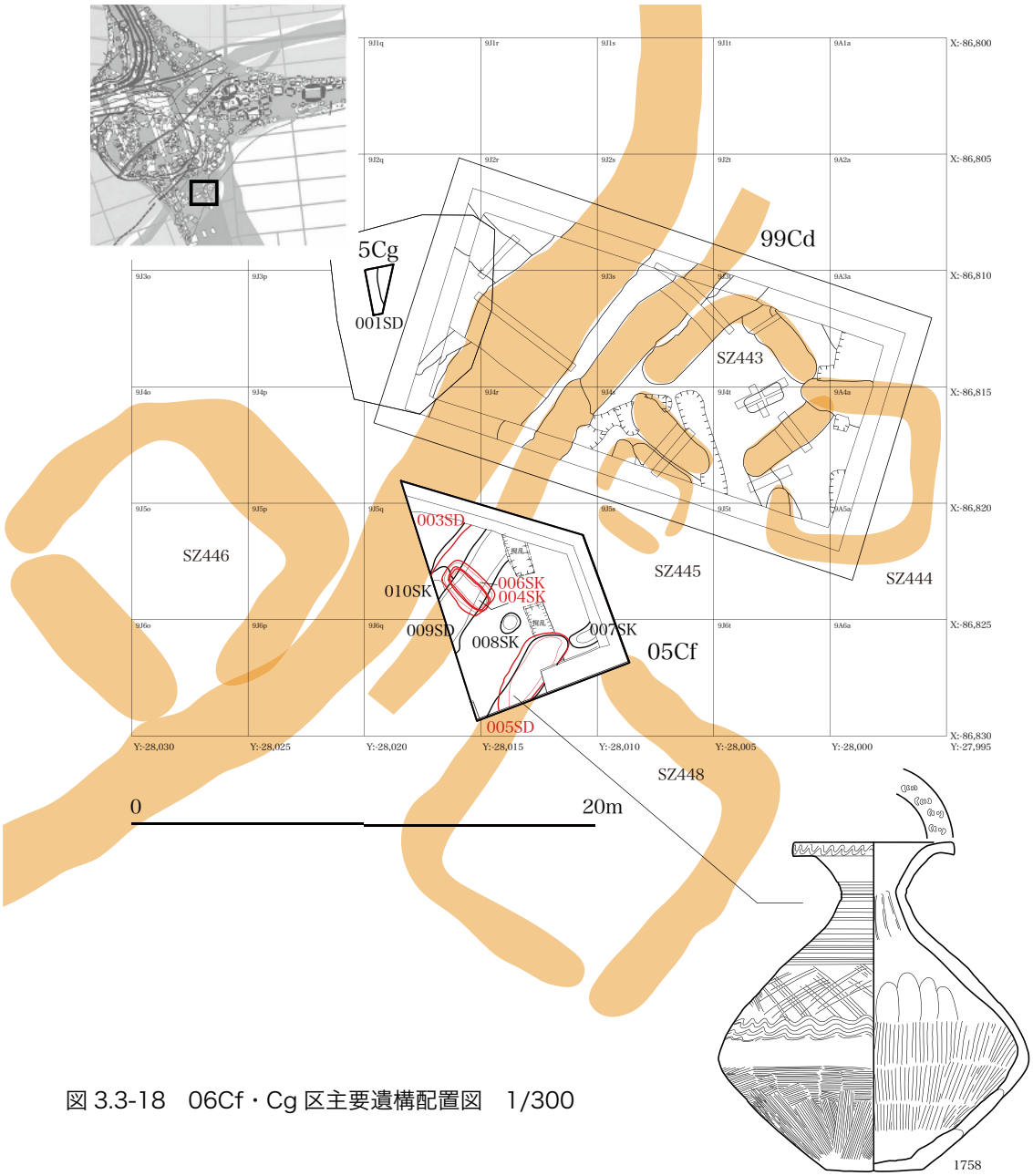
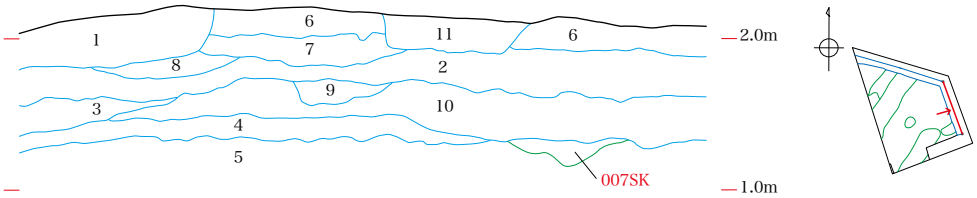


図 3.3-18　06Cf・Cg 区主要遺構配置図　1/300



1　5Y4/2灰オリーブ粘土と5Y3/1オリーブ黒色シルト質砂と2.5Y3/1黒褐色砂質シルトと5Y4/3暗オリーブ粘土の斑土(腐植物・酸化鉄分少量含む)
2　7.5Y4/1灰色中粒砂5Y3/1オリーブ黒色砂質シルトを少量含む
3　5Y2/1黒色砂質シルト
4　5Y2/1黒色シルト5Y4/2灰オリーブ砂質シルトをブロック状に含む(周溝墓盛土の再堆積)
5　5Y4/2灰オリーブ色中粒砂5Y3/1オリーブ黒色砂質シルトを少量含む(朝日G層)
6　7.5Y3/2オリーブ黒色砂質シルト腐植物・酸化鉄分含む
7　5Y3/2オリーブ黒色砂質シルト酸化鉄分・炭化物少量含む
8　5Y3/1オリーブ黒色砂質シルトと5Y3/2オリーブ黒色砂質シルトの斑土
9　7.5Y4/1灰色中粒砂と5Y3/1オリーブ黒色砂質シルトの斑土(炭化物少量含む)
10　5Y2/1黒色砂質シルト7.5Y4/1灰色中粒砂少量含む
11　5Y4/2灰オリーブ粘土と5Y3/1オリーブ黒色シルト質砂と2.5Y3/1黒褐色砂質シルトと5Y4/3暗オリーブ粘土の斑土(腐植物・酸化鉄分少量含む)

図 3.3-19　06Cf 区地層断面図（1/50）

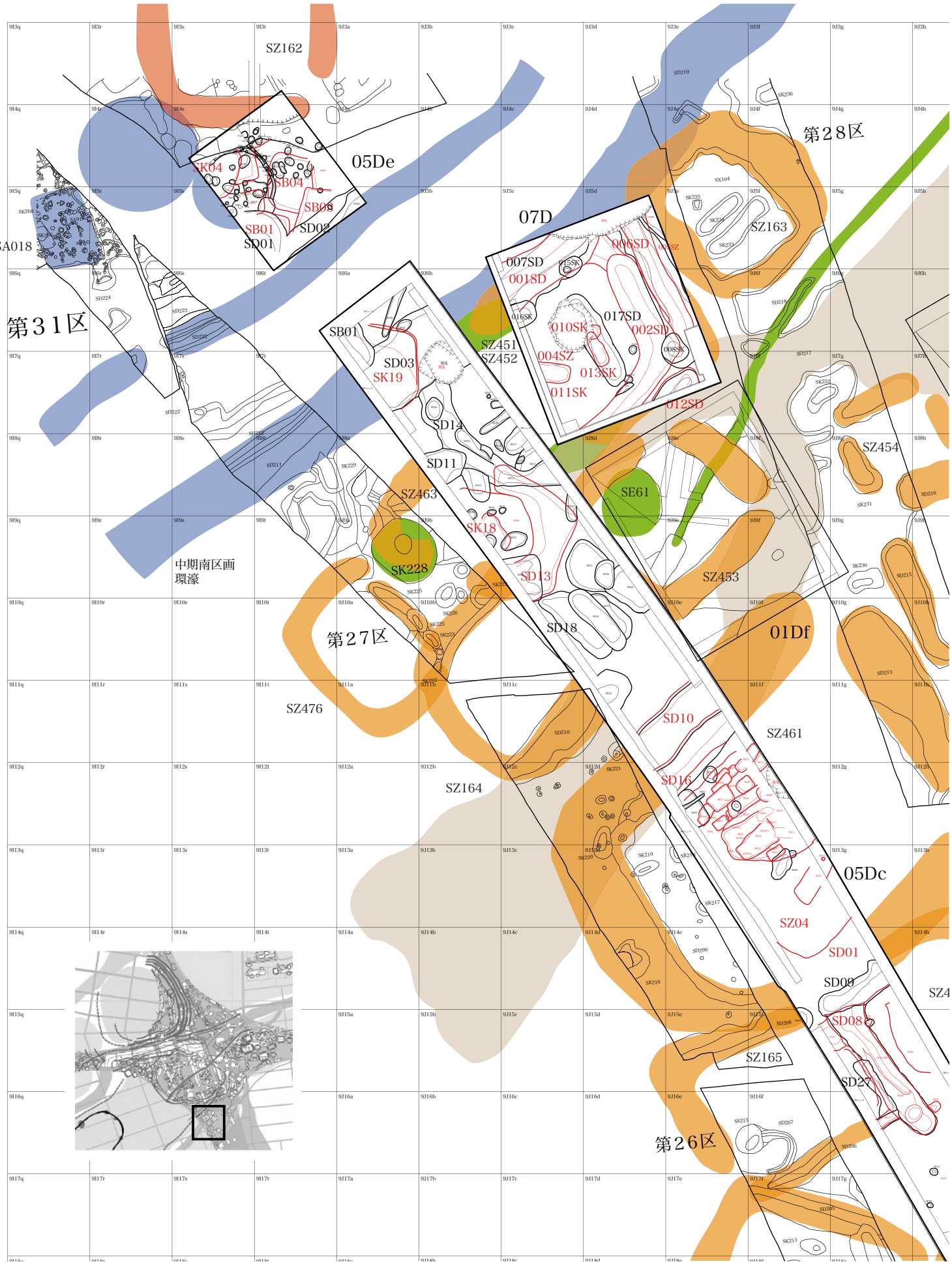
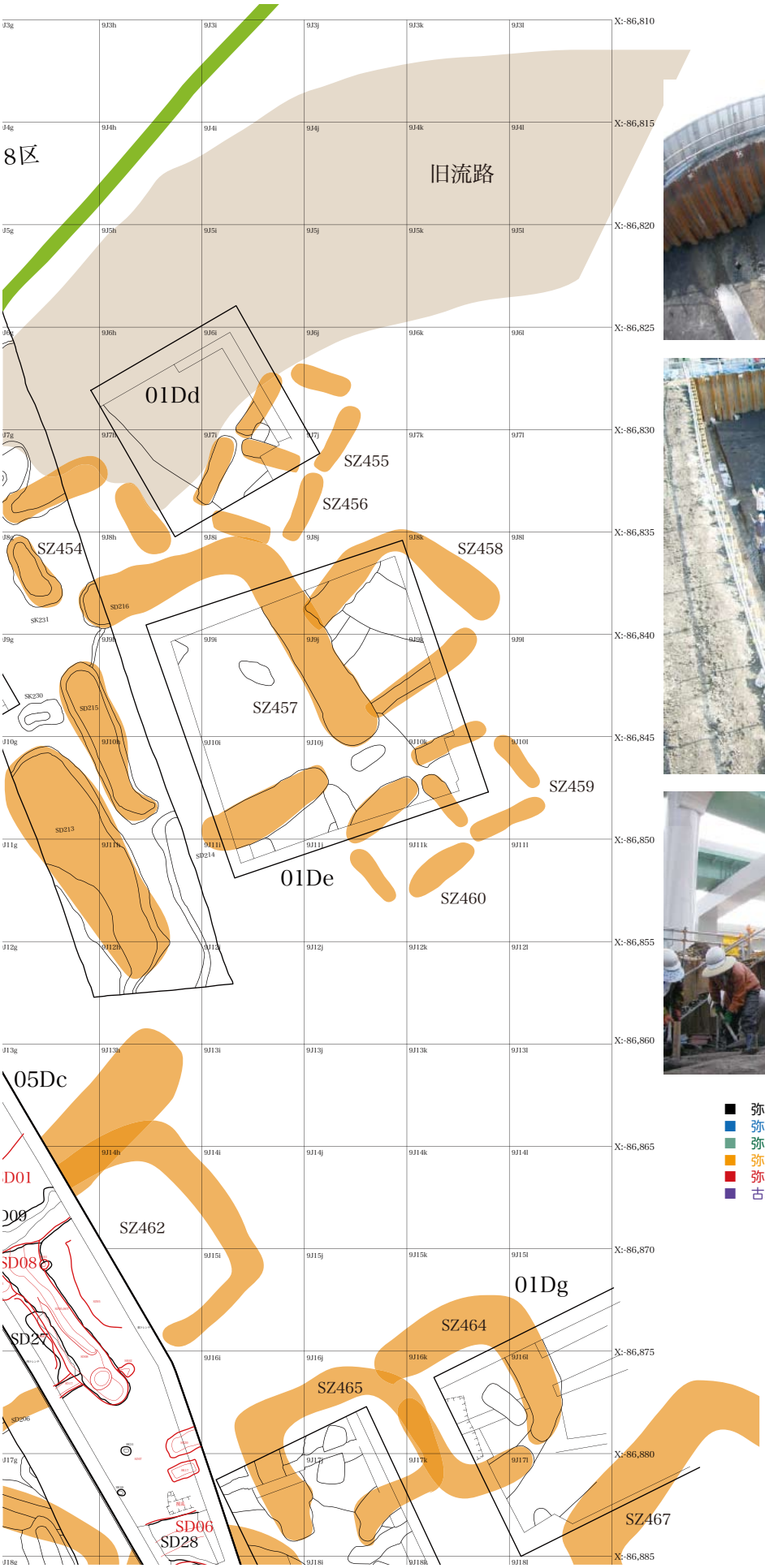


図 3.3-20　朝日Ｄ区　1/300



05Dd-SZ168

- 弥生時代前期
- 弥生時代中期（朝日式）
- 弥生時代中期（貝田町式）
- 弥生時代中期後葉（貝田町式３新・高蔵式）
- 弥生時代後期（八王子古宮・山中式）
- 古墳時代早期・前期（廻間・松河戸式）

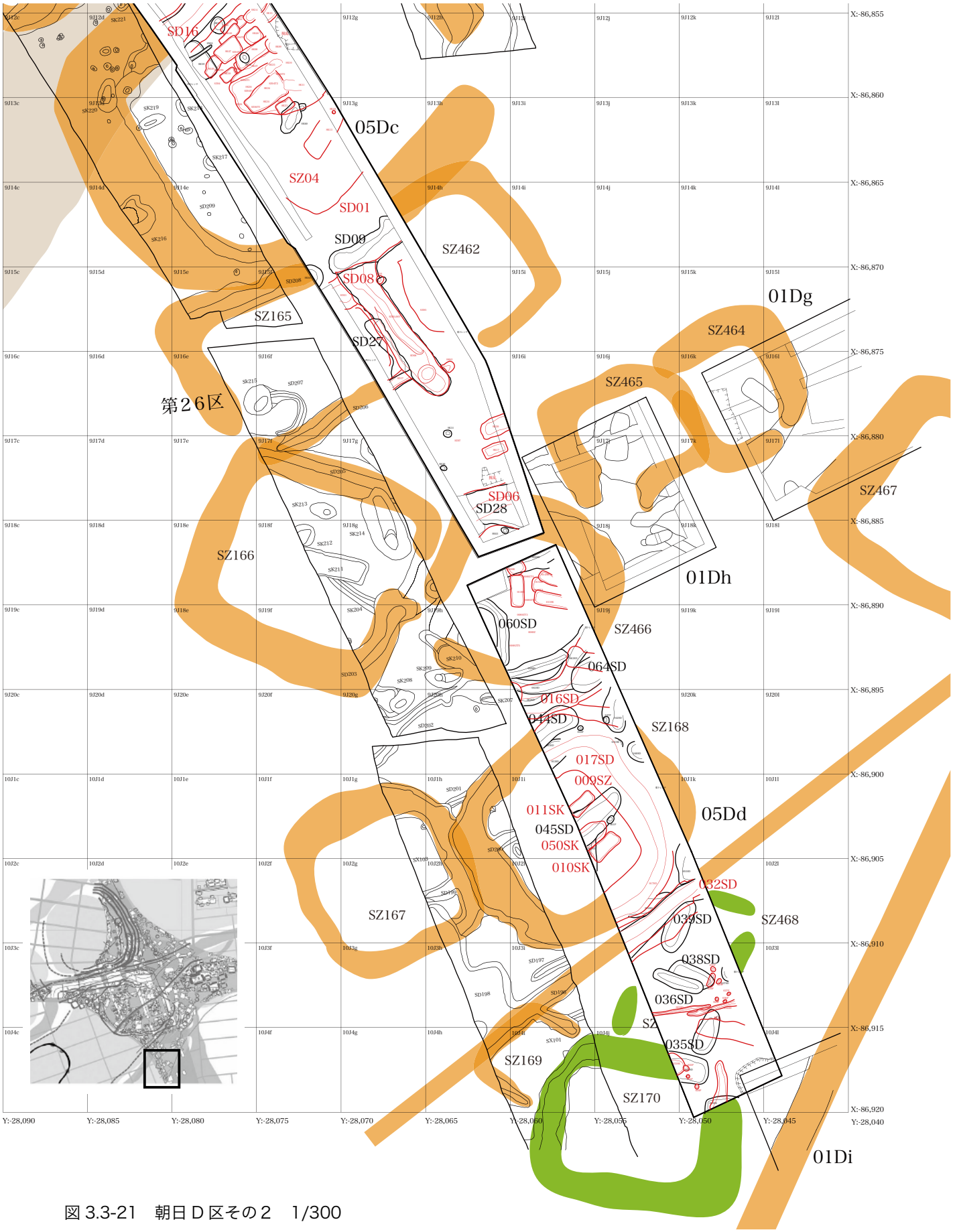


図 3.3-21　朝日Ｄ区その２　1/300

3.3.10　05Dc・05Dd・07D 区

調査区は，朝日遺跡中期南区画を画する環濠に近接する位置で，この大溝を境としてその南側には方形周溝墓群（南墓域）が展開する地区となる。

層序

05Dc 区 SD10 東壁において朝日標準層序を検討した。ほぼ安定して朝日 H 層・M 層が 0.2m ほど堆積し，方形周溝墓に伴う溝と盛土による凹凸が明瞭に確認できる。なお SZ461 と SZ452 との間には砂層の堆積(後期)が認められ，遺構が大きく削りとられ，朝日 H・M 層が厚く堆積する状況が確認できる。方形周溝墓群の墳丘部を縫う形で，流水による砂層が堆積している。

主要遺構

05Dc 区北隅に存在する溝 SD03（南区画 - 中期環濠）をさかいにして，その南側には広く方形周溝墓群が展開する。SD03 は弥生時代中期前葉（朝日式期）に掘削された溝で，朝日遺跡谷 C 左岸に展開する集落遺跡の南限を区画する溝として考えられている。遺物出土量はこの溝を境にして大きく異なり，南側では激減する。SD03 下層に存在する SD32 は，掘削時期が朝日式期に遡る可能性が高い。遺物の出土は希少であるものの，弓片や部材と考えられる木製品などが出土している。南側に広く展開する南墓域に築造された方形周溝墓は，おおむね高蔵式期を中心にして展開するものであるが，貝田町式 3 期に所属する方形周溝墓と一部に重複関係がみられる。特に注目される遺構としては，調査区中央部付近に存在する SZ461（05Dc-SZ04）がある。規模的にも比較的大きなものであるが，さらに墳丘上には複数の重複する主体部が存在する。

方形周溝墓 SZ463（05Dc-SZ09）は北溝にはやや不定形な陸橋部が認められ，陸橋部西側で溝内埋葬と推測できる SK21 を検出した。SK21 からは打製石剣・赤色顔料が付着する摺石・磨製石斧片および粗製有孔鉢がまとまって出土している（高蔵期）。07D 区を中心にして SZ451･452 が存在する。SZ451（貝田町式）を大きく東側に拡張する形で盛土し，規模を拡大させる（SZ452 高蔵期）。その後に中央部付近には複数の埋葬主体が存在する。その内の 07D-013SK からは人骨痕跡が確認できた。05Dd 区中央部には良好に盛土が残存した方形周溝墓 SZ168 が見られる。複数の埋葬主体が存在する。その南側には溝 032SD が存在し，この溝を境にして高蔵期の遺構群は見られなくなる。

小結

南区画中期環濠以南には，高蔵式期を中心とした墳墓の拡幅等を伴う方形周溝墓群が展開する。遺跡の南限とした 01Di 区の溝までの 100m 幅の中に，南墓域が形成されている。05Dc 区北端での方形周溝墓下層には，井戸や土坑を伴う貝田町式を中心とする遺構群が展開する。なお，廻間様式以降の遺構および遺物の出土はほとんど確認できない。

Wiki・Blog-memo

05Dc：SZ462 については，L 字型の周溝墓であるが，西周溝の再整備が認められ，その際に西溝中央部に陸橋部が存在し，B1 型を呈する可能性が高い。
南区画中期環濠である SD03 は，貝田町式新段階に溝内に通路状の貼出部が見られる。貼出部は、北側を SD32 の埋土を削り出す形で、かつ南側を地山を混ぜた土を盛り上げる形でつくられている。貼出部の東側には細頸壺をはじめとする土器群とともにイノシシ下顎骨が出土している。一方、貼出部の西側には細い木片が並んで出土している。

Wiki・Blog-memo

07D 区：朝日 H 層の堆積層を遺構に則して除去した段階で，興味深い資料を得ることができた。調査区中央部には 004SZ 盛土が明瞭に残存するが，その北東に存在する陸橋部周辺から山中 I 式初頭段階の高杯が出土し，特に d-004・008 は陸橋部に配置された状態で発見できた。また陸橋部は基盤シルトと黒褐色シルトの混合斑土により丁寧に付設されたものであった。山中式高杯の土器配置は，遺跡内各所の墳丘墓でも確認できており，墓前祭のあり方を考える上で大変興味深い事例と思われる。

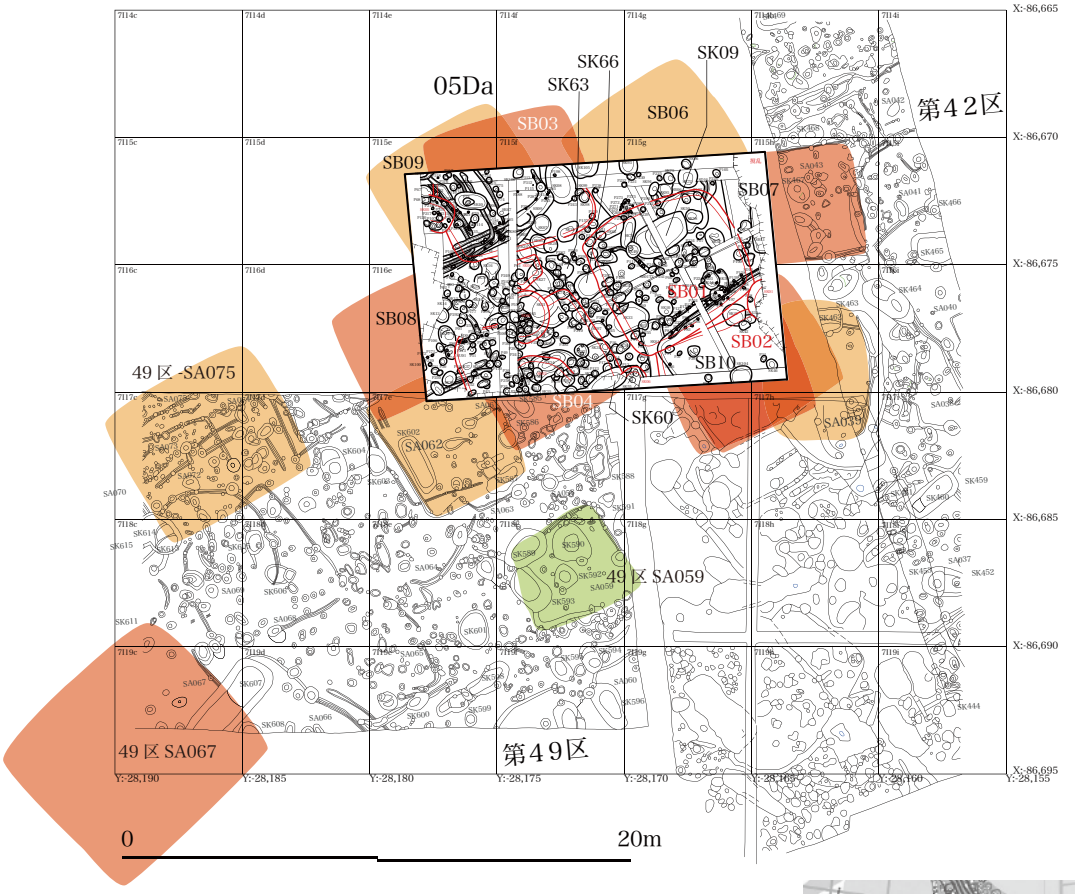
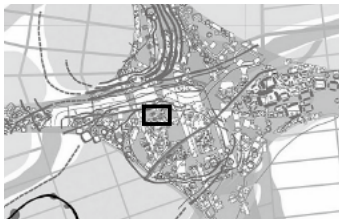


図 3.3-22　05Da 区　1/300



3.3.11　05Da 区

谷 A 左岸の南区画 - 後期内環濠に近接してその内部に位置する調査区。

層序

朝日 T 層が 0.7m と厚く堆積し，遺物の包含も著しい。その上部には朝日 H 層・M 層が 0.1m と水平堆積する。

主要遺構

SB01 をはじめ，その多くが八王子古宮式から山中 I 式に所属する方形プランをもつ竪穴建物が展開する地区である。特に竪穴建物 SB08 は壁周囲に不規則に小ピットを巡らせ，北辺に並行し約 1 m内側に複数の周溝を持つ。竪穴建物 SB09 は東辺に並行する多条の小ピットを伴う周溝がみられ，これらを建物拡張の痕跡と見做せば、5 回前後（約 4 m）の拡張が行われたことになる。なお南辺にも 4 条の周溝が認められたが，拡張幅は 1 m以内にとどまる。SB10 は地山面にほぼ垂直に掘り込まれた掘方と，北壁と小ピットを伴う周溝が明確に検出された。床面のほぼ全面に，地山の淡黄色シルトを細かく突き崩し黒色土と混合して用いた版築状の貼り床が複数面確認され、その層厚は全体で 0.2m 近くに達する。竪穴建物周囲には主軸を同じくする土坑（SK09・SK60・SK97）を伴う。土坑内は大量の土器片の他，焼土・灰・炭化物で充填されていた。

なお SB01・03・04 が配置された，その間に SK63 が存在し，鹿が描かれた筒形土器が出土している。

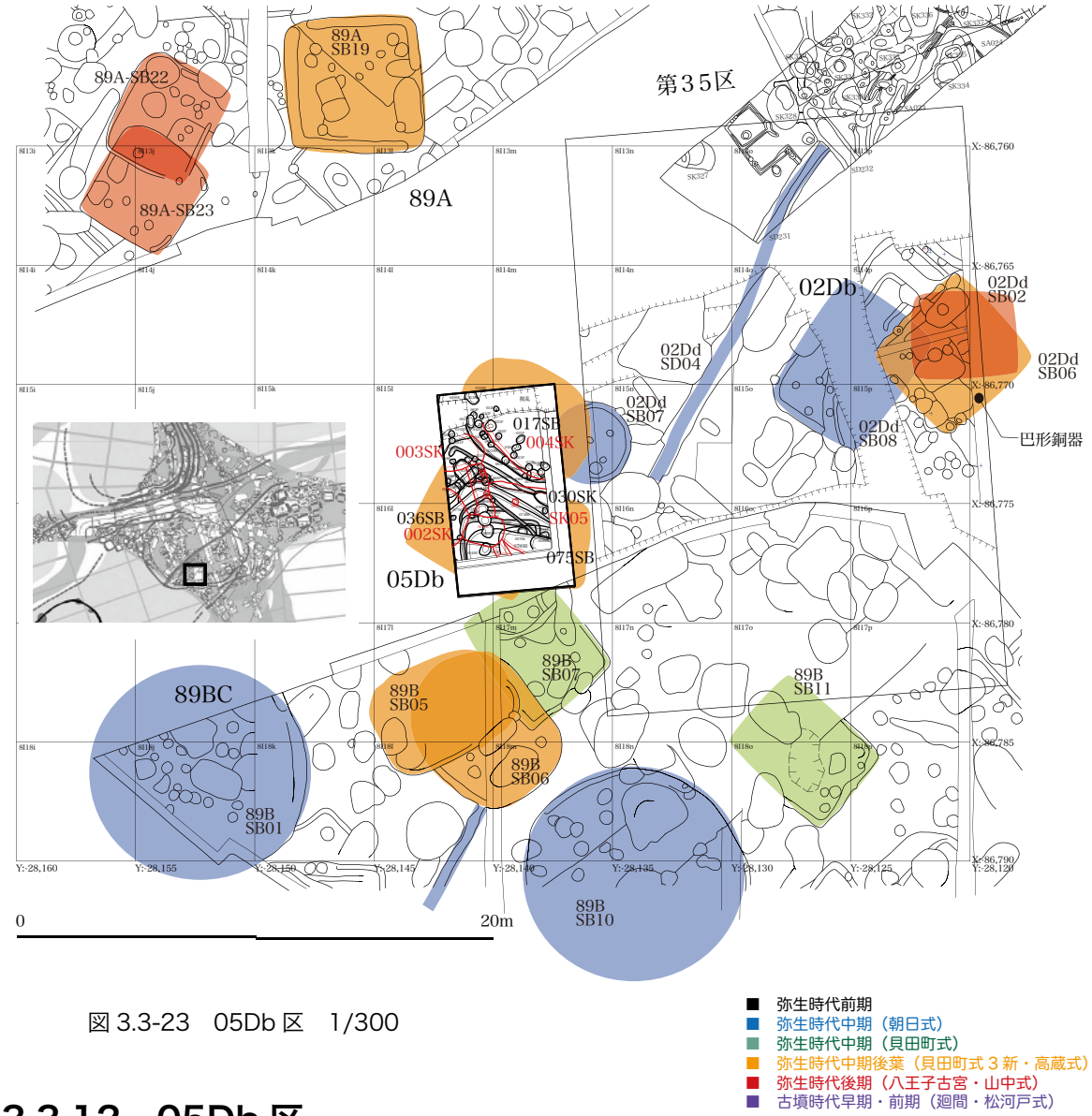


図 3.3-23　05Db 区　1/300

3.3.12　05Db 区

南区画 - 後期環濠内の中央部南端に設定した小規模な調査区で，後期内環濠まで 15m，中期環濠まで 55m の場所に位置する。

層序

0.2m ほどの朝日 H 層と 0.4m から 05m ほどの中期を中心とした整地層（朝日 T 層）が厚く堆積し，遺物の包含も著しい。

主要遺構

後期に所属する遺構は，明確に把握できないものの竪穴建物が数棟錯綜する形で存在するようであり，その下層には中期の居住区が存在する。主体は高蔵式期を中心としており，楕円形・方形状を呈する竪穴建物が数棟重複ないし建直し等の状況が認められる。なお最終加工面においては朝日式期に遡る土坑等の遺構も確認できている。

調査区周辺は，中期から後期に至まで数度の整地と造成面が繰り返し見られる場所であり，明確な遺構の把握は極めて困難な状況である。出土遺物も整地に伴う砕片化が著しく遺構との整合性は確認が難しいものが多い。

図 3.3-24　北区画（04Aa・05A・06A 区）　1/500

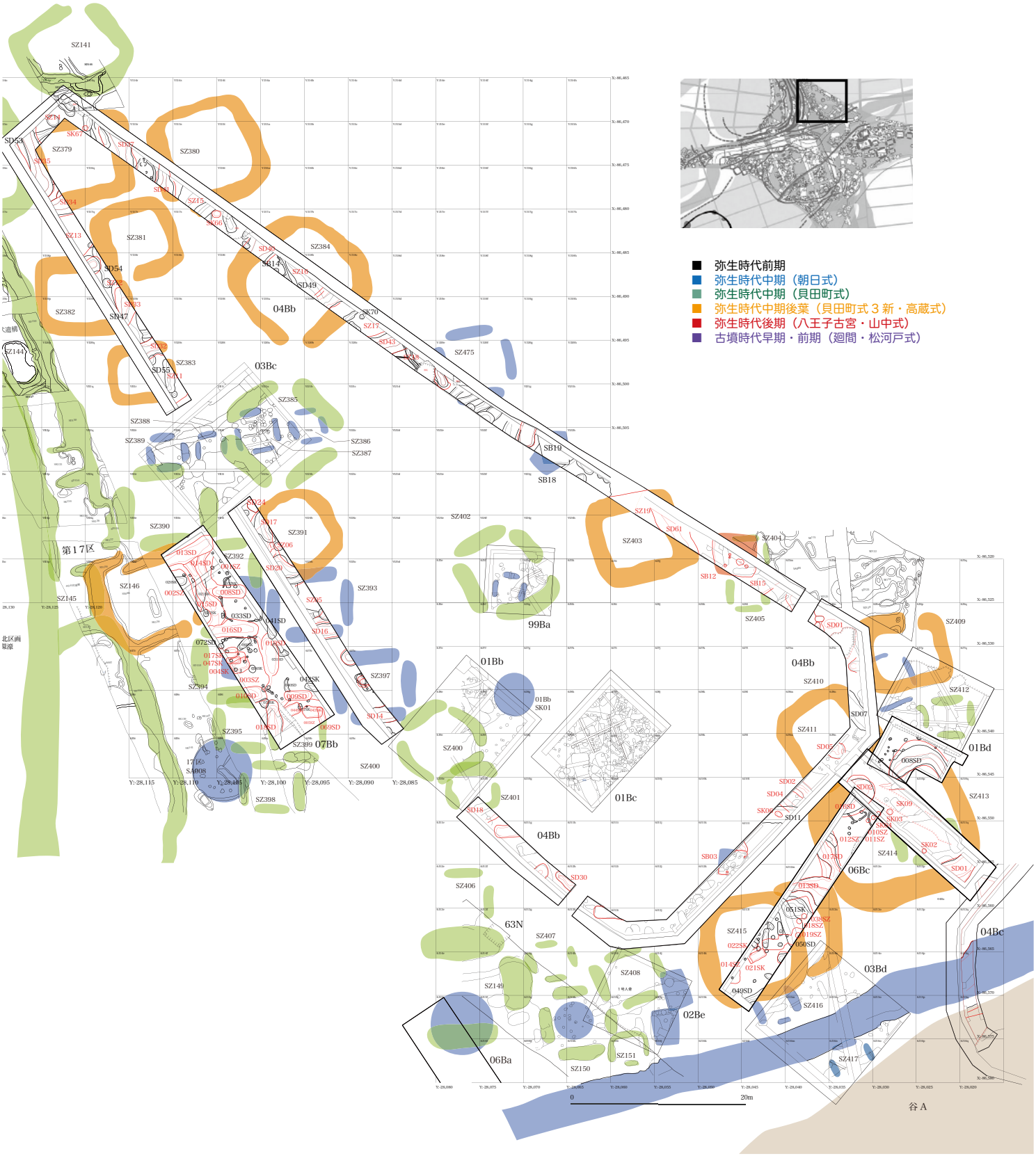
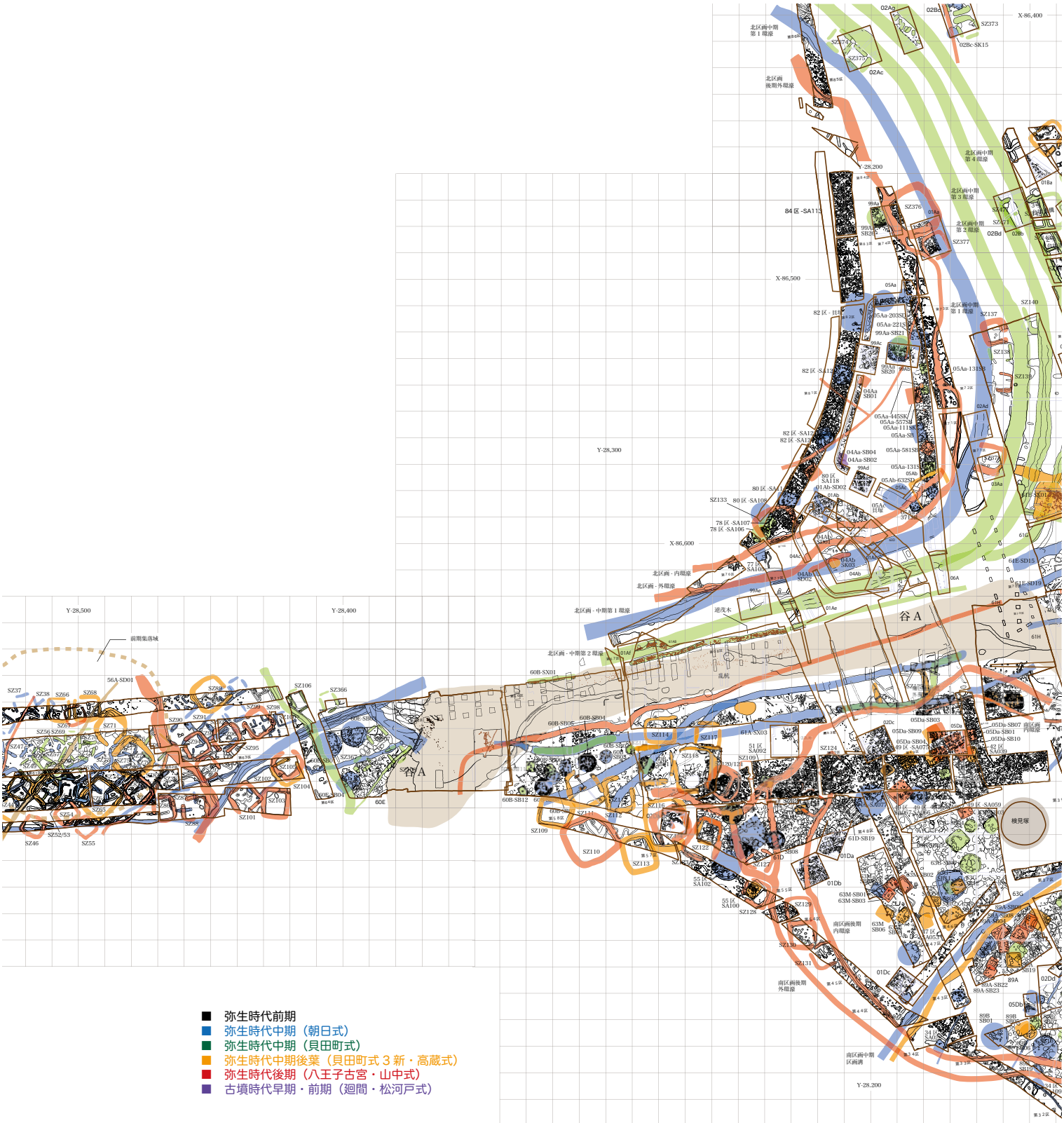
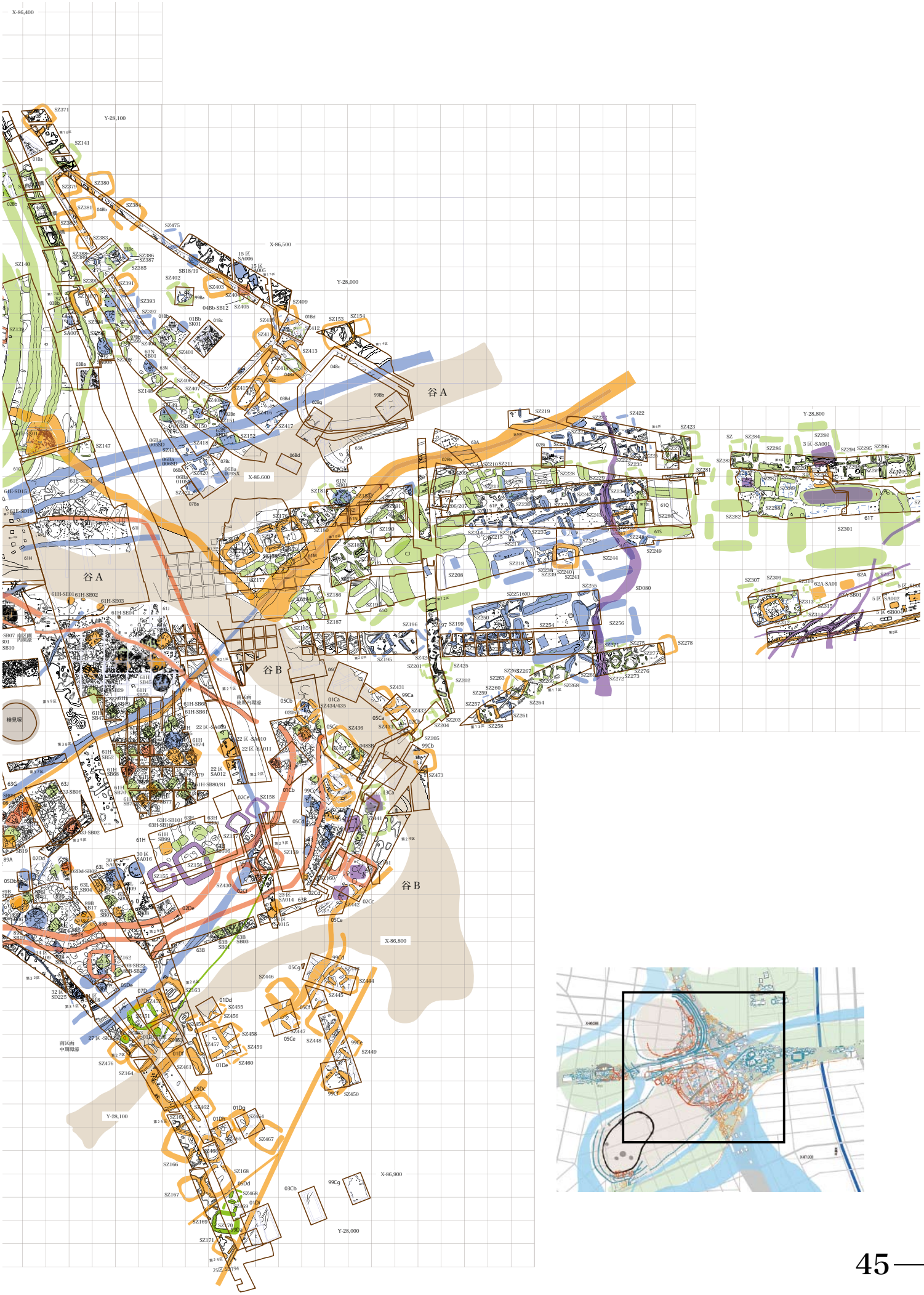


図 3.3-25　北墓域（04B・06Bc・07Bb 区）　1/600

図 3.3-26　谷 B 周辺（05C 区）　1/500

図 3.3-27　南墓域（05CD・07D 区）　1/500


谷 A
谷 A
検見塚
X-86,400
X-86,500
X-86,600
Y-28,200
Y-28,300
Y-28,400
Y-28,500
Y-28.200
前期集落域
北区画中期 第 1 環濠
北区画 後期外環濠
北区画中期 第 4 環濠
北区画中期 第 3 環濠
北区画中期 第 2 環濠
北区画中期 第 1 環濠
北区画 - 内環濠
北区画 - 外環濠
北区画 - 中期第 1 環濠
北区画 - 中期第 2 環濠
南区画後期 内環濠
南区画後期 外環濠
南区画中期 区画溝
南区画 中期濠
逆茂木
乱杭
84 区 -SA113
82 区 -SA112
82 区 -SA113
80 区 -SA108
78 区 -SA107
78 区 -SA106
77 区 SA101
55 区 SA100
51 区 SA092
49 区 SA039
42 区 SA039
40 区 -SA059
47 区 SA053
SZ133
SZ373
SZ374
SZ375
SZ376
SZ377
SZ140
SZ137
SZ138
SZ139
SZ106
SZ366
SZ37
SZ38
SZ66
SZ68
SZ67
SZ71
SZ90
SZ91
SZ98
SZ95
SZ102
SZ104
SZ101
SZ46
SZ52/53
SZ55
SZ109
SZ110
SZ113
SZ114
SZ117
SZ116
SZ112
SZ122
SZ124
SZ129
SZ131
SZ128
SZ148
SZ120/121
SZ109
60B-SX01
60B-SB04
60B-SB05
60B-SB12
60E
56A-SD01
61A-SX03
05Da-SB09
05Da-SB04
05Da-SB03
05Da-SB01
05Da-SB10
05Db-SB07
61D-SB19
63M-SB01
63M-SB03
63M SB06
63G
63A-SB05
63A-SB08
63A-SB01
89A
89A-SB22
89A-SB23
89B SB01
89B SB02
89A SB19
61E-SD15
61E-SD19
61H
61G
02Ac
02Ad
02Dd
02Bd
02Bc-SK15
02Ag
02Bb
02Bc
01Ae
01Ac
01Ab
01Ba
01Da
01Db
01Dc
05Aa
05Ab
05Ac
05Ba
99Aa
99Ac
99Ad
04Aa
04Ab
04Ac
06A
06B
06C
06D
06E
06F
06G
06H
06I
06J
06K
06L
06M
06N
06O
06P
06Q
06R
06S
06T
06U
06V
06W
06X
06Y
06Z
06AA
06AB
06AC
06AD
06AE
06AF
06AG
06AH
06AI
06AJ
06AK
06AL
06AM
06AN
06AO
06AP
06AQ
06AR
06AS
06AT
06AU
06AV
06AW
06AX
06AY
06AZ
06BA
06BB
06BC
06BD
06BE
06BF
06BG
06BH
06BI
06BJ
06BK
06BL
06BM
06BN
06BO
06BP
06BQ
06BR
06BS
06BT
06BU
06BV
06BW
06BX
06BY
06BZ
06CA
06CB
06CC
06CD
06CE
06CF
06CG
06CH
06CI
06CJ
06CK
06CL
06CM
06CN
06CO
06CP
06CQ
06CR
06CS
06CT
06CU
06CV
06CW
06CX
06CY
06CZ
06DA
06DB
06DC
06DD
06DE
06DF
06DG
06DH
06DI
06DJ
06DK
06DL
06DM
06DN
06DO
06DP
06DQ
06DR
06DS
06DT
06DU
06DV
06DW
06DX
06DY
06DZ
06EA
06EB
06EC
06ED
06EE
06EF
06EG
06EH
06EI
06EJ
06EK
06EL
06EM
06EN
06EO
06EP
06EQ
06ER
06ES
06ET
06EU
06EV
06EW
06EX
06EY
06EZ
06FA
06FB
06FC
06FD
06FE
06FF
06FG
06FH
06FI
06FJ
06FK
06FL
06FM
06FN
06FO
06FP
06FQ
06FR
06FS
06FT
06FU
06FV
06FW
06FX
06FY
06FZ
06GA
06GB
06GC
06GD
06GE
06GF
06GG
06GH
06GI
06GJ
06GK
06GL
06GM
06GN
06GO
06GP
06GQ
06GR
06GS
06GT
06GU
06GV
06GW
06GX
06GY
06GZ
06HA
06HB
06HC
06HD
06HE
06HF
06HG
06HH
06HI
06HJ
06HK
06HL
06HM
06HN
06HO
06HP
06HQ
06HR
06HS
06HT
06HU
06HV
06HW
06HX
06HY
06HZ
06IA
06IB
06IC
06ID
06IE
06IF
06IG
06IH
06II
06IJ
06IK
06IL
06IM
06IN
06IO
06IP
06IQ
06IR
06IS
06IT
06IU
06IV
06IW
06IX
06IY
06IZ
06JA
06JB
06JC
06JD
06JE
06JF
06JG
06JH
06JI
06JJ
06JK
06JL
06JM
06JN
06JO
06JP
06JQ
06JR
06JS
06JT
06JU
06JV
06JW
06JX
06JY
06JZ
06KA
06KB
06KC
06KD
06KE
06KF
06KG
06KH
06KI
06KJ
06KK
06KL
06KM
06KN
06KO
06KP
06KQ
06KR
06KS
06KT
06KU
06KV
06KW
06KX
06KY
06KZ
06LA
06LB
06LC
06LD
06LE
06LF
06LG
06LH
06LI
06LJ
06LK
06LL
06LM
06LN
06LO
06LP
06LQ
06LR
06LS
06LT
06LU
06LV
06LW
06LX
06LY
06LZ
06MA
06MB
06MC
06MD
06ME
06MF
06MG
06MH
06MI
06MJ
06MK
06ML
06MM
06MN
06MO
06MP
06MQ
06MR
06MS
06MT
06MU
06MV
06MW
06MX
06MY
06MZ
06NA
06NB
06NC
06ND
06NE
06NF
06NG
06NH
06NI
06NJ
06NK
06NL
06NM
06NN
06NO
06NP
06NQ
06NR
06NS
06NT
06NU
06NV
06NW
06NX
06NY
06NZ
06OA
06OB
06OC
06OD
06OE
06OF
06OG
06OH
06OI
06OJ
06OK
06OL
06OM
06ON
06OO
06OP
06OQ
06OR
06OS
06OT
06OU
06OV
06OW
06OX
06OY
06OZ
06PA
06PB
06PC
06PD
06PE
06PF
06PG
06PH
06PI
06PJ
06PK
06PL
06PM
06PN
06PO
06PP
06PQ
06PR
06PS
06PT
06PU
06PV
06PW
06PX
06PY
06PZ
06QA
06QB
06QC
06QD
06QE
06QF
06QG
06QH
06QI
06QJ
06QK
06QL
06QM
06QN
06QO
06QP
06QQ
06QR
06QS
06QT
06QU
06QV
06QW
06QX
06QY
06QZ
06RA
06RB
06RC
06RD
06RE
06RF
06RG
06RH
06RI
06RJ
06RK
06RL
06RM
06RN
06RO
06RP
06RQ
06RR
06RS
06RT
06RU
06RV
06RW
06RX
06RY
06RZ
06SA
06SB
06SC
06SD
06SE
06SF
06SG
06SH
06SI
06SJ
06SK
06SL
06SM
06SN
06SO
06SP
06SQ
06SR
06ST
06SU
06SV
06SW
06SX
06SY
06SZ
06TA
06TB
06TC
06TD
06TE
06TF
06TG
06TH
06TI
06TJ
06TK
06TL
06TM
06TN
06TO
06TP
06TQ
06TR
06TS
06TT
06TU
06TV
06TW
06TX
06TY
06TZ
06UA
06UB
06UC
06UD
06UE
06UF
06UG
06UH
06UI
06UJ
06UK
06UL
06UM
06UN
06UO
06UP
06UQ
06UR
06US
06UT
06UU
06UV
06UW
06UX
06UY
06UZ
06VA
06VB
06VC
06VD
06VE
06VF
06VG
06VH
06VI
06VJ
06VK
06VL
06VM
06VN
06VO
06VP
06VQ
06VR
06VS
06VT
06VU
06VV
06VW
06VX
06VY
06VZ
06WA
06WB
06WC
06WD
06WE
06WF
06WG
06WH
06WI
06WJ
06WK
06WL
06WM
06WN
06WO
06WP
06WQ
06WR
06WS
06WT
06WU
06WV
06WW
06WX
06WY
06WZ
06XA
06XB
06XC
06XD
06XE
06XF
06XG
06XH
06XI
06XJ
06XK
06XL
06XM
06XN
06XO
06XP
06XQ
06XR
06XS
06XT
06XU
06XV
06XW
06XX
06XY
06XZ
06YA
06YB
06YC
06YD
06YE
06YF
06YG
06YH
06YI
06YJ
06YK
06YL
06YM
06YN
06YO
06YP
06YQ
06YR
06YS
06YT
06YU
06YV
06YW
06YX
06YY
06YZ
06ZA
06ZB
06ZC
06ZD
06ZE
06ZF
06ZG
06ZH
06ZI
06ZJ
06ZK
06ZL
06ZM
06ZN
06ZO
06ZP
06ZQ
06ZR
06ZS
06ZT
06ZU
06ZV
06ZW
06ZX
06ZY
06ZZ
07AA
07AB
07AC
07AD
07AE
07AF
07AG
07AH
07AI
07AJ
07AK
07AL
07AM
07AN
07AO
07AP
07AQ
07AR
07AS
07AT
07AU
07AV
07AW
07AX
07AY
07AZ
07BA
07BB
07BC
07BD
07BE
07BF
07BG
07BH
07BI
07BJ
07BK
07BL
07BM
07BN
07BO
07BP
07BQ
07BR
07BS
07BT
07BU
07BV
07BW
07BX
07BY
07BZ
07CA
07CB
07CC
07CD
07CE
07CF
07CG
07CH
07CI
07CJ
07CK
07CL
07CM
07CN
07CO
07CP
07CQ
07CR
07CS
07CT
07CU
07CV
07CW
07CX
07CY
07CZ
07DA
07DB
07DC
07DD
07DE
07DF
07DG
07DH
07DI
07DJ
07DK
07DL
07DM
07DN
07DO
07DP
07DQ
07DR
07DS
07DT
07DU
07DV
07DW
07DX
07DY
07DZ
07EA
07EB
07EC
07ED
07EE
07EF
07EG
07EH
07EI
07EJ
07EK
07EL
07EM
07EN
07EO
07EP
07EQ
07ER
07ES
07ET
07EU
07EV
07EW
07EX
07EY
07EZ
07FA
07FB
07FC
07FD
07FE
07FF
07FG
07FH
07FI
07FJ
07FK
07FL
07FM
07FN
07FO
07FP
07FQ
07FR
07FS
07FT
07FU
07FV
07FW
07FX
07FY
07FZ
07GA
07GB
07GC
07GD
07GE
07GF
07GG
07GH
07GI
07GJ
07GK
07GL
07GM
07GN
07GO
07GP
07GQ
07GR
07GS
07GT
07GU
07GV
07GW
07GX
07GY
07GZ
07HA
07HB
07HC
07HD
07HE
07HF
07HG
07HH
07HI
07HJ
07HK
07HL
07HM
07HN
07HO
07HP
07HQ
07HR
07HS
07HT
07HU
07HV
07HW
07HX
07HY
07HZ
07IA
07IB
07IC
07ID
07IE
07IF
07IG
07IH
07II
07IJ
07IK
07IL
07IM
07IN
07IO
07IP
07IQ
07IR
07IS
07IT
07IU
07IV
07IW
07IX
07IY
07IZ
07JA
07JB
07JC
07JD
07JE
07JF
07JG
07JH
07JI
07JJ
07JK
07JL
07JM
07JN
07JO
07JP
07JQ
07JR
07JS
07JT
07JU
07JV
07JW
07JX
07JY
07JZ
07KA
07KB
07KC
07KD
07KE
07KF
07KG
07KH
07KI
07KJ
07KK
07KL
07KM
07KN
07KO
07KP
07KQ
07KR
07KS
07KT
07KU
07KV
07KW
07KX
07KY
07KZ
07LA
07LB
07LC
07LD
07LE
07LF
07LG
07LH
07LI
07LJ
07LK
07LL
07LM
07LN
07LO
07LP
07LQ
07LR
07LS
07LT
07LU
07LV
07LW
07LX
07LY
07LZ
07MA
07MB
07MC
07MD
07ME
07MF
07MG
07MH
07MI
07MJ
07MK
07ML
07MM
07MN
07MO
07MP
07MQ
07MR
07MS
07MT
07MU
07MV
07MW
07MX
07MY
07MZ
07NA
07NB
07NC
07ND
07NE
07NF
07NG
07NH
07NI
07NJ
07NK
07NL
07NM
07NN
07NO
07NP
07NQ
07NR
07NS
07NT
07NU
07NV
07NW
07NX
07NY
07NZ
07OA
07OB
07OC
07OD
07OE
07OF
07OG
07OH
07OI
07OJ
07OK
07OL
07OM
07ON
07OO
07OP
07OQ
07OR
07OS
07OT
07OU
07OV
07OW
07OX
07OY
07OZ
07PA
07PB
07PC
07PD
07PE
07PF
07PG
07PH
07PI
07PJ
07PK
07PL
07PM
07PN
07PO
07PP
07PQ
07PR
07PS
07PT
07PU
07PV
07PW
07PX
07PY
07PZ
07QA
07QB
07QC
07QD
07QE
07QF
07QG
07QH
07QI
07QJ
07QK
07QL
07QM
07QN
07QO
07QP
07QQ
07QR
07QS
07QT
07QU
07QV
07QW
07QX
07QY
07QZ
07RA
07RB
07RC
07RD
07RE
07RF
07RG
07RH
07RI
07RJ
07RK
07RL
07RM
07RN
07RO
07RP
07RQ
07RR
07RS
07RT
07RU
07RV
07RW
07RX
07RY
07RZ
07SA
07SB
07SC
07SD
07SE
07SF
07SG
07SH
07SI
07SJ
07SK
07SL
07SM
07SN
07SO
07SP
07SQ
07SR
07ST
07SU
07SV
07SW
07SX
07SY
07SZ
07TA
07TB
07TC
07TD
07TE
07TF
07TG
07TH
07TI
07TJ
07TK
07TL
07TM
07TN
07TO
07TP
07TQ
07TR
07TS
07TT
07TU
07TV
07TW
07TX
07TY
07TZ
07UA
07UB
07UC
07UD
07UE
07UF
07UG
07UH
07UI
07UJ
07UK
07UL
07UM
07UN
07UO
07UP
07UQ
07UR
07US
07UT
07UU
07UV
07UW
07UX
07UY
07UZ
07VA
07VB
07VC
07VD
07VE
07VF
07VG
07VH
07VI
07VJ
07VK
07VL
07VM
07VN
07VO
07VP
07VQ
07VR
07VS
07VT
07VU
07VV
07VW
07VX
07VY
07VZ
07WA
07WB
07WC
07WD
07WE
07WF
07WG
07WH
07WI
07WJ
07WK
07WL
07WM
07WN
07WO
07WP
07WQ
07WR
07WS
07WT
07WU
07WV
07WW
07WX
07WY
07WZ
07XA
07XB
07XC
07XD
07XE
07XF
07XG
07XH
07XI
07XJ
07XK
07XL
07XM
07XN
07XO
07XP
07XQ
07XR
07XS
07XT
07XU
07XV
07XW
07XX
07XY
07XZ
07YA
07YB
07YC
07YD
07YE
07YF
07YG
07YH
07YI
07YJ
07YK
07YL
07YM
07YN
07YO
07YP
07YQ
07YR
07YS
07YT
07YU
07YV
07YW
07YX
07YY
07YZ
07ZA
07ZB
07ZC
07ZD
07ZE
07ZF
07ZG
07ZH
07ZI
07ZJ
07ZK
07ZL
07ZM
07ZN
07ZO
07ZP
07ZQ
07ZR
07ZS
07ZT
07ZU
07ZV
07ZW
07ZX
07ZY
07ZZ
08AA
08AB
08AC
08AD
08AE
08AF
08AG
08AH
08AI
08AJ
08AK
08AL
08AM
08AN
08AO
08AP
08AQ
08AR
08AS
08AT
08AU
08AV
08AW
08AX
08AY
08AZ
08BA
08BB
08BC
08BD
08BE
08BF
08BG
08BH
08BI
08BJ
08BK
08BL
08BM
08BN
08BO
08BP
08BQ
08BR
08BS
08BT
08BU
08BV
08BW
08BX
08BY
08BZ
08CA
08CB
08CC
08CD
08CE
08CF
08CG
08CH
08CI
08CJ
08CK
08CL
08CM
08CN
08CO
08CP
08CQ
08CR
08CS
08CT
08CU
08CV
08CW
08CX
08CY
08CZ
08DA
08DB
08DC
08DD
08DE
08DF
08DG
08DH
08DI
08DJ
08DK
08DL
08DM
08DN
08DO
08DP
08DQ
08DR
08DS
08DT
08DU
08DV
08DW
08DX
08DY
08DZ
08EA
08EB
08EC
08ED
08EE
08EF
08EG
08EH
08EI
08EJ
08EK
08EL
08EM
08EN
08EO
08EP
08EQ
08ER
08ES
08ET
08EU
08EV
08EW
08EX
08EY
08EZ
08FA
08FB
08FC
08FD
08FE
08FF
08FG
08FH
08FI
08FJ
08FK
08FL
08FM
08FN
08FO
08FP
08FQ
08FR
08FS
08FT
08FU
08FV
08FW
08FX
08FY
08FZ
08GA
08GB
08GC
08GD
08GE
08GF
08GG
08GH
08GI
08GJ
08GK
08GL
08GM
08GN
08GO
08GP
08GQ
08GR
08GS
08GT
08GU
08GV
08GW
08GX
08GY
08GZ
08HA
08HB
08HC
08HD
08HE
08HF
08HG
08HH
08HI
08HJ
08HK
08HL
08HM
08HN
08HO
08HP
08HQ
08HR
08HS
08HT
08HU
08HV
08HW
08HX
08HY
08HZ
08IA
08IB
08IC
08ID
08IE
08IF
08IG
08IH
08II
08IJ
08IK
08IL
08IM
08IN
08IO
08IP
08IQ
08IR
08IS
08IT
08IU
08IV
08IW
08IX
08IY
08IZ
08JA
08JB
08JC
08JD
08JE
08JF
08JG
08JH
08JI
08JJ
08JK
08JL
08JM
08JN
08JO
08JP
08JQ
08JR
08JS
08JT
08JU
08JV
08JW
08JX
08JY
08JZ
08KA
08KB
08KC
08KD
08KE
08KF
08KG
08KH
08KI
08KJ
08KK
08KL
08KM
08KN
08KO
08KP
08KQ
08KR
08KS
08KT
08KU
08KV
08KW
08KX
08KY
08KZ
08LA
08LB
08LC
08LD
08LE
08LF
08LG
08LH
08LI
08LJ
08LK
08LL
08LM
08LN
08LO
08LP
08LQ
08LR
08LS
08LT
08LU
08LV
08LW
08LX
08LY
08LZ
08MA
08MB
08MC
08MD
08ME
08MF
08MG
08MH
08MI
08MJ
08MK
08ML
08MM
08MN
08MO
08MP
08MQ
08MR
08MS
08MT
08MU
08MV
08MW
08MX
08MY
08MZ
08NA
08NB
08NC
08ND
08NE
08NF
08NG
08NH
08NI
08NJ
08NK
08NL
08NM
08NN
08NO
08NP
08NQ
08NR
08NS
08NT
08NU
08NV
08NW
08NX
08NY
08NZ
08OA
08OB
08OC
08OD
08OE
08OF
08OG
08OH
08OI
08OJ
08OK
08OL
08OM
08ON
08OO
08OP
08OQ
08OR
08OS
08OT
08OU
08OV
08OW
08OX
08OY
08OZ
08PA
08PB
08PC
08PD
08PE
08PF
08PG
08PH
08PI
08PJ
08PK
08PL
08PM
08PN
08PO
08PP
08PQ
08PR
08PS
08PT
08PU
08PV
08PW
08PX
08PY
08PZ
08QA
08QB
08QC
08QD
08QE
08QF
08QG
08QH
08QI
08QJ
08QK
08QL
08QM
08QN
08QO
08QP
08QQ
08QR
08QS
08QT
08QU
08QV
08QW
08QX
08QY
08QZ
08RA
08RB
08RC
08RD
08RE
08RF
08RG
08RH
08RI
08RJ
08RK
08RL
08RM
08RN
08RO
08RP
08RQ
08RR
08RS
08RT
08RU
08RV
08RW
08RX
08RY
08RZ
08SA
08SB
08SC
08SD
08SE
08SF
08SG
08SH
08SI
08SJ
08SK
08SL
08SM
08SN
08SO
08SP
08SQ
08SR
08ST
08SU
08SV
08SW
08SX
08SY
08SZ
08TA
08TB
08TC
08TD
08TE
08TF
08TG
08TH
08TI
08TJ
08TK
08TL
08TM
08TN
08TO
08TP
08TQ
08TR
08TS
08TT
08TU
08TV
08TW
08TX
08TY
08TZ
08UA
08UB
08UC
08UD
08UE
08UF
08UG
08UH
08UI
08UJ
08UK
08UL
08UM
08UN
08UO
08UP
08UQ
08UR
08US
08UT
08UU
08UV
08UW
08UX
08UY
08UZ
08VA
08VB
08VC
08VD
08VE
08VF
08VG
08VH
08VI
08VJ
08VK
08VL
08VM
08VN
08VO
08VP
08VQ
08VR
08VS
08VT
08VU
08VV
08VW
08VX
08VY
08VZ
08WA
08WB
08WC
08WD
08WE
08WF
08WG
08WH
08WI
08WJ
08WK
08WL
08WM
08WN
08WO
08WP
08WQ
08WR
08WS
08WT
08WU
08WV
08WW
08WX
08WY
08WZ
08XA
08XB
08XC
08XD
08XE
08XF
08XG
08XH
08XI
08XJ
08XK
08XL
08XM
08XN
08XO
08XP
08XQ
08XR
08XS
08XT
08XU
08XV
08XW
08XX
08XY
08XZ
08YA
08YB
08YC
08YD
08YE
08YF
08YG
08YH
08YI
08YJ
08YK
08YL
08YM
08YN
08YO
08YP
08YQ
08YR
08YS
08YT
08YU
08YV
08YW
08YX
08YY
08YZ
08ZA
08ZB
08ZC
08ZD
08ZE
08ZF
08ZG
08ZH
08ZI
08ZJ
08ZK
08ZL
08ZM
08ZN
08ZO
08ZP
08ZQ
08ZR
08ZS
08ZT
08ZU
08ZV
08ZW
08ZX
08ZY
08ZZ
09AA
09AB
09AC
09AD
09AE
09AF
09AG
09AH
09AI
09AJ
09AK
09AL
09AM
09AN
09AO
09AP
09AQ
09AR
09AS
09AT
09AU
09AV
09AW
09AX
09AY
09AZ
09BA
09BB
09BC
09BD
09BE
09BF
09BG
09BH
09BI
09BJ
09BK
09BL
09BM
09BN
09BO
09BP
09BQ
09BR
09BS
09BT
09BU
09BV
09BW
09BX
09BY
09BZ
09CA
09CB
09CC
09CD
09CE
09CF
09CG
09CH
09CI
09CJ
09CK
09CL
09CM
09CN
09CO
09CP
09CQ
09CR
09CS
09CT
09CU
09CV
09CW
09CX
09CY
09CZ
09DA
09DB
09DC
09DD
09DE
09DF
09DG
09DH
09DI
09DJ
09DK
09DL
09DM
09DN
09DO
09DP
09DQ
09DR
09DS
09DT
09DU
09DV
09DW
09DX
09DY
09DZ
09EA
09EB
09EC
09ED
09EE
09EF
09EG
09EH
09EI
09EJ
09EK
09EL
09EM
09EN
09EO
09EP
09EQ
09ER
09ES
09ET
09EU
09EV
09EW
09EX
09EY
09EZ
09FA
09FB
09FC
09FD
09FE
09FF
09FG
09FH
09FI
09FJ
09FK
09FL
09FM
09FN
09FO
09FP
09FQ
09FR
09FS
09FT
09FU
09FV
09FW
09FX
09FY
09FZ
09GA
09GB
09GC
09GD
09GE
09GF
09GG
09GH
09GI
09GJ
09GK
09GL
09GM
09GN
09GO
09GP
09GQ
09GR
09GS
09GT
09GU
09GV
09GW
09GX
09GY
09GZ
09HA
09HB
09HC
09HD
09HE
09HF
09HG
09HH
09HI
09HJ
09HK
09HL
09HM
09HN
09HO
09HP
09HQ
09HR
09HS
09HT
09HU
09HV
09HW
09HX
09HY
09HZ
09IA
09IB
09IC
09ID
09IE
09IF
09IG
09IH
09II
09IJ
09IK
09IL
09IM
09IN
09IO
09IP
09IQ
09IR
09IS
09IT
09IU
09IV
09IW
09IX
09IY
09IZ
09JA
09JB
09JC
09JD
09JE
09JF
09JG
09JH
09JI
09JJ
09JK
09JL
09JM
09JN
09JO
09JP
09JQ
09JR
09JS
09JT
09JU
09JV
09JW
09JX
09JY
09JZ
09KA
09KB
09KC
09KD
09KE
09KF
09KG
09KH
09KI
09KJ
09KK
09KL
09KM
09KN
09KO
09KP
09KQ
09KR
09KS
09KT
09KU
09KV
09KW
09KX
09KY
09KZ
09LA
09LB
09LC
09LD
09LE
09LF
09LG
09LH
09LI
09LJ
09LK
09LL
09LM
09LN
09LO
09LP
09LQ
09LR
09LS
09LT
09LU
09LV
09LW
09LX
09LY
09LZ
09MA
09MB
09MC
09MD
09ME
09MF
09MG
09MH
09MI
09MJ
09MK
09ML
09MM
09MN
09MO
09MP
09MQ
09MR
09MS
09MT
09MU
09MV
09MW
09MX
09MY
09MZ
09NA
09NB
09NC
09ND
09NE
09NF
09NG
09NH
09NI
09NJ
09NK
09NL
09NM
09NN
09NO
09NP
09NQ
09NR
09NS
09NT
09NU
09NV
09NW
09NX
09NY
09NZ
09OA
09OB
09OC
09OD
09OE
09OF
09OG
09OH
09OI
09OJ
09OK
09OL
09OM
09ON
09OO
09OP
09OQ
09OR
09OS
09OT
09OU
09OV
09OW
09OX
09OY
09OZ
09PA
09PB
09PC
09PD
09PE
09PF
09PG
09PH
09PI
09PJ
09PK
09PL
09PM
09PN
09PO
09PP
09PQ
09PR
09PS
09PT
09PU
09PV
09PW
09PX
09PY
09PZ
09QA
09QB
09QC
09QD
09QE
09QF
09QG
09QH
09QI
09QJ
09QK
09QL
09QM
09QN
09QO
09QP
09QQ
09QR
09QS
09QT
09QU
09QV
09QW
09QX
09QY
09QZ
09RA
09RB
09RC
09RD
09RE
09RF
09RG
09RH
09RI
09RJ
09RK
09RL
09RM
09RN
09RO
09RP
09RQ
09RR
09RS
09RT
09RU
09RV
09RW
09RX
09RY
09RZ
09SA
09SB
09SC
09SD
09SE
09SF
09SG
09SH
09SI
09SJ
09SK
09SL
09SM
09SN
09SO
09SP
09SQ
09SR
09ST
09SU
09SV
09SW
09SX
09SY
09SZ
09TA
09TB
09TC
09TD
09TE
09TF
09TG
09TH
09TI
09TJ
09TK
09TL
09TM
09TN
09TO
09TP
09TQ
09TR
09TS
09TT
09TU
09TV
09TW
09TX
09TY
09TZ
09UA
09UB
09UC
09UD
09UE
09UF
09UG
09UH
09UI
09UJ
09UK
09UL
09UM
09UN
09UO
09UP
09UQ
09UR
09US
09UT
09UU
09UV
09UW
09UX
09UY
09UZ
09VA
09VB
09VC
09VD
09VE
09VF
09VG
09VH
09VI
09VJ
09VK
09VL
09VM
09VN
09VO
09VP
09VQ
09VR
09VS
09VT
09VU
09VV
09VW
09VX
09VY
09VZ
09WA
09WB
09WC
09WD
09WE
09WF
09WG
09WH
09WI
09WJ
09WK
09WL
09WM
09WN
09WO
09WP
09WQ
09WR
09WS
09WT
09WU
09WV
09WW
09WX
09WY
09WZ
09XA
09XB
09XC
09XD
09XE
09XF
09XG
09XH
09XI
09XJ
09XK
09XL
09XM
09XN
09XO
09XP
09XQ
09XR
09XS
09XT
09XU
09XV
09XW
09XX
09XY
09XZ
09YA
09YB
09YC
09YD
09YE
09YF
09YG
09YH
09YI
09YJ
09YK
09YL
09YM
09YN
09YO
09YP
09YQ
09YR
09YS
09YT
09YU
09YV
09YW
09YX
09YY
09YZ
09ZA
09ZB
09ZC
09ZD
09ZE
09ZF
09ZG
09ZH
09ZI
09ZJ
09ZK
09ZL
09ZM
09ZN
09ZO
09ZP
09ZQ
09ZR
09ZS
09ZT
09ZU
09ZV
09ZW
09ZX
09ZY
09ZZ
10AA
10AB
10AC
10AD
10AE
10AF
10AG
10AH
10AI
10AJ
10AK
10AL
10AM
10AN
10AO
10AP
10AQ
10AR
10AS
10AT
10AU
10AV
10AW
10AX
10AY
10AZ
10BA
10BB
10BC
10BD
10BE
10BF
10BG
10BH
10BI
10BJ
10BK
10BL
10BM
10BN
10BO
10BP
10BQ
10BR
10BS
10BT
10BU
10BV
10BW
10BX
10BY
10BZ
10CA
10CB
10CC
10CD
10CE
10CF
10CG
10CH
10CI
10CJ
10CK
10CL
10CM
10CN
10CO
10CP
10CQ
10CR
10CS
10CT
10CU
10CV
10CW
10CX
10CY
10CZ
10DA
10DB
10DC
10DD
10DE
10DF
10DG
10DH
10DI
10DJ
10DK
10DL
10DM
10DN
10DO
10DP
10DQ
10DR
10DS
10DT
10DU
10DV
10DW
10DX
10DY
10DZ
10EA
10EB
10EC
10ED
10EE
10EF
10EG
10EH
10EI
10EJ
10EK
10EL
10EM
10EN
10EO
10EP
10EQ
10ER
10ES
10ET
10EU
10EV
10EW
10EX
10EY
10EZ
10FA
10FB
10FC
10FD
10FE
10FF
10FG
10FH
10FI
10FJ
10FK
10FL
10FM
10FN
10FO
10FP
10FQ
10FR
10FS
10FT
10FU
10FV
10FW
10FX
10FY
10FZ
10GA
10GB
10GC
10GD
10GE
10GF
10GG
10GH
10GI
10GJ
10GK
10GL
10GM
10GN
10GO
10GP
10GQ
10GR
10GS
10GT
10GU
10GV
10GW
10GX
10GY
10GZ
10HA
10HB
10HC
10HD
10HE
10HF
10HG
10HH
10HI
10HJ
10HK
10HL
10HM
10HN
10HO
10HP
10HQ
10HR
10HS
10HT
10HU
10HV
10HW
10HX
10HY
10HZ
10IA
10IB
10IC
10ID
10IE
10IF
10IG
10IH
10II
10IJ
10IK
10IL
10IM
10IN
10IO
10IP
10IQ
10IR
10IS
10IT
10IU
10IV
10IW
10IX
10IY
10IZ
10JA
10JB
10JC
10JD
10JE
10JF
10JG
10JH
10JI
10JJ
10JK
10JL
10JM
10JN
10JO
10JP
10JQ
10JR
10JS
10JT
10JU
10JV
10JW
10JX
10JY
10JZ
10KA
10KB
10KC
10KD
10KE
10KF
10KG
10KH
10KI
10KJ
10KK
10KL
10KM
10KN
10KO
10KP
10KQ
10KR
10KS
10KT
10KU
10KV
10KW
10KX
10KY
10KZ
10LA
10LB
10LC
10LD
10LE
10LF
10LG
10LH
10LI
10LJ
10LK
10LL
10LM
10LN
10LO
10LP
10LQ
10LR
10LS
10LT
10LU
10LV
10LW
10LX
10LY
10LZ
10MA
10MB
10MC
10MD
10ME
10MF
10MG
10MH
10MI
10MJ
10MK
10ML
10MM
10MN
10MO
10MP
10MQ
10MR
10MS
10MT
10MU
10MV
10MW
10MX
10MY
10MZ
10NA
10NB
10NC
10ND
10NE
10NF
10NG
10NH
10NI
10NJ
10NK
10NL
10NM
10NN
10NO
10NP
10NQ
10NR
10NS
10NT
10NU
10NV
10NW
10NX
10NY
10NZ
10OA
10OB
10OC
10OD
10OE
10OF
10OG
10OH
10OI
10OJ
10OK
10OL
10OM
10ON
10OO
10OP
10OQ
10OR
10OS
10OT
10OU
10OV
10OW
10OX
10OY
10OZ
10PA
10PB
10PC
10PD
10PE
10PF
10PG
10PH
10PI
10PJ
10PK
10PL
10PM
10PN
10PO
10PP
10PQ
10PR
10PS
10PT
10PU
10PV
10PW
10PX
10PY
10PZ
10QA
10QB
10QC
10QD
10QE
10QF
10QG
10QH
10QI
10QJ
10QK
10QL
10QM
10QN
10QO
10QP
10QQ
10QR
10QS
10QT
10QU
10QV
10QW
10QX
10QY
10QZ
10RA
10RB
10RC
10RD
10RE
10RF
10RG
10RH
10RI
10RJ
10RK
10RL
10RM
10RN
10RO
10RP
10RQ
10RR
10RS
10RT
10RU
10RV
10RW
10RX
10RY
10RZ
10SA
10SB
10SC
10SD
10SE
10SF
10SG
10SH
10SI
10SJ
10SK
10SL
10SM
10SN
10SO
10SP
10SQ
10SR
10ST
10SU
10SV
10SW
10SX
10SY
10SZ
10TA
10TB
10TC
10TD
10TE
10TF
10TG
10TH
10TI
10TJ
10TK
10TL
10TM
10TN
10TO
10TP
10TQ
10TR
10TS
10TT
10TU
10TV
10TW
10TX
10TY
10TZ
10UA
10UB
10UC
10UD
10UE
10UF
10UG
10UH
10UI
10UJ
10UK
10UL
10UM
10UN
10UO
10UP
10UQ
10UR
10US
10UT
10UU
10UV
10UW
10UX
10UY
10UZ
10VA
10VB
10VC
10VD
10VE
10VF
10VG
10VH
10VI
10VJ
10VK
10VL
10VM
10VN
10VO
10VP
10VQ
10VR
10VS
10VT
10VU
10VV
10VW
10VX
10VY
10VZ
10WA
10WB
10WC
10WD
10WE
10WF
10WG
10WH
10WI
10WJ
10WK
10WL
10WM
10WN
10WO
10WP
10WQ
10WR
10WS
10WT
10WU
10WV
10WW
10WX
10WY
10WZ
10XA
10XB
10XC
10XD
10XE
10XF
10XG
10XH
10XI
10XJ
10XK
10XL
10XM
10XN
10XO
10XP
10XQ
10XR
10XS
10XT
10XU
10XV
10XW
10XX
10XY
10XZ
10YA
10YB
10YC
10YD
10YE
10YF
10YG
10YH
10YI
10YJ
10YK
10YL
10YM
10YN
10YO
10YP
10YQ
10YR
10YS
10YT
10YU
10YV
10YW
10YX
10YY
10YZ
10ZA
10ZB
10ZC
10ZD
10ZE
10ZF
10ZG
10ZH
10ZI
10ZJ
10ZK
10ZL
10ZM
10ZN
10ZO
10ZP
10ZQ
10ZR
10ZS
10ZT
10ZU
10ZV
10ZW
10ZX
10ZY
10ZZ
11AA
11AB
11AC
11AD
11AE
11AF
11AG
11AH
11AI
11AJ
11AK
11AL
11AM
11AN
11AO
11AP
11AQ
11AR
11AS
11AT
11AU
11AV
11AW
11AX
11AY
11AZ
11BA
11BB
11BC
11BD
11BE
11BF
11BG
11BH
11BI
11BJ
11BK
11BL
11BM
11BN
11BO
11BP
11BQ
11BR
11BS
11BT
11BU
11BV
11BW
11BX
11BY
11BZ
11CA
11CB
11CC
11CD
11CE
11CF
11CG
11CH
11CI
11CJ
11CK
11CL
11CM
11CN
11CO
11CP
11CQ
11CR
11CS
11CT
11CU
11CV
11CW
11CX
11CY
11CZ
11DA
11DB
11DC
11DD
11DE
11DF
11DG
11DH
11DI
11DJ
11DK
11DL
11DM
11DN
11DO
11DP
11DQ
11DR
11DS
11DT
11DU
11DV
11DW
11DX
11DY
11DZ
11EA
11EB
11EC
11ED
11EE
11EF
11EG
11EH
11EI
11EJ
11EK
11EL
11EM
11EN
11EO
11EP
11EQ
11ER
11ES
11ET
11EU
11EV
11EW
11EX
11EY
11EZ
11FA
11FB
11FC
11FD
11FE
11FF
11FG
11FH
11FI
11FJ
11FK
11FL
11FM
11FN
11FO
11FP
11FQ
11FR
11FS
11FT
11FU
11FV
11FW
11FX
11FY
11FZ
11GA
11GB
11GC
11GD
11GE
11GF
11GG
11GH
11GI
11GJ
11GK
11GL
11GM
11GN
11GO
11GP
11GQ
11GR
11GS
11GT
11GU
11GV
11GW
11GX
11GY
11GZ
11HA
11HB
11HC
11HD
11HE
11HF
11HG
11HH
11HI
11HJ
11HK
11HL
11HM
11HN
11HO
11HP
11HQ
11HR
11HS
11HT
11HU
11HV
11HW
11HX
11HY
11HZ
11IA
11IB
11IC
11ID
11IE
11IF
11IG
11IH
11II
11IJ


X-86,400
Y-28,100
X-86,500
Y-28,000
X-86,600
Y-28,800
X-86,800
X-86,900
谷A
谷B
検見塚

3.4　主要遺構の概要

各調査区において，朝日遺跡を評価する上で重要と思われる主要遺構について，A 区から D 区の順にまとめて整理することにしたい。ここではできるだけ一括遺物・供伴遺物の総合的な提示を優先させることにし，明らかな重複遺構等の混入もそのまま掲載する。

3.4.1　A 区の遺構

3.4.1.1　04Aa-SB02・SB04

04Aa 区南端付近に集中して検出した竪穴建物群。朝日 H 層を基本に遺構面を形成する。所属時期は廻間 I 式前半期であり，比較的まとまって遺物が認められる。SB02 は長軸 2.98m･短軸は調査区内 1.58m･深さ 0.20m で，SB04 は長軸 4.56m・短軸は調査区内 2.14m・深さ 0.14m を測る。

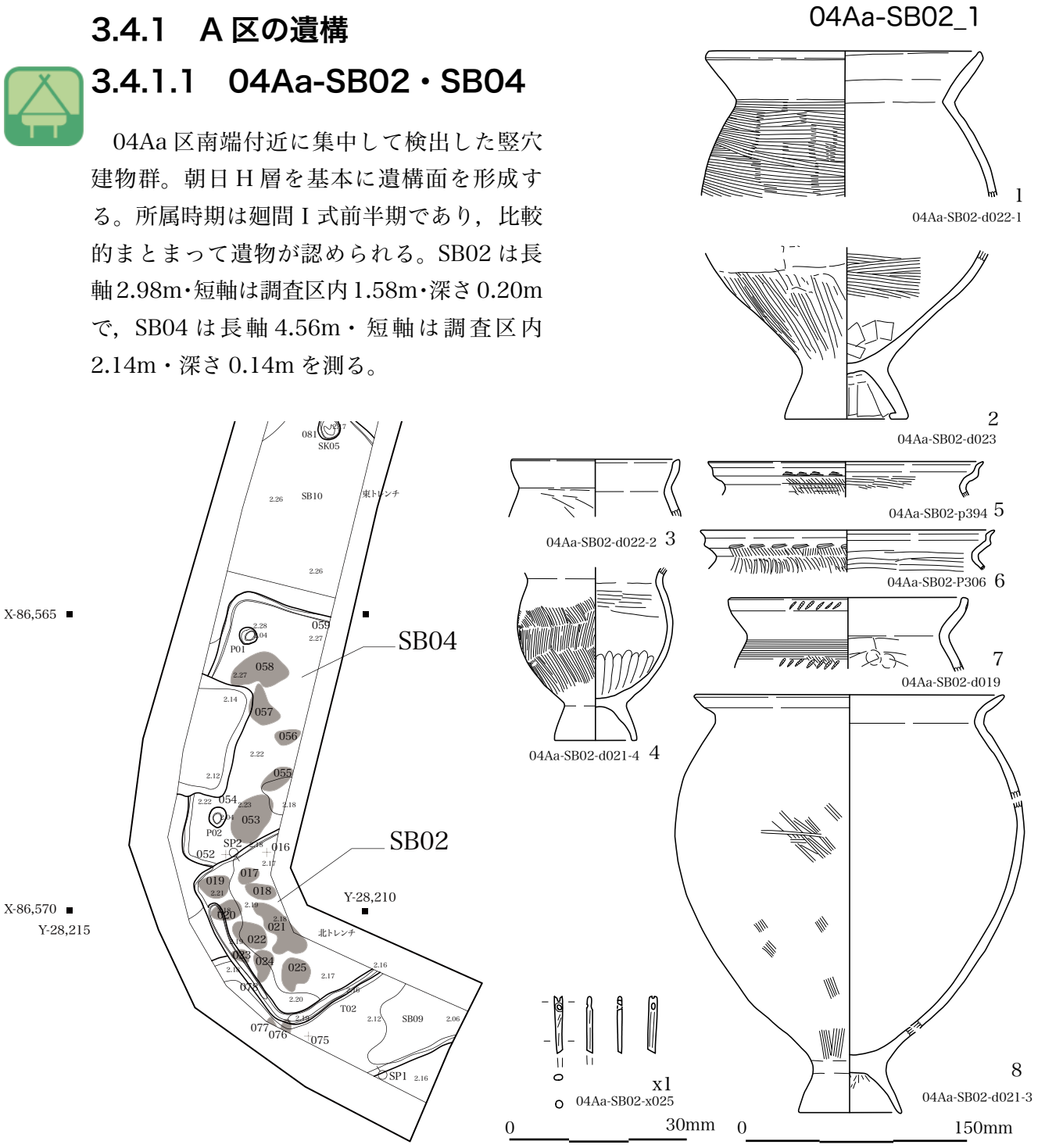
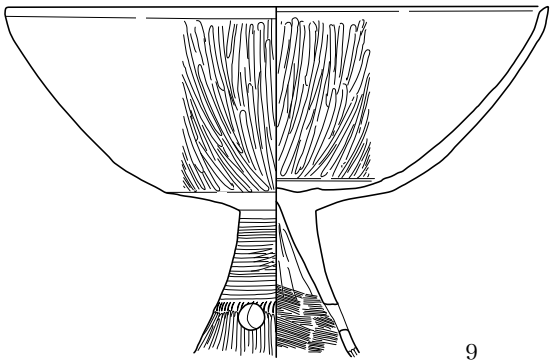
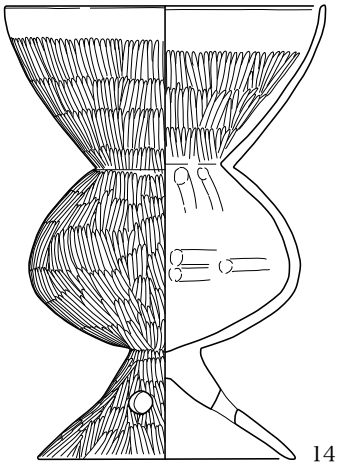


図 3.4.1-1　04Aa-SB02・SB04　1/100

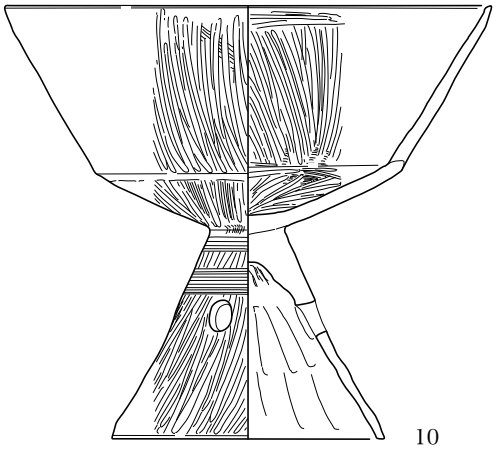
04Aa-SB02_2



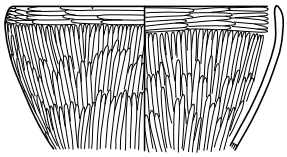
9
04Aa-SB02-d021-2

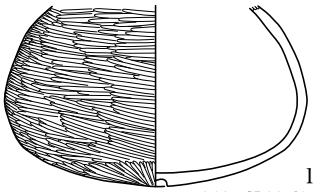


14
04Aa-SB02-d016

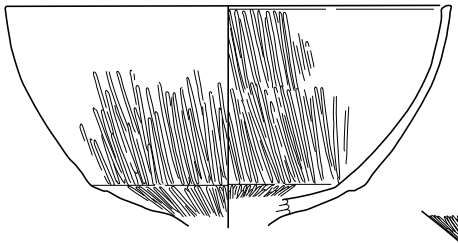


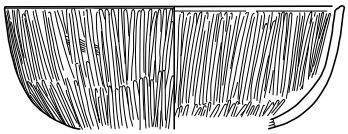
10
04Aa-SB02-d021-1



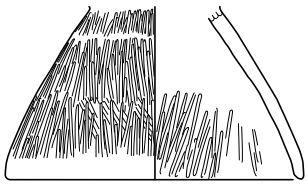


15
04Aa-SB02-d018

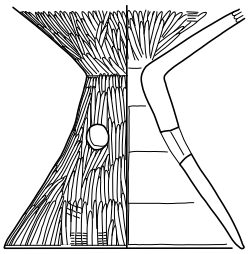




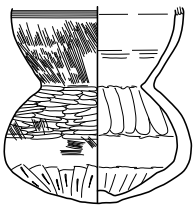
16
04Aa-SB02-d017



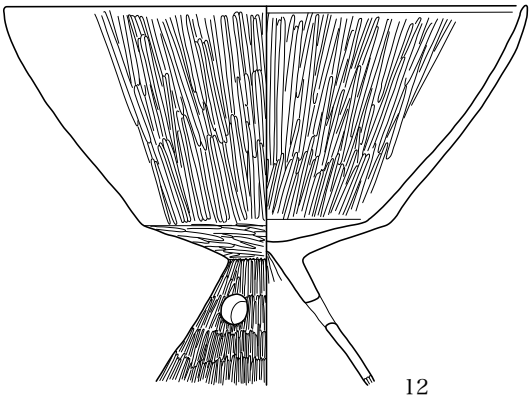
11
04Aa-SB02-d022-2.3



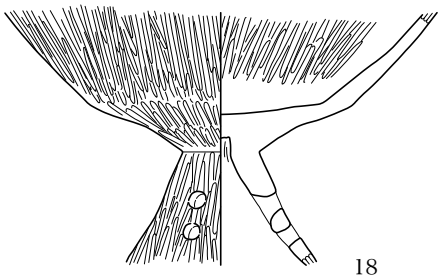
13
04Aa-SB02-d024



17
04Aa-SB02-d021-5

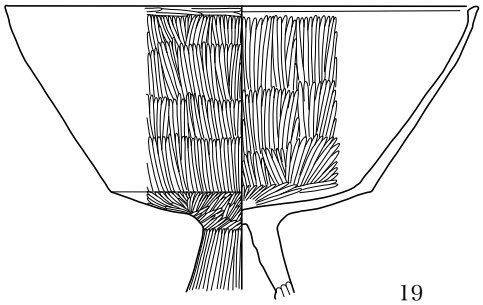


12
04Aa-SB02-d021-6

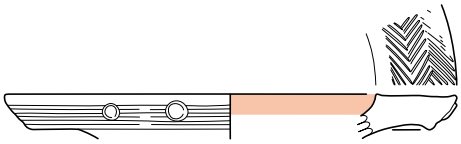


18
04Aa-SB02-d021-7

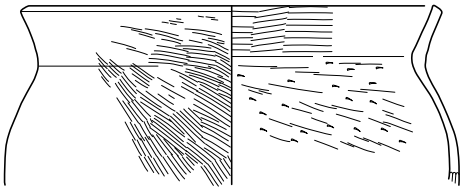
04Aa-SB04



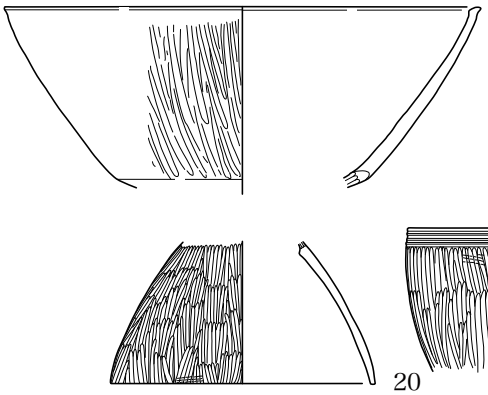
19
04Aa-SB04-d052



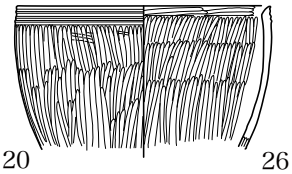
27
04Aa-SB04-d059



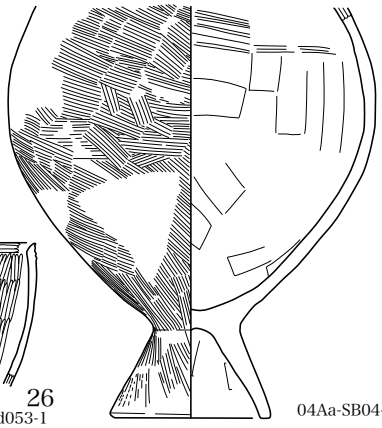
28
04Aa-SB04-d057-1



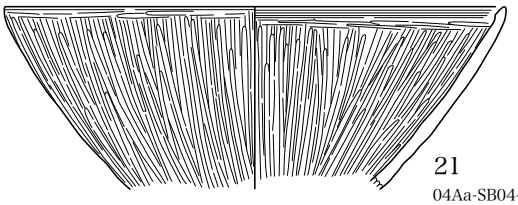
20
04Aa-SB04-d053-3



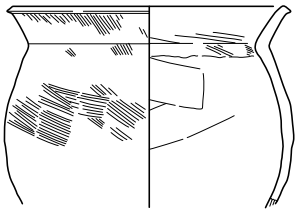
26
04Aa-SB04-d053-1



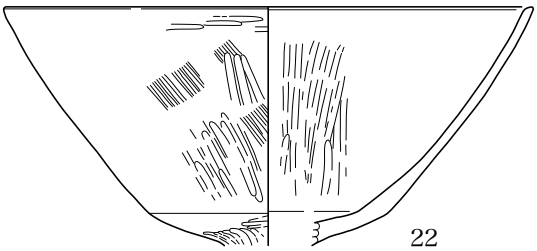
29
04Aa-SB04-d057-3



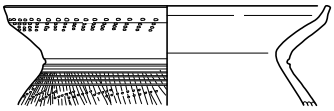
21
04Aa-SB04-d057-2



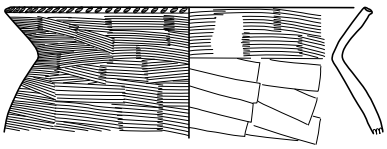
30
04Aa-SB04-d056-2



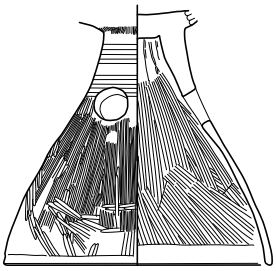
22
04Aa-SB04-d058-3



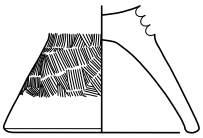
31
04Aa-SB04-d058-1



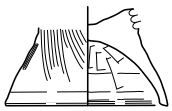
23
04Aa-SB04-d056-1



32
04Aa-SB04-d055-2



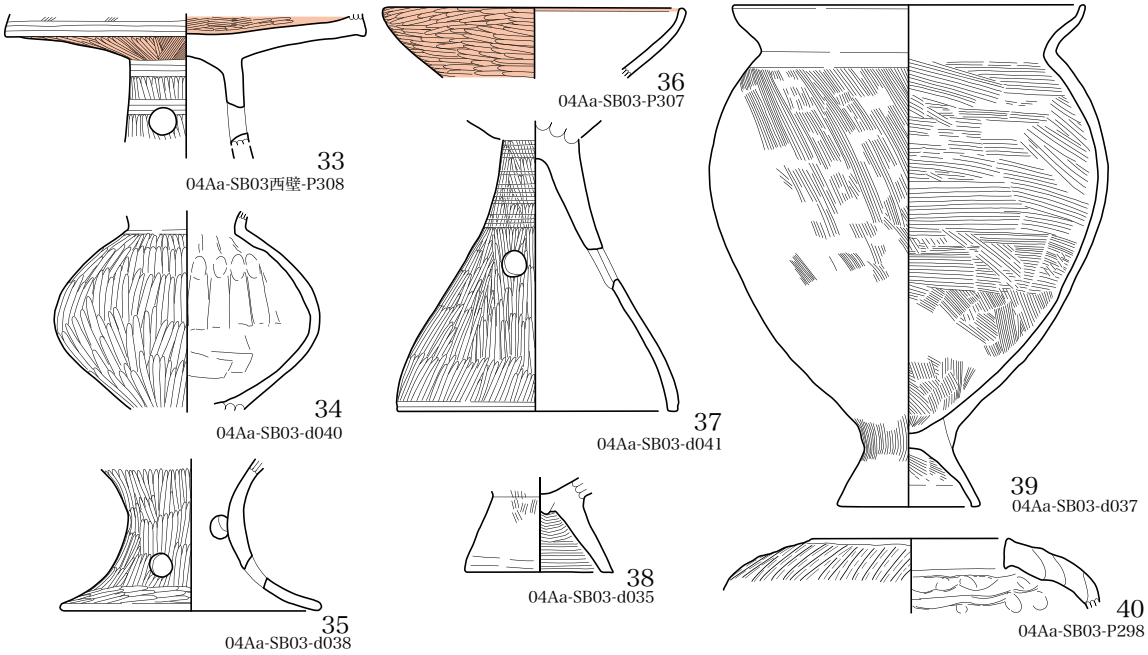
24
04Aa-SB04-d058-2

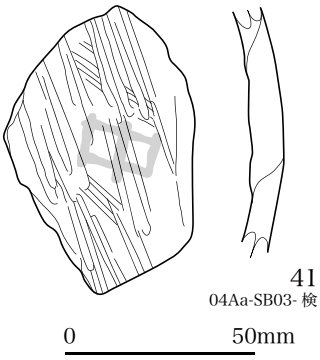


25
04Aa-SB04-d053-2

0 100mm

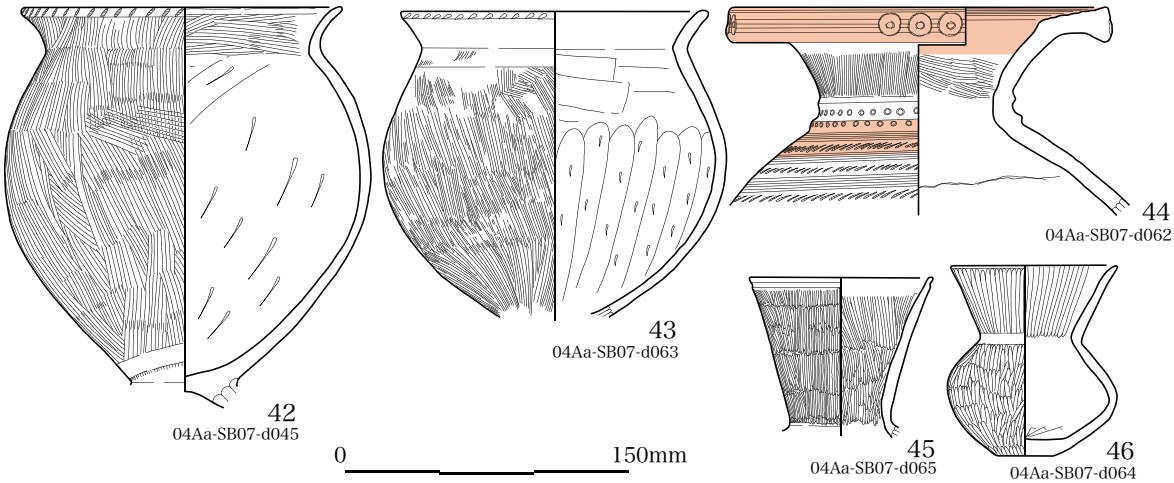
04Aa-SB03



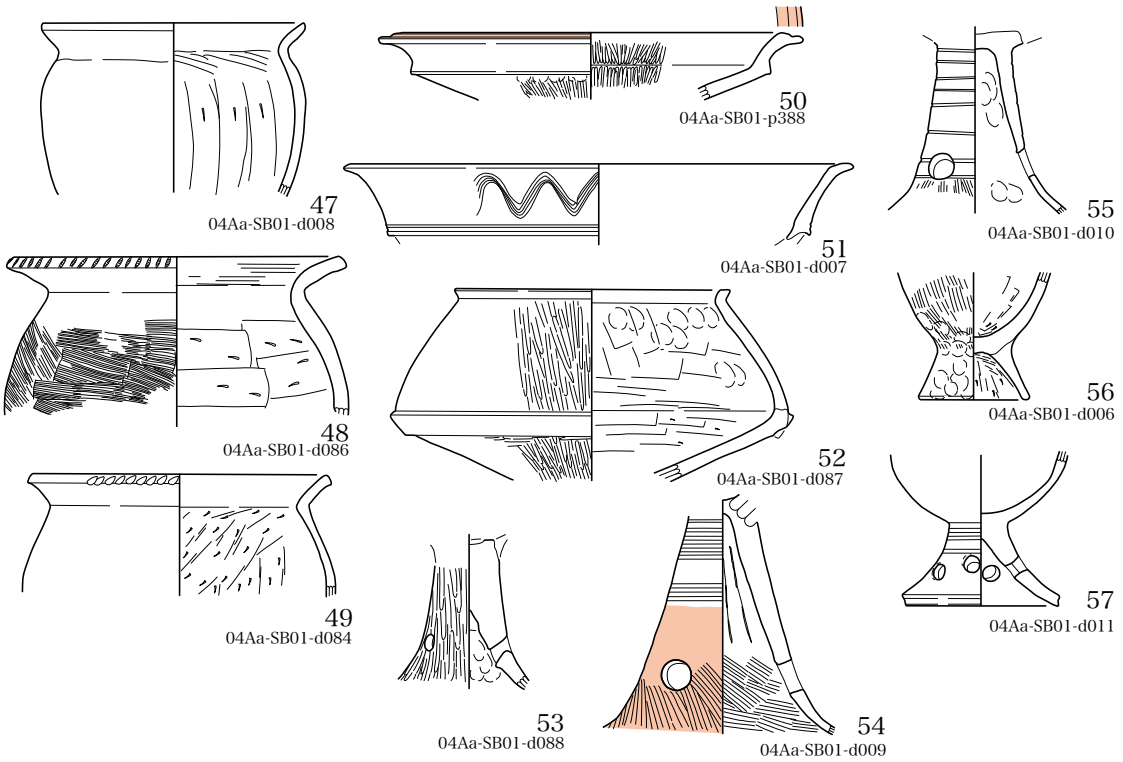


壺体部のほぼ中央部付近の破片資料で外面はミガキ

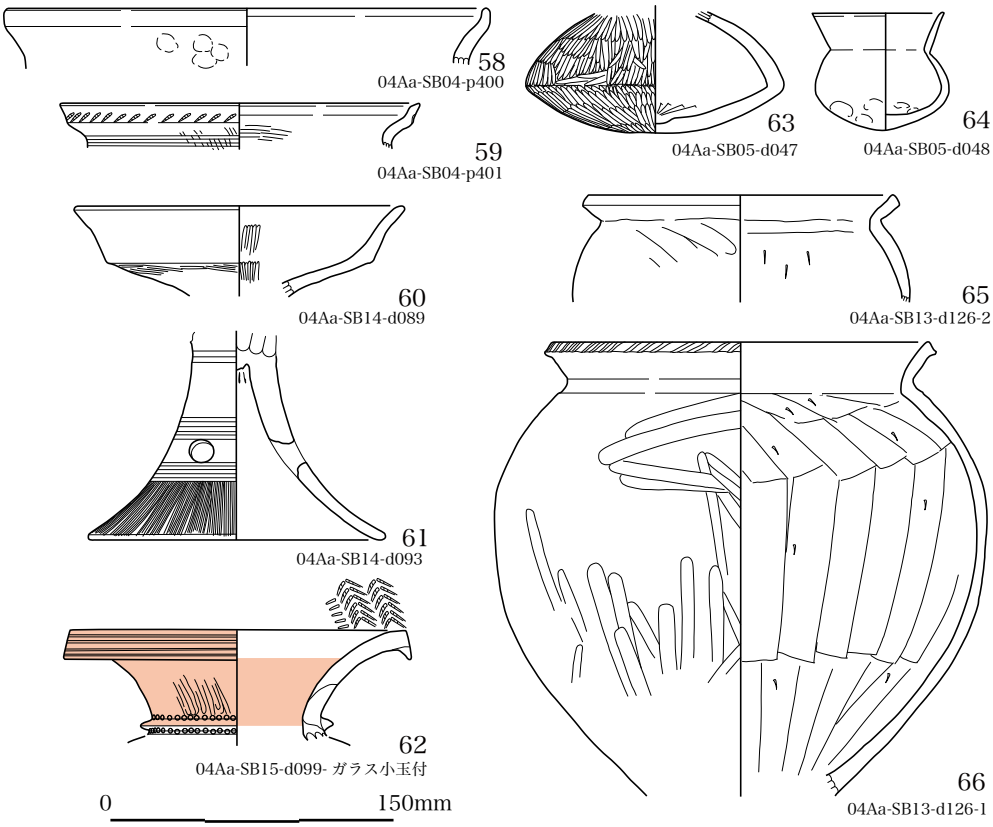
04Aa-SB07



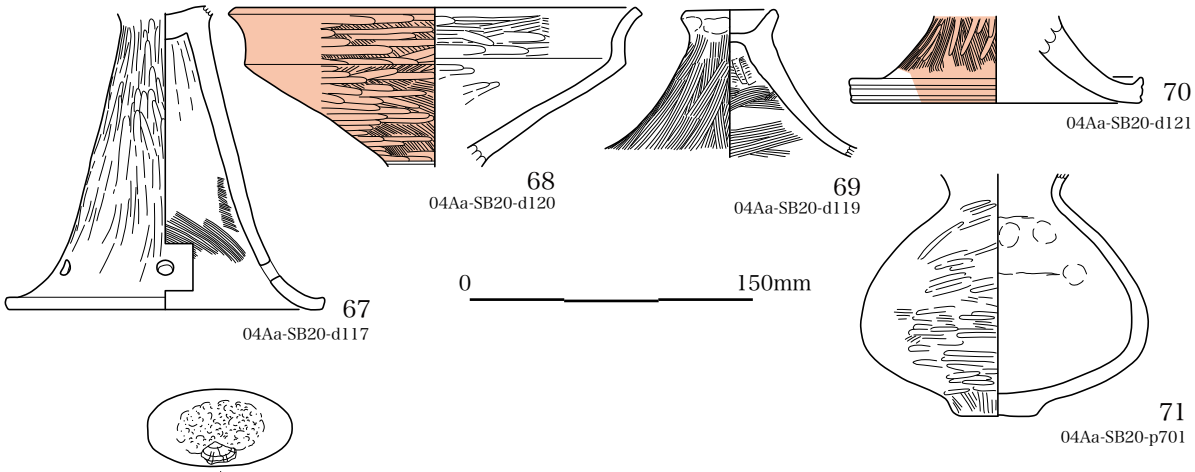
04Aa-SB01

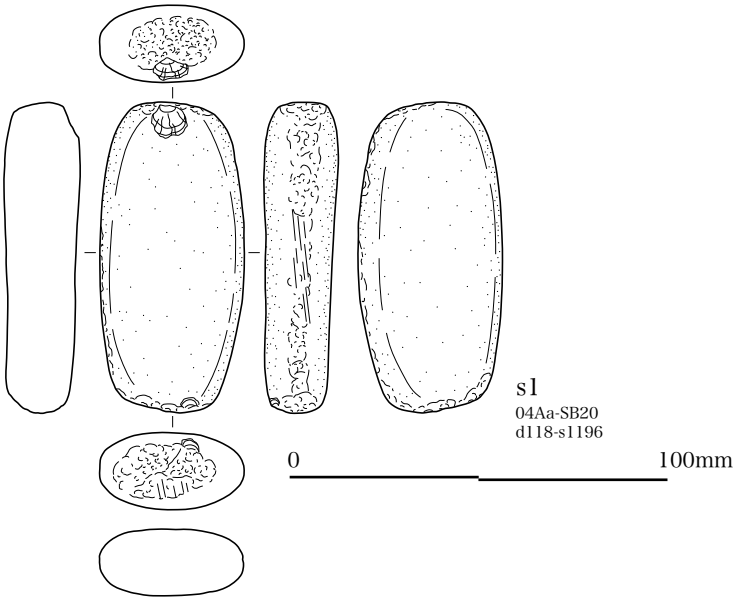


04Aa-SB04・05・13・14・15

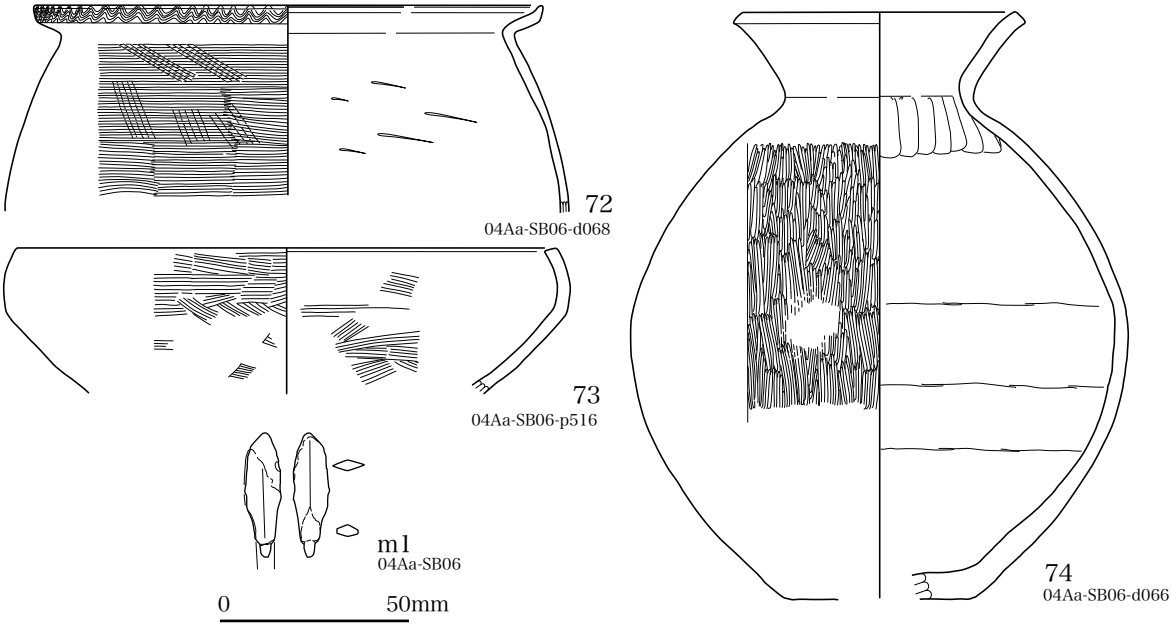


04Aa-SB20

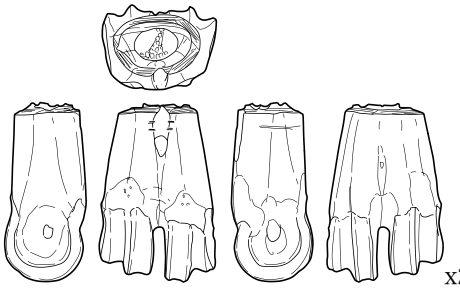




04Aa-SB06

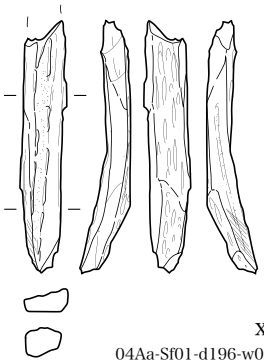


04Aa- 貝塚 A



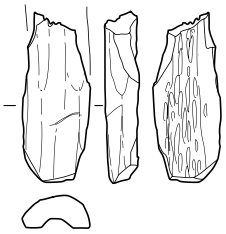
x2
04Aa-検2-x024

x3
04Aa-検2-x023

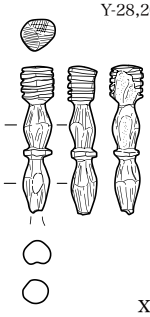


x4
04Aa-Sf01-d196-w014

Y-28,205 Y-28,200 X-86,505 Y-28,195

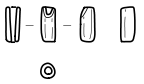


x5
04Aa-SB07下層-x011



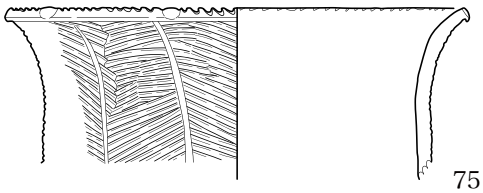
x6
04Aa-SB07下層-x012

0 100mm

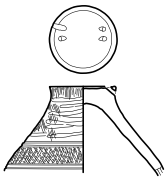


x7
04Aa-SB06下層-x026

0 30mm



75
04Aa-SF01-d195



76
04Aa-SF01-d191

0 150mm

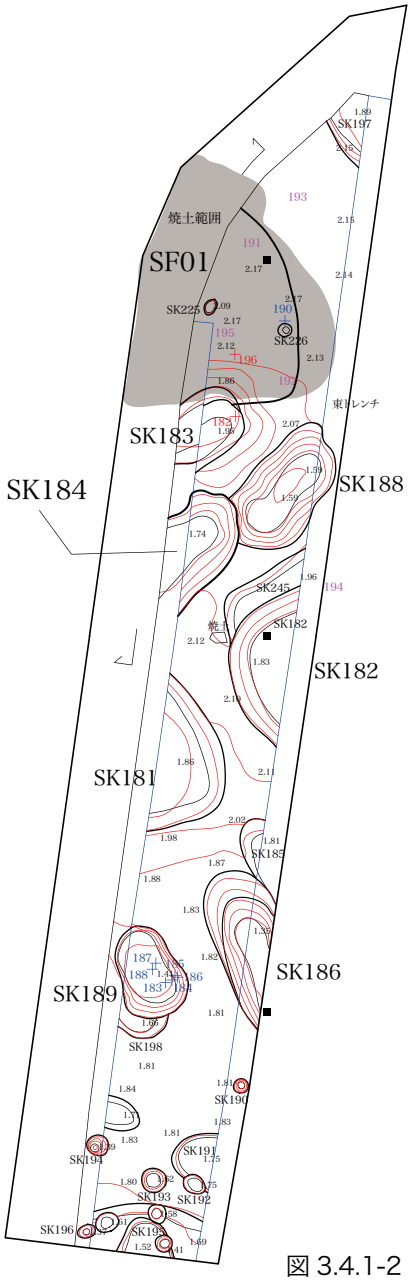
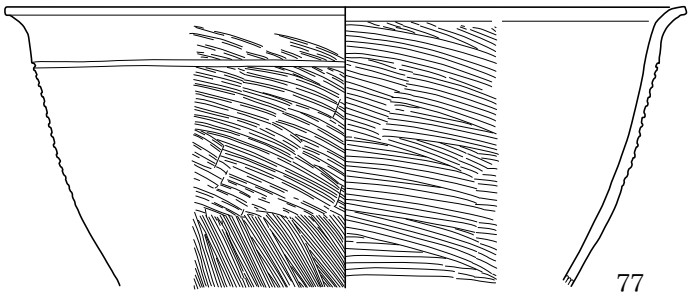
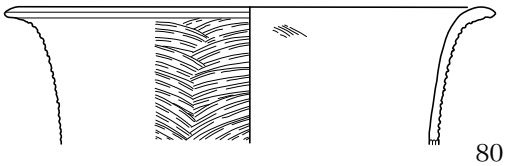


図 3.4.1-2 04Aa-SK184 1/100

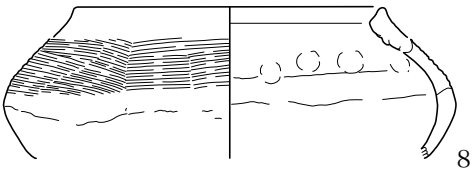
04Aa-SK184



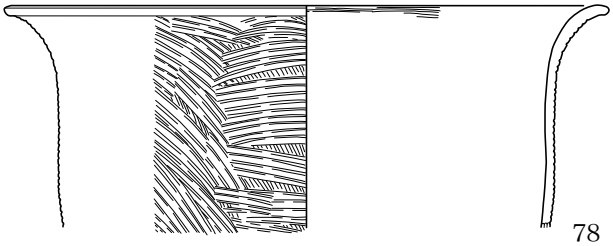
77
04Aa-SK184下層-p509



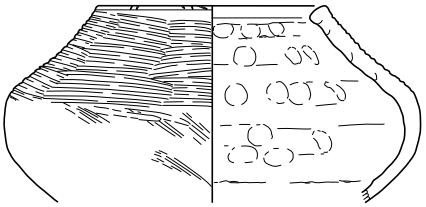
80
04Aa-SK184下層-p510



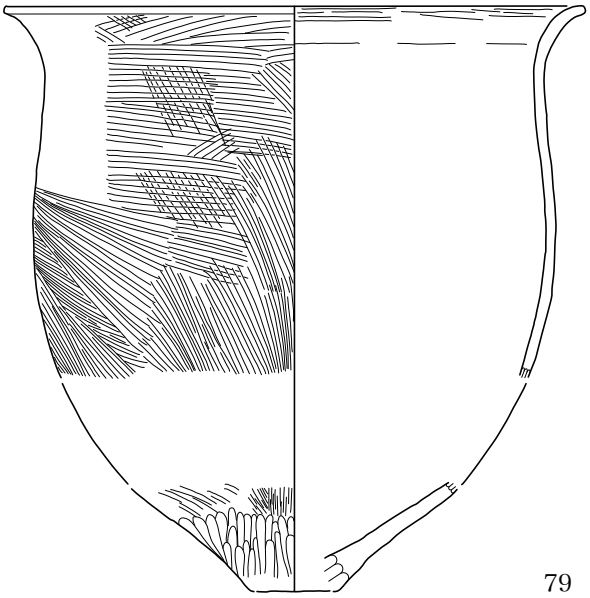
81
04Aa-SK184上層-p512



78
04Aa-SK184下層-p511



82
04Aa-SK184上層-p513



79
04Aa-SK184下層-AMS2-p915

0 150mm

SK184 は 04Aa 区北端に存在する土坑群の一つで，長軸 1.37m 以上で短軸が 1.04m 深さが 0.44m を測る。多量の炭化物・貝等を含む堆積が認められる。朝日式 1 期に所属。遺構の検出面付近には，広く腐食貝層が 0.3m 前後ほど堆積する状況が確認できる。調査区に近接した第 82 区では最終加工面に遺構が認められず，05Ac 区と同様に朝日式期の貝塚状の高まり（貝塚 A）が長く存在したものと推測できる。貝塚周辺部に焼土面や土坑群が展開していく様子がうかがえる。

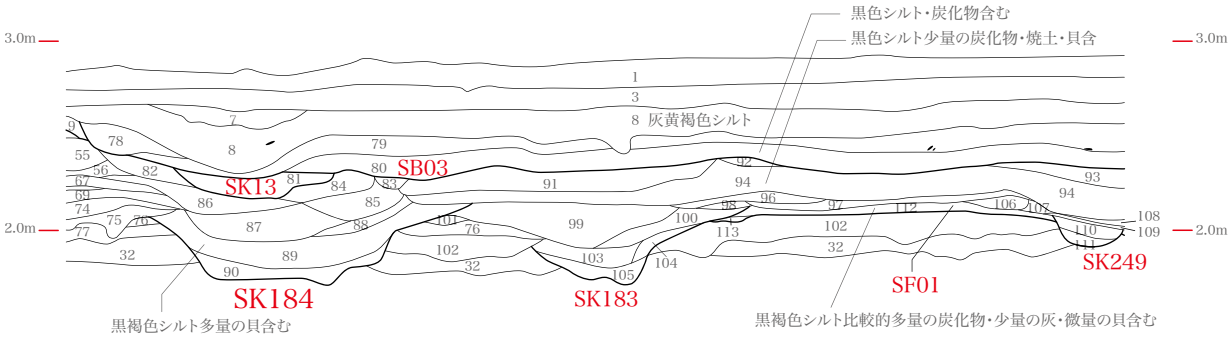


図 3.4.1-3　04Aa-SK184 付近断面図　1/40

3.4.1.2　04Ab-SD01・SD02

北区画南側の谷 A 右岸に位置する 04Ab 区では，後期内環濠 SD03 と後期外環濠 SD01 が北区画内側に向かって凹み部を形成する特異な空間を形づくっている。さらにその南側には溝状の SD02 が併行して設置されている。なおその下層には重複して貝田町式 3 期新の大型土坑 SK03 が存在する。SD01-3 層を中心として多量の遺物が出土し，SD02 では 4 層を中心として土器・木製品などの遺物が集中する。両者とも基本は山中 I 式期を中心とする遺物群である。

溝は逆台形状を呈し，SD01 は幅 5m で深さ 1.72m を測る。SD02 は溝幅が 2.83m で深さ 1.39m を測る。SD01-1 層は朝日 M 層が堆積し，松河戸式期の遺物が出土している。2・3 層は朝日 H 層で山中 I 式期の良好な一括資料。SD02 も同様であり，最下層の 4 層は八王子古宮式から山中 I 式初頭段階に所属する堆積層と思われる。いずれにしろ後期環濠の掘削が，八王子古宮式の新しい段階から山中 I 式初頭段階に求めることができる。

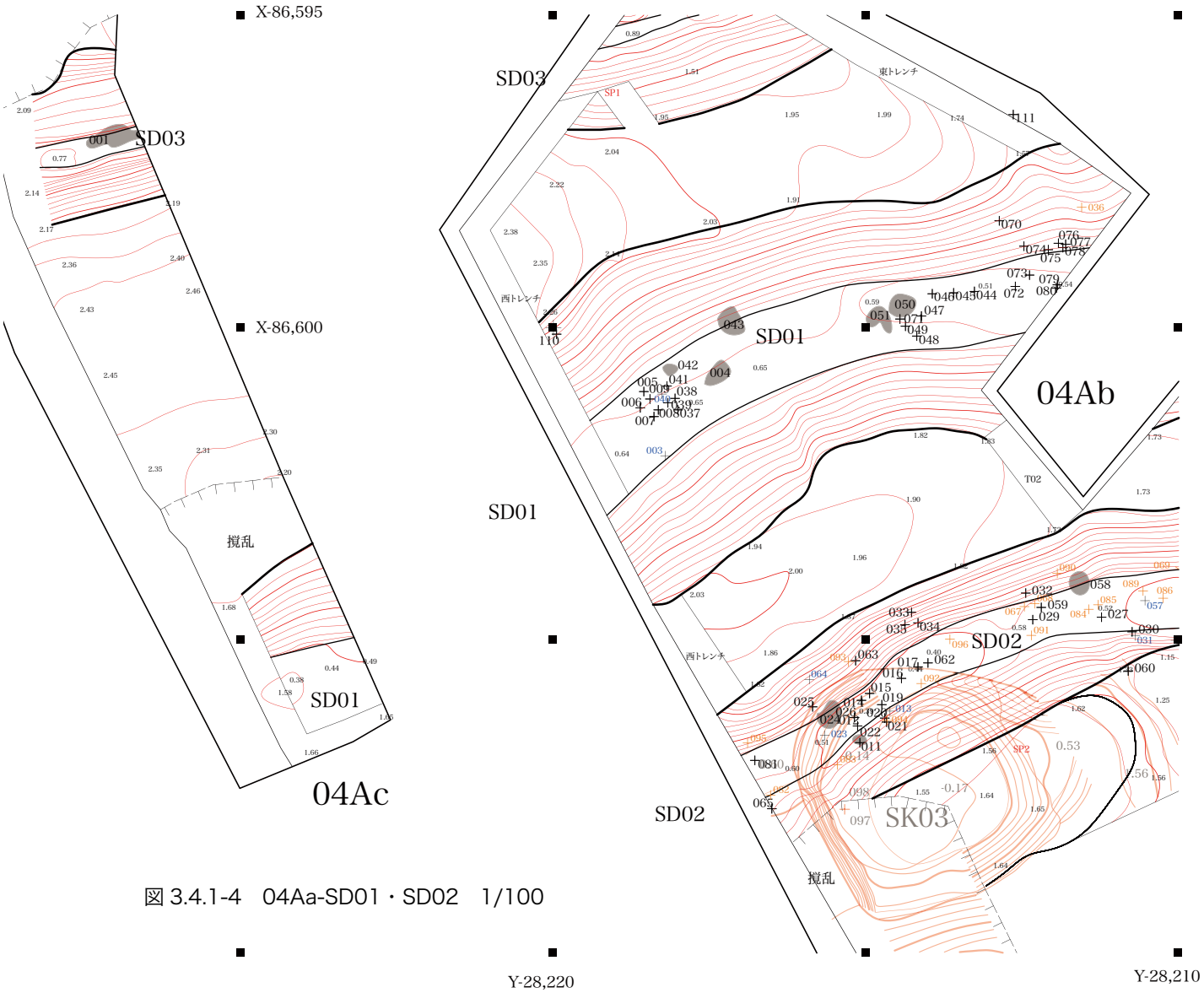
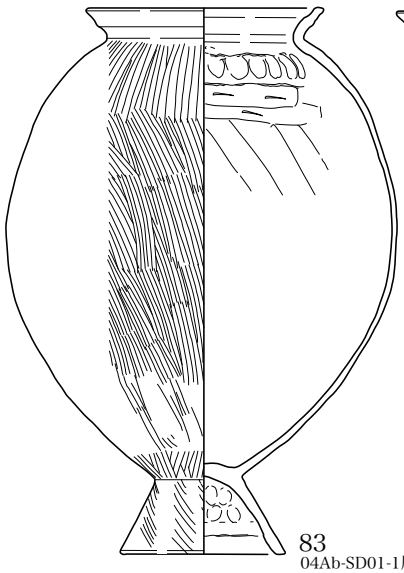
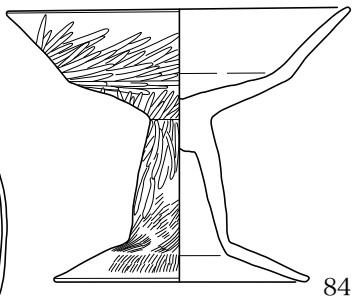


図 3.4.1-4　04Aa-SD01・SD02　1/100

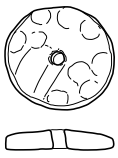
04Ab-SD01_1



83
04Ab-SD01-1層-d004-1

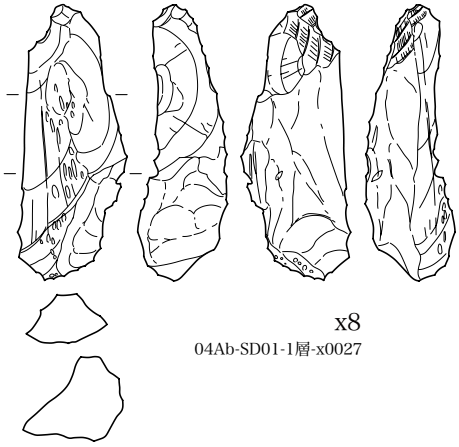


84
04Ab-SD01-1層-d004-2

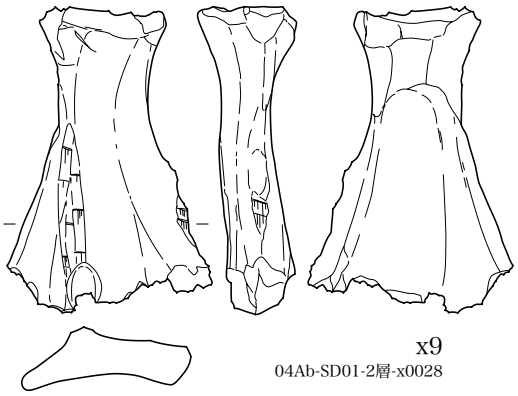


85
04Ab-SD01-1層-d003

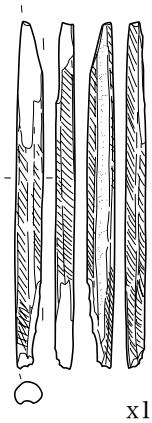
0 150mm



x8
04Ab-SD01-1層-x0027

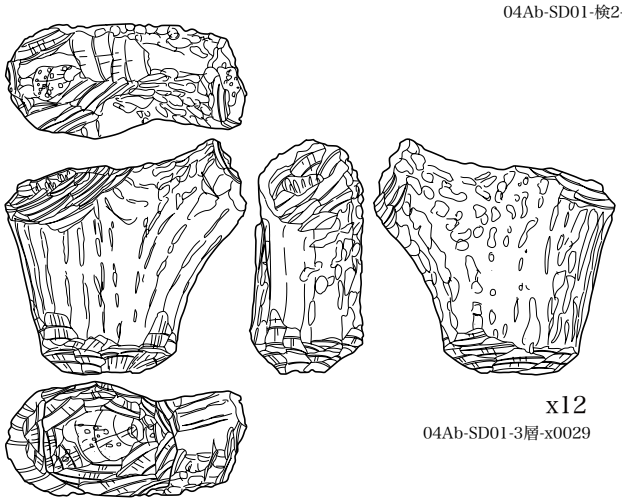


x9
04Ab-SD01-2層-x0028



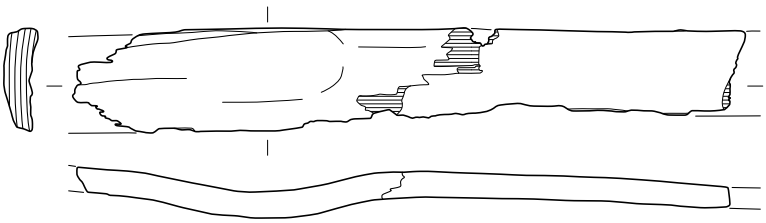
x10
04Ab-SD01-検2-x0038

x11
04Ab-SD01-検2-x0039



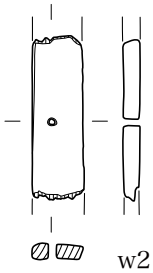
x12
04Ab-SD01-3層-x0029

0 100mm

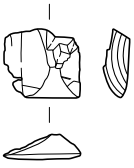


0 150mm

w1
04Ab-SD01-3層-w003

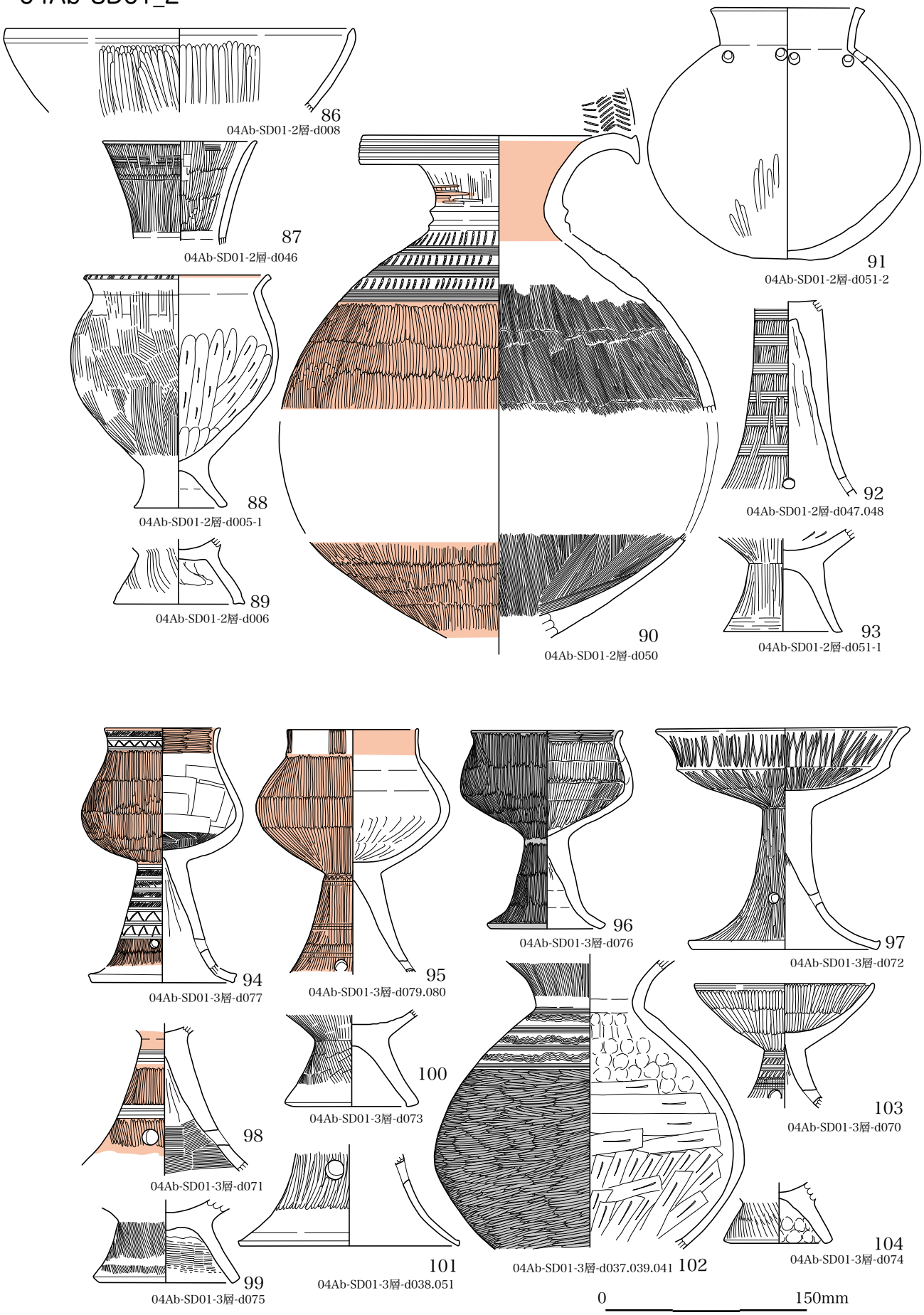


w2
04Ab-SD01-3層-W005

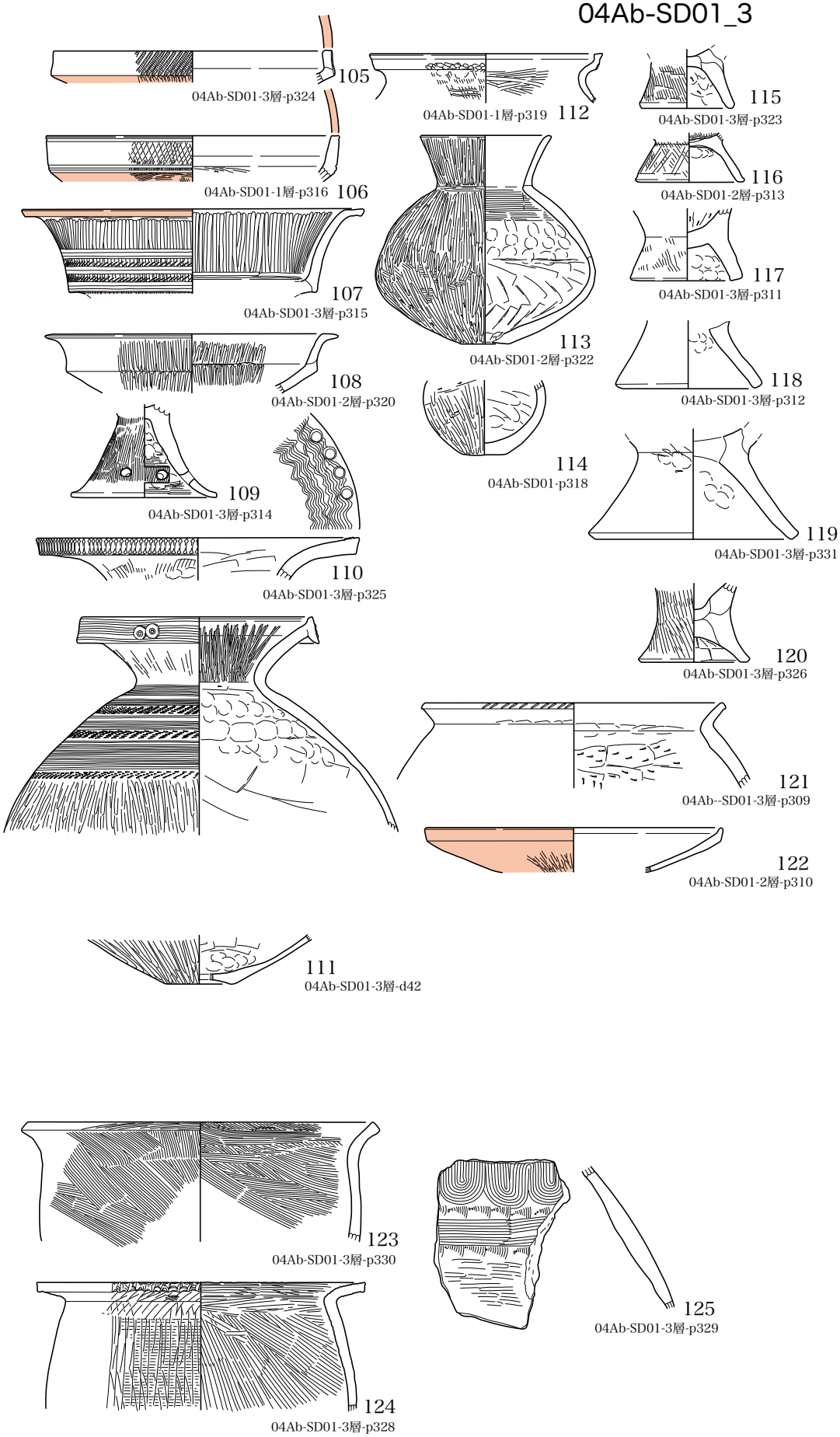


w3
04Ab-SD01-4 層 -w004

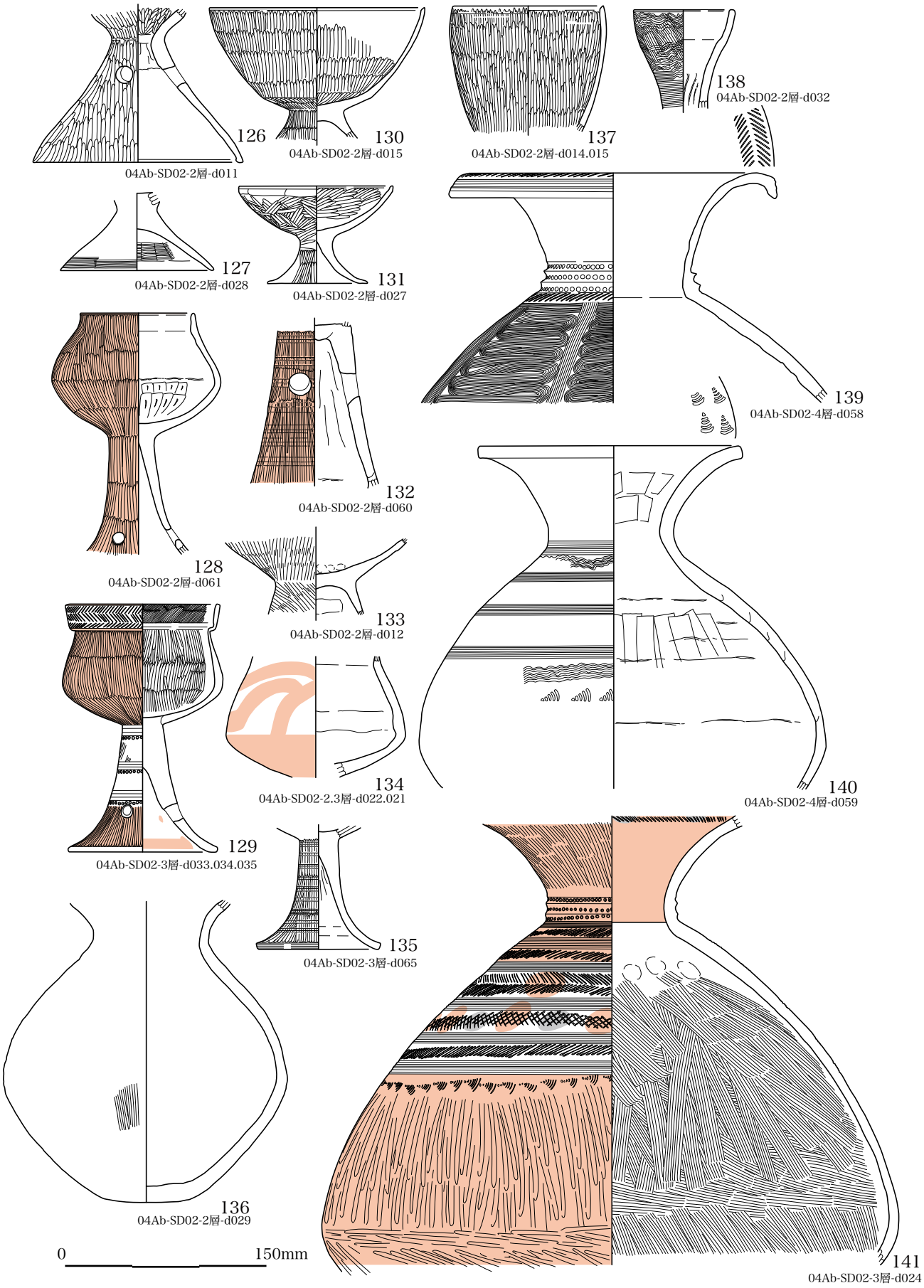
04Ab-SD01_2


86
04Ab-SD01-2層-d008
87
04Ab-SD01-2層-d046
88
04Ab-SD01-2層-d005-1
89
04Ab-SD01-2層-d006
90
04Ab-SD01-2層-d050
91
04Ab-SD01-2層-d051-2
92
04Ab-SD01-2層-d047.048
93
04Ab-SD01-2層-d051-1
94
04Ab-SD01-3層-d077
95
04Ab-SD01-3層-d079.080
96
04Ab-SD01-3層-d076
97
04Ab-SD01-3層-d072
98
04Ab-SD01-3層-d071
99
04Ab-SD01-3層-d075
100
04Ab-SD01-3層-d073
101
04Ab-SD01-3層-d038.051
102
04Ab-SD01-3層-d037.039.041
103
04Ab-SD01-3層-d070
104
04Ab-SD01-3層-d074
0
150mm

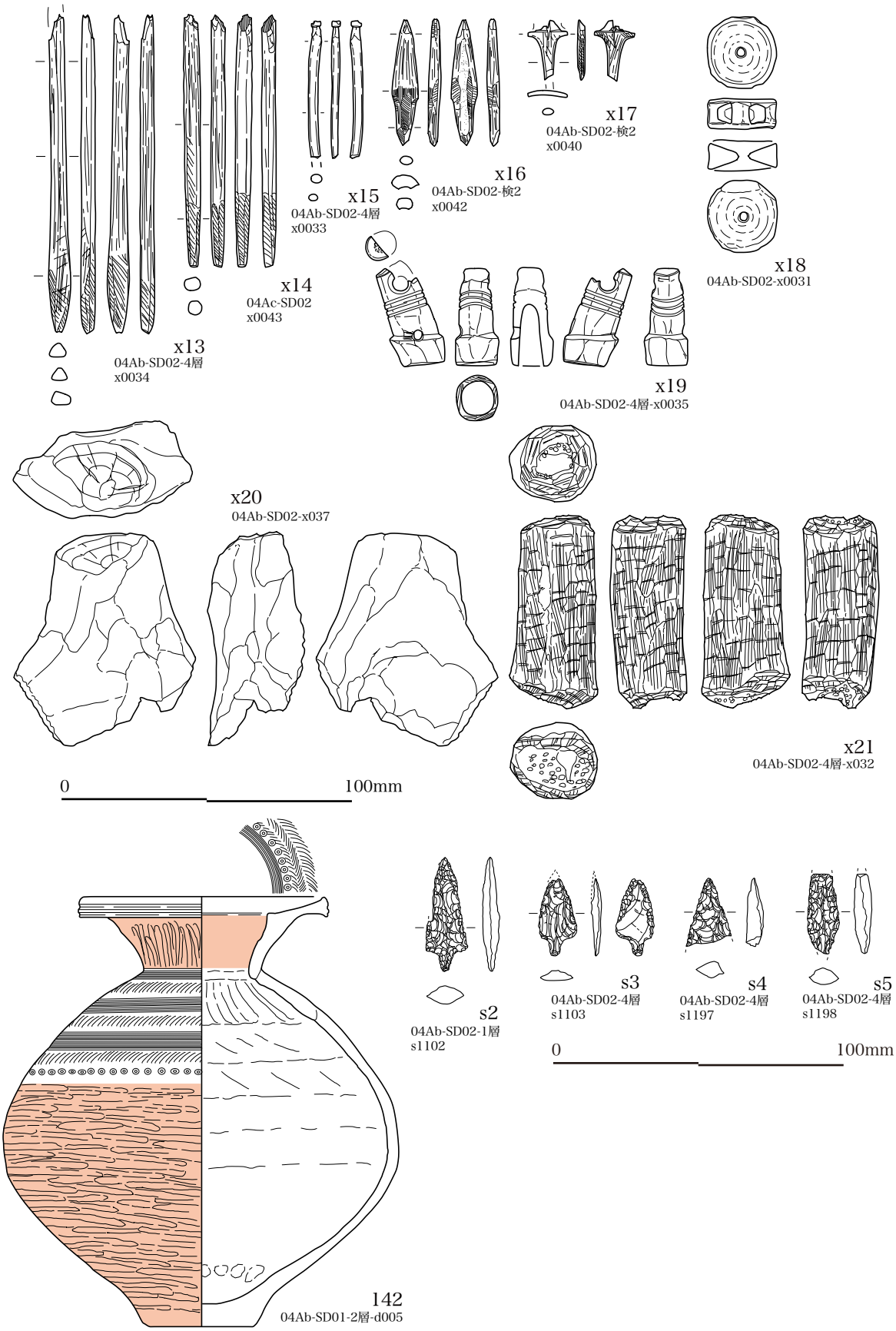
04Ab-SD01_3


105
04Ab-SD01-3層-p324
04Ab-SD01-1層-p319 112
115
04Ab-SD01-3層-p323
04Ab-SD01-1層-p316 106
116
04Ab-SD01-2層-p313
107
04Ab-SD01-3層-p315
117
04Ab-SD01-3層-p311
113
04Ab-SD01-2層-p322
108
04Ab-SD01-2層-p320
118
04Ab-SD01-3層-p312
114
04Ab-SD01-p318
109
04Ab-SD01-3層-p314
119
04Ab-SD01-3層-p331
110
04Ab-SD01-3層-p325
120
04Ab-SD01-3層-p326
121
04Ab--SD01-3層-p309
122
04Ab-SD01-2層-p310
111
04Ab-SD01-3層-d42
123
04Ab-SD01-3層-p330
125
04Ab-SD01-3層-p329
124
04Ab-SD01-3層-p328

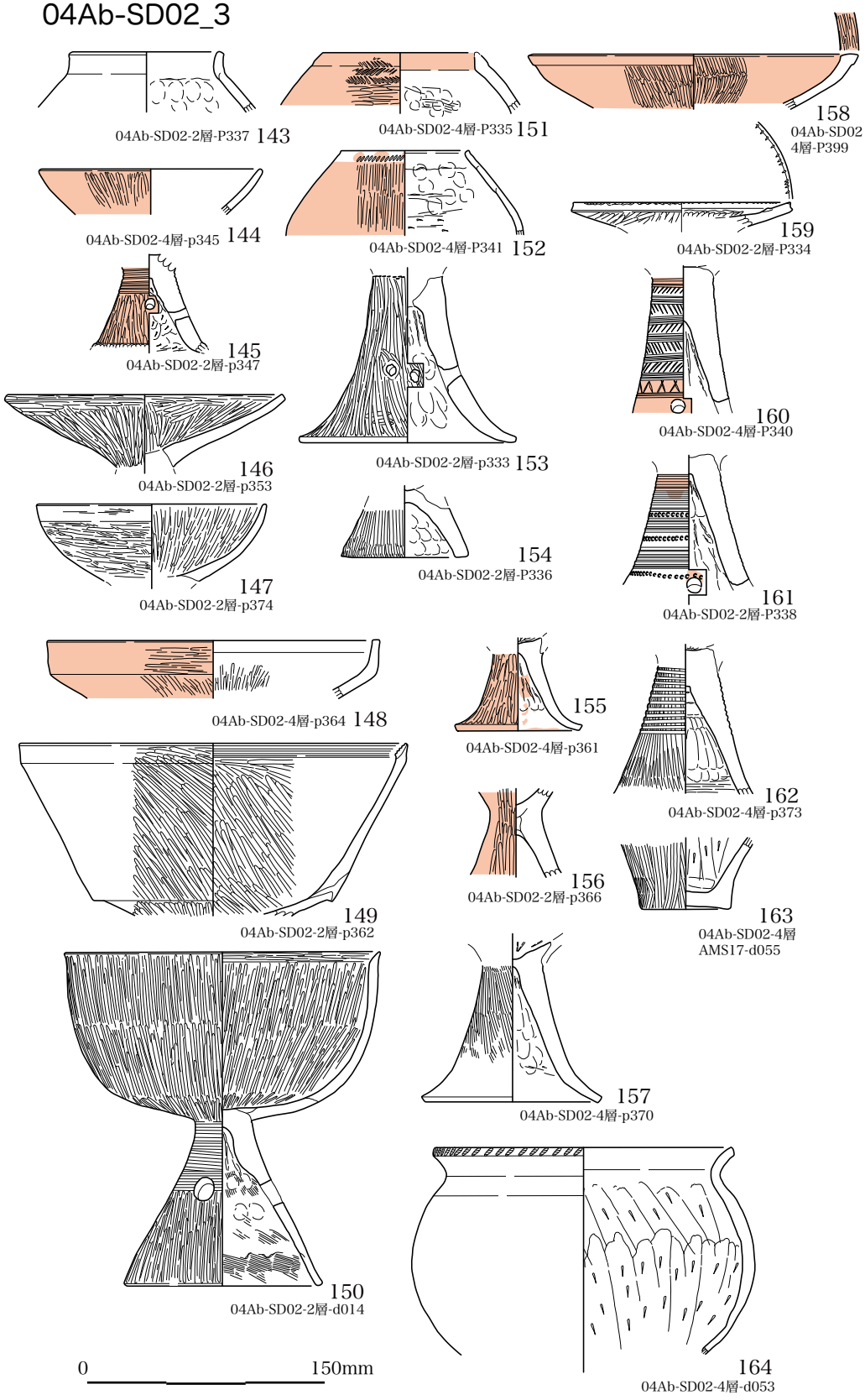
04Ab-SD02_1


126
04Ab-SD02-2層-d011
130
04Ab-SD02-2層-d015
137
04Ab-SD02-2層-d014.015
138
04Ab-SD02-2層-d032
127
04Ab-SD02-2層-d028
131
04Ab-SD02-2層-d027
139
04Ab-SD02-4層-d058
132
04Ab-SD02-2層-d060
128
04Ab-SD02-2層-d061
133
04Ab-SD02-2層-d012
134
04Ab-SD02-2.3層-d022.021
140
04Ab-SD02-4層-d059
129
04Ab-SD02-3層-d033.034.035
135
04Ab-SD02-3層-d065
136
04Ab-SD02-2層-d029
0
150mm
141
04Ab-SD02-3層-d024

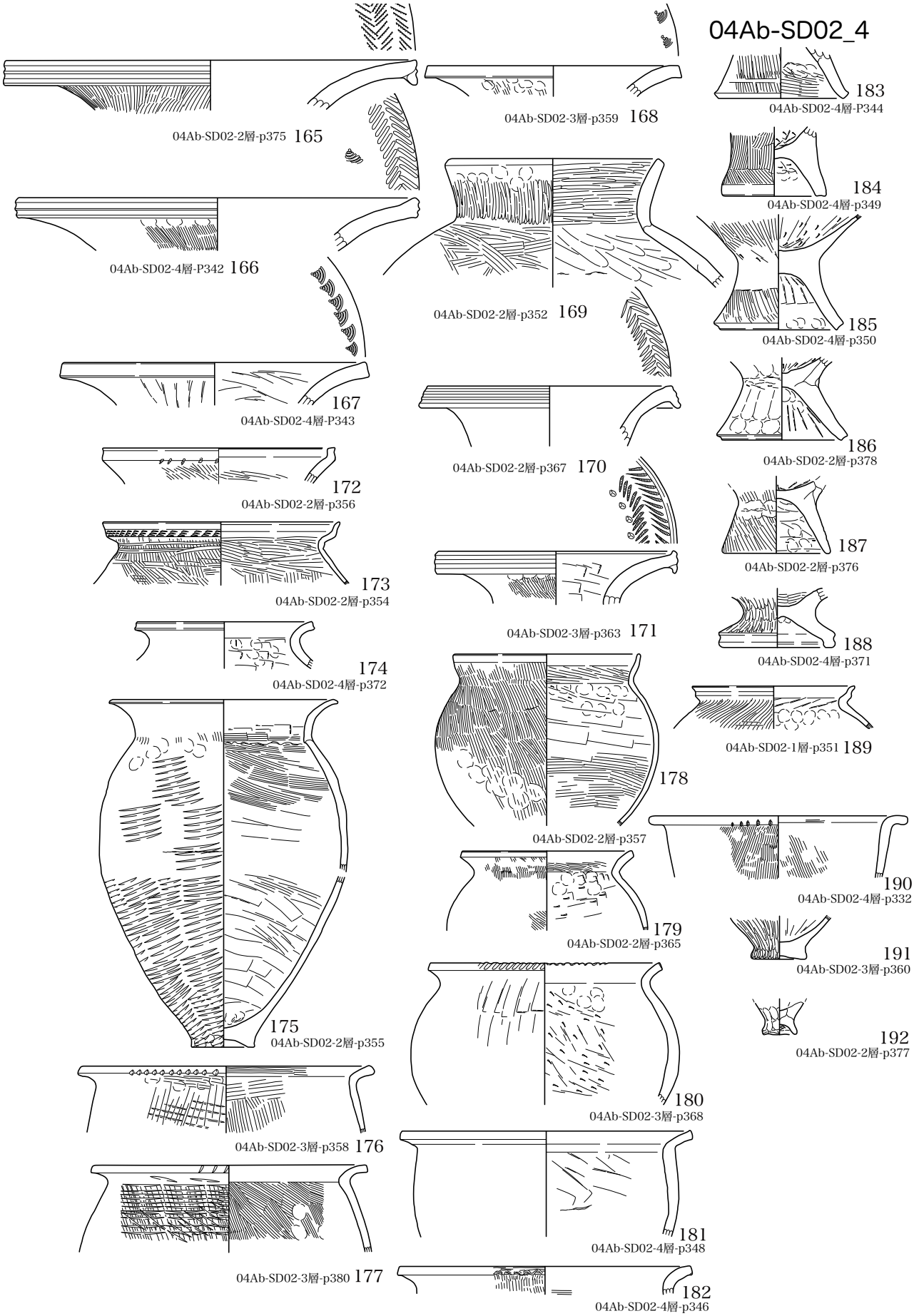
04Ab-SD02_2


x13
04Ab-SD02-4層
x0034
x14
04Ac-SD02
x0043
x15
04Ab-SD02-4層
x0033
x16
04Ab-SD02-検2
x0042
x17
04Ab-SD02-検2
x0040
x18
04Ab-SD02-x0031
x19
04Ab-SD02-4層-x0035
x20
04Ab-SD02-x037
0
100mm
x21
04Ab-SD02-4層-x032
142
04Ab-SD01-2層-d005
s2
04Ab-SD02-1層
s1102
s3
04Ab-SD02-4層
s1103
s4
04Ab-SD02-4層
s1197
s5
04Ab-SD02-4層
s1198
0
100mm

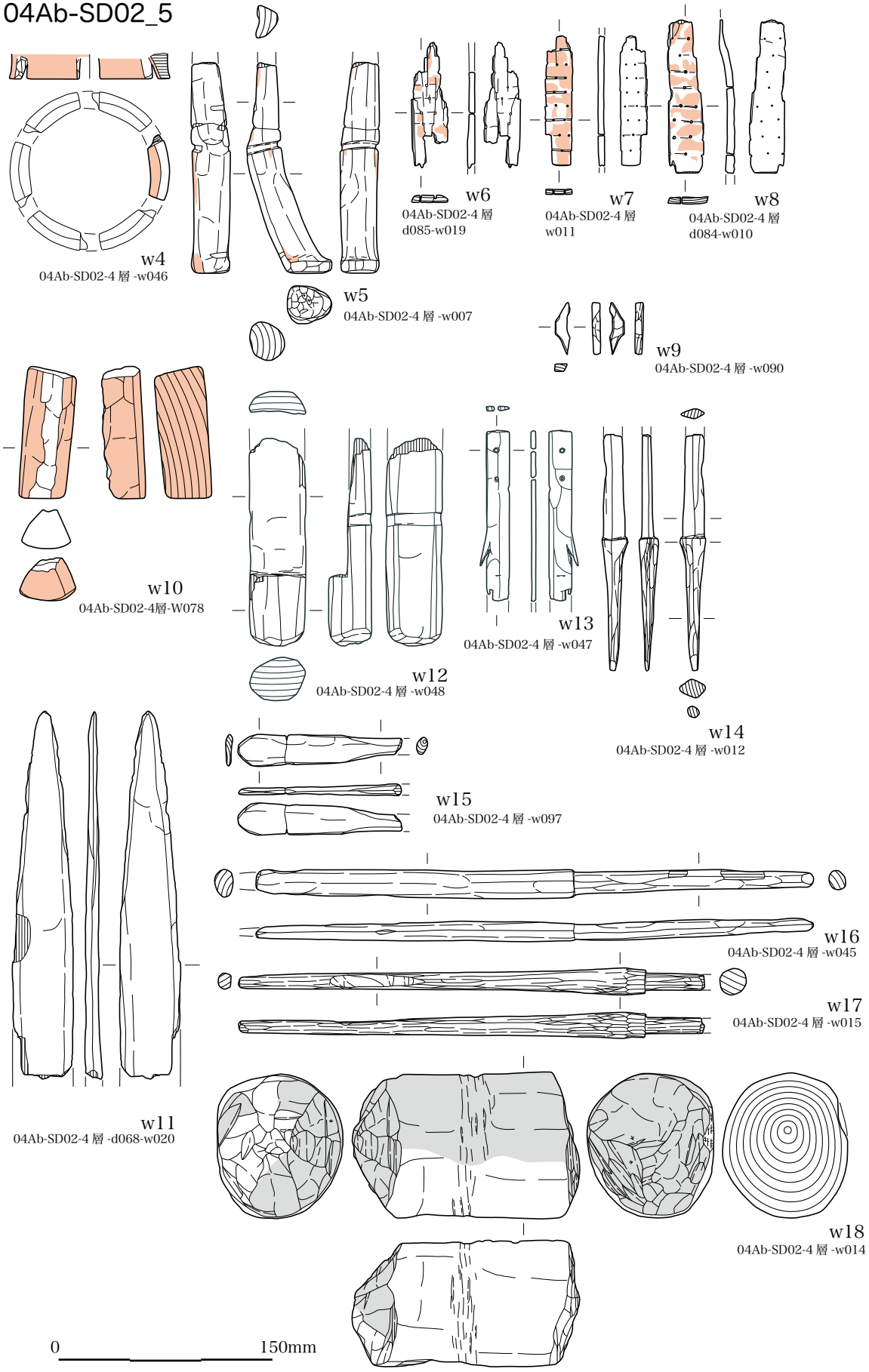
04Ab-SD02_3


04Ab-SD02-2層-P337 143
04Ab-SD02-4層-P335 151
158
04Ab-SD02
4層-P399
04Ab-SD02-4層-p345 144
04Ab-SD02-4層-P341 152
159
04Ab-SD02-2層-P334
145
04Ab-SD02-2層-p347
160
04Ab-SD02-4層-P340
146
04Ab-SD02-2層-p353
04Ab-SD02-2層-p333 153
147
04Ab-SD02-2層-p374
154
04Ab-SD02-2層-P336
161
04Ab-SD02-2層-P338
04Ab-SD02-4層-p364 148
155
04Ab-SD02-4層-p361
162
04Ab-SD02-4層-p373
149
04Ab-SD02-2層-p362
156
04Ab-SD02-2層-p366
163
04Ab-SD02-4層
AMS17-d055
157
04Ab-SD02-4層-p370
150
04Ab-SD02-2層-d014
0
150mm
164
04Ab-SD02-4層-d053

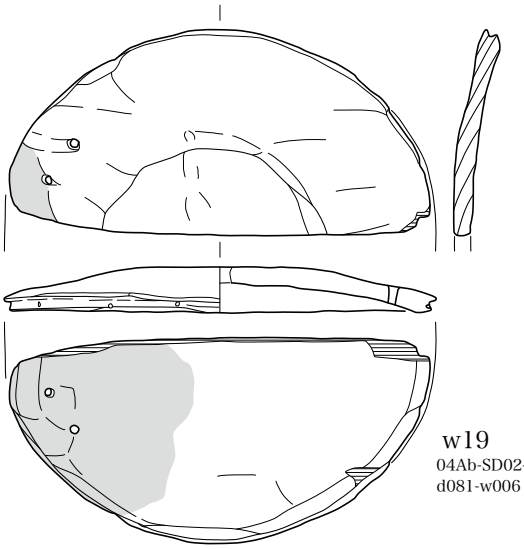
04Ab-SD02_4


04Ab-SD02-2層-p375 165
04Ab-SD02-4層-P342 166
167
04Ab-SD02-4層-P343
172
04Ab-SD02-2層-p356
173
04Ab-SD02-2層-p354
174
04Ab-SD02-4層-p372
175
04Ab-SD02-2層-p355
04Ab-SD02-3層-p358 176
04Ab-SD02-3層-p380 177
04Ab-SD02-3層-p359 168
04Ab-SD02-2層-p352 169
04Ab-SD02-2層-p367 170
04Ab-SD02-3層-p363 171
178
04Ab-SD02-2層-p357
179
04Ab-SD02-2層-p365
180
04Ab-SD02-3層-p368
181
04Ab-SD02-4層-p348
182
04Ab-SD02-4層-p346
183
04Ab-SD02-4層-P344
184
04Ab-SD02-4層-p349
185
04Ab-SD02-4層-p350
186
04Ab-SD02-2層-p378
187
04Ab-SD02-2層-p376
188
04Ab-SD02-4層-p371
04Ab-SD02-1層-p351 189
190
04Ab-SD02-4層-p332
191
04Ab-SD02-3層-p360
192
04Ab-SD02-2層-p377

04Ab-SD02_5

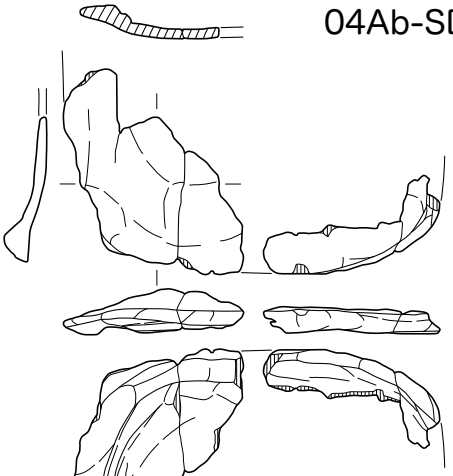

w4
04Ab-SD02-4 層 -w046
w5
04Ab-SD02-4 層 -w007
w6
04Ab-SD02-4 層
d085-w019
w7
04Ab-SD02-4 層
w011
w8
04Ab-SD02-4 層
d084-w010
w9
04Ab-SD02-4 層 -w090
w10
04Ab-SD02-4層-W078
w12
04Ab-SD02-4 層 -w048
w13
04Ab-SD02-4 層 -w047
w14
04Ab-SD02-4 層 -w012
w15
04Ab-SD02-4 層 -w097
w16
04Ab-SD02-4 層 -w045
w17
04Ab-SD02-4 層 -w015
w11
04Ab-SD02-4 層 -d068-w020
w18
04Ab-SD02-4 層 -w014
0
150mm

04Ab-SD02_6

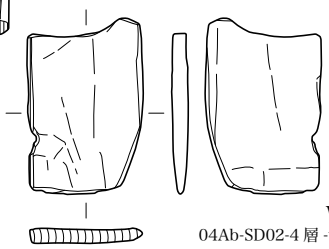


w19
04Ab-SD02-4 層
d081-w006

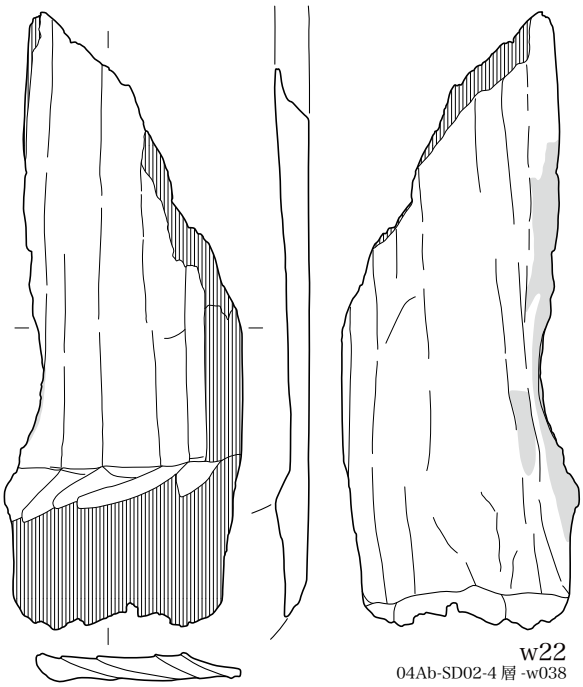
0 150mm



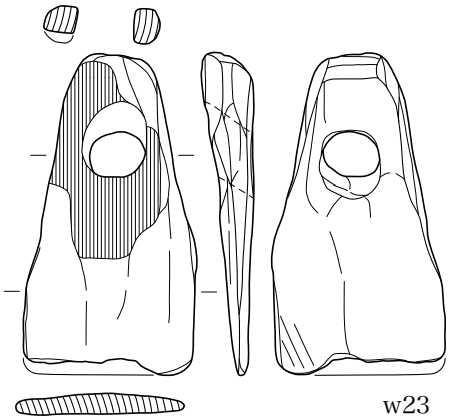
w20
04Ab-SD02-4 層 -w013



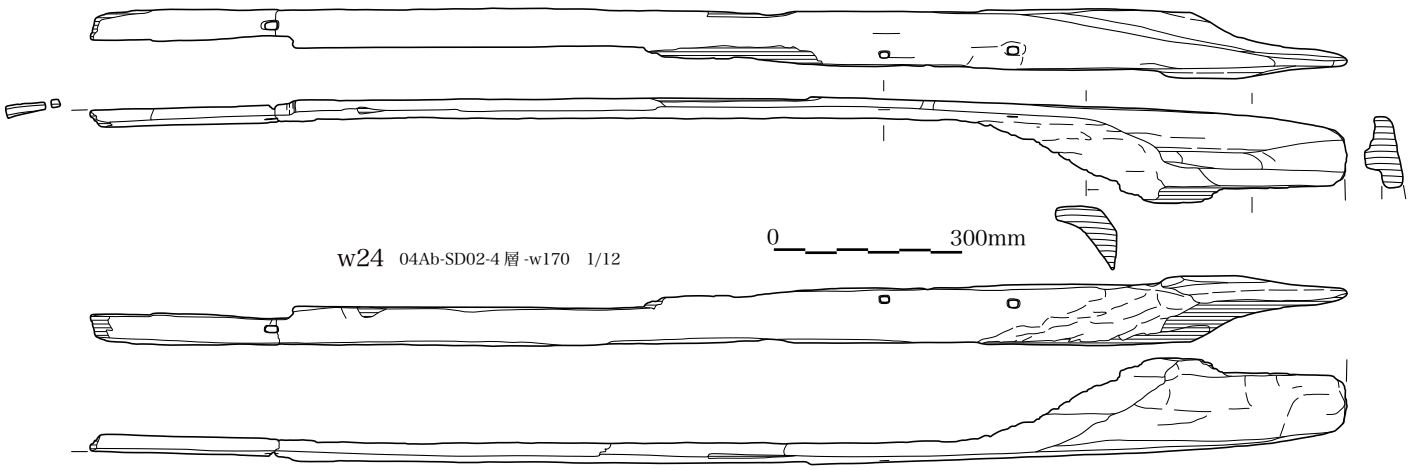
w21
04Ab-SD02-4 層 -w071



w22
04Ab-SD02-4 層 -w038



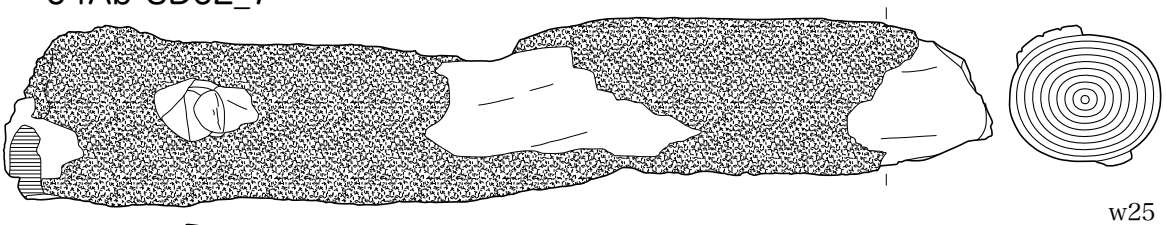
w23
04Ab-SD02-4 層 -d082-w009



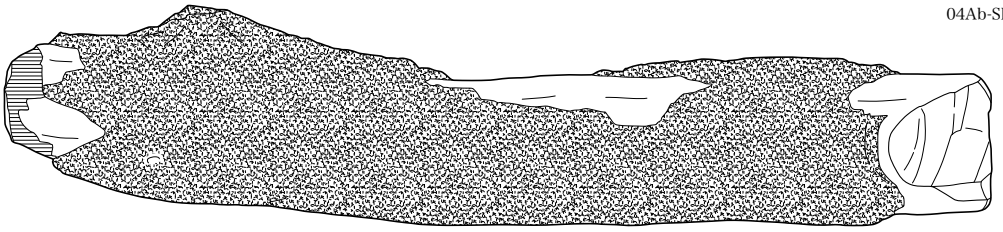
0 300mm

w24 04Ab-SD02-4 層 -w170 1/12

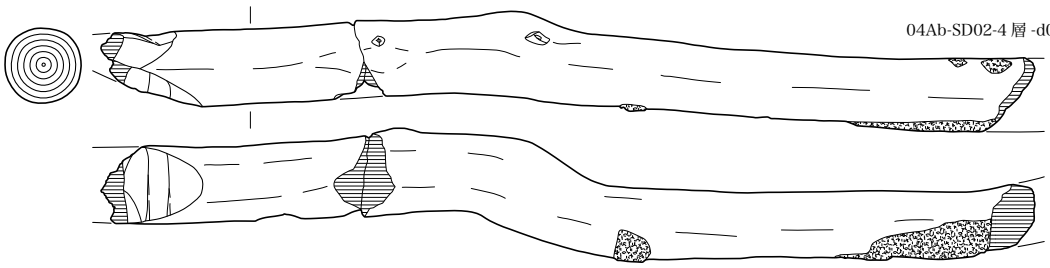
04Ab-SD02_7

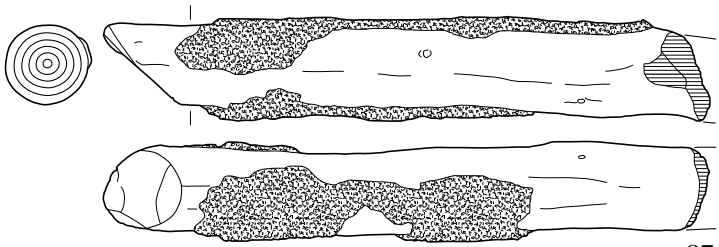


w25
04Ab-SD02-4 層 -d091-w021

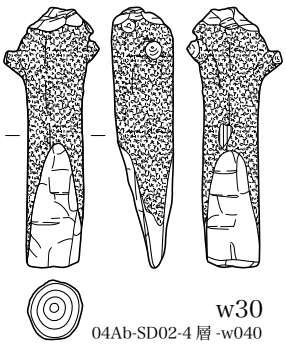


w26
04Ab-SD02-4 層 -d096-w022

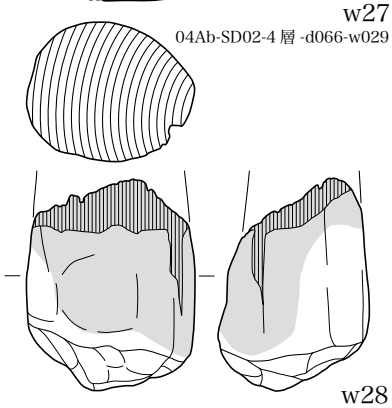




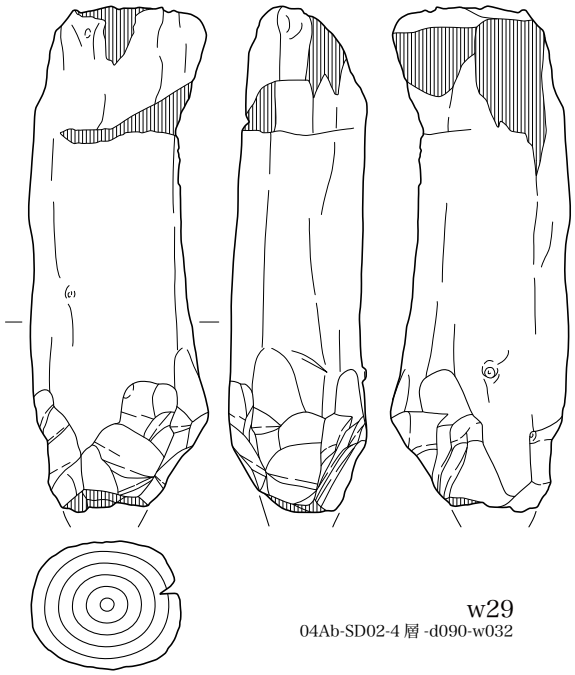
w27
04Ab-SD02-4 層 -d066-w029



w30
04Ab-SD02-4 層 -w040

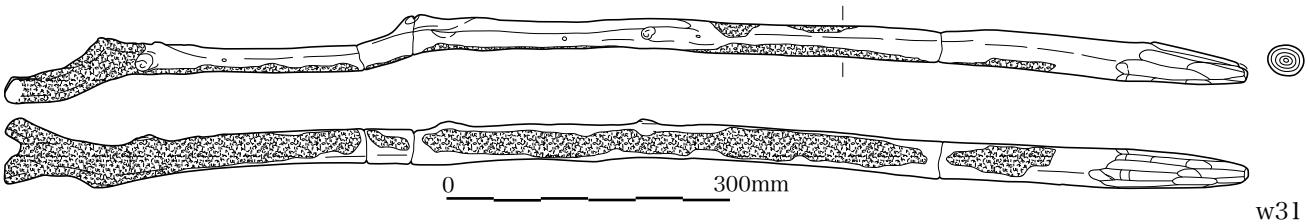


w28
04Ab-SD02-4 層 -w008



w29
04Ab-SD02-4 層 -d090-w032

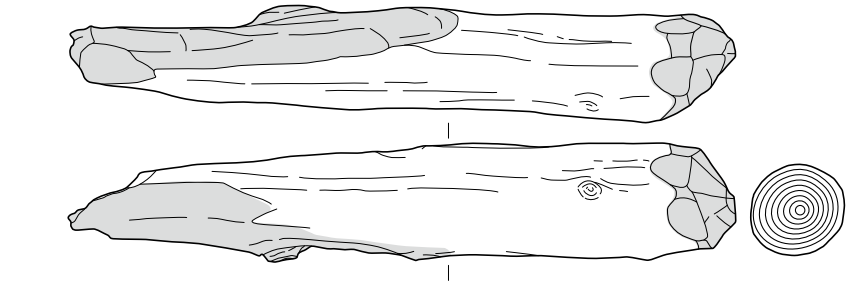
0 150mm



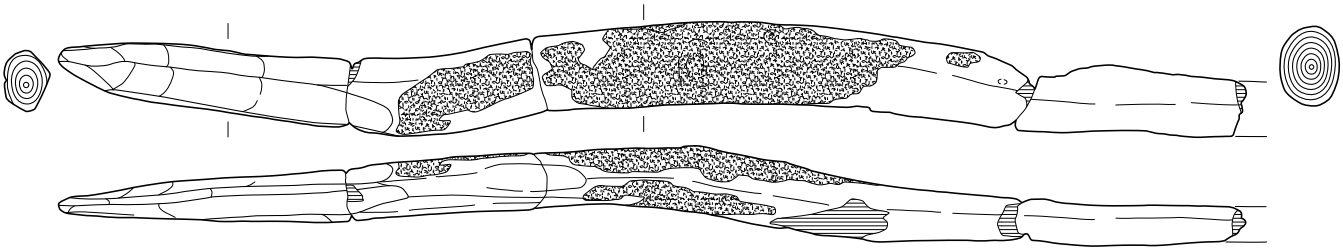
0 300mm

w31
04Ab-SD02-4 層 -w034 1/8

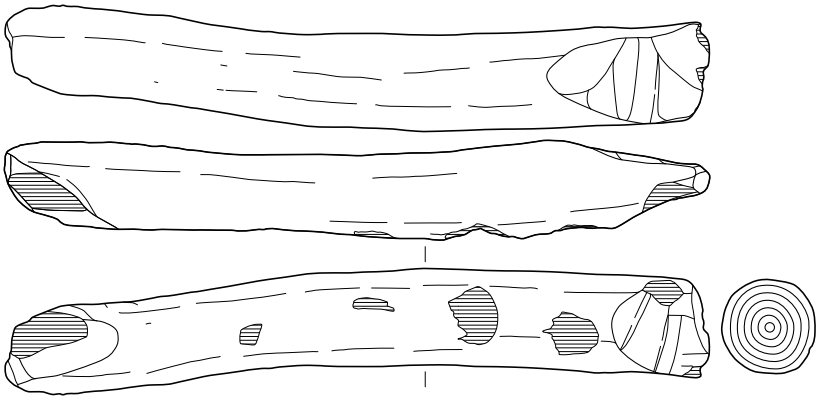
04Ab-SD02_8



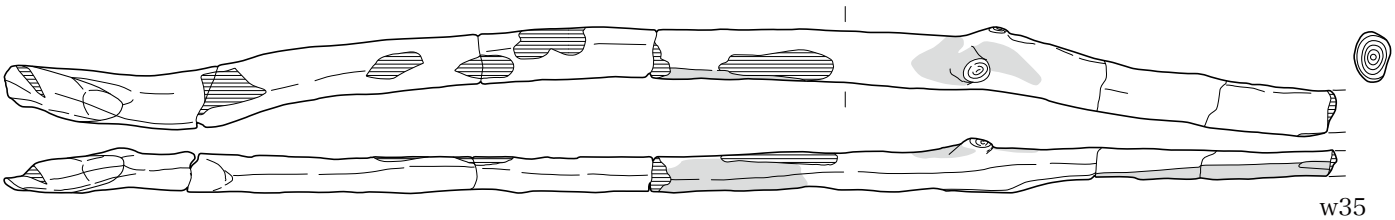
w32
04Ab-SD02-4 層 -w083



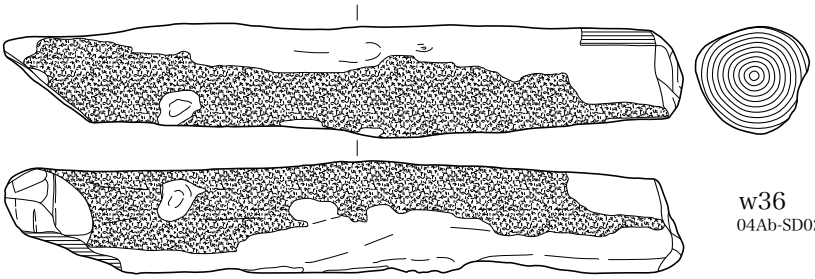
w33
04Ab-SD02-4 層 -w084



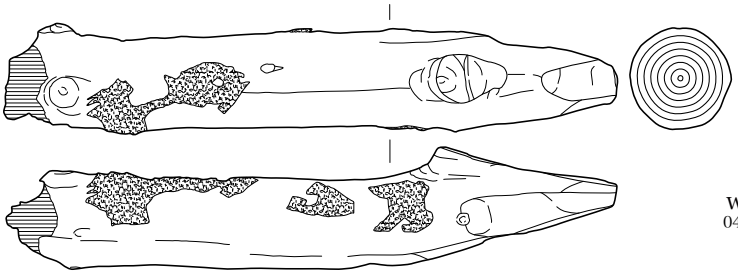
w34
04Ab-SD02-4 層 -w086



w35
04Ab-SD02-4 層 -w089

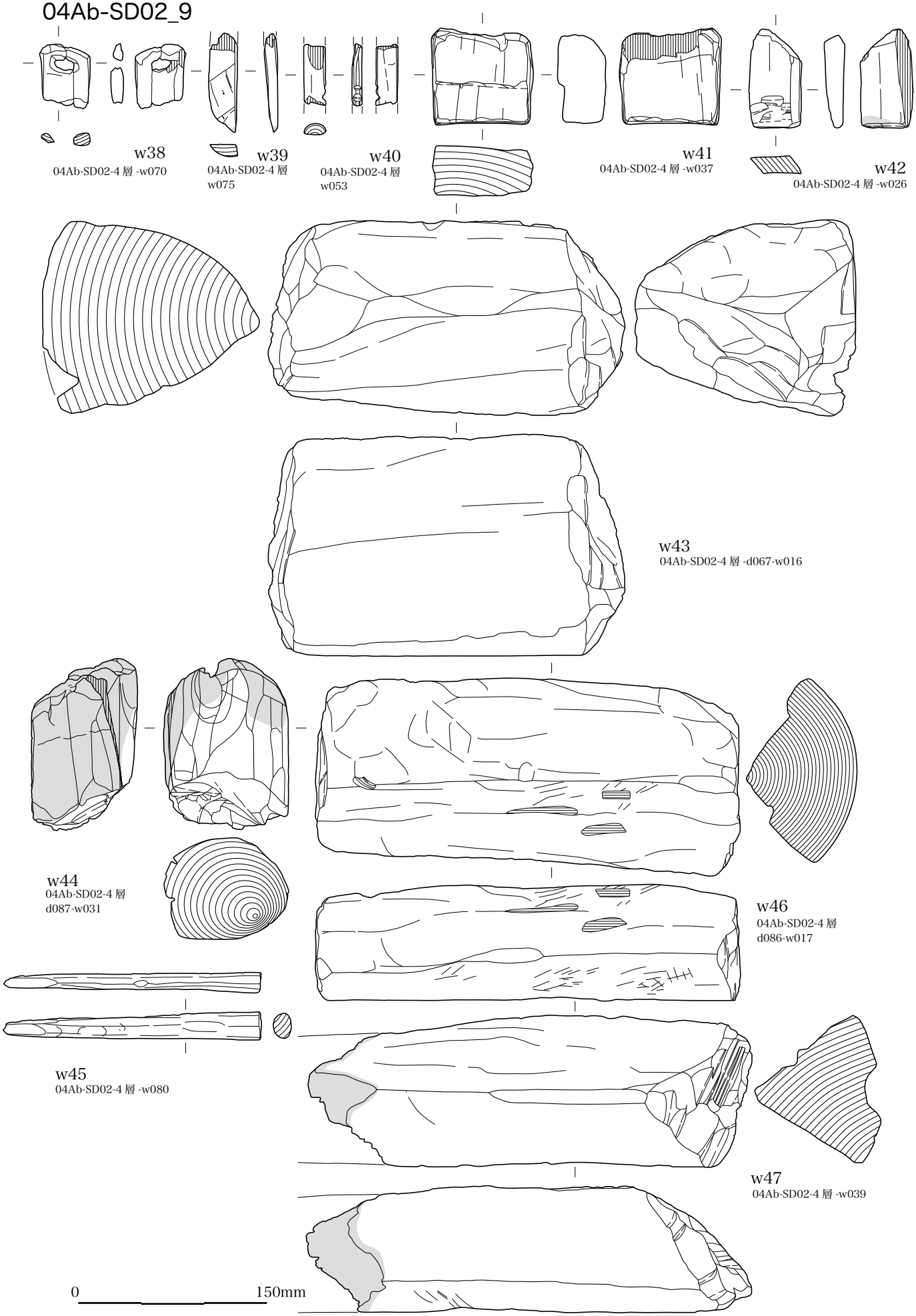


w36
04Ab-SD02-4 層 -w141



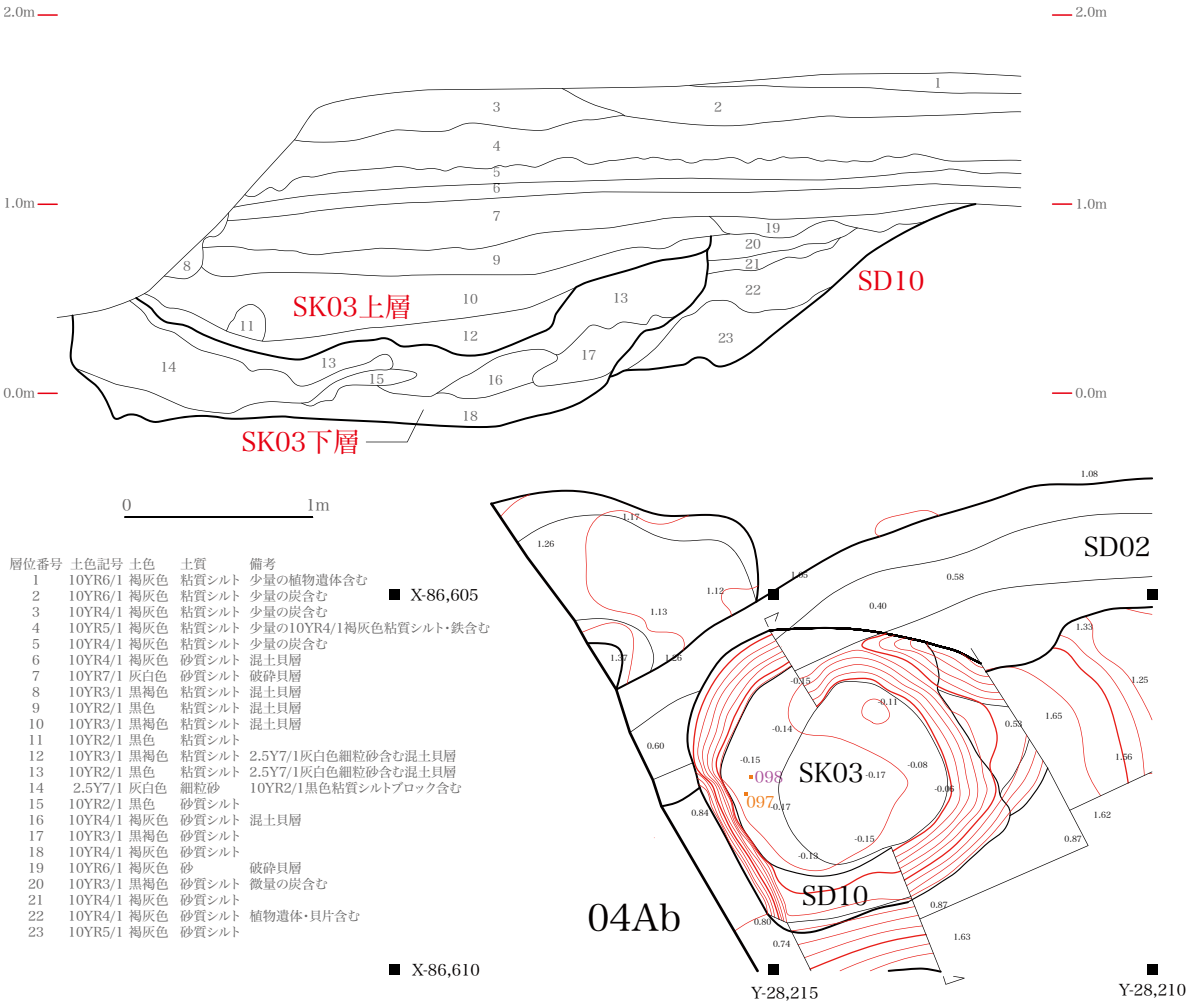
w37
04Ab-SD02-4 層 -w129

04Ab-SD02_9


w38
04Ab-SD02-4 層 -w070
w39
04Ab-SD02-4 層
w075
w40
04Ab-SD02-4 層
w053
w41
04Ab-SD02-4 層 -w037
w42
04Ab-SD02-4 層 -w026
w43
04Ab-SD02-4 層 -d067-w016
w44
04Ab-SD02-4 層
d087-w031
w46
04Ab-SD02-4 層
d086-w017
w45
04Ab-SD02-4 層 -w080
w47
04Ab-SD02-4 層 -w039
0
150mm

3.4.1.3　04Ab-SK03・SD10

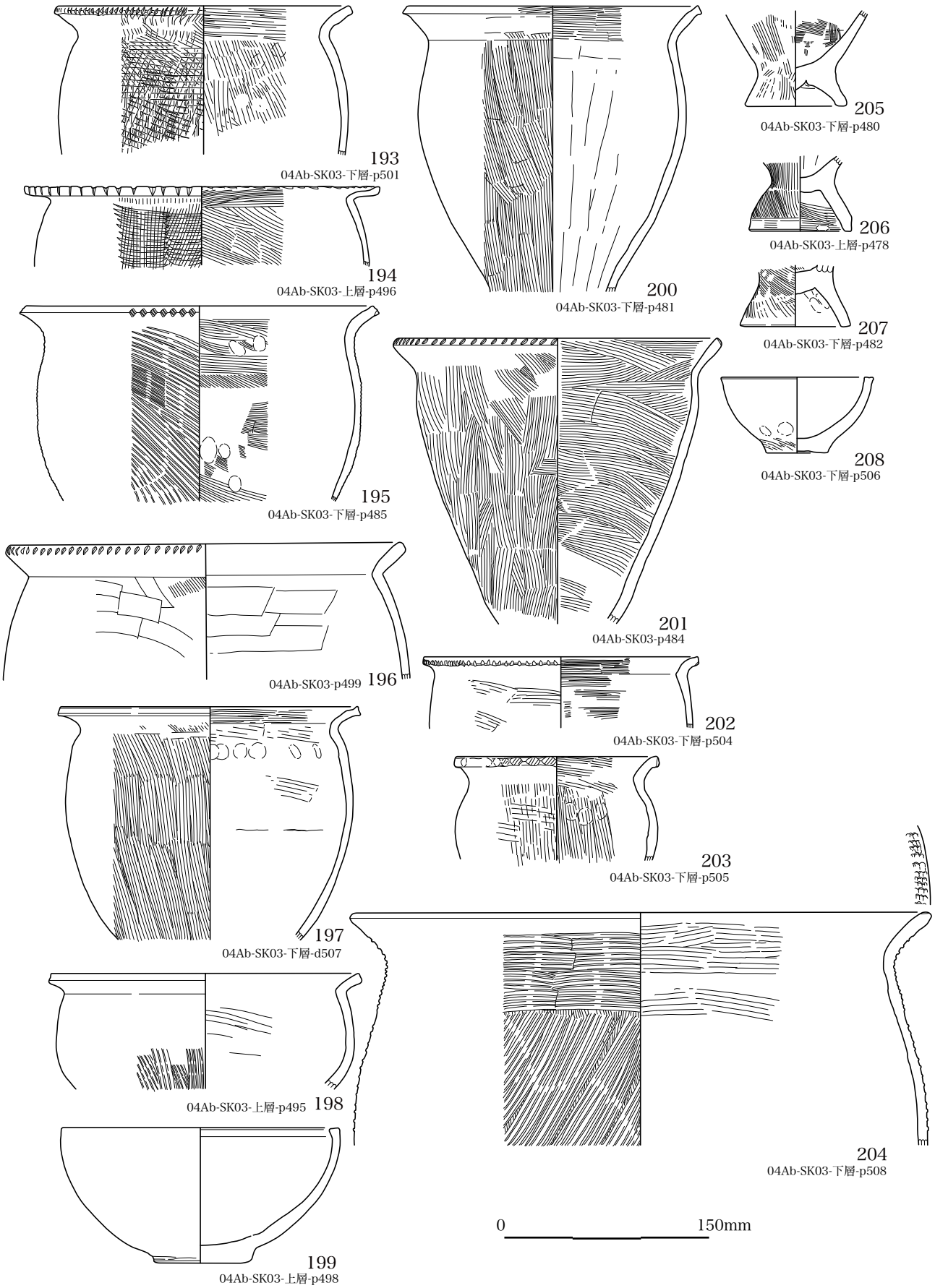
SK03 は北区画後期環濠とその関連遺構の下層で発見できたやや大型の土坑。調査区のほぼ中央部に存在し，重複する形で中期北区画第 1 環濠 SD01 が存在する。2.43×2.07m で深さ 1.01m を測る。貝層が堆積する上層と黒色のシルトが堆積する下層に区分し，遺物の多くは下層より木製品を伴って大量に出土している。貝田町式 3 期新の一括資料。なお昆虫化石の分析からは食糞性昆虫や食肉・雑食性昆虫が見つかっている。重複する SD01 は調査の経緯からその一部しか発掘調査していないが，深さ 0.91m を測る。なお SD01 として掲載した出土遺物の多くは SK03 との重複部分からの取り上げ資料である。



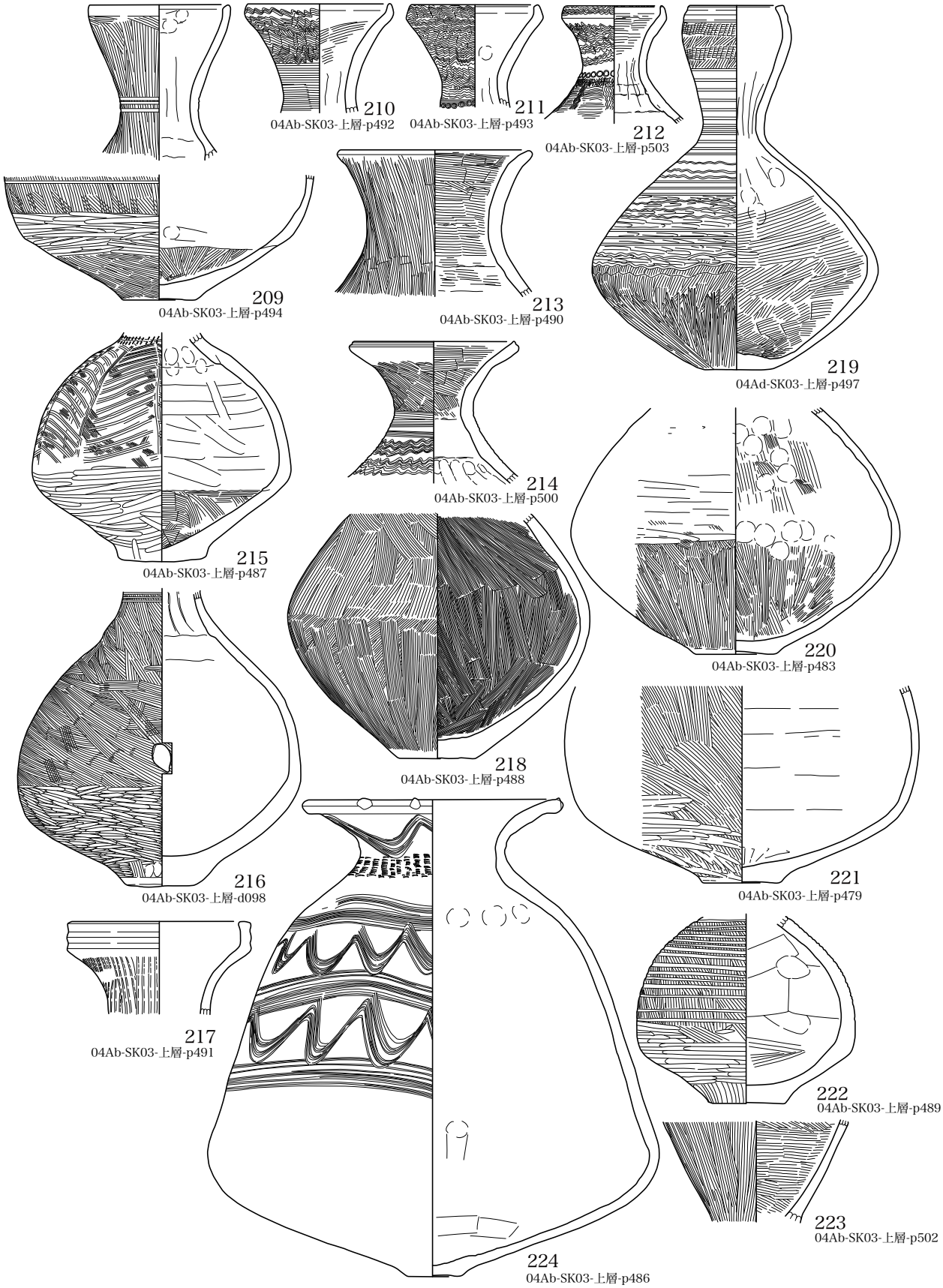
層位番号	土色記号	土色	土質	備考
1	10YR6/1	褐灰色	粘質シルト	少量の植物遺体含む
2	10YR6/1	褐灰色	粘質シルト	少量の炭含む
3	10YR4/1	褐灰色	粘質シルト	少量の炭含む
4	10YR5/1	褐灰色	粘質シルト	少量の10YR4/1褐灰色粘質シルト･鉄含む
5	10YR4/1	褐灰色	粘質シルト	少量の炭含む
6	10YR4/1	褐灰色	砂質シルト	混土貝層
7	10YR7/1	灰白色	砂質シルト	破砕貝層
8	10YR3/1	黒褐色	粘質シルト	混土貝層
9	10YR2/1	黒色	粘質シルト	混土貝層
10	10YR3/1	黒褐色	粘質シルト	混土貝層
11	10YR2/1	黒色	粘質シルト	
12	10YR3/1	黒褐色	粘質シルト	2.5Y7/1灰白色細粒砂含む混土貝層
13	10YR2/1	黒色	粘質シルト	2.5Y7/1灰白色細粒砂含む混土貝層
14	2.5Y7/1	灰白色	細粒砂	10YR2/1黒色粘質シルトブロック含む
15	10YR2/1	黒色	砂質シルト	
16	10YR4/1	褐灰色	砂質シルト	混土貝層
17	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト	
18	10YR4/1	褐灰色	砂質シルト	
19	10YR6/1	褐灰色	砂	破砕貝層
20	10YR3/1	黒褐色	砂質シルト	微量の炭含む
21	10YR4/1	褐灰色	砂質シルト	
22	10YR4/1	褐灰色	砂質シルト	植物遺体･貝片含む
23	10YR5/1	褐灰色	砂質シルト	

図 3.4.1-5　04Aa-SK03　1/100　断面図は 1/40

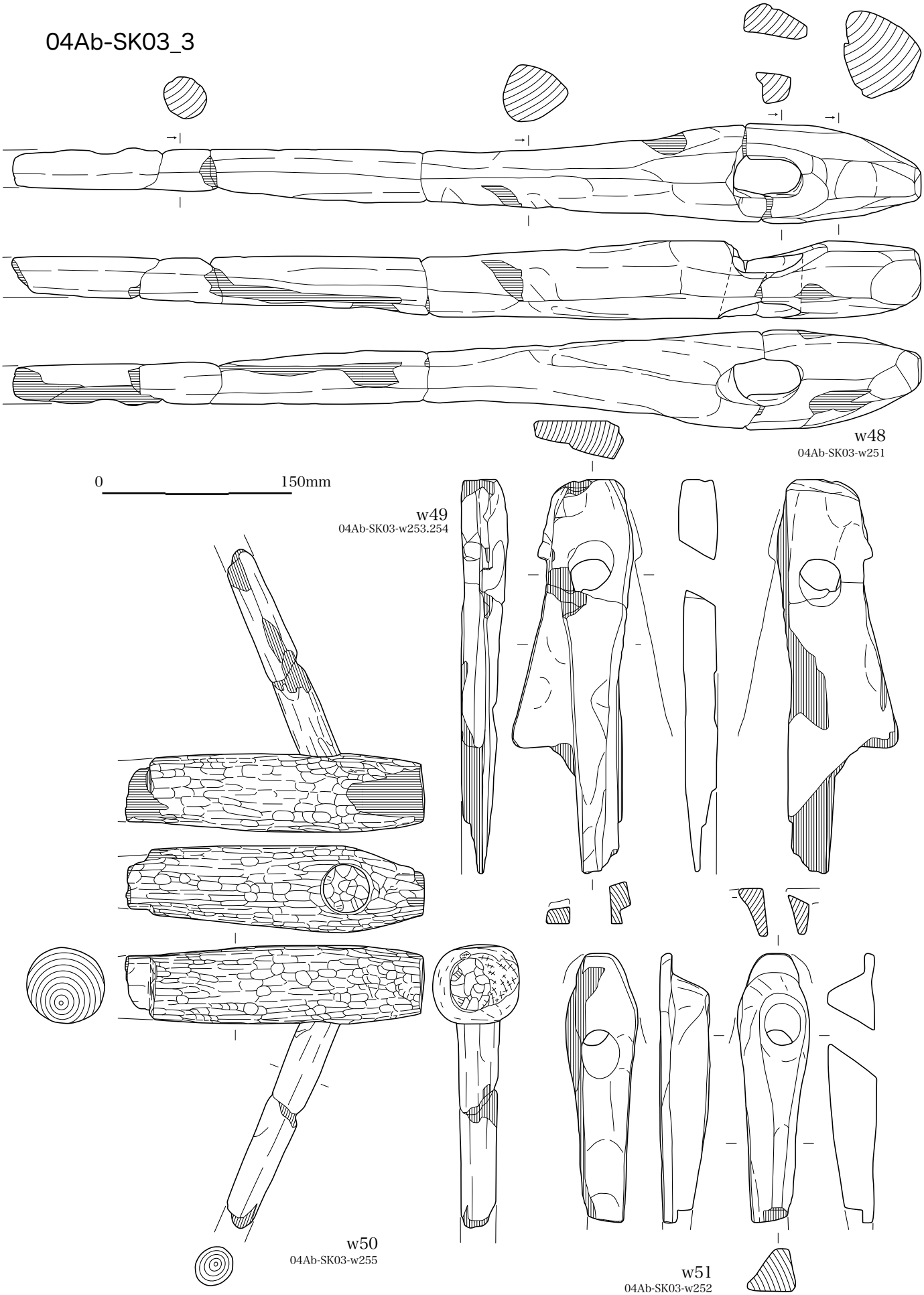
04Ab-SK03_1


193
04Ab-SK03-下層-p501
194
04Ab-SK03-上層-p496
195
04Ab-SK03-下層-p485
196
04Ab-SK03-p499
197
04Ab-SK03-下層-d507
198
04Ab-SK03-上層-p495
199
04Ab-SK03-上層-p498
200
04Ab-SK03-下層-p481
201
04Ab-SK03-p484
202
04Ab-SK03-下層-p504
203
04Ab-SK03-下層-p505
204
04Ab-SK03-下層-p508
205
04Ab-SK03-下層-p480
206
04Ab-SK03-上層-p478
207
04Ab-SK03-下層-p482
208
04Ab-SK03-下層-p506
0
150mm

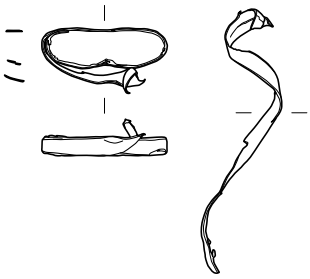
04Ab-SK03_2


210
04Ab-SK03-上層-p492
211
04Ab-SK03-上層-p493
212
04Ab-SK03-上層-p503
209
04Ab-SK03-上層-p494
213
04Ab-SK03-上層-p490
219
04Ad-SK03-上層-p497
214
04Ab-SK03-上層-p500
215
04Ab-SK03-上層-p487
220
04Ab-SK03-上層-p483
218
04Ab-SK03-上層-p488
216
04Ab-SK03-上層-d098
221
04Ab-SK03-上層-p479
217
04Ab-SK03-上層-p491
222
04Ab-SK03-上層-p489
223
04Ab-SK03-上層-p502
224
04Ab-SK03-上層-p486

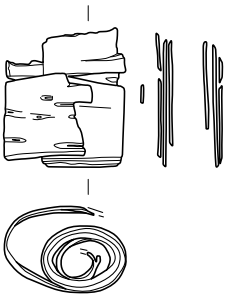
04Ab-SK03_3


w48
04Ab-SK03-w251
0
150mm
w49
04Ab-SK03-w253.254
w50
04Ab-SK03-w255
w51
04Ab-SK03-w252

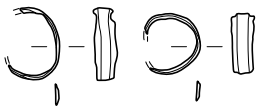
04Ab-SK03_4



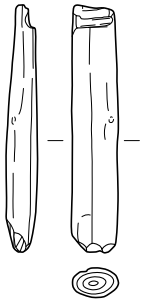
w52
04Ab-SK03- 上層 -w306
桜皮



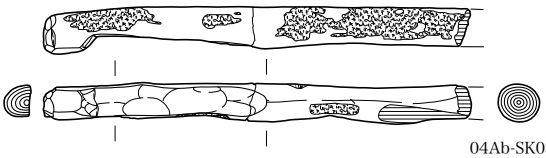
w53
04Ab-SK03- 下層 -w339
桜皮



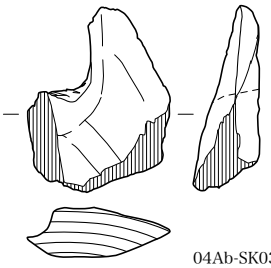
w54
04Ab-SK03- 下層 -w340
桜皮



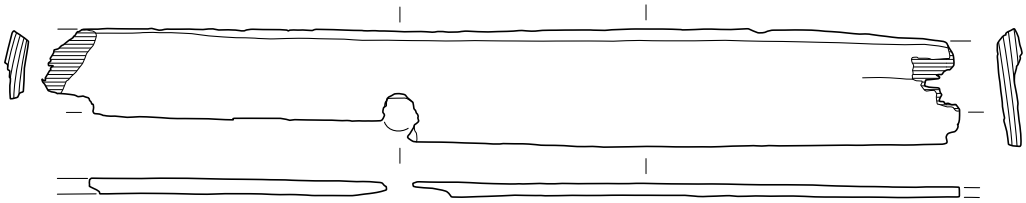
w55
04Ab-SK03- 上層 -w597



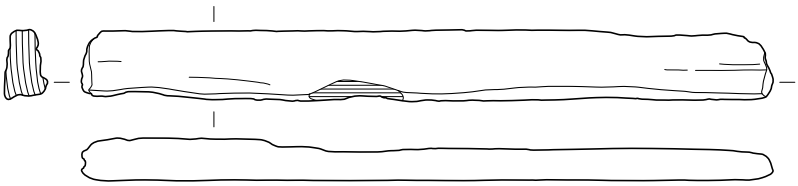
w56
04Ab-SK03-w267



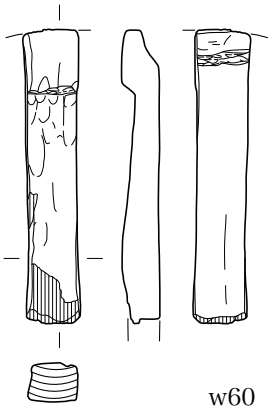
w57
04Ab-SK03-w261



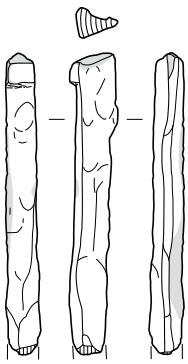
w58
04Ab-SK03- 上層 -w308



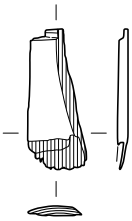
w59
04Ab-SK03- 下層 -w354



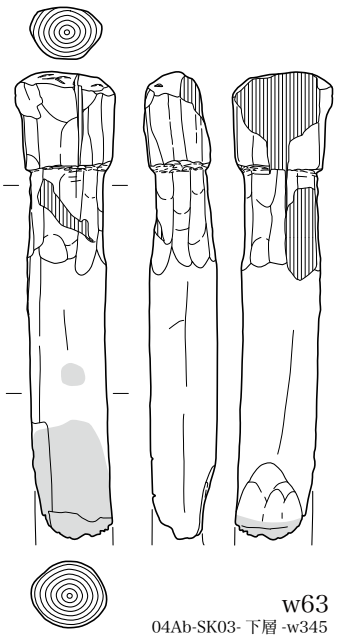
w60
04Ab-SK03- 下層 -w343



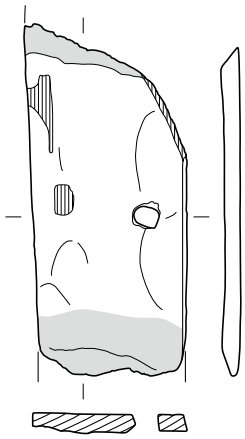
w61
04Ab-SK03- 下層 -w346



w62
04Ab-SK03- 下層 -w362

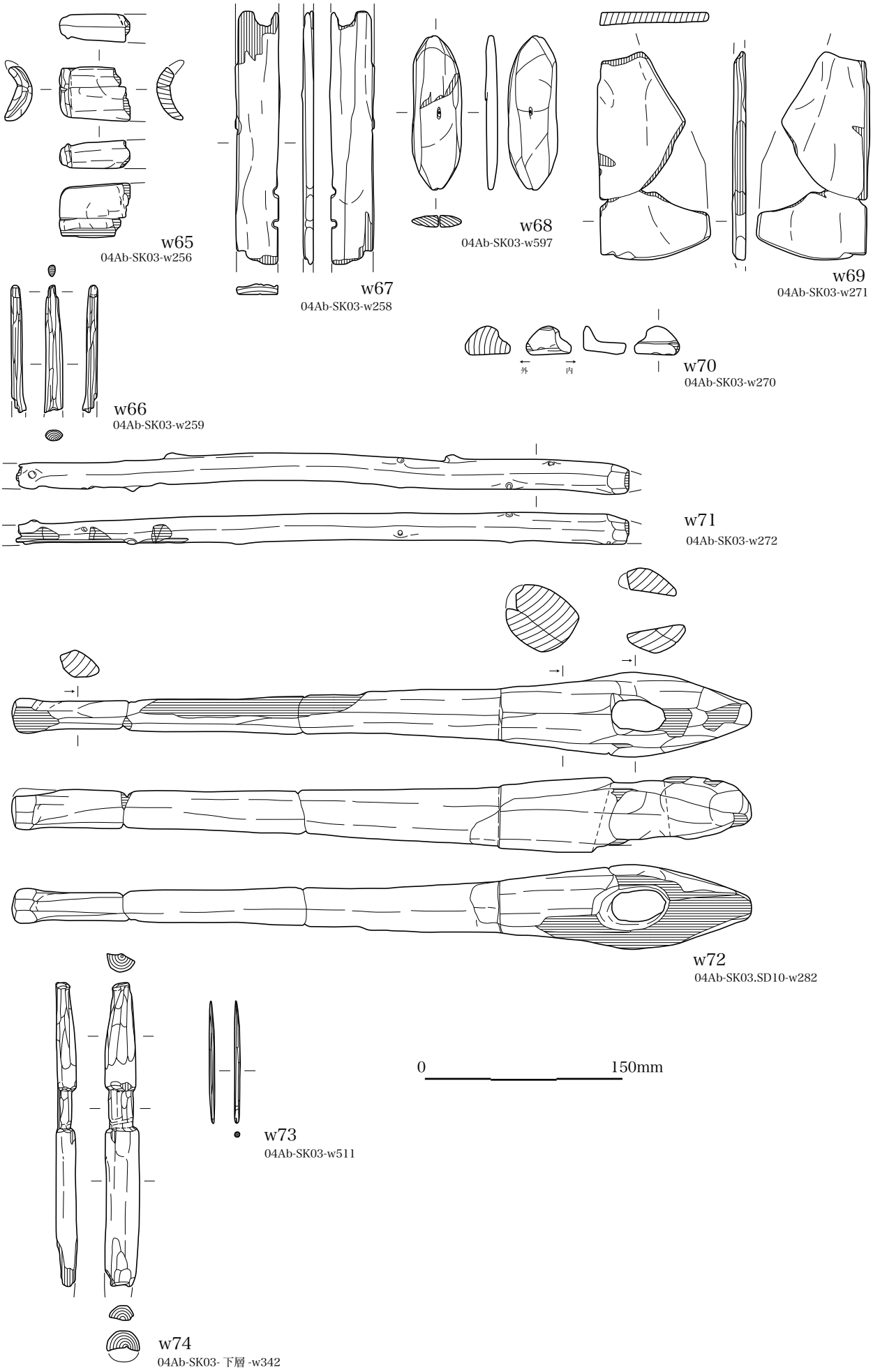


w63
04Ab-SK03- 下層 -w345

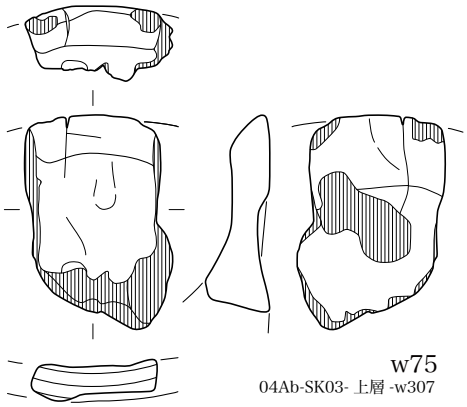


w64
04Ab-SK03- 下層 -w344

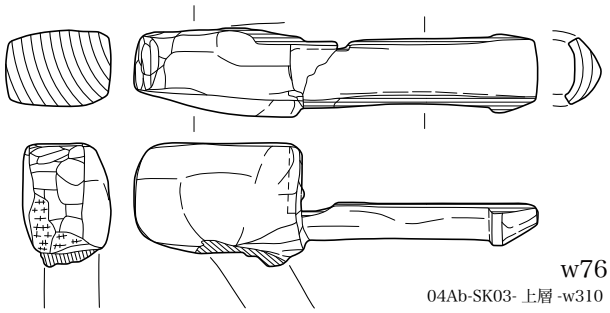
04Ab-SK03_5


w65
04Ab-SK03-w256
w67
04Ab-SK03-w258
w68
04Ab-SK03-w597
w69
04Ab-SK03-w271
外
内
w70
04Ab-SK03-w270
w66
04Ab-SK03-w259
w71
04Ab-SK03-w272
w72
04Ab-SK03.SD10-w282
0
150mm
w73
04Ab-SK03-w511
w74
04Ab-SK03- 下層 -w342

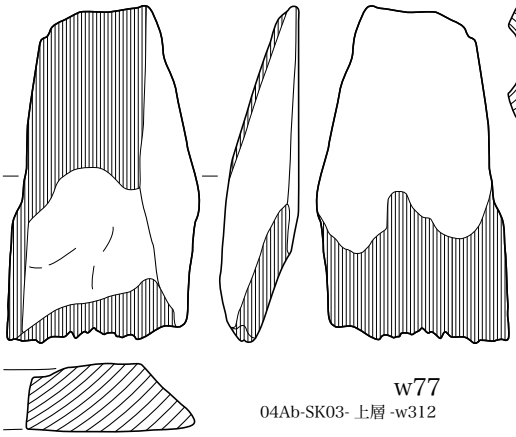
04Ab-SK03_6



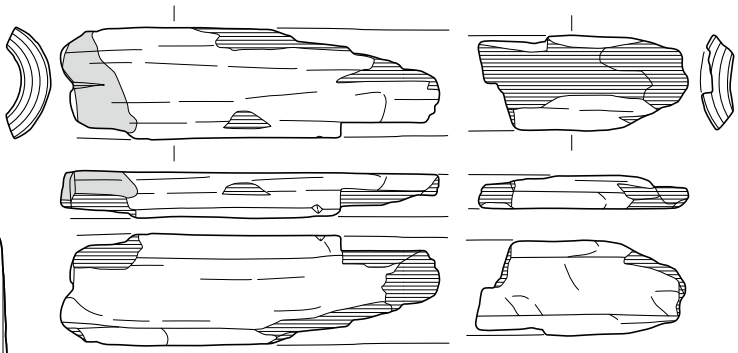
w75
04Ab-SK03- 上層 -w307



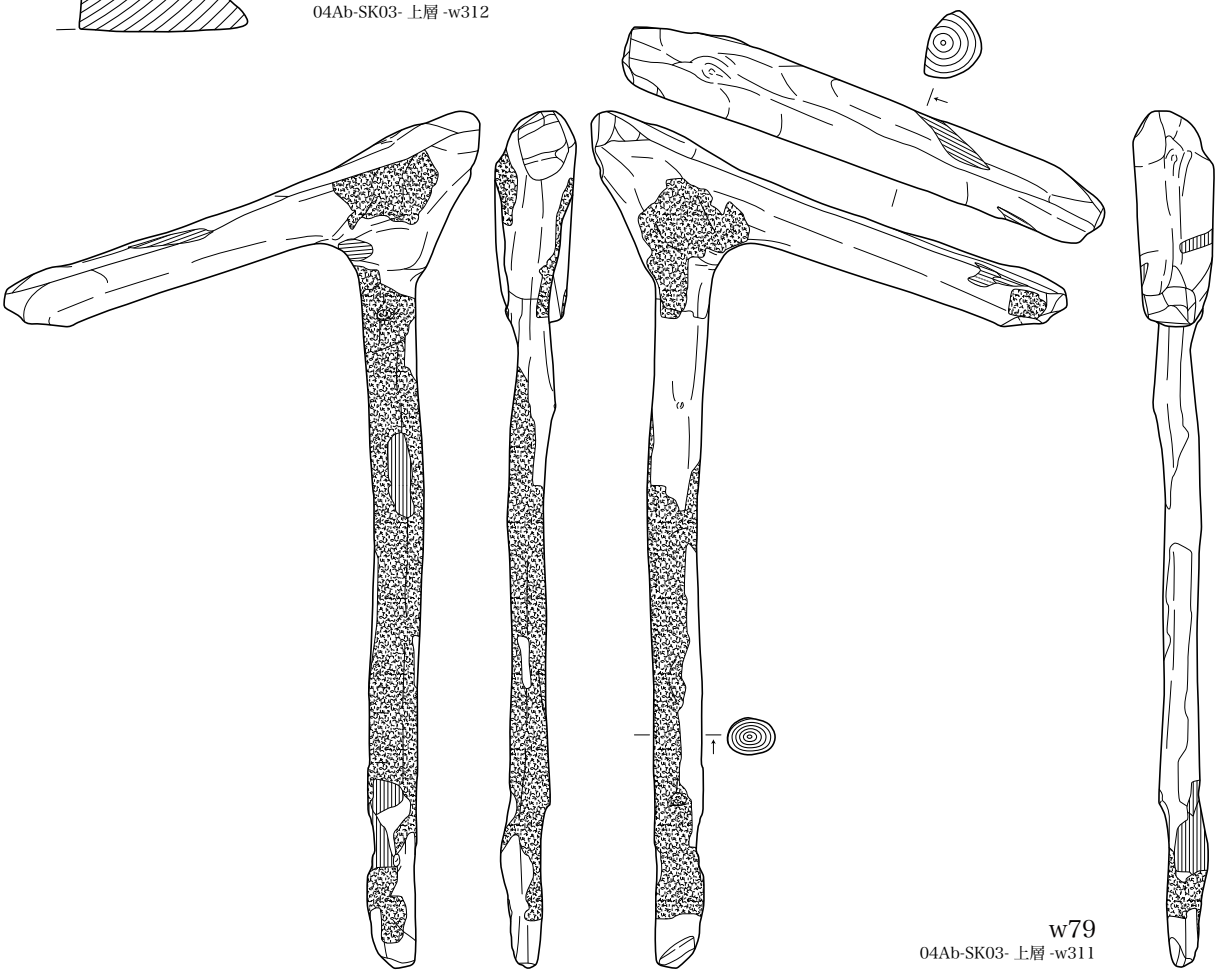
w76
04Ab-SK03- 上層 -w310



w77
04Ab-SK03- 上層 -w312

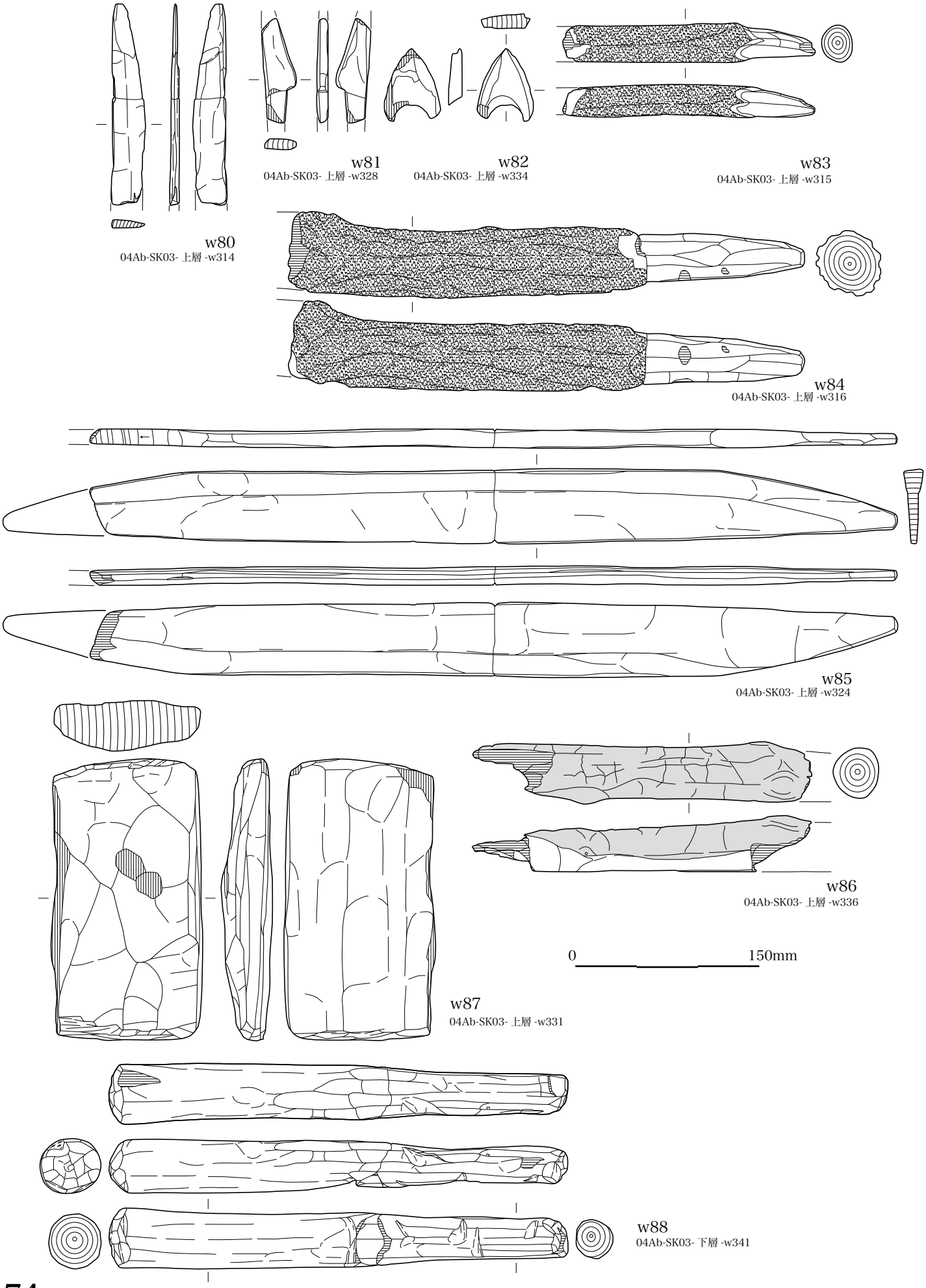


w78
04Ab-SK03- 上層 -w313

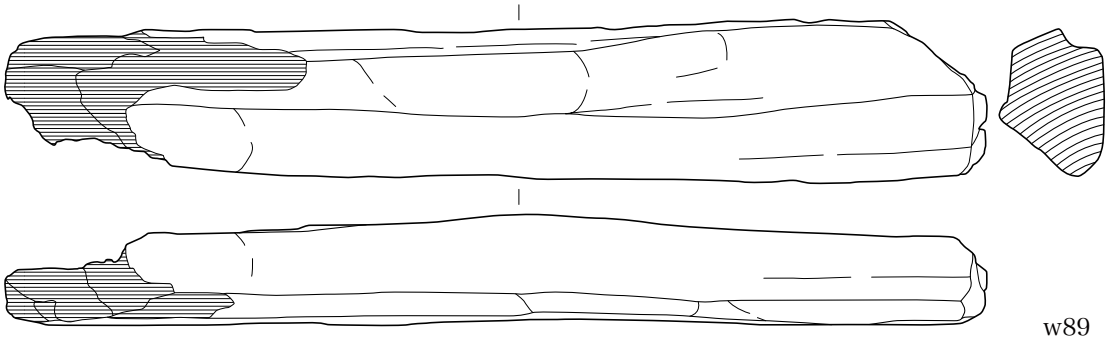


w79
04Ab-SK03- 上層 -w311

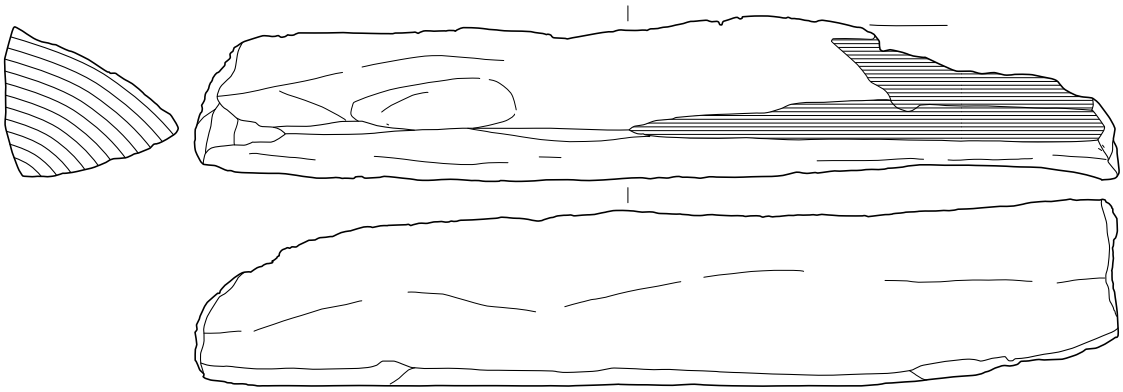
04Ab-SK03_6


w80
04Ab-SK03- 上層 -w314
w81
04Ab-SK03- 上層 -w328
w82
04Ab-SK03- 上層 -w334
w83
04Ab-SK03- 上層 -w315
w84
04Ab-SK03- 上層 -w316
w85
04Ab-SK03- 上層 -w324
w86
04Ab-SK03- 上層 -w336
0
150mm
w87
04Ab-SK03- 上層 -w331
w88
04Ab-SK03- 下層 -w341

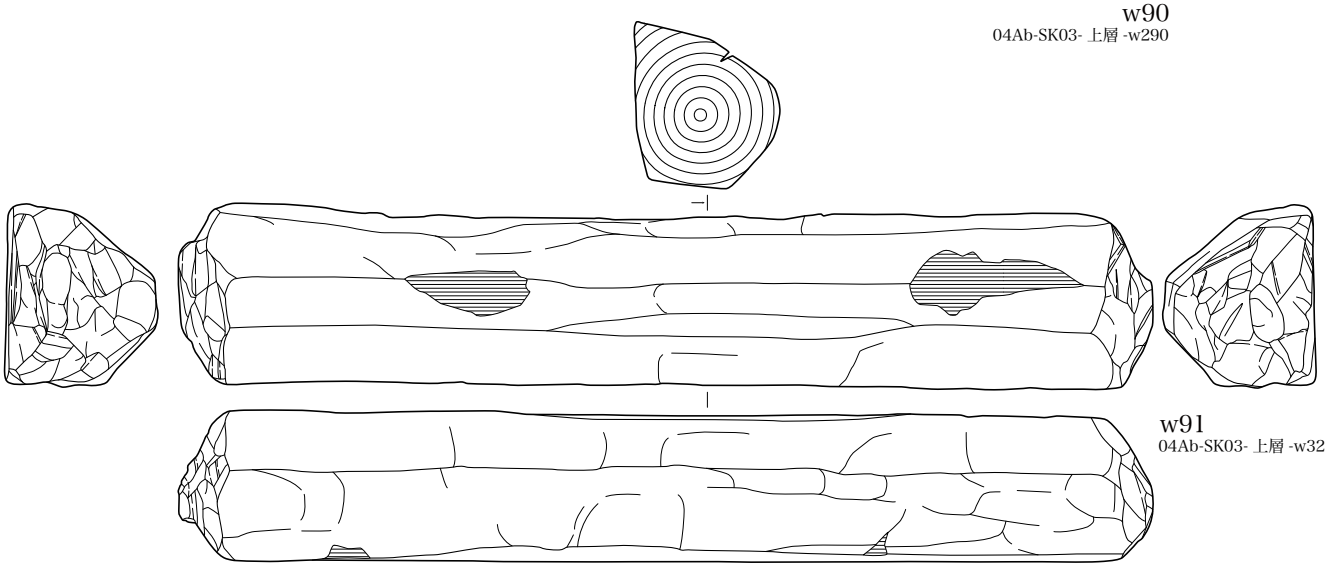
04Ab-SK03_7



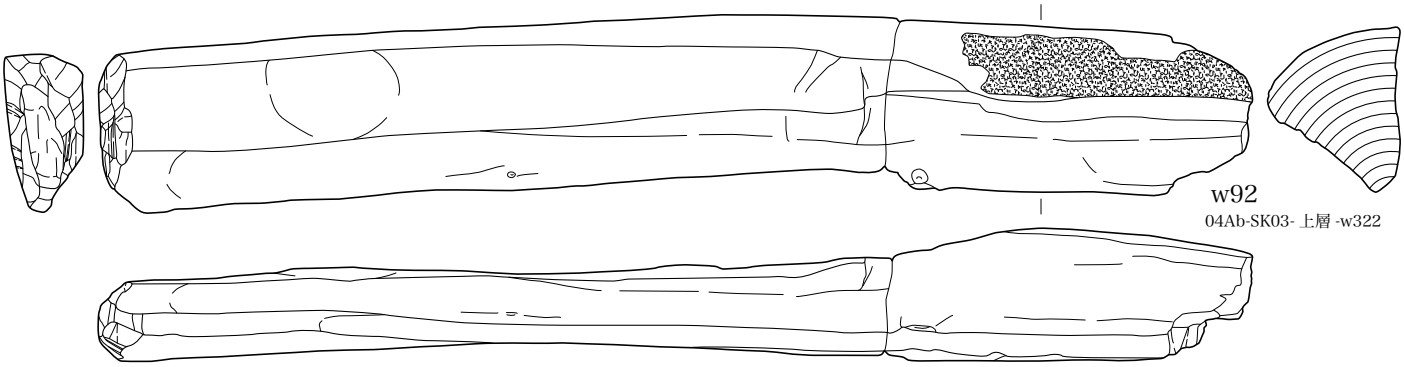
w89
04Ab-SK03- 上層 -w335



w90
04Ab-SK03- 上層 -w290

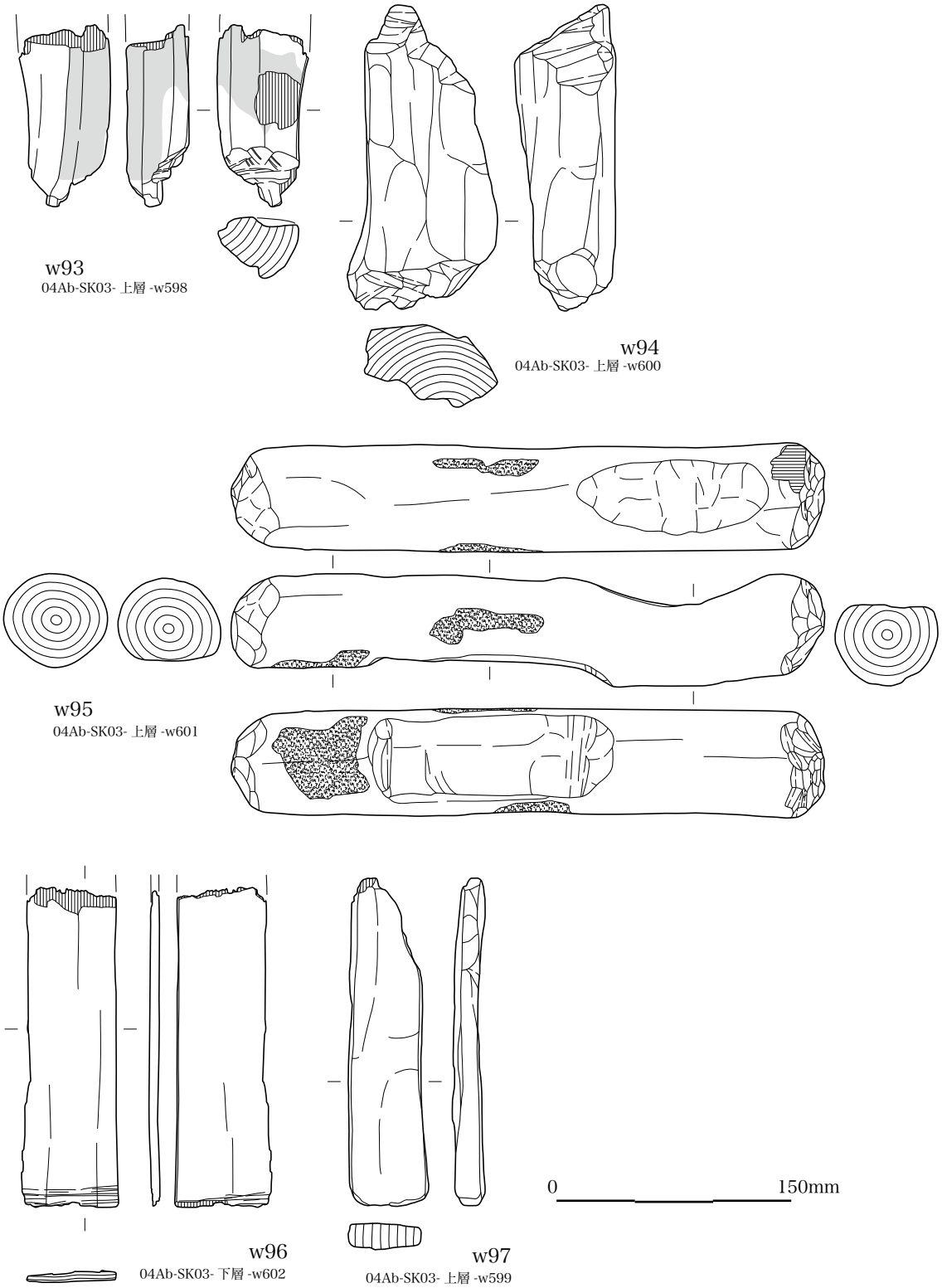


w91
04Ab-SK03- 上層 -w321

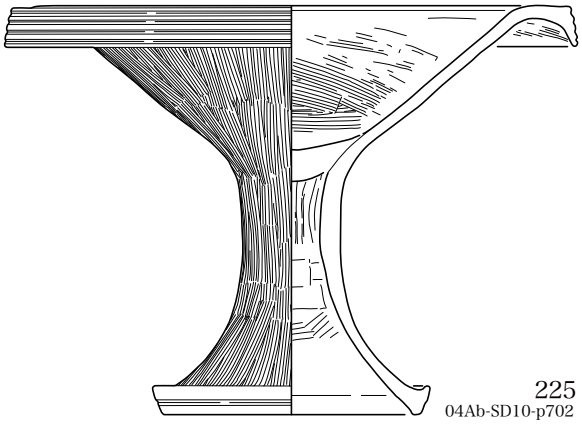


w92
04Ab-SK03- 上層 -w322

04Ab-SK03_8

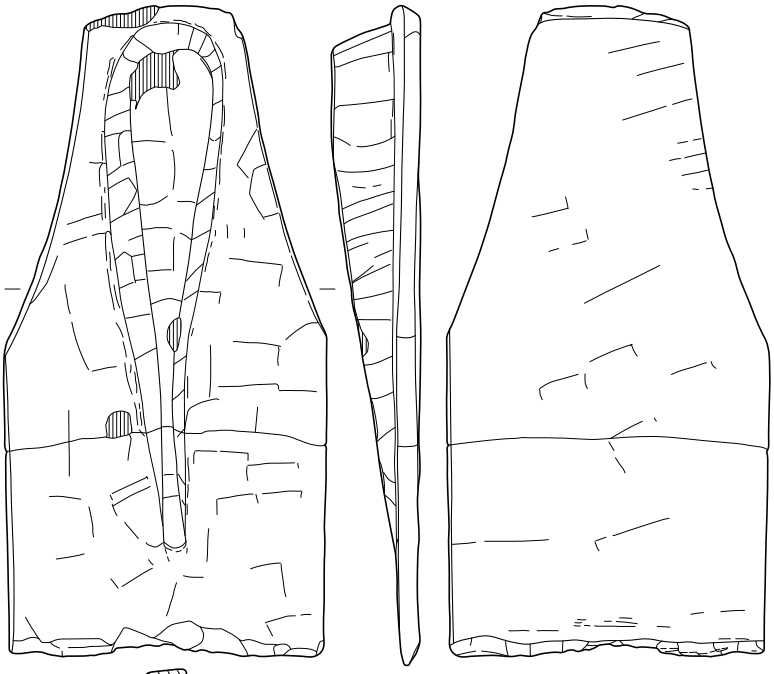

w93
04Ab-SK03- 上層 -w598
w94
04Ab-SK03- 上層 -w600
w95
04Ab-SK03- 上層 -w601
w96
04Ab-SK03- 下層 -w602
w97
04Ab-SK03- 上層 -w599
0
150mm

04Ab-SD10_1

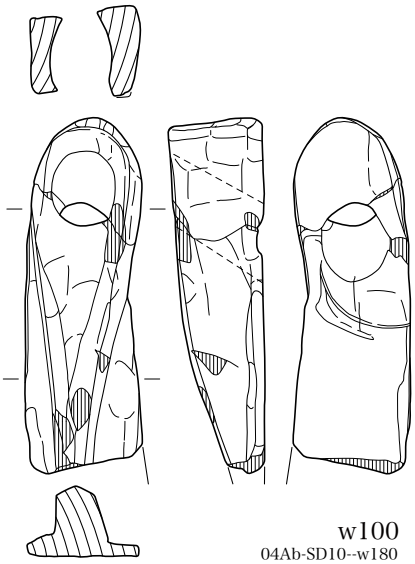


225
04Ab-SD10-p702

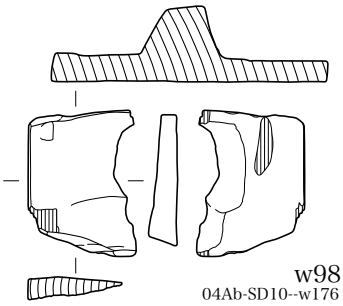
0 150mm



w99
04Ab-SD10--d097-w188

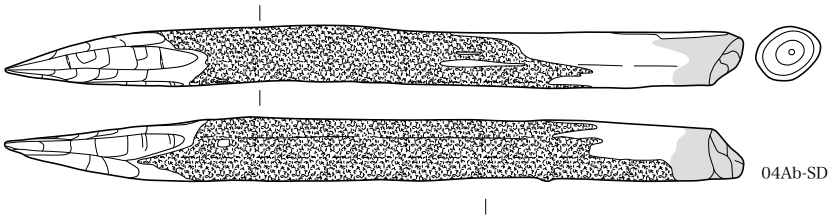


w100
04Ab-SD10--w180

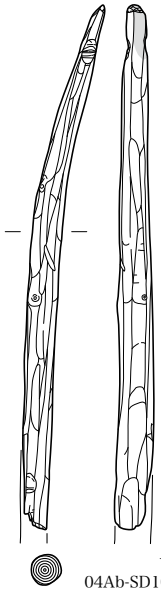


w98
04Ab-SD10--w176

0 150mm

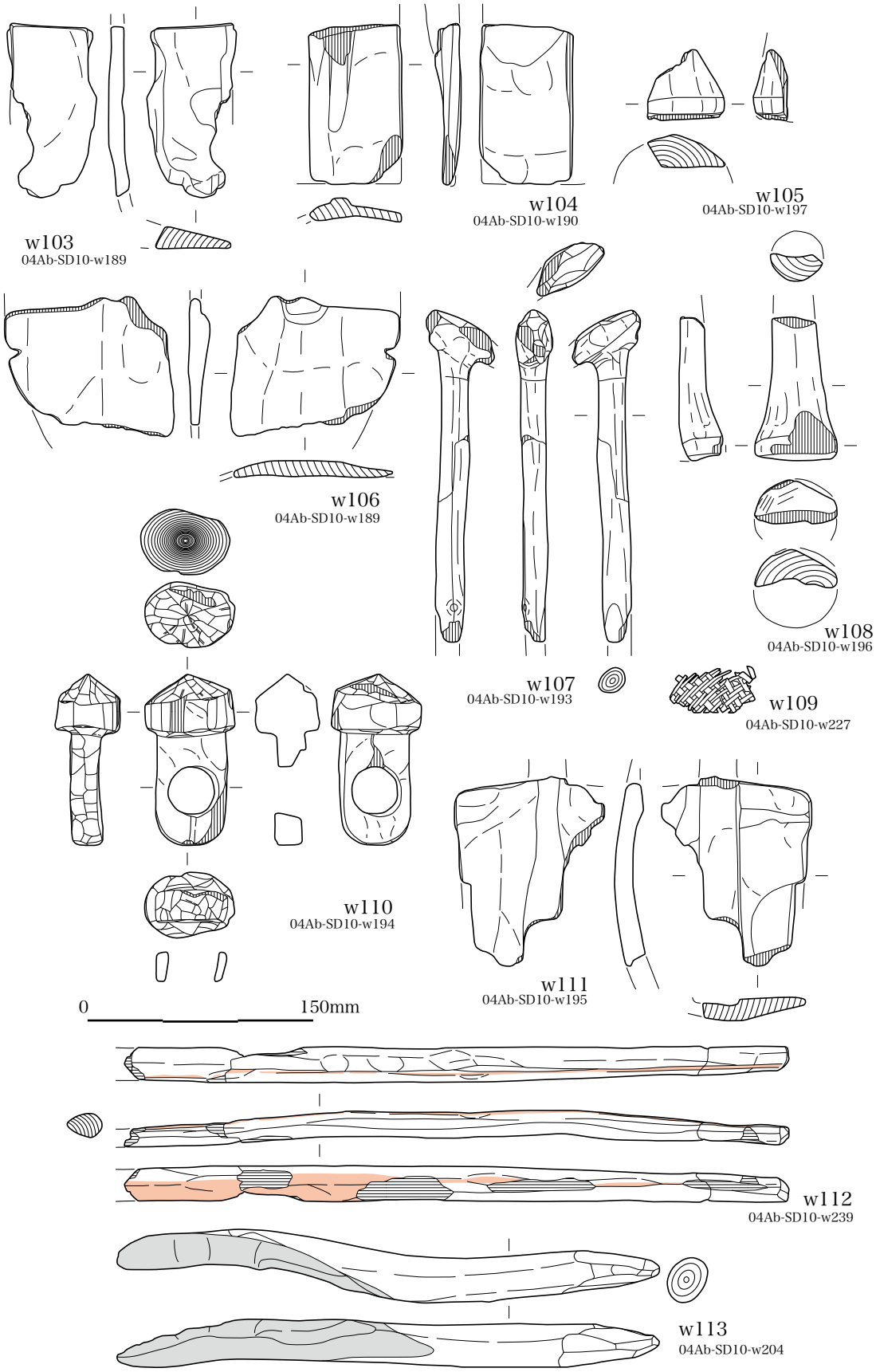


w101
04Ab-SD10--w181

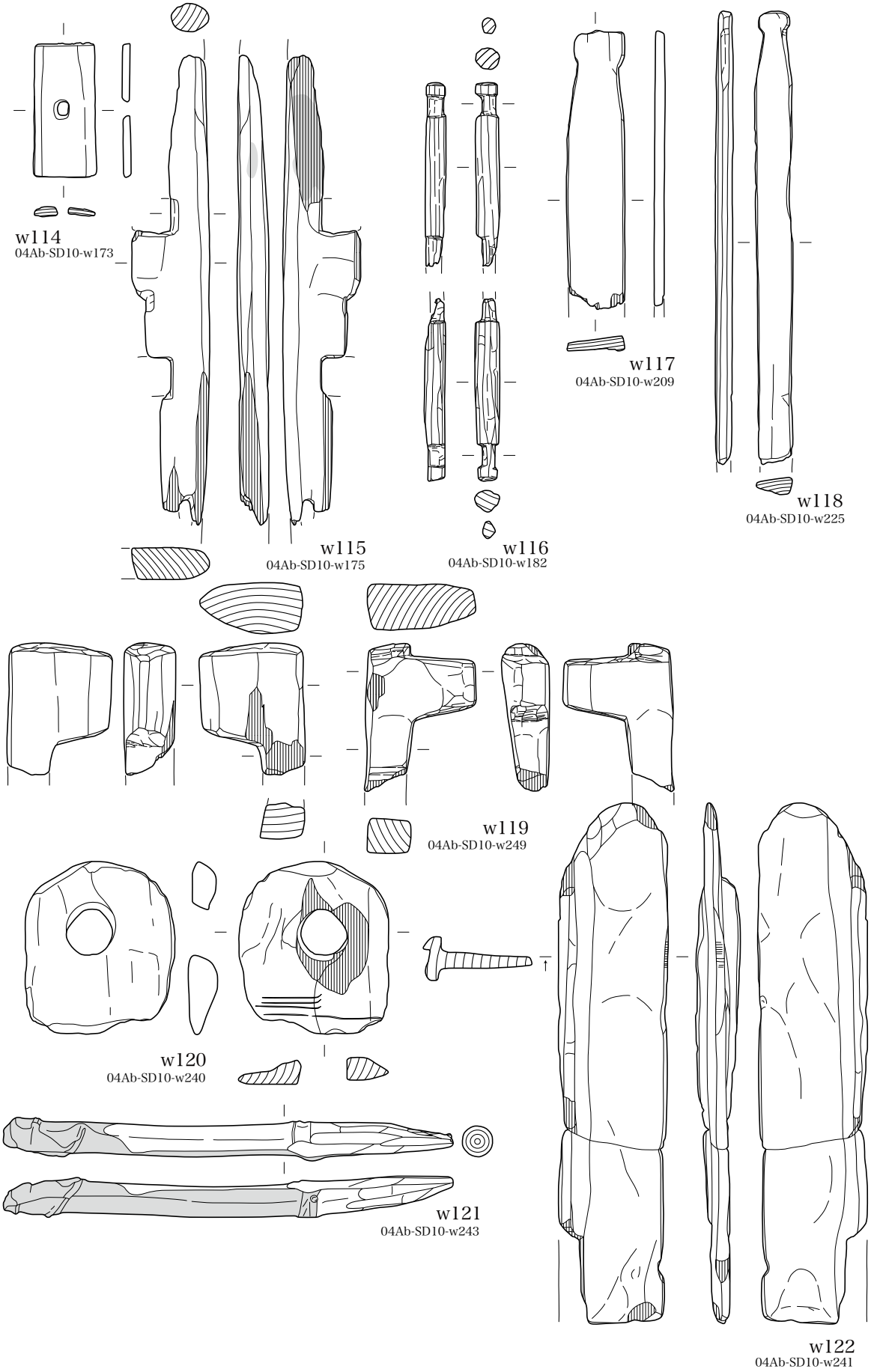


w102
04Ab-SD10--w183

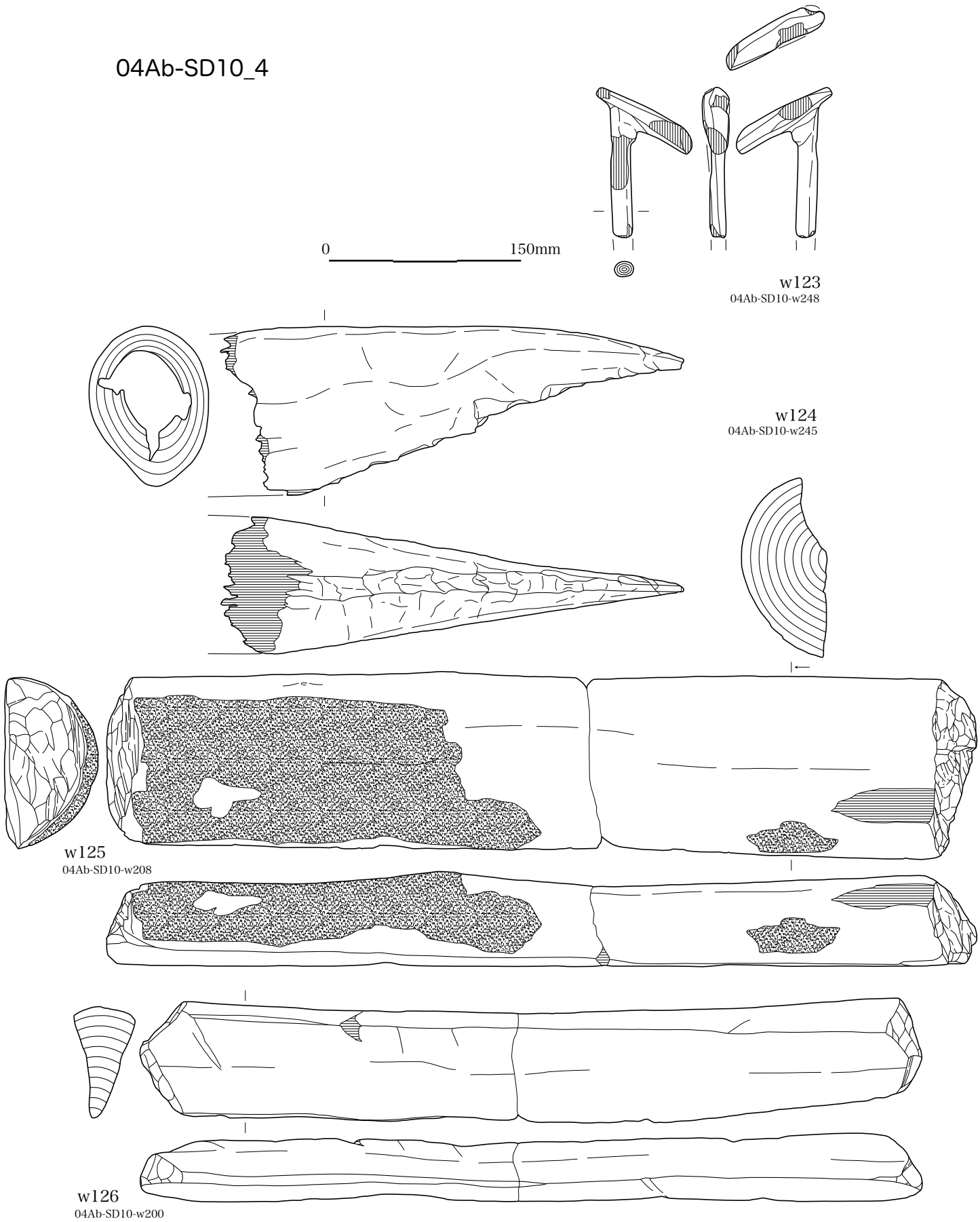
04Ab-SD10_2


w103
04Ab-SD10-w189
w104
04Ab-SD10-w190
w105
04Ab-SD10-w197
w106
04Ab-SD10-w189
w107
04Ab-SD10-w193
w108
04Ab-SD10-w196
w109
04Ab-SD10-w227
w110
04Ab-SD10-w194
w111
04Ab-SD10-w195
0
150mm
w112
04Ab-SD10-w239
w113
04Ab-SD10-w204

04Ab-SD10-3


w114
04Ab-SD10-w173
w115
04Ab-SD10-w175
w116
04Ab-SD10-w182
w117
04Ab-SD10-w209
w118
04Ab-SD10-w225
w119
04Ab-SD10-w249
w120
04Ab-SD10-w240
w121
04Ab-SD10-w243
w122
04Ab-SD10-w241

04Ab-SD10_4


0
150mm
w123
04Ab-SD10-w248
w124
04Ab-SD10-w245
w125
04Ab-SD10-w208
w126
04Ab-SD10-w200

3.4.1.4　04Ab・Ac-SD03

調査区北端で検出した大溝で，北区画後期内環濠に相当する。溝幅は 4.5m 以上となり深さ 1.31m を測る。2 層は朝日Ｈ層が堆積し，廻間Ⅰ式前半期の遺物が出土している。3 層は貝等が混在する黒色シルトが堆積し，遺物の出土は少ない。なお，溝の大幅な改修や再掘削等は確認できない。

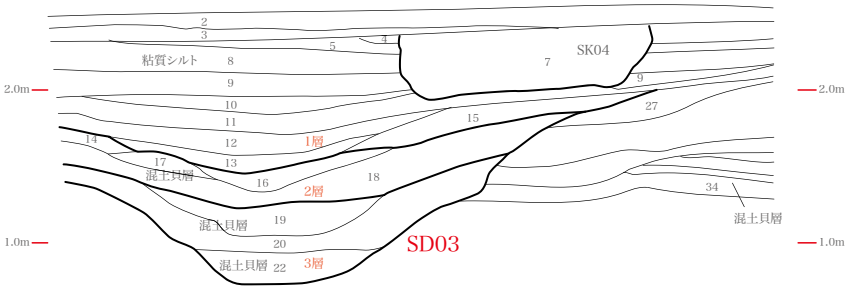
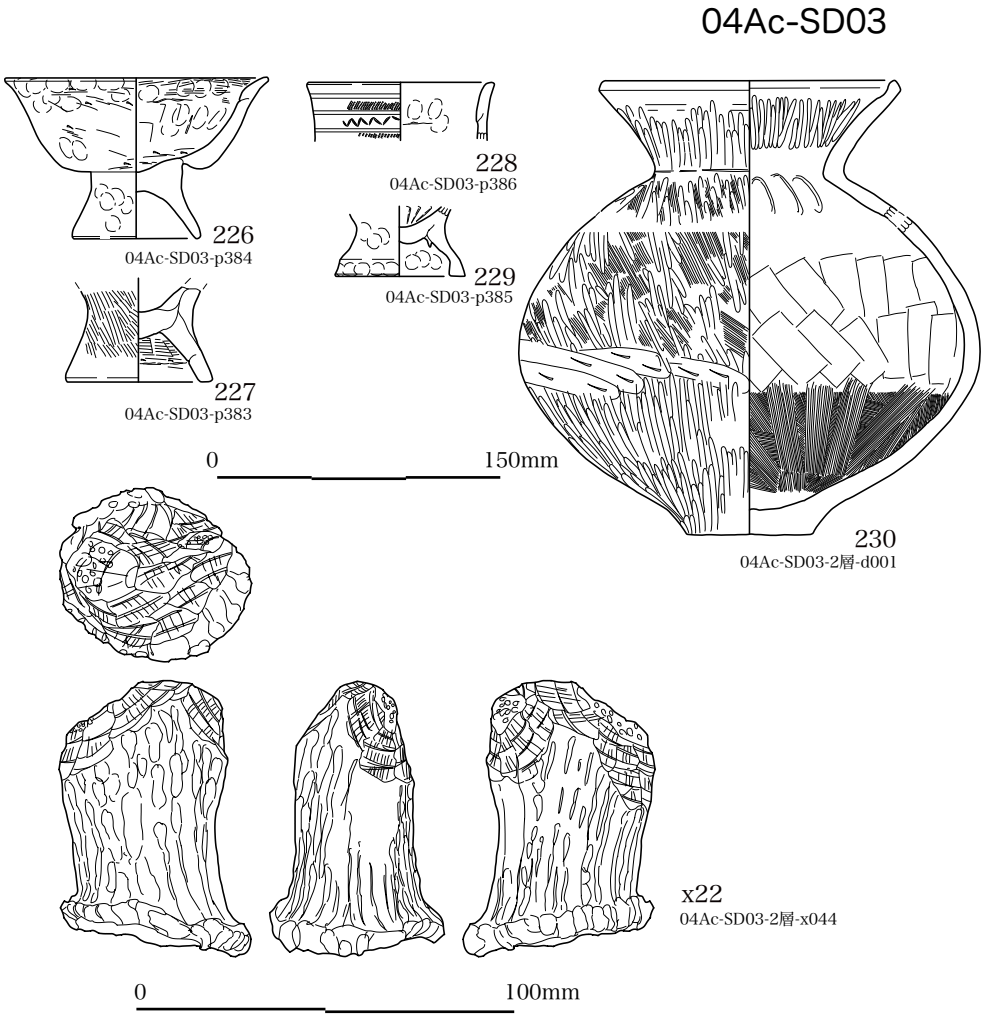


図 3.4.1-6　04Aa-SD03 東壁断面図　1/50

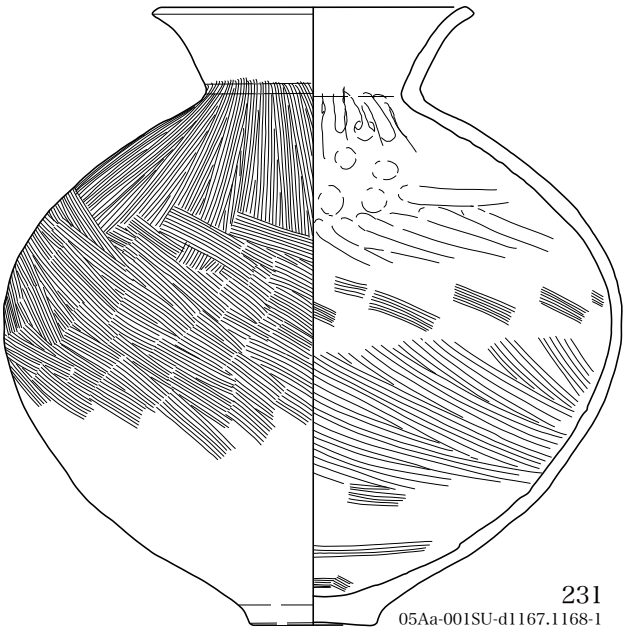


3.4.1.4　05Aa-001SU

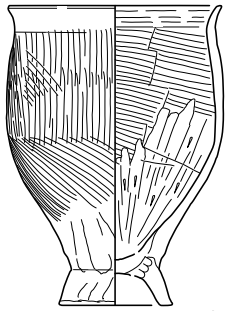
05Aa 区北端部での土器集積遺構。朝日 H 層内で 020SK 上に位置するが，土坑状の掘込みが認められず，1.41×0.91m の範囲に密集して完全な形状を保った状況で据え置かれたものと思われる。土器組成は有段高杯 5・広口壷 2・小型器台 1・台付甕 4 点。高杯は全体に重量感がある作りで，脚部も直線的であり尾張低地部とは異なり，どちらかというと西三河的な様相が感じられる。 なお台付甕での使用痕跡はほとんど認められない。高杯などの特徴から廻間 1 式 3 段階の一括資料と考えられる。周辺において，この段階に所属する遺構群はほとんど認められず，朝日遺跡の集落構造の崩壊期以後に位置づけられる興味深い遺構である。

（図 3.4.1-5）

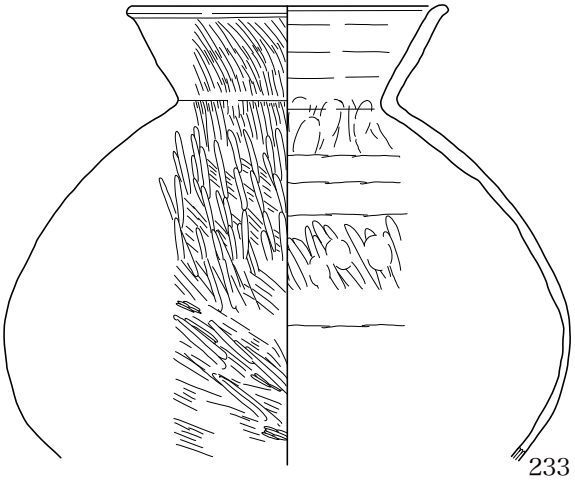
05Aa-001SU_1



231
05Aa-001SU-d1167.1168-1

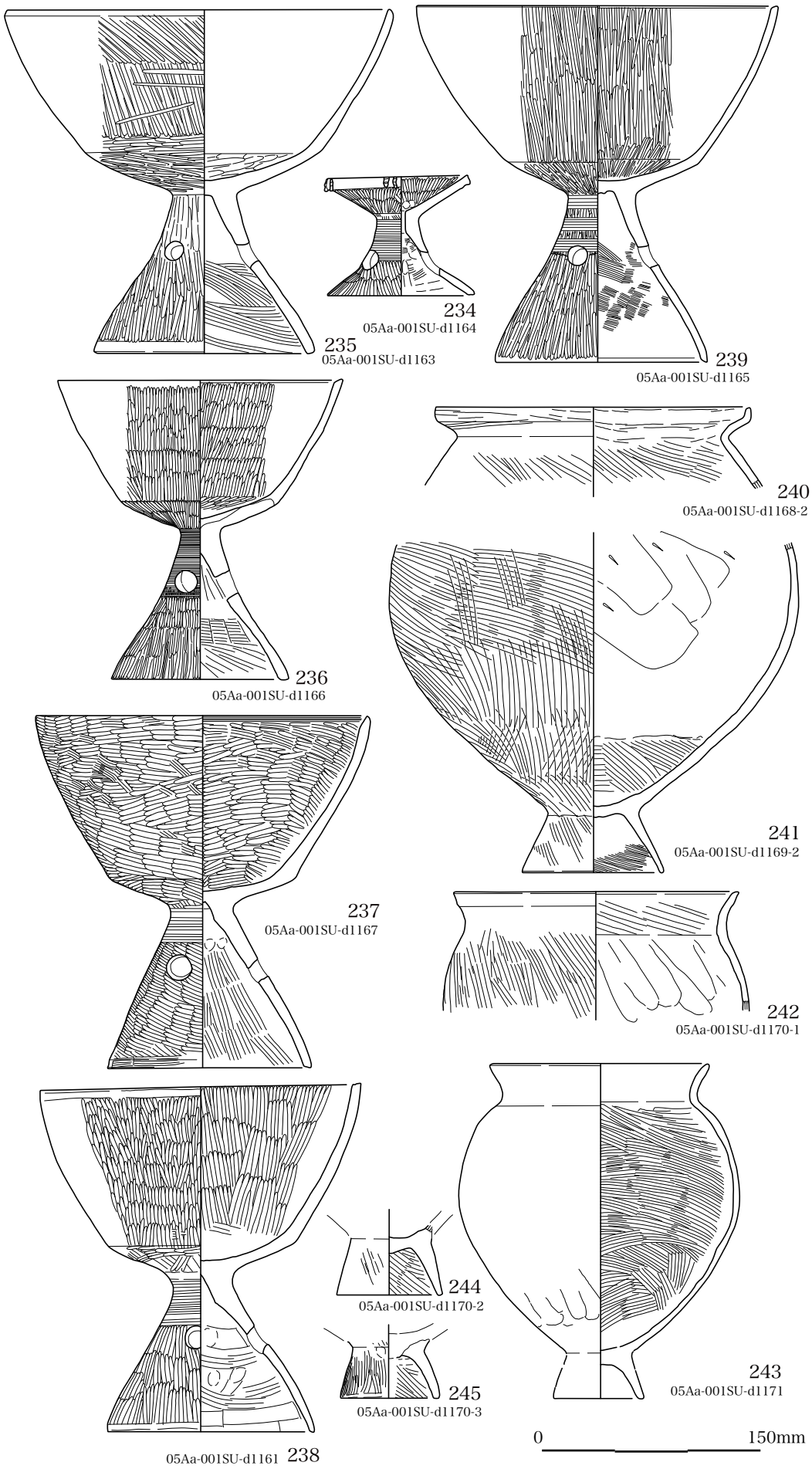


232
05Aa-001SU-d1169-1



233
05Aa-001SU-d1162

05Aa-001SU_2


234
05Aa-001SU-d1164
235
05Aa-001SU-d1163
239
05Aa-001SU-d1165
240
05Aa-001SU-d1168-2
236
05Aa-001SU-d1166
241
05Aa-001SU-d1169-2
237
05Aa-001SU-d1167
242
05Aa-001SU-d1170-1
244
05Aa-001SU-d1170-2
245
05Aa-001SU-d1170-3
243
05Aa-001SU-d1171
05Aa-001SU-d1161 238
0
150mm

3.4.1.5　05Aa-031SB・05Ab-036SK

05Aa 区では朝日 H 層において複数の竪穴建物の重複が確認できている。その内で最も新しい段階の竪穴建物が 031SB である。出土した遺物の特徴からは廻間 I 式 0 段階に所属するものと思われる。一辺約 4.5m ほどで深さ 0.44m を測る。焼土ピット等は確認できない。

036SK は 05Aa 区と 05Ab 区が交差する地点に位置する楕円形状の土坑。長軸は 5.0m 前後で短軸は 2.3m で深さ 0.44m を測る。北区画内郭区画溝 021SD と併行する遺構で，山中 I 式期に所属し，北側に隣接する 063SB に伴う付属施設の可能性が高い。なお 037SB は同じく山中 I 式期に所属する竪穴建物。

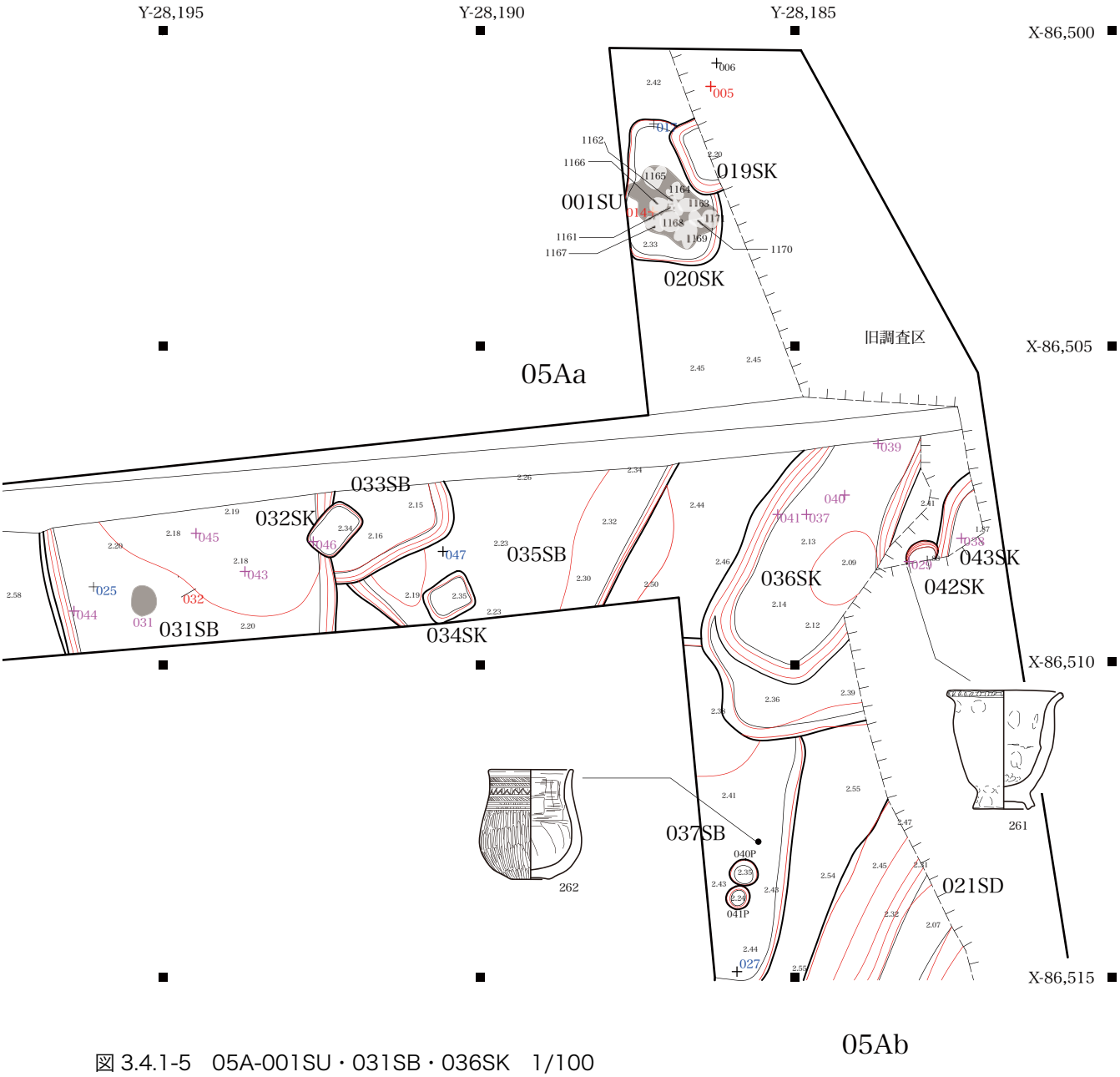
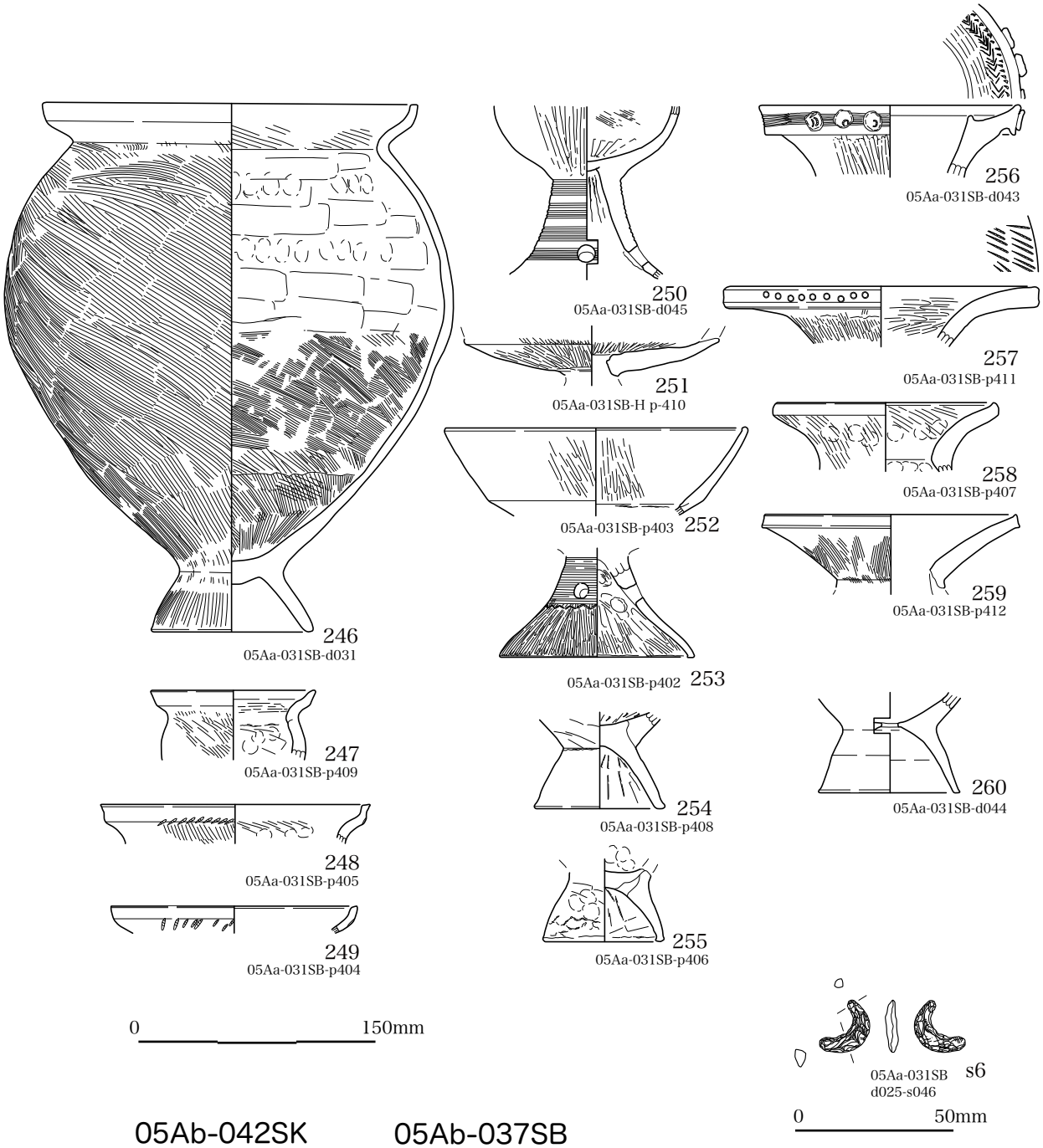


図 3.4.1-5　05A-001SU・031SB・036SK　1/100

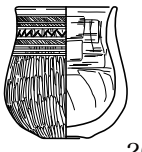
05Aa-031SB



05Ab-042SK

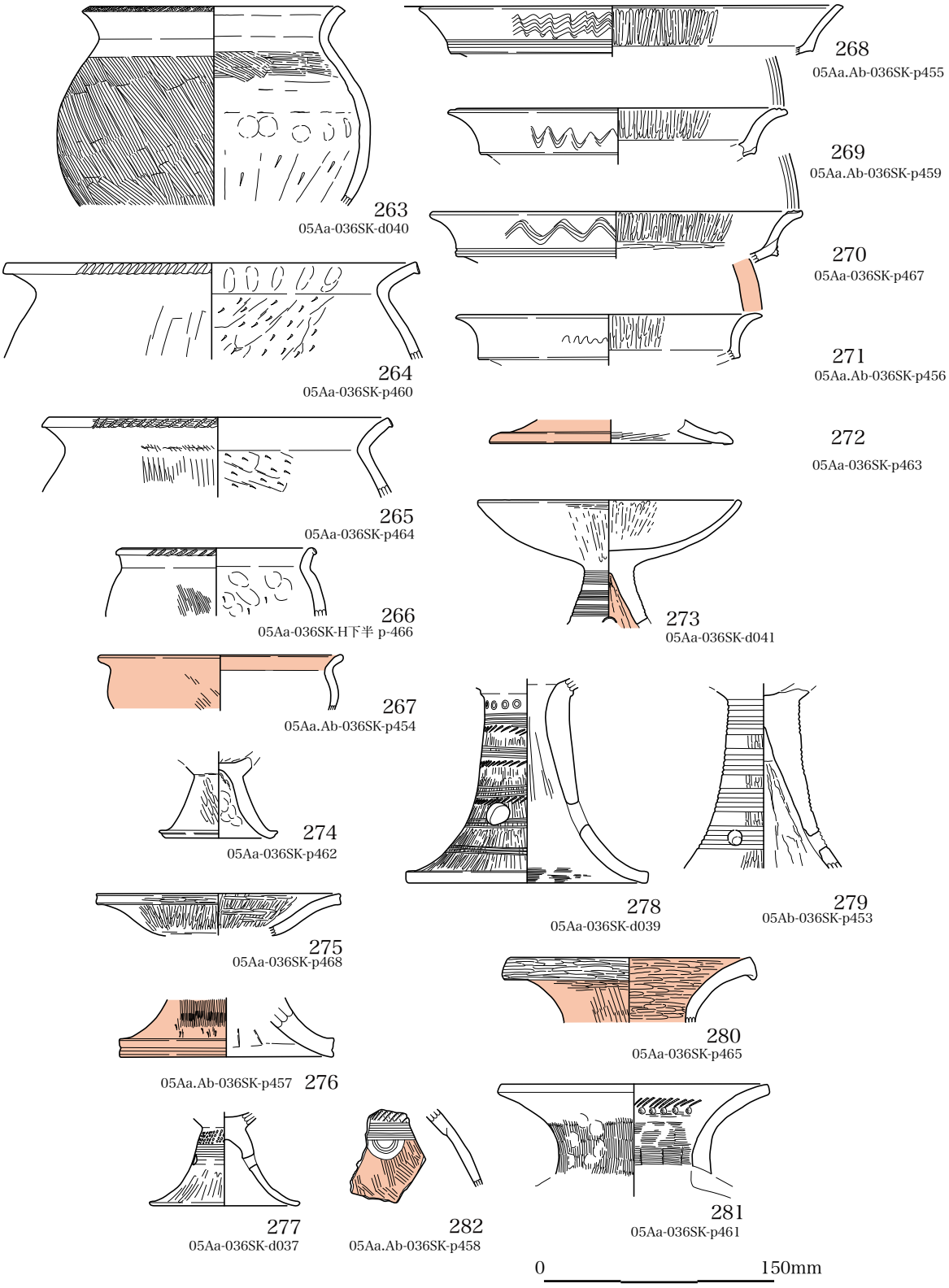
261
05Aa-042SK-d29

05Ab-037SB

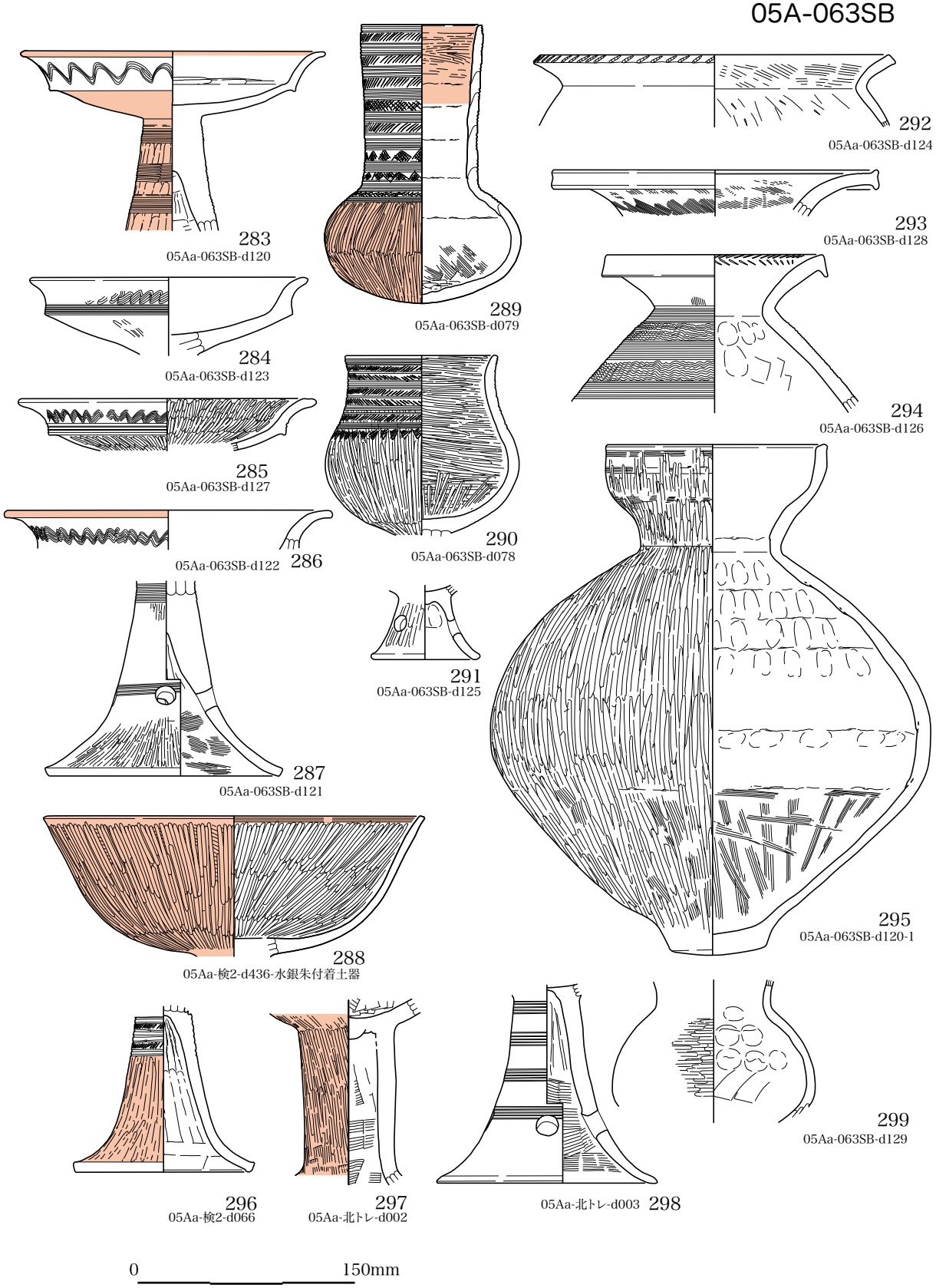


262
05Ab-検2-d133

05Aa-036SK


263
05Aa-036SK-d040
264
05Aa-036SK-p460
265
05Aa-036SK-p464
266
05Aa-036SK-H下半 p-466
267
05Aa.Ab-036SK-p454
274
05Aa-036SK-p462
275
05Aa-036SK-p468
05Aa.Ab-036SK-p457 276
277
05Aa-036SK-d037
282
05Aa.Ab-036SK-p458
268
05Aa.Ab-036SK-p455
269
05Aa.Ab-036SK-p459
270
05Aa-036SK-p467
271
05Aa.Ab-036SK-p456
272
05Aa-036SK-p463
273
05Aa-036SK-d041
278
05Aa-036SK-d039
279
05Ab-036SK-p453
280
05Aa-036SK-p465
281
05Aa-036SK-p461
0
150mm

05A-063SB


283
05Aa-063SB-d120
284
05Aa-063SB-d123
285
05Aa-063SB-d127
05Aa-063SB-d122 286
287
05Aa-063SB-d121
288
05Aa-検2-d436-水銀朱付着土器
289
05Aa-063SB-d079
290
05Aa-063SB-d078
291
05Aa-063SB-d125
292
05Aa-063SB-d124
293
05Aa-063SB-d128
294
05Aa-063SB-d126
295
05Aa-063SB-d120-1
296
05Aa-検2-d066
297
05Aa-北トレ-d002
05Aa-北トレ-d003 298
299
05Aa-063SB-d129
0
150mm

3.4.1.6　05Aa-063SB・066SB

北区画内郭区画溝である 021SD・203SD の内側には，山中Ⅰ式期を中心とする方形竪穴建物が集中して存在する。その内で 063SB からは比較的まとまって遺物が出土し，特に大型の椀形高杯からはその表面に水銀朱付着が確認できる。

なお 031SB の下層には重複する形で，山中Ⅰ式期に所属する 066SB が存在する。6.28×5.04m で深さは 0.24m を測り，西壁溝付近より舌状石製品（s7）が出土している。

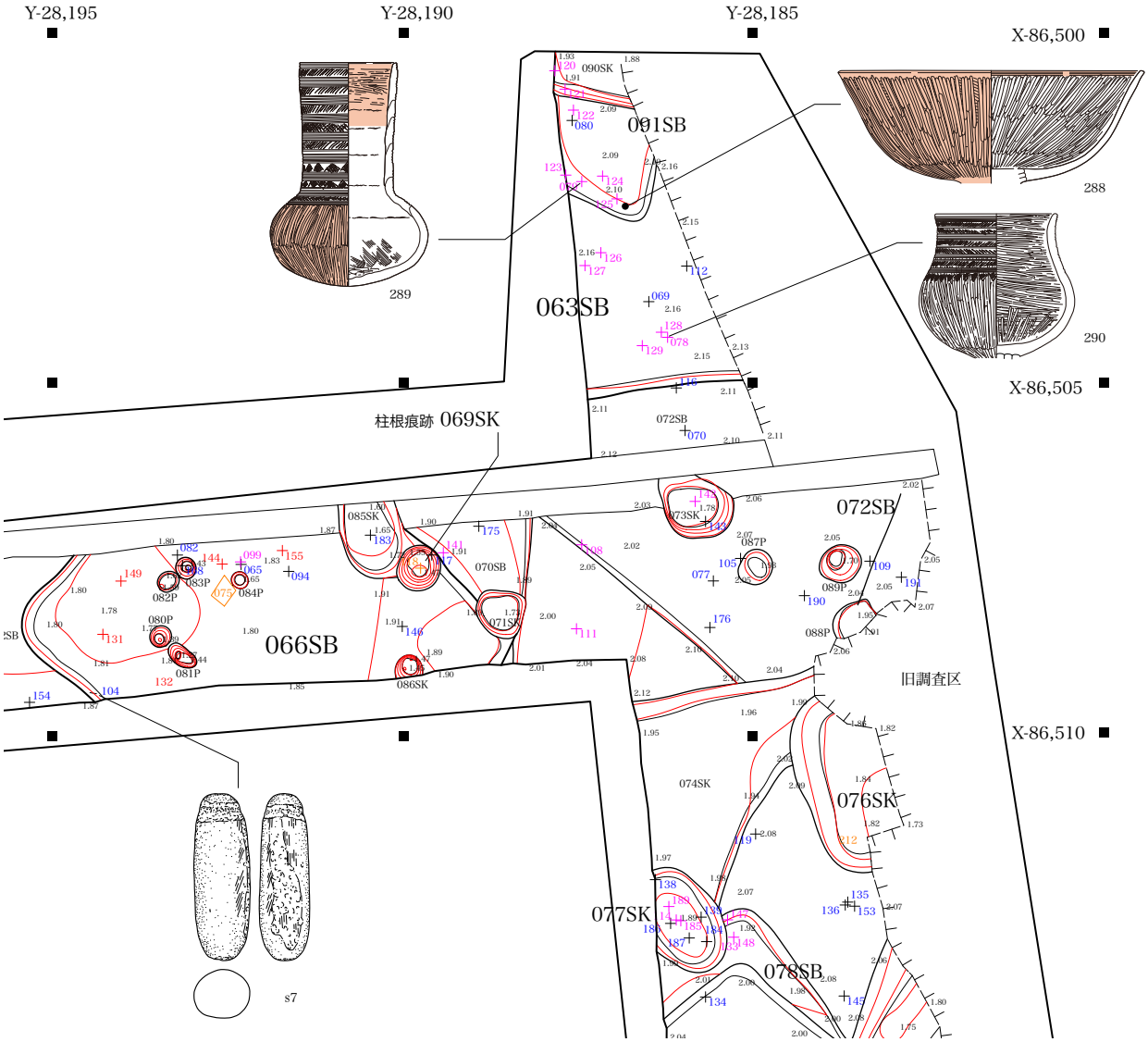
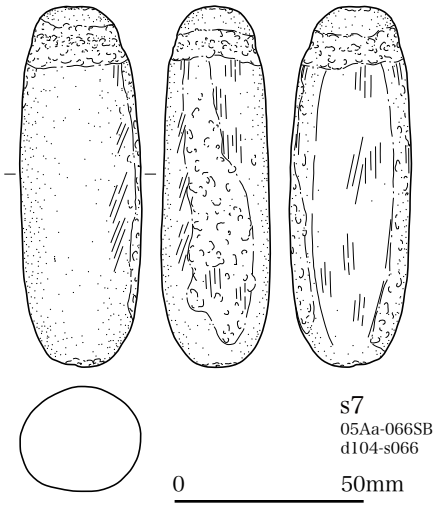
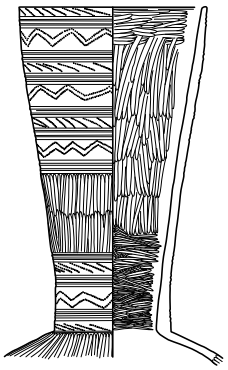


図 3.4.1-7　05Aa-063SB・066SB　1/100

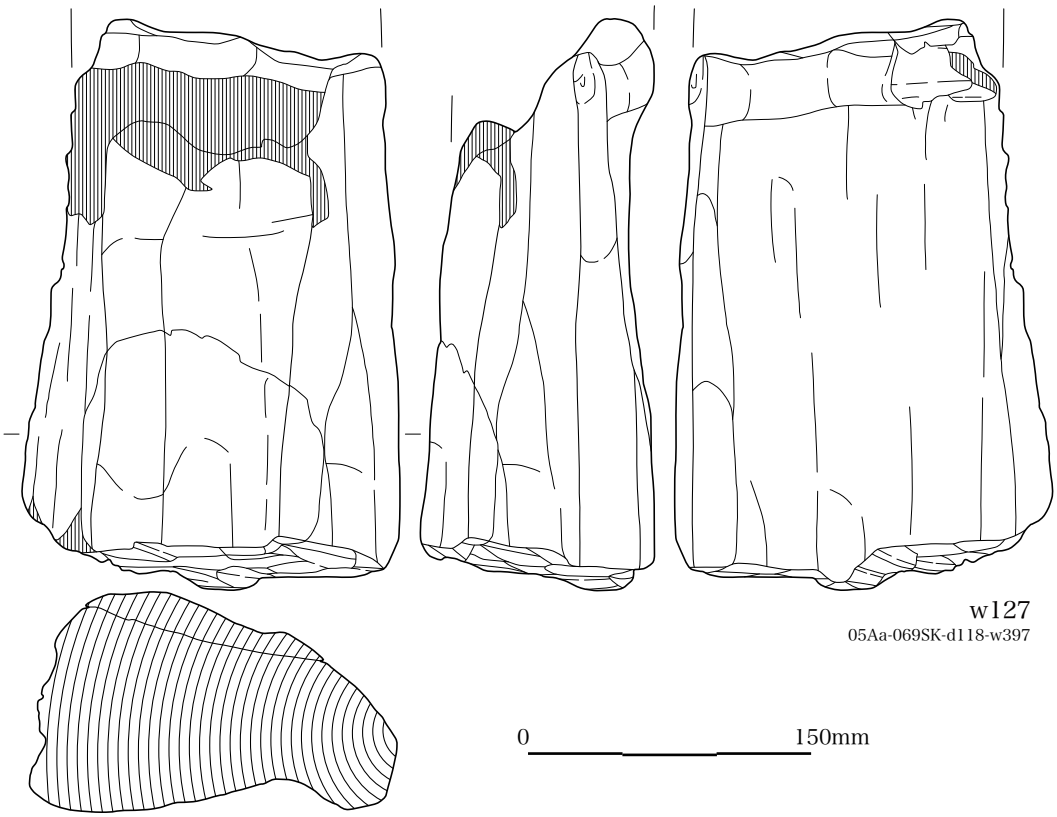
05Aa-066SB



内郭区画溝



05Aa-069SK（柱根）



3.4.1.7　後期北区画環濠

内環濠（05A-027SD・067SD・107SD・113SD）

外環濠（05A-028SD・110SD）

05Ac 区西・Ab 区南端で後期北区画環濠を検出でき，多量の出土遺物を確認した。まず後期内環濠は 027SD・067SD の上層と 107SD・113SD の下層に大きく区分して整理することができる。上層の 067SD は調査区の南側で緩やかに立ち上がる傾向が見られ，一部に陸橋部（出入）的な施設が存在した可能性が高い。内環濠はまず V 字形の大溝（下層）が掘削され，その後溝の補修と埋め立て等により U 字形の溝に造りかえているものと思われる。出土遺物からは環濠の初期の掘削は八王子古宮式ないし山中 I 式初頭段階と推測でき，再整備である上層の時期は山中式中頃を降ることはない。おおむね山中 I 式 3 段階と想定しておきたい。

外環濠はやはり上層の 028SD と下層の 110SD に大きく区分して整理しておくことができるが，基本的には朝日 H 層の上に朝日 M 層がやや厚く堆積した状況下での便宜的な区分であり，大溝の再整備等は確認できていない。所属時期は基本的には内環濠と変わりはない。出土遺物は外環濠から木製品を含め多量の遺物が検出できている。

027SD は溝幅 2.92m で深さ 0.57m
067SD は溝幅 3.21m で深さ 1.21m
113SD は溝幅 3.09m で深さ 1.08m
028SD は溝幅 3.77m で深さ 0.77m
110SD は溝幅 2.87m で深さ 1.0m

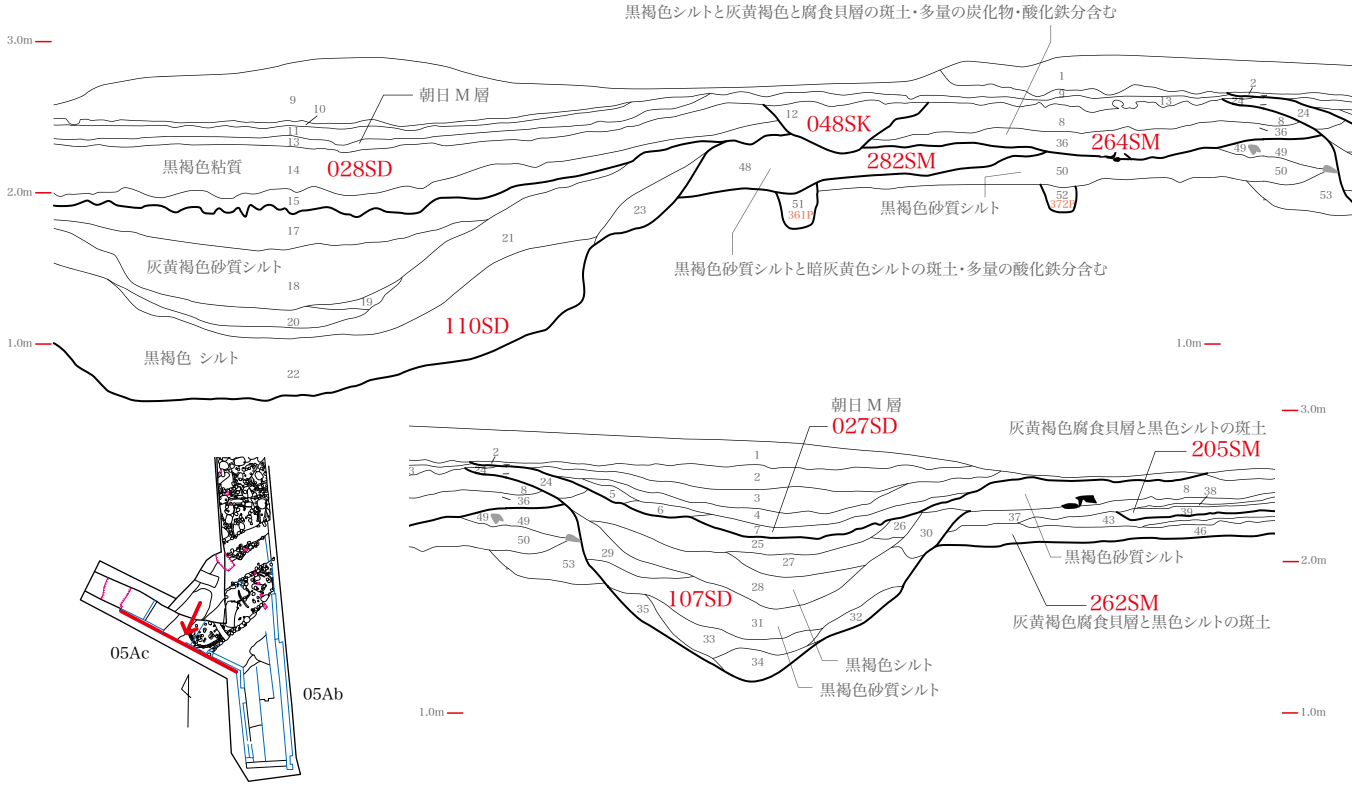


図 3.4.1-8　05Ac-107SD・110SD 南壁断面図　1/50

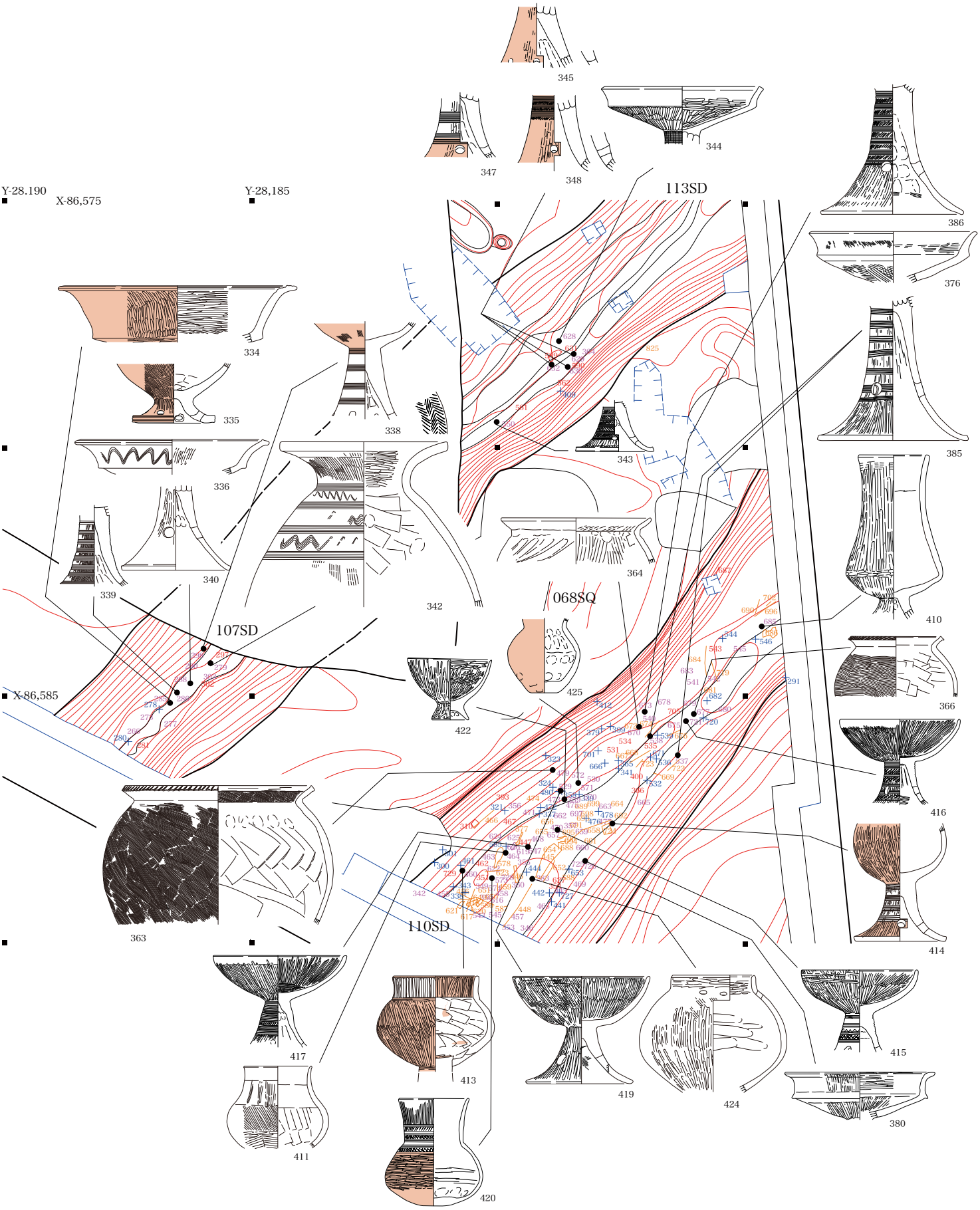
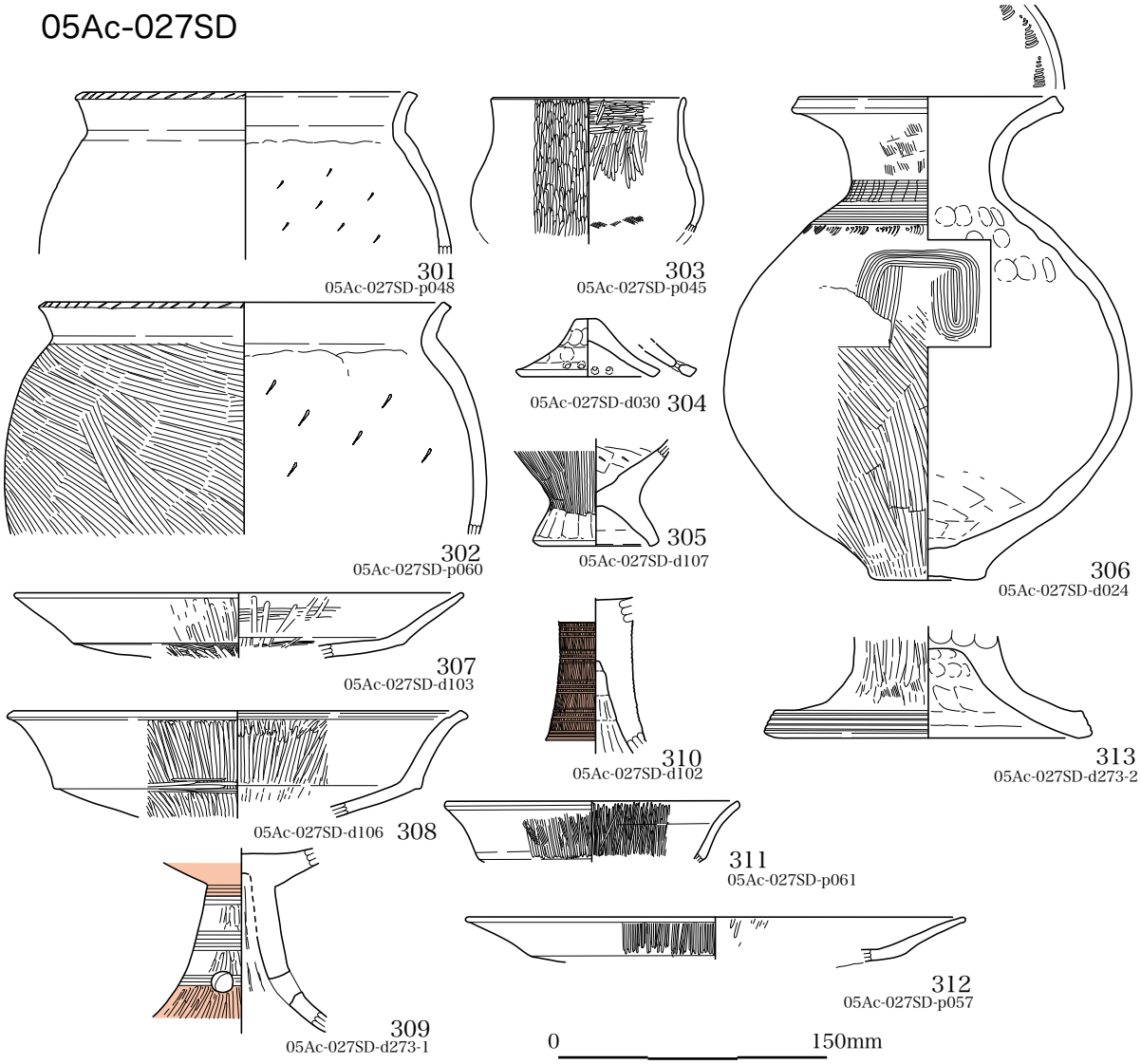
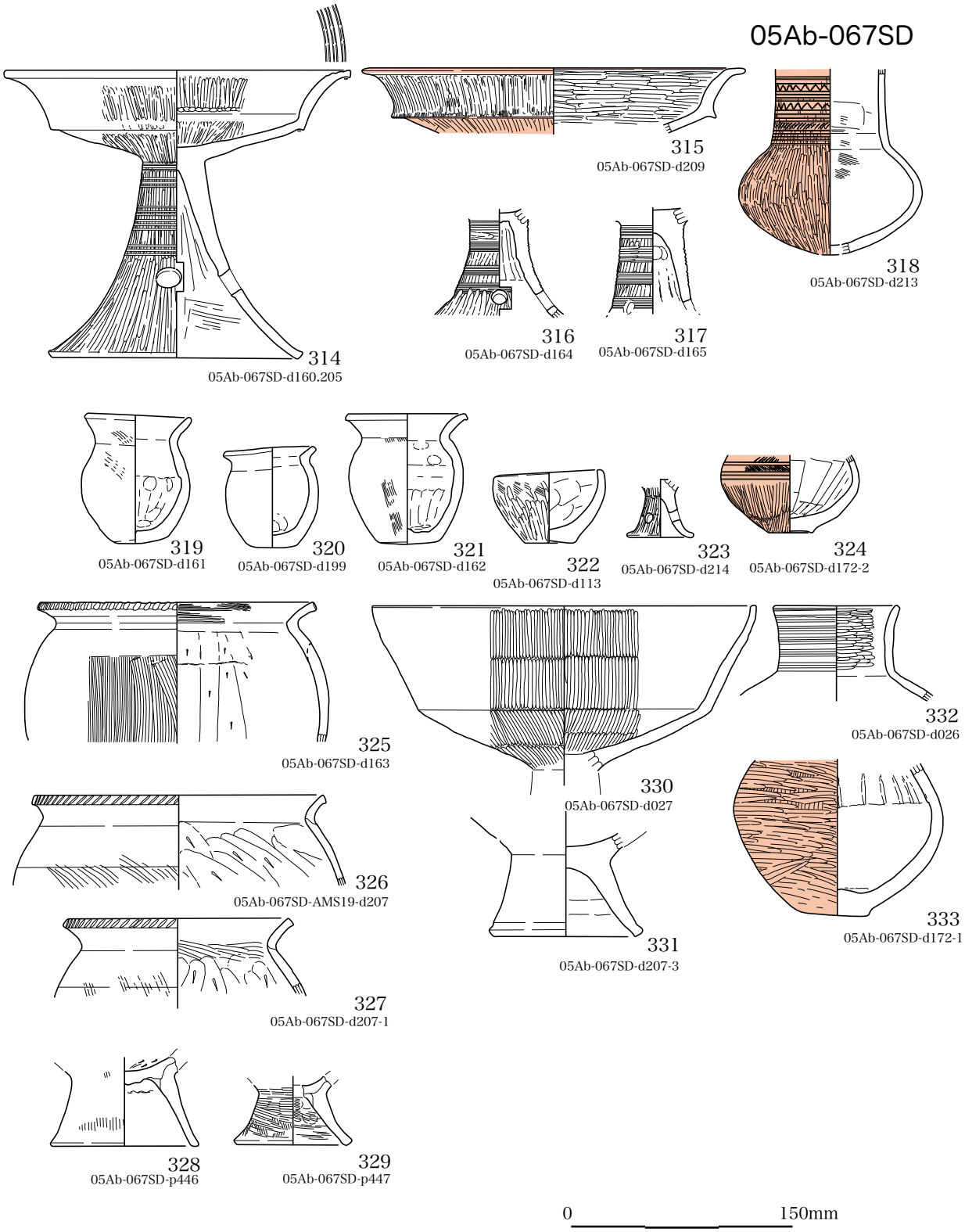


図 3.4.1-9　05A-107SD・110SD　1/100

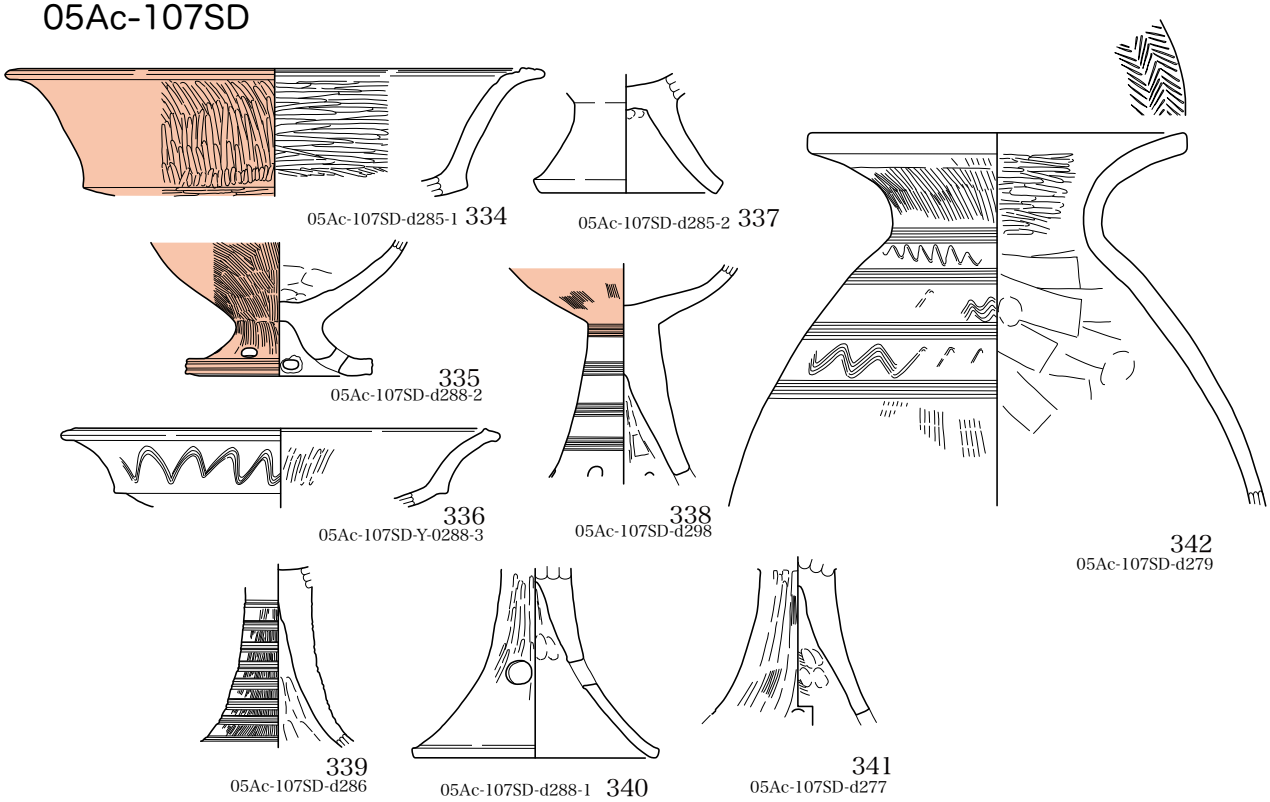
05Ac-027SD


301
05Ac-027SD-p048
303
05Ac-027SD-p045
05Ac-027SD-d030 304
302
05Ac-027SD-p060
305
05Ac-027SD-d107
306
05Ac-027SD-d024
307
05Ac-027SD-d103
310
05Ac-027SD-d102
313
05Ac-027SD-d273-2
05Ac-027SD-d106 308
311
05Ac-027SD-p061
312
05Ac-027SD-p057
309
05Ac-027SD-d273-1
0
150mm

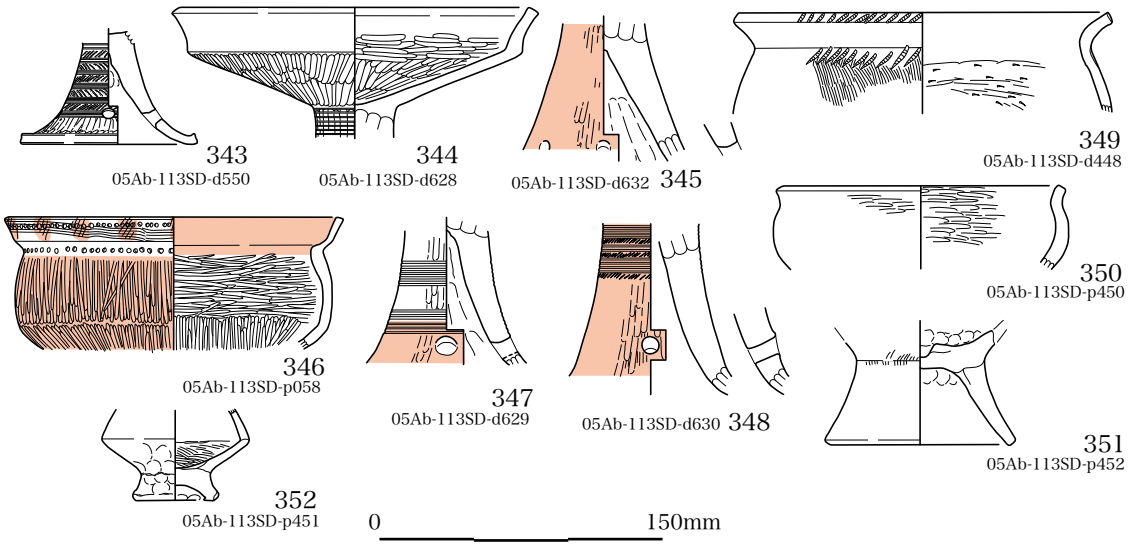
05Ab-067SD


314
05Ab-067SD-d160.205
315
05Ab-067SD-d209
316
05Ab-067SD-d164
317
05Ab-067SD-d165
318
05Ab-067SD-d213
319
05Ab-067SD-d161
320
05Ab-067SD-d199
321
05Ab-067SD-d162
322
05Ab-067SD-d113
323
05Ab-067SD-d214
324
05Ab-067SD-d172-2
325
05Ab-067SD-d163
326
05Ab-067SD-AMS19-d207
327
05Ab-067SD-d207-1
328
05Ab-067SD-p446
329
05Ab-067SD-p447
330
05Ab-067SD-d027
331
05Ab-067SD-d207-3
332
05Ab-067SD-d026
333
05Ab-067SD-d172-1
0
150mm

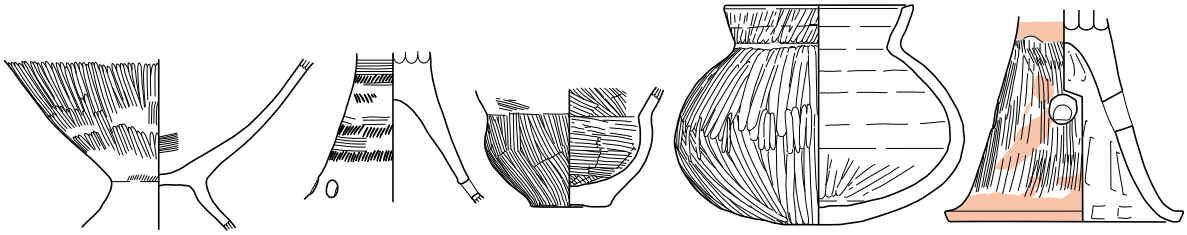
05Ac-107SD



05Ab-113SD



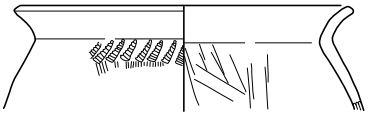
05Ab-028SD



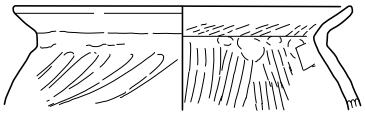
353 05Ab-028SD-d091
354 05Ab-028SD-d092
355 05Ab-028SD-d254
356 05Ab-028SD-d264
357 05Ab-028SD-Y-d086

0 150mm

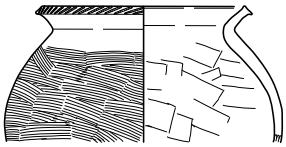
05Ab-110SD_1



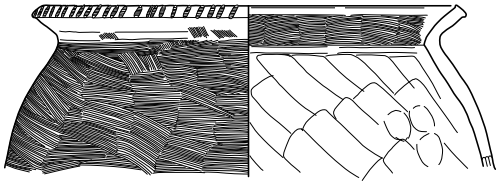
358 05Ac -110SD-d454-2



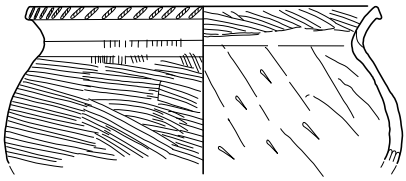
05Ab-110SD-d672 364



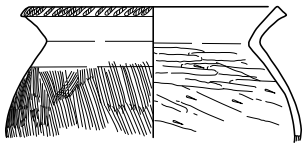
05Ab-110SD-d677 366



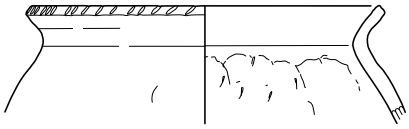
359 05Ab-110SD-p056



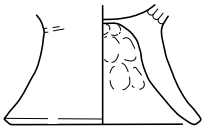
05Ab-110SD-AMS22-d657 365



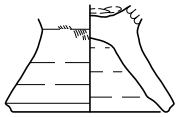
05Ab-110SD-d626 367



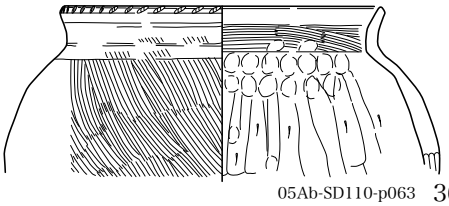
05Ab-110SD-p059 360



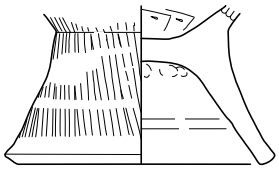
368 05Ab-110SD-d663



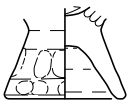
371 05Ab-110SD-d465



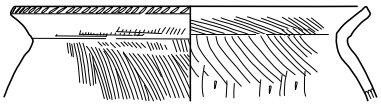
05Ab-SD110-p063 361



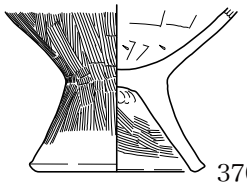
369 05Ab-110SD-d683



372 05Ab-110SD-d468

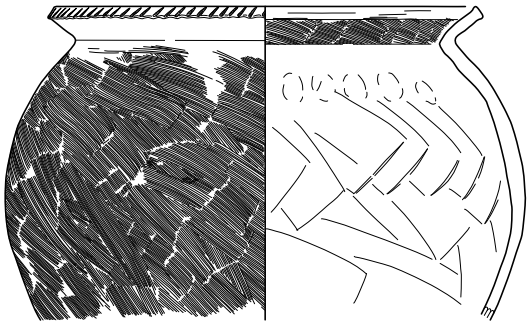


05Ac-110SD-d619 362

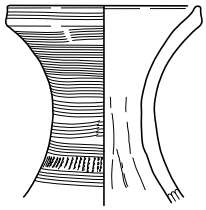


370 05Ab-110SD-d665

0 150mm

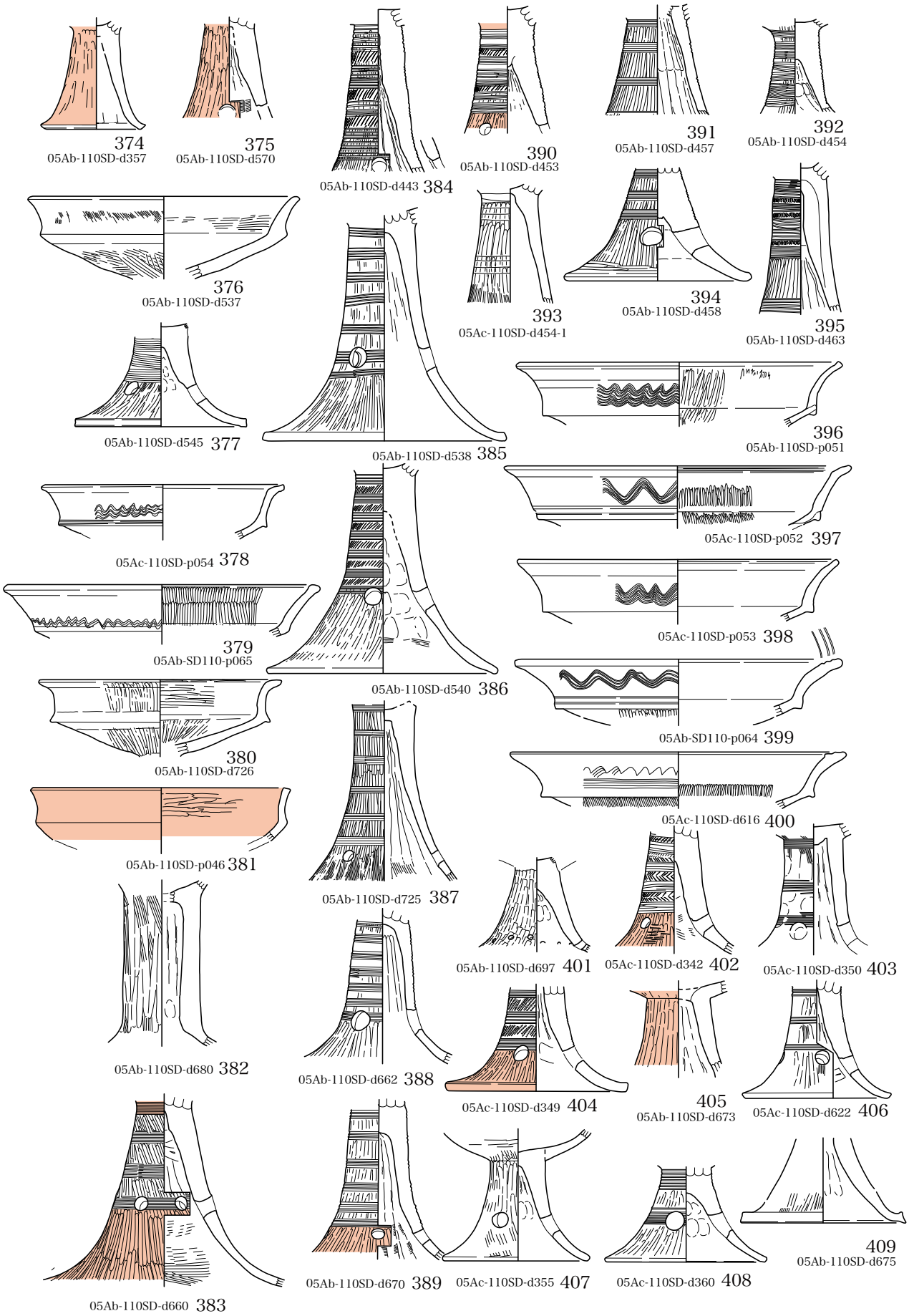


363 05Ab-110SD-d479

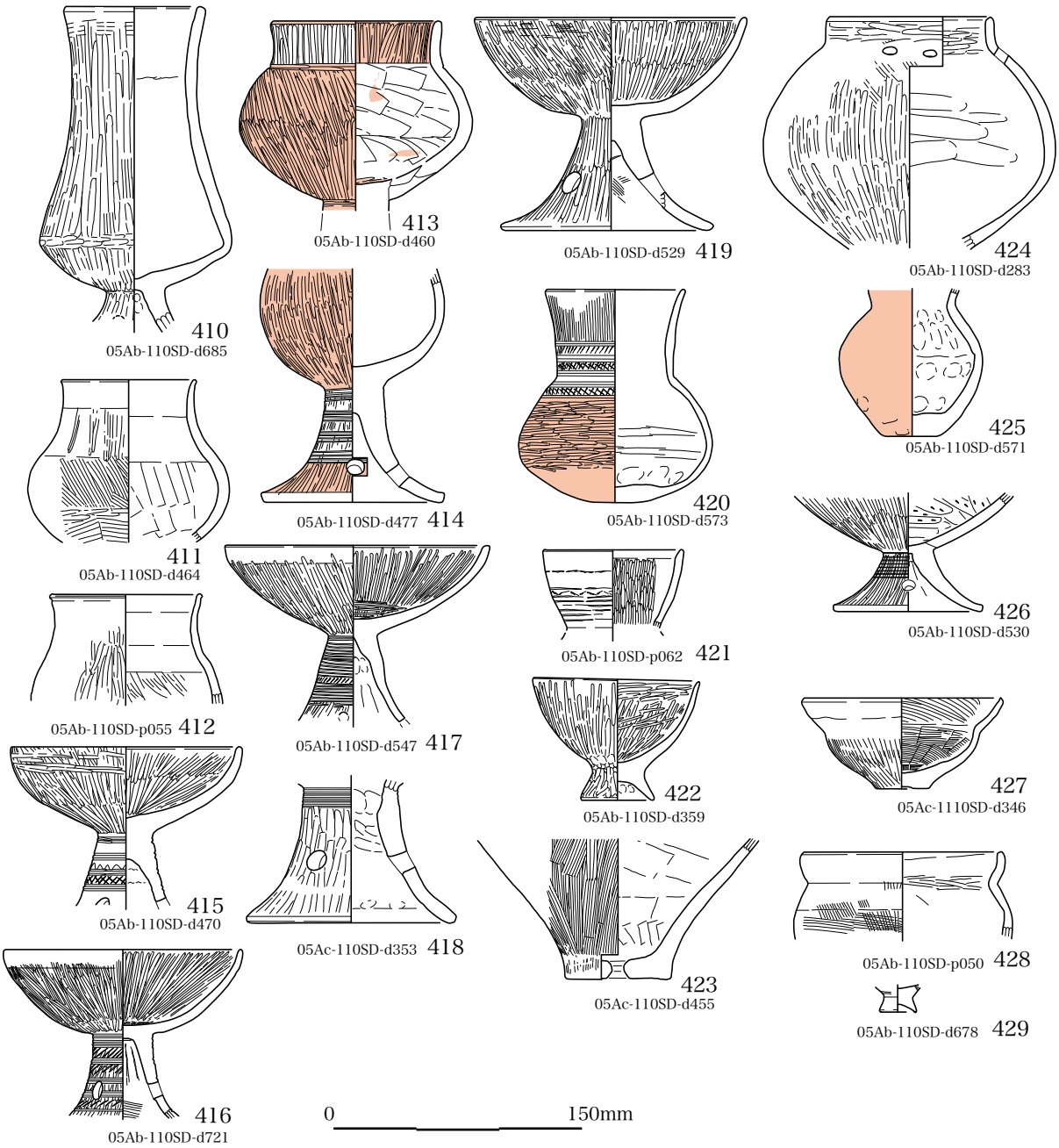


373 05Ab-110SD-d542

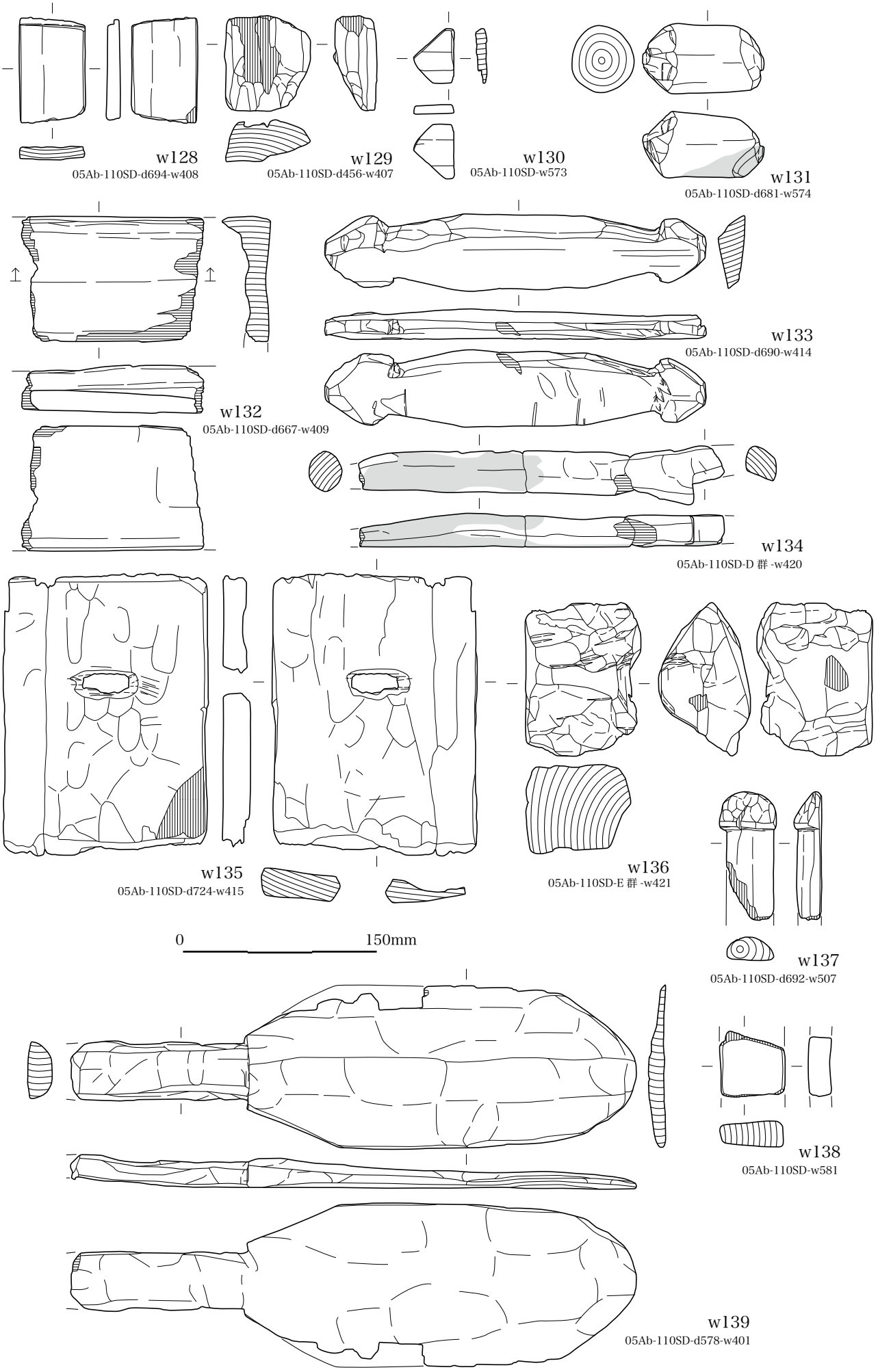
05Ab-110SD_2


374
05Ab-110SD-d357
375
05Ab-110SD-d570
05Ab-110SD-d443 384
390
05Ab-110SD-d453
391
05Ab-110SD-d457
392
05Ab-110SD-d454
376
05Ab-110SD-d537
393
05Ac-110SD-d454-1
394
05Ab-110SD-d458
395
05Ab-110SD-d463
05Ab-110SD-d545 377
05Ab-110SD-d538 385
396
05Ab-110SD-p051
05Ac-110SD-p054 378
05Ac-110SD-p052 397
379
05Ab-SD110-p065
05Ac-110SD-p053 398
05Ab-110SD-d540 386
05Ab-SD110-p064 399
380
05Ab-110SD-d726
05Ac-110SD-d616 400
05Ab-110SD-p046 381
05Ab-110SD-d725 387
05Ab-110SD-d697 401
05Ac-110SD-d342 402
05Ac-110SD-d350 403
05Ab-110SD-d680 382
05Ab-110SD-d662 388
05Ac-110SD-d349 404
405
05Ab-110SD-d673
05Ac-110SD-d622 406
409
05Ab-110SD-d675
05Ab-110SD-d660 383
05Ab-110SD-d670 389
05Ac-110SD-d355 407
05Ac-110SD-d360 408

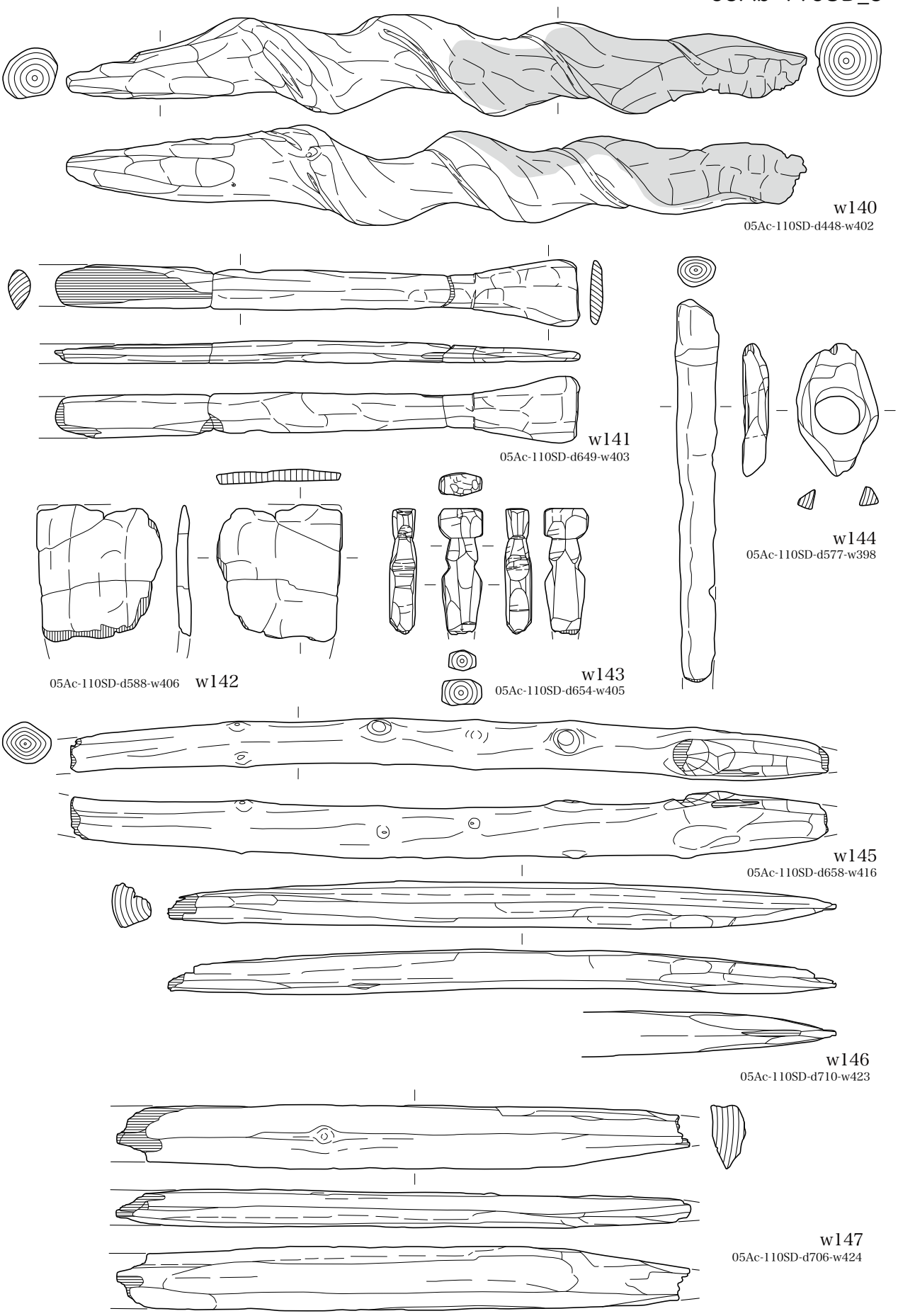
05Ab-110SD_3


410
05Ab-110SD-d685
411
05Ab-110SD-d464
05Ab-110SD-p055 412
415
05Ab-110SD-d470
416
05Ab-110SD-d721
413
05Ab-110SD-d460
05Ab-110SD-d477 414
05Ab-110SD-d547 417
05Ac-110SD-d353 418
05Ab-110SD-d529 419
420
05Ab-110SD-d573
05Ab-110SD-p062 421
422
05Ab-110SD-d359
423
05Ac-110SD-d455
424
05Ab-110SD-d283
425
05Ab-110SD-d571
426
05Ab-110SD-d530
427
05Ac-1110SD-d346
05Ab-110SD-p050 428
05Ab-110SD-d678 429
0
150mm

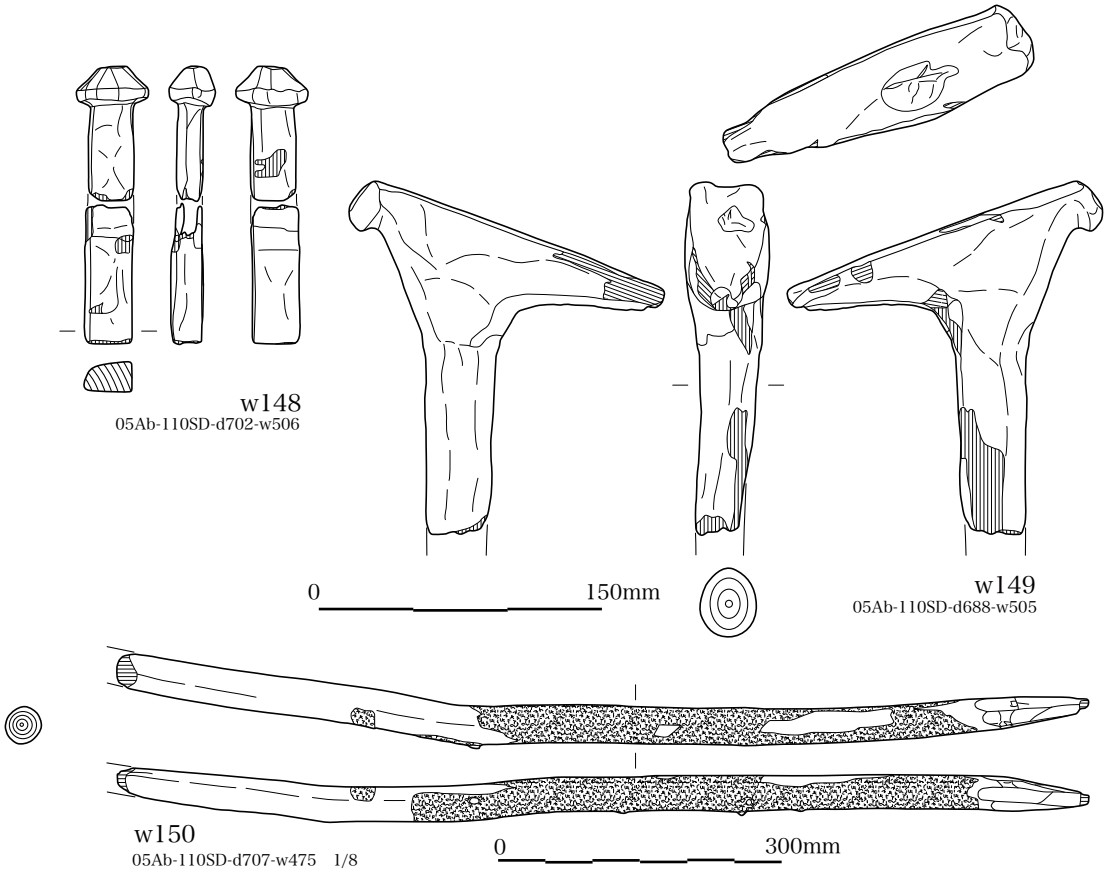
05Ab-110SD_4


w128
05Ab-110SD-d694-w408
w129
05Ab-110SD-d456-w407
w130
05Ab-110SD-w573
w131
05Ab-110SD-d681-w574
w132
05Ab-110SD-d667-w409
w133
05Ab-110SD-d690-w414
w134
05Ab-110SD-D 群 -w420
w135
05Ab-110SD-d724-w415
w136
05Ab-110SD-E 群 -w421
0
150mm
w137
05Ab-110SD-d692-w507
w138
05Ab-110SD-w581
w139
05Ab-110SD-d578-w401

05Ab-110SD_5

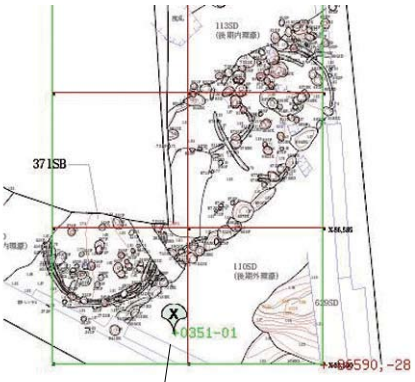

w140
05Ac-110SD-d448-w402
w141
05Ac-110SD-d649-w403
w144
05Ac-110SD-d577-w398
05Ac-110SD-d588-w406
w142
w143
05Ac-110SD-d654-w405
w145
05Ac-110SD-d658-w416
w146
05Ac-110SD-d710-w423
w147
05Ac-110SD-d706-w424

05Ab-110SD_6



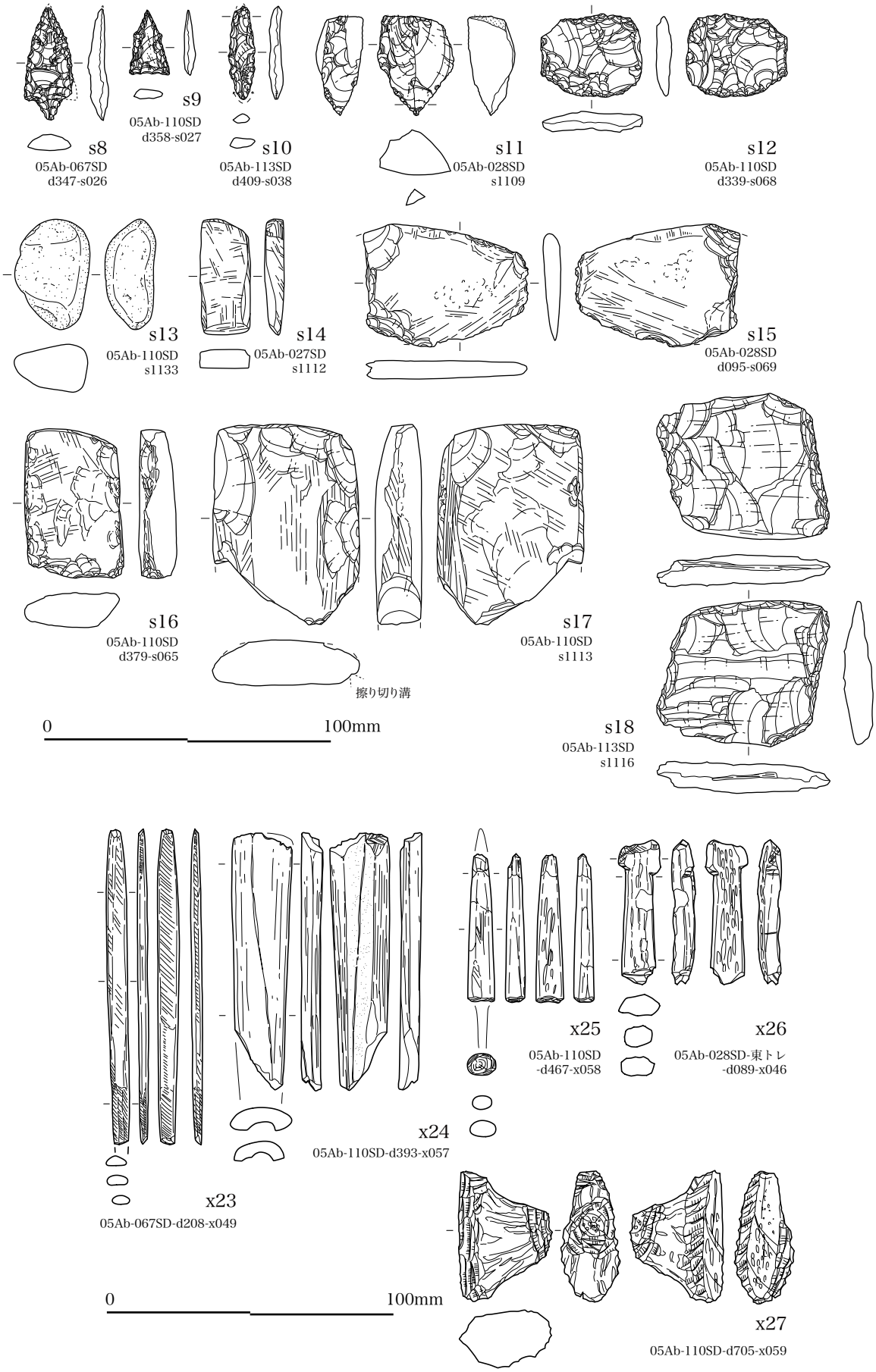
05Ab-110SD- 獣骨他

調査区	No	X	Y	Z	グリッド	遺構	種別	日時	時期	備考	写真	訂正	削除
05Ab	0351-01	-86588.827	-28180.470	1.079	6I18d	0110SD	獣骨	2006-04-26		0110SD-Y		修正	削除
05Ab	0366	-86587.012	-28177.349	1.295	6I18e	0110SD	骨	2006-04-26		0110SD-Y		修正	削除
05Ab	0393	-86586.975	-28180.073	1.713	6I18d	0110SD	骨角器	2006-04-26		0110SD-Y		修正	削除
05Ab	0400	-86586.573	-28177.033	1.318	6I18e	0110SD	骨角器	2006-04-27		0110SD-Y		修正	削除
05Ab	0462	-86588.490	-28180.483	1.042	6I18d	0110SD	骨角器	2006-05-02		0110SD-Y		修正	削除
05Ab	0467	-86587.633	-28179.922	1.150	6I18e	0110SD	骨角器	2006-05-02		0110SD-Y		修正	削除
05Ab	0531	-86586.123	-28177.889	1.218	6I18e	0110SD	骨	2006-05-02		0110SD-Y		修正	削除
05Ab	0534	-86585.851	-28177.261	1.113	6I18e	0110SD	歯	2006-05-02		0110SD-Y		修正	削除
05Ab	0535	-86586.034	-28177.137	1.271	6I18e	0110SD	歯	2006-05-02		0110SD-Y		修正	削除
05Ab	0687-01	-86582.543	-28175.593	1.458	6I18e	0110SD	骨	2006-05-09		0110SD-Y		修正	削除
05Ab	0705	-86585.303	-28176.209	0.877	6I17e	0110SD	鹿角・石	2006-05-15		110SD-Y 凝灰質 軟岩		修正	削除



05Ab-110SD- 獣骨 d351

05A-110SD_7

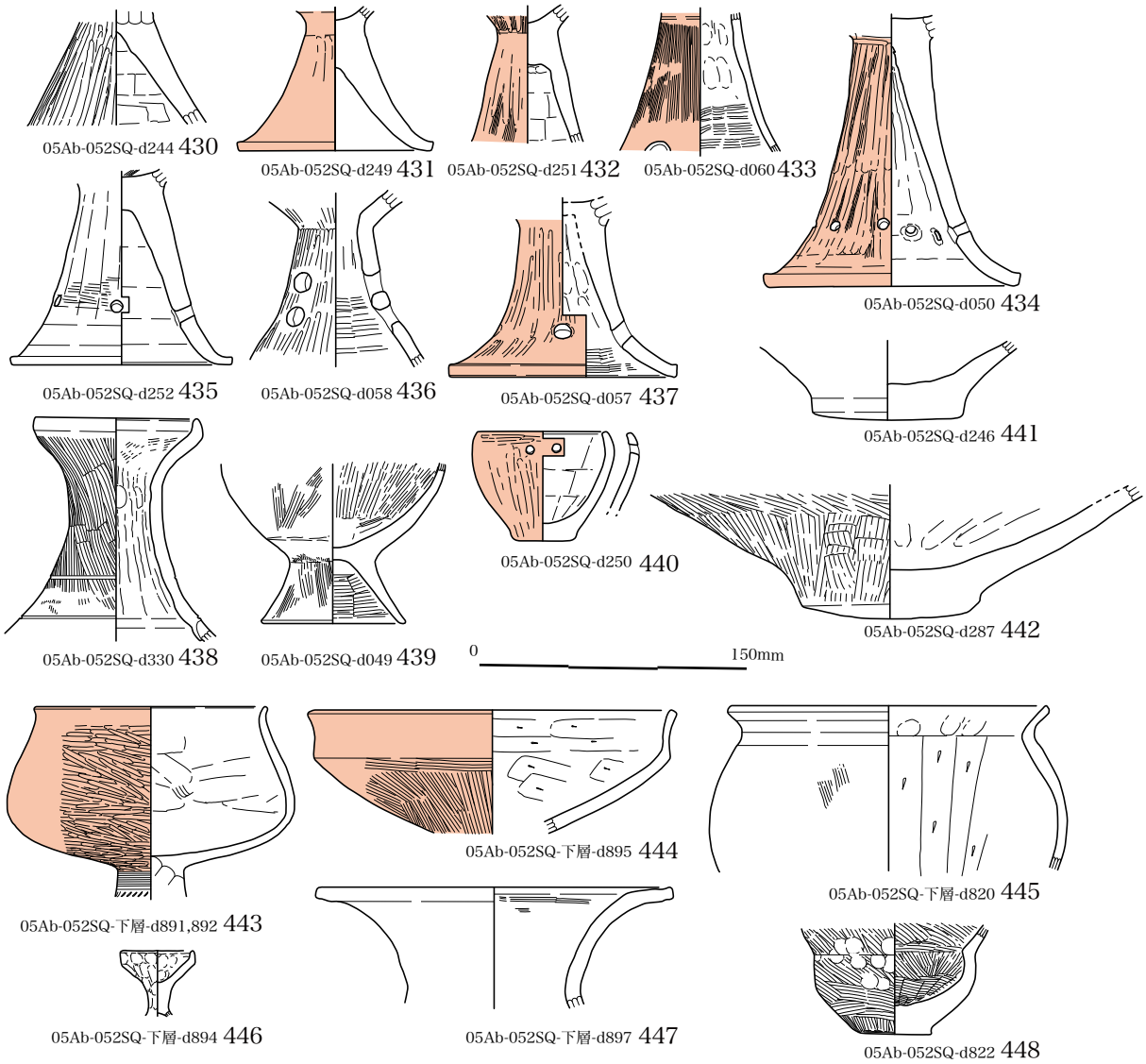

s8
05Ab-067SD
d347-s026
s9
05Ab-110SD
d358-s027
s10
05Ab-113SD
d409-s038
s11
05Ab-028SD
s1109
s12
05Ab-110SD
d339-s068
s13
05Ab-110SD
s1133
s14
05Ab-027SD
s1112
s15
05Ab-028SD
d095-s069
s16
05Ab-110SD
d379-s065
擦り切り溝
s17
05Ab-110SD
s1113
s18
05Ab-113SD
s1116
0
100mm
x23
05Ab-067SD-d208-x049
x24
05Ab-110SD-d393-x057
x25
05Ab-110SD
-d467-x058
x26
05Ab-028SD-東トレ
-d089-x046
x27
05Ab-110SD-d705-x059
0
100mm

3.4.1.8　環濠堤　05Ab-052SQ

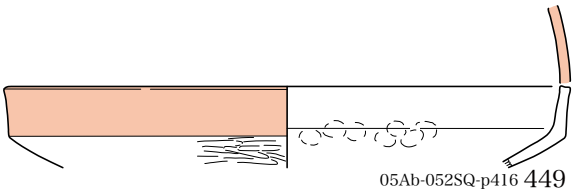
052SQ は後期北区画外環濠の南側（外側・谷側）に存在する堤状遺構で，中期北区画第 1 環濠を埋立てて構築されている。残存状況は幅 4m ほどで高さ 0.6m で，盛土は環濠掘削による発生土（朝日 G 層砂）を混ぜて使う層序番号 -4（図 3.4.1-10）と，そうではなく黒色の粘質シルトを用意する 6 に区分できる。おおむね環濠の上下層に則した堤の整備状況と想定したい。

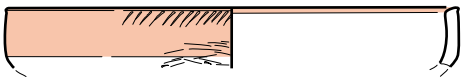
盛土内からは八王子古宮式から山中 I 式期にかけての遺物群でまとまる。下層（層序番号 -6）からは八王子古宮式期の遺物が見つかっており，環濠と堤の造営が後期初頭段階にあることを傍証するものである。なお層序番号 -7 は中粒砂で T-SA 層と想定できるものであり，砂層の堆積後の構築である事が断面図からもわかる。

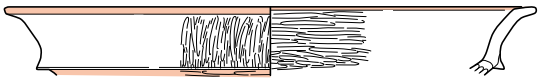
05Ab-052SQ_1

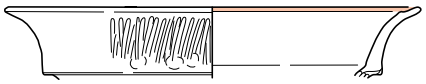


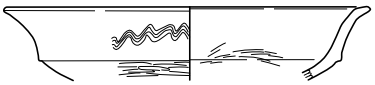
05Ab-052SQ_2

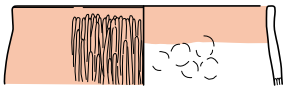

05Ab-052SQ-p416 449

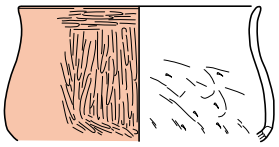

05Ab-052SQ-p425 450

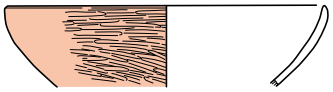

05Ab-052SQ-上層-p432 451


05Ab-052SQ-p418 452

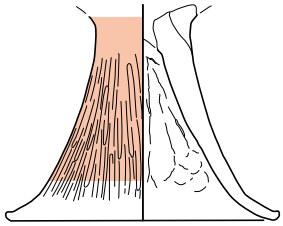

05Ab-052SQ-p420 453

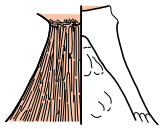

05Ab-052SQ-上層-p430 454

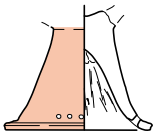

05Ab-113SD-p449 455

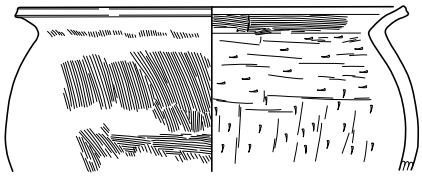

05Ab-052SQ-上層-p433 456

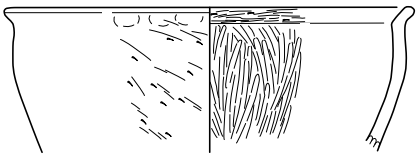
05Ab-052SQ-下層-p435 457

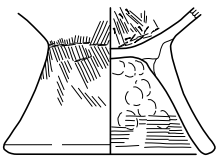

05Ab-052SQ-p422 458

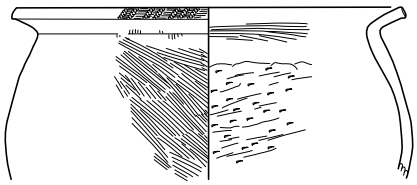

05Ab-052SQ-上層-p427 459

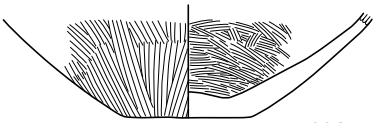

05Ab-052SQ-p438 460


05Ab-052SQ-p421 461

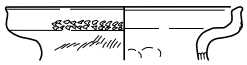

05Ab-052SQ-上層-p431 468

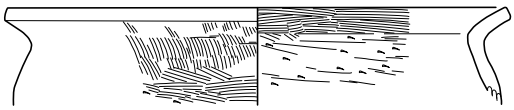

05Ab-052SQ-p419 474

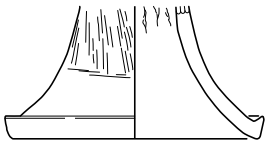

05Ab-052SQ-p437 462

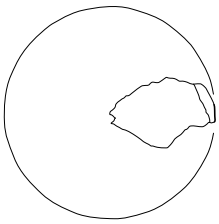

05Ab-052SQ-上層-p429 469

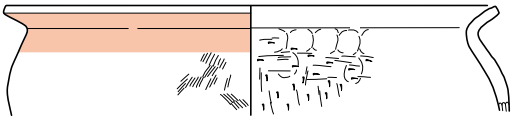
05Ab-052SQ-p417 475

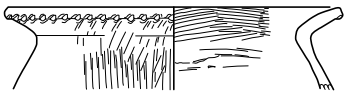

05Ab-052SQ-p424 470

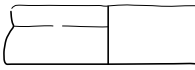

05Ab-052SQ-上層-p434 463

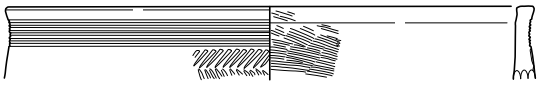

05Ab-052SQ-下層-p443 471

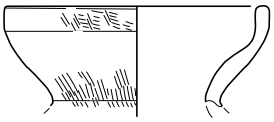


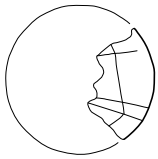

05Ab-052SQ-上層-p428 464

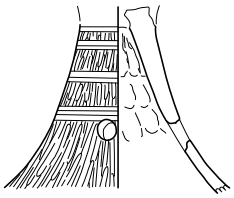

05Ab-052SQ-下層-p442 472

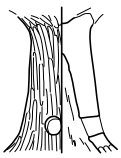

05Ab-052SQ-p423 476


05Ab-052SQ-下層-p444 465


05Ab-052SQ-下層-p441 473

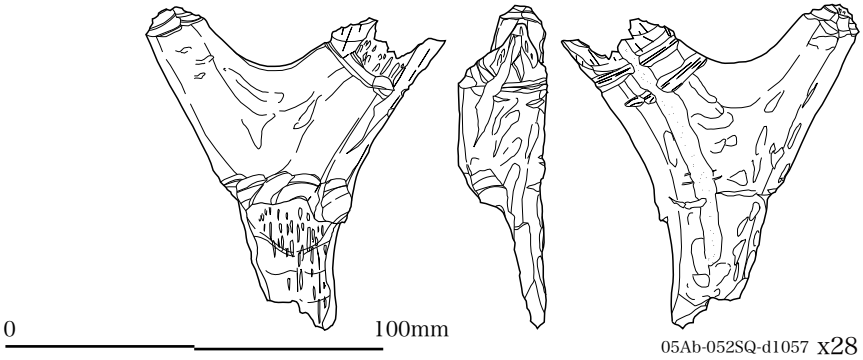

05Ab-052SQ-p436 477

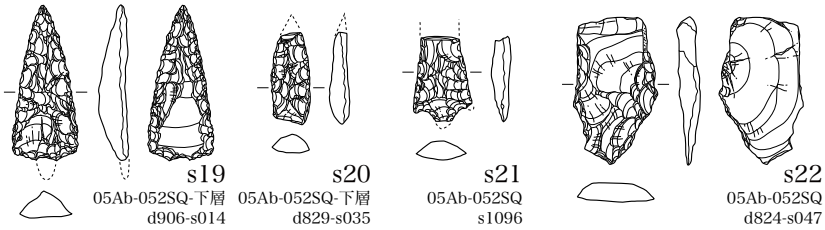

05Ab-052SQ-下層-p445 466


05Ab-052SQ-下層-p439 467

0 150mm

05Ab-052SQ_3





層序番号	土色記号	土色	土質	備考(05Ab-108SD付近の地層)
1	2.5Y3/1	黒褐色	砂質シルト	
2	2.5Y4/1	黄灰色	砂質シルト	2.5Y4/2暗灰黄色中粒砂含む
3	2.5Y3/2	黒褐色	砂質シルト	少量の5Y5/3灰オリーブ色中粒砂、微量の炭化物含む
4	2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルトと2.5Y3/2黒褐色砂質シルトの斑土　少量の2.5Y4/4オリーブ褐色中粒砂含む			
3	2.5Y3/2黒褐色砂質シルトと2.5Y3/1黒褐色砂質シルトの斑土　微量の炭化物含む			
6	5Y5/2灰オリーブ色中粒砂と5Y3/1オリーブ黒色砂質シルトの斑土　少量の酸化鉄分含む			
7	5Y5/2	灰オリーブ色	中粒砂	少量の5Y4/1灰色砂質シルト含む
8	5Y4/1	灰色	砂質シルト	微量の炭化物、少量の酸化鉄分含む
9	7.5Y4/1	灰色	砂質シルト	微量の炭化物、少量の酸化鉄分含む
10	5Y4/1	灰色	砂質シルト	微量の酸化鉄分含む
11	5Y3/1オリーブ黒色砂質シルトと2.5Y3/1黒褐色砂質シルトの斑土　微量の酸化鉄分含む			
12	5Y3/1	オリーブ黒色	砂質シルト	
13	5Y3/1	オリーブ黒色	砂質シルト	微量の炭化物・酸化鉄分含む
14	5Y3/1	オリーブ黒色	砂質シルト	微量の炭化物含む
15	2.5Y3/1	黒褐色	砂質シルト	少量の炭化物含む
16	2.5Y3/1	黒褐色	砂質シルト	微量の腐植物含む
17	2.5Y2/1	黒色	砂質シルト	少量の腐食貝、微量の腐植物含む
18	10YR1.7/1	黒色	砂質シルト	多量の木質・炭化物含む(混貝土層)
19	2.5Y3/1	黒褐色	砂質シルト	微量の腐植物含む
20	2.5Y4/1	黄灰色	砂質シルト	微量の2.5Y4/2暗灰黄色砂・酸化鉄分含む
21	2.5Y3/1	黒褐色	砂質シルト	微量の5Y5/3灰オリーブ色中粒砂・炭化物、少量の酸化鉄分含む
22	2.5Y3/1	黒褐色	砂質シルト	微量の炭化物・酸化鉄分含む
23	5Y3/1	オリーブ黒色	砂質シルト	微量の2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト・炭化物含む
24	5Y2/1	黒色	砂質シルト	微量の5Y5/3灰オリーブ色中粒砂、少量の炭化物含む
25	5Y2/1黒色砂質シルトと5Y3/1オリーブ黒色砂質シルトの斑土　少量の5Y5/3灰オリーブ色中粒砂、微量の炭化物含む			
26	5Y3/1オリーブ黒色シルト質砂と5Y5/3灰オリーブ色中粒砂の斑土　微量の炭化物含む			
27	2.5Y3/2	黒褐色	シルト質砂	木質含む
28	2.5Y3/2黒褐色シルト質砂と2.5Y4/2暗灰黄色シルト質砂の斑土			
29	2.5Y3/2黒褐色シルト質砂と5Y3/2オリーブ黒色中粒砂の斑土　微量の酸化鉄分含む			
30	7.5Y4/1	灰色	中粒砂	
31	2.5Y3/1	黒褐色	砂質シルト	微量の炭化物含む
32	5Y4/3暗オリーブ色中粒砂と2.5Y3/2黒褐色砂質シルトの斑土			
33	5Y4/3暗オリーブ色中粒砂と2.5Y3/3黒褐色砂質シルトの斑土			
34	5Y3/2オリーブ黒色砂質シルトと2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルトの斑土　5Y4/3暗オリーブ色中粒砂・腐食貝含む			
35	2.5Y4/1黄灰色砂質シルトと5Y3/1オリーブ黒色砂質シルトの斑土　少量の炭化物、微量の酸化鉄分含む			
36	2.5Y3/1黒褐色砂質シルトと2.5Y4/1黄灰色砂質シルトの斑土　少量の炭化物、微量の酸化鉄分含む			
37	2.5Y4/2	暗灰黄色	砂質シルト	微量の2.5Y4/2暗灰黄色シルト質砂・腐食貝含む
38	5Y4/1灰色砂質シルトと5Y4/2灰オリーブ色中粒砂の斑土			
39	2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルトと2.5Y4/1黄灰色砂質シルトの斑土　微量の腐食貝含む			
40	2.5Y3/1黒褐色砂質シルトと2.5Y4/1黄灰色砂質シルトの斑土　少量の炭化物・腐食貝含む			
41	2.5Y3/1	黒褐色	砂質シルト	
42	5Y3/1オリーブ黒色砂質シルトと2.5Y3/1黒褐色砂質シルトの斑土			
43	5Y4/2灰オリーブ色中粒砂と5Y2/1黒色砂質シルトと5GY4/1暗オリーブ灰色中粒砂の斑土			
44	10GY5/1	緑灰色	中粒砂	微量の2.5Y2/1黒色砂質シルト
45	2.5Y4/1	黄灰色	シルト質砂	10GY5/1緑灰色中粒砂含む
46	2.5Y3/1黒褐色砂質シルトと2.5Y3/2黒褐色砂質シルトの斑土　微量の炭化物・酸化鉄分含む			
47	5GY4/1	暗オリーブ灰色	中粒砂	微量の腐食貝含む
48	5Y4/2	灰オリーブ色	中粒砂	微量の2.5Y3/1黒褐色砂質シルト・酸化鉄分含む
49	2.5Y2/1黒色砂質シルトと10GY5/1緑灰色中粒砂の斑土　微量の腐食貝含む			
50	7.5Y5/1	灰色	中粒砂	微量の2.5Y3/1黒褐色砂質シルト含む

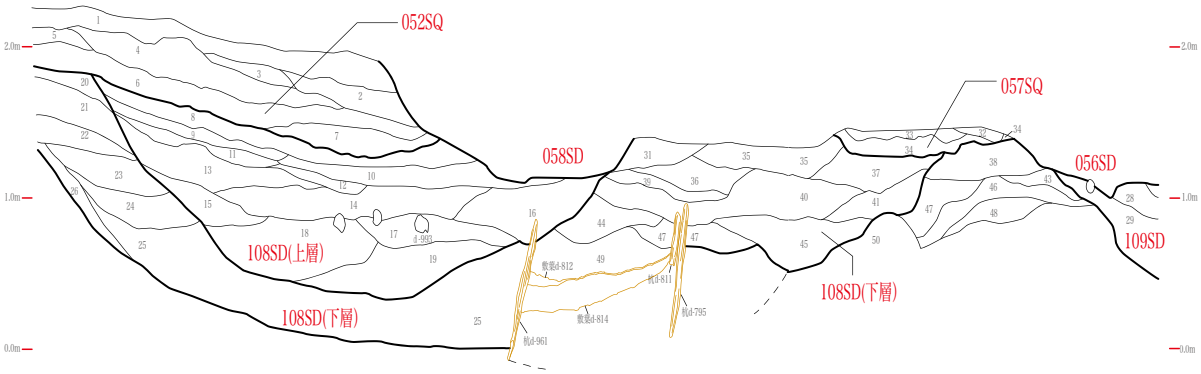
3.4.1.9　中期北区画第 1 環濠 05Ab-108SD

05Ab 区の南端に存在する中期北区画第 1 環濠 108SD は，溝幅は 7.44m で深さ 1.34m を測る。上層と下層に大きく二つに区分でき，上層は幅約 4m ほどで深さ 0.75m。黒色の砂質シルトを中心に堆積する。大規模な大溝となる下層は，南側に二つの杭列とその間に草本性植物による敷物を上下二層に配置した護岸施設状の遺構が確認できた。さらにその上部は斑土を伴う地層（図 3.4.1-10）で覆われており，あるいは層序番号 -40 前後までが盛土状の施設と理解すると，中期第 1 環濠 108SD と第 2 環濠 109SD の間に堤状の高まり（057SQ）を想定することが可能となる。

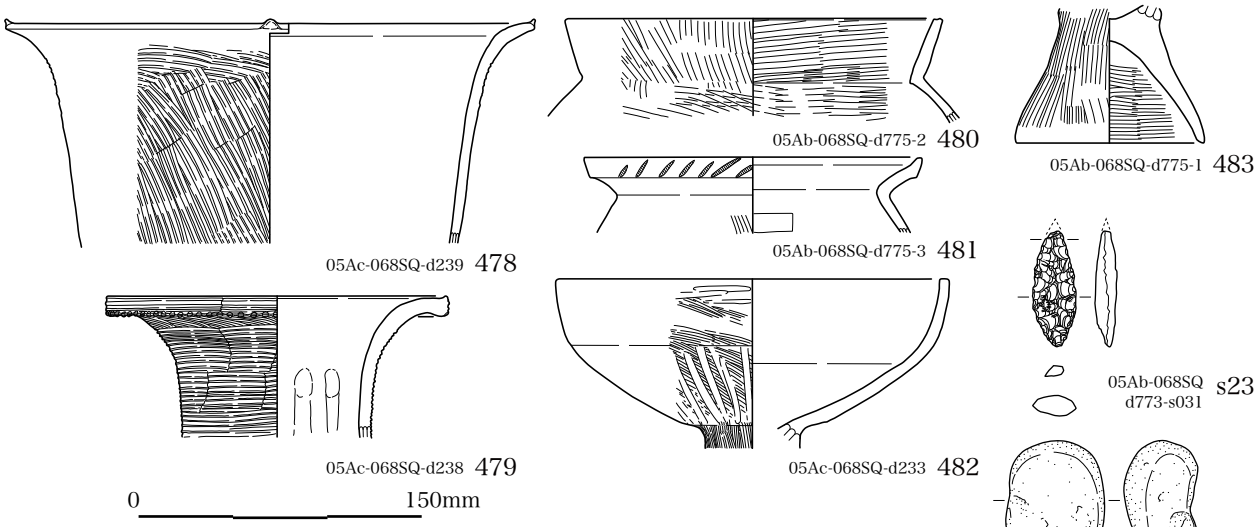
108SD からは木製品の出土を加えることができるが，所属時期を決定する明確な資料などは見られない。現状では従来の見解を踏襲して，朝日式期の掘削と貝田町式期の再整備という位置づけを考えておきたい。

なお最上層に存在する 058SD・056SD は調査区西側で収束する溝，あるいは土坑であり，052SQ との関係を配慮すると後期末葉を遡るものではない。

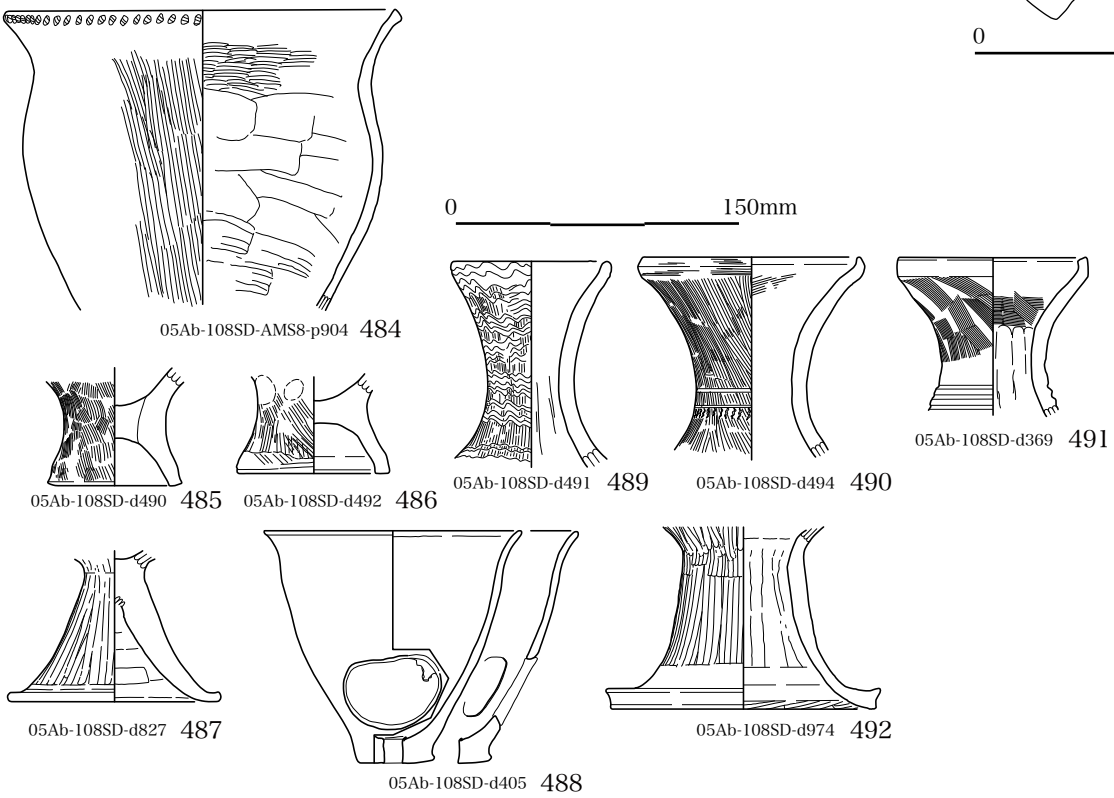
図 3.4.1-10　05Ab-108SD 断面図　1/50（縦軸 1/80）



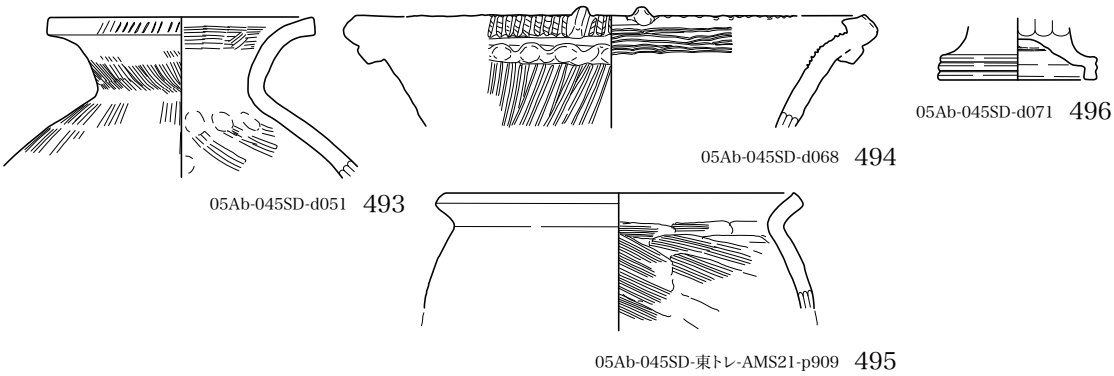
05Ac-068SQ



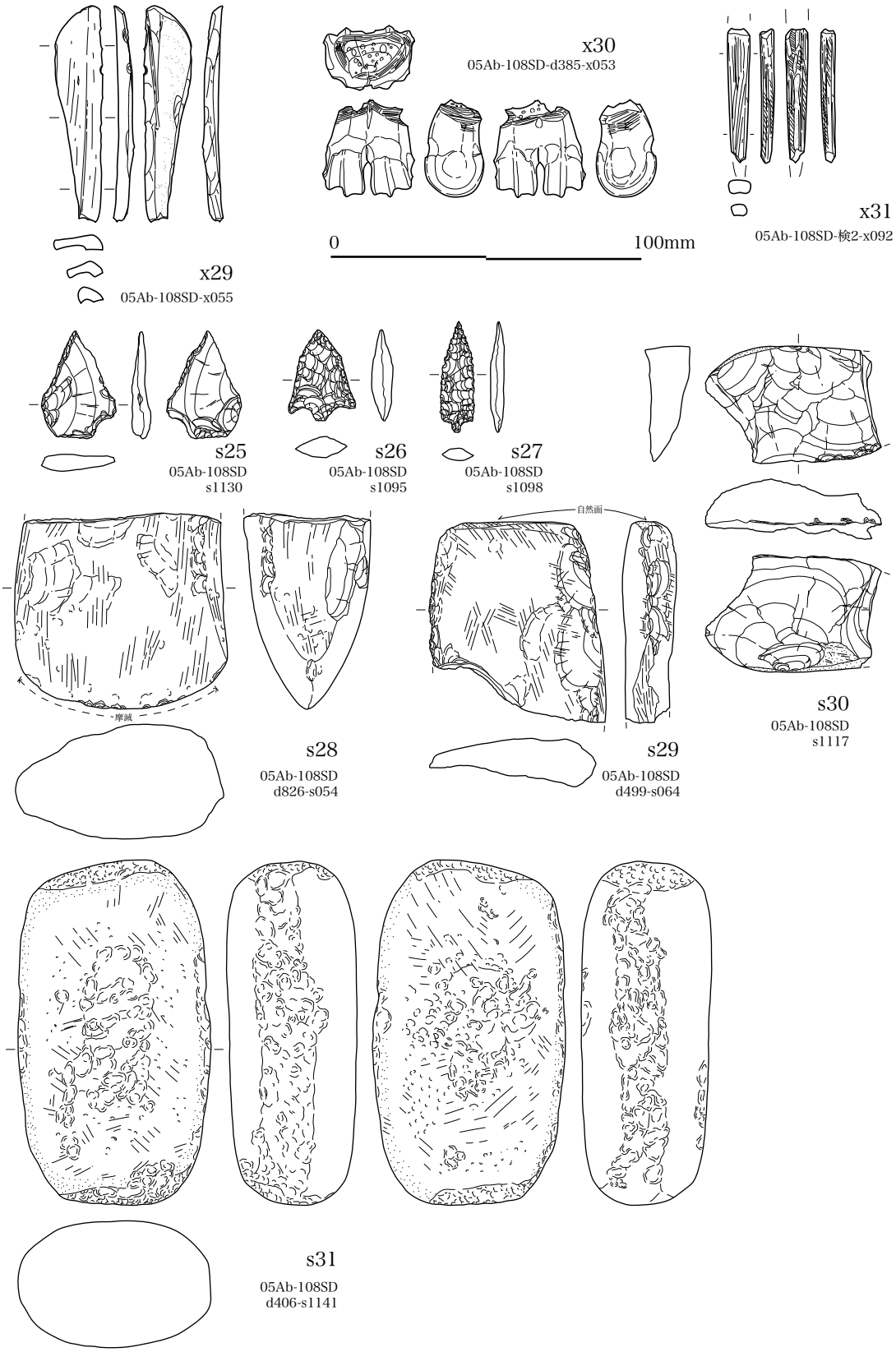
05Ab-108SD_1



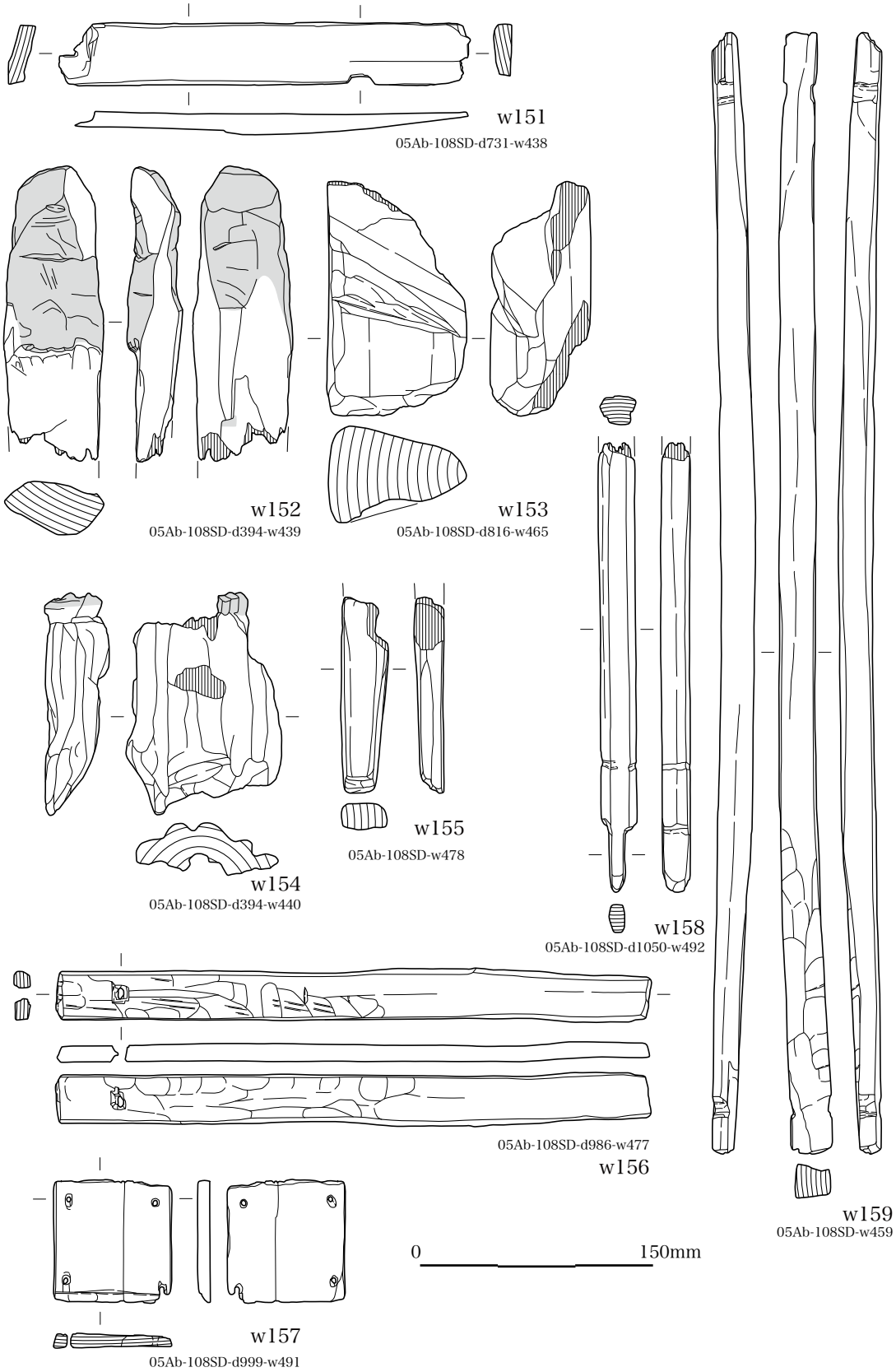
05Ab-045SD（108SD上層）



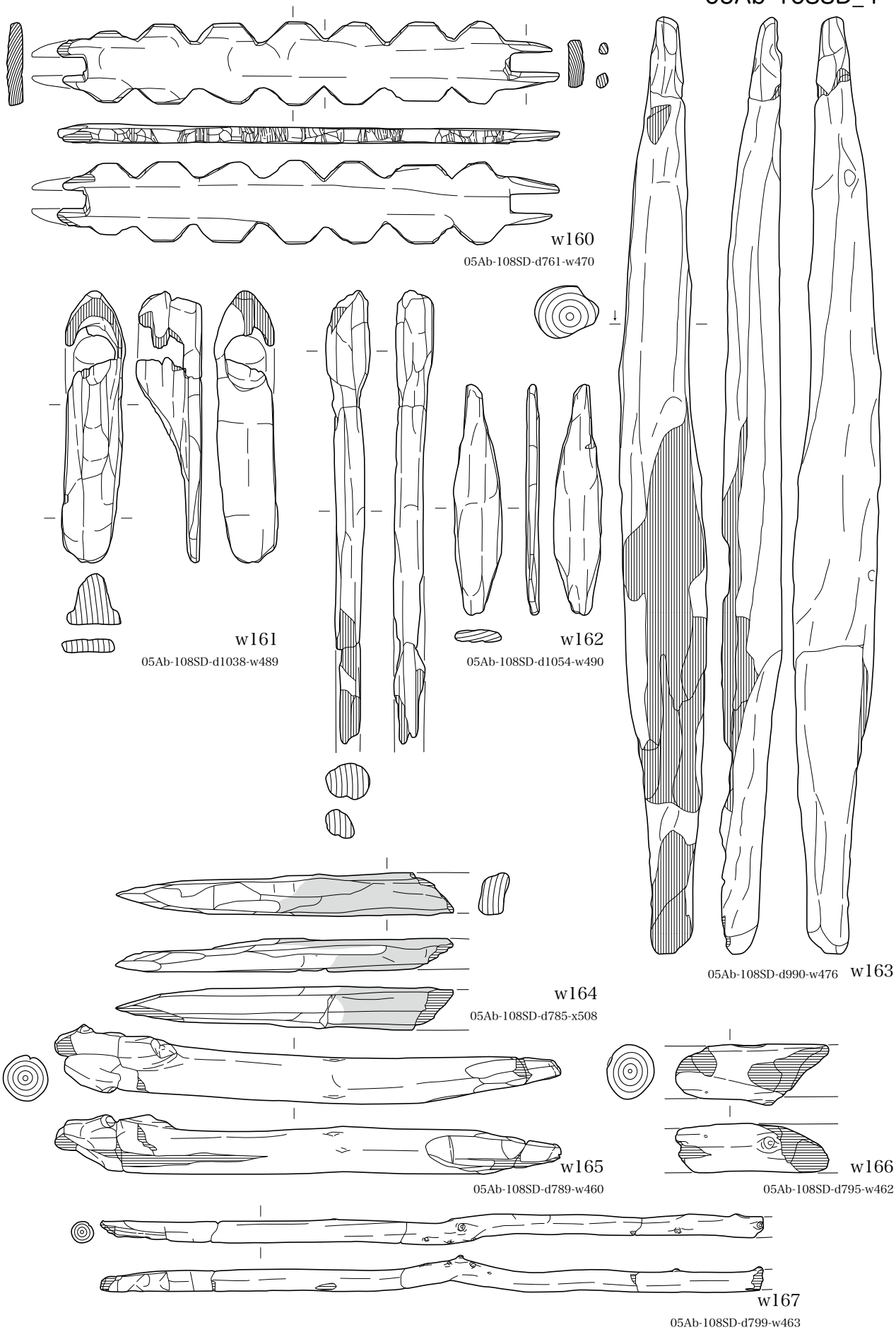
05Ab-108SD_2


x29
05Ab-108SD-x055
x30
05Ab-108SD-d385-x053
0
100mm
x31
05Ab-108SD-検2-x092
s25
05Ab-108SD
s1130
s26
05Ab-108SD
s1095
s27
05Ab-108SD
s1098
自然面
摩滅
s28
05Ab-108SD
d826-s054
s29
05Ab-108SD
d499-s064
s30
05Ab-108SD
s1117
s31
05Ab-108SD
d406-s1141

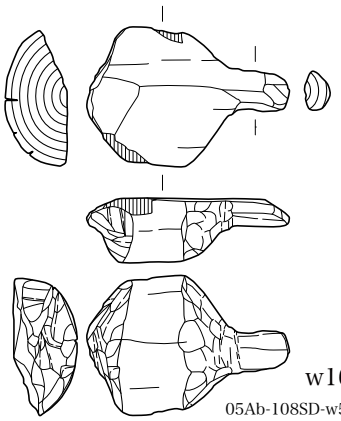
05Ab-108SD_3


w151
05Ab-108SD-d731-w438
w152
05Ab-108SD-d394-w439
w153
05Ab-108SD-d816-w465
w154
05Ab-108SD-d394-w440
w155
05Ab-108SD-w478
w158
05Ab-108SD-d1050-w492
05Ab-108SD-d986-w477
w156
w159
05Ab-108SD-w459
0
150mm
w157
05Ab-108SD-d999-w491

05Ab-108SD_4

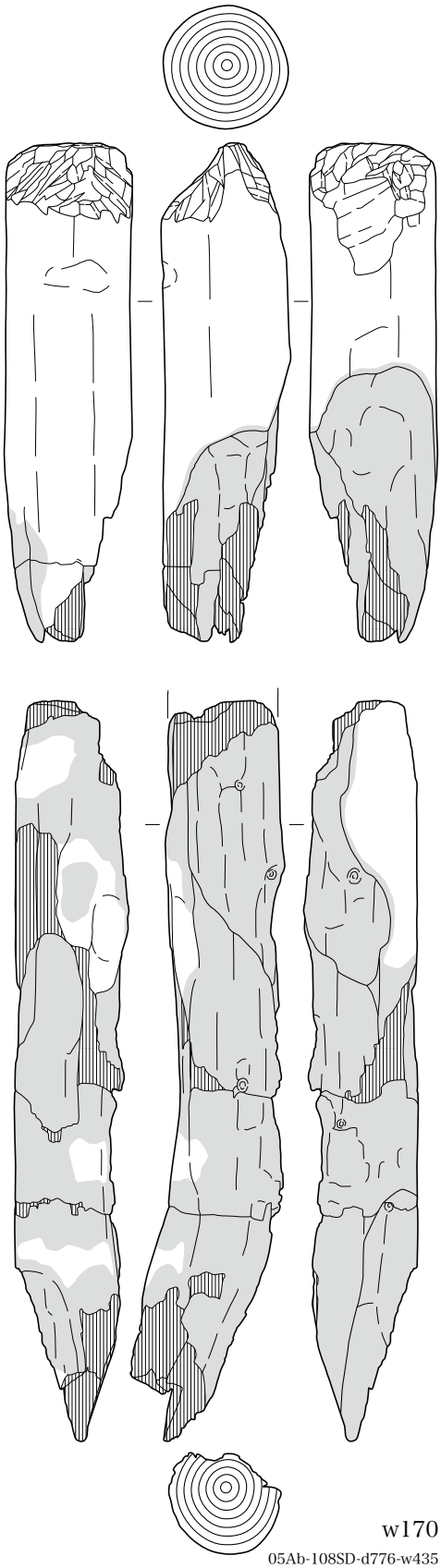

w160
05Ab-108SD-d761-w470
w161
05Ab-108SD-d1038-w489
w162
05Ab-108SD-d1054-w490
05Ab-108SD-d990-w476
w163
w164
05Ab-108SD-d785-x508
w165
05Ab-108SD-d789-w460
w166
05Ab-108SD-d795-w462
w167
05Ab-108SD-d799-w463

05Ab-108SD_5



w168
05Ab-108SD-w572

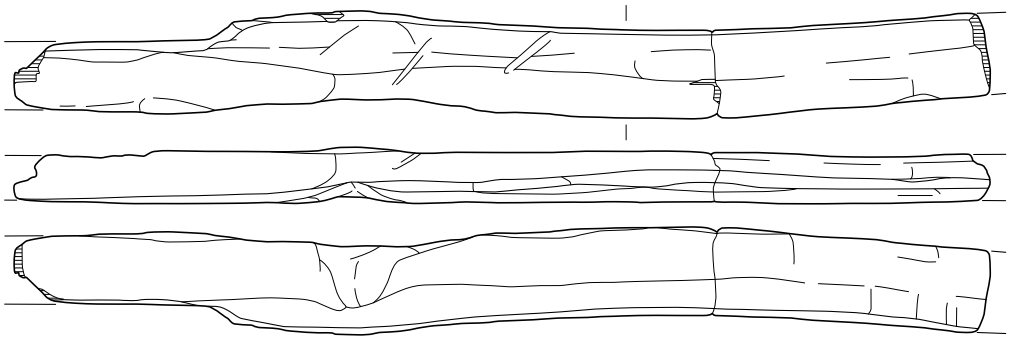
w169
05Ab-108SD-d483-w433



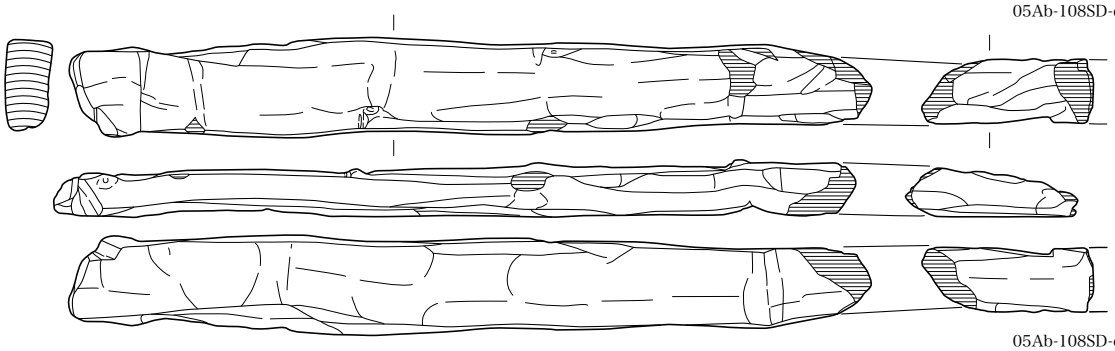
w170
05Ab-108SD-d776-w435

0 150mm

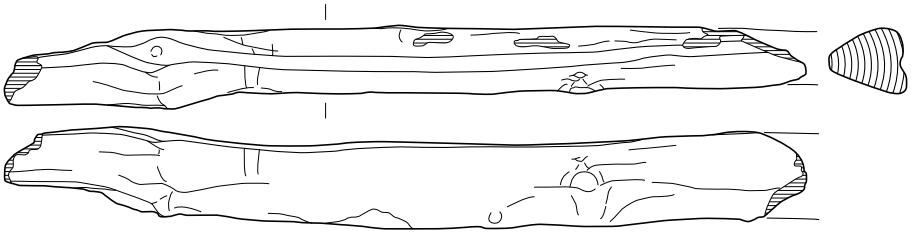
05Ab-108SD_6



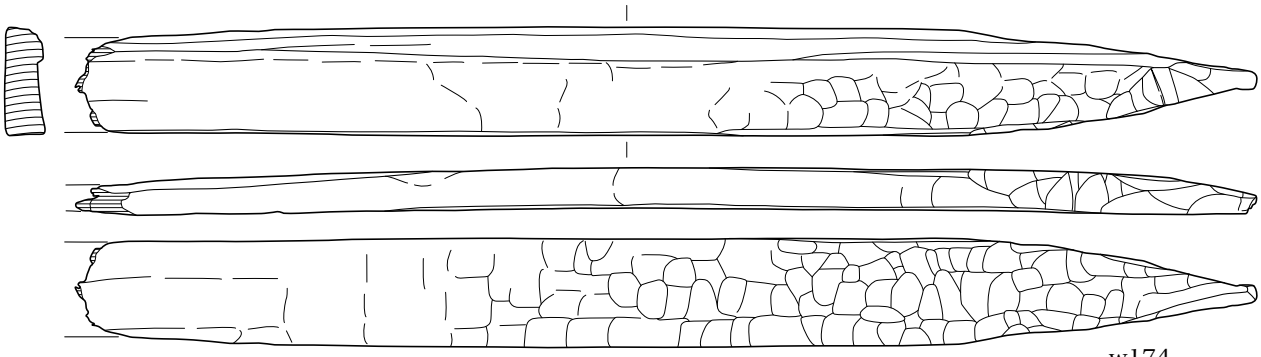
w171
05Ab-108SD-d961-w426



w172
05Ab-108SD-d386-w428

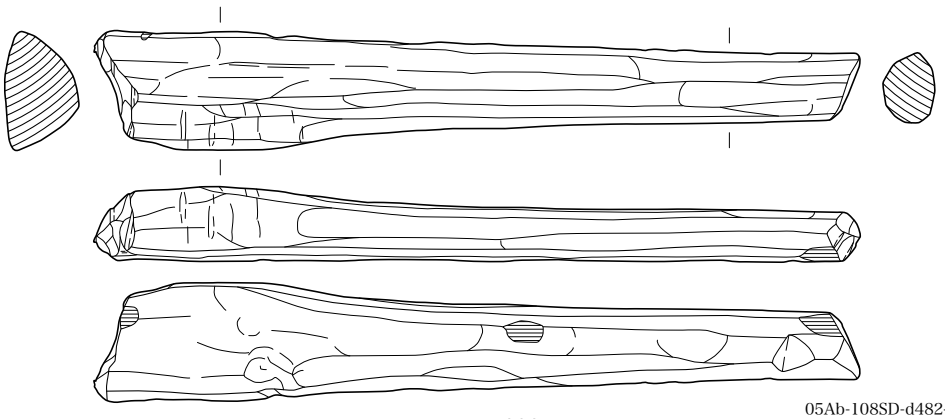


w173
05Ab-108SD-d389-w429



0 150mm

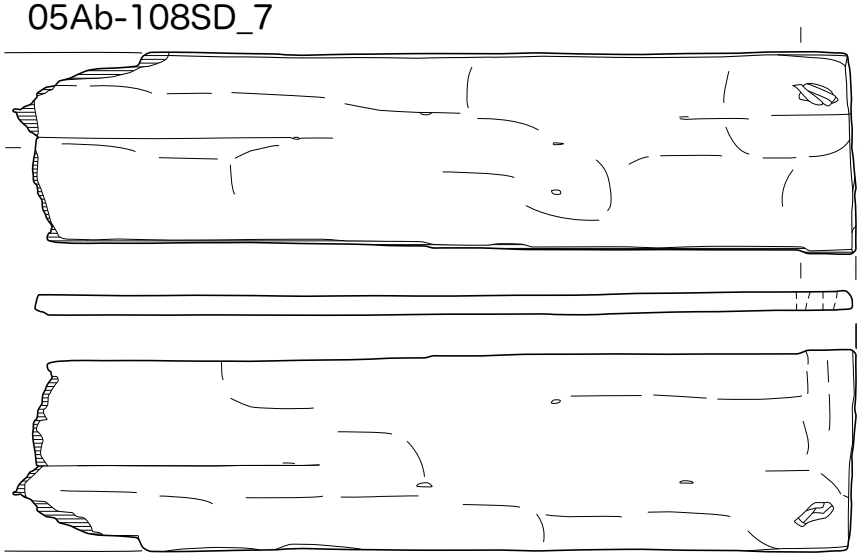
w174
05Ab-108SD-d734-w430



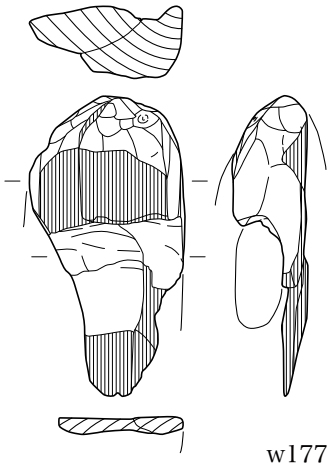
0 300mm

w175
05Ab-108SD-d482-w427 1/8

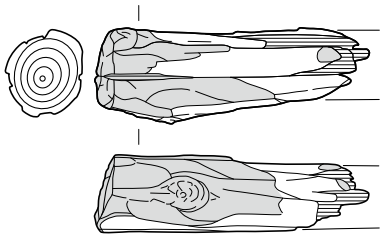
05Ab-108SD_7



w176
05Ab-108SD-d732-w432

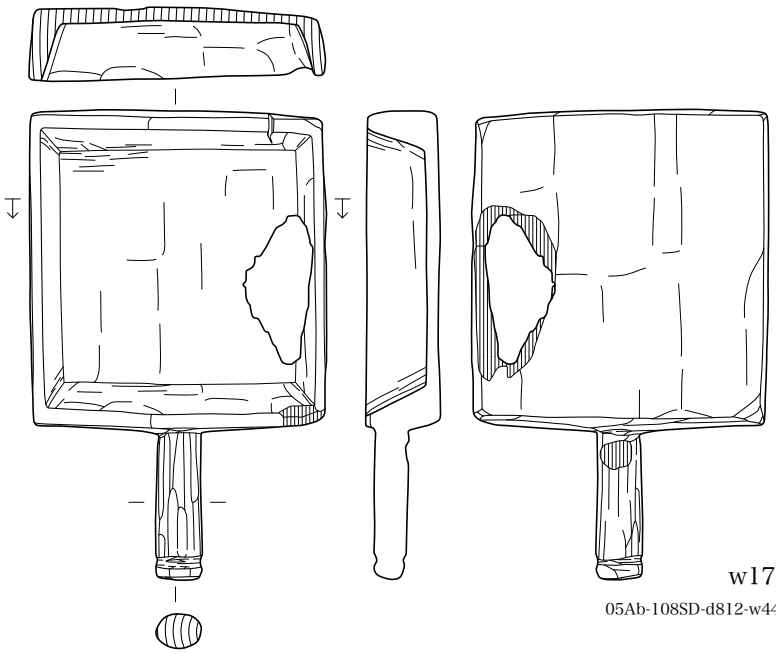


w177
05Ab-108SD-d565-w436

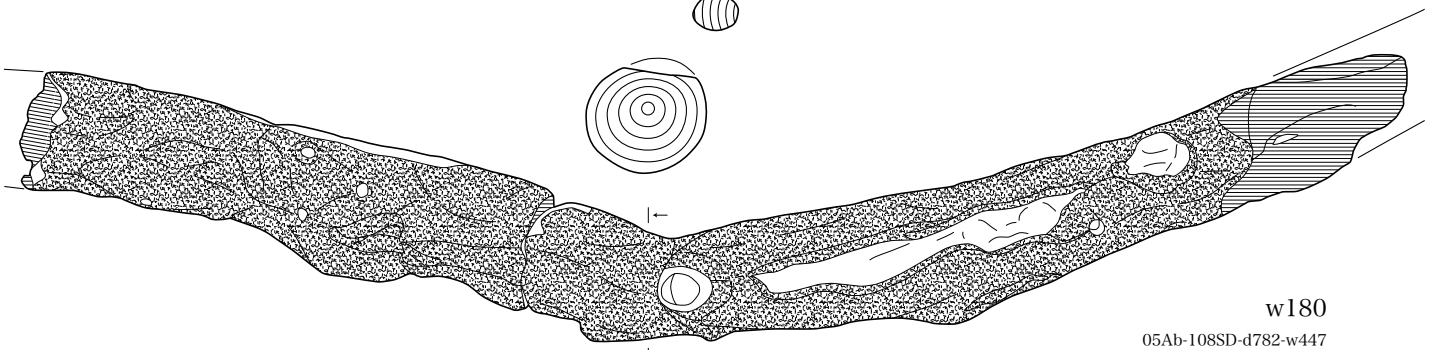


w178
05Ab-108SD-d734-w437

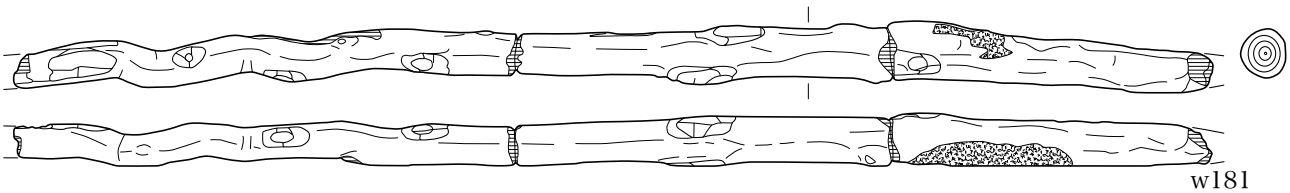
0 150mm



w179
05Ab-108SD-d812-w445



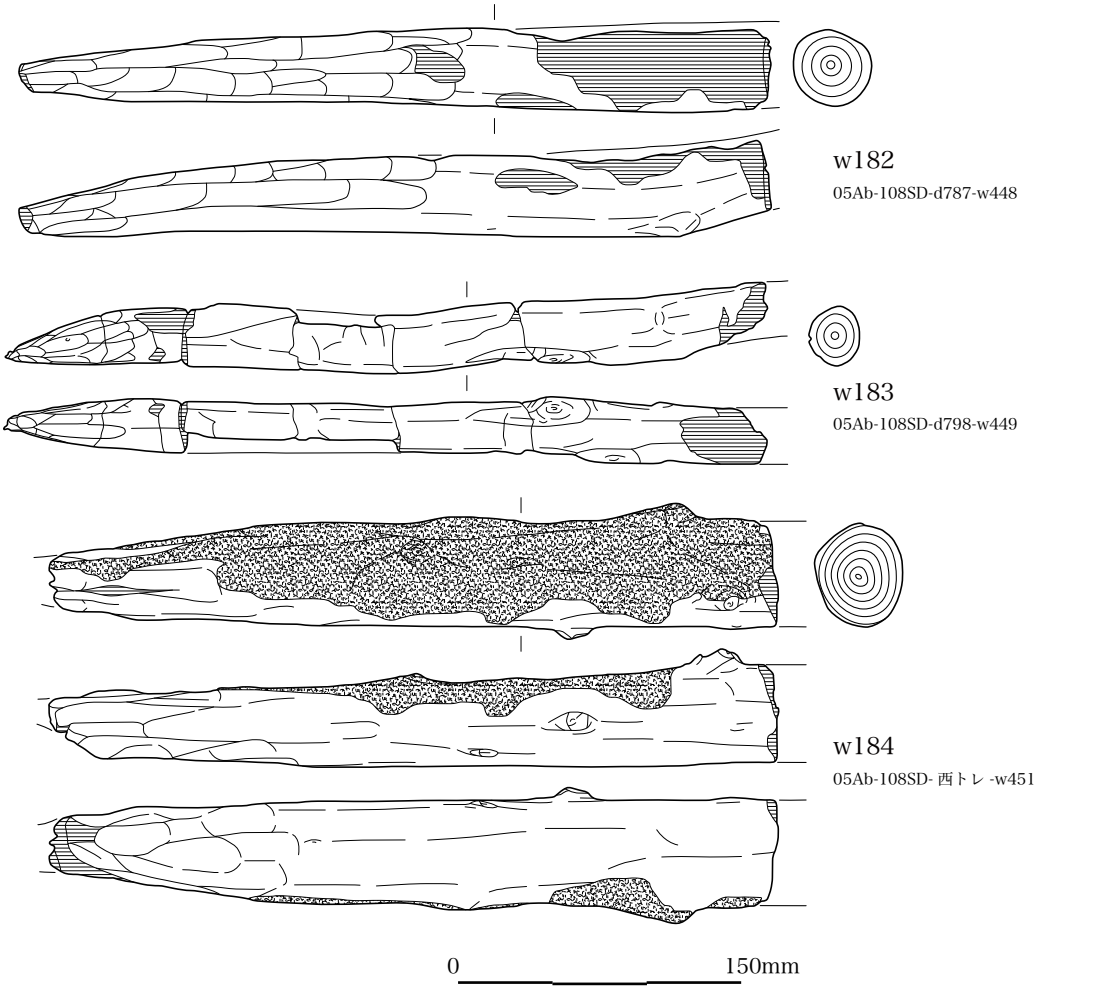
w180
05Ab-108SD-d782-w447

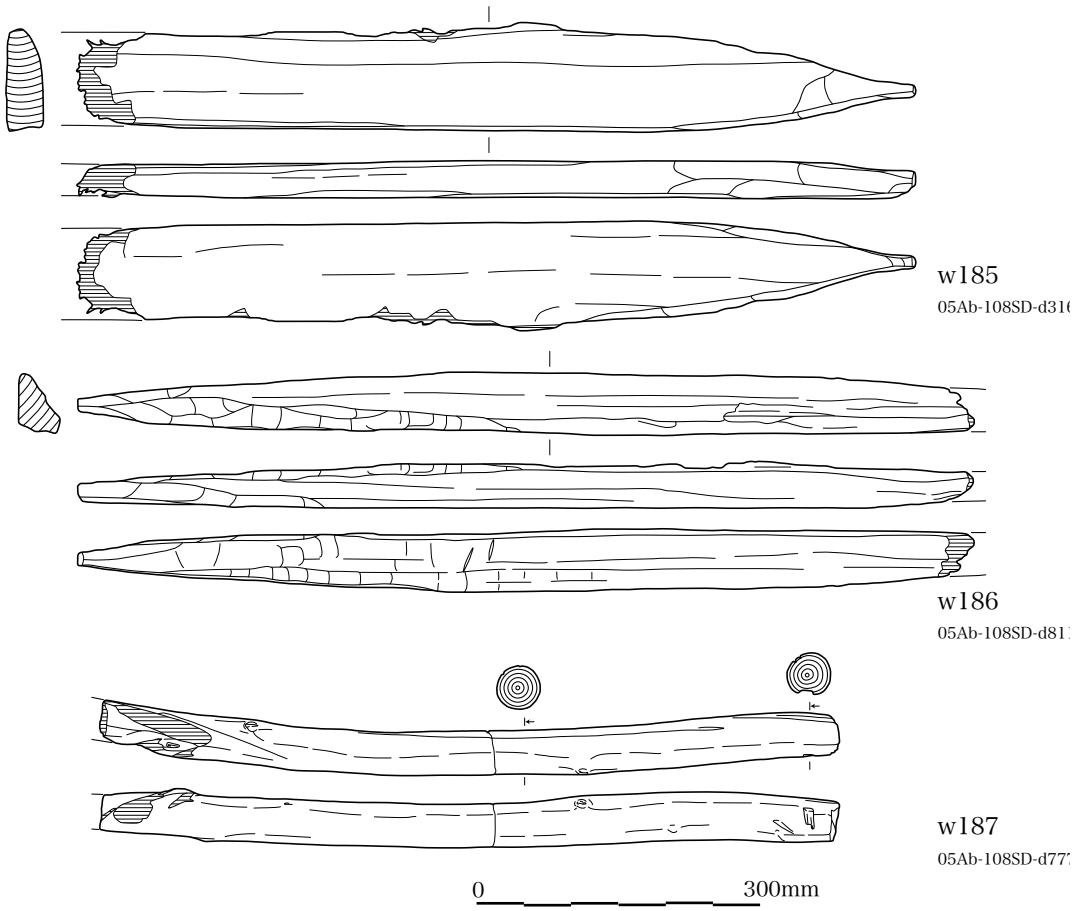


w181
05Ab-108SD-d781-w446 1/8

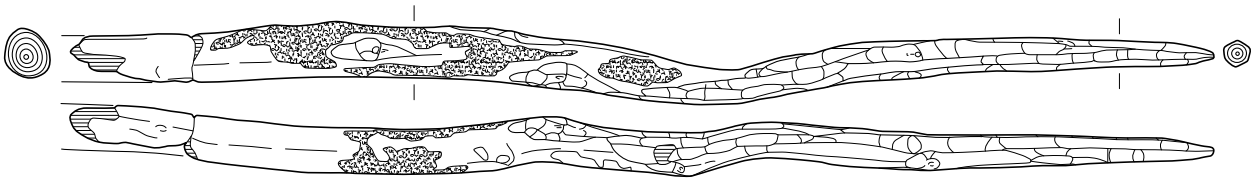
0 300mm

05Ab-108SD_8


w182
05Ab-108SD-d787-w448
w183
05Ab-108SD-d798-w449
w184
05Ab-108SD- 西トレ -w451
0
150mm

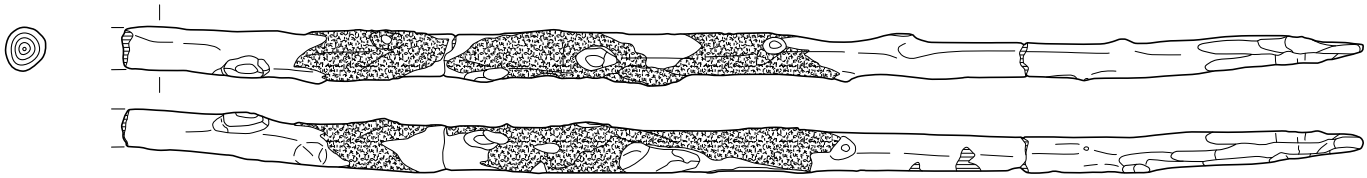

w185
05Ab-108SD-d31
w186
05Ab-108SD-d81
w187
05Ab-108SD-d77
0
300mm

05Ab-108SD_9



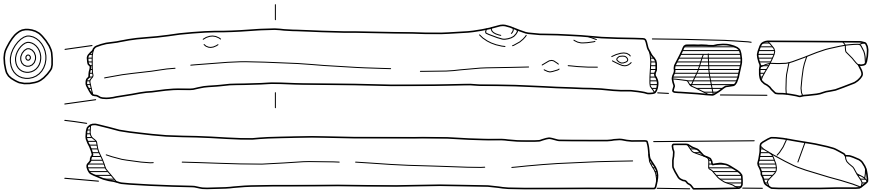
w188

05Ab-108SD-d783-w454　1/8



w189

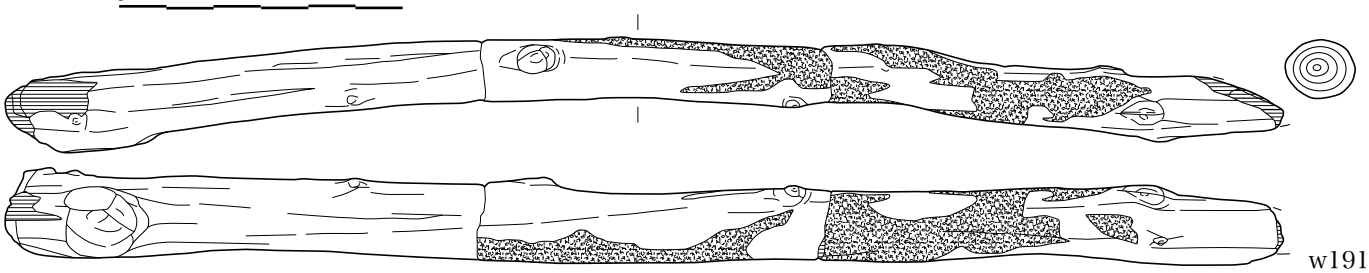
05Ab-108SD-d724-w456　1/8



w190

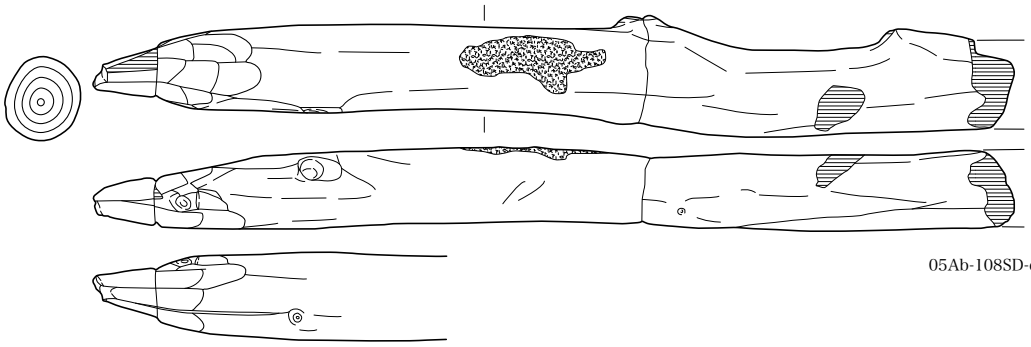
05Ab-108SD-d794-w455　1/8

0　300mm



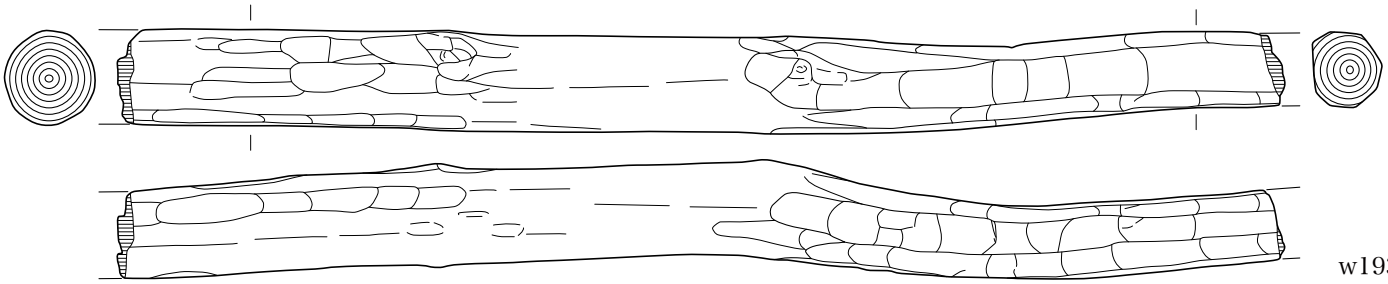
w191

05Ab-108SD-d788-w457



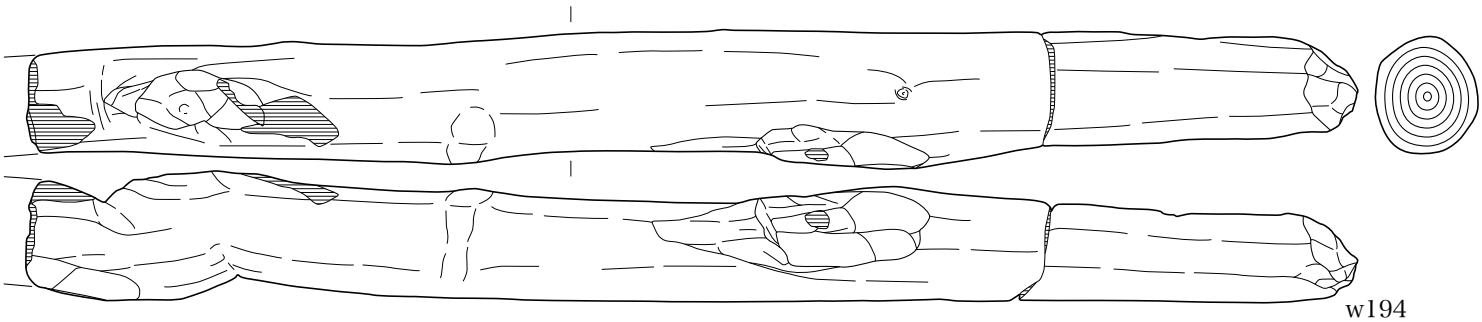
w192

05Ab-108SD-d790-w461



w193

05Ab-108SD-d797-w458



w194

0　150mm

05Ab-108SD-d800-w464

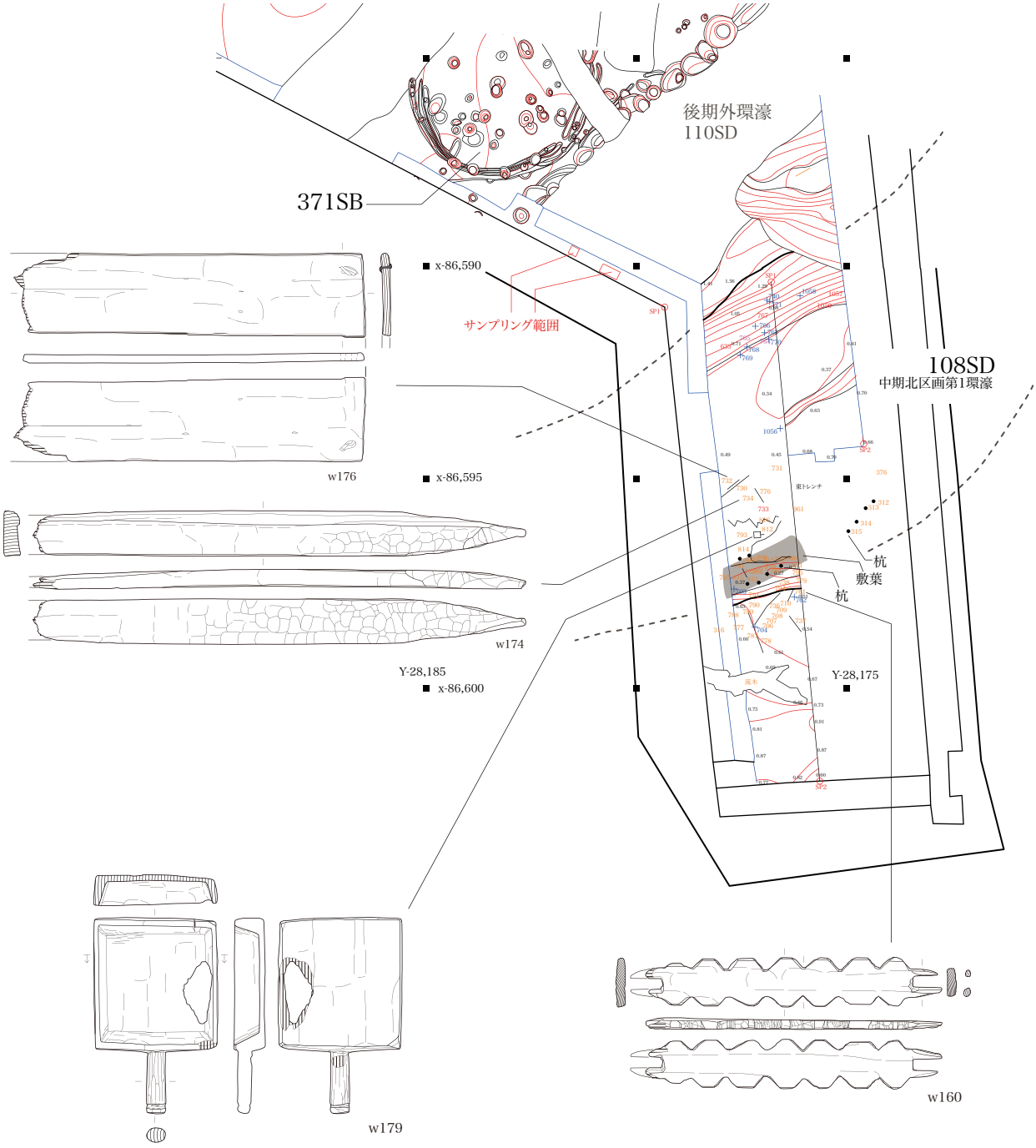


図 3.4.1-11　05Ab-108SD　1/150

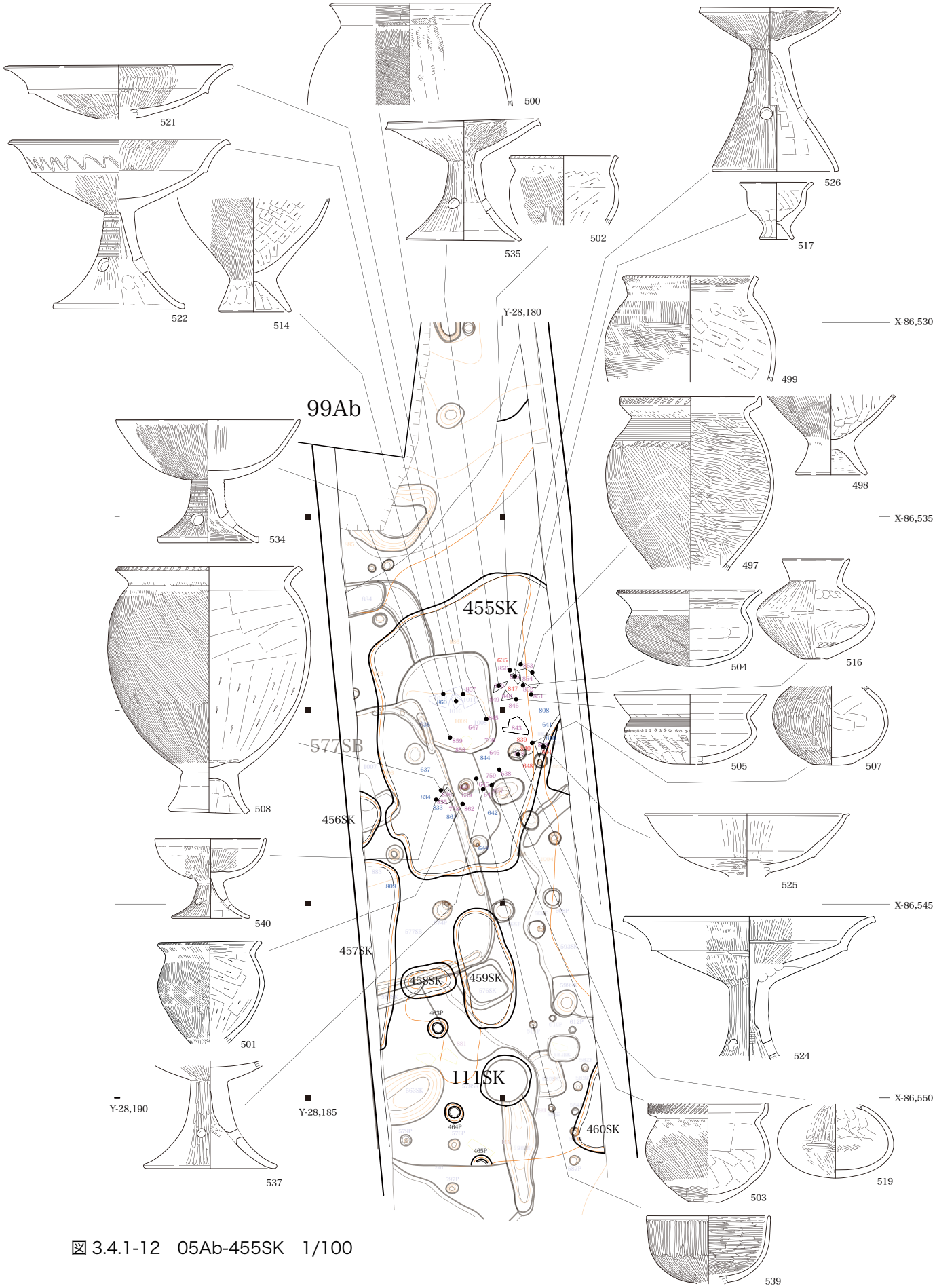


図 3.4.1-12　05Ab-455SK　1/100

3.4.1.10　05Ab-455SK・577SB

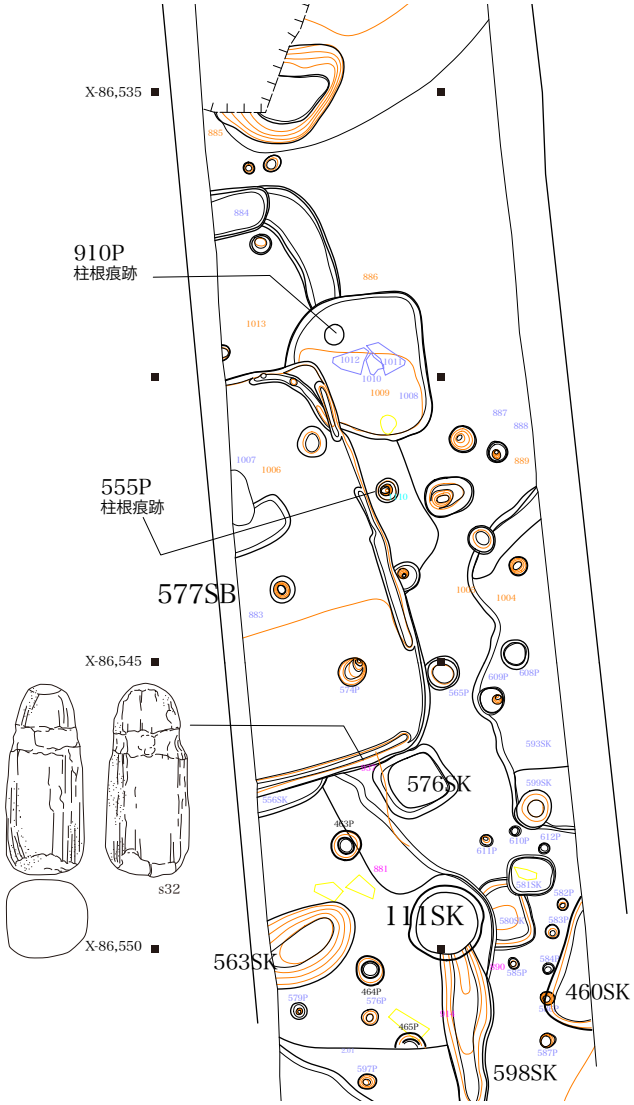
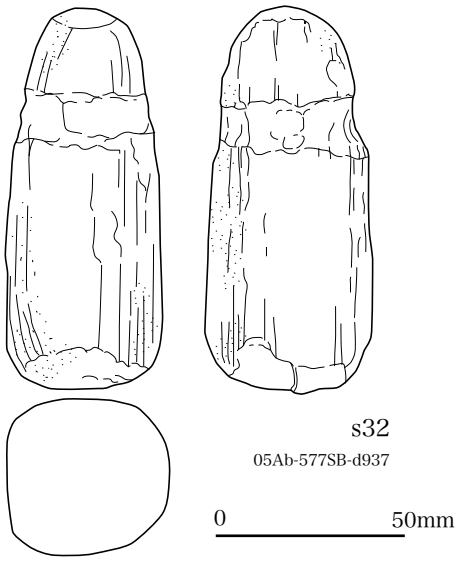


図 3.4.1-13　05Ab-577SB　1/100

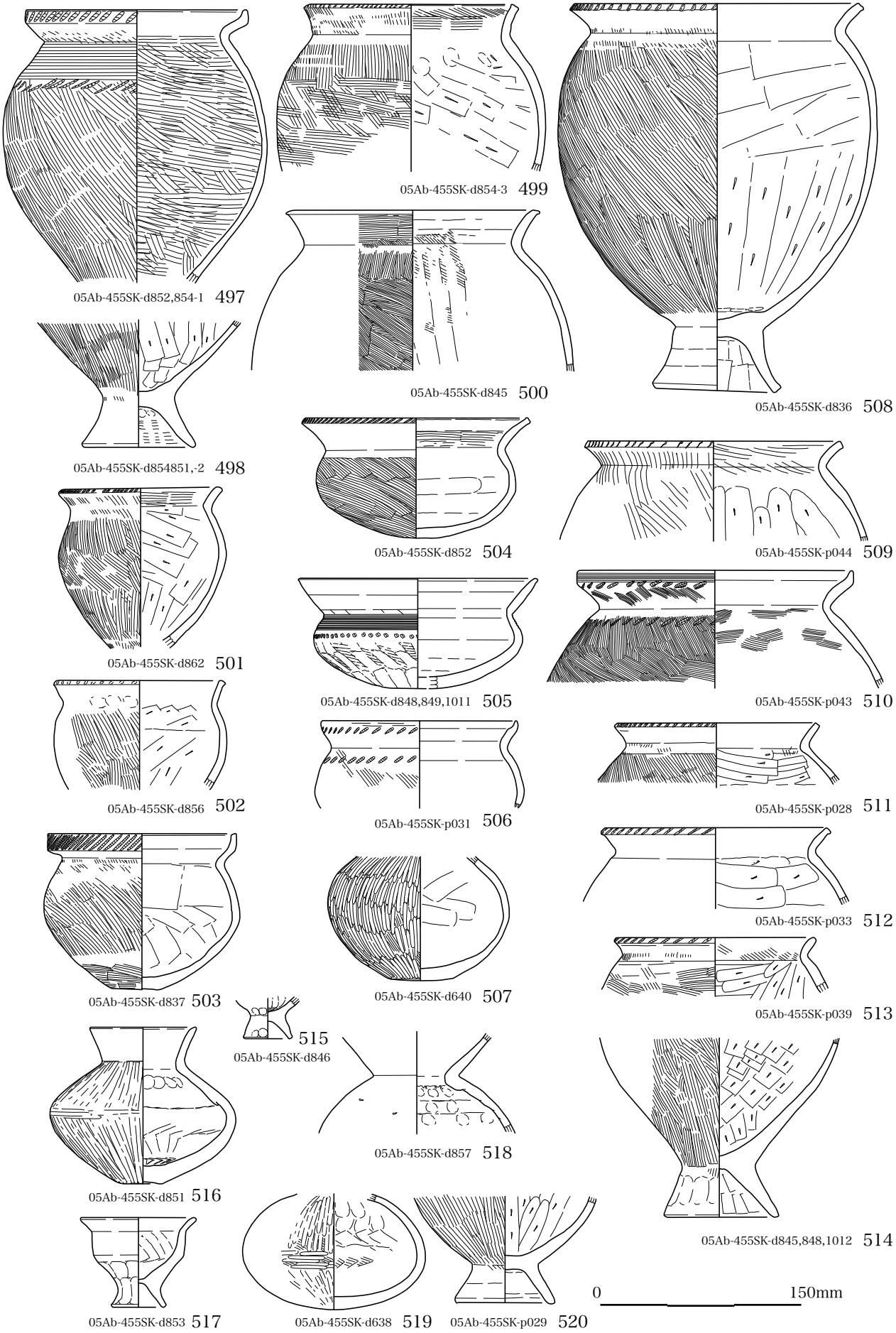


05Ab 区のほぼ中央部に存在する弥生後期の不定形土坑で，北区画南東部に位置する。後期北区画内環濠と後期内郭区画溝にはさまれた広場状の空間に存在し，その空間はちょうど内郭区画溝が途切れ，出入口と想定できる 99Ab 区に近接する。朝日 H 層内の皿状の落ち込みであり，7.67×4.82m で深さは 0.19m ほどの広がりに多くの土器が見つかっている。出土土器は山中 II 式 3 段階新相を中心とするものであり，一部に廻間 1 式 0 段階古相の遺物を含む。土器の他に獣骨等も散見できる。なお 455SK 底面より山中 II 式新段階の高杯等出土している。おおむね山中 II 式新相段階を中心に多量の土器廃棄（処置）が行われたものと推測したい。

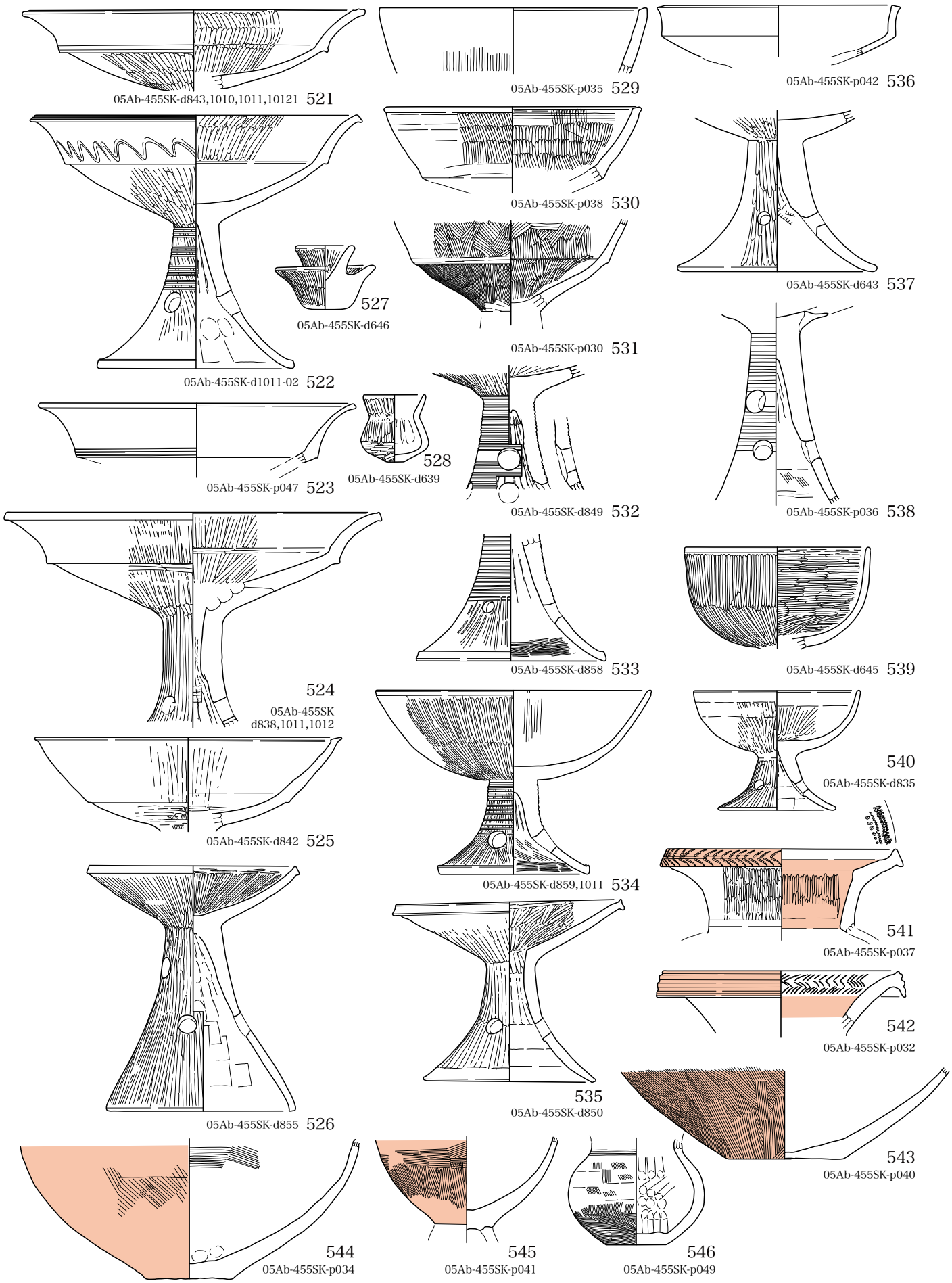
その他に周辺部には興味深い遺構が見られる。まず重複する 577SB との関係が注目されるが，577SB の機能終了後に 455SK が営まれていく事は間違いない。577SB は南北 7.2m を測るやや大型の竪穴建物で深さは 0.2m。周辺には小規模なピット群が存在し，577SB 東側に塀のような施設が存在した可能性が考えられる。また南側には垂直に掘削された円形土坑 111SK が存在する。1.75×1.55m で深さ 1.23m を測るのもで，何らかの柱状立物を想定したい。なお周囲には小型土器・ミニチュア土器などが見つかっていおり，祭祀空間的な様相が遺物・遺構の配置から推定される（276 頁参照）。

こうした遺構等の配置からは，山中 I 式の終わり頃から山中 II 式期にかけて，577SB 周辺部で執り行われたと考えられる特定の儀礼とその場面の跡が想定できる。その最終段階は廻間 I 式期を待つ事無く終焉したものと考えておくことができ，朝日遺跡の終焉景観を考える上で重要な遺構群と評価したい。

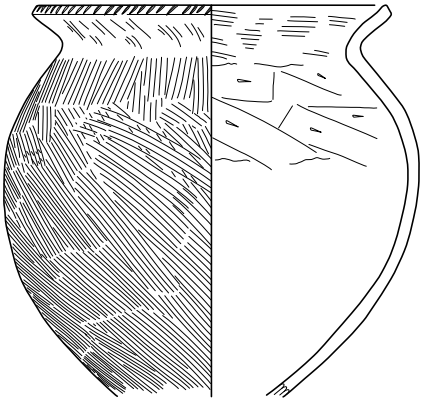
05Ab-455SK_1


05Ab-455SK-d852,854-1 497
05Ab-455SK-d854-3 499
05Ab-455SK-d845 500
05Ab-455SK-d836 508
05Ab-455SK-d854851,-2 498
05Ab-455SK-d852 504
05Ab-455SK-p044 509
05Ab-455SK-d862 501
05Ab-455SK-d848,849,1011 505
05Ab-455SK-p043 510
05Ab-455SK-d856 502
05Ab-455SK-p031 506
05Ab-455SK-p028 511
05Ab-455SK-p033 512
05Ab-455SK-d837 503
05Ab-455SK-d640 507
05Ab-455SK-p039 513
515
05Ab-455SK-d846
05Ab-455SK-d857 518
05Ab-455SK-d851 516
05Ab-455SK-d845,848,1012 514
05Ab-455SK-d853 517
05Ab-455SK-d638 519
05Ab-455SK-p029 520
0
150mm

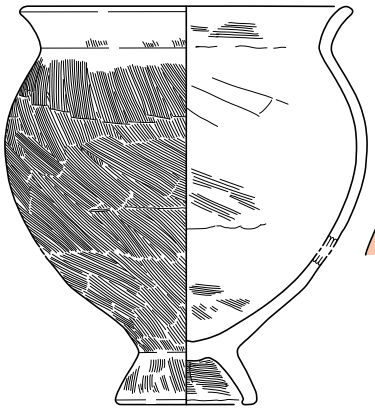
05Ab-455SK_2


05Ab-455SK-d843,1010,1011,10121 521
05Ab-455SK-p035 529
05Ab-455SK-p042 536
05Ab-455SK-p038 530
05Ab-455SK-d643 537
527
05Ab-455SK-d646
05Ab-455SK-p030 531
05Ab-455SK-d1011-02 522
528
05Ab-455SK-d639
05Ab-455SK-p047 523
05Ab-455SK-d849 532
05Ab-455SK-p036 538
524
05Ab-455SK
d838,1011,1012
05Ab-455SK-d858 533
05Ab-455SK-d645 539
540
05Ab-455SK-d835
05Ab-455SK-d842 525
05Ab-455SK-d859,1011 534
541
05Ab-455SK-p037
542
05Ab-455SK-p032
05Ab-455SK-d855 526
535
05Ab-455SK-d850
543
05Ab-455SK-p040
544
05Ab-455SK-p034
545
05Ab-455SK-p041
546
05Ab-455SK-p049

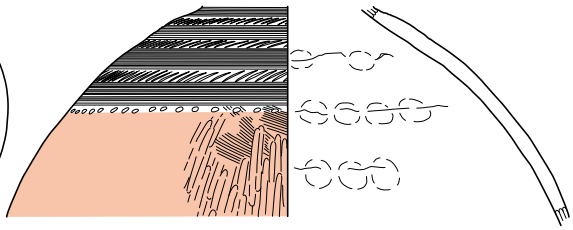
05Ab-455SK_3(455SK上層)



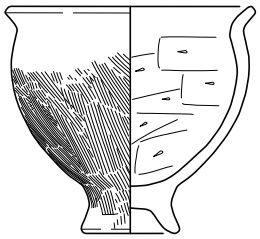
05Ab-検-d759-1 547



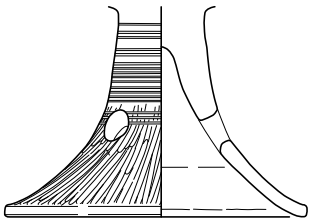
05Ab-検-d760.843 549



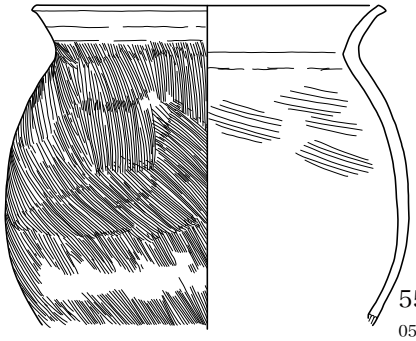
05Ab-検-d759-3 551



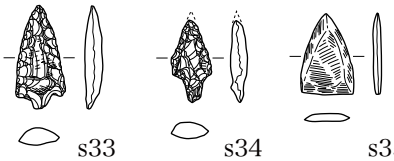
05Ab-検-d759-2 552



05Ab-検-d758 548



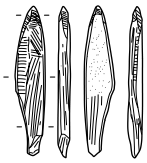
550
05Ab-455SK-AMS24-d0843



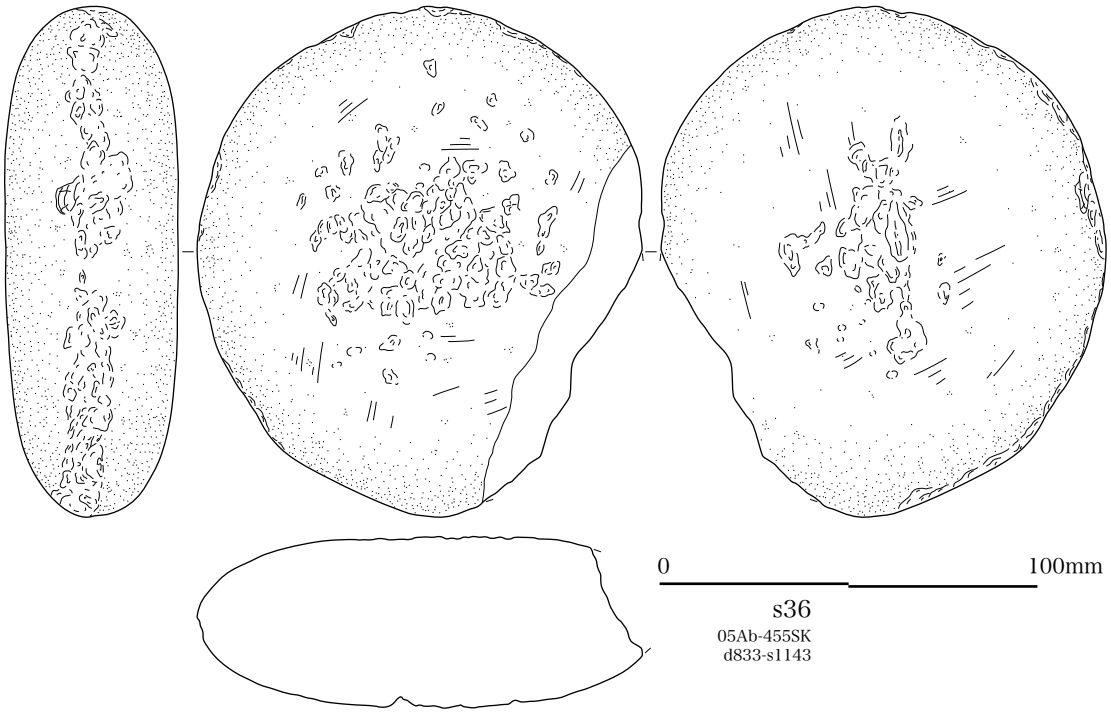
s33
05Ab-455SK
d808-s023

s34
05Ab-455SK
d865-s024

s35
05Ab-455SK
d810-s048



x32
05Ab-445SK
d191-x060



0 100mm

s36
05Ab-455SK
d833-s1143

3.4.1.11　05Ab-531SB

05Ab 区中央部付近に存在する竪穴建物。朝日 H 層での検出段階ではやや不整形な状況であるが，加工面においてほぼ正方形を呈する掘方を確認でき，4.76×4.73m で深さ 0.11m を測る。八王子古宮式期に所属する。なお下層には中期の竪穴建物や土坑・ピット群が錯綜し，これらの遺構群を整地する形で営まれている。

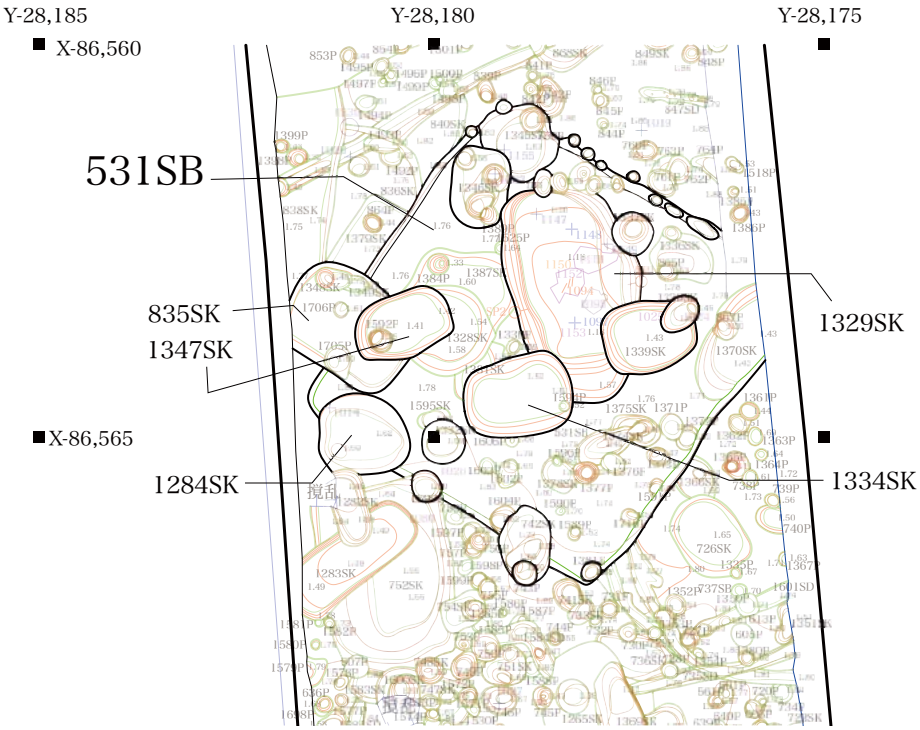
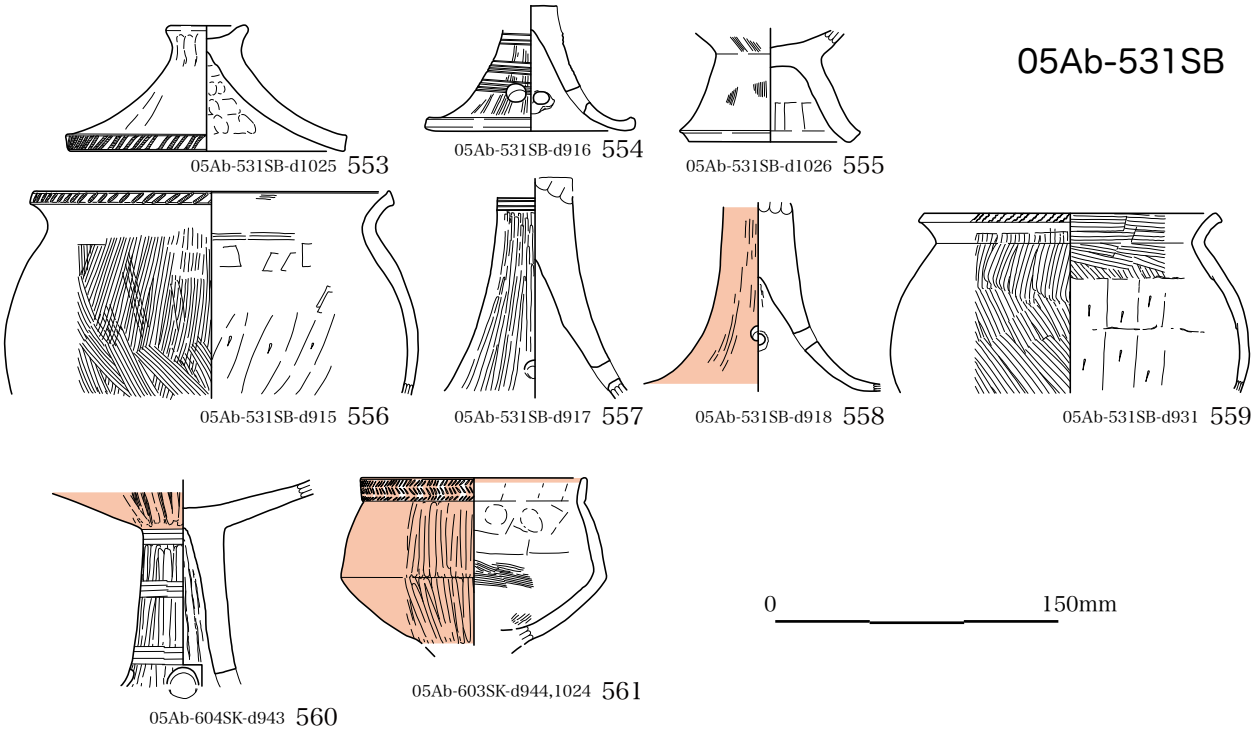


図 3.4.1-14　05Ab-531SB　1/100



3.4.1.12　貝塚 B（朝日式期）
05Ac-205SX・264SM・282SM

05Ac 区に存在する貝塚痕跡。表土を除去するとただちに朝日式期の遺物を包含する貝腐食土が露出し，その状況からおおむね二層に大きく整理できる。上層（264SM）と下層(282SM）で各々約 0.25m ほどの堆積が認められる。なお 205SX は 107SD の西側に広がる腐食土であり，264SM に相当するものと思われる（図 3.4.1-8)。貝塚 B の下層には円形竪穴建物（371SB）が存在する。また朝日式期の貝塚形成後に，この場所を活用した痕跡は認められず，貝塚状の高まりが環濠内側に長く存在したことが推測できる。

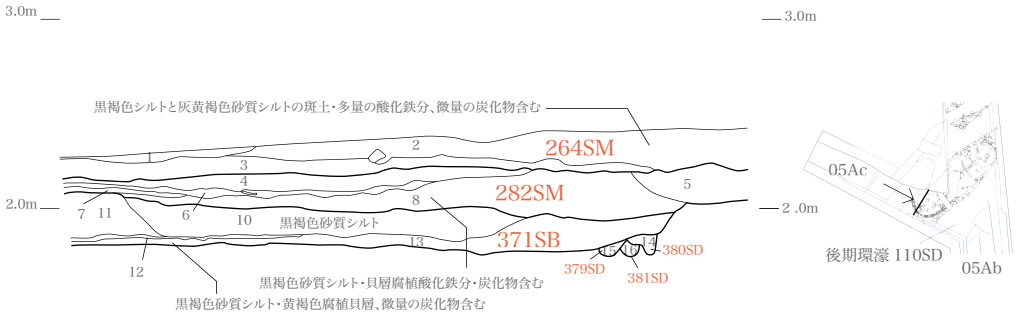
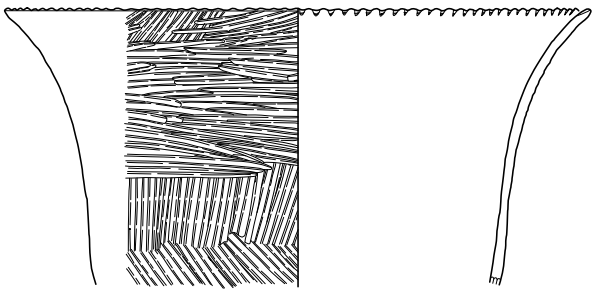
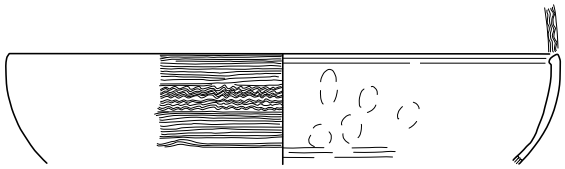


図 3.4.1-15　05Ac-264SM 断面図　1/40

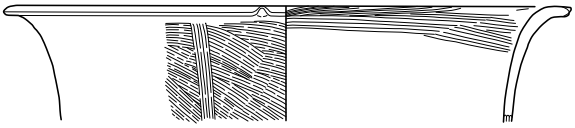
05Ab-205SX



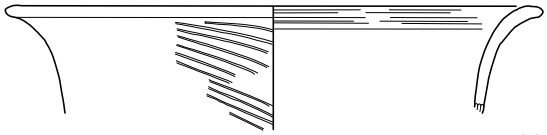
05Ac-205SX-6層-p101　562



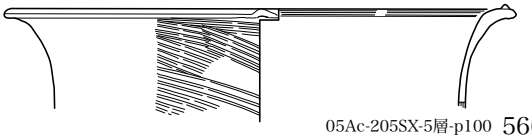
05Ac-205SX-5層-p092　564



05Ac-205SX-6層-p096　565

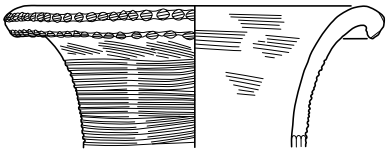


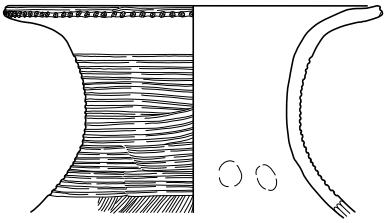
05Ac-205SX-5層-p088　563

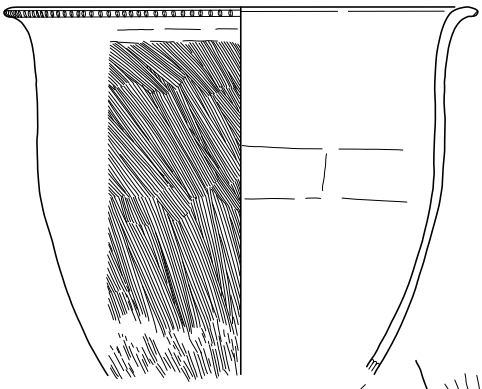


05Ac-205SX-5層-p100　566

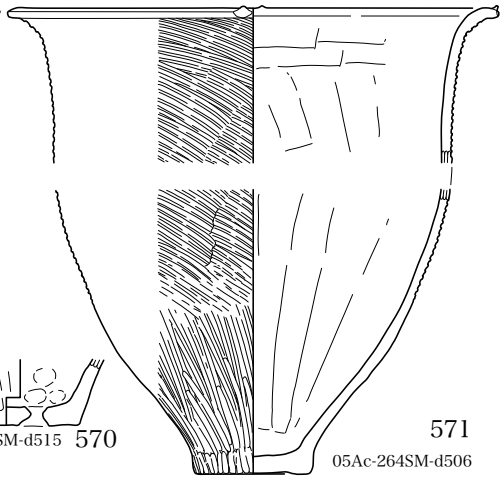
05Ac-264SM_1

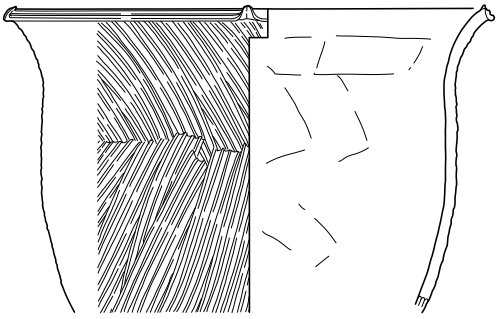

05Ac-264SM-d450 567

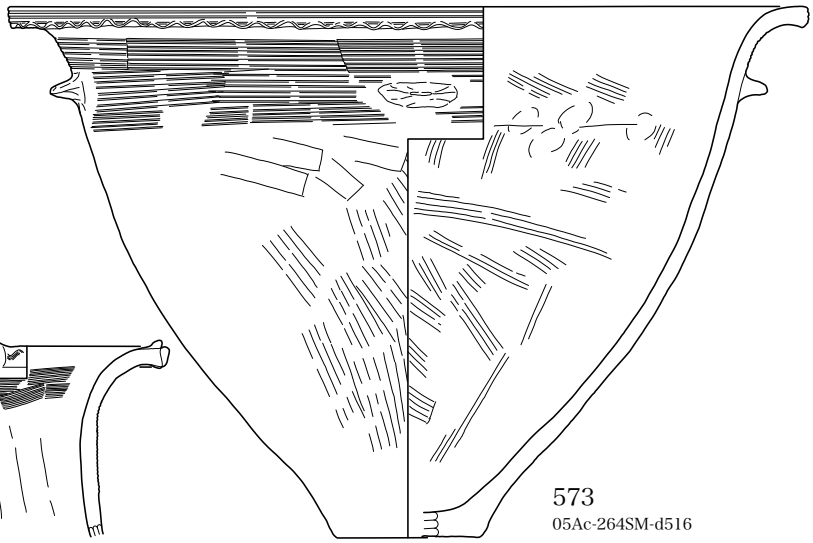

05Ac-264SM-d508 568

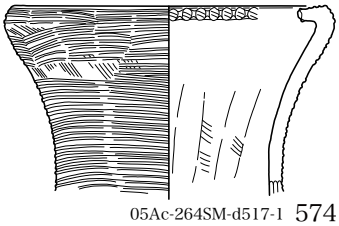

05Ac-262SM-d503 569

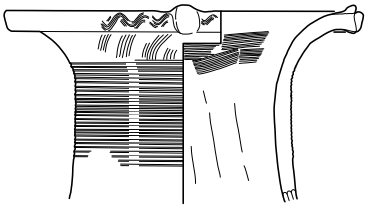
05Ac-264SM-d515 570

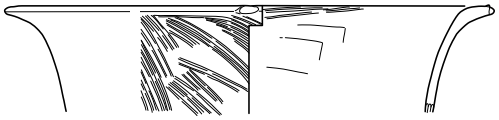

571
05Ac-264SM-d506

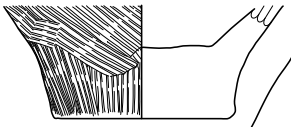

05Ac-264SM-d512 572

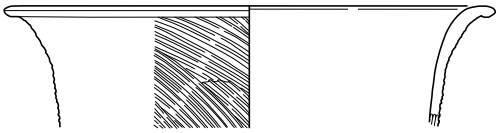

573
05Ac-264SM-d516

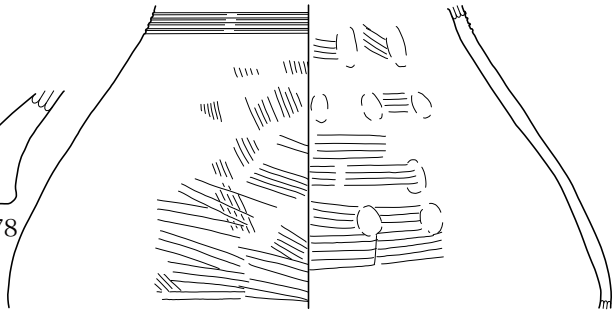

05Ac-264SM-d517-1 574

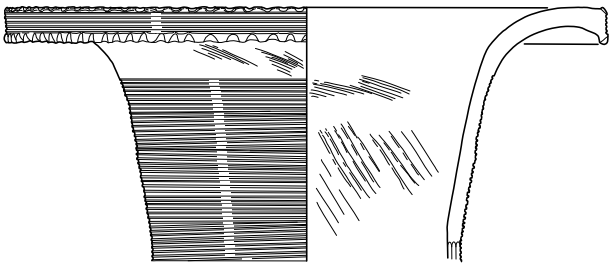

05Ac-264SM-d517-2 575

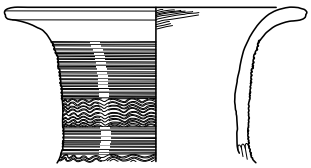

05Ac-264SM-d520-2 576

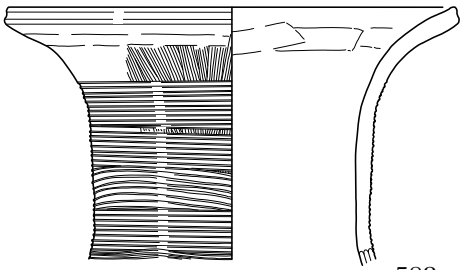

05Ac-264SM-d533 578

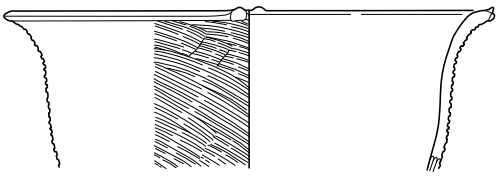

05Ac-264SM-d523 577

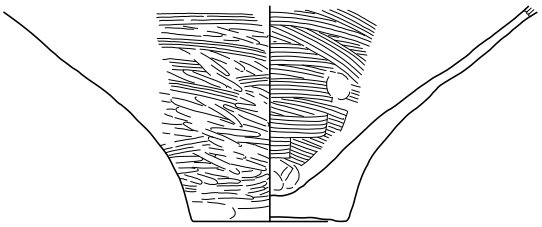

05Ac-264SM-d518 579


05Ac-264SM-d525 580


05Ac-264SM-d527 581

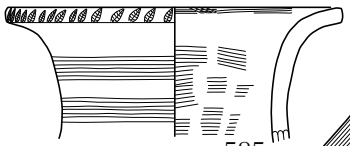

05Ac-264SM-d526 582


05Ac-264SM-d549 583

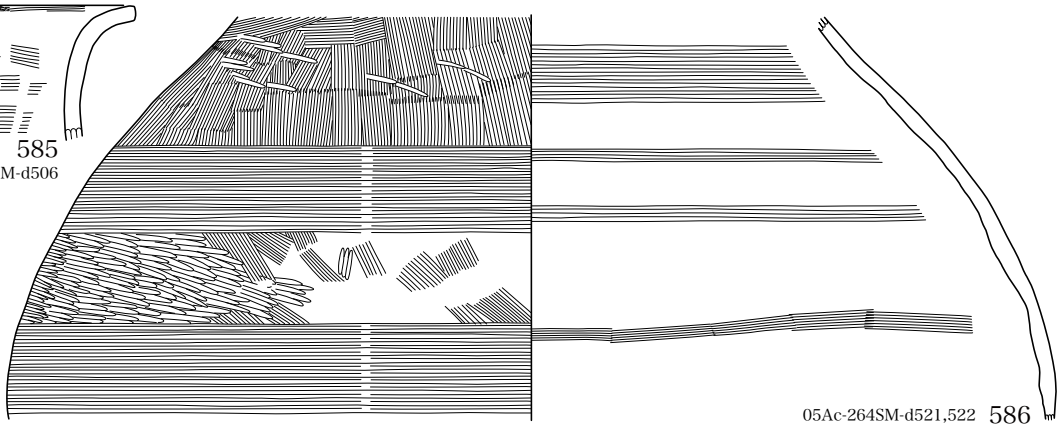

05Ac-264SM-d520-1 584

05Ab-264SM_2

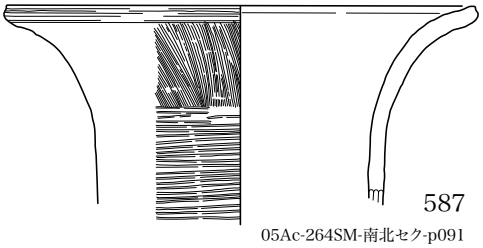
0 150mm



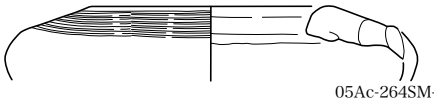
585
05Ac-264SM-d506



05Ac-264SM-d521,522 586

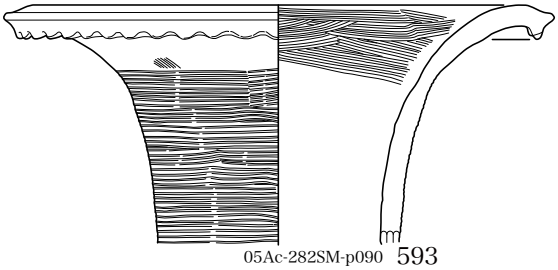


587
05Ac-264SM-南北セク-p091

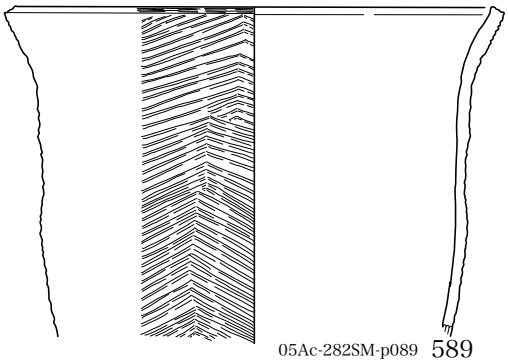


05Ac-264SM-d521 588

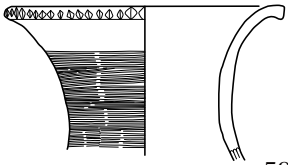
05Ab-282SM



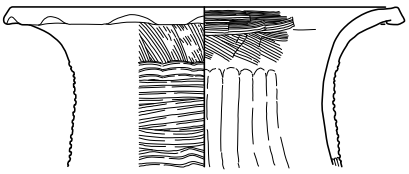
05Ac-282SM-p090 593



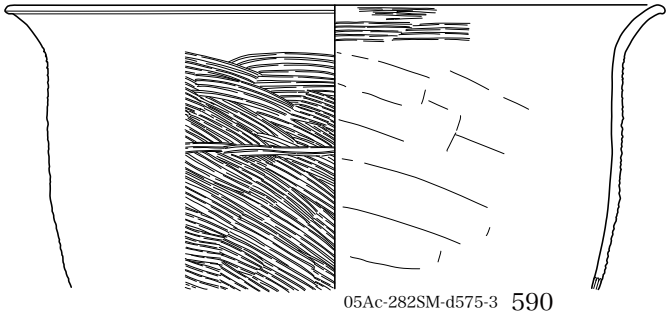
05Ac-282SM-p089 589



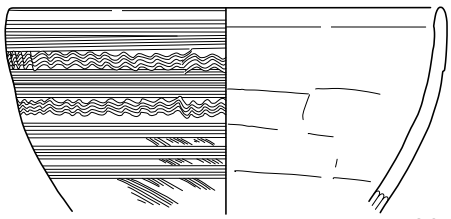
05Ac-282SM-p094 594



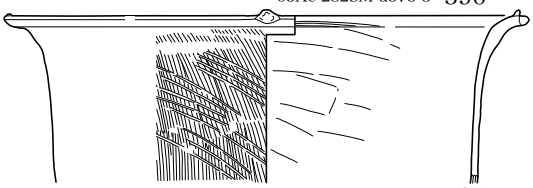
05Ac-282SM-d576 595



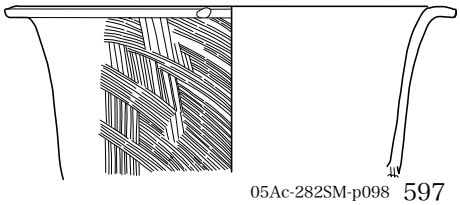
05Ac-282SM-d575-3 590



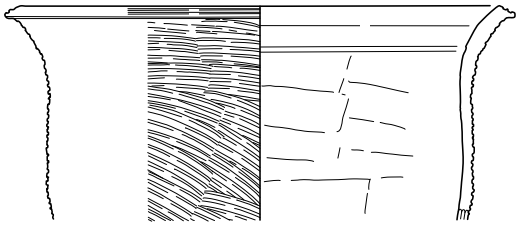
05Ac-282SM-d575-1 596



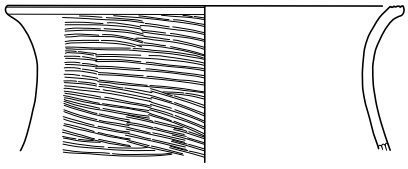
05Ac-282SM-d583 591



05Ac-282SM-p098 597



05Ac-282SM-d575-2 592

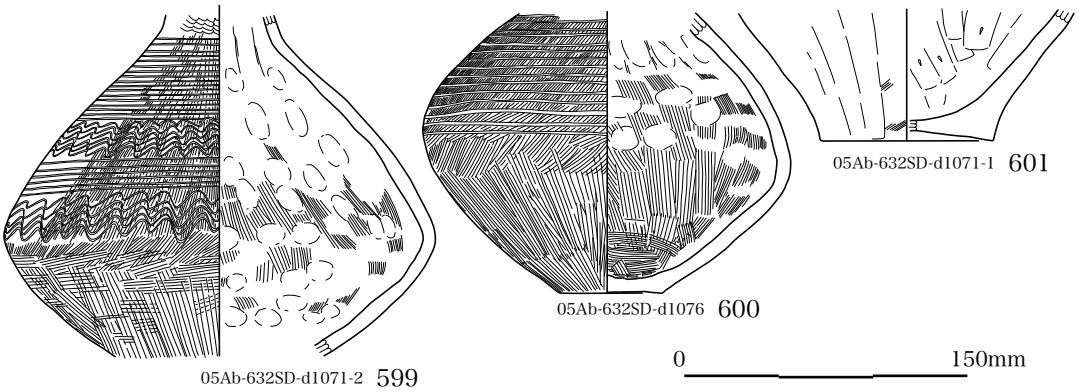


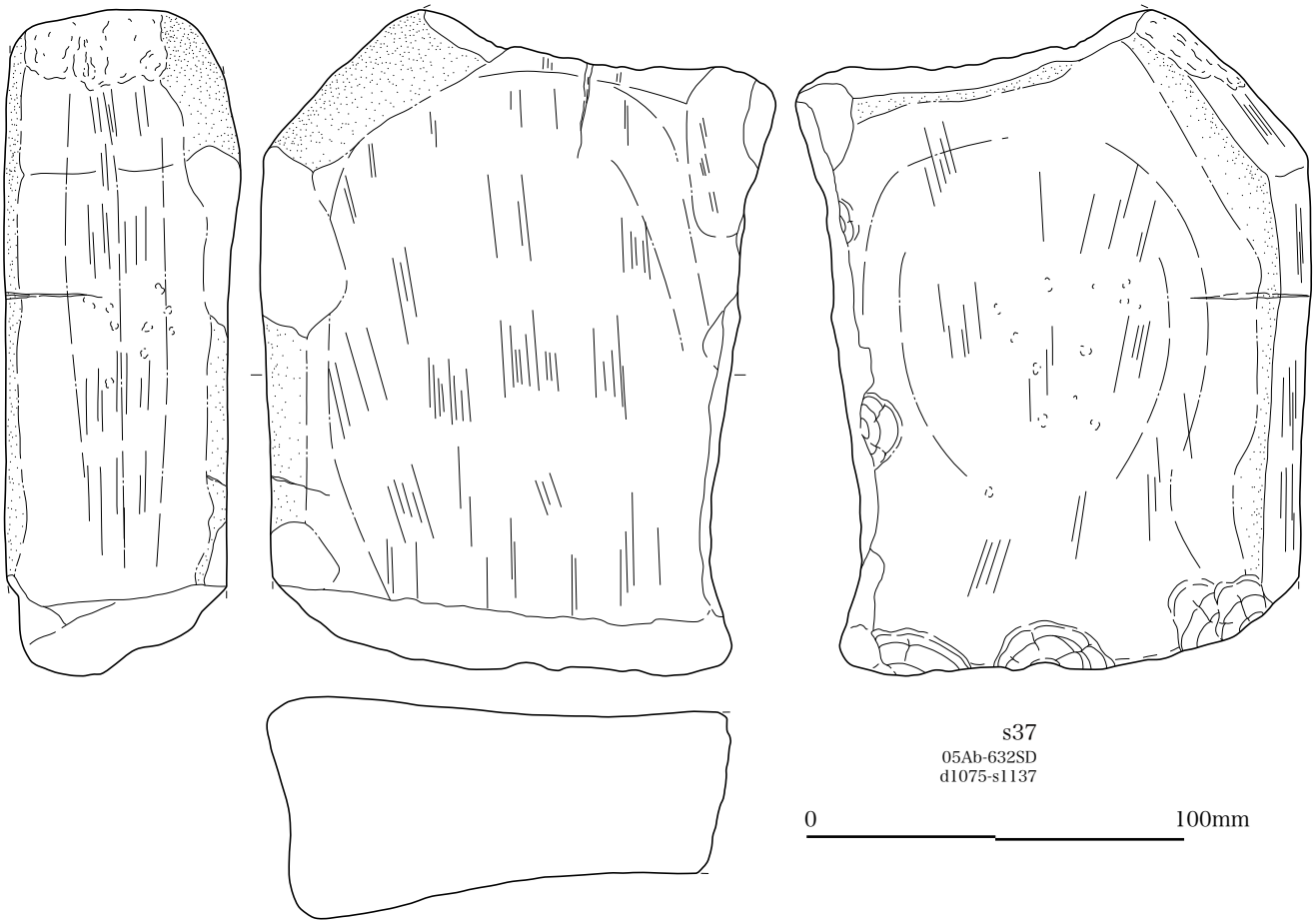
05Ac-282SM-p099 598

3.4.1.13　05Ab-632SD

05Ab 区南側の後期環濠帯に重複するように存在する方形区画。632SD と 05Ac 区 375SK そして 05Ab 区 629SD により方 13m ほどの方形区画が想定でき，周溝墓の可能性も考えられる。いずれにしろ 05Ab 区において小規模な土坑を除いて，明確な高蔵式期の遺構は希薄である。632SD は深さ 0.94m で，箱状に垂直に掘削される溝である。

05Ab-632SD





3.4.1.13　05Ab-634SB

05Ab 区南側の後期内環濠と重複する形で存在する竪穴建物。大きく 2 棟の竪穴建物が重複しており，まず最初に直径 8m ほどの円形竪穴建物 634SB が営まれる。その後に 6×5m の矩形を呈する竪穴建物が営まれ，複数の建替えが認められる。その中央付近には焼土とベンガラが散布された場所があり，石器・玉類の加工痕跡と思われる石材チップが確認できている。朝日式 3 期の遺物が供伴する。周囲には土坑が多く分布し，その中で最も新しい遺構が 1283SK で貝田町式 3 期新に所属する。いずれにしろ朝日式期から貝田町式前半期にかけての竪穴建物が展開していく地区と考えられよう。

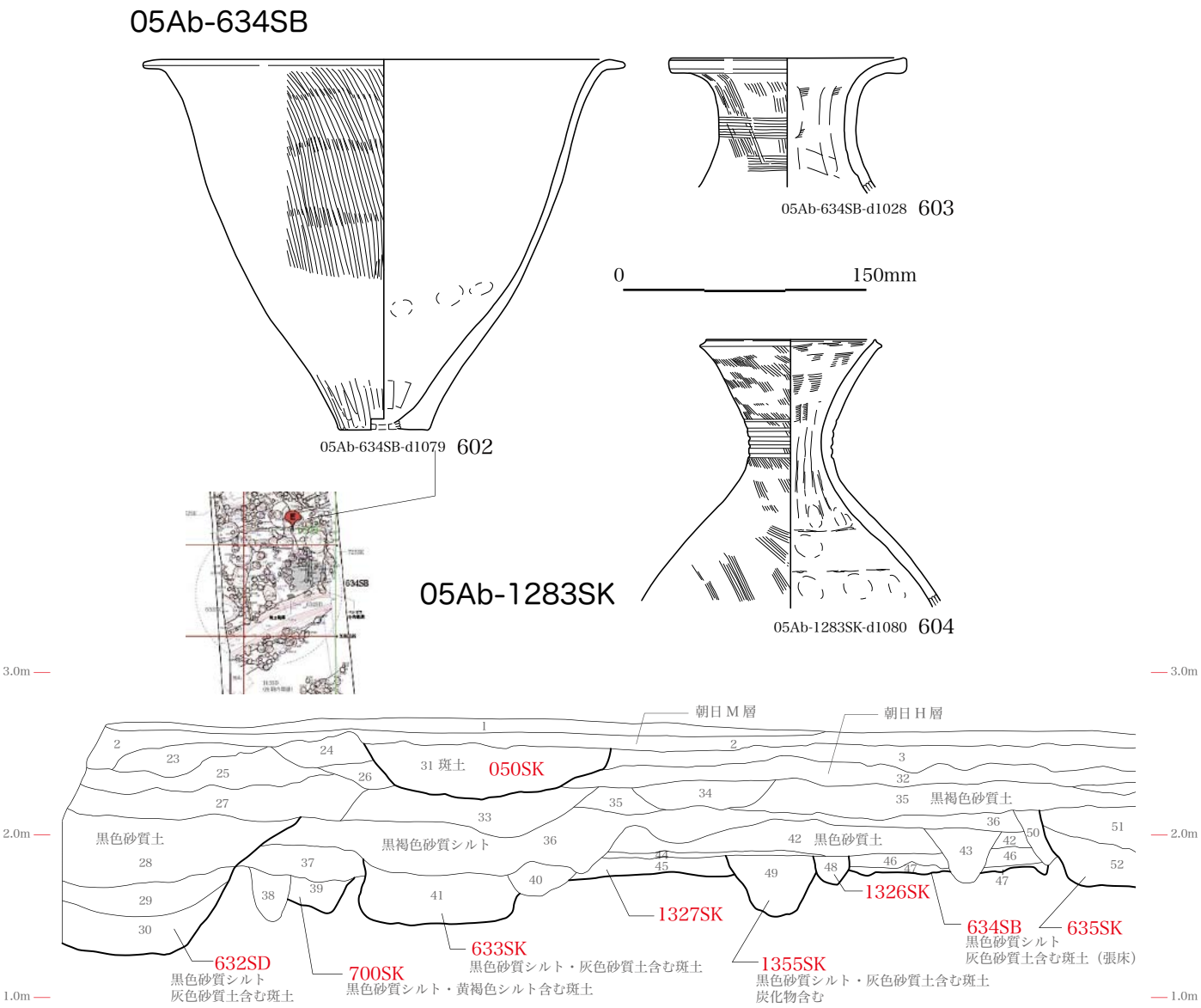


図 3.4.1-16　05Ac-634SB 付近　西壁断面図　1/40

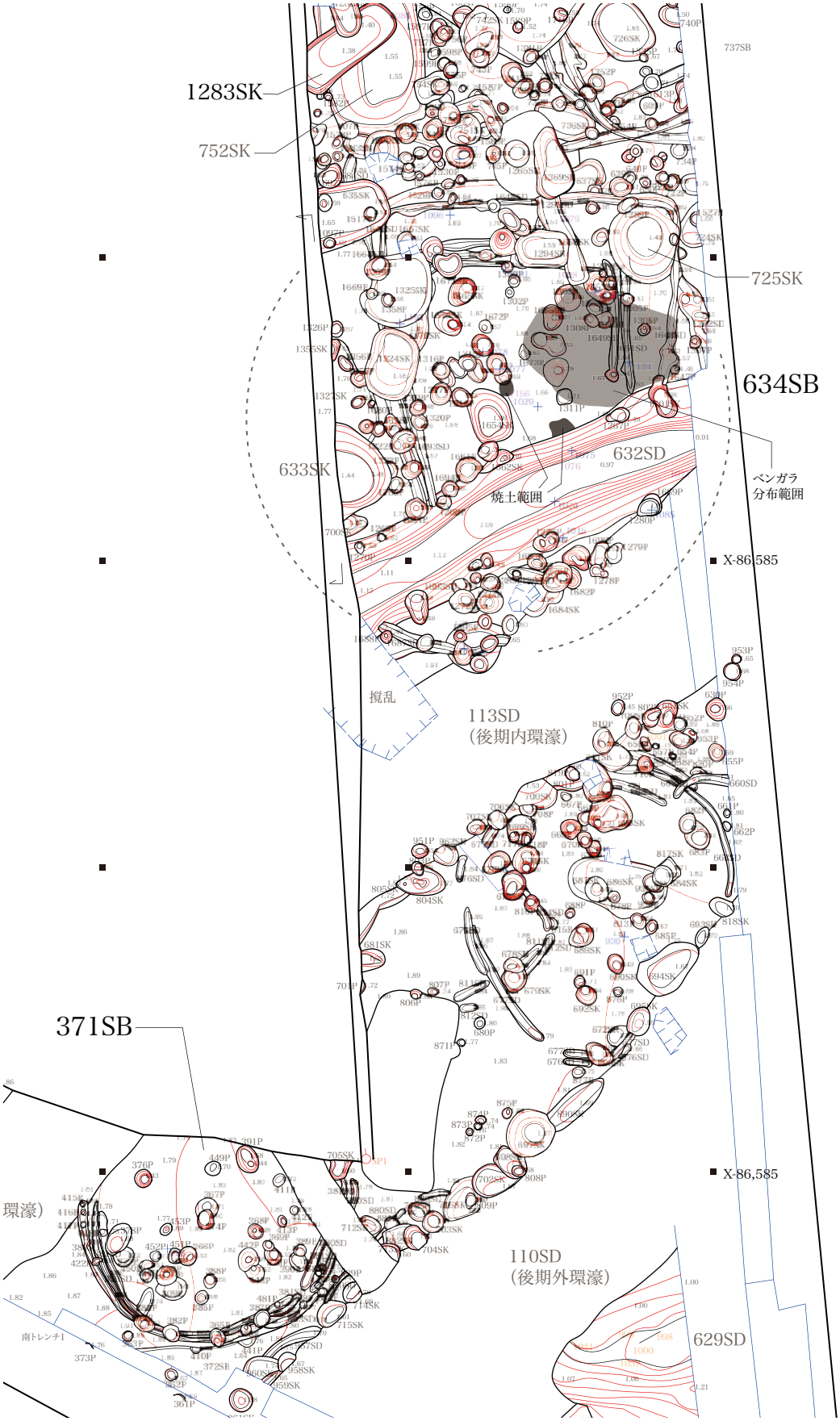
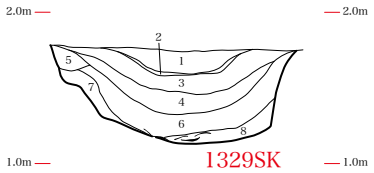


図 3.4.1-16　05Ac-634SB　1/100

3.4.1.14　05Ab-1329SK

05Ab 区の中央部付近に位置する後期竪穴建物 531SB に重複する形で存在する，貝田町式 1 期の長方形土坑。灰と焼土の互層が堆積し，底部には獣骨等を含む土器廃棄が見られる。南北 2.83m･東西 1.63m で深さ 0.64m を測る。周囲には貝田町式期を中心とした廃棄土坑群が集中する。



層序番号	土色記号	土色	土質	備考
1	7.5YR1.7/1	黒色	シルト	炭化物、多量の焼土含む
2	10YR1.7/1	黒色	シルト	多量の炭化物含む
3	10YR2/1	黒色	シルト	炭化物、多量の焼土含む
4	7.5YR4/3褐色灰と炭化物の斑土			
5	2.5Y5/3黄褐色シルトと7.5Y1.7/1黒色シルトの斑土			
6	10YR2/1黒色シルトと炭化物の互層			
7	10YR1.7/1	黒色	シルト	5Y5/3灰オリーブ色シルトブロック含む
8	10YRY1.7/1黒色シルトと10YR5/1灰色シルトの斑土　大量の大型土器片･獣骨含む			

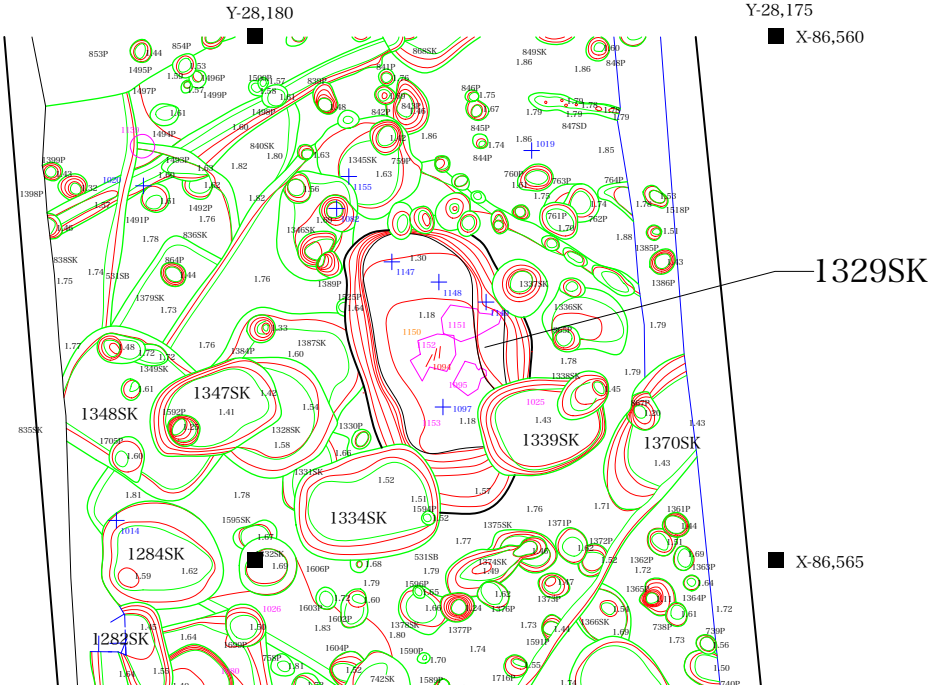
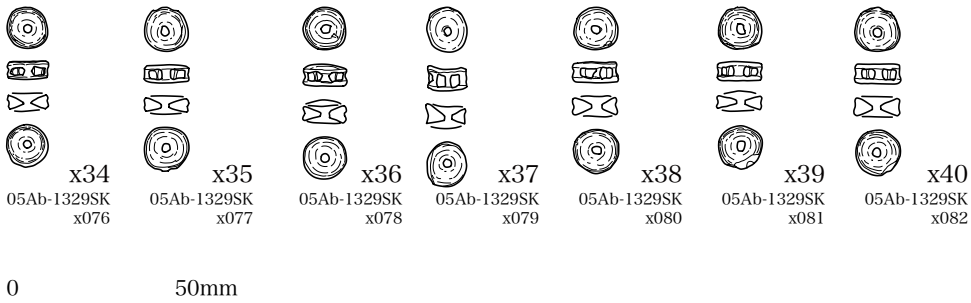


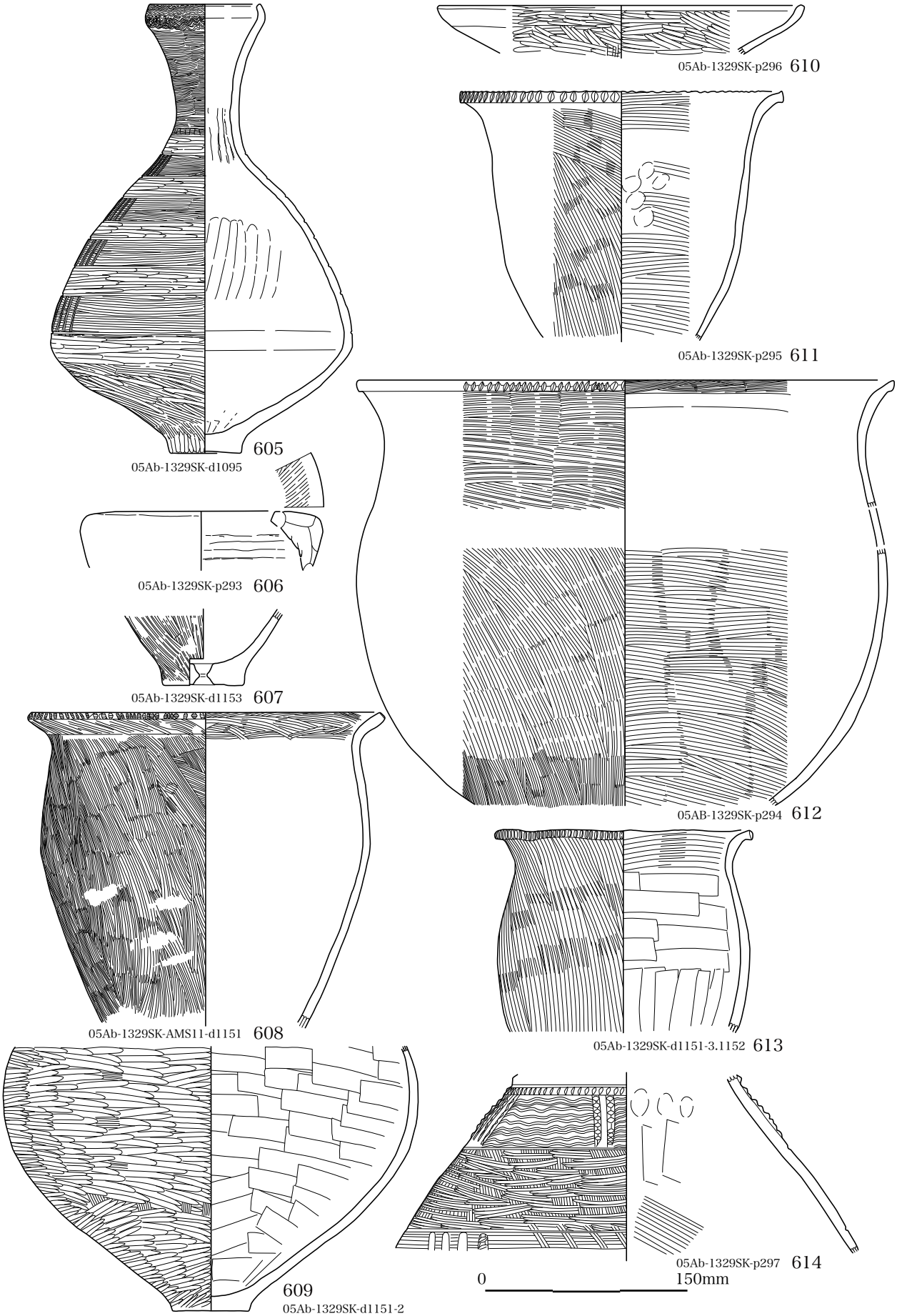
図 3.4.1-17　05Ac-1329SK　1/50

05Ab-1329SK



0　50mm

05Ab-1329SK_1



3.4.1.15　05Ab-1393SK・904SB

1393SK は 05Ab 区の中央部に位置する長方形土坑。長軸 2.21m・短軸 1.26m で深さ 0.71m を測る。土器・骨・石などが廃棄された状況で見つかっており，貝田町式 1 期に所属する。904SB は 1393SK などの方形土坑が展開する廃棄土坑群に重複する形で検出できた方形竪穴建物。土坑群が営まれる以前に設営されたもので，朝日式期に所属するものと思われる。南北 5.02m で深さ 0.20m を測る。中央部やや南側に焼土面が見られる。

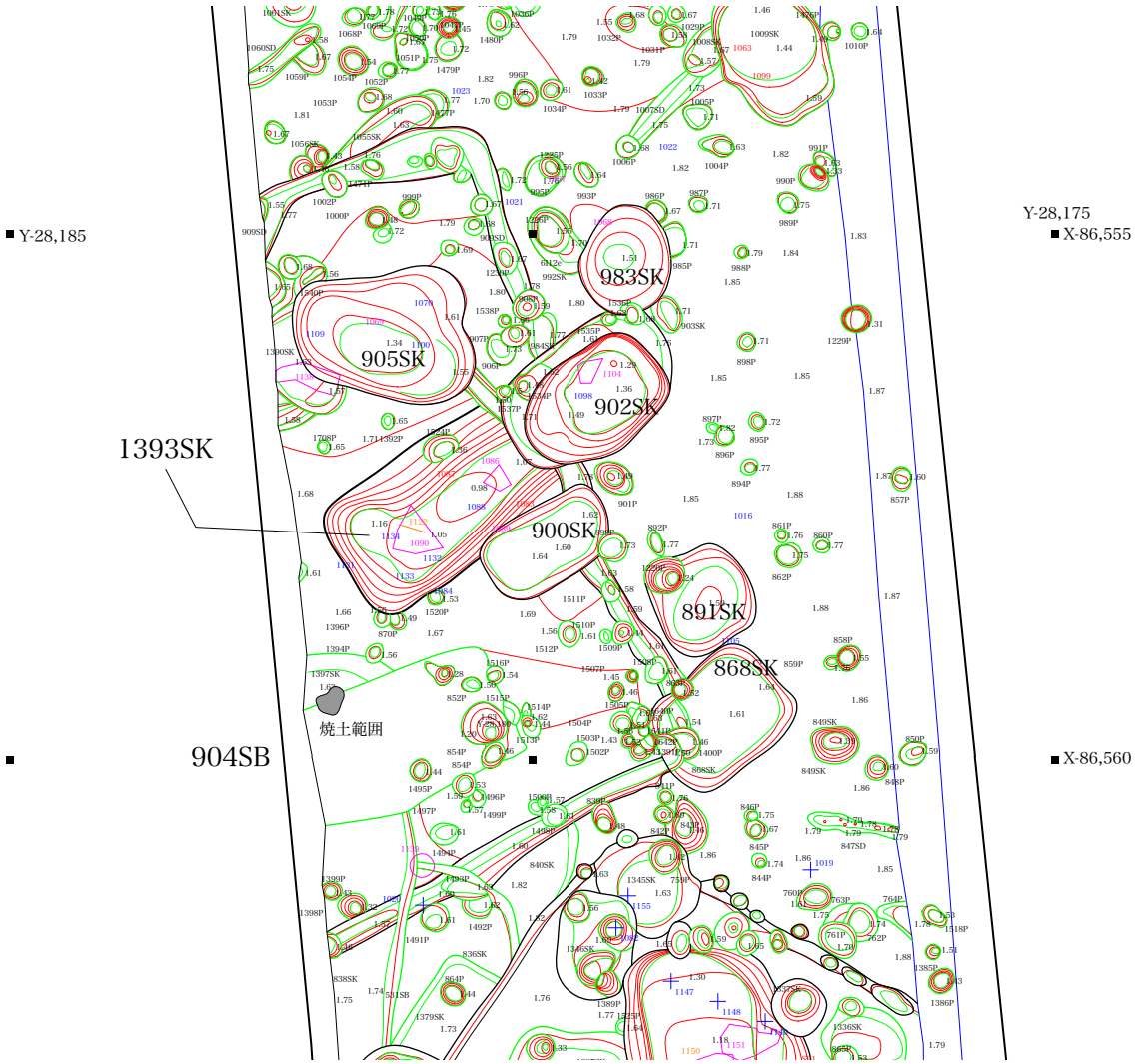
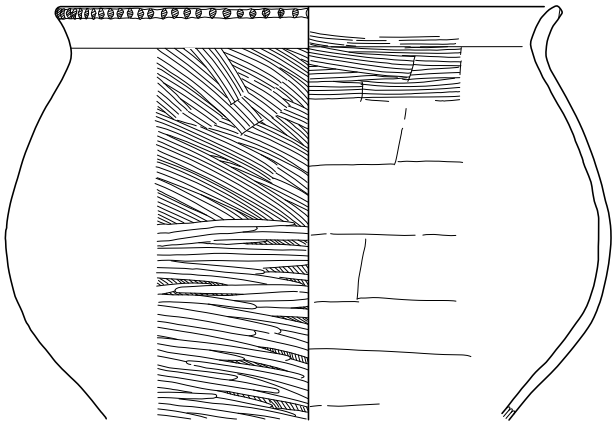
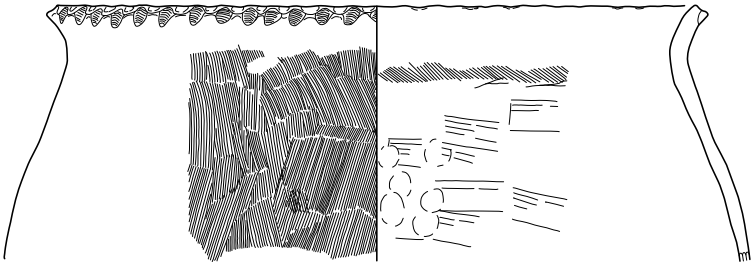


図 3.4.1-18　05Ab-1393SK・904SB　1/50

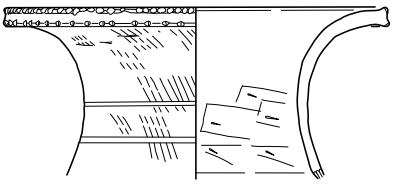
05Ab-1393SK_1



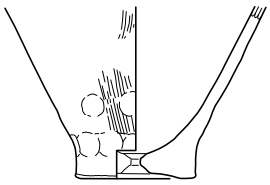
05Ab-1393SK-d1086.1090-3 615



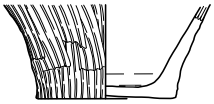
05Ab-1393SK-d1086 619



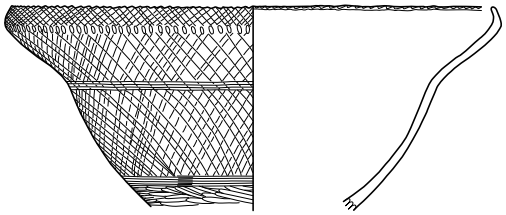
05Ab-1393SK-d1089 620



05Ab-1393SK-d1086.1090-1 621

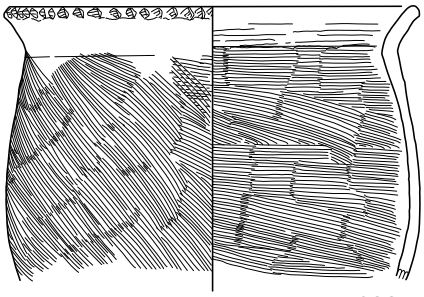


05Ab-1393SK-d1086.1090-2 616

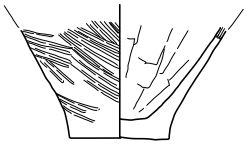


05Ab-1393SK-d1090-4 617

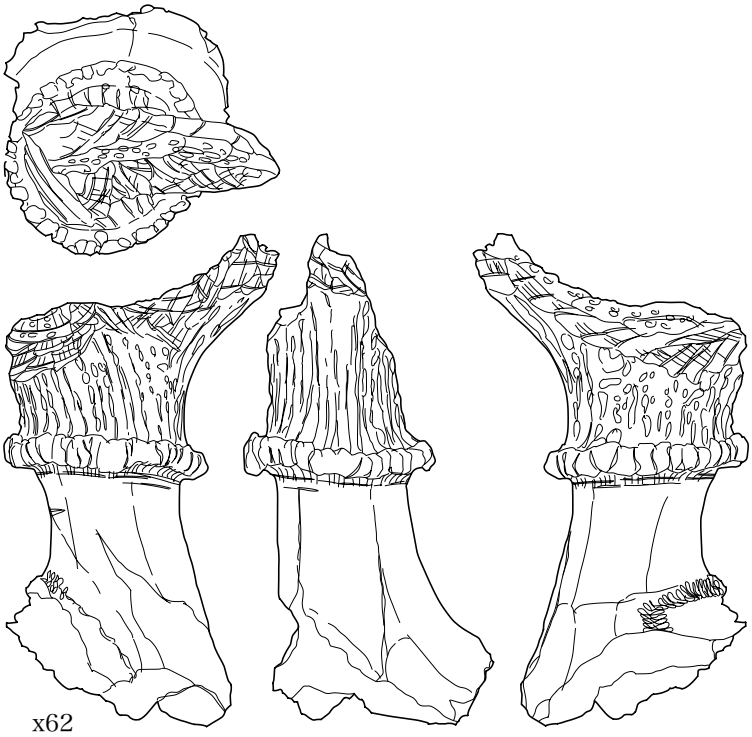
0 150mm



05Ab-1393SK-AMS5-d1090-5 622



05Ab-1393SK-AMS5-d1090-5 624

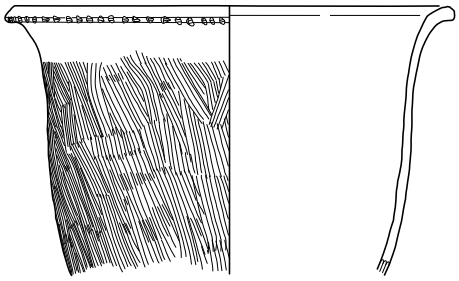


x62

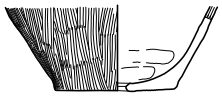
05Ab-1393SK-d1087-x084

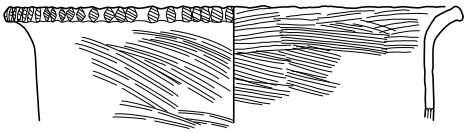
0 100mm

05Ab-1329SK_2



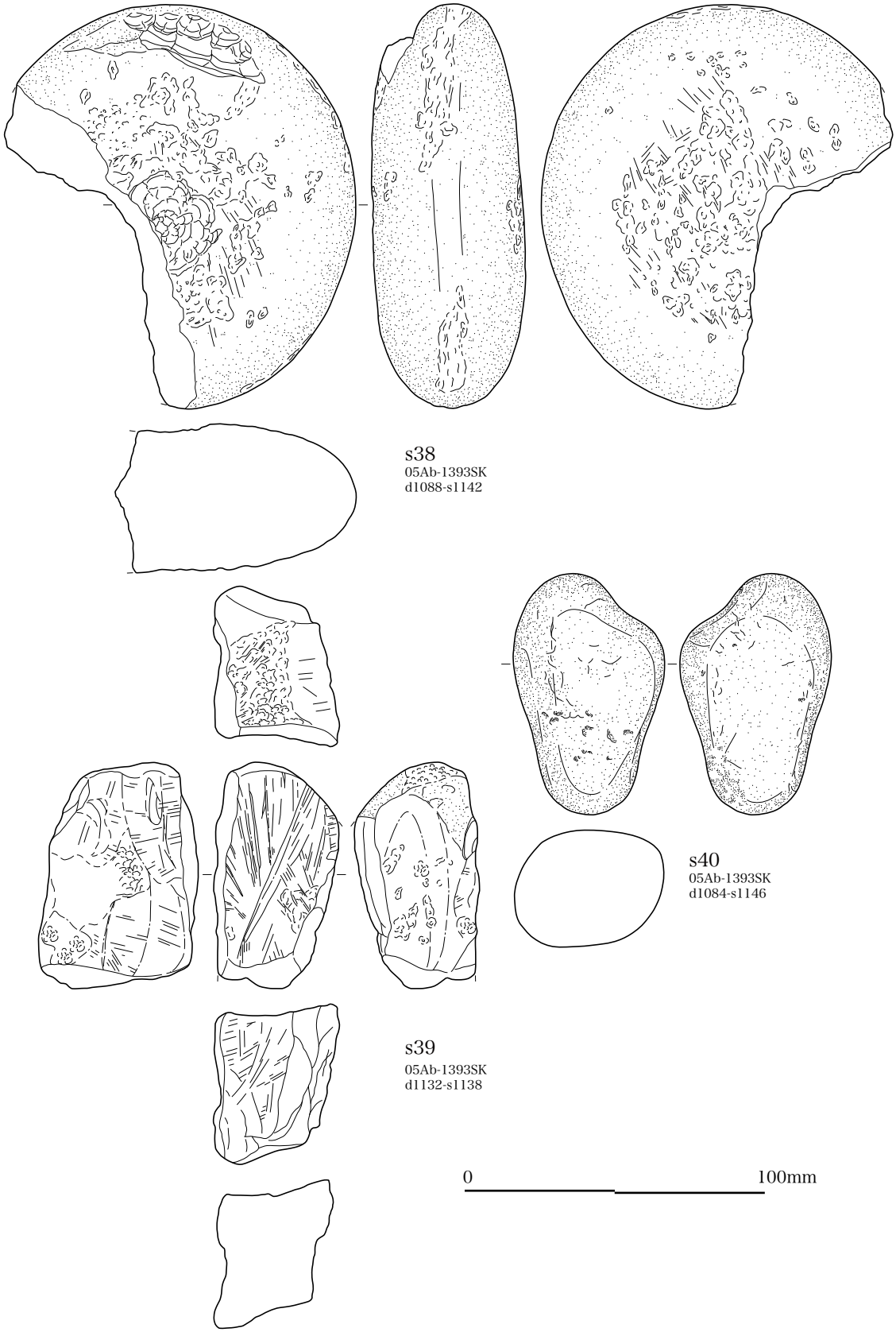
05Ab-1329SK-1-AMS4-p902 618



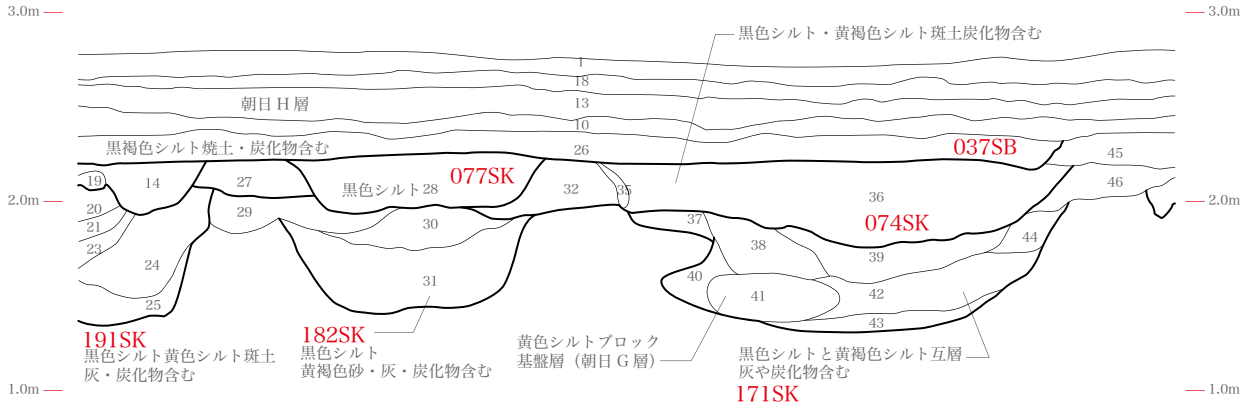


05Ab-1329SK-p913 623

05Ab-1393SK_2



3.4.1.16　05Ab-221SB・191SK 他



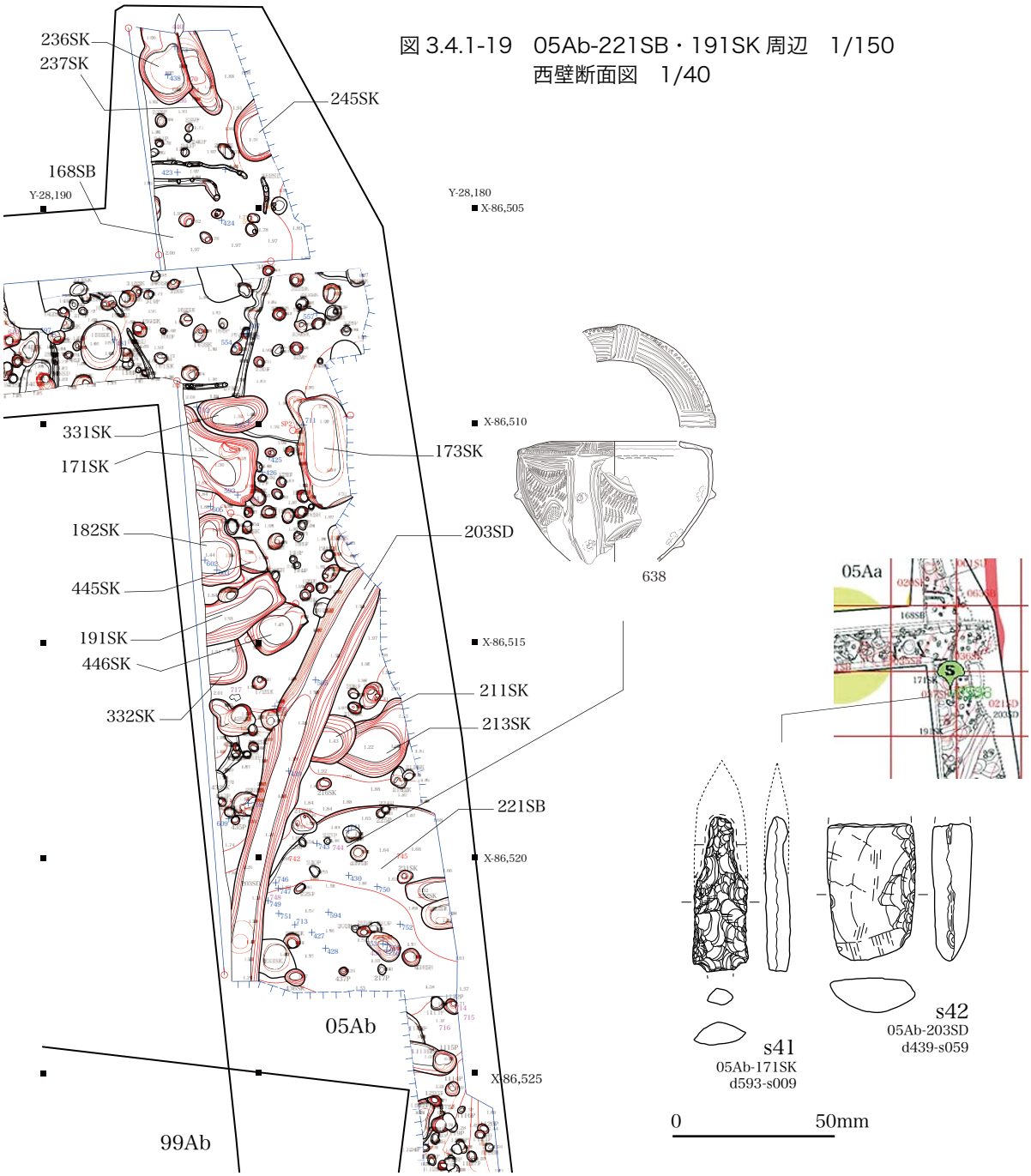
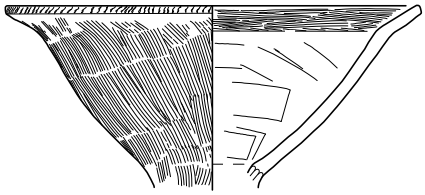
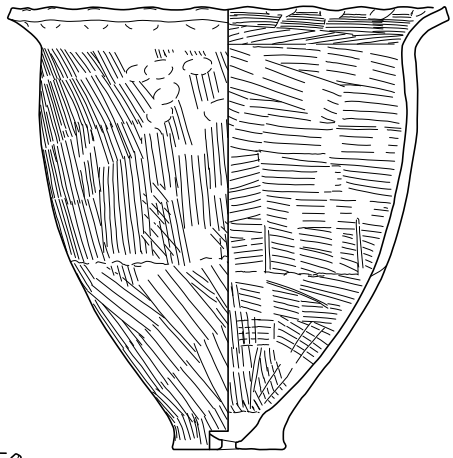


図 3.4.1-19　05Ab-221SB・191SK 周辺　1/150
西壁断面図　1/40

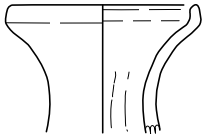
05Ab-171SK



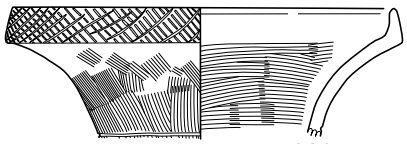
05Ab-171SK-d604-2 625



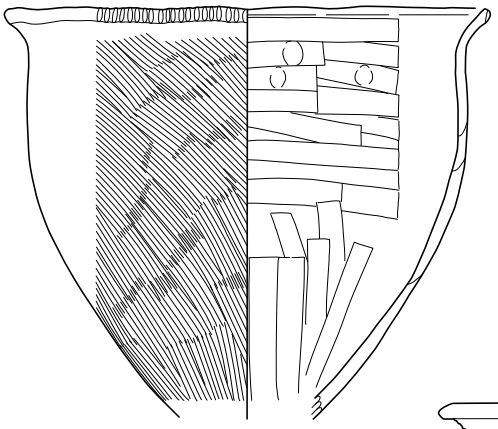
05Ab-171SK-d604-1 628



05Ab-171SK-p285 629



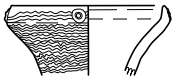
05Ab-171SK-p286 626



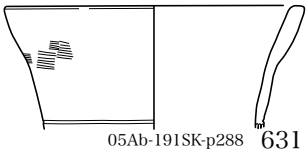
05Ab-171SK-p284 627

0 150mm

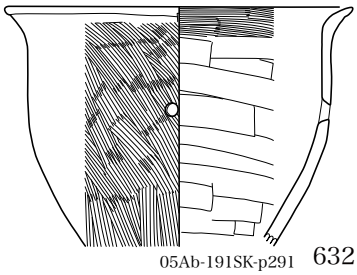
05A-191SK



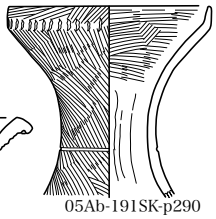
05Ab-191SK-p287 630



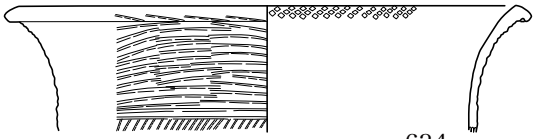
05Ab-191SK-p288 631



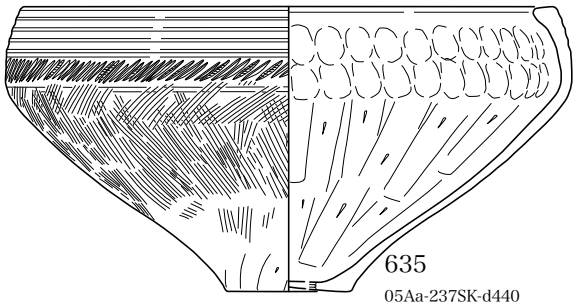
05Ab-191SK-p291 632



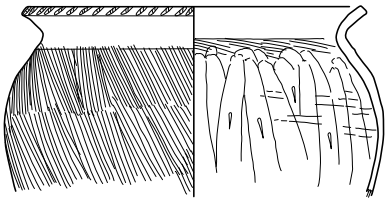
05Ab-191SK-p290 633



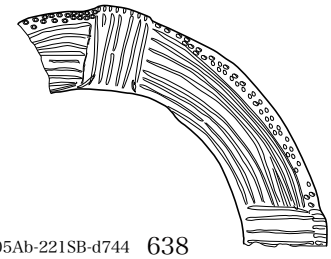
05Ab-191SK-p289 634



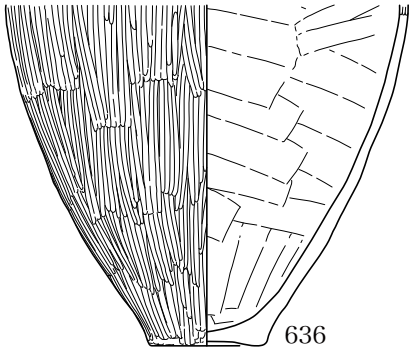
635
05Aa-237SK-d440



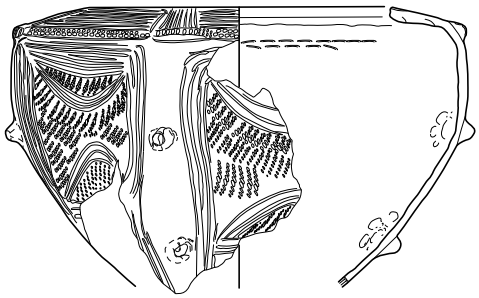
637
05Ab-211SK-AMS20-p908



05Ab-221SB-d744 638



636
05Ab-221SB-d714p714



3.4.1.16　北区画 - 中期第 2 環濠
06A-006SD・007SD

06A 区北側に存在する溝群で，中期北区画第 2 環濠を中心とした遺構。調査区北側には大きな落ち込みが存在し，006SD として調査した。その後その下層にて中期第 2 環濠である 007SD を確認し，同時に近接して 009SD が調査区東側に存在して収束する状況を確認する事ができた。現状では第 3 環濠の収束点と想定しておきたい。なお，008SD は最下層に木製品が廃棄される土坑状の施設と思われる。いずれも貝田町式期を中心とした遺構群であり，溝上位には多量の砂層がラミナ状に複雑に堆積する状況が認められる。高蔵式期の T-SA 層およびその影響下の堆積と想定した。中期第 2 環濠上層である 006SD からは三稜形木鏃（w203）・木製高杯（w204）が出土し，その盤状高杯の形態などから八王子古宮式・山中 I 式期に所属するものと思われる。

006SD 以南は緩やかな平坦面を残しつつ徐々に南に下降し，谷 A 右岸に至る。調査区南端の 004SD との間には幅 8m ほどの平坦面が存在し，現状では 0.2m ほどの盛土状の高まり 005SQ が存在する。005SQ は山中 I 式期の遺物を包含する。なお 005SQ 下層では遺物や遺構は確認できない。

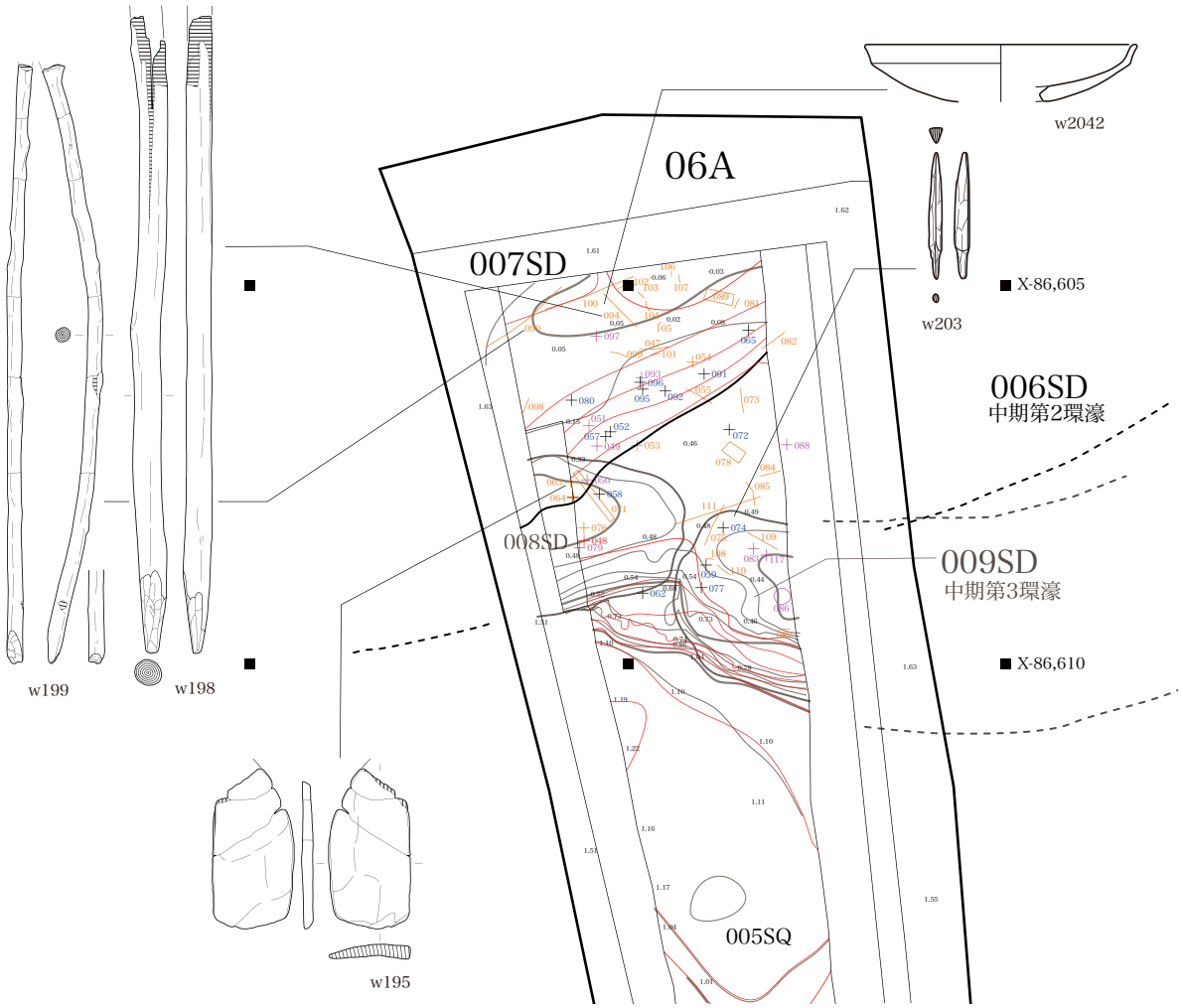
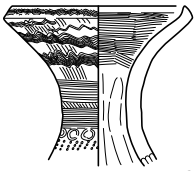
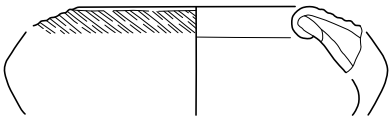
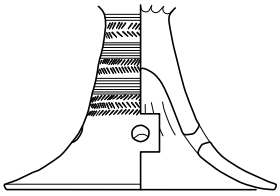


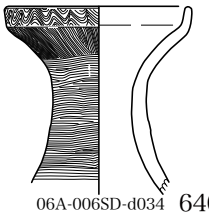
図 3.4.1-20　06A 区北側　1/100

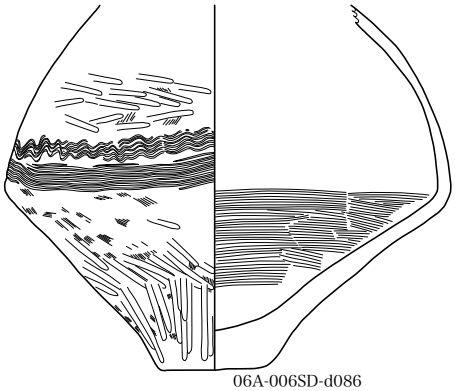
06A-006SD

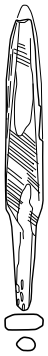

06A-006SD-d004 639


06A-006SD-d117 641


06A-006SD-d026 643

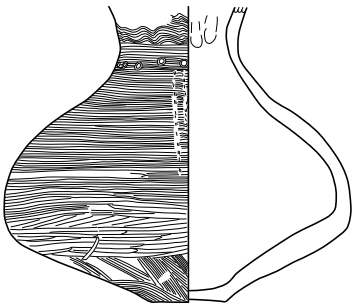

06A-006SD-d034 640

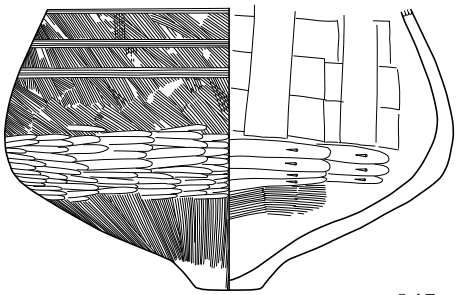

06A-006SD-d086 642

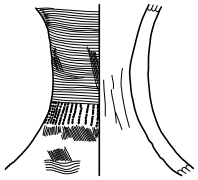

x67
06A- 西トレ下層 -x99

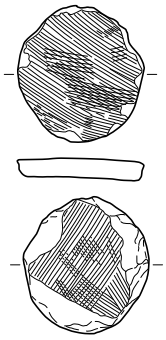
0 50mm

06A-007SD（006SD下層）


06A-007SD-d051 644

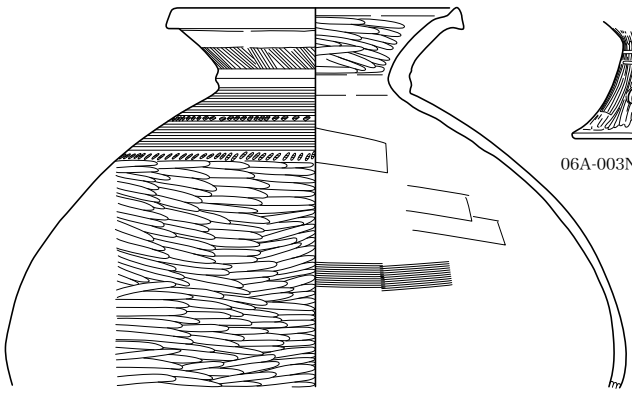

06A-007SD-d093 645

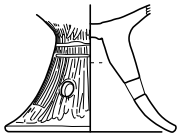

06A-007SD-d050 646

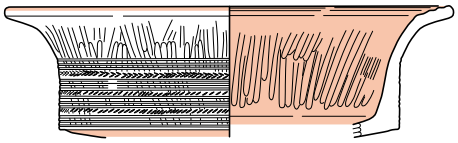

06A-007SD-d049 647

0 50mm

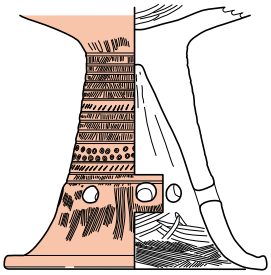
06A-005SQ

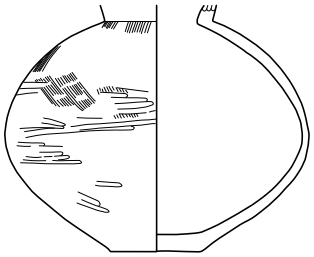

06A-002SU（005SQ上）-p0254 648


06A-003NR-d008 650


06A-西トレ-d001 652

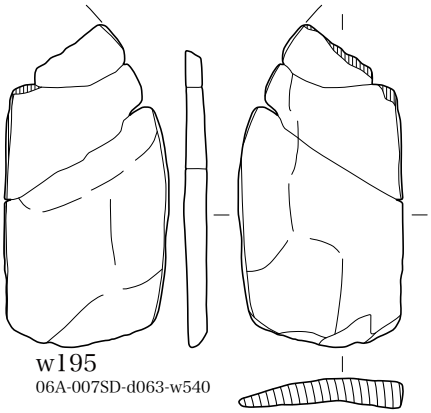
651
06A-北トレ-d009 651


06A-東トレ-d146 653

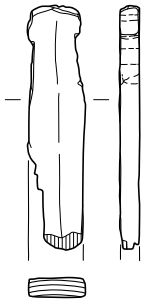

06A-西トレ-d149 649

0 150mm

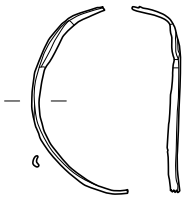
06A-007SD



w195
06A-007SD-d063-w540

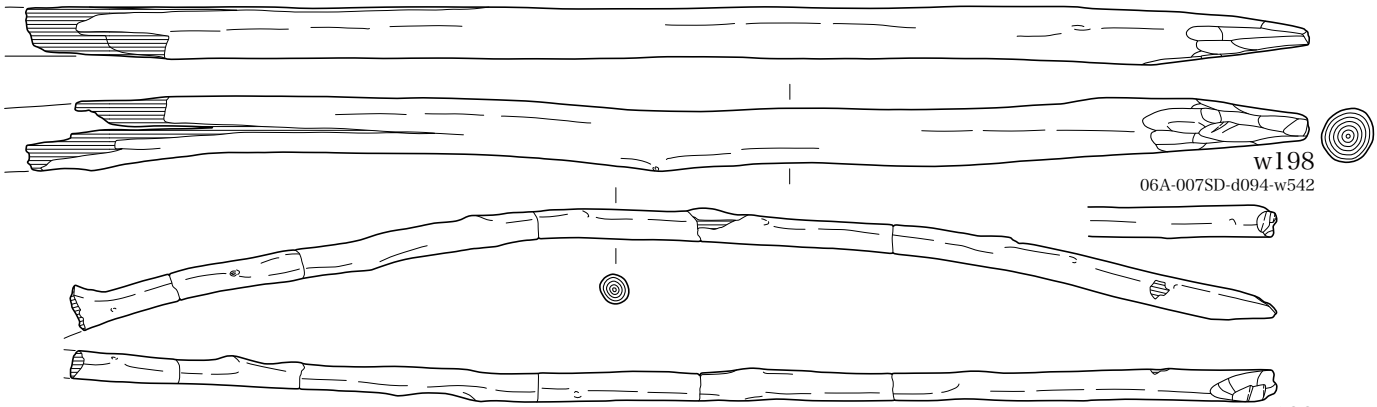


w196
06A-007SD-w547



w197
06A-007SD-w546

0 150mm

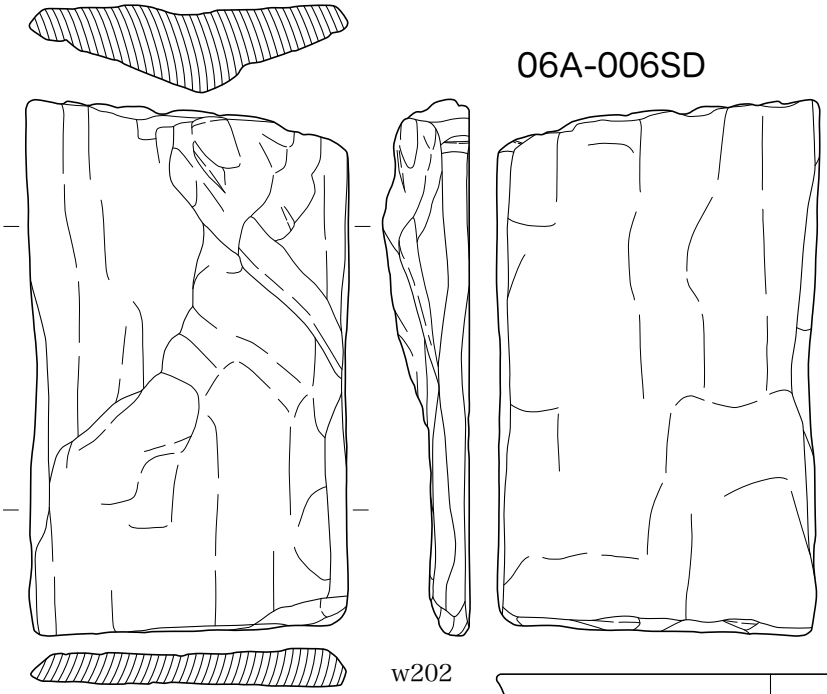


w198
06A-007SD-d094-w542

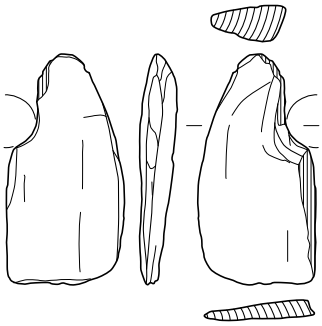
w199
06A-007SD-d090-w541 1/12

0 300mm

06A-006SD

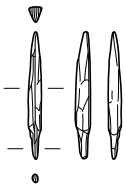


w202
06A-006SD-d078-w545



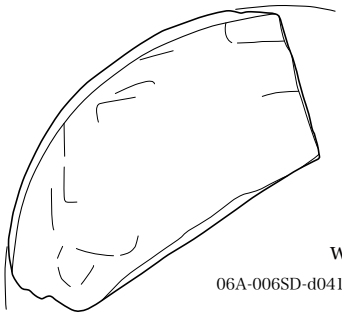
w200
06A-006SD- 下層 -w552

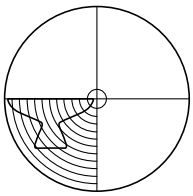
w201
06A-006SD- 下層 -d063-w553



w203
06A-006SD-d042-w513

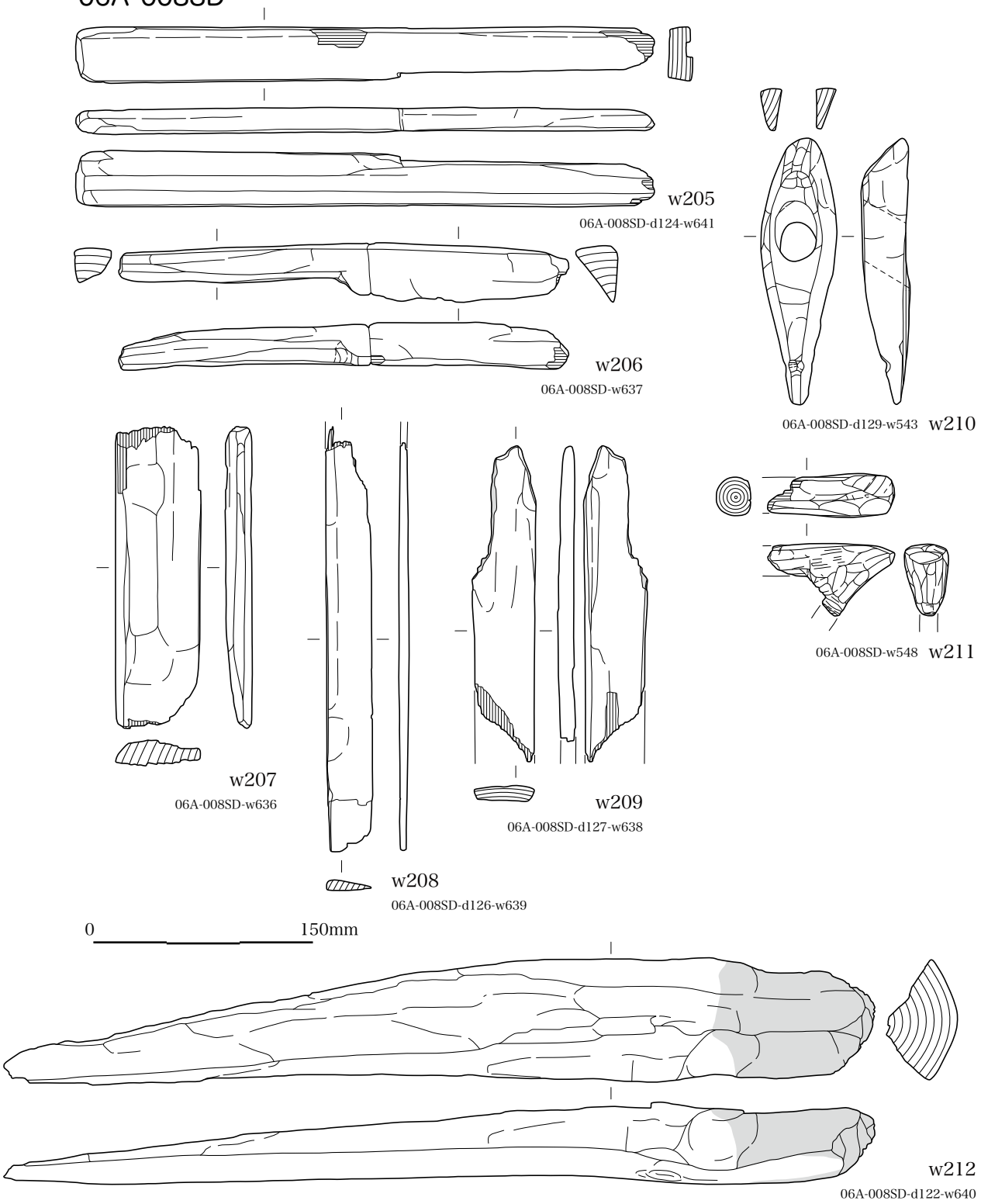
0 150mm



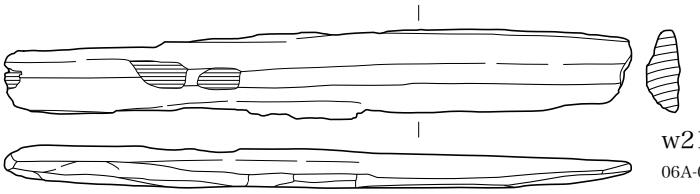


w204
06A-006SD-d041-w512

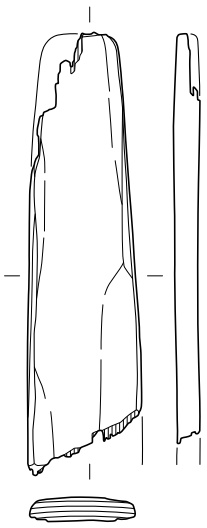
06A-008SD


w205
06A-008SD-d124-w641
w206
06A-008SD-w637
06A-008SD-d129-w543 w210
06A-008SD-w548 w211
w207
06A-008SD-w636
w208
06A-008SD-d126-w639
w209
06A-008SD-d127-w638
0 150mm
w212
06A-008SD-d122-w640

06A-009SD



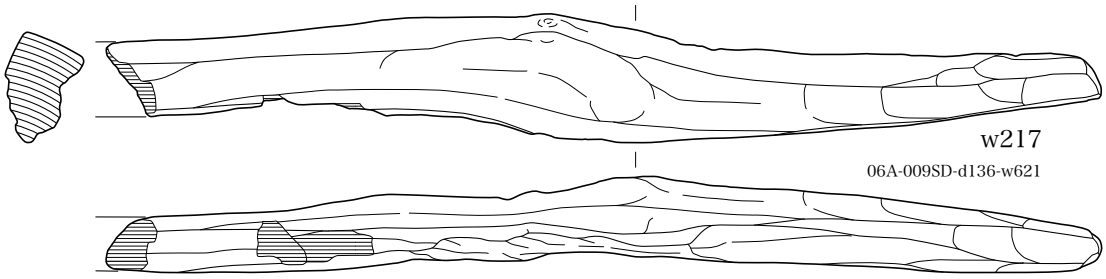
w213
06A-009SD-d140-w620



w214
06A-009SD-d141-w618

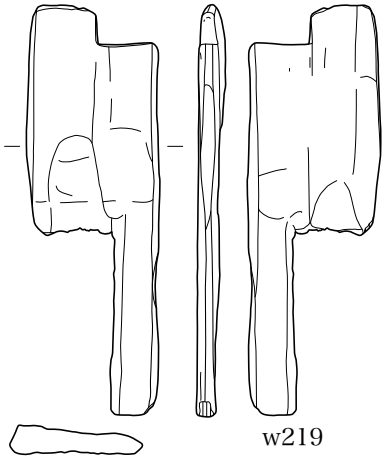
w215
06A-009SD-d130-w619

w216
06A-009SD-- 下層 -w624

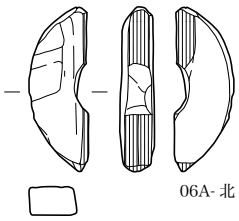


w217
06A-009SD-d136-w621

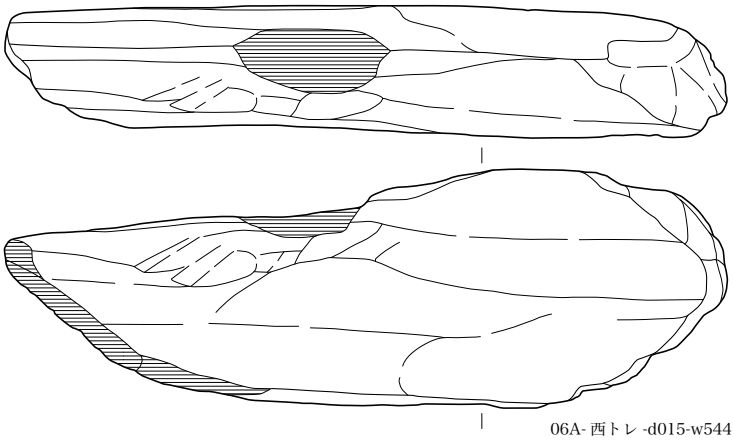
06A-007SD



w219
06A- 北トレ -w550

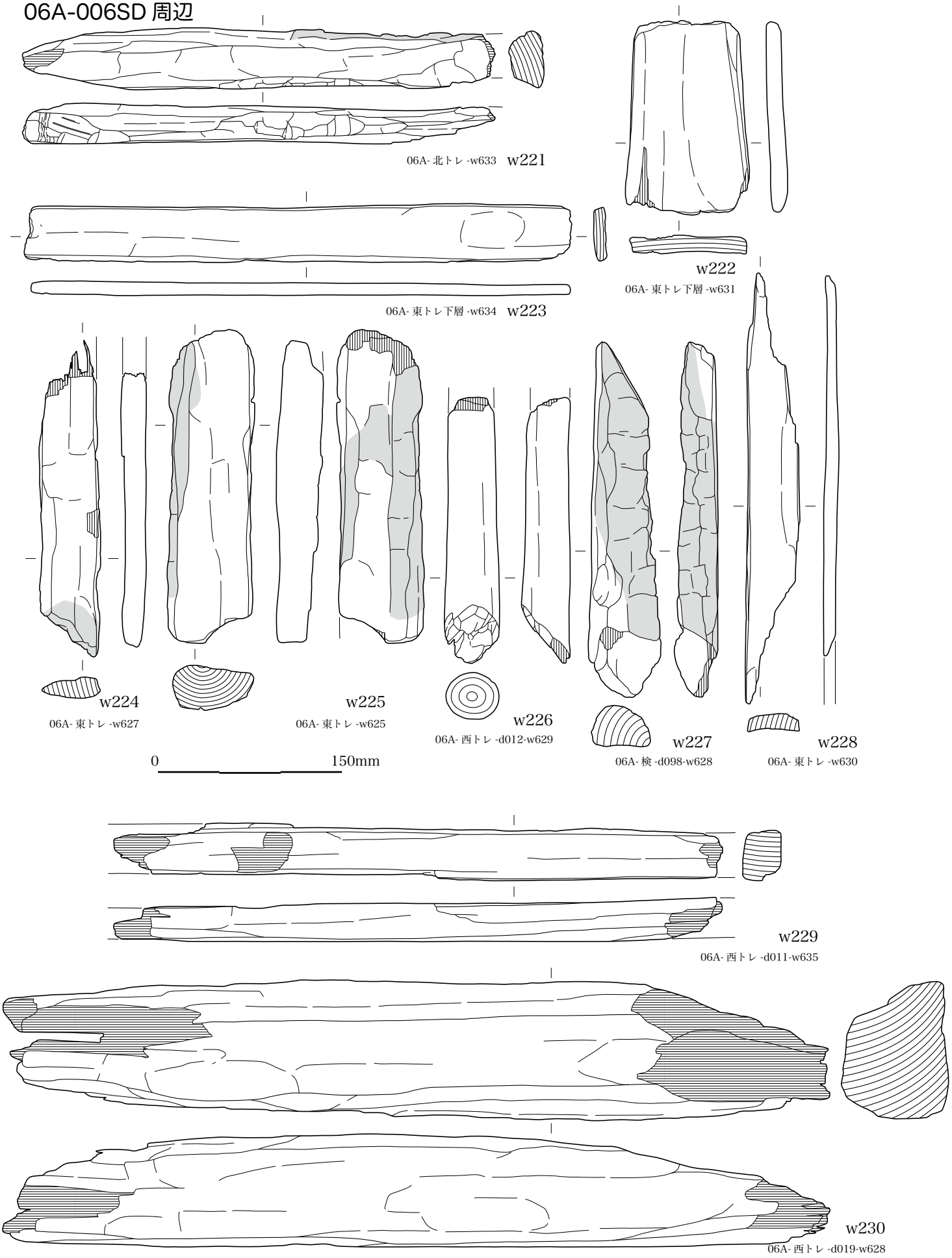


w218
06A- 北トレ -w549



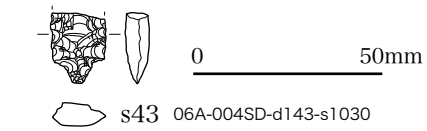
06A- 西トレ -d015-w544 w220

06A-006SD 周辺


06A- 北トレ -w633 w221
w222
06A- 東トレ下層 -w631
06A- 東トレ下層 -w634 w223
w224
06A- 東トレ -w627
w225
06A- 東トレ -w625
w226
06A- 西トレ -d012-w629
w227
06A- 検 -d098-w628
w228
06A- 東トレ -w630
0 150mm
w229
06A- 西トレ -d011-w635
w230
06A- 西トレ -d019-w628

3.4.1.17　逆茂木設置用溝 06A-004SD

06A 区南端で砂層に埋没する形で溝 004SD を確認することができた。谷 A 右岸に設置された逆茂木設置用の溝の延長部分であると思われる。枝をつけた樹木や加工木製品，獣骨や土器片などが出土している。逆茂木を覆い尽くす砂層は高蔵式期に所属する朝日 T-SA 層である。



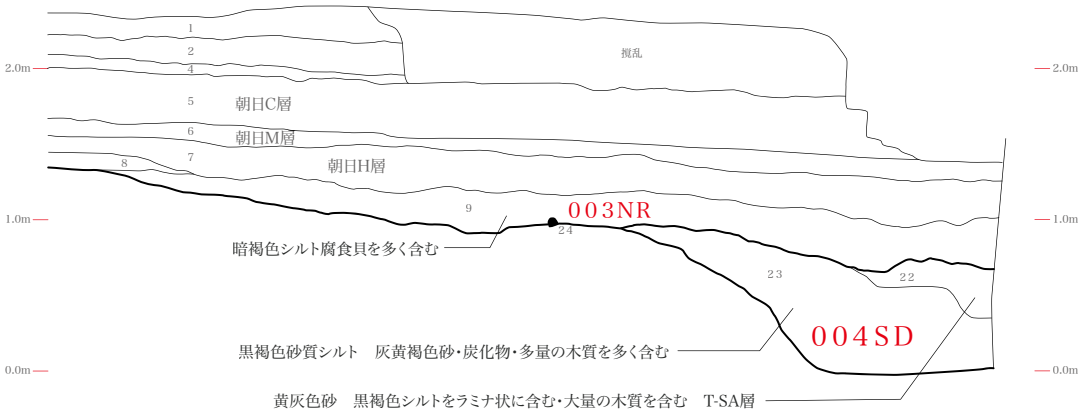
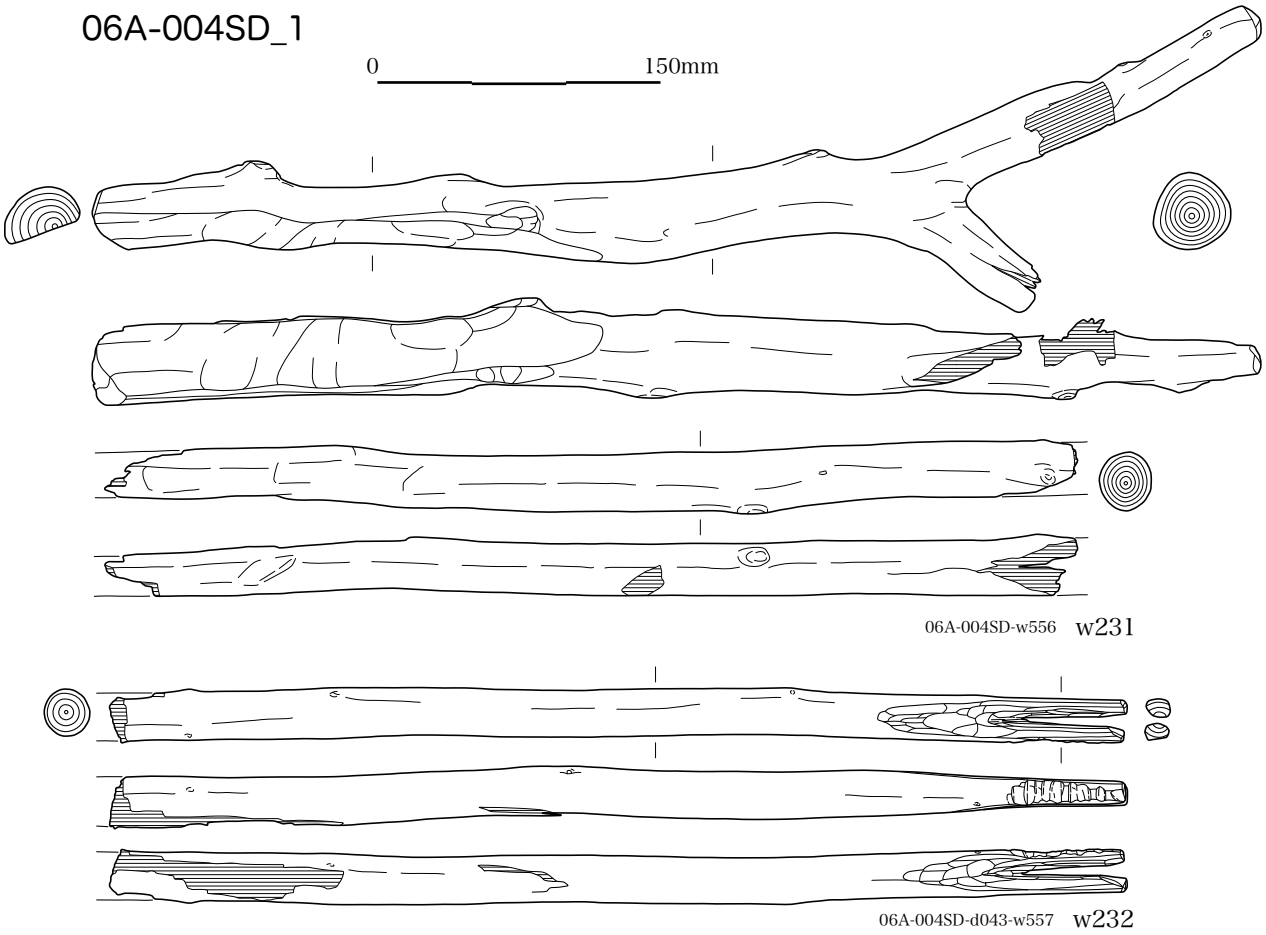
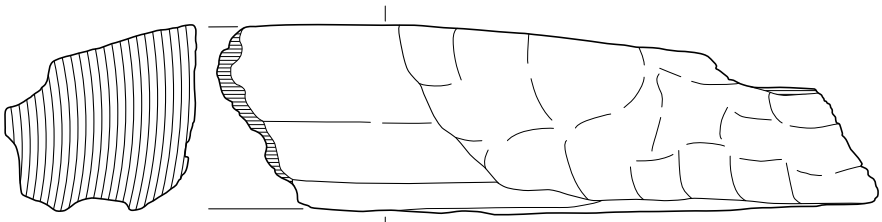


図 3.4.1-21　06A 東壁断面図　1/50

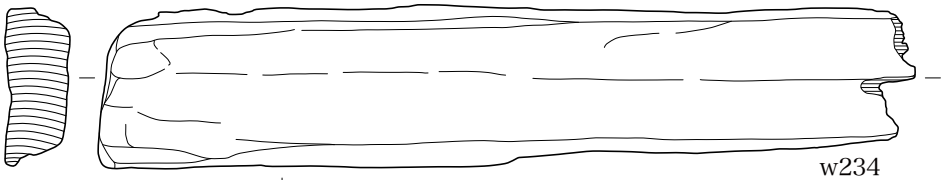
06A-004SD_1



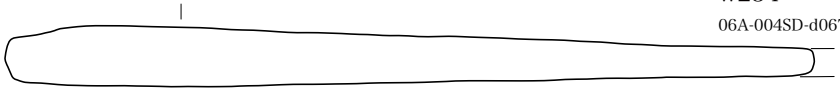
06A-004SD_2

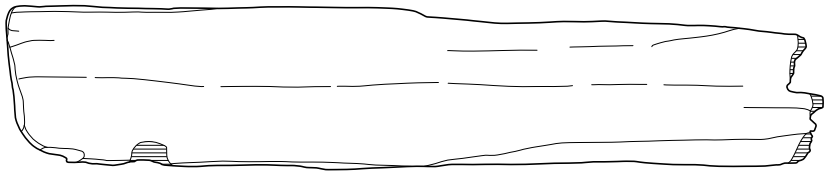


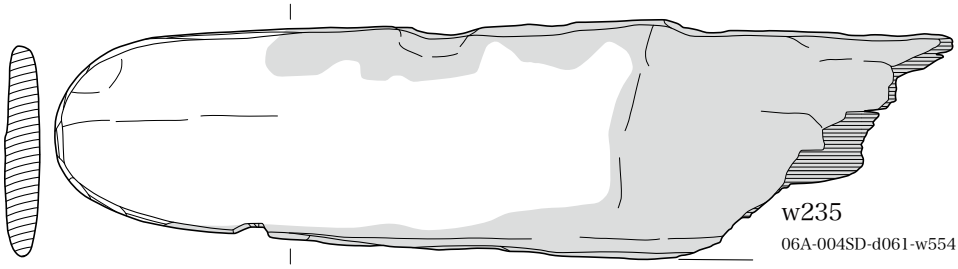
w233
06A-004SD-d112-w583



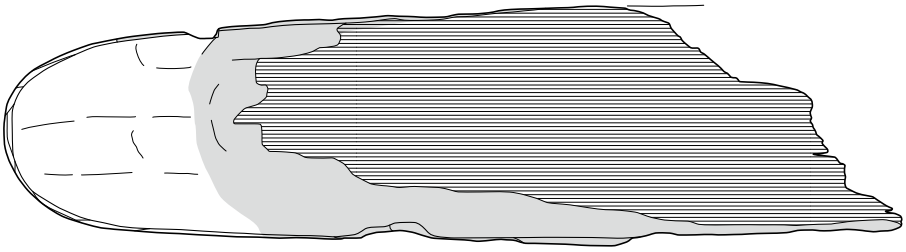
w234
06A-004SD-d067-w555

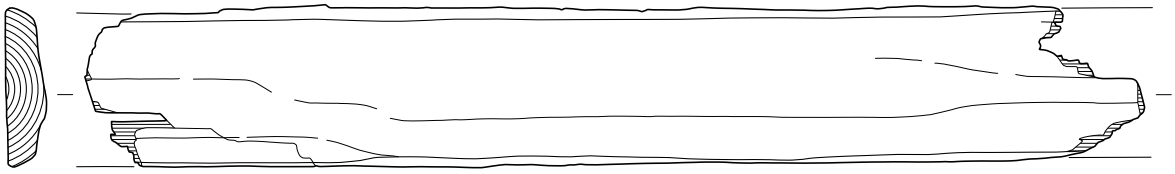


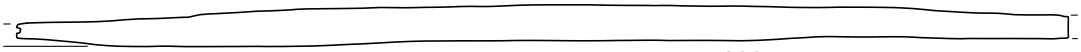




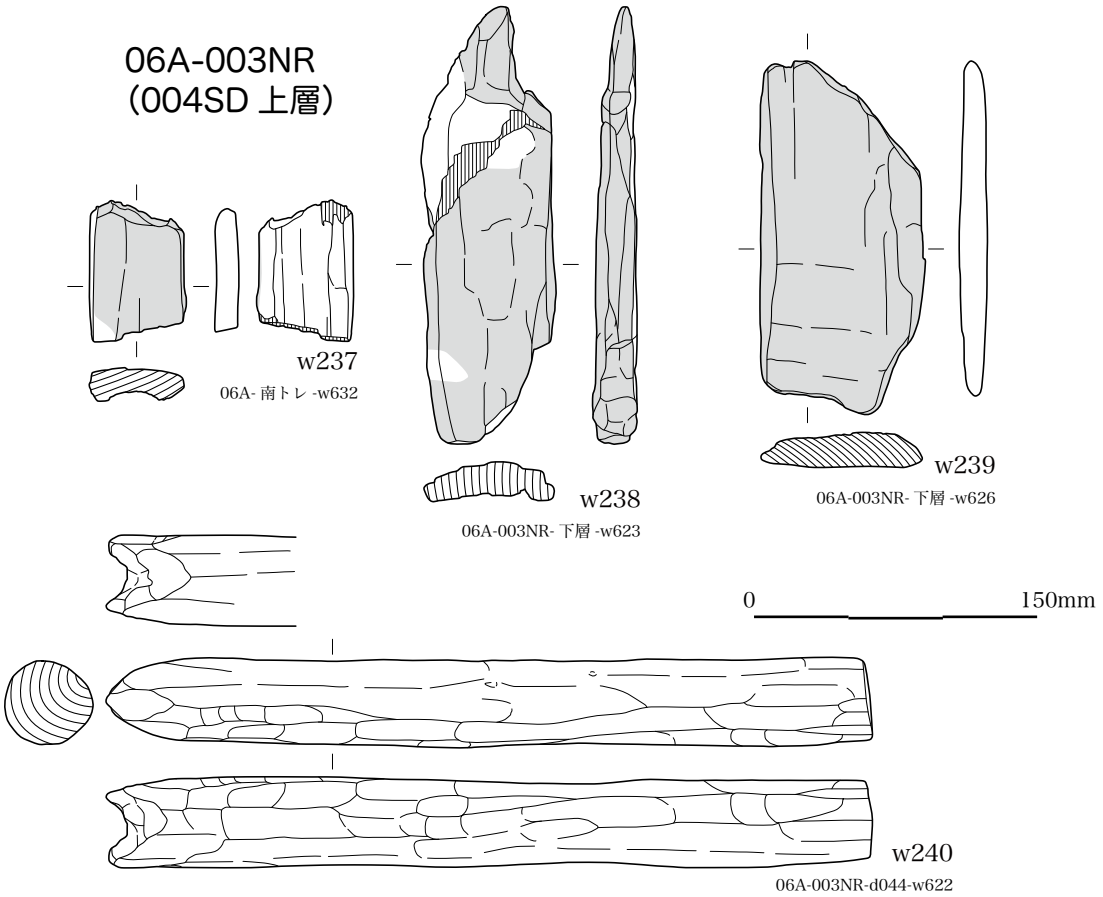
w235
06A-004SD-d061-w554







w236
06A-004SD-d007-w582


06A-003NR
（004SD 上層）
w237
06A- 南トレ -w632
w238
06A-003NR- 下層 -w623
w239
06A-003NR- 下層 -w626
0
150mm
w240
06A-003NR-d044-w622

3.4.2　B 区の遺構

3.4.2.1　04Bb-SB12

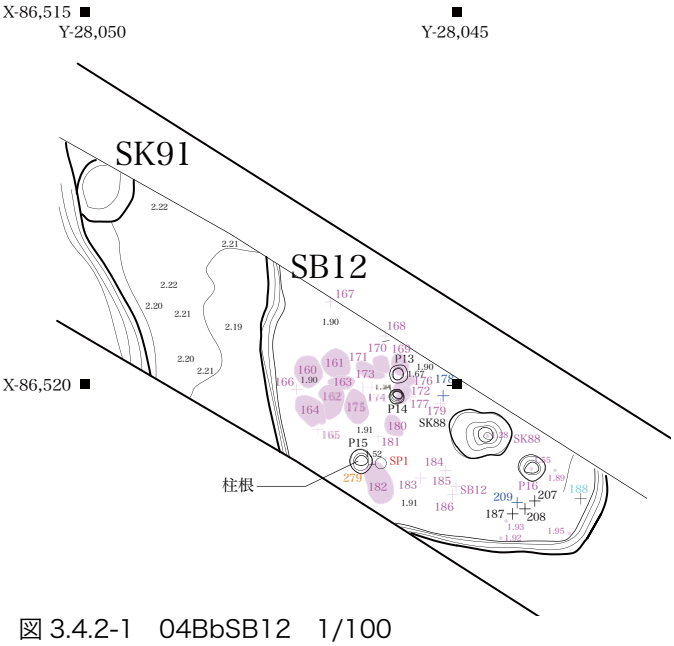
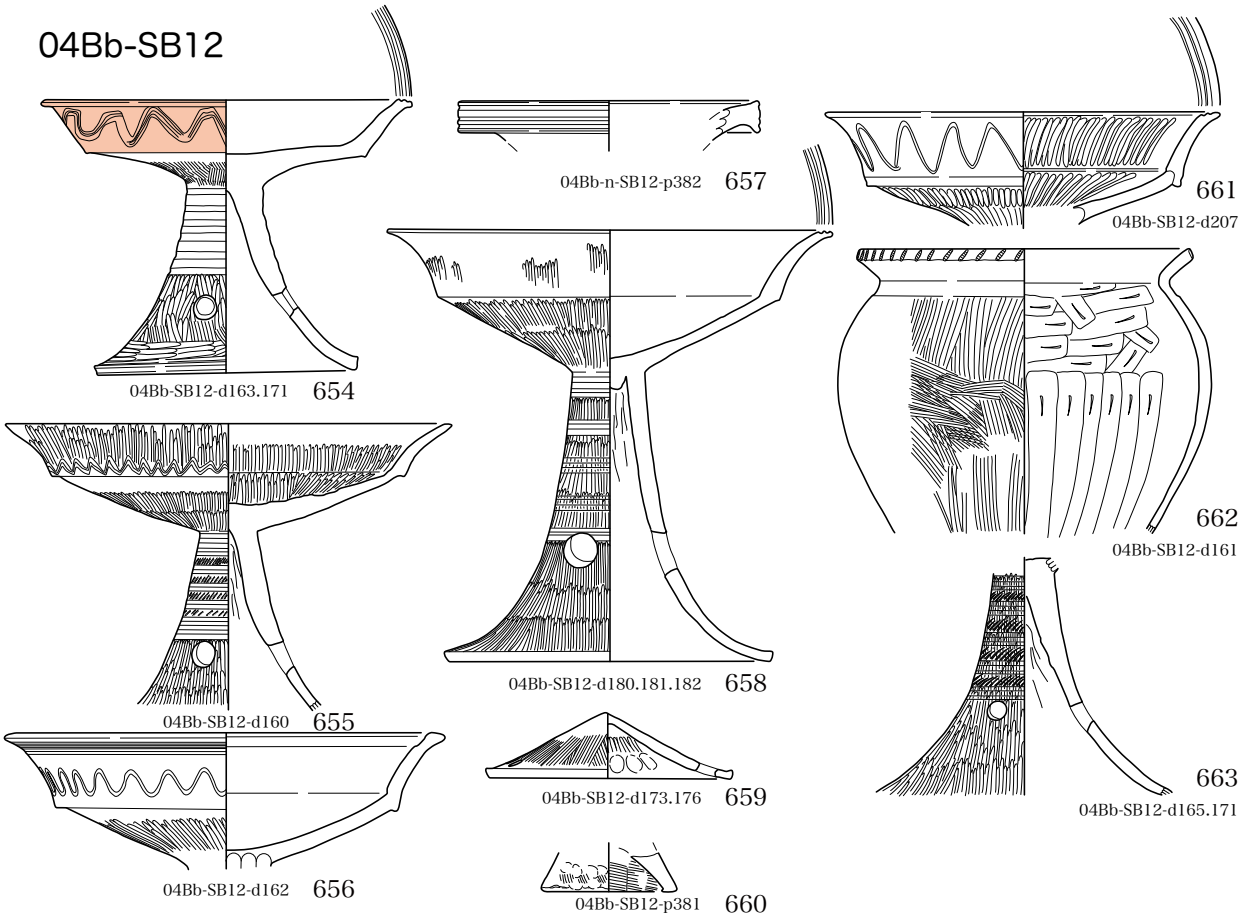
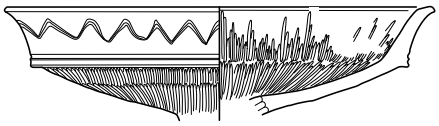


図 3.4.2-1　04BbSB12　1/100

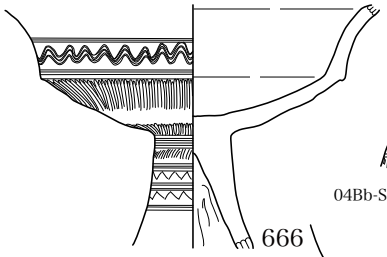
04Bb 区北東側で検出した四柱穴を持つ方形の竪穴建物で，下層には貝田町式の方形周溝墓である SZ404 が存在する。東西が 4.49m で深さ 0.46m を測る。床面より山中式中頃の資料を含む，多量の土器が出土している。なお北墓域を中心とする当地区周辺には，山中期の明確な遺構群が存在しないが，西側の土坑 SK91（0.76m 深さ 0.41m）と東側の SD01 上層（1.17m ほどの落ち込み状の遺構）からも山中式期の遺物の出土が確認できている。



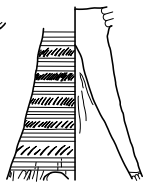
04Bb-SD01



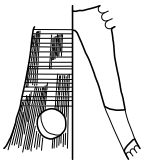
04Bb-SD01-上層-d018 664



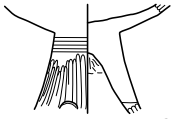
666
04Bb-SD01-下層-d024.25



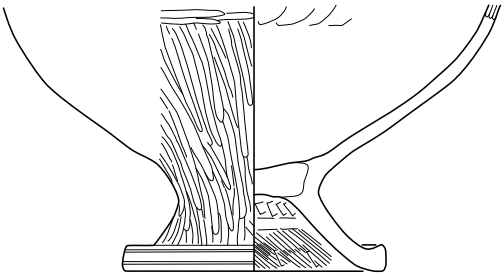
04Bb-SD01-上層-d013 667



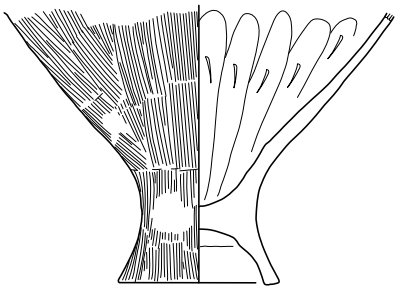
04Bb-SD01-上層-d015 668



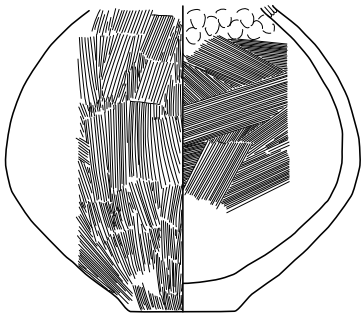
04Bb-SD01上層-d019 665



04Bb-SD01-下層-d027 669

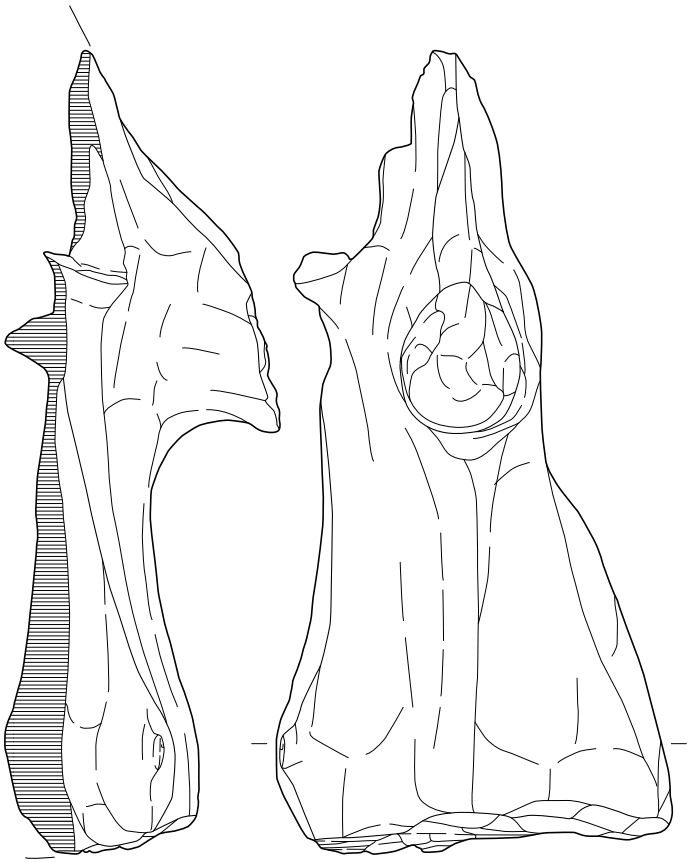


04Bb-SD01-下層-d045.046 670

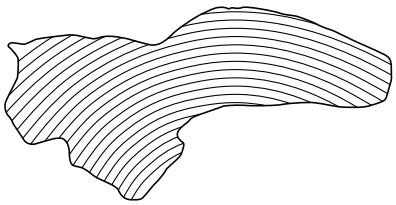


04Bb-SD01-下層-d032 671

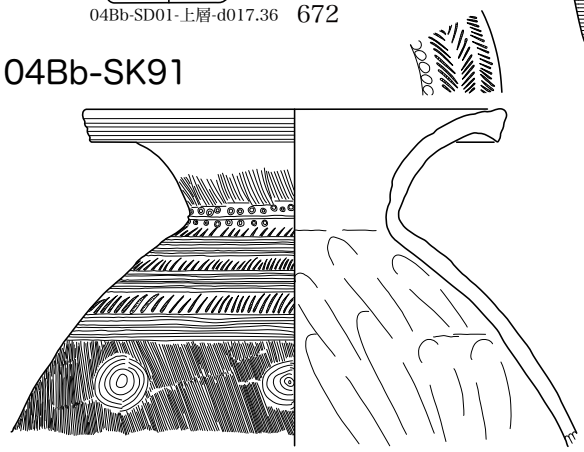
04Bb-SD01-上層-d017.36 672



w241
04Bb-P15- 柱痕
d279-w375



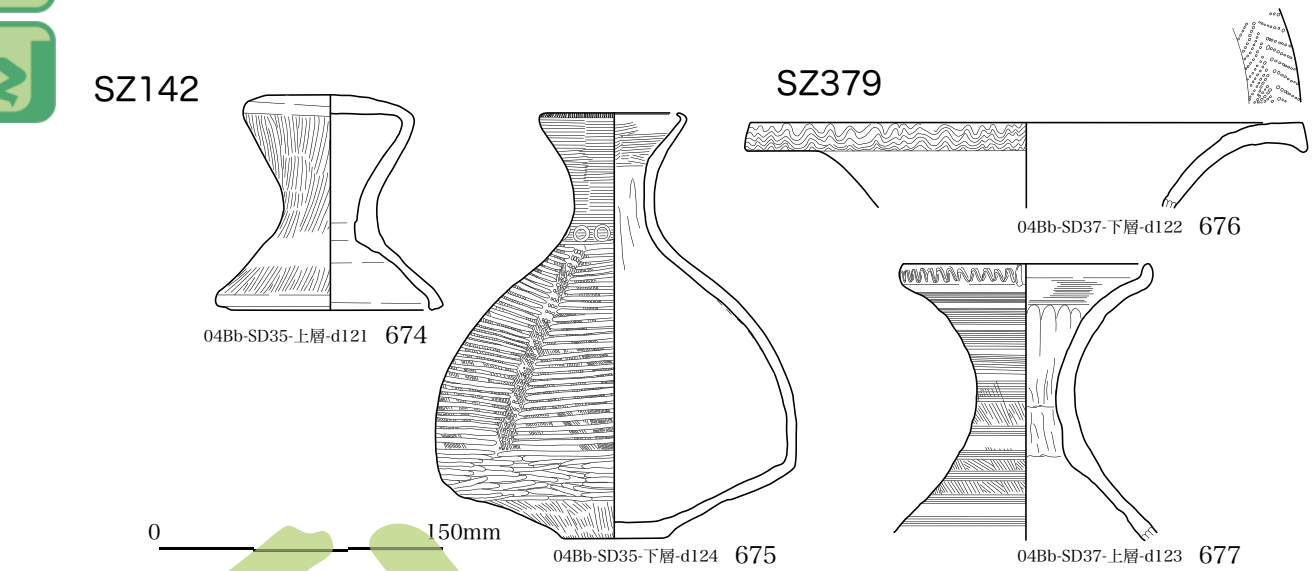
04Bb-SK91



673
04Bb-SK91-d211.217.216

0 150mm

3.4.2.2　04Bb-SZ379 他と土器棺墓



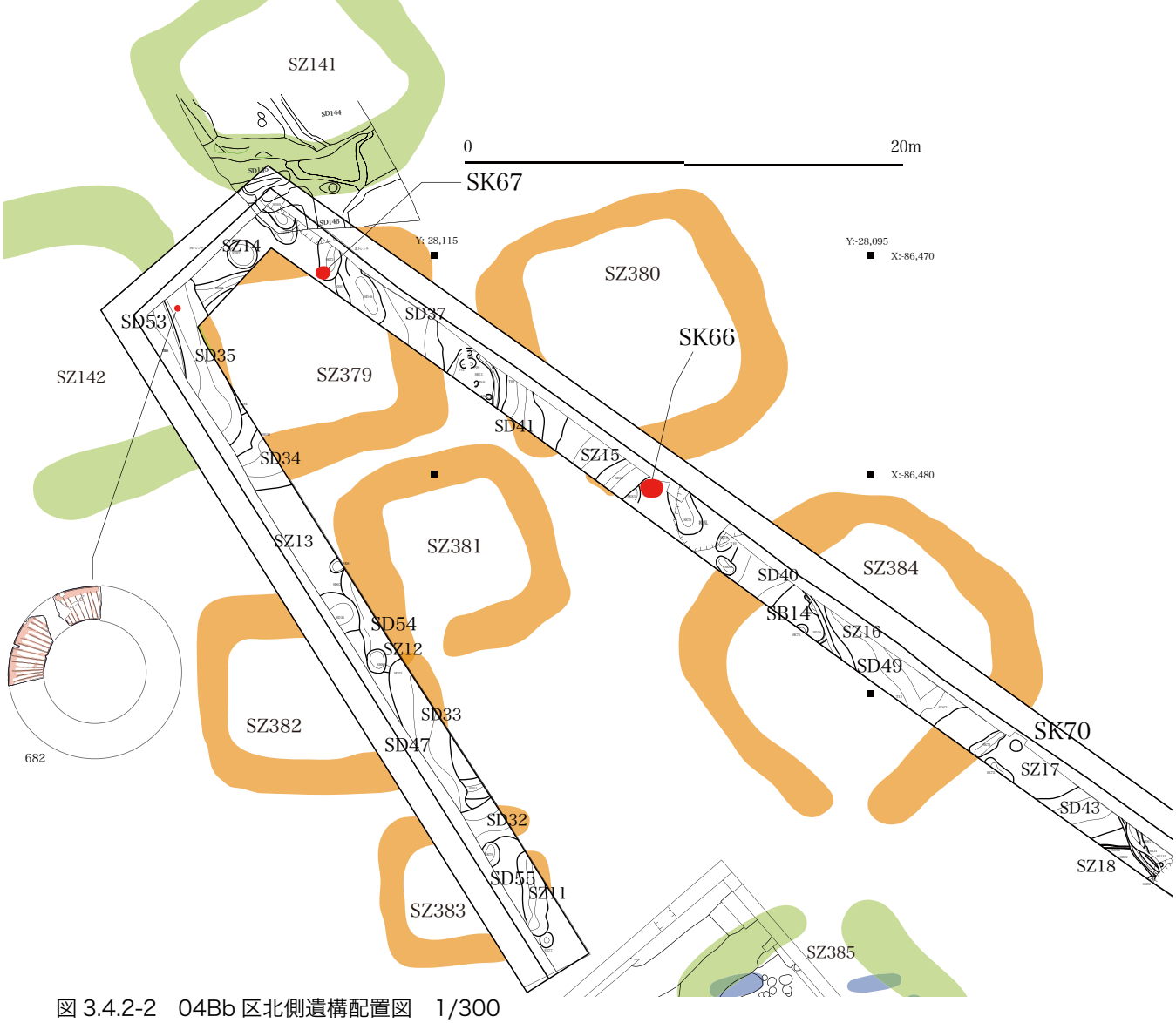
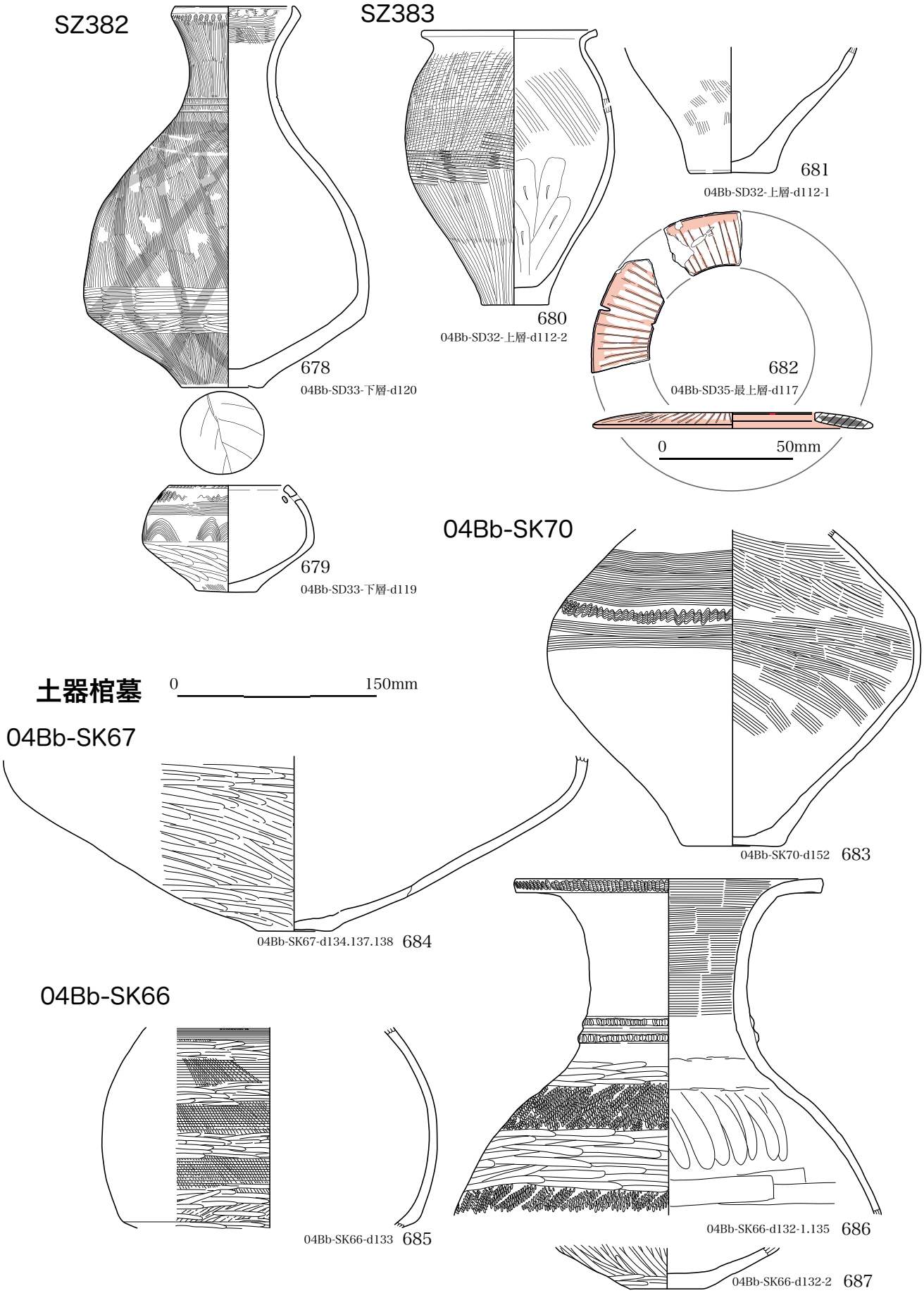
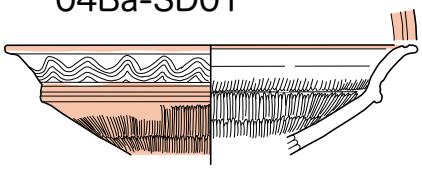


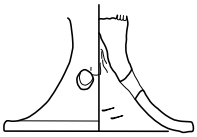
図 3.4.2-2　04Bb 区北側遺構配置図　1/300

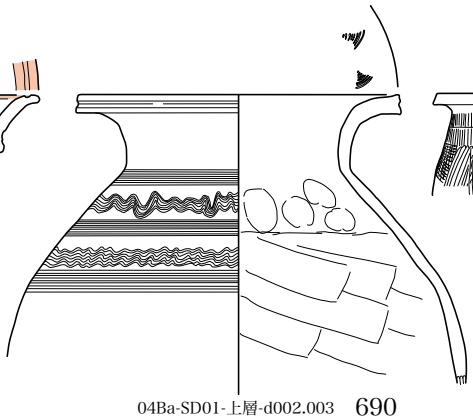

SZ382
678
04Bb-SD33-下層-d120
679
04Bb-SD33-下層-d119
SZ383
680
04Bb-SD32-上層-d112-2
681
04Bb-SD32-上層-d112-1
682
04Bb-SD35-最上層-d117
0
50mm
04Bb-SK70
04Bb-SK70-d152 683
土器棺墓
0
150mm
04Bb-SK67
04Bb-SK67-d134.137.138 684
04Bb-SK66
04Bb-SK66-d133 685
04Bb-SK66-d132-1.135 686
04Bb-SK66-d132-2 687

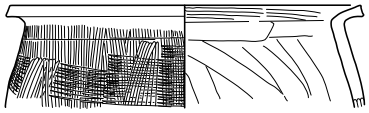
3.4.2.3 SZ413

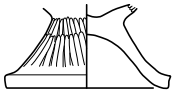
04Ba-SD01

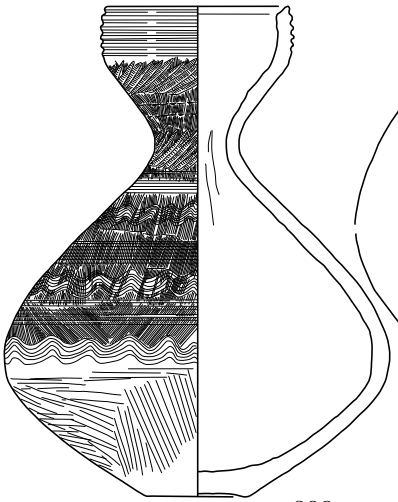

04Ba-SD01-d001 688

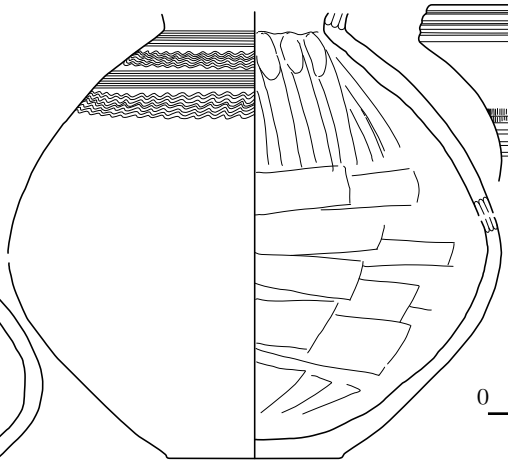

04Ba-SD01-d004 689

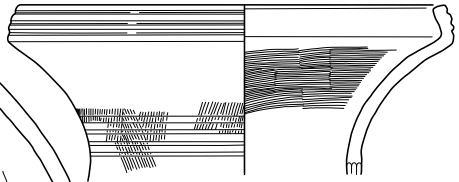

04Ba-SD01-上層-d002.003 690


04Ba-SD01-d010 691


04Ba-SD01-d007 692

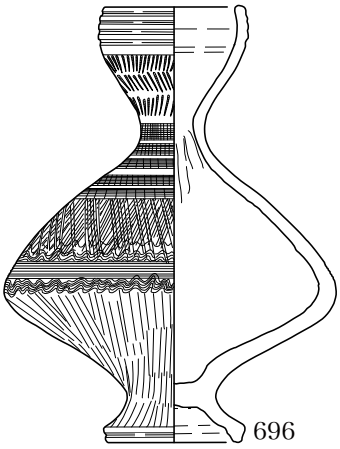

04Ba-SD01-下層-d008 693

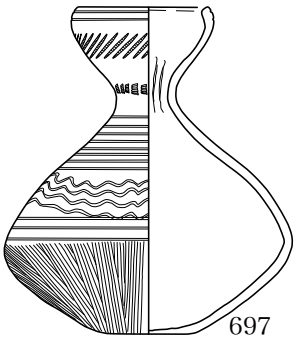

04Ba-SD01-d006 694

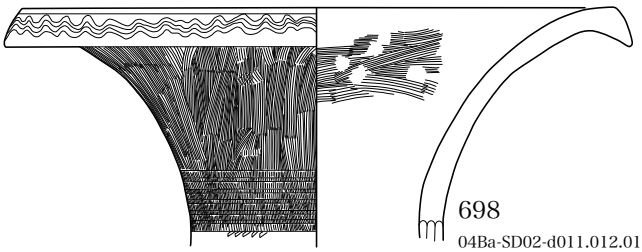

04Ba-SD01-下層-d011.013 695

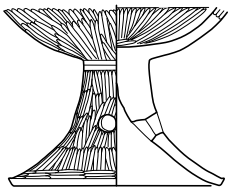
0 150mm

04Ba-SD02

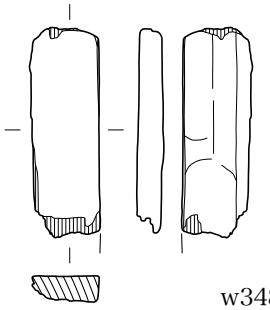

696
04Ba-SD02-d056


697
04Ba-SD02-d055

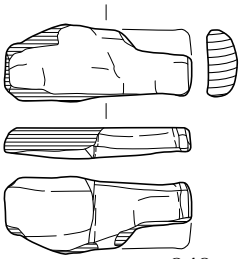

698
04Ba-SD02-d011.012.013


699
04Ba-SD02-d060

w347
04Ba-SD01- 下層 -w611


w348
04Ba-SD01- 下層 -w612

0 150mm


w349
04Ba-SD02- 最下層 -w374

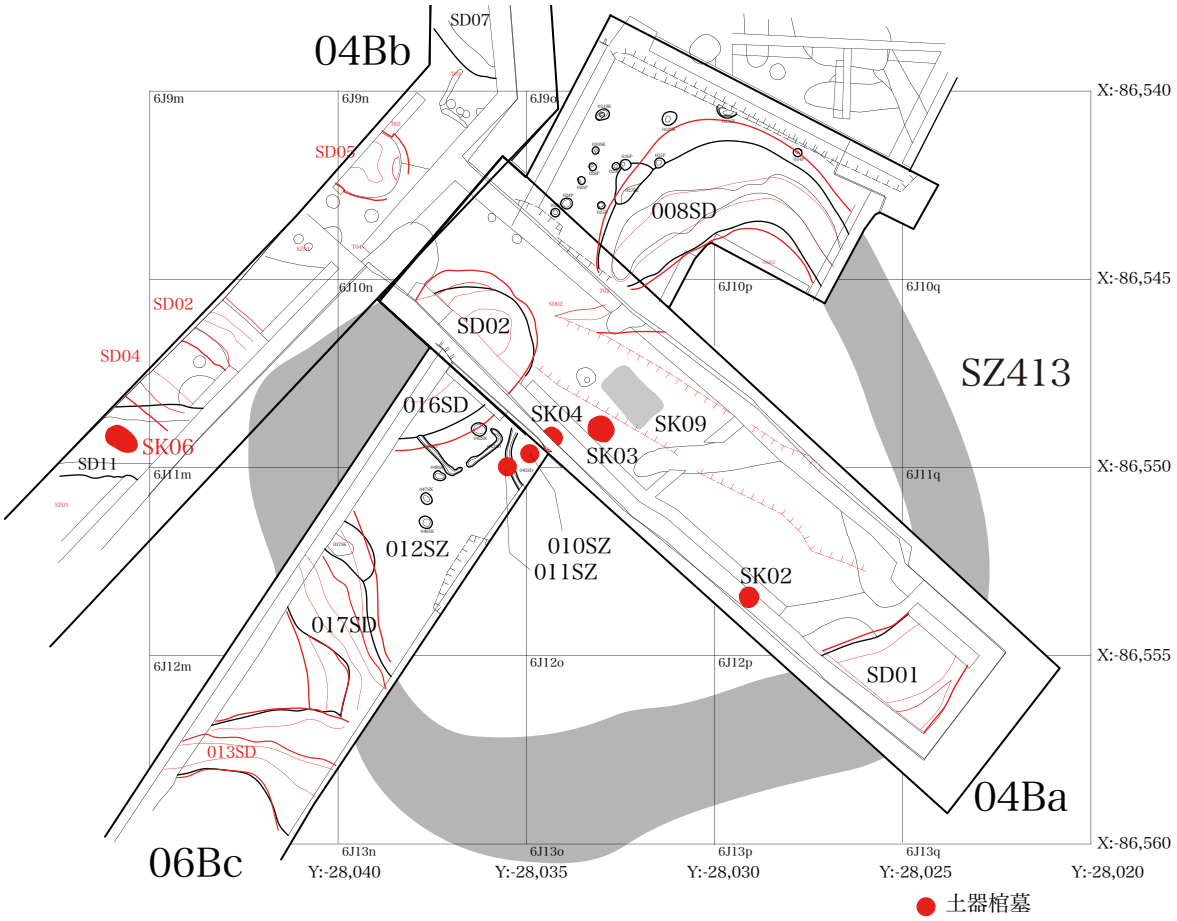
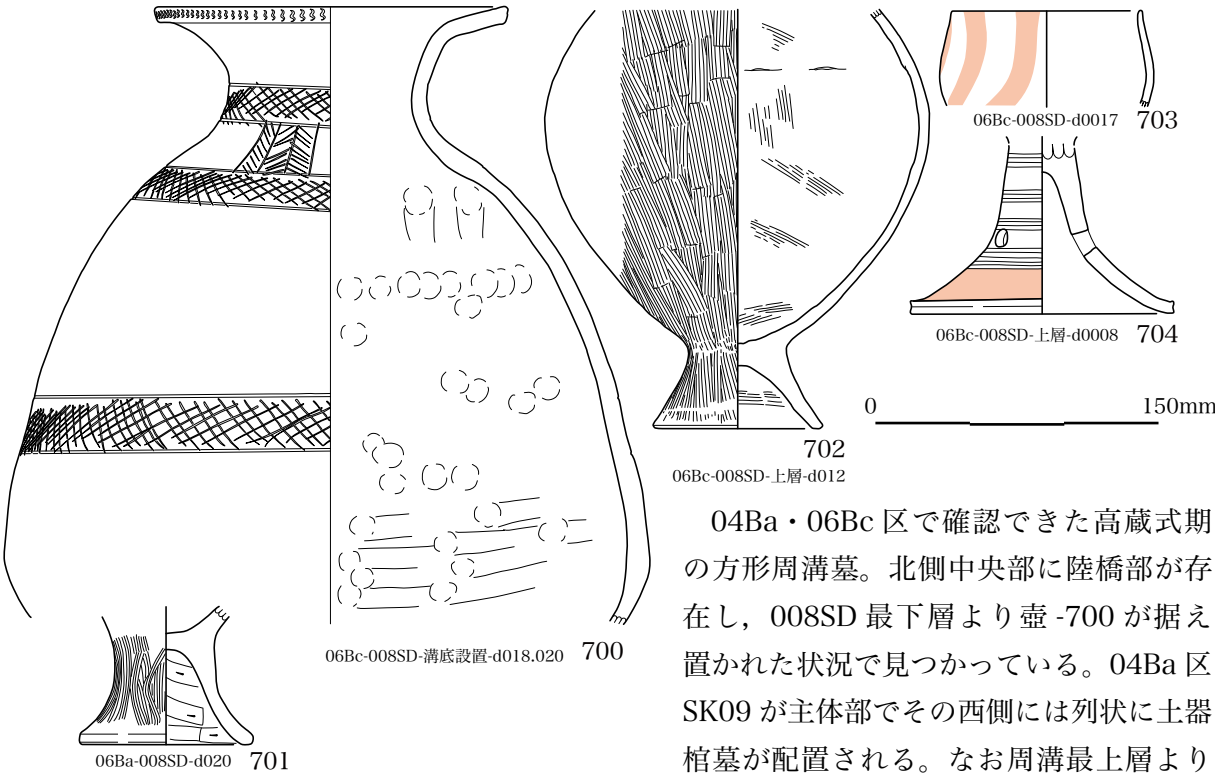


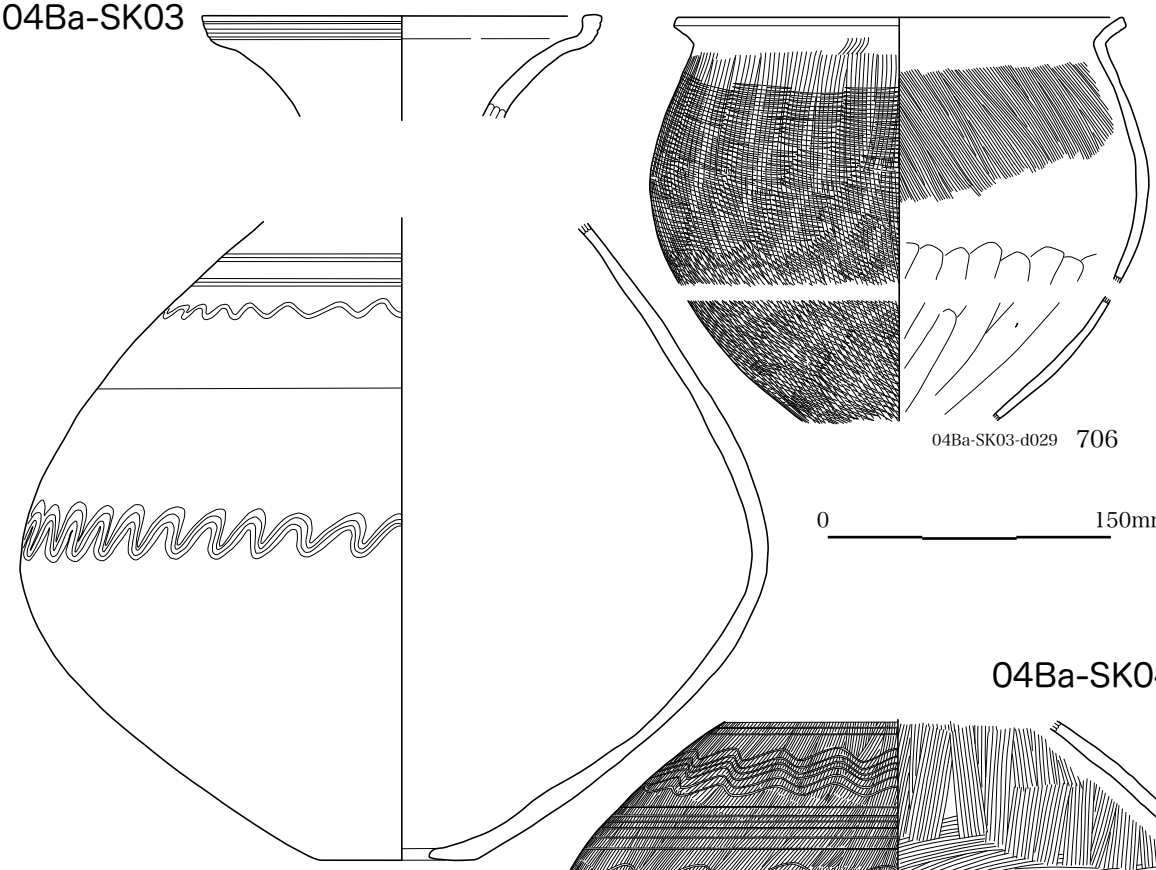
図 3.4.2-3　SZ414 と土器棺墓　1/200

06Ba-008SD



04Ba・06Bc 区で確認できた高蔵式期の方形周溝墓。北側中央部に陸橋部が存在し，008SD 最下層より壺 -700 が据え置かれた状況で見つかっている。04Ba 区 SK09 が主体部でその西側には列状に土器棺墓が配置される。なお周溝最上層より山中式期の遺物が出土する。15.5×11.0m

04Ba-SK03

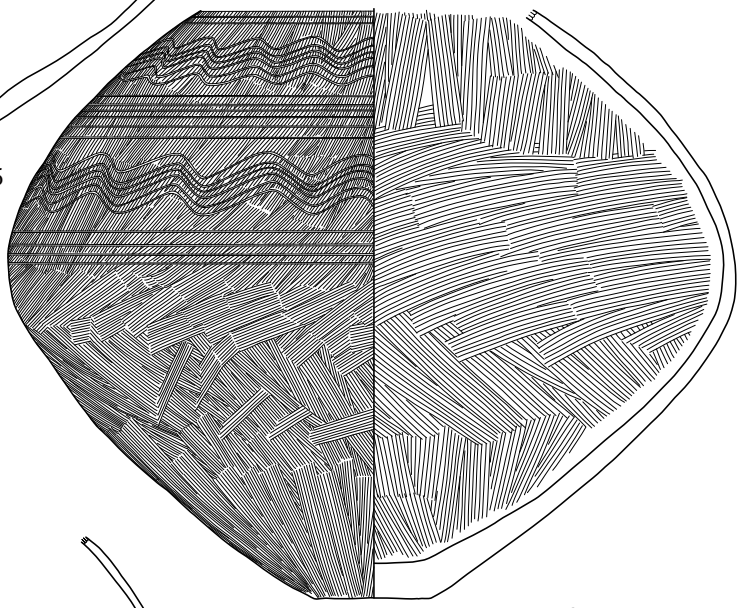


04Ba-SK03-d029 706

0 150mm

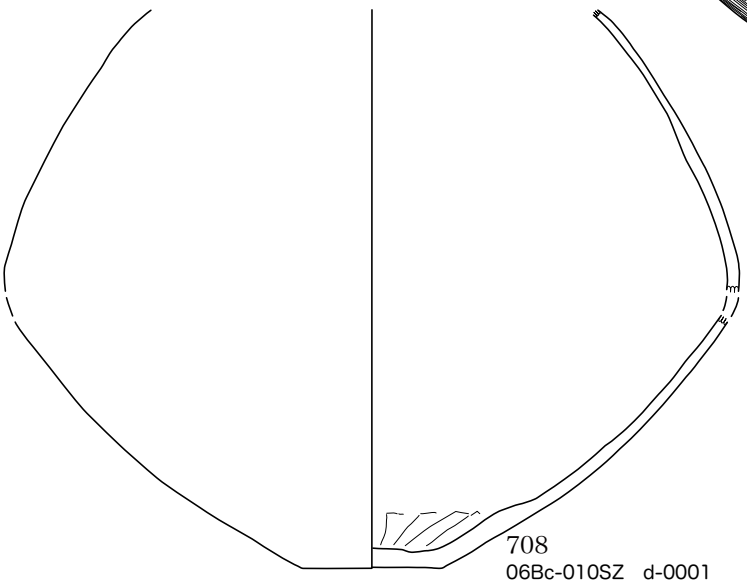
04Ba-SK03-d030 705

04Ba-SK04



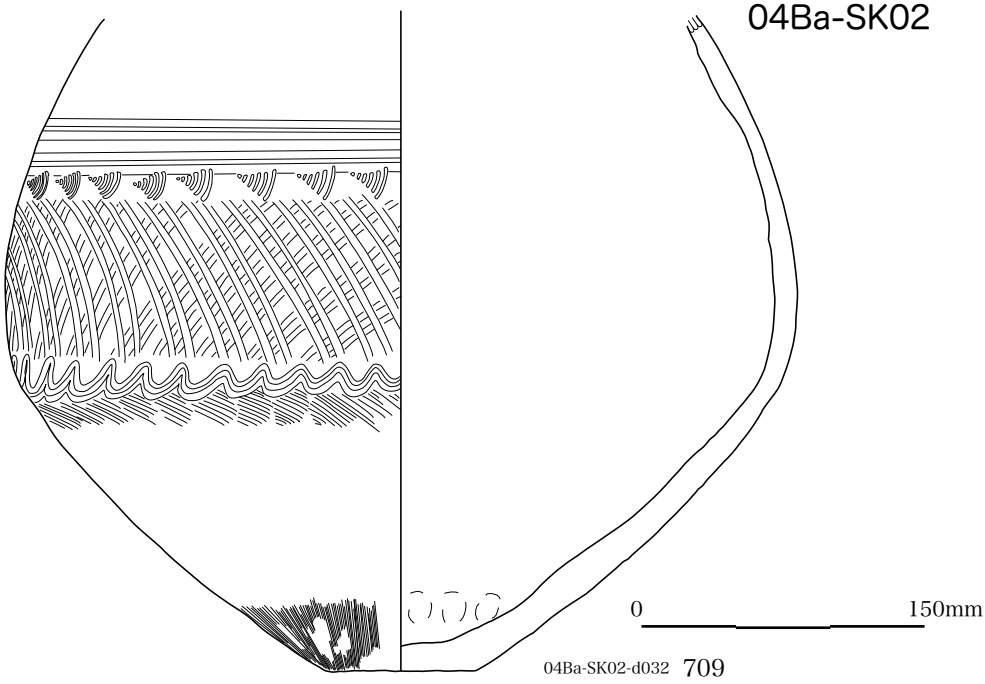
04Ba-SK04-d059・26・27 707

06Bc-010SZ

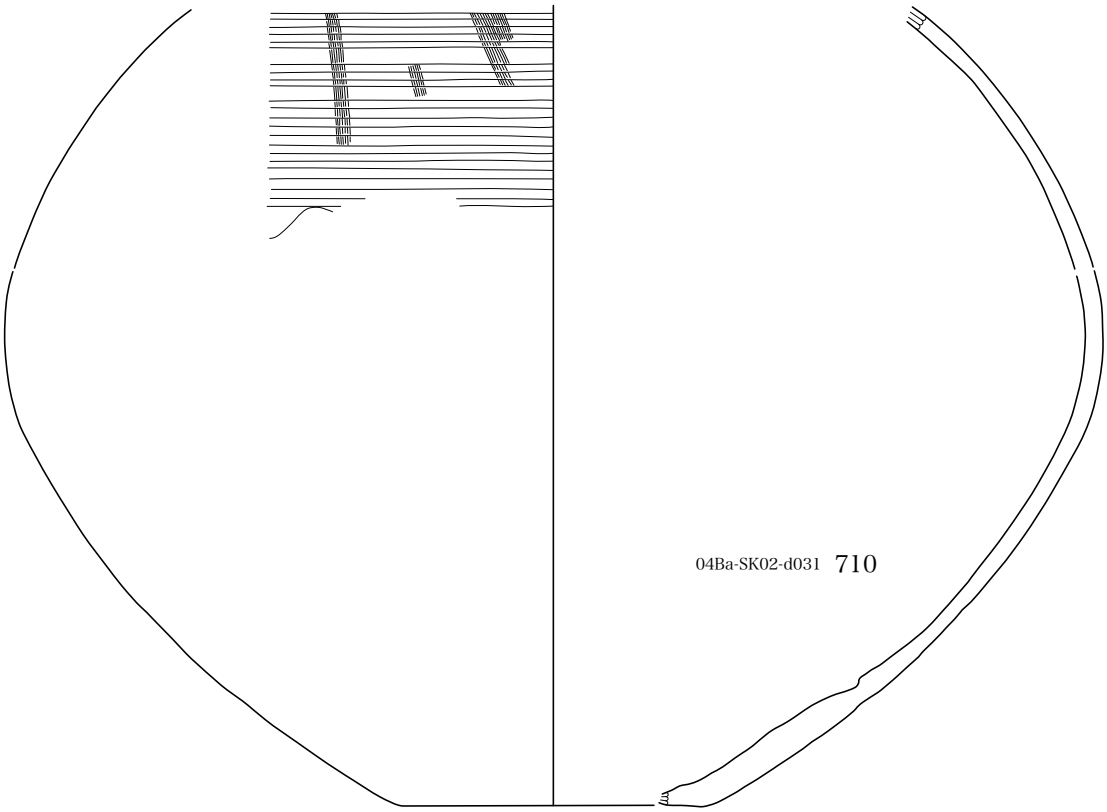


708
06Bc-010SZ d-0001

04Ba-SK02

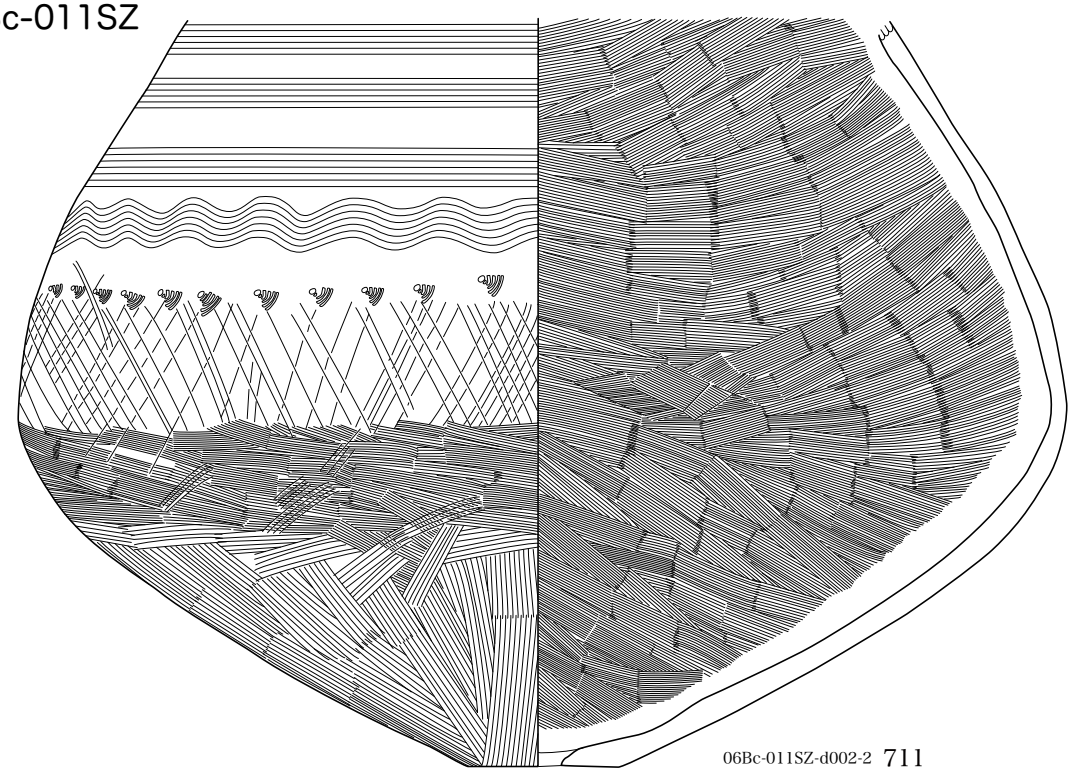


04Ba-SK02-d032 709

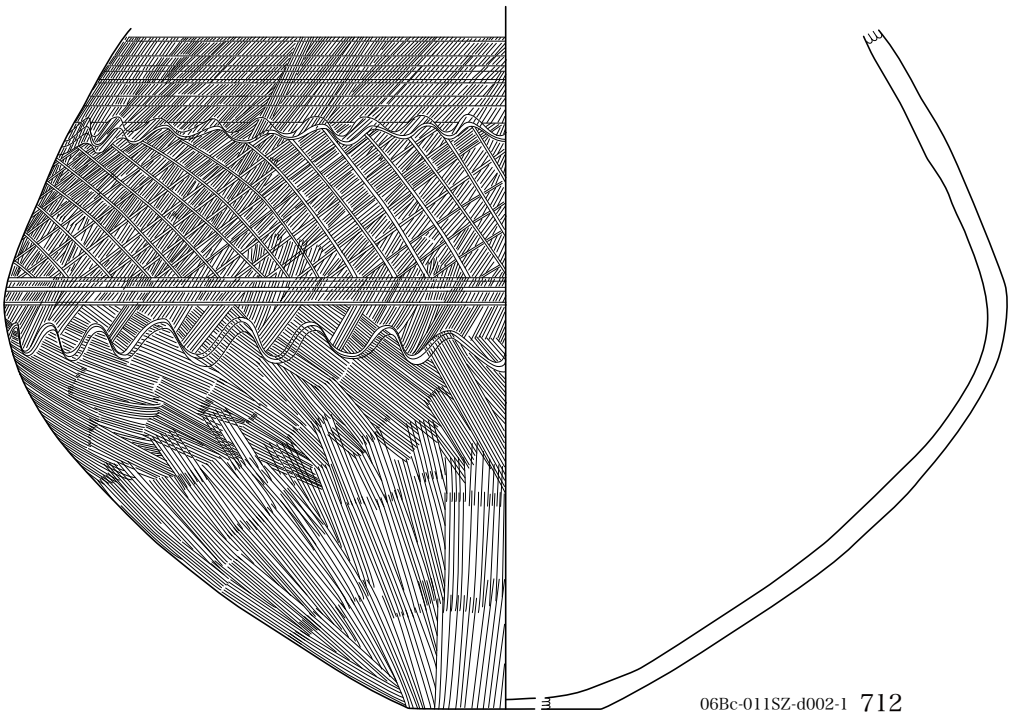


04Ba-SK02-d031 710

06Bc-011SZ

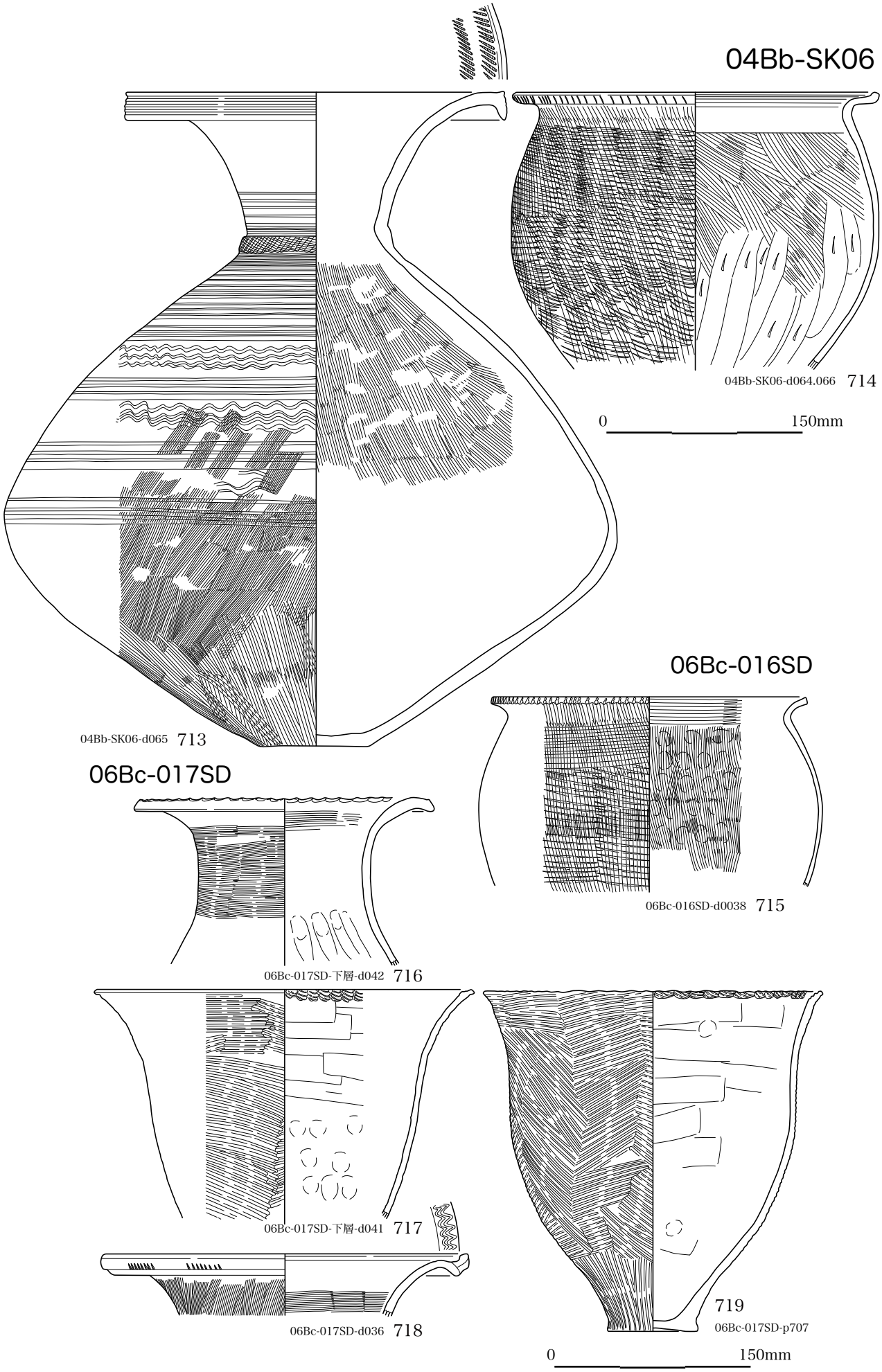


06Bc-011SZ-d002-2 711



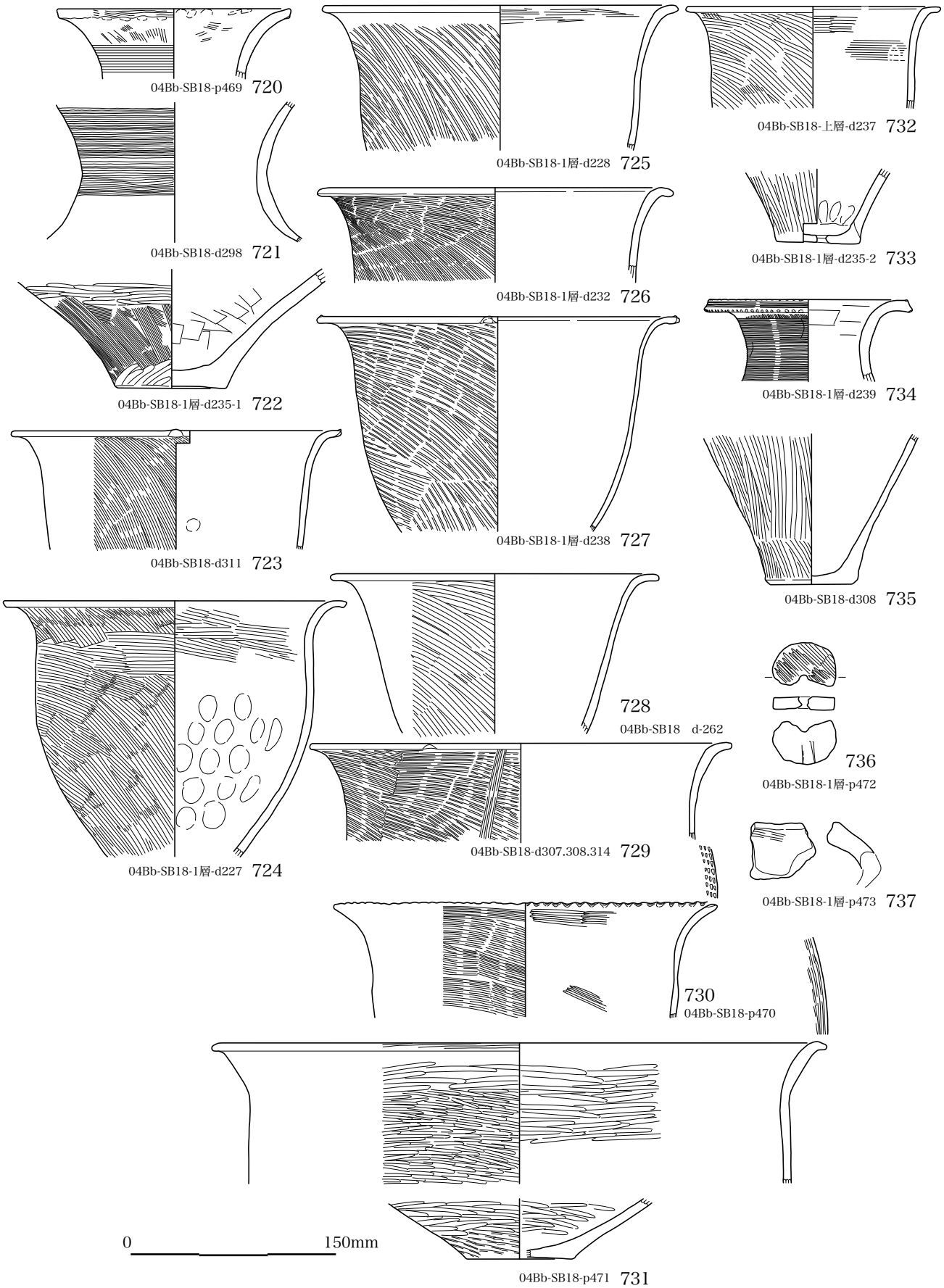
06Bc-011SZ-d002-1 712

0 300mm

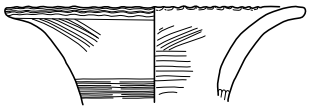

04Bb-SK06
04Bb-SK06-d064.066 714
0 150mm
04Bb-SK06-d065 713
06Bc-016SD
06Bc-016SD-d0038 715
06Bc-017SD
06Bc-017SD-下層-d042 716
06Bc-017SD-下層-d041 717
06Bc-017SD-d036 718
719
06Bc-017SD-p707
0 150mm

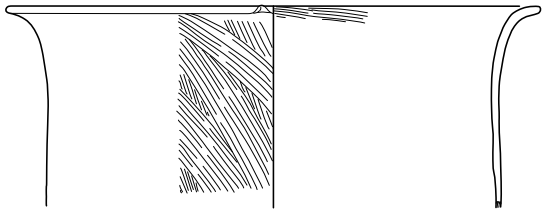
3.4.2.4 04Bb-SB18・19

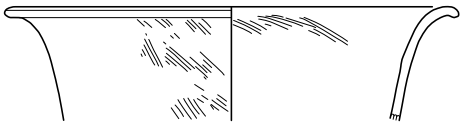
04Bb-SB18_1

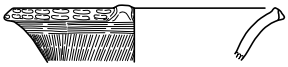


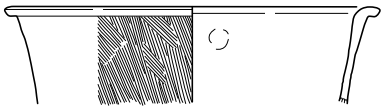
04Bb-SB18_2

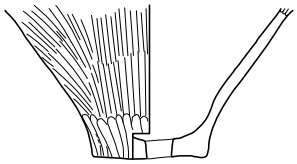

04Bb-SB18-床上-d260 738

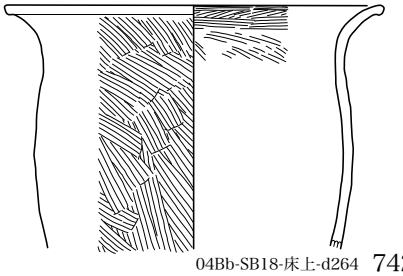

04Bb-SB18-床上-d261 741

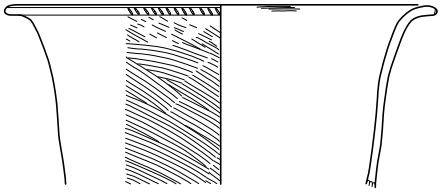

04Bb-SB18-貼床-d312 743

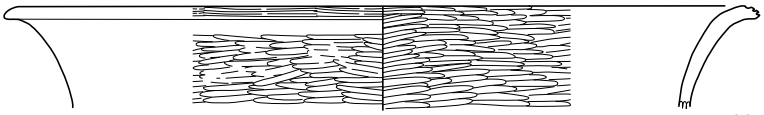

04Bb-SB19-床上-d0275 739

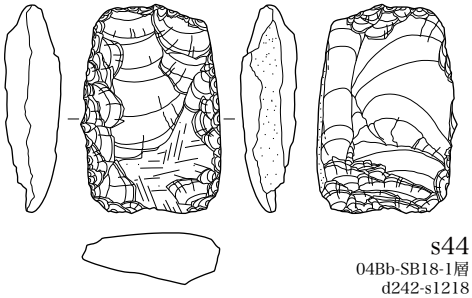

04Bb-SB18-貼床-d311-2 744


04Bb-SB18-床上-d263 740

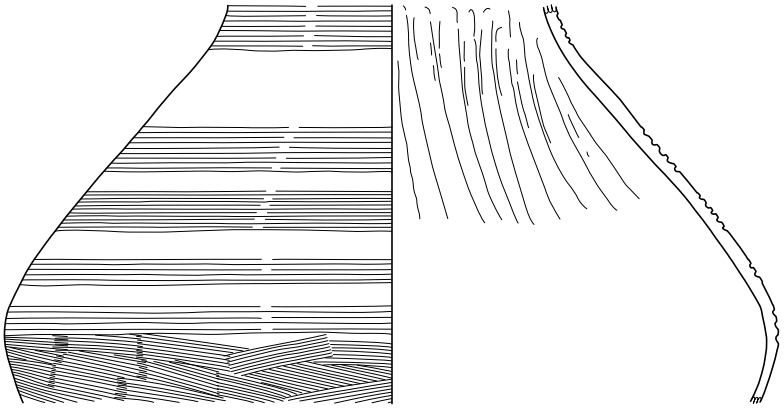

04Bb-SB18-床上-d264 742

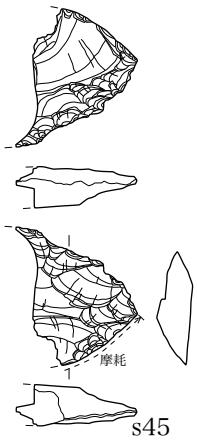

04Bb-SB18-貼床-d268 745


04Bb-SB18-貼床-d0311-1 746


s44
04Bb-SB18-1層
d242-s1218

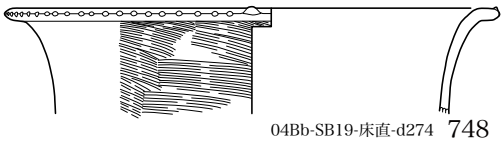
0 50mm

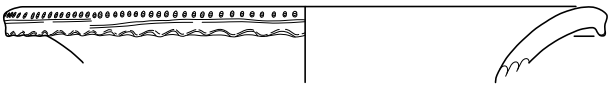

04Bb-SB18-1層-d0230.233 747

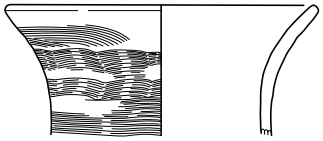


s45
04Bb-SB18-1層
d243-s1216

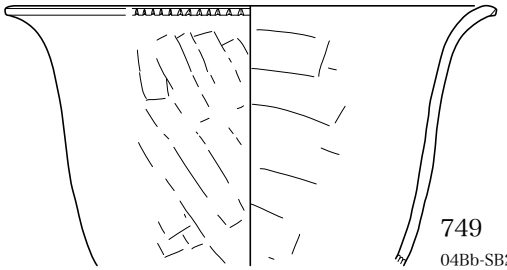
04Bb-SB19


04Bb-SB19-床直-d274 748


04Bb-SB19-床直-d277 750


04Bb-SB19-d314 751

0 150mm


749
04Bb-SB23-d316

3.4.2.5　06Ba-005SD

06Ba 区中央部に存在し，北墓域南端を東西に直線的に設置される大溝 006SD と併行する。溝の層序は上から朝日 U・M・H 層と堆積し，H 層は植物遺体層を含む粘土層とシルト層に区分できる。その内のシルト層からは比較的まとまって八王子古宮式期に所属する土器が出土している（上層）。 H 層の下には朝日 T 層が堆積するが，その上位の間層として朝日 T-SA 層と想定する中粒砂が 2cm ほど確認できる。朝日 T 層より下位には砂混じりの黒色シルト層が堆積し，上位にはハマグリを下位にはマガキを中心とした貝層の堆積が認めれる（下層）。木製品を含む朝日式期の土器を包含する。溝最下層にはシルト・砂のラミナ状の堆積が見られ，若干の流水の痕跡が認められる。T-SA 層を含むほとんど遺物が混在しない中層（層序番号 -27 ～ 30）をはさんでその前後に上層と下層とに大きく区分できる。溝の掘削は朝日式期の段階であり，当初はほぼ垂直に掘削された箱堀状であったと想定できる。なお 005SD は，04Bc 区で検出した SD02・SD03 に連続する大溝と思われる。

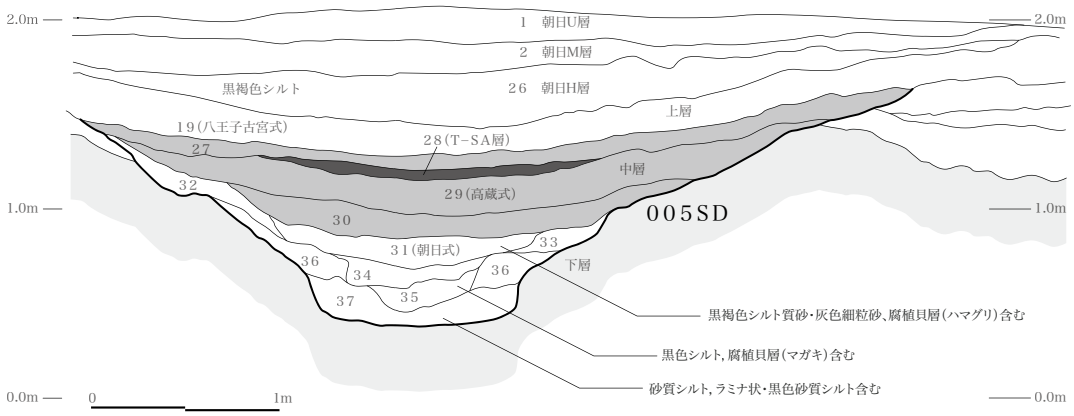
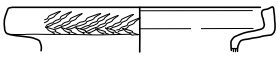


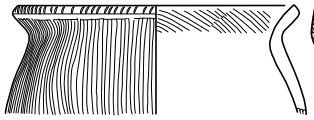
図 3.4.2-4　06Ba 区 005SD 断面図　1/50

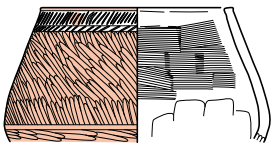
06Ba-005SD_1

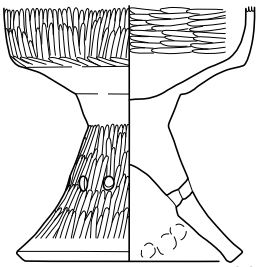
06Ba-005SD_2

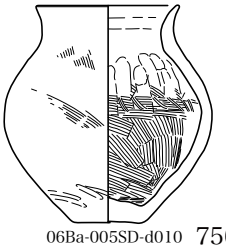
上層

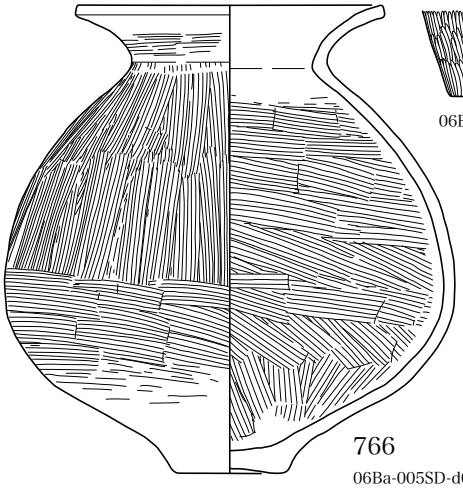

06Ba-005SD-p282 754

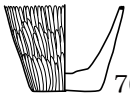

06Ba-005SD-d050 755

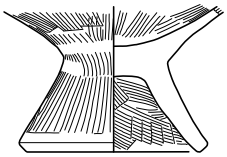

06Ba-005SD-p0283 759

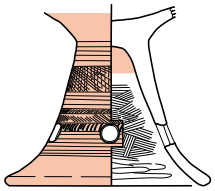

06Ba-005SD-p280 760

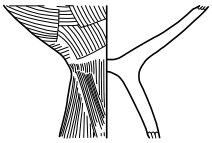

06Ba-005SD-d010 756

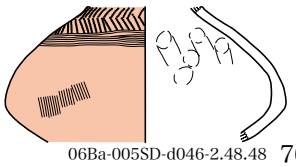

766
06Ba-005SD-d047.45.46

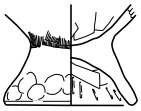

765
06Ba-005SD-p274

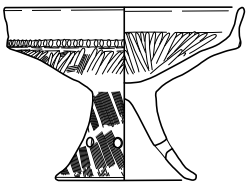

06Ba-005SD-d045 757

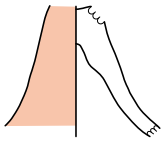

06Ba-005SD-d248 761

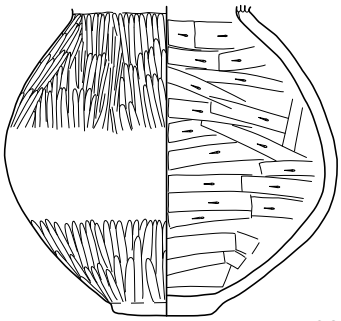

06Ba-005SD-d052 763


06Ba-005SD-d046-2.48.48 767


06Ba-005SD-d046-1 758

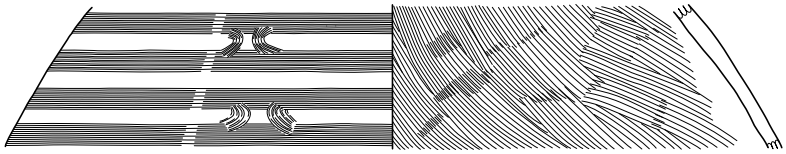

06Ba-005SD-p279 762

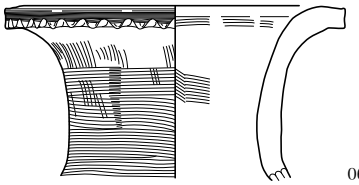

06Ba-005SD-d053 764

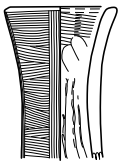

06Ba-005SD-d45.47.48 768

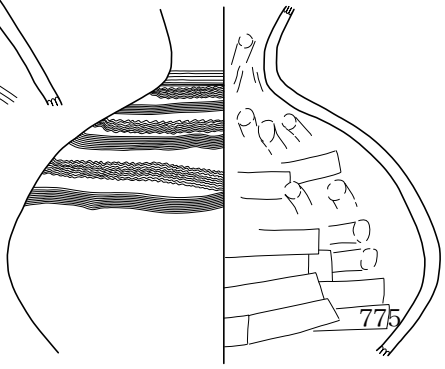
下層

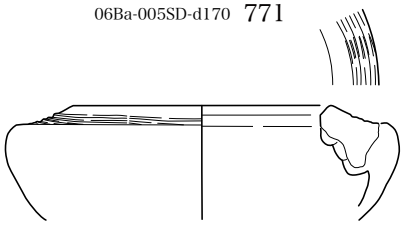
06Ba-005SD-p278 769

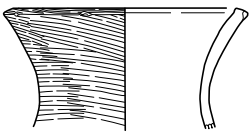

06Ba-005SD-d166.178 770

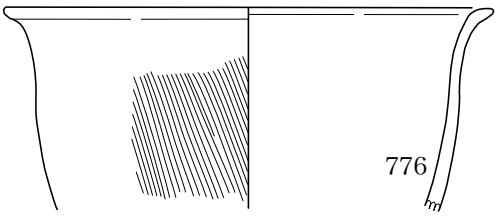

06Ba-005SD-d170 771


06Ba-005SD-d159 773

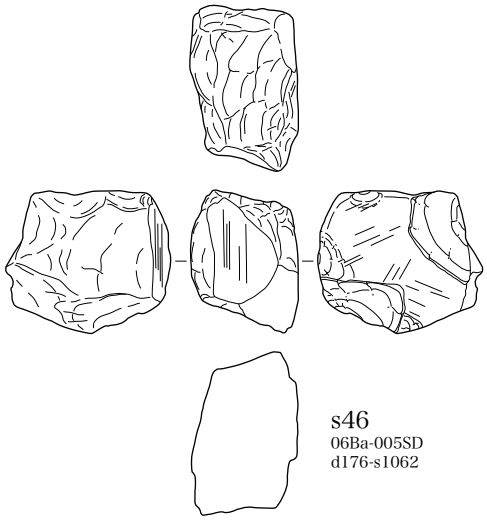

775
06Ba-005SD-d051


06Ba-005SD-p281 772

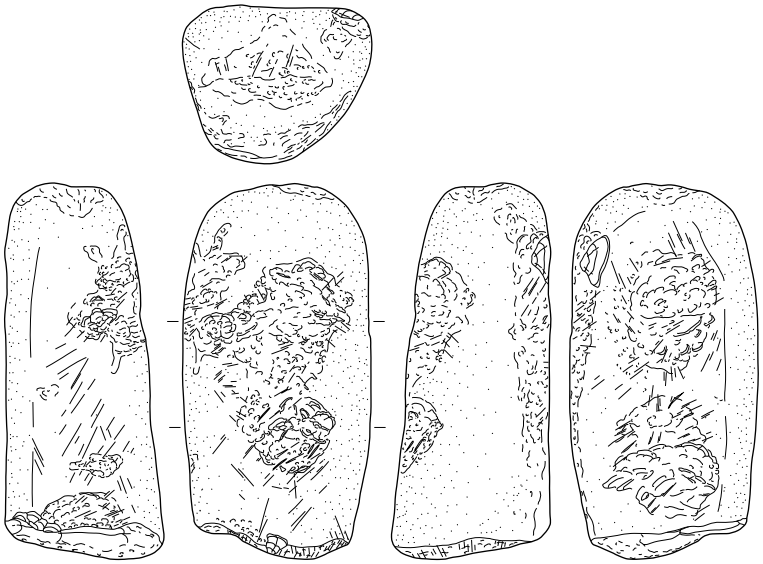

06Ba-005SD-p277 774


776
06Ba-005SD-p276

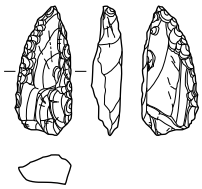
06Ba-005SD_3 下層



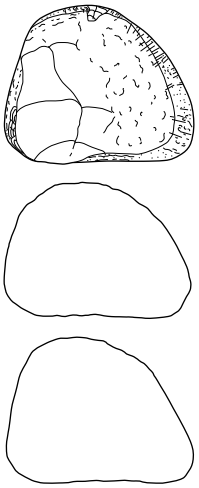
s46
06Ba-005SD
d176-s1062

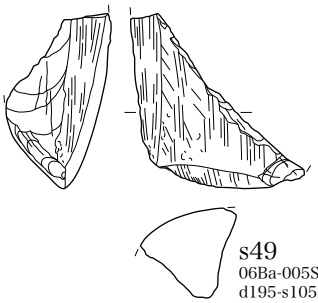


s48
06Ba-005SD
d189-s1060

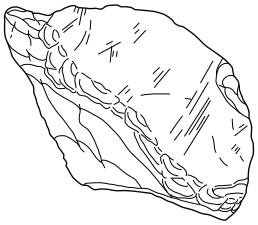


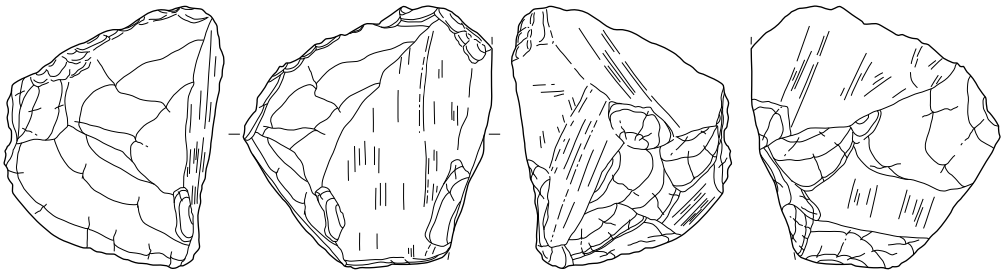
s47
06Ba-005SD
s1056



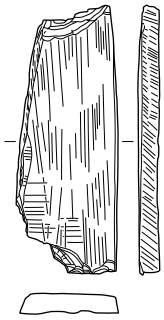


s49
06Ba-005SD
d195-s1052





s50
06Ba-005SD
s1061

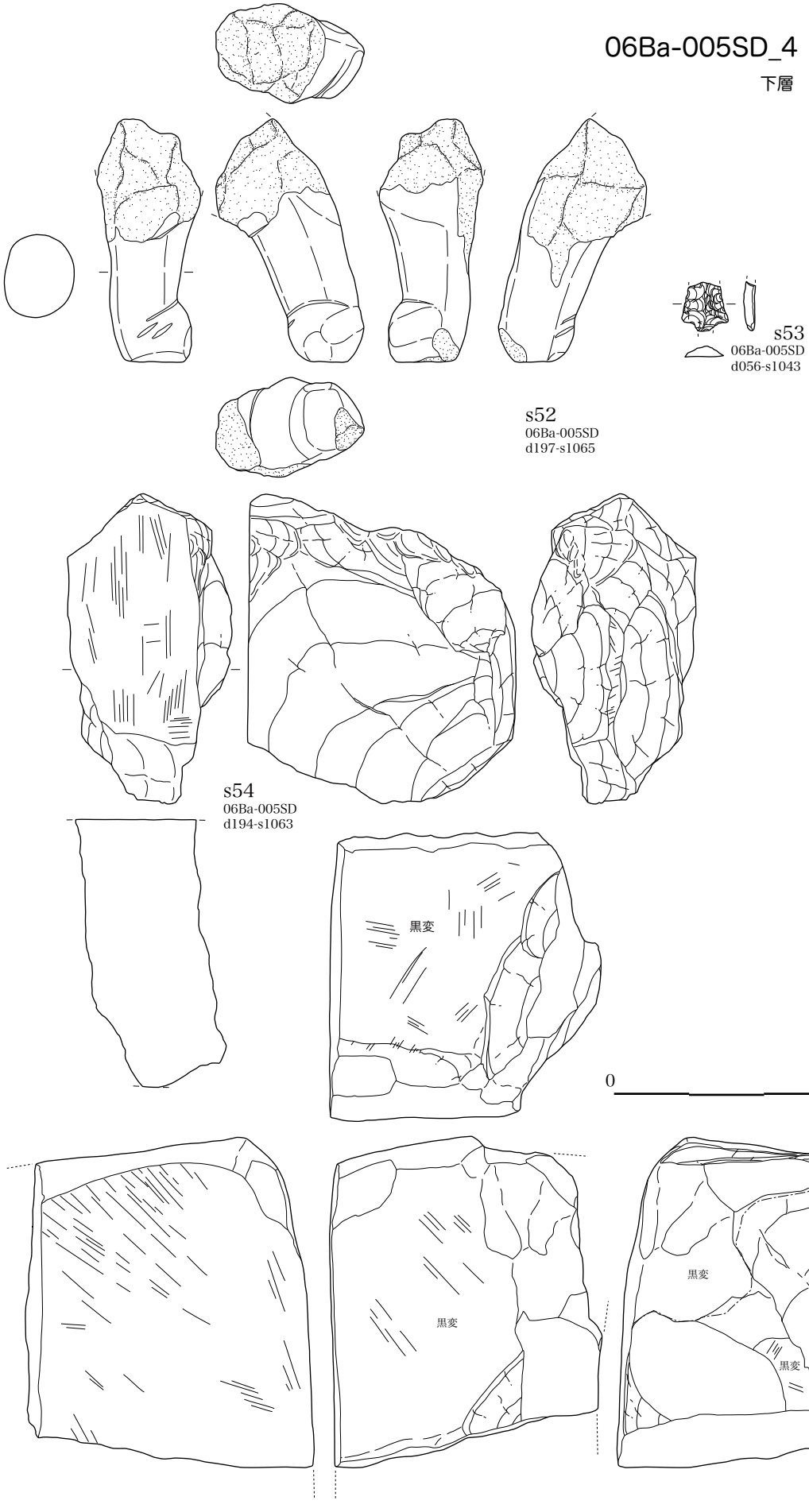


s51
06Ba-005SD
d131-s1055

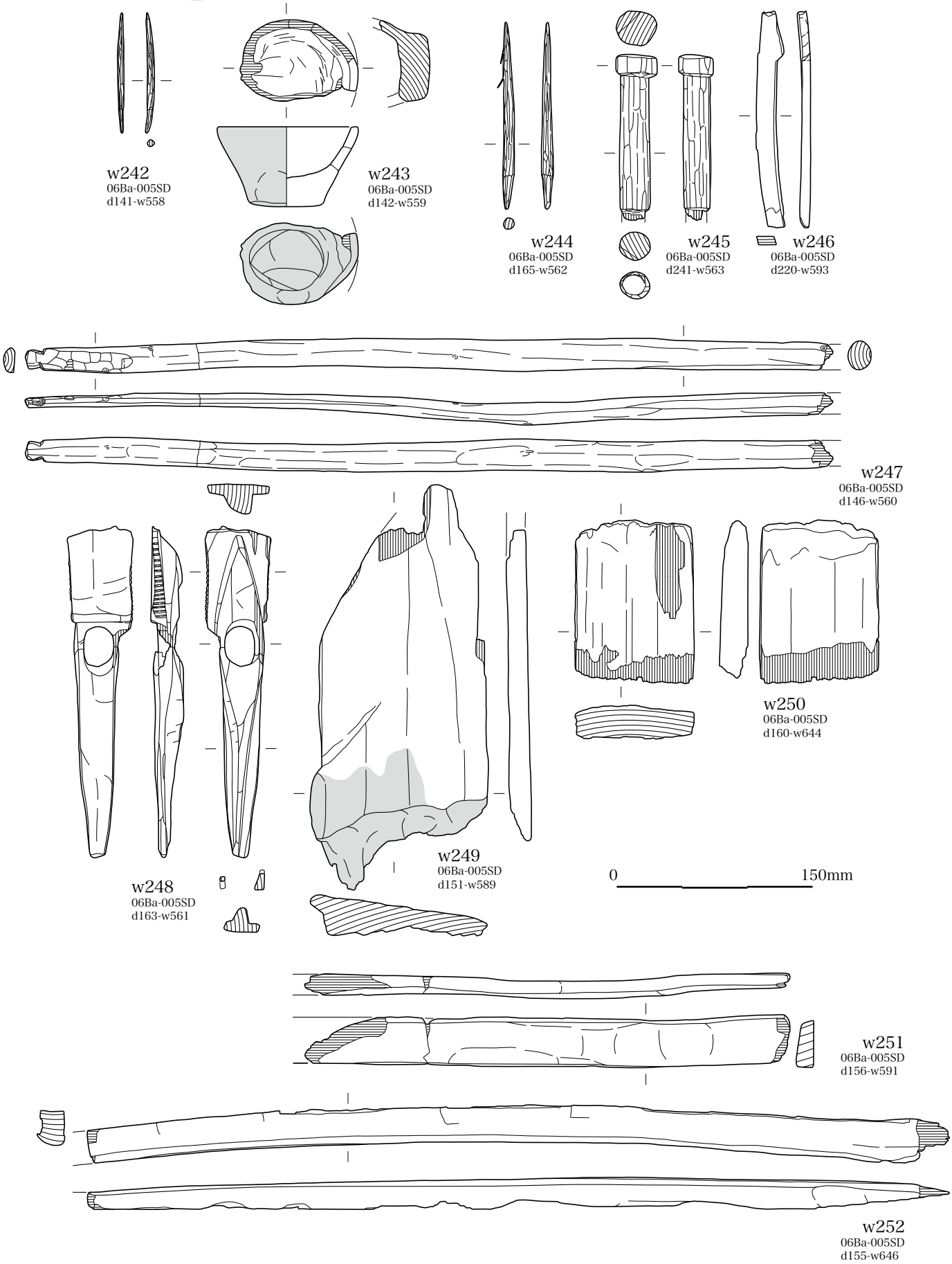
0 150mm

06Ba-005SD_4

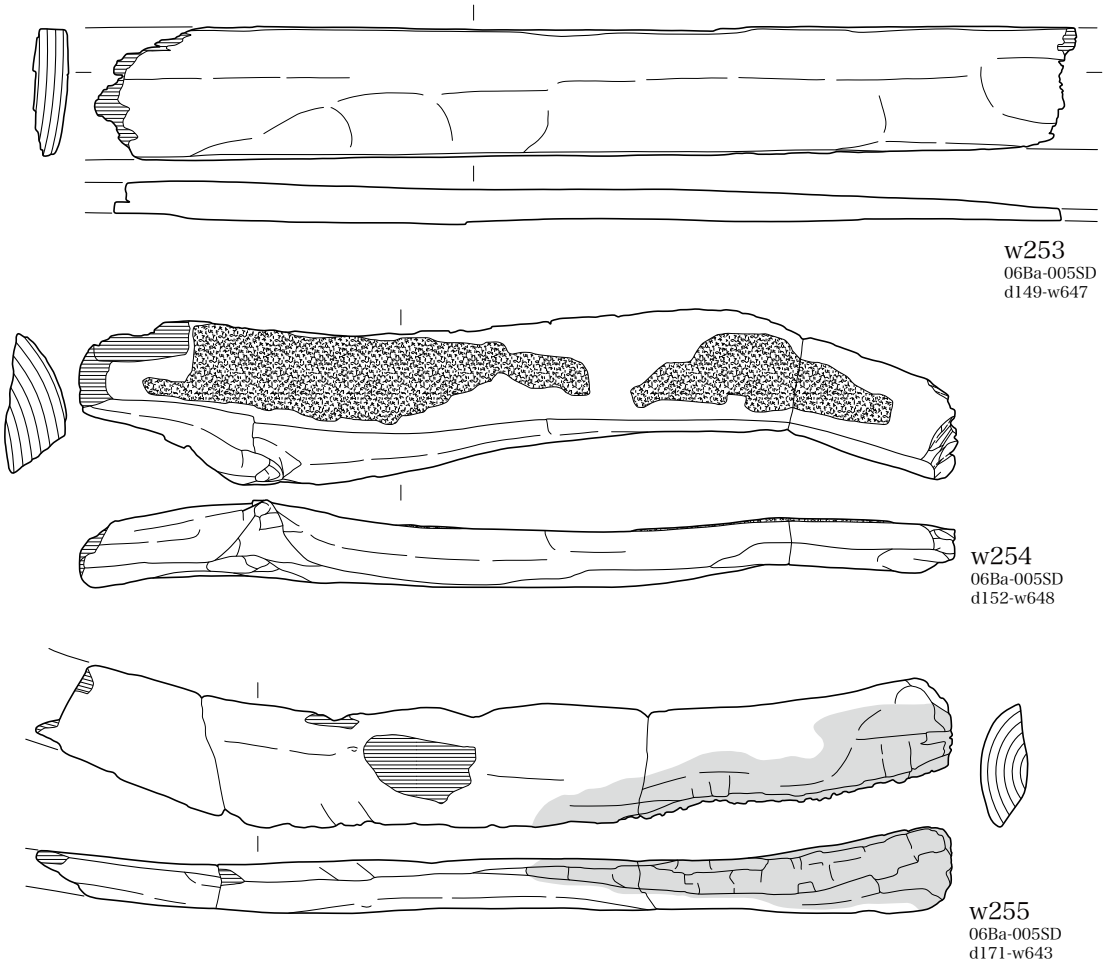
下層



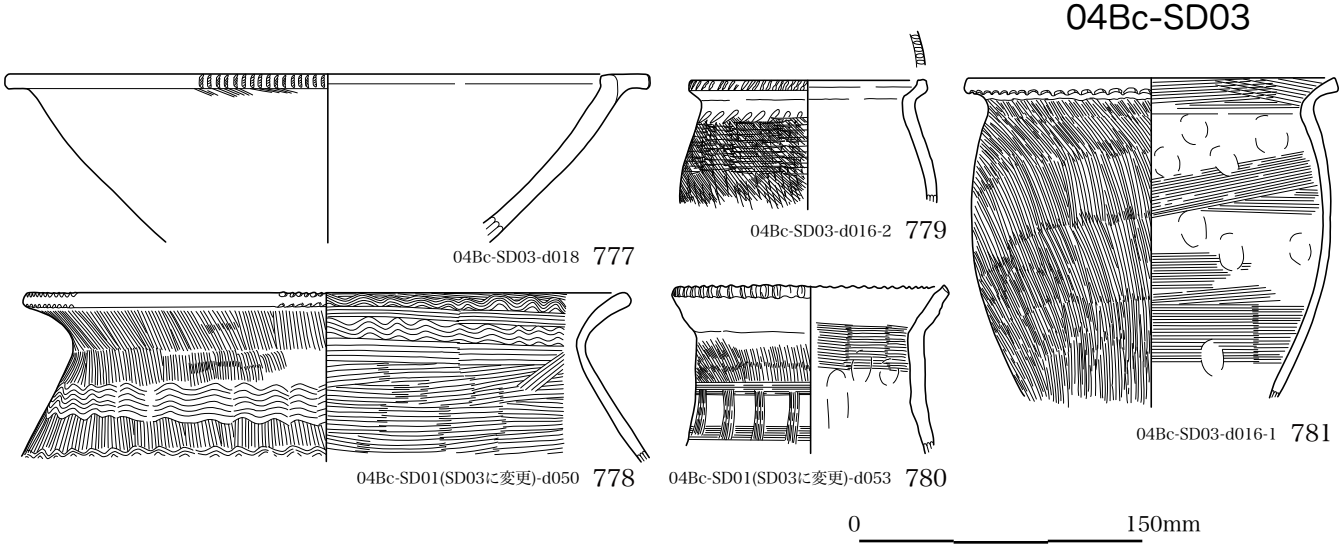
06Ba-005SD_5 下層



下層 06Ba-005SD_6



04Bc-SD03



3.4.2.6　06Ba-009SX（貝塚）

06Ba 区南東端に存在する方形状の高まりで，010SX と同様な貝塚遺構と思われる。谷 A 右岸に面して作られ南北 5.5m で高さ 0.3m を測る。大きく二層の堆積層に区分でき，その下位には黒色シルト層が堆積する。第 1 層 009SX-1 は黒褐色シルトで，その上位面から朝日式期の甕 -782 が見つかっている。第 2 層は粘り気の強い砂まじりのオリーブ黒色シルトが堆積する。なお下層には，010SX で認められたような方形周溝墓の存在は確認できない。朝日式期の遺物を包含する。

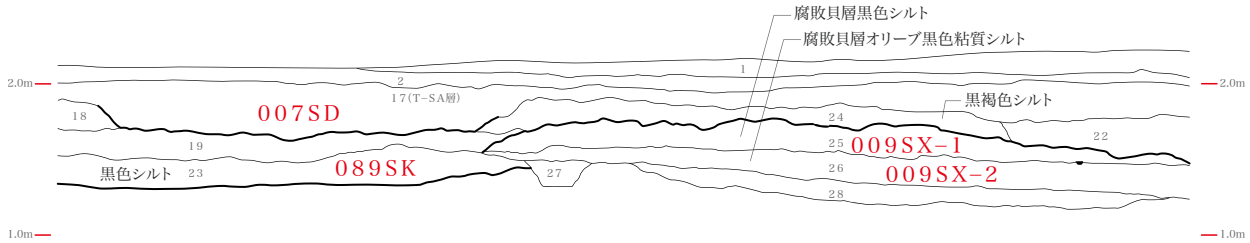
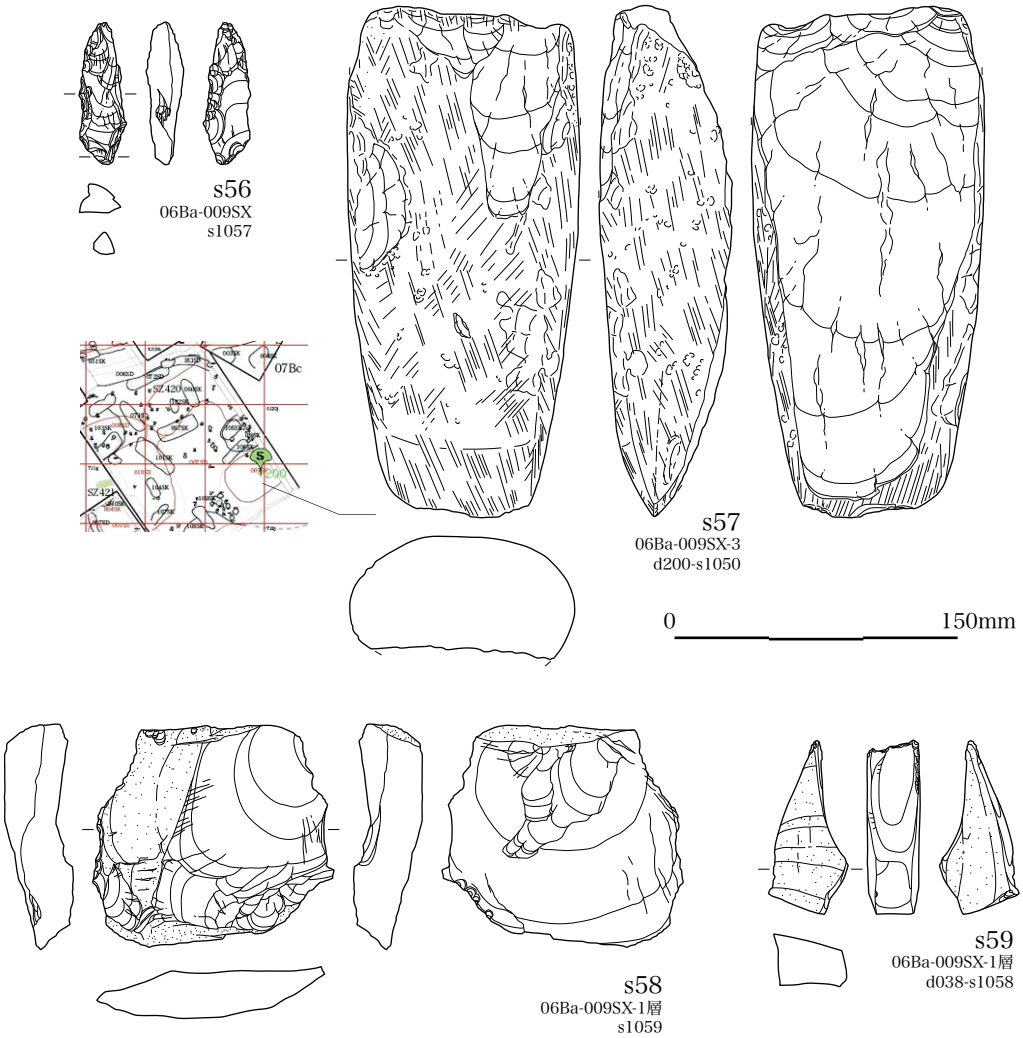
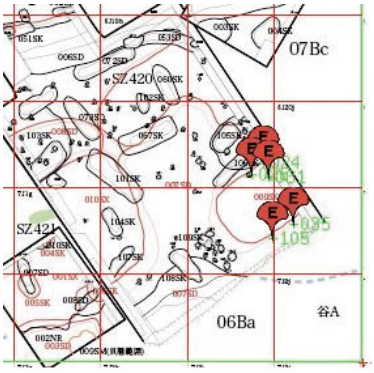


図 3.4.2-5　06Ba 区 009SX 断面図　1/50

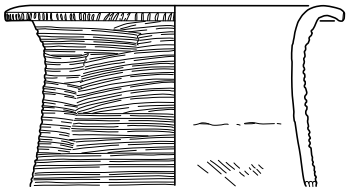
06Ba-009SX_1



土器の出土分布

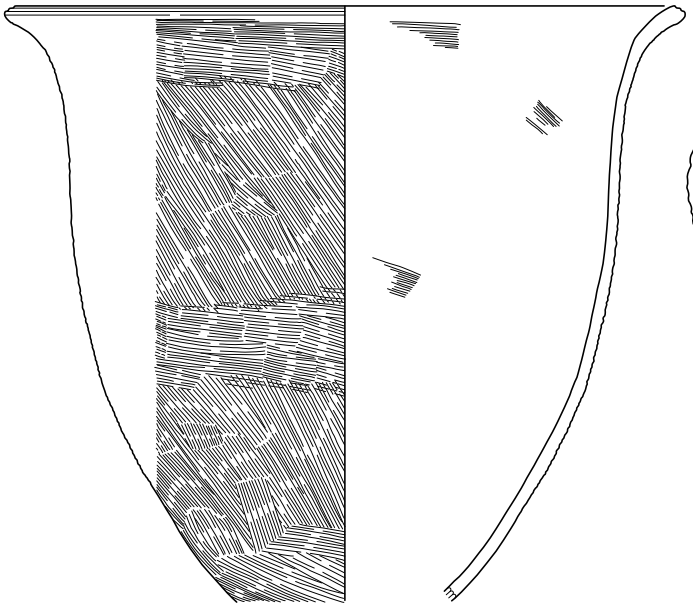


06Ba-009SX_2

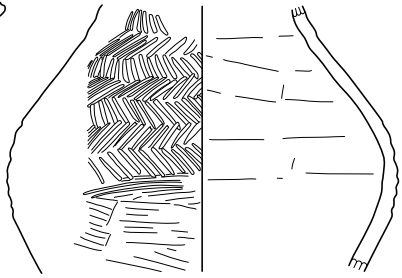


06Ba-009SX-d026 783

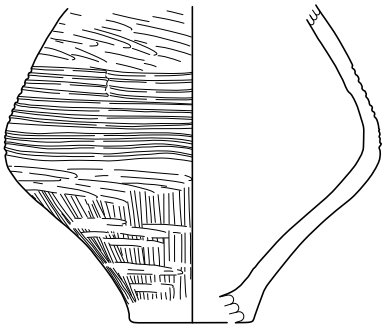
0 150mm



06Ba-009SX-1層-d035 782



06Ba-009SX-d024 784



06Ba-009SX-1層-d105 785

3.4.2.7　06Ba-010SX・07Ba-001SX（貝塚）

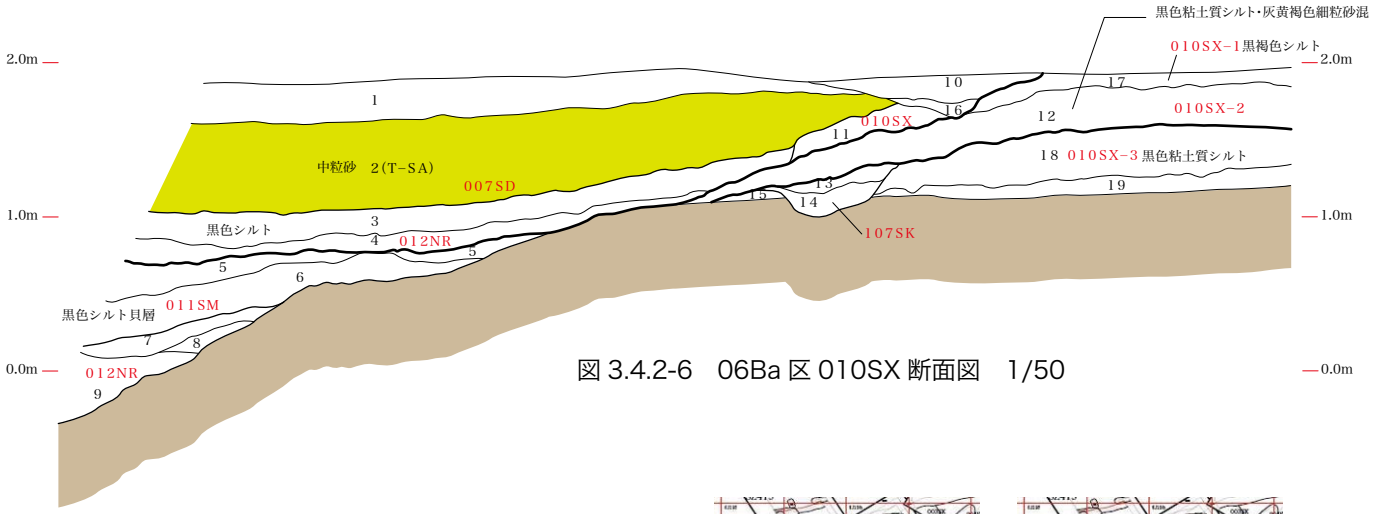
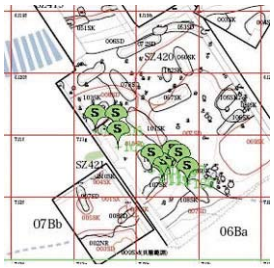
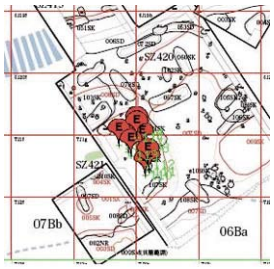


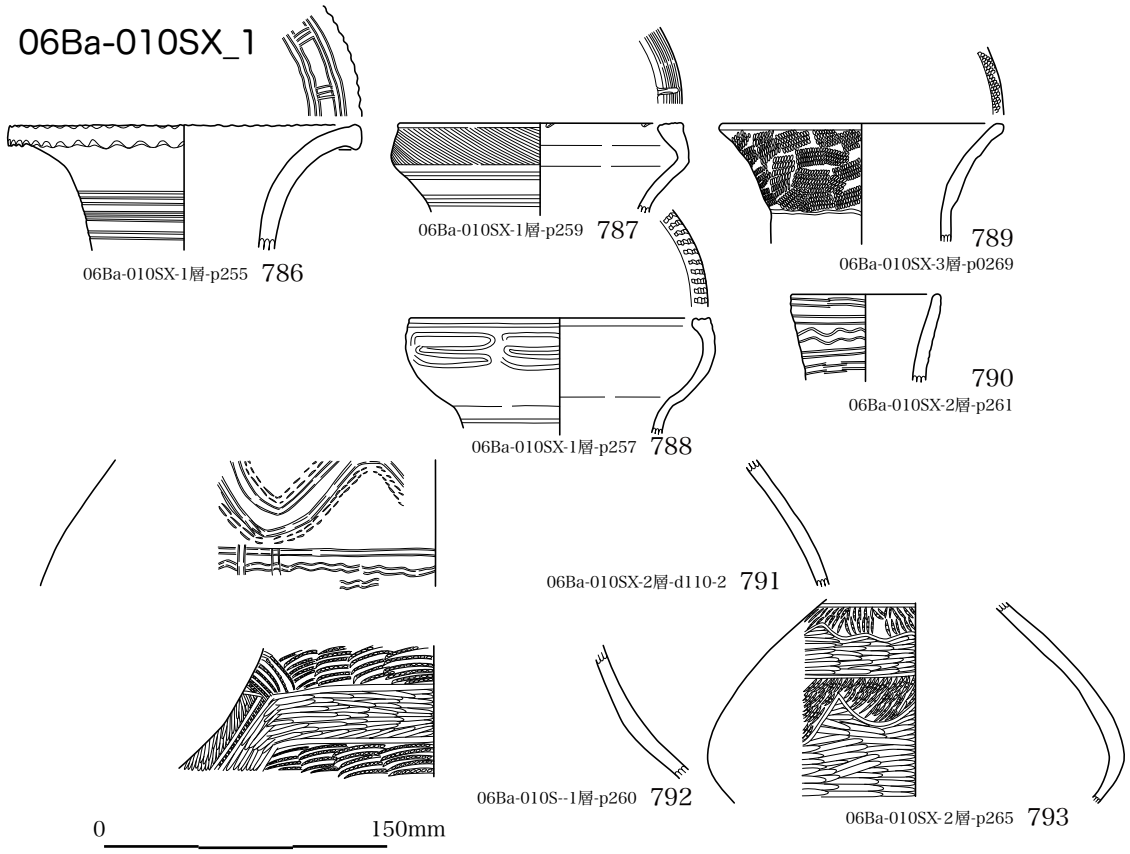
図 3.4.2-6　06Ba 区 010SX 断面図　1/50

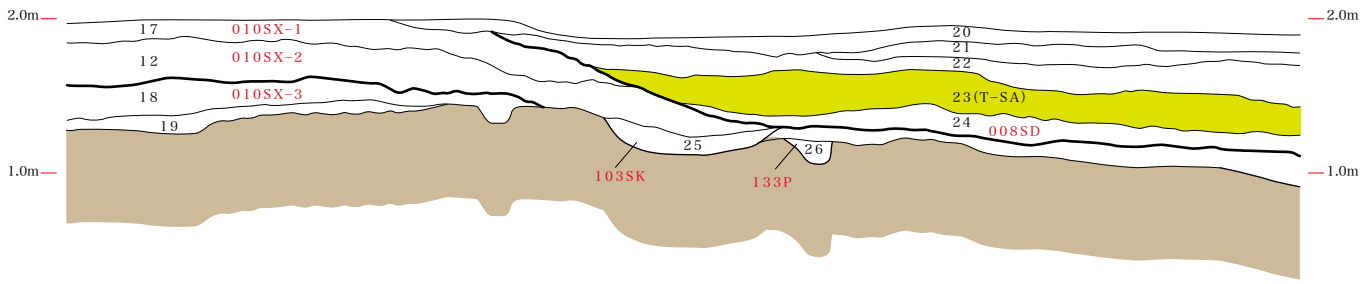


石器の分布

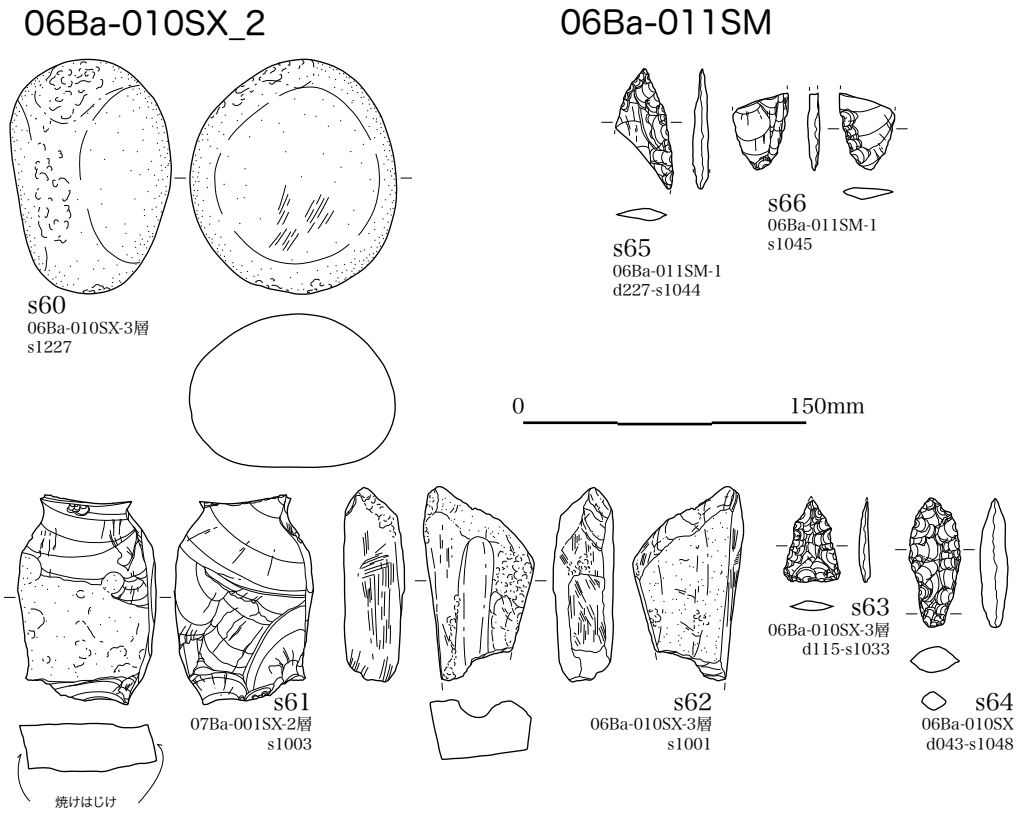


土器の分布

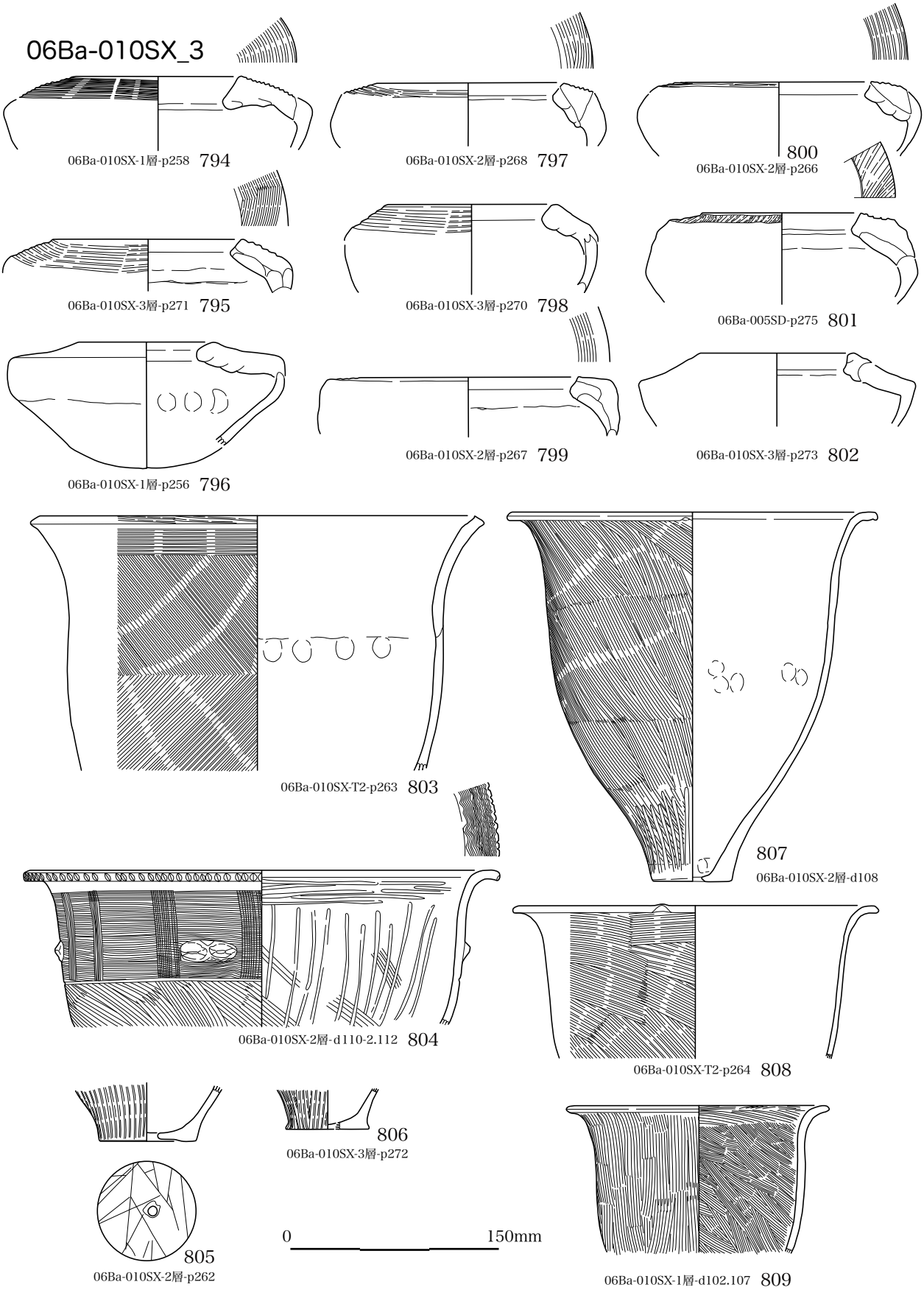




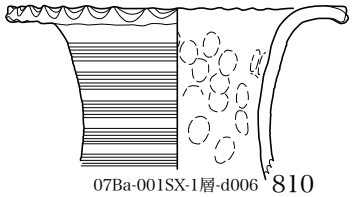
06Ba 区南西部，009SX と同様に谷 A 右岸に存在する方形状の高まりで，腐食貝層が厚く堆積し貝塚が形成されていたものと想定できる。その西側である 07Ba 区 001SX を含めると南北 8m・東西 9m ほどの広がりをもち，基盤層からの高さは 0.6m を測る。大きく 3 つの堆積層から構成されており，上から第一層 010SX-1 は，褐色シルトで貝田町式前半期の土器を包含する。第二層の 010SX-2 は黒褐色シルトでおおむね 0.3m と厚く堆積し，炭化物が混在する。下位面には灰・炭化物の分布があるも，炉跡等は確認できない。第三層の 010SX-3 は，粘り気のある砂混じり灰褐色シルトで，貝殻痕跡や炭化物が混在する。第 2・3 層では朝日式 2 期の遺物を包含する。010SX は周囲を，朝日 T-SA 層である洪水性の砂層により覆われ，それ以後はほとんど人為的な改変の痕跡は認められない。なお，下層に 101SK・107SK 及び 07Ba 区 007SD が存在し，方形周溝墓 SZ421 上に形成した貝塚と考えられる。

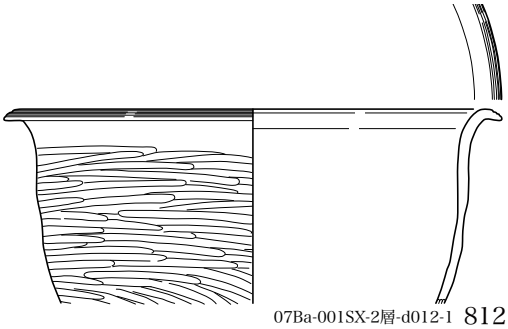


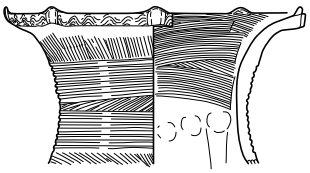
06Ba-010SX_3

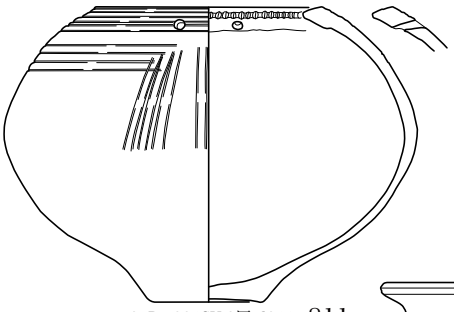

06Ba-010SX-1層-p258 794
06Ba-010SX-2層-p268 797
800
06Ba-010SX-2層-p266
06Ba-010SX-3層-p271 795
06Ba-010SX-3層-p270 798
06Ba-005SD-p275 801
06Ba-010SX-1層-p256 796
06Ba-010SX-2層-p267 799
06Ba-010SX-3層-p273 802
06Ba-010SX-T2-p263 803
807
06Ba-010SX-2層-d108
06Ba-010SX-2層-d110-2.112 804
06Ba-010SX-T2-p264 808
806
06Ba-010SX-3層-p272
805
06Ba-010SX-2層-p262
0
150mm
06Ba-010SX-1層-d102.107 809

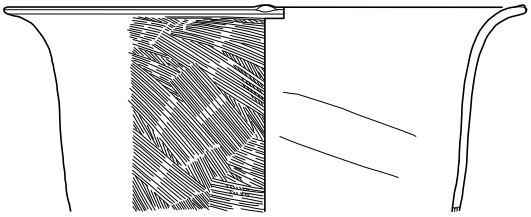
07Ba-001SX

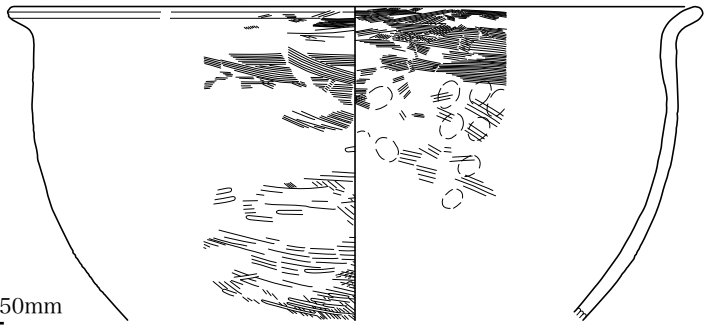

07Ba-001SX-1層-d006 810


07Ba-001SX-2層-d012-1 812

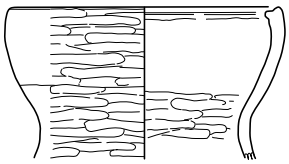

07Ba-001SX-2層-d013 815

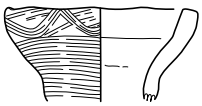

07Ba-001SX-2層-d011 811

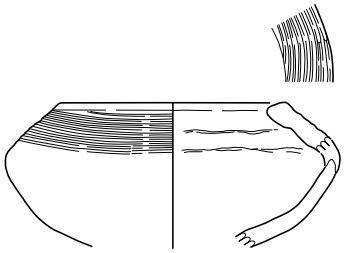

07Ba-001SX-2層-d014 813

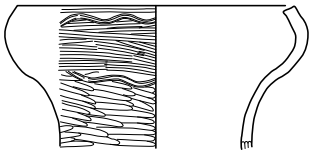

07Ba-001SX-2層-d010 814

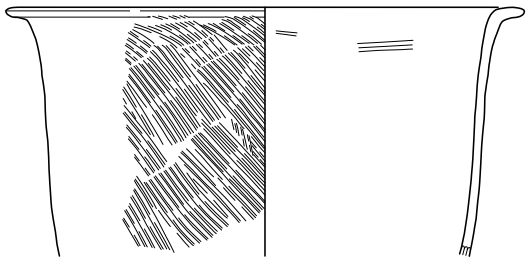
0 150mm

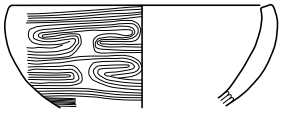

07Ba-001SX-2層-d012-2 816


07Ba-001SX-1層-p305 820

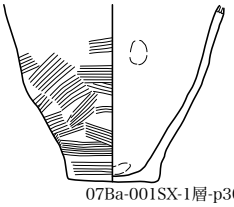

07Ba-001SX-2層-p304 821


07Ba-001SX-1層-p300 817


07Ba-001SX-1層-p303 822


07Ba-001SX-1層-p301 818

07Ba-001SX-1層-p299 819


07Ba-001SX-1層-p302 823

3.4.2.8　06Ba- 谷 A 右岸加工面

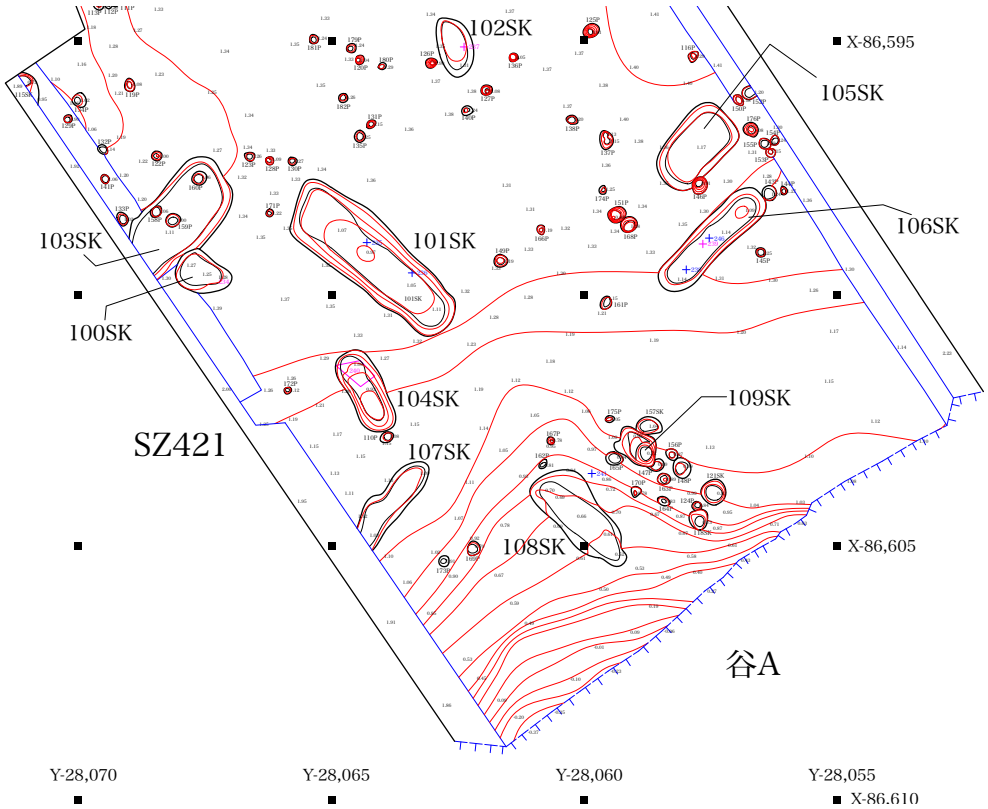
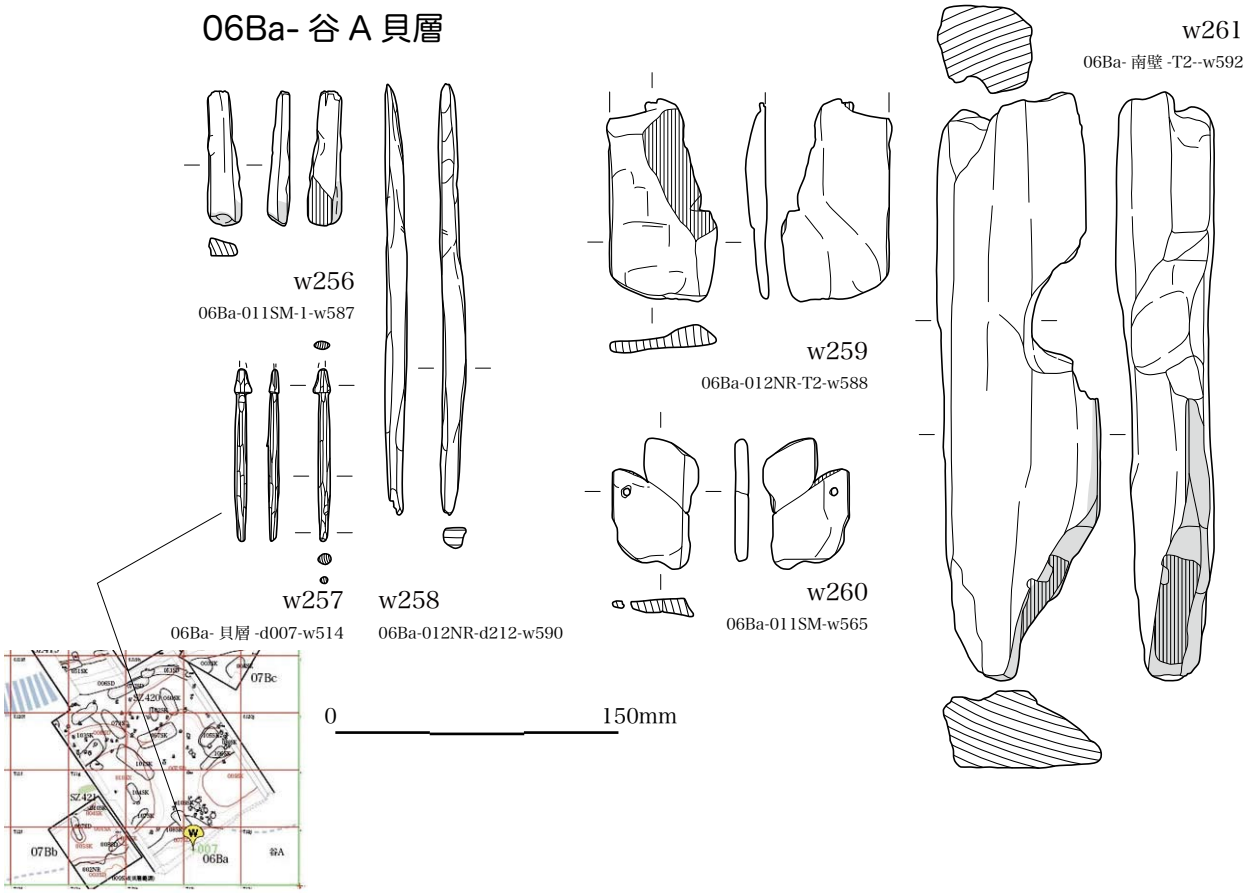
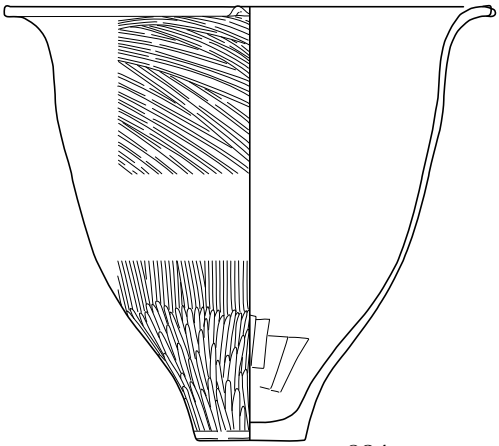


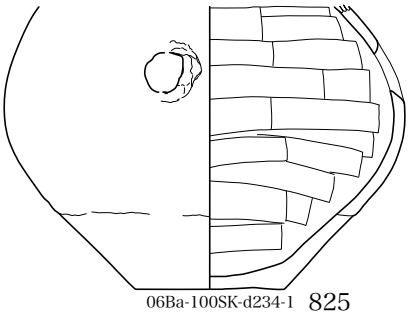
図 3.4.2-7　06Ba 区南側谷 A 右岸の最終加工面　1/150



06Ba-100SK

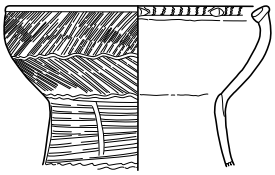


06Ba-100SK-d234-2 824



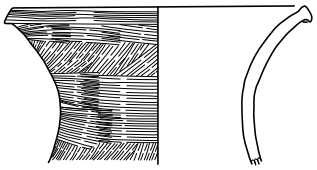
06Ba-100SK-d234-1 825

06Ba-102SK

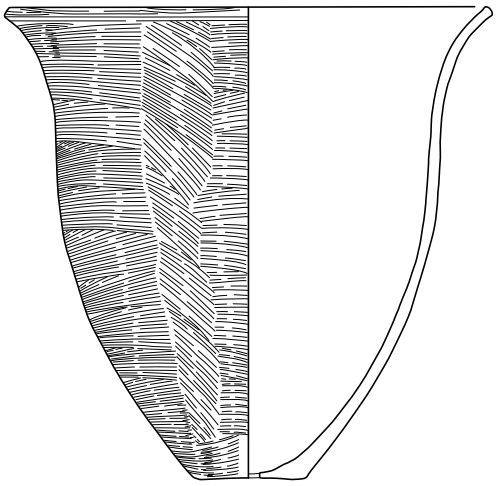


06Ba-102SK-d237.206 826

06Ba-104SK

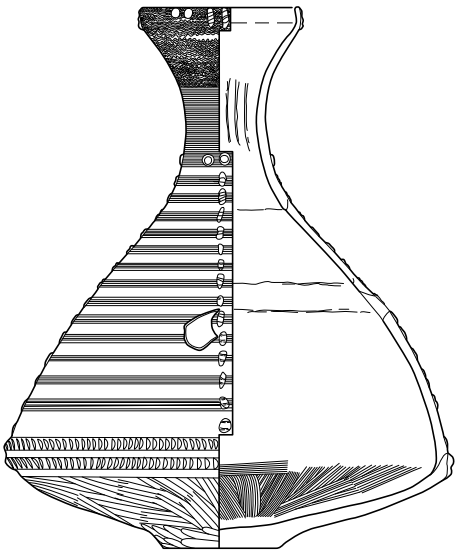


06Ba-104SK-d240-1 827



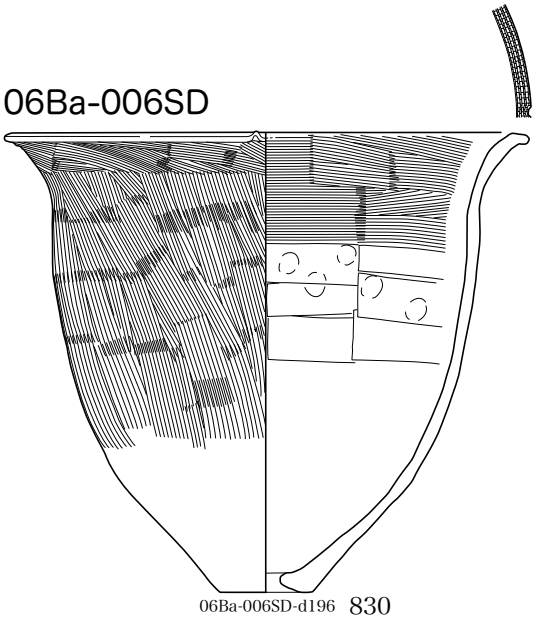
06Ba-104SK-d240-2 828

06Ba-106SK

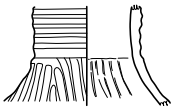


06Ba-106SK-d239 829

06Ba-006SD



06Ba-006SD-d196 830



06Ba-006SD-d183 831

3.4.2.8　SZ415
06Bc-014SZ・013SD・050SD

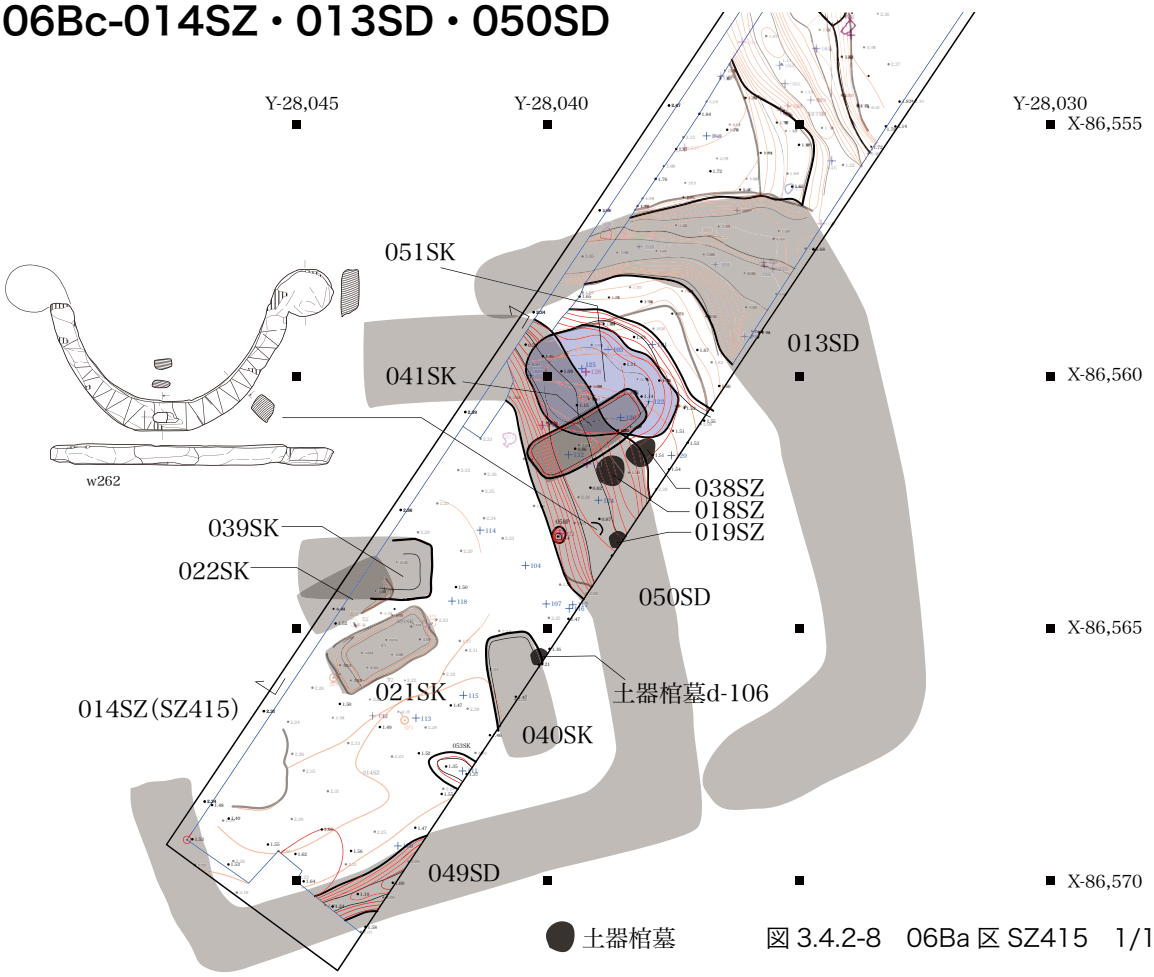
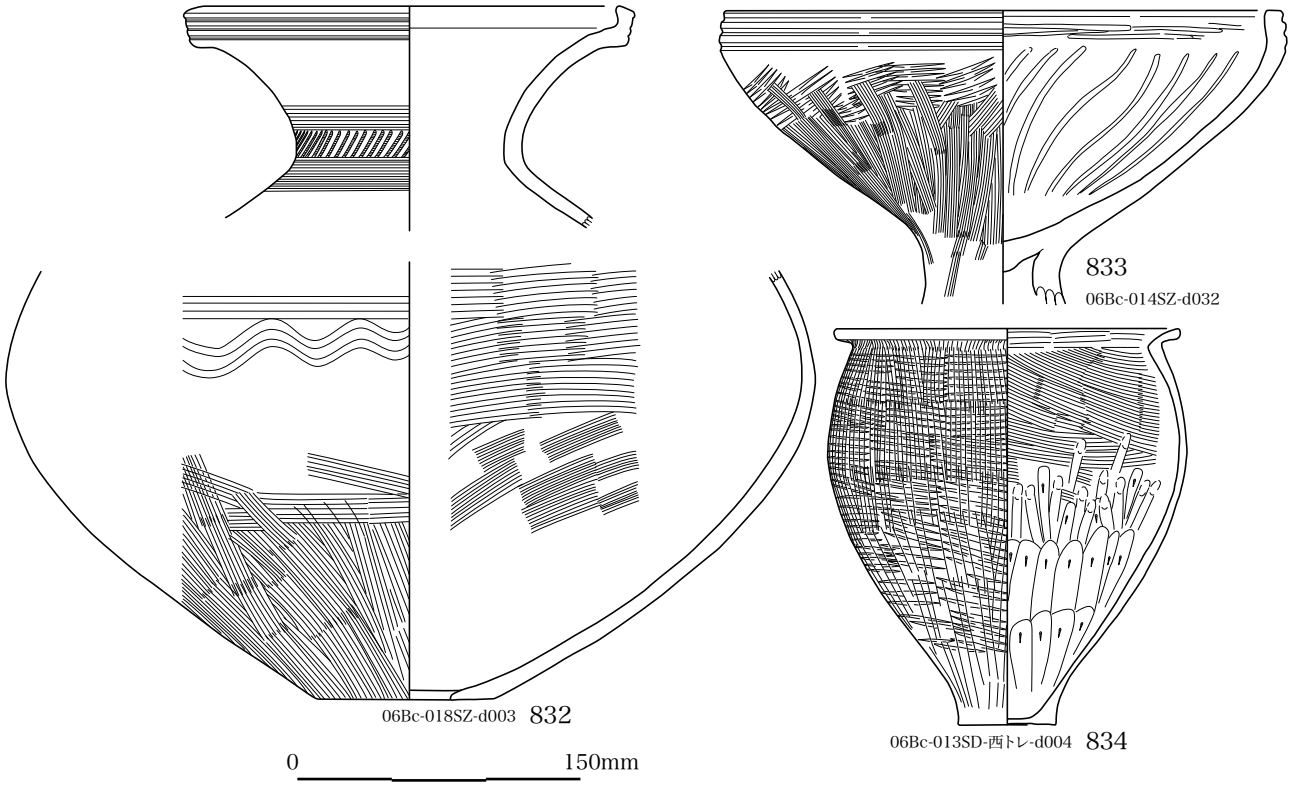


図 3.4.2-8　06Ba 区 SZ415　1/150



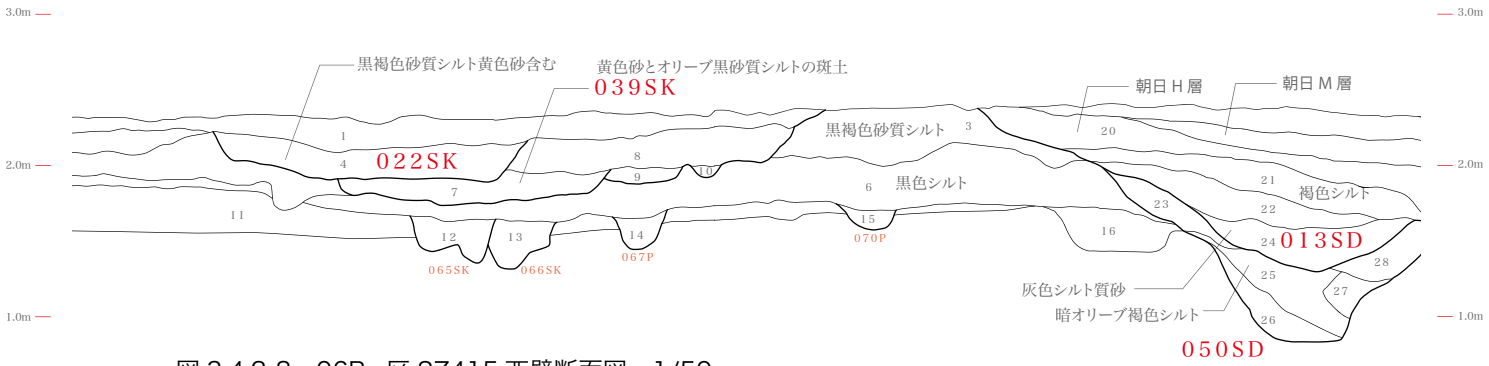


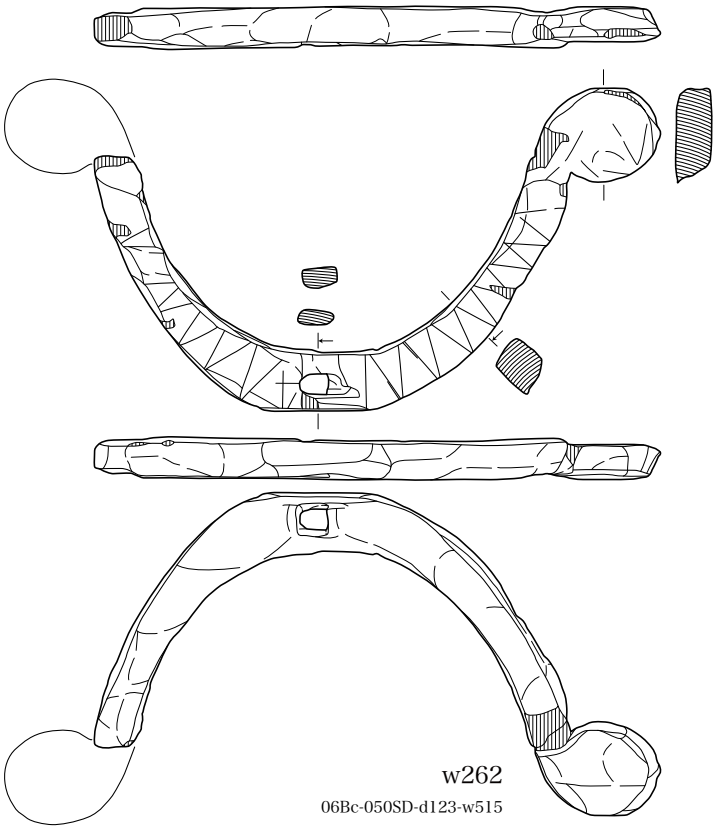
図 3.4.2-8　06Ba 区 SZ415 西壁断面図　1/50

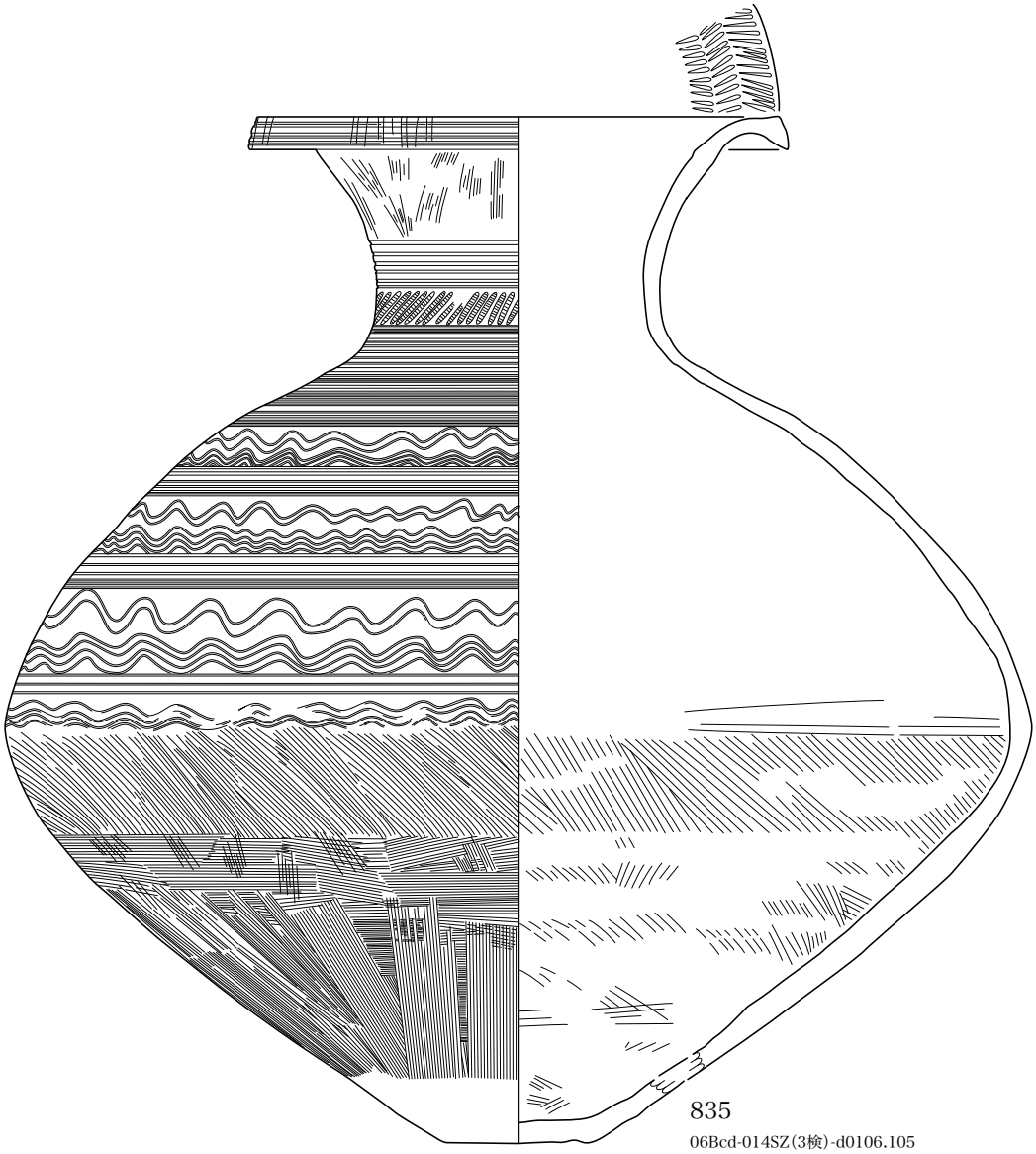
SZ415 は 06Bc 区西側に存在する方形周溝墓で，東側への墳丘の拡張が認められる。まず 050SD と 049SD，加えて 03Bd 区で確認されている溝によって囲まれた周溝墓が造営される。その後に東側に 013SD が掘削され墳丘の拡張が行われる。021SK が拡張以前の中心埋葬主体部であり，拡張後に 039SK・022SK さらには 040SK や 041SK が追加される。また土器棺墓である 038SZ・018SZ・019SZ が設置される。出土遺物から高蔵式期に所属する方形周溝墓と推定できる。興味深い資料として，東溝 050SD からベンガラが塗布されて蕨手状木製品が出土している。

規模は 10×9.5m から 14.5×9.5m に拡張する。

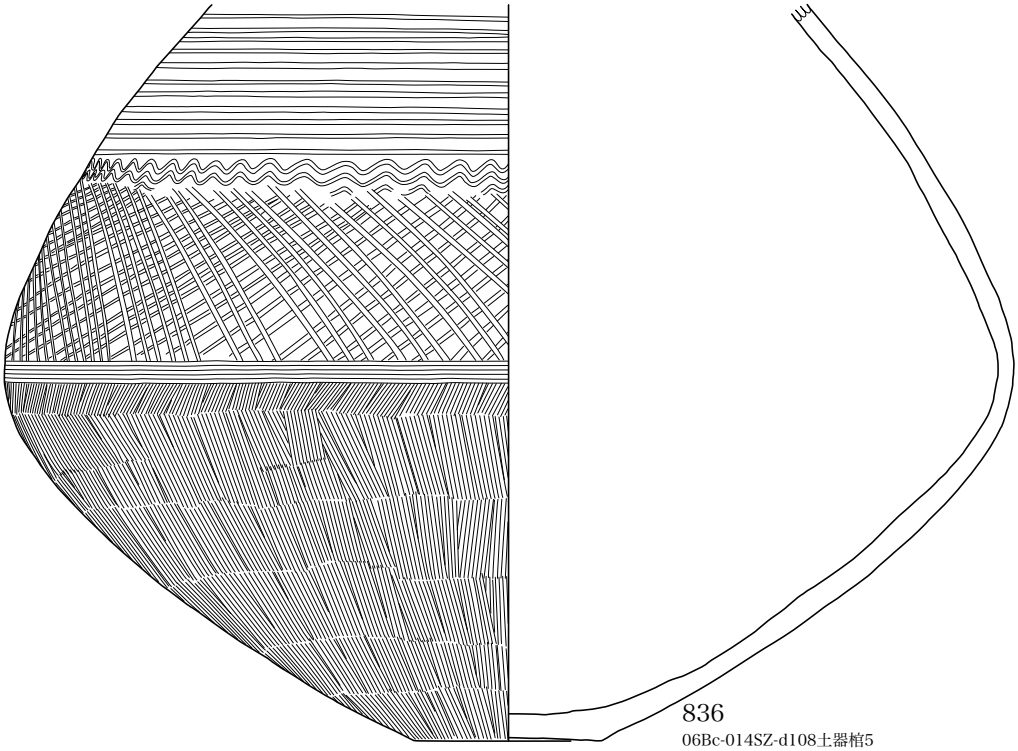
なお，050SK に重複する形で 051SK が存在し，貝・炭化物が混在する堆積層からは朝日式期の土器が出土している。また各遺構からも朝日式期の遺物が混入しており，周囲に朝日式期の小規模な居住区が存在していたことが推測できよう。

土器棺墓の分布と甕 -834





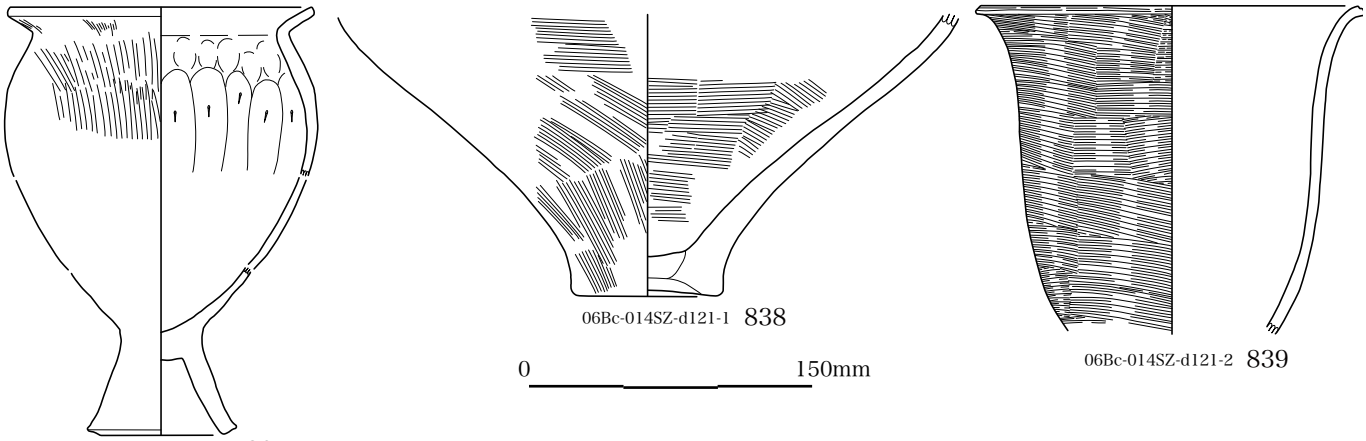
835
06Bcd-014SZ(3検)-d0106.105



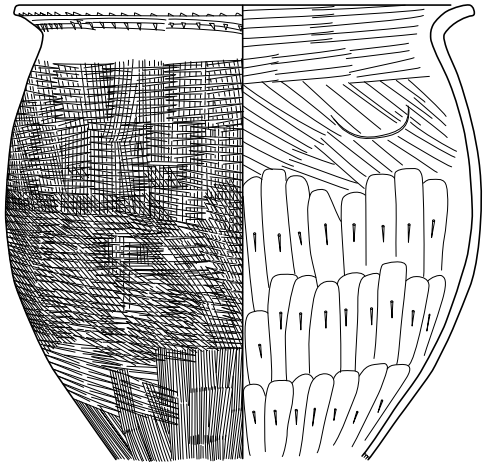
836
06Bc-014SZ-d108土器棺5

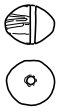
0 150mm

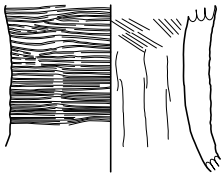
06Bc-014SZ

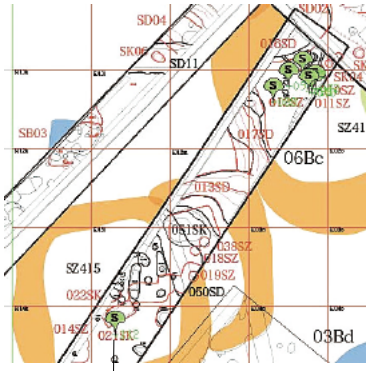


06Bc-051SD・051SK

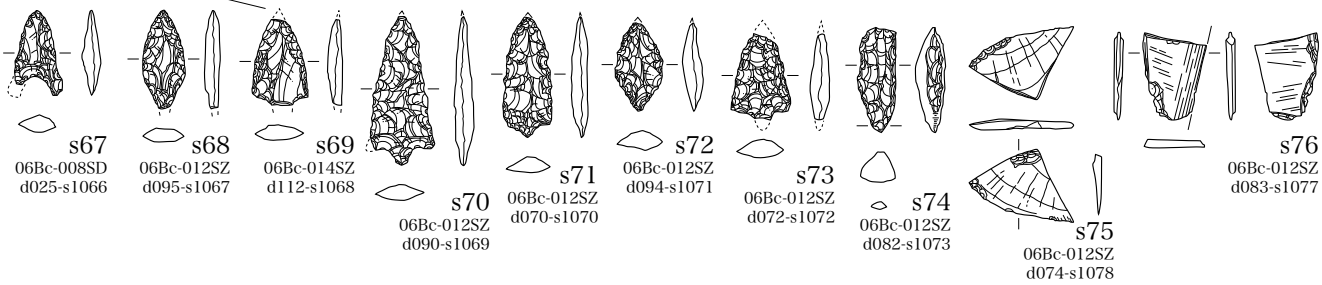


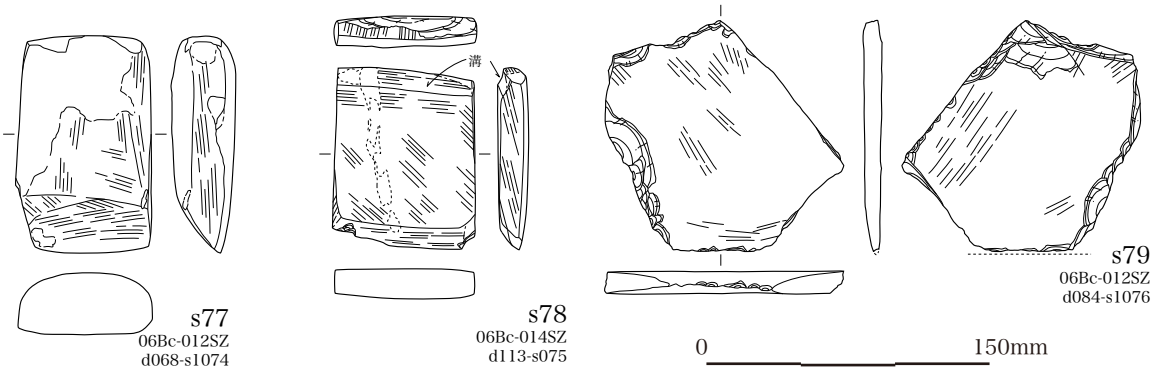






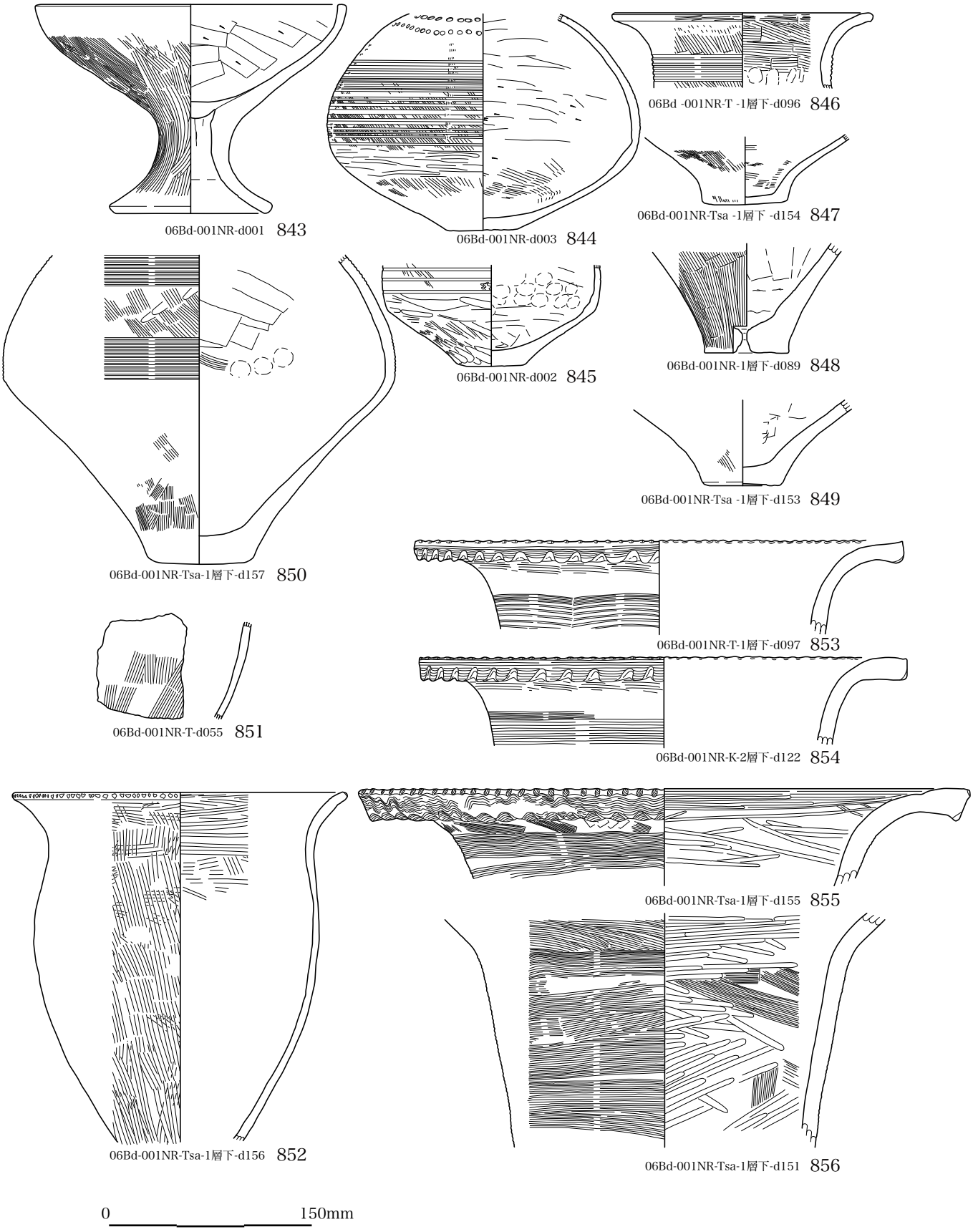
石鏃の分布



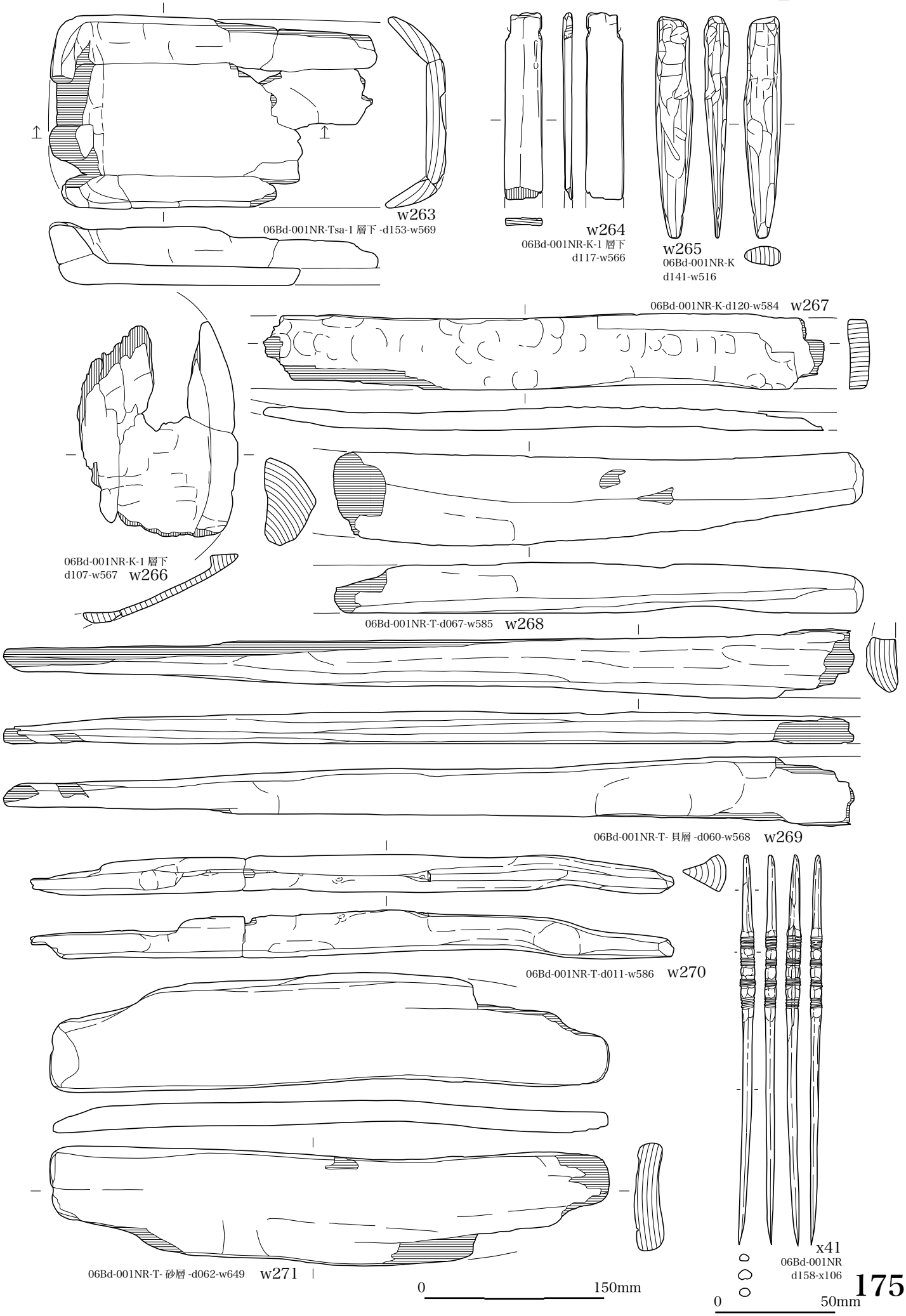


3.4.2.9 谷 A（06Bd） 図 3.3-12 参照

06Bd-001NR_1

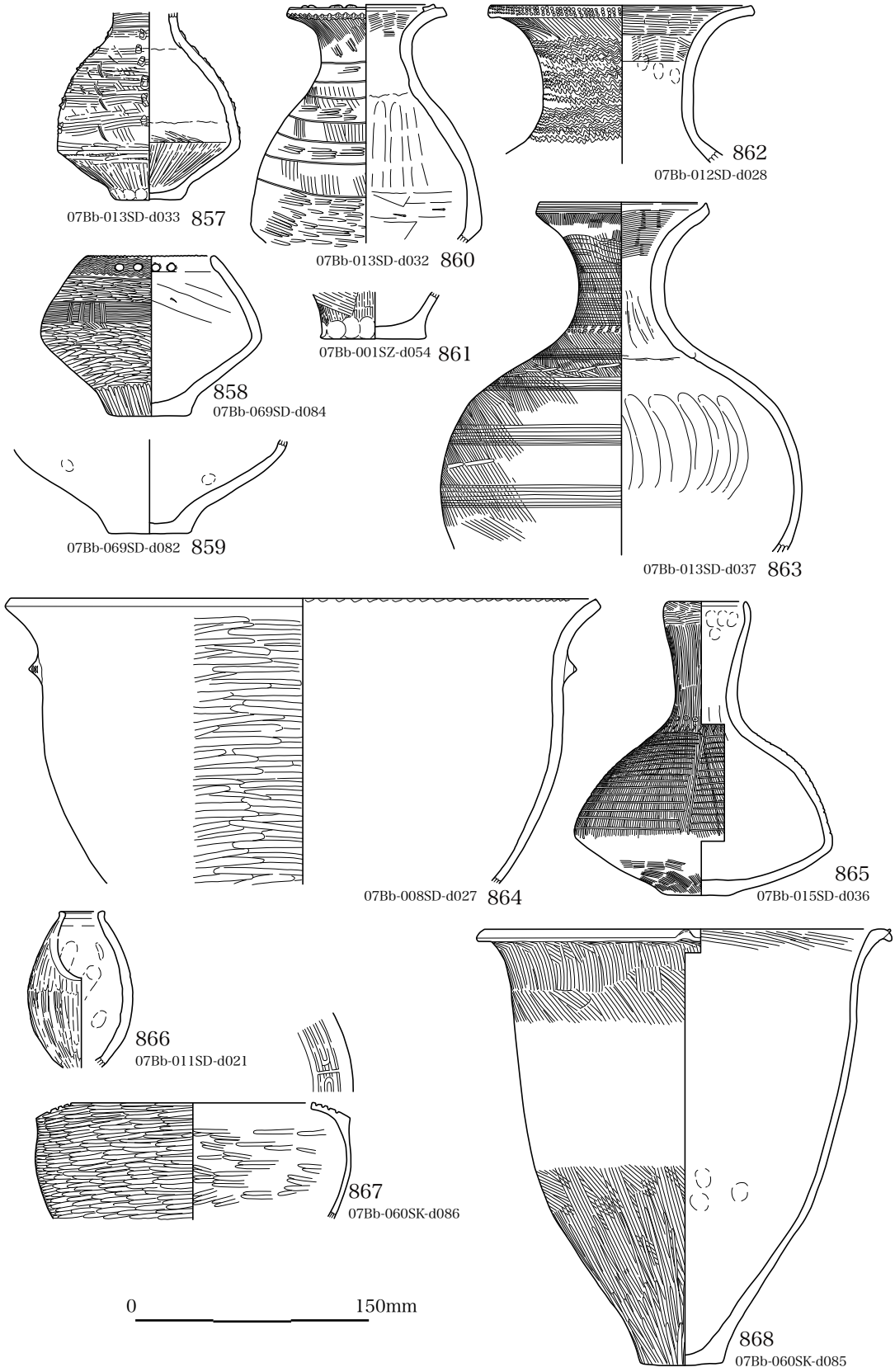


06Bd-001NR_2


w263
06Bd-001NR-Tsa-1 層下 -d153-w569
w264
06Bd-001NR-K-1 層下
d117-w566
w265
06Bd-001NR-K
d141-w516
06Bd-001NR-K-d120-w584 w267
06Bd-001NR-K-1 層下
d107-w567 w266
06Bd-001NR-T-d067-w585 w268
06Bd-001NR-T- 貝層 -d060-w568 w269
06Bd-001NR-T-d011-w586 w270
06Bd-001NR-T- 砂層 -d062-w649 w271
0 150mm
x41
06Bd-001NR
d158-x106
0 50mm

3.4.2.10 SZ394
07Bb-003SZ

07Bb



07Bb 区は北区画環濠帯に近接した北墓域に位置し，調査区全体に中期の方形周溝墓が展開する。その下層には加工面に掘削された朝日式期の居住域が認められる。方形周溝墓は貝田町式 2 期を中心に，ほぼ南北に主軸をあわせるように列状に配置されており，これに主軸を斜めに置く形で高蔵期の方形周溝墓 SZ146 が重複する。中央部に存在する SZ394 では，重複する 3 基の埋葬主体部が確認できた。

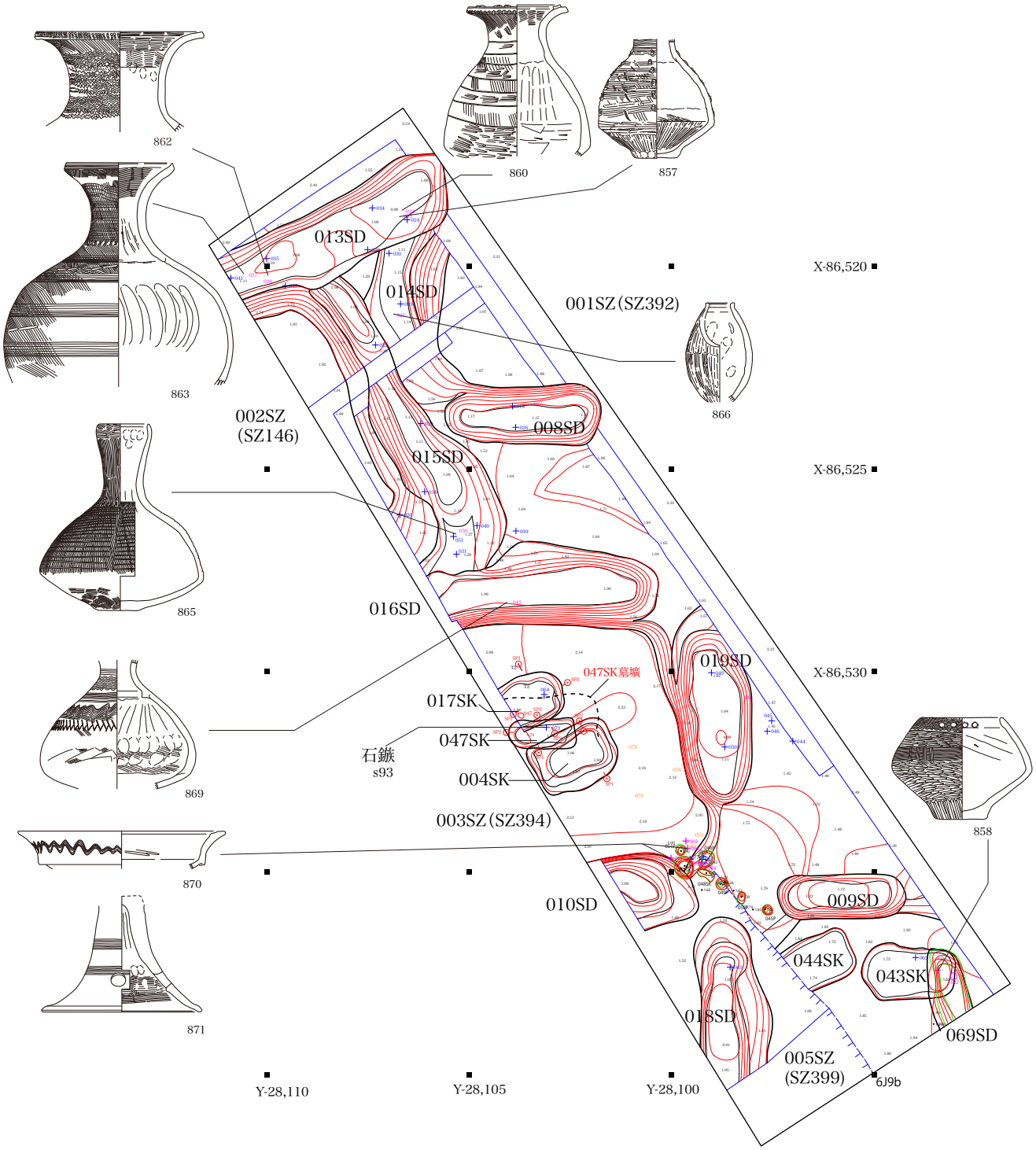
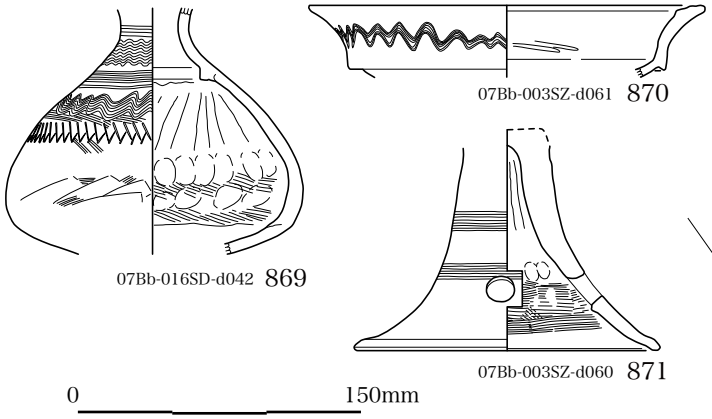
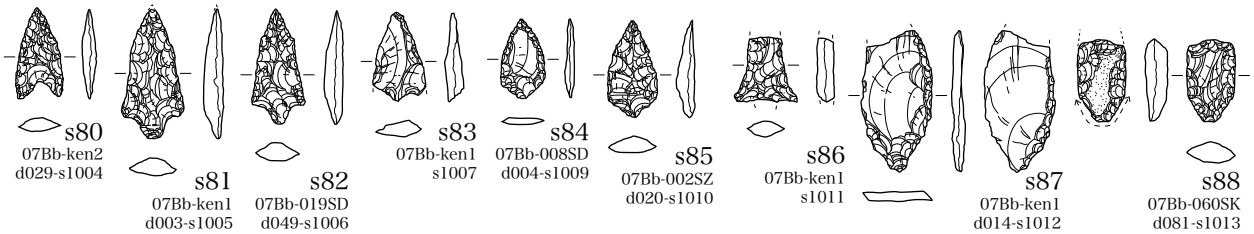
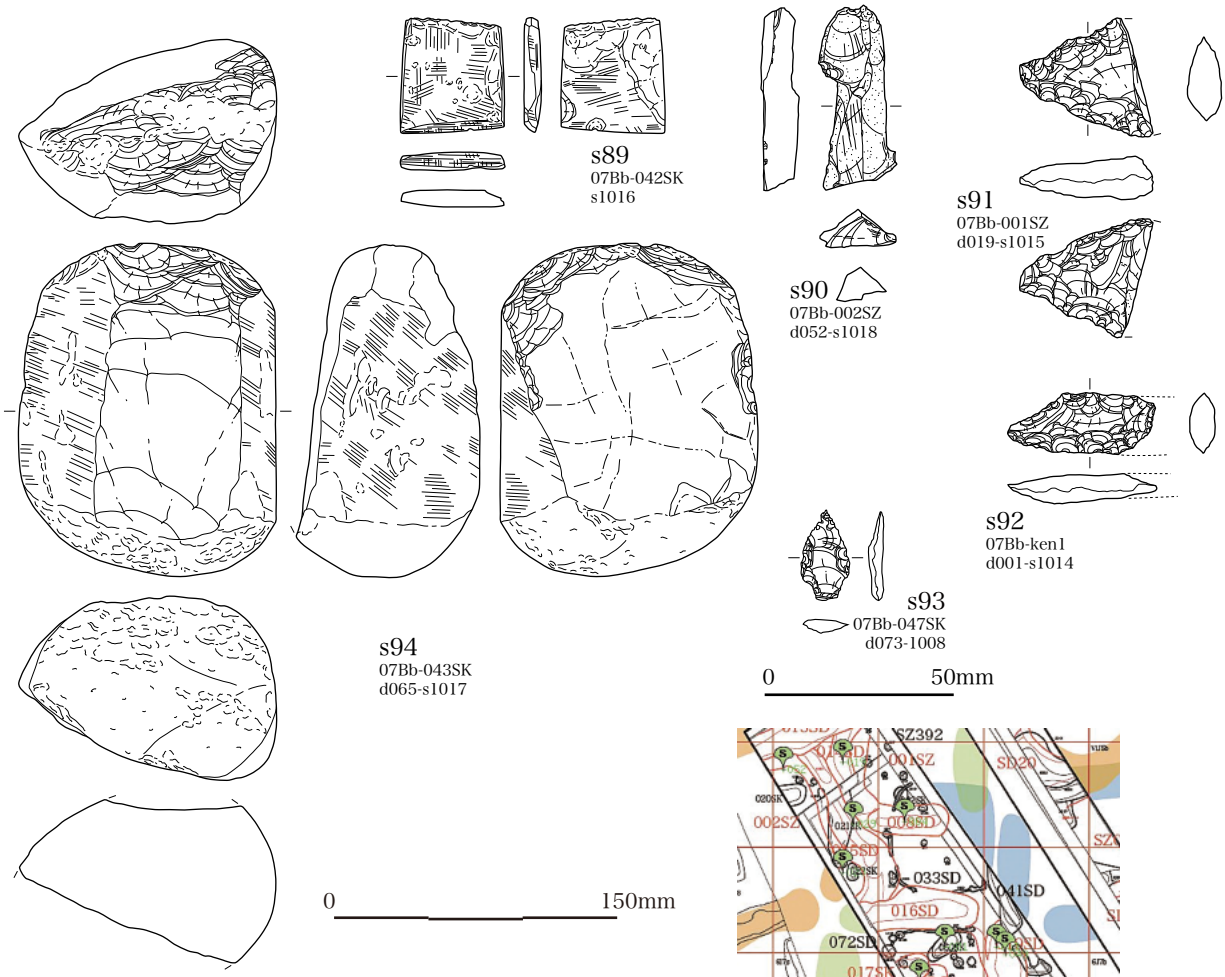


図 3.4.2.10　07Bb 区 SZ394・SZ399・SZ392・SZ146（1/150）


07Bb-016SD-d042 869
07Bb-003SZ-d061 870
07Bb-003SZ-d060 871
0
150mm

033SD
041SD
016SD
072SD
017SD
047SK
004SK
SZ394
SZ395


s80
07Bb-ken2
d029-s1004
s81
07Bb-ken1
d003-s1005
s82
07Bb-019SD
d049-s1006
s83
07Bb-ken1
s1007
s84
07Bb-008SD
d004-s1009
s85
07Bb-002SZ
d020-s1010
s86
07Bb-ken1
s1011
s87
07Bb-ken1
d014-s1012
s88
07Bb-060SK
d081-s1013


s89
07Bb-042SK
s1016
s90
07Bb-002SZ
d052-s1018
s91
07Bb-001SZ
d019-s1015
s92
07Bb-ken1
d001-s1014
s93
07Bb-047SK
d073-1008
s94
07Bb-043SK
d065-s1017
0
50mm
0
150mm

SZ392
001SZ
SD20
002SZ
033SD
041SD
016SD
072SD
017SD
047SK
004SK
003SZ
SZ394

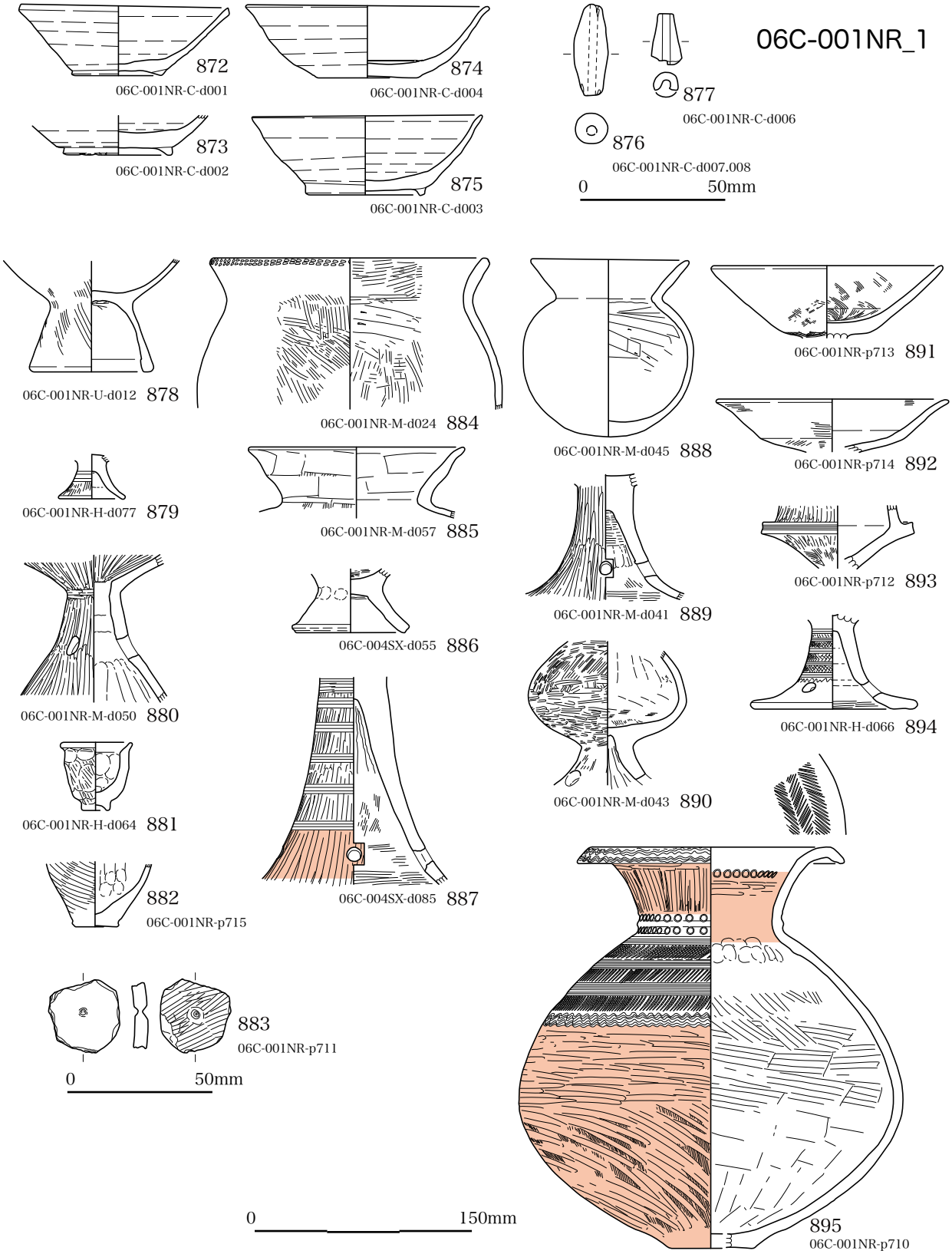
石器の分布

07Bb 区の方形周溝墓下層には加工面に掘削された小溝と土坑群が展開し，朝日式 2 期を中心として若干の遺物が確認できる。033SD は楕円形状を呈する小溝で 5.5×4.6m ほどの規模を持つ竪穴建物の痕跡と思われる。同様に 072SD は東西 4.3m ほどの竪穴建物であった可能性が高い。また 042SK は焼土面をもち 040SD と関連して建物痕跡の可能性が想定できる。

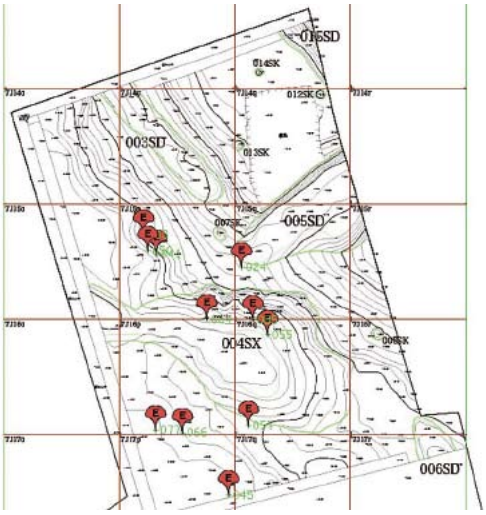
SZ394 の北東隅に存在する陸橋部では，入口部と思われる補修痕跡（朝日 G 層である基盤層を基にした整地土）が認められ，周囲からは山中式期の高杯（870・871）と加工材の痕跡が見つかっている。墓域の各地点で確認できる山中式期の墓前祭祀痕跡の一つと思われる。

図 3.4.2.11　07Bb 区最終加工面での朝日式期の遺構配置　1/150

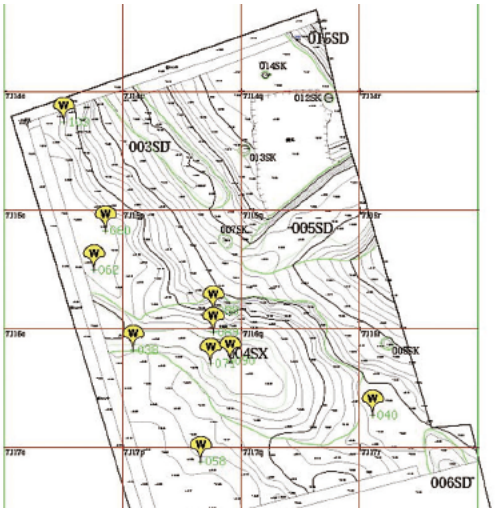
3.4.2.10 谷B
06C-001NR・05Cb-001NR



谷Ｂでの土器の分布



谷Ｂでの木製品の分布



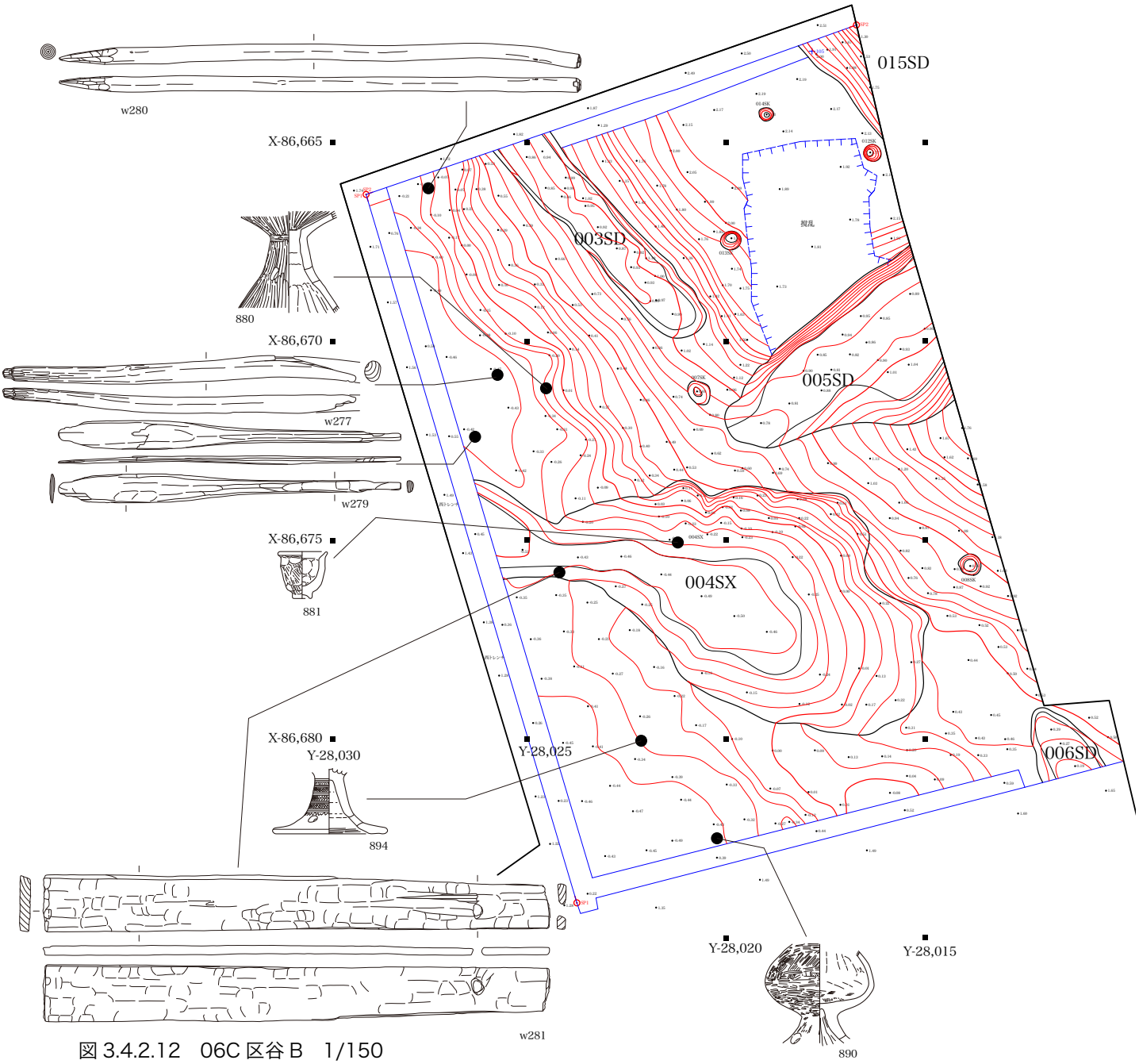
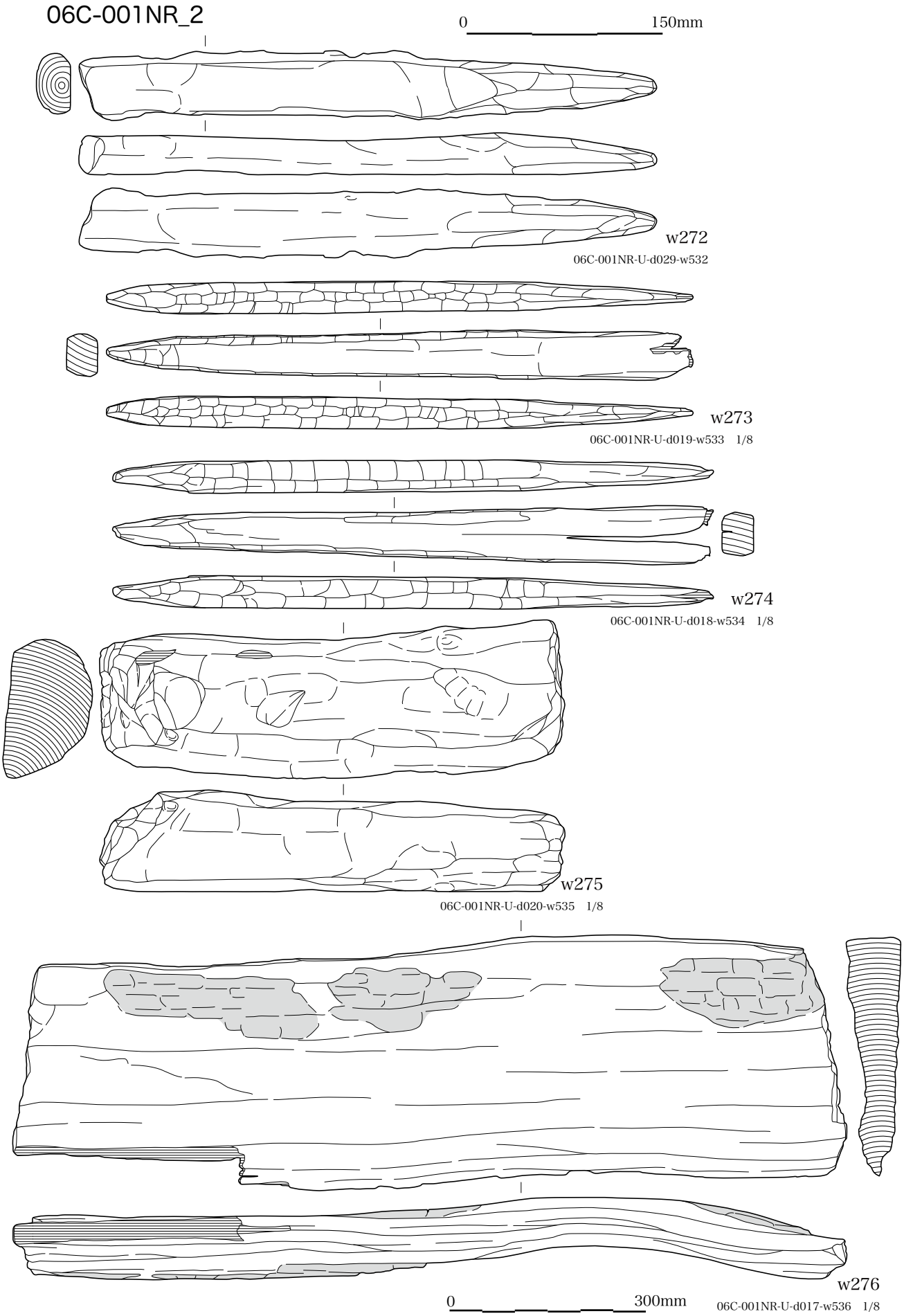
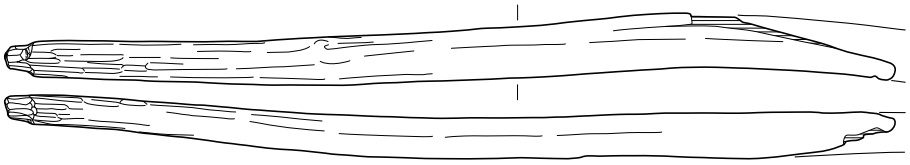


図 3.4.2.12　06C 区谷Ｂ　1/150

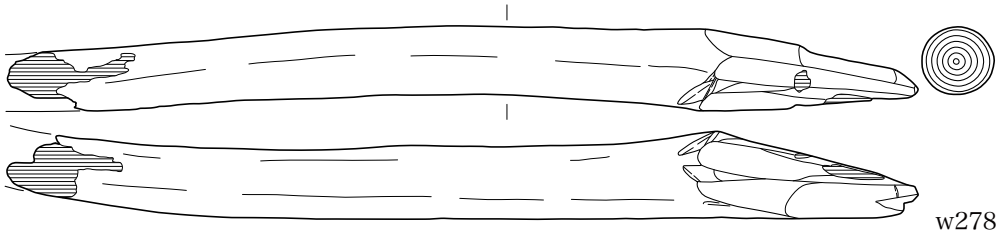
06C-001NR_2


0 150mm
w272
06C-001NR-U-d029-w532
w273
06C-001NR-U-d019-w533 1/8
w274
06C-001NR-U-d018-w534 1/8
w275
06C-001NR-U-d020-w535 1/8
w276
06C-001NR-U-d017-w536 1/8
0 300mm

06C-001NR_3

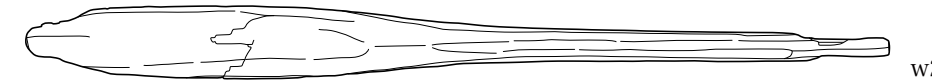


w277
06C-001NR-M-d060-w531

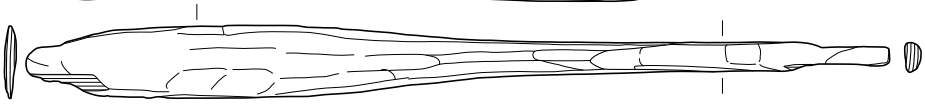


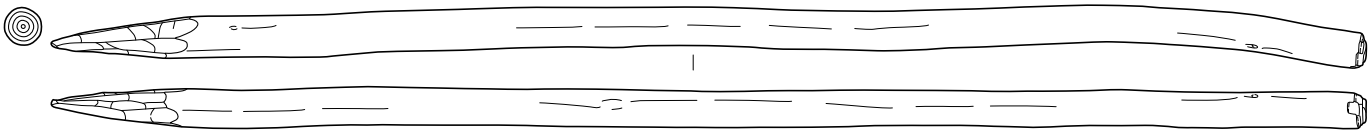
w278
06C-001NR-M-d137-w524

0 150mm

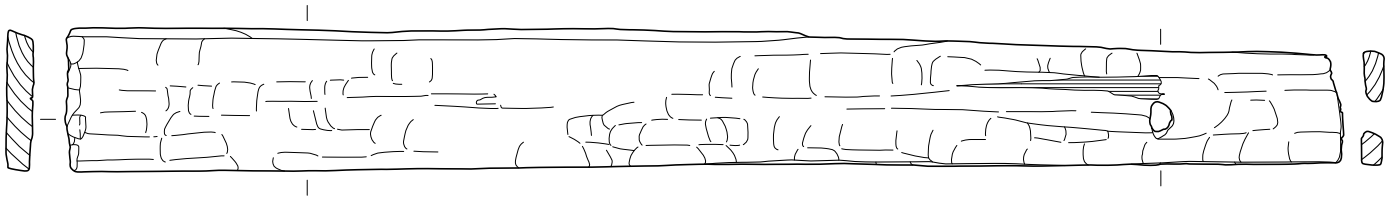


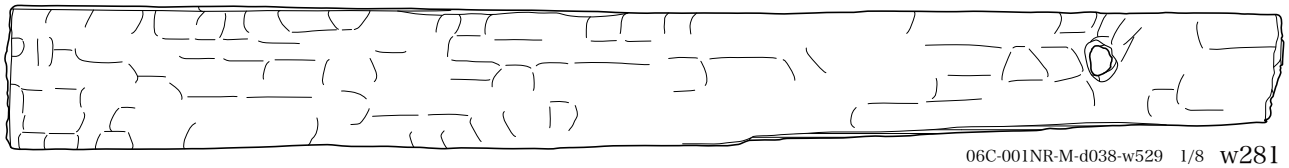
w279
06C-001NR-M-d062-w530 1/8



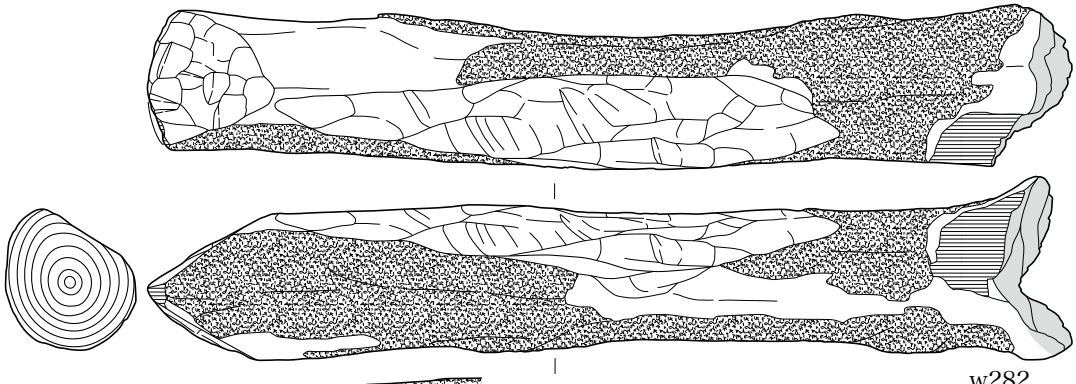


06C-001NR-M-d103-w527 1/8 w280





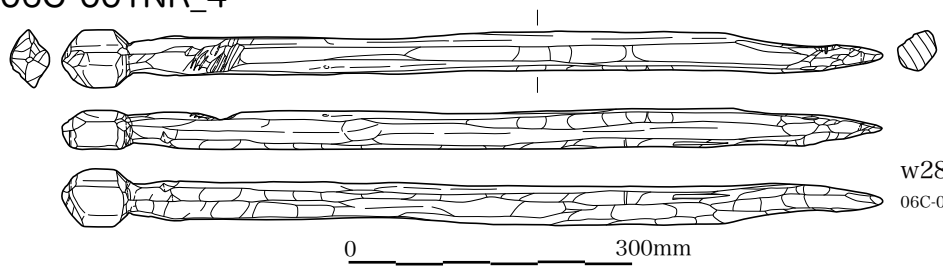
06C-001NR-M-d038-w529 1/8 w281



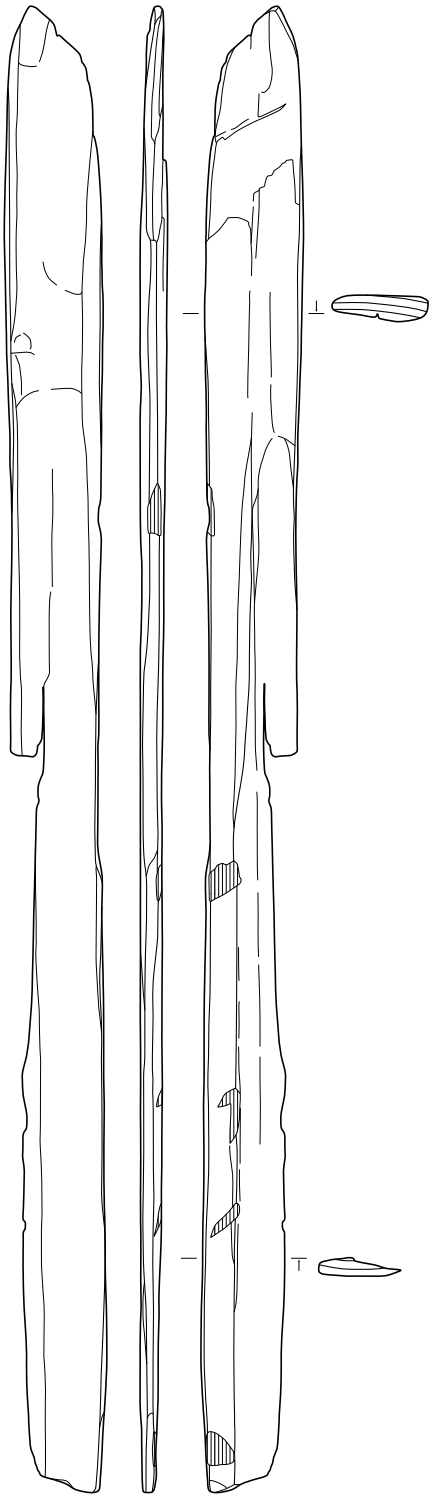
w282
06C-001NR-M-d054-w528 1/8

0 300mm

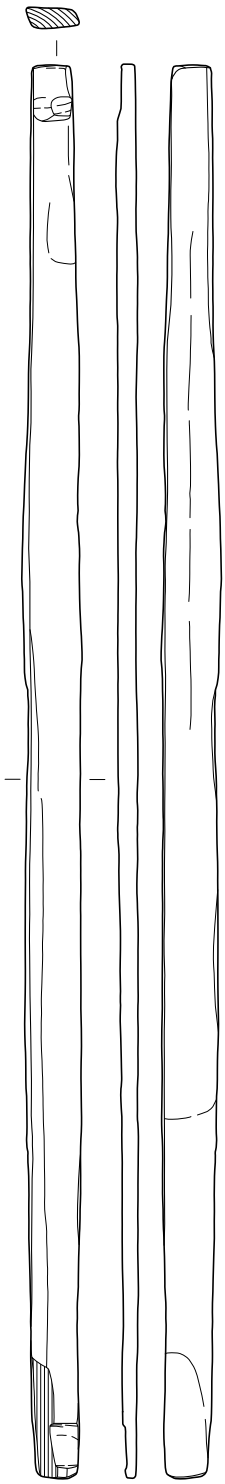
06C-001NR_4



w283
06C-001NR-C-d009-w520 1/8

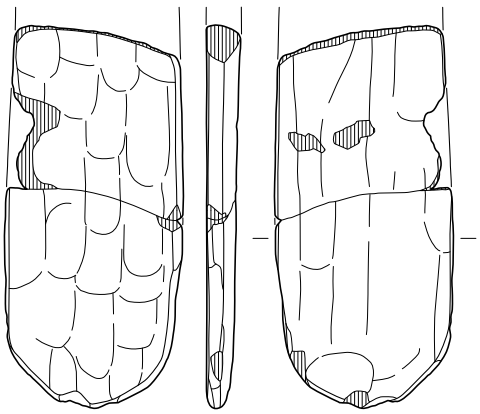


w284
06C-001NR-C-w519



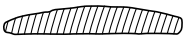
w285
06C-001NR-C-d011-w578

w286
06C-001NR-M-d042-w526

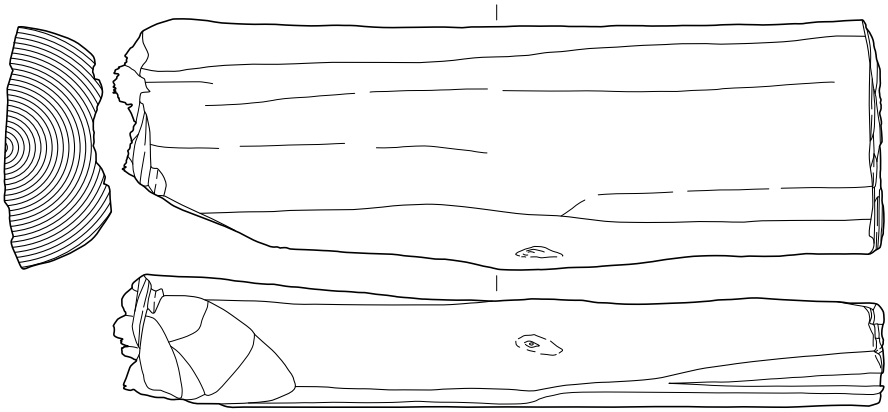


06C-001NR-M-w525

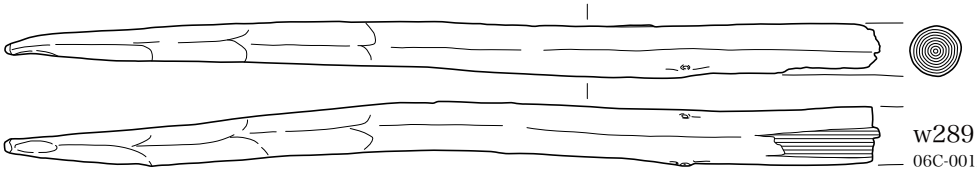
w287



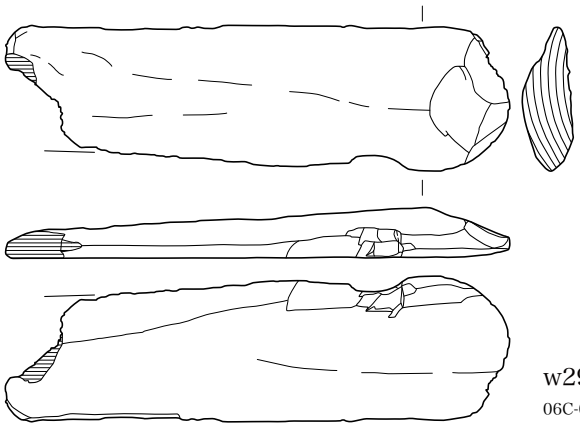
06C-001NR_5



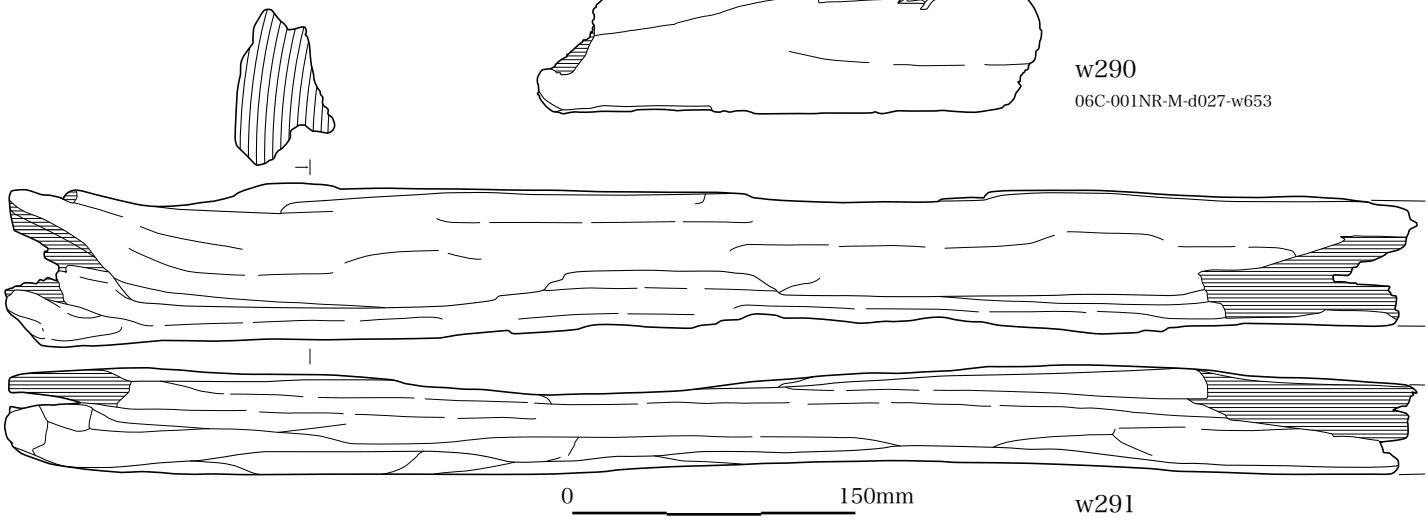
w288
06C-001NR-M-d047-w594



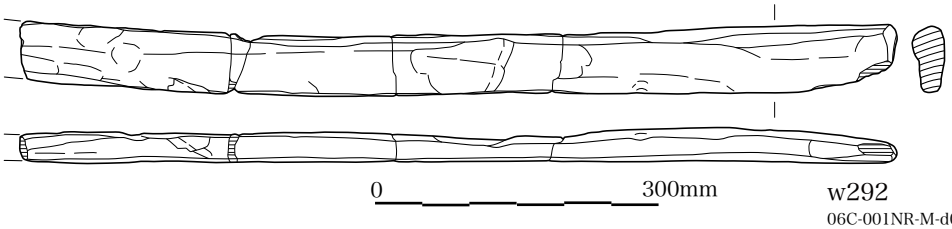
w289
06C-001NR-M-d046-w596



w290
06C-001NR-M-d027-w653

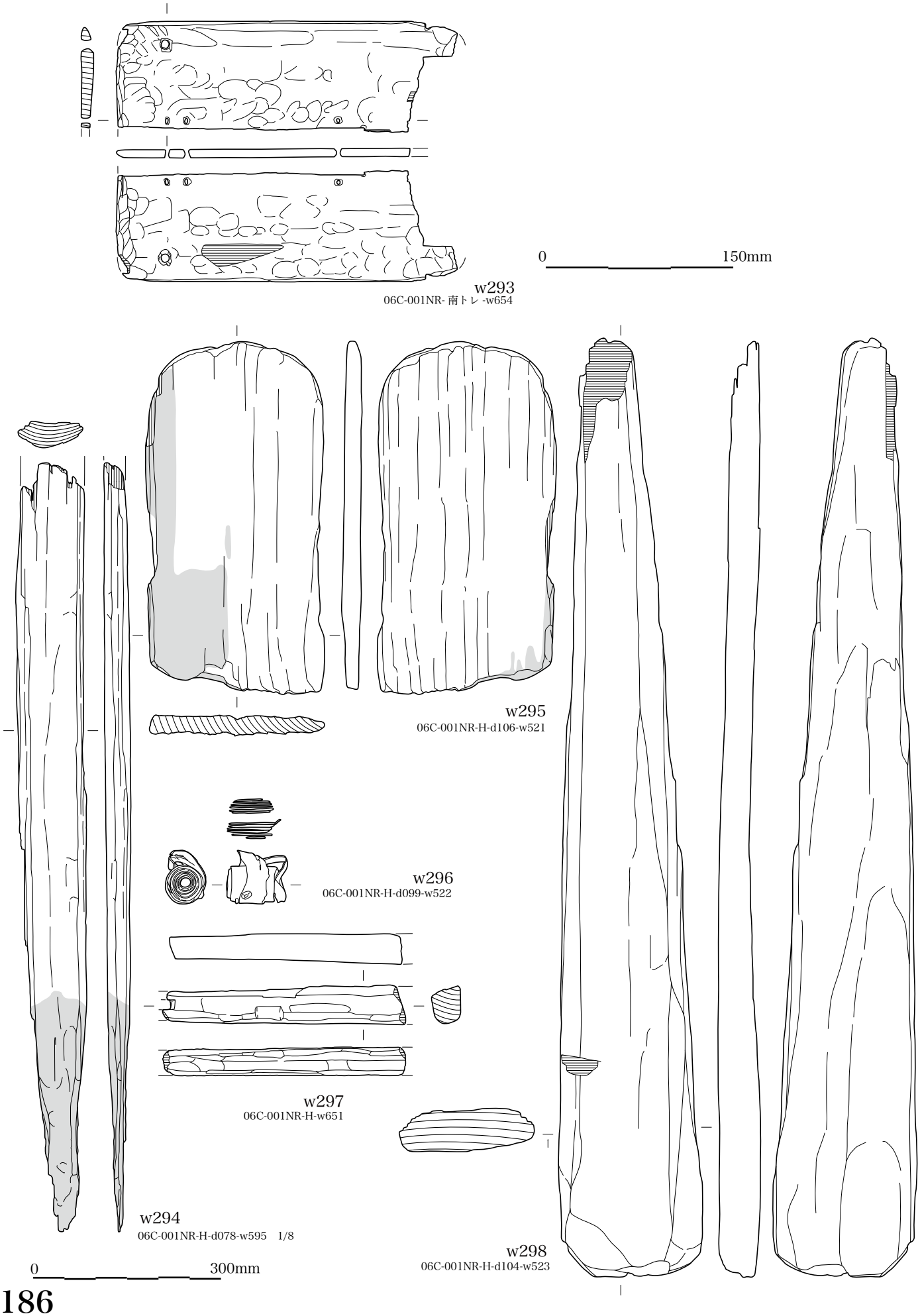


w291
06C-001NR-M-d033-w650

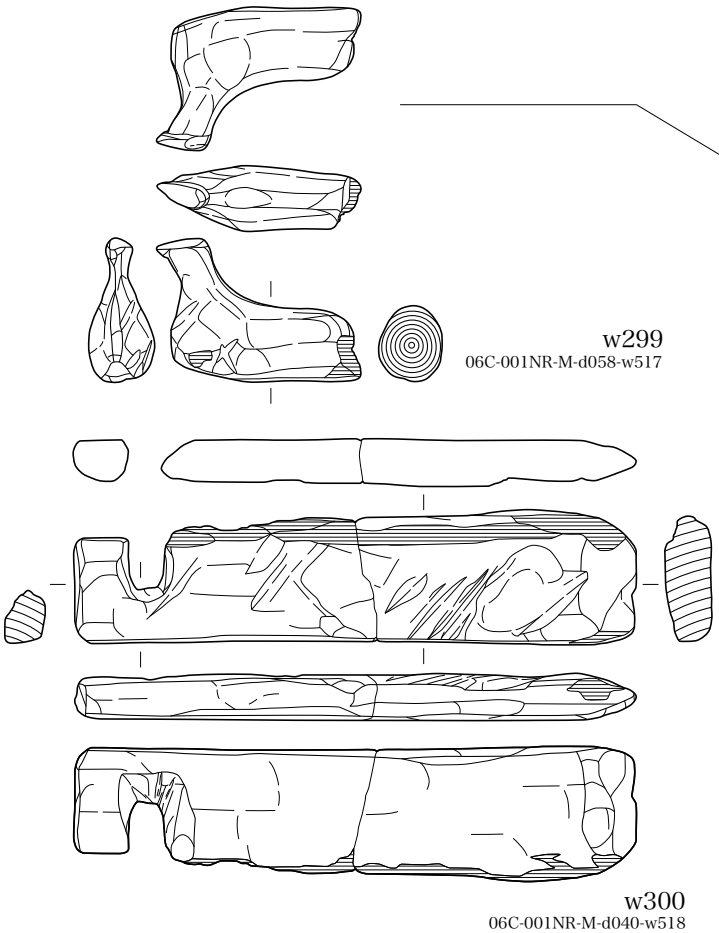


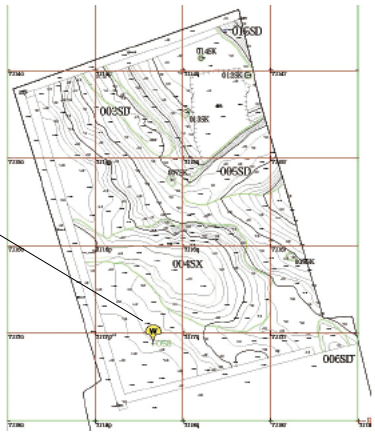
w292
06C-001NR-M-d027-w652 1/8

06C-001NR_6

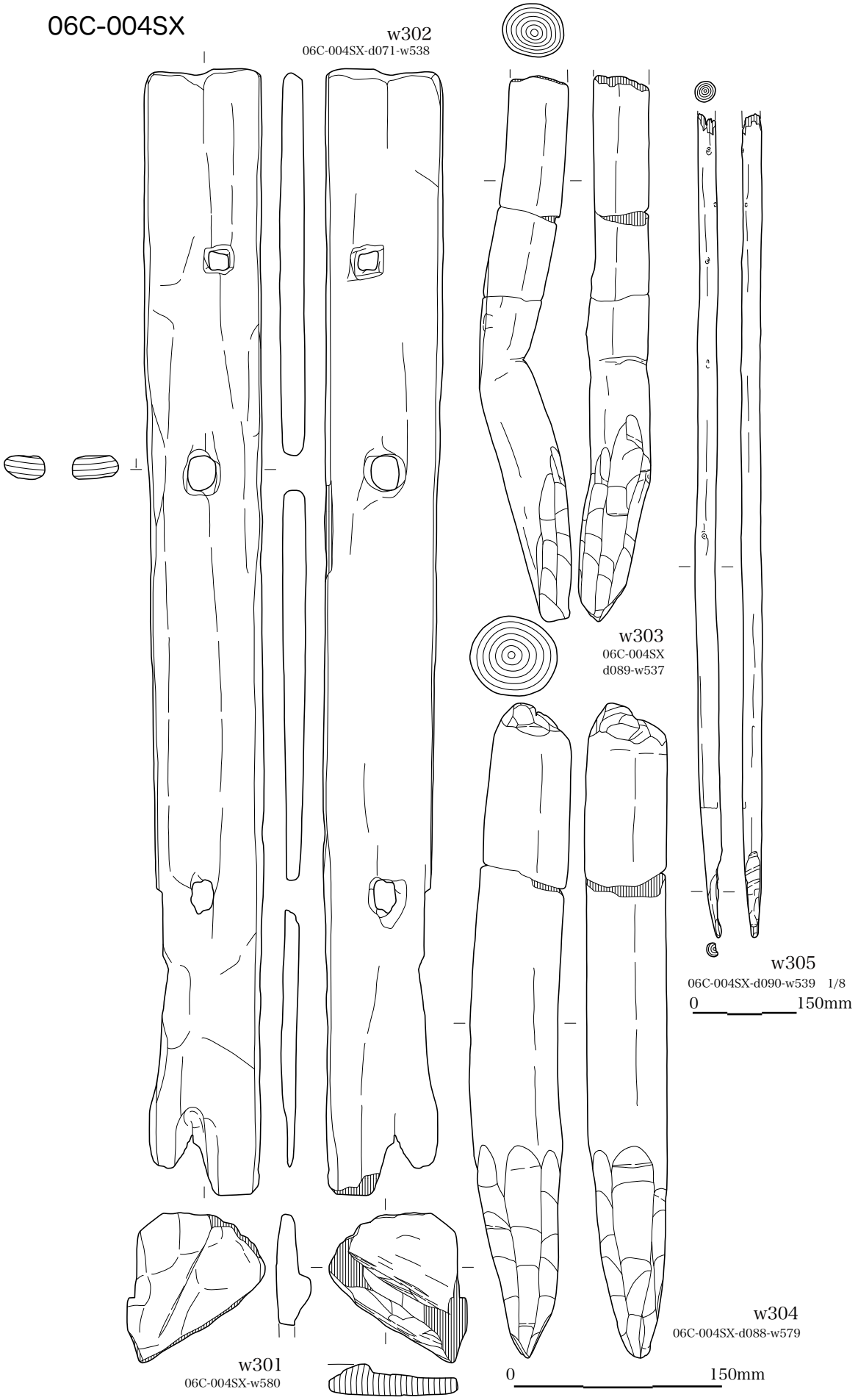

0 150mm
w293
06C-001NR- 南トレ -w654
w295
06C-001NR-H-d106-w521
w296
06C-001NR-H-d099-w522
w297
06C-001NR-H-w651
w294
06C-001NR-H-d078-w595 1/8
0 300mm
w298
06C-001NR-H-d104-w523

06C-001NR_7

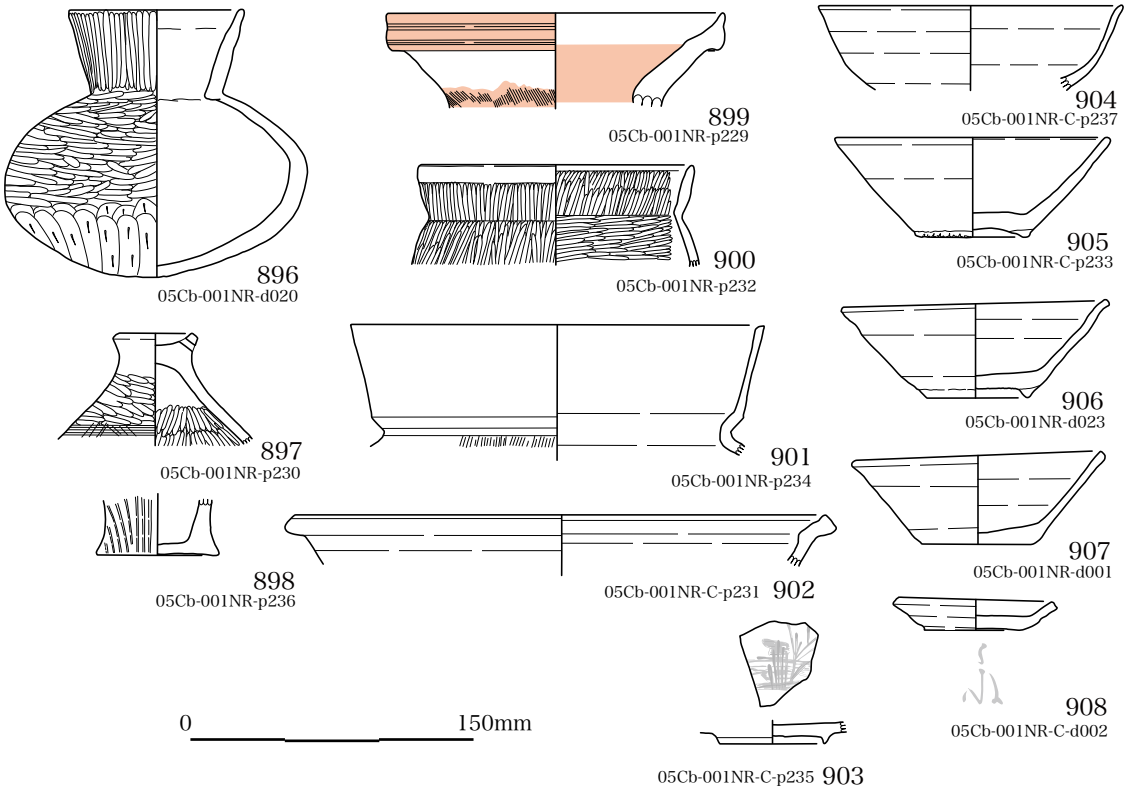




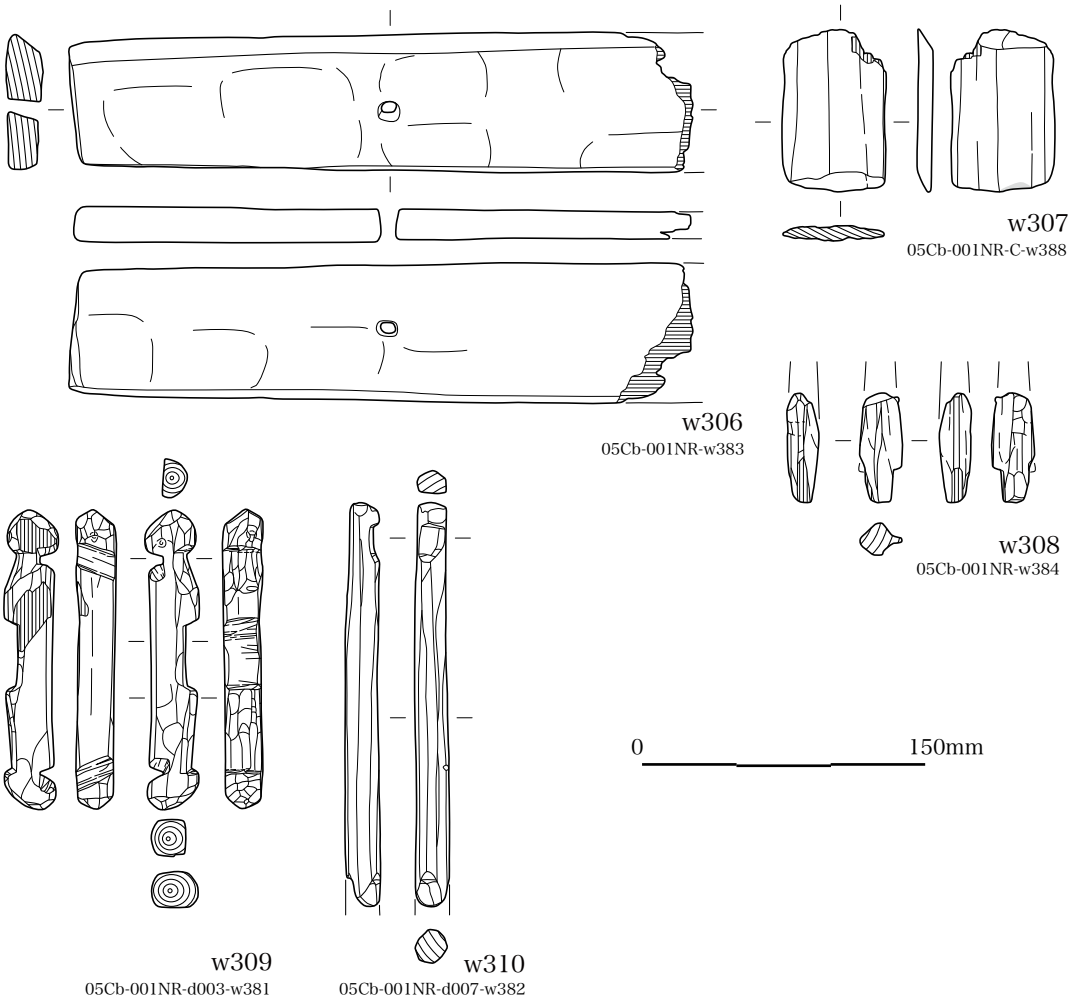
鳥形木製品出土地点


06C-004SX
w302
06C-004SX-d071-w538
w303
06C-004SX
d089-w537
w305
06C-004SX-d090-w539 1/8
0 150mm
w304
06C-004SX-d088-w579
0 150mm
w301
06C-004SX-w580

05Cb-001NR



05Cb-001NR



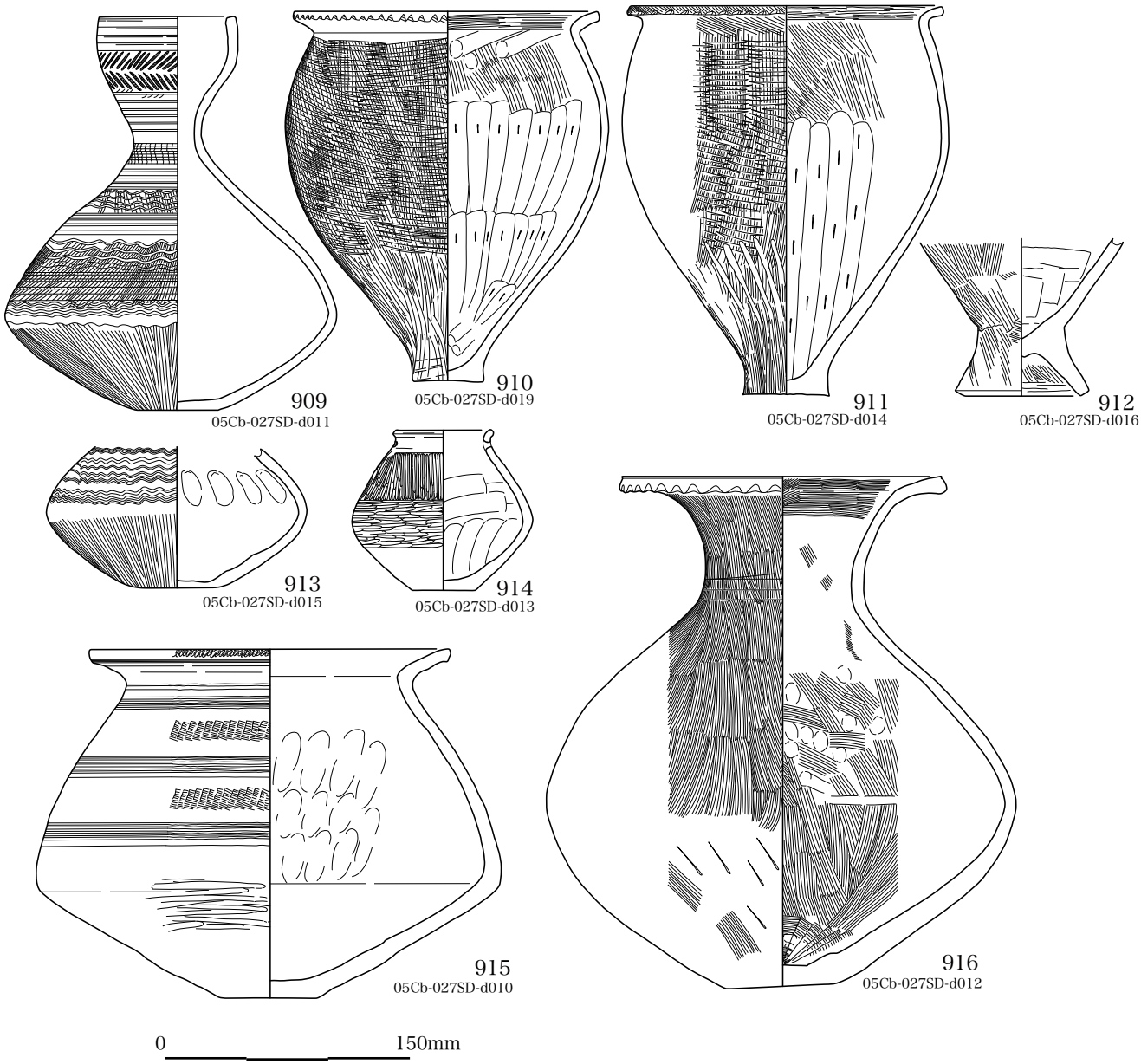
3.4.3　C 区の遺構

3.4.3.1　SZ434・435

SZ434（05Cc-SD20・SD06・05Cb-027SD・003SD）

SZ435（05Cc-SD19・SD08・05Cb-024SD・022SK）

05Cb-027SD

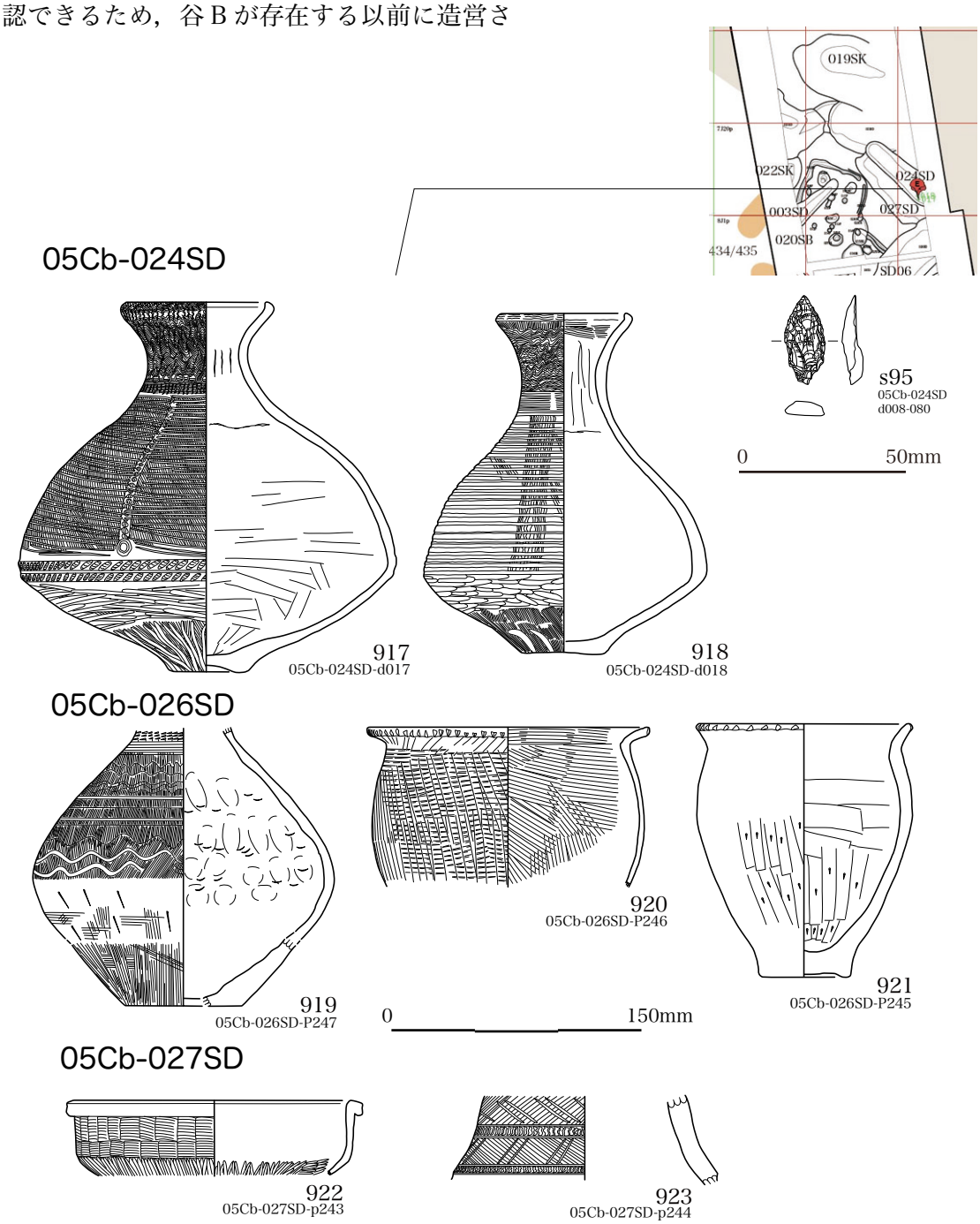


方形周溝墓SZ434・SZ435は，谷B右岸に設定した05Cb区・05Cc区に所在する。SZ434は05Cc-SD20・SD06・05Cb-027SD・003SDの四つの溝により区画され，SZ435は05Cc-SD19・SD08・05Cb-024SD・022SKにより区画された周溝墓と考え，墳丘の拡張を想定したい。なお，024SDが001NR（谷B）により破壊された状況が確認できるため，谷Bが存在する以前に造営された方形周溝墓と考えられる。溝内より高蔵式期の遺物が多く出土している。主体部については確認できていない。

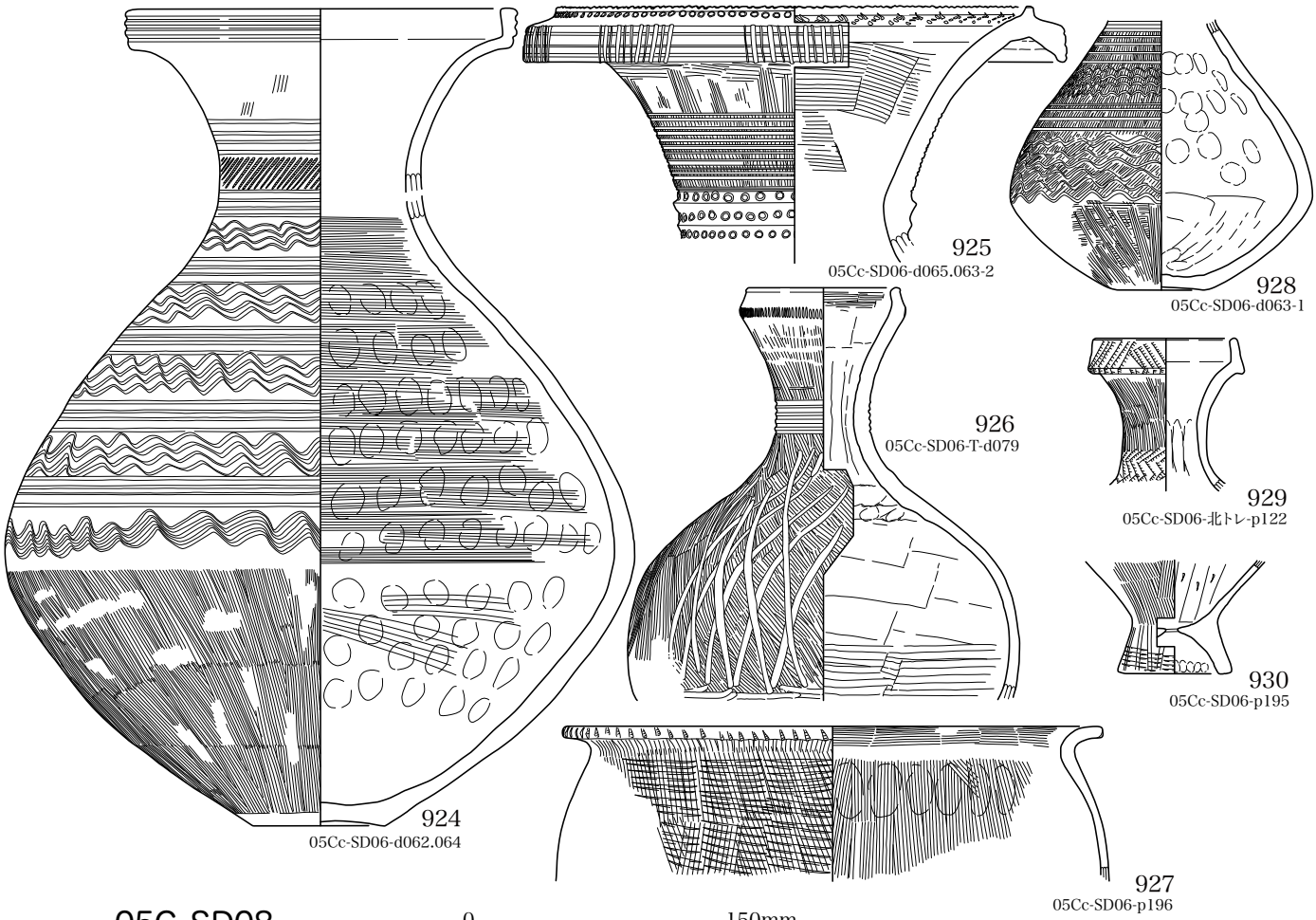
SZ434は7.5×7.2m

SZ435は7.9×7.7m

なお，周辺部では下層遺構として，主に貝田町式期を中心とした竪穴建物群が存在する。

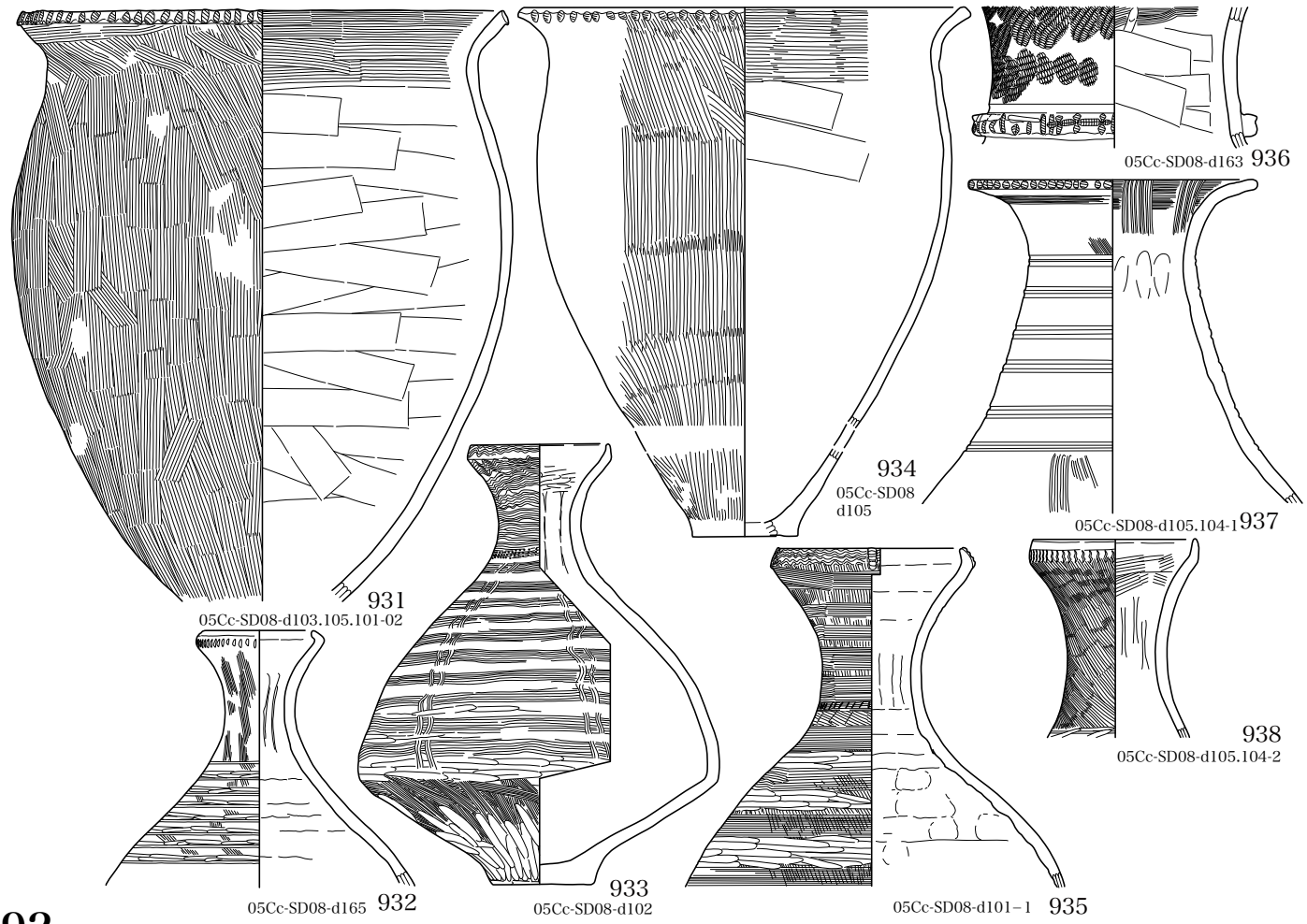


05C-SD06



05C-SD08

0 150mm



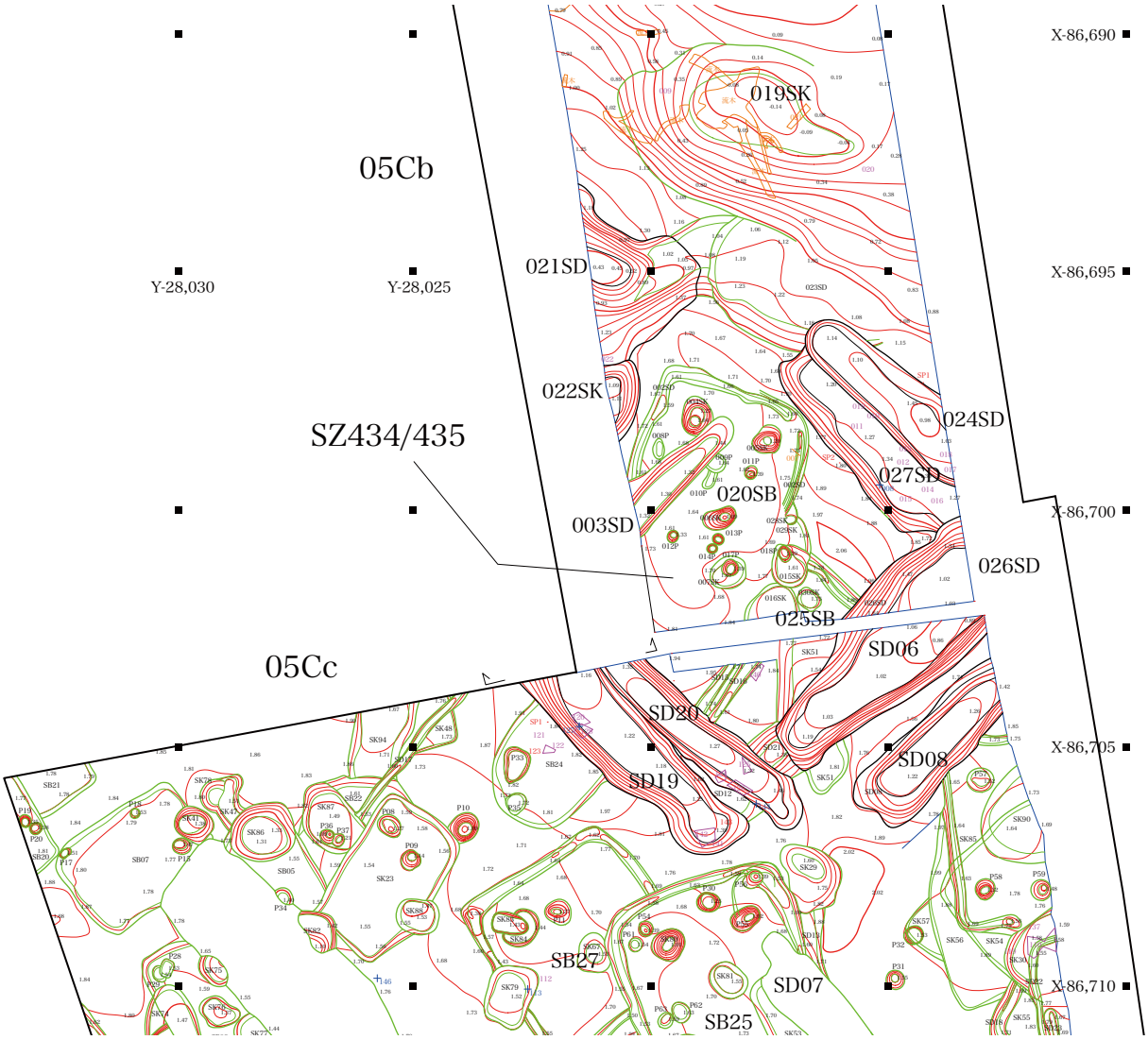
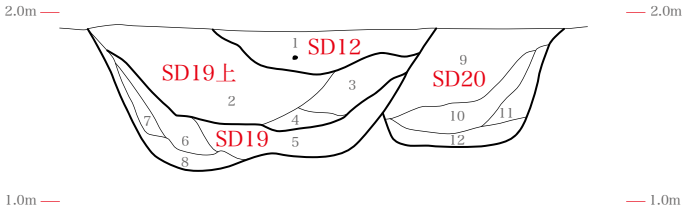
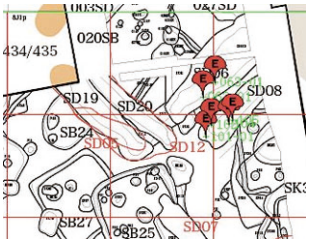


図 3.4.3-1　05Cc・Cb 区　SZ434・435　1/150



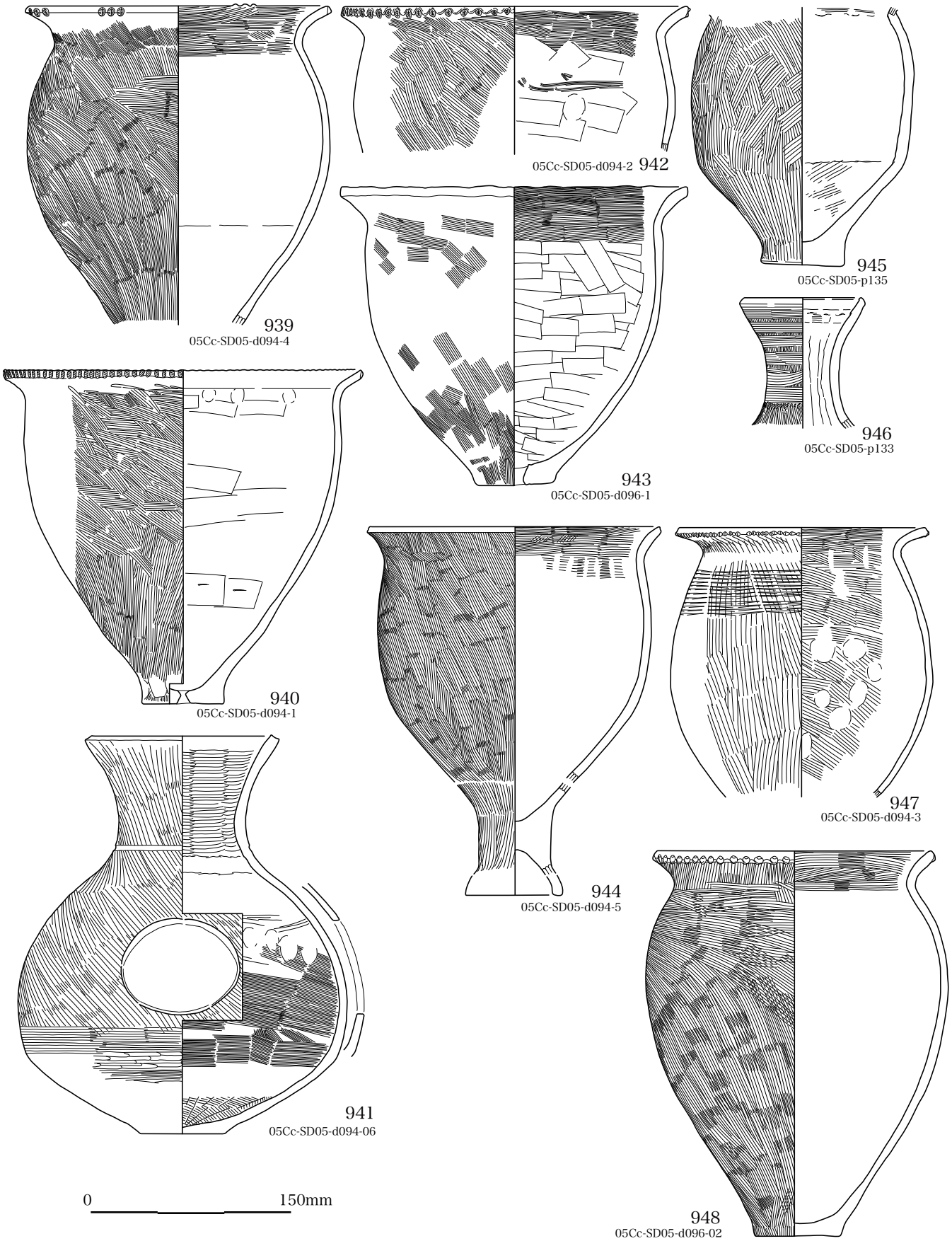


SD06・SD08 出土土器分布

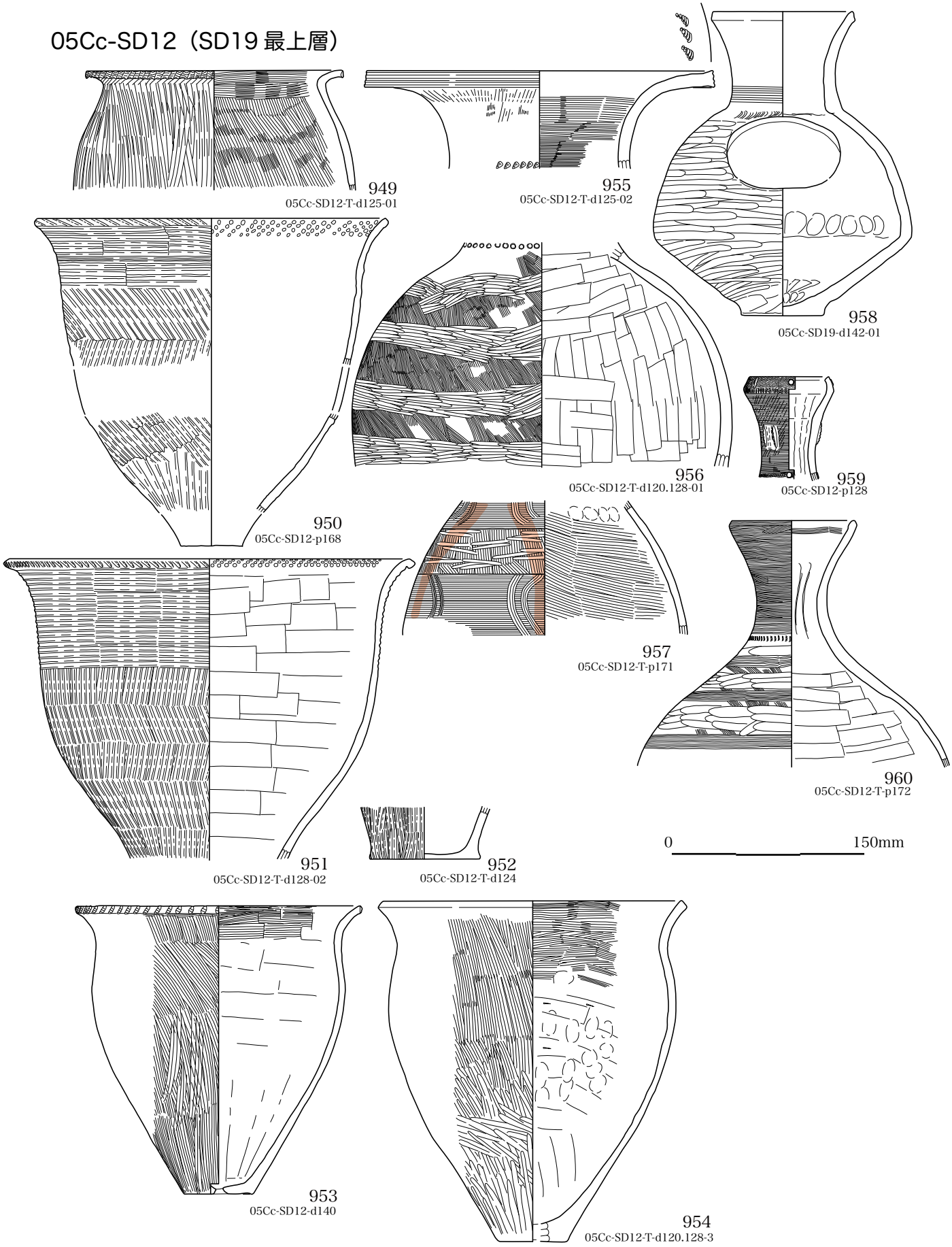
層序番号	土色記号	土色	土質	備考
1	2.5Y2/1	黒色	砂質土	酸化鉄分・炭化物・自然木含む
2	2.5Y2/1	黒色	シルト質砂	2.5Y3/2黒褐色細粒砂・貝・酸化鉄分・炭化物含む
3	2.5Y2/1	黒色	砂質土	酸化鉄分・炭化物含む
4	2.5Y2/1	黒色砂質土と2.5Y4/2暗灰黄色中粒砂の斑土		
5	2.5Y2/1	黒色砂質土と2.5Y2/1黒色砂質シルトの斑土　2.5Y4/2暗灰黄色中粒砂・炭化物含む		
6	2.5Y2/1	黒色シルト質砂と2.5Y4/2暗灰黄色中粒砂の斑土　2.5Y5/3黄褐色中粒砂ブロック含む		
7	2.5Y2/1	黒色	シルト質砂	
8	2.5Y2/1	黒色シルト質砂と2.5Y4/2暗灰黄色中粒砂の斑土		
9	2.5Y2/1	黒色	シルト質砂	炭化物・酸化鉄分・腐植物含む
10	2.5Y2/1	黒色	砂質土	多量の酸化鉄分含む
11	2.5Y2/1	黒色砂質土と2.5Y5/3黄褐色中粒砂の斑土		酸化鉄分・炭化物含む
12	2.5Y2/1	黒色	砂質土	炭化物含む

図 3.4.3-2　05Cc 区 SD19・SD20 北壁断面図　1/40

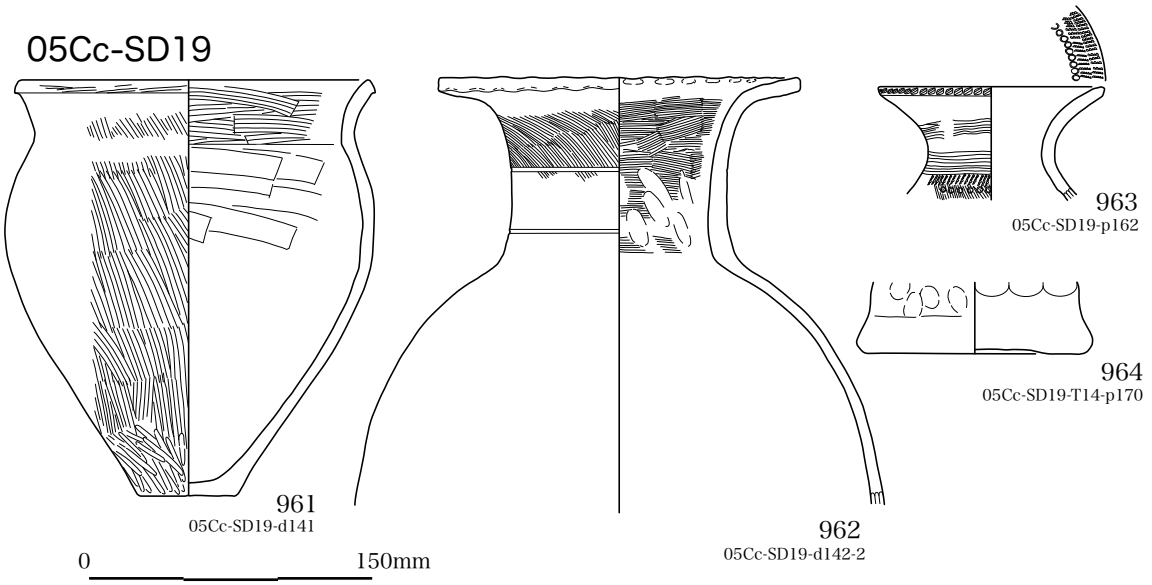
05Cc-SD05（SD19 上層）



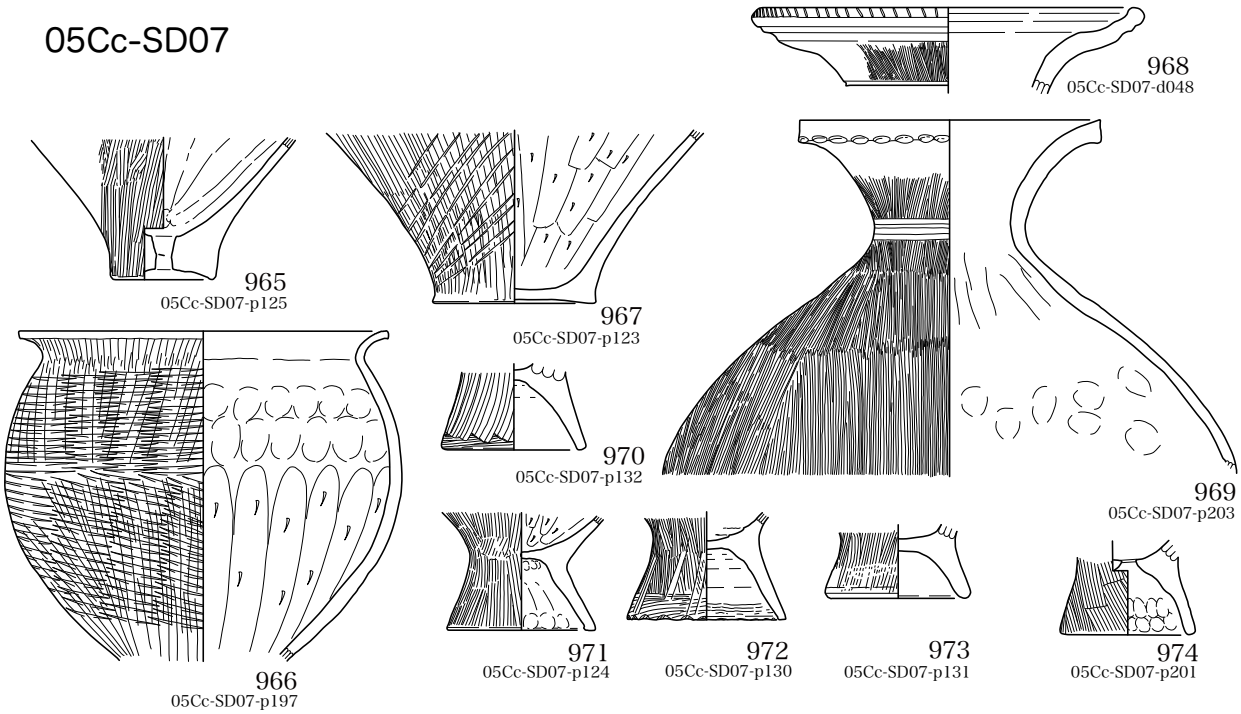
05Cc-SD12（SD19 最上層）



05Cc-SD19



05Cc-SD07



3.4.3.2　05Cb-021SD・019SK

05Cb 区には，谷 B によって削り取られる形で残存する，高蔵式期の遺構が認められる。021SD の存在からは SZ435 に接して，列状に配置された方形周溝墓の存在が類推できる。

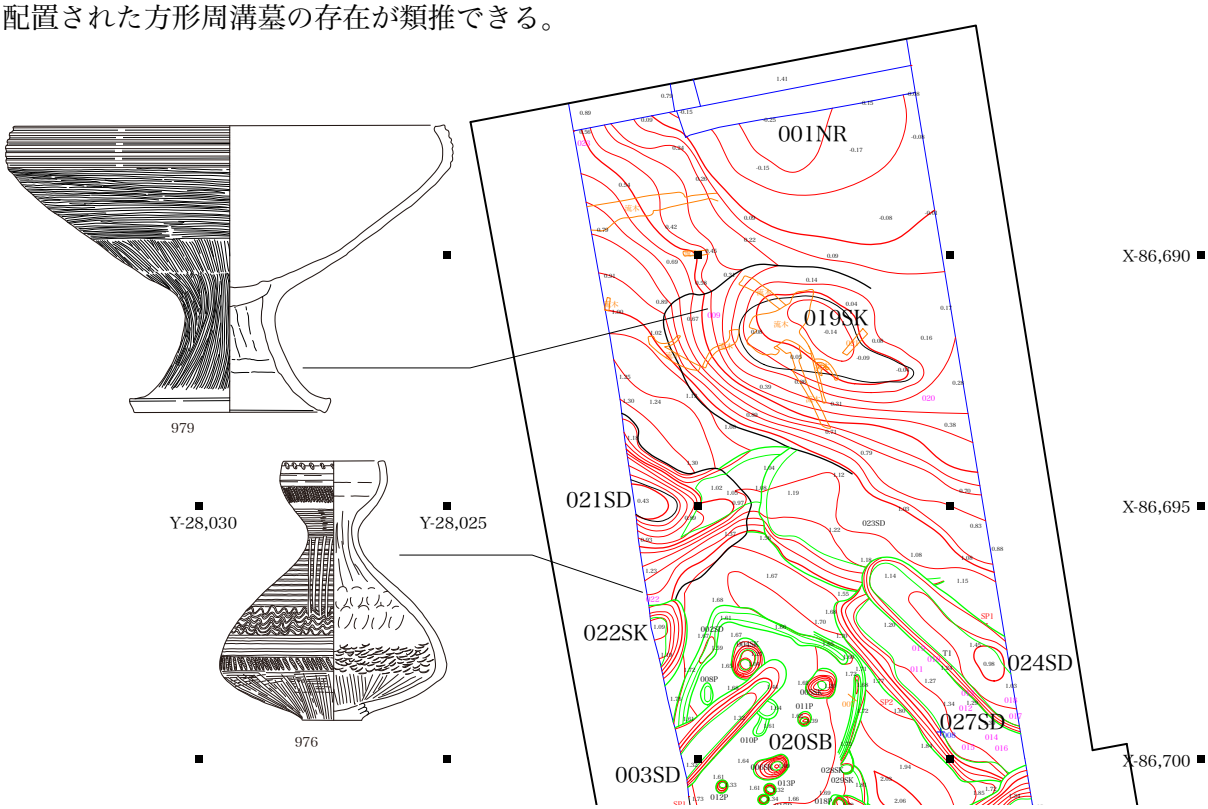
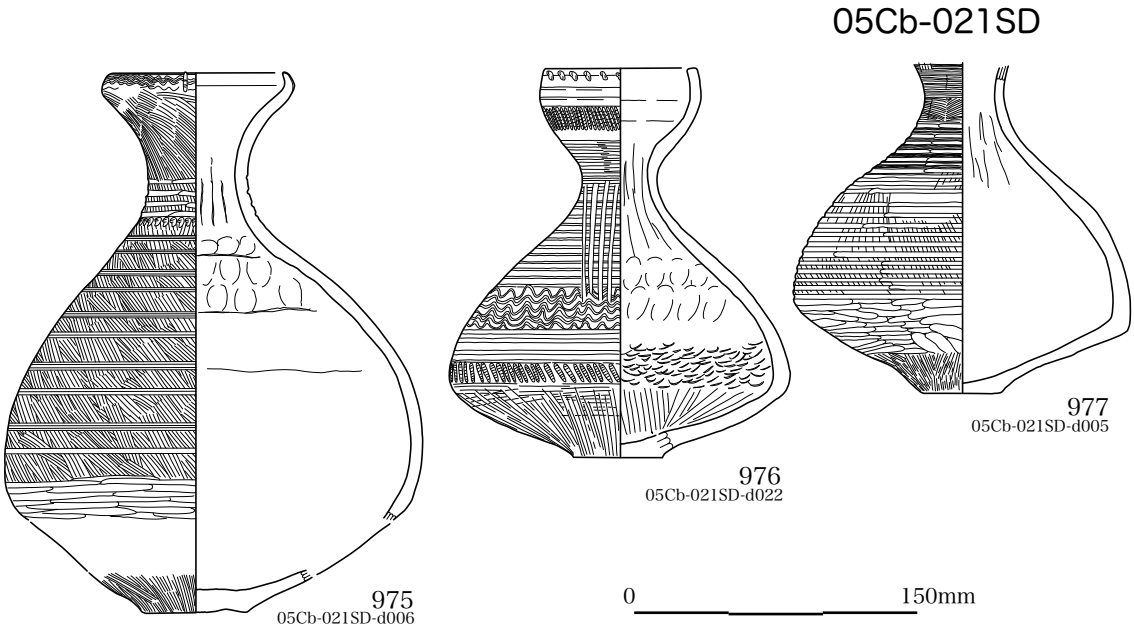
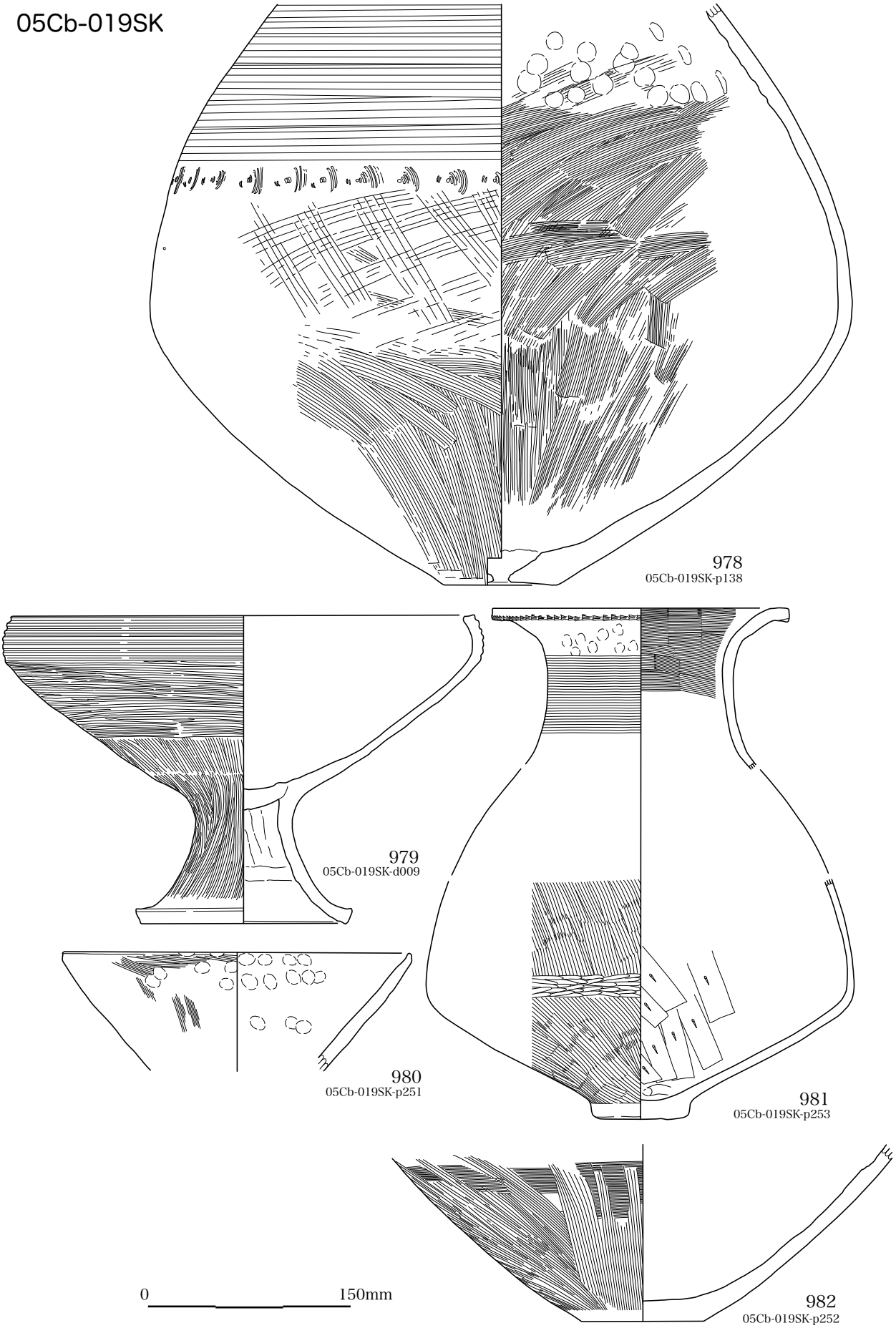


図 3.4.3-3　05Cc 区 021SD・019SK　1/150



05Cb-019SK


978
05Cb-019SK-p138
979
05Cb-019SK-d009
980
05Cb-019SK-p251
981
05Cb-019SK-p253
982
05Cb-019SK-p252
0
150mm

3.4.3.3　05Cb-020SB・05Cd-SB25・27

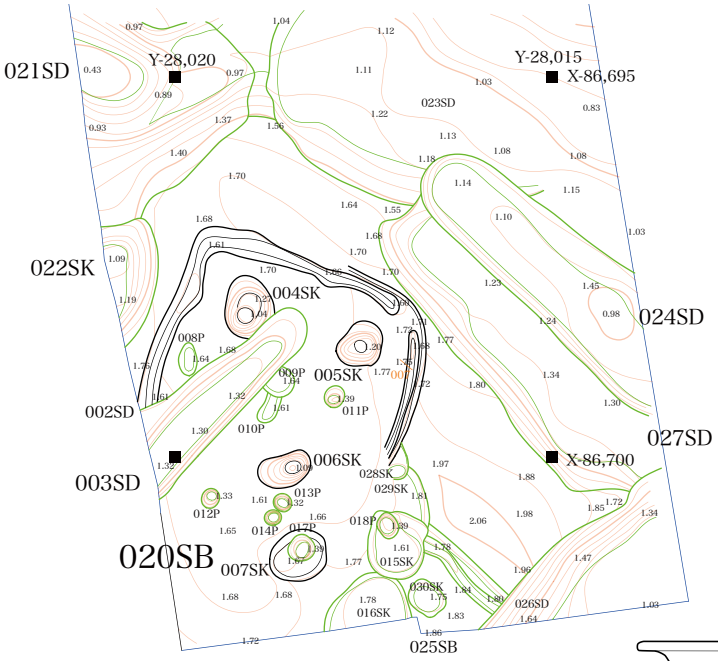


図 3.4.3-4　05Cb-020SB　1/100

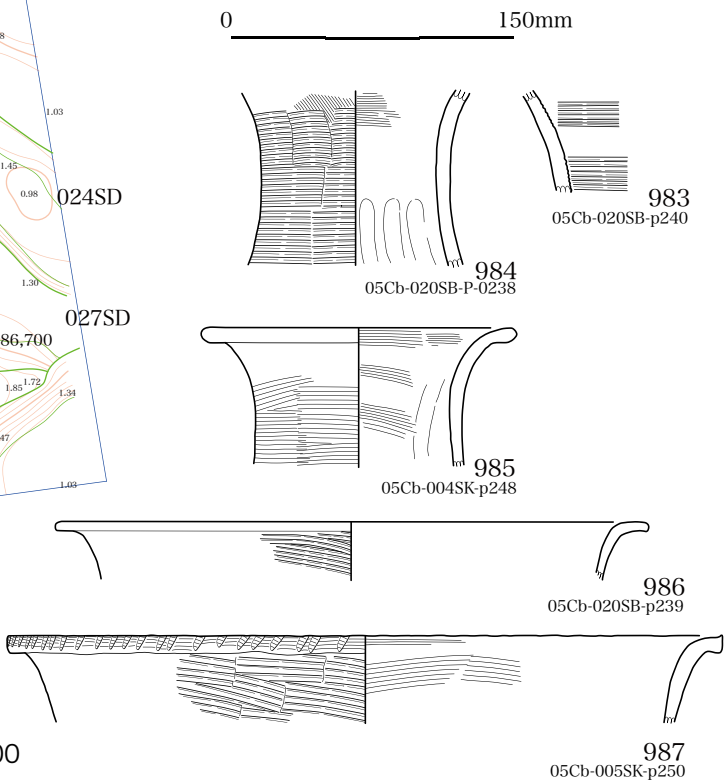
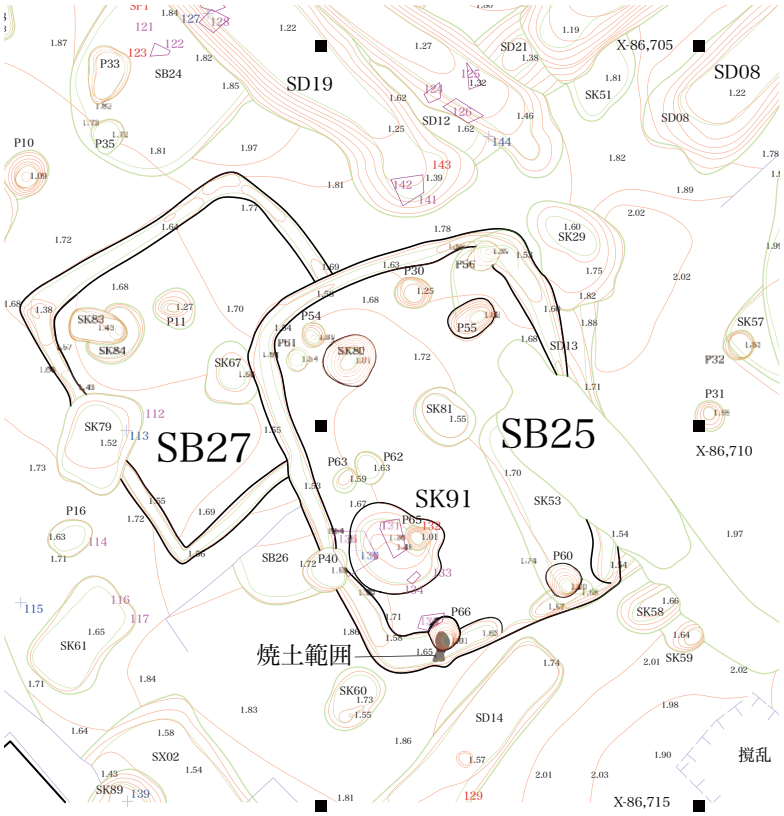


図 3.4.3-5　05Cc-025SB・027SB　1/100



谷Ｂ右岸である 05Cb・05Cc 区の下層には貝田町式期を中心とする竪穴建物が点在し，居住区を形成する。加工面には建物痕跡のピット・小溝などが数多く確認できる。その中で最も古く遡ることができる資料が，朝日式２期に所属する 05Cb 区 020SB と思われる。05Cc 区の SB025・027 は貝田町式期の竪穴建物で前者は長軸 5.3m で短軸 4.12m・深さ 0.29m を測る。

3.4.3.4　後期南区画環濠　　内環濠（05Cc-SD01）
外環濠（05Cc-SD02・05Cd-SD06）

後期南区画の環濠が 05Cc 区の中で収束する状況が確認できた。内環濠である SD01 は調査区北西端で垂直に立ち上がって収束する。一方で外環濠である SD02 は調査区西端部でやや拡張しつつ収束する状況が見られる。

SD01 と SD02 は八の字状に開き，SD02 は谷 B に連続するのではなく，その直前で収束するもと思われる。なお，環濠の収束地点の中央部には円形状の落ち込み SX01 が存在する。明確な出土遺物は確認できない。SD01 の掘削時期は山中 I 式期に遡り，中層（朝日 H 層）からは廻間式期にかけて遺物が混在する。

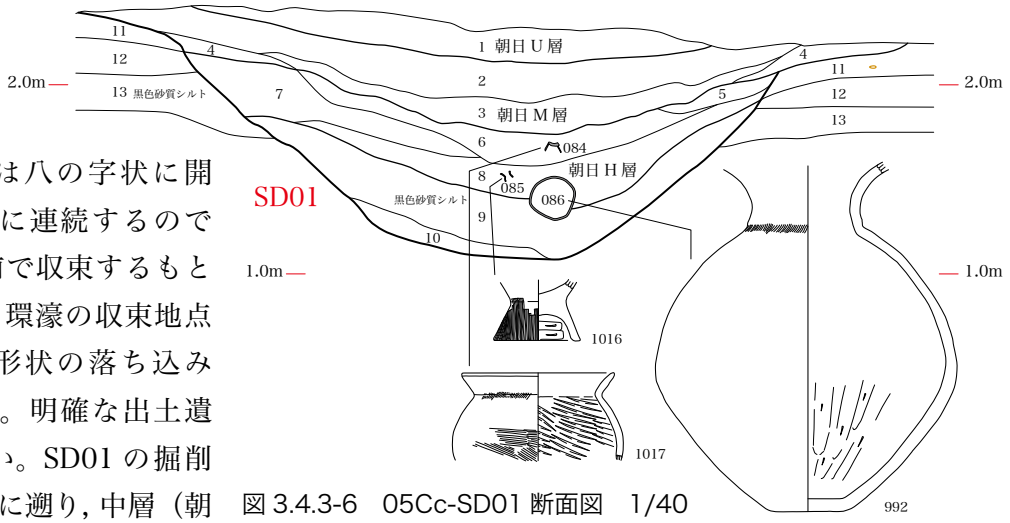


図 3.4.3-6　05Cc-SD01 断面図　1/40

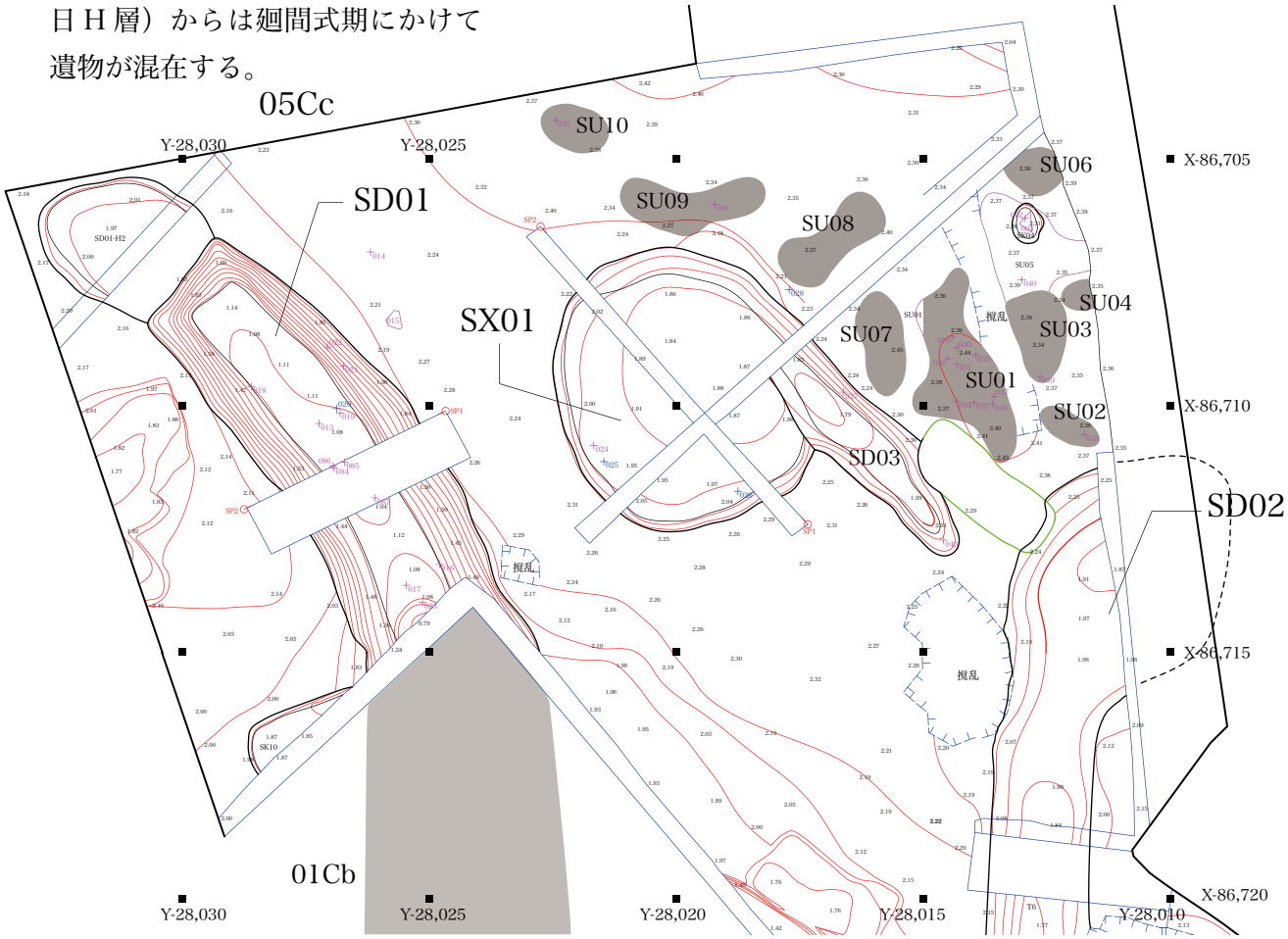
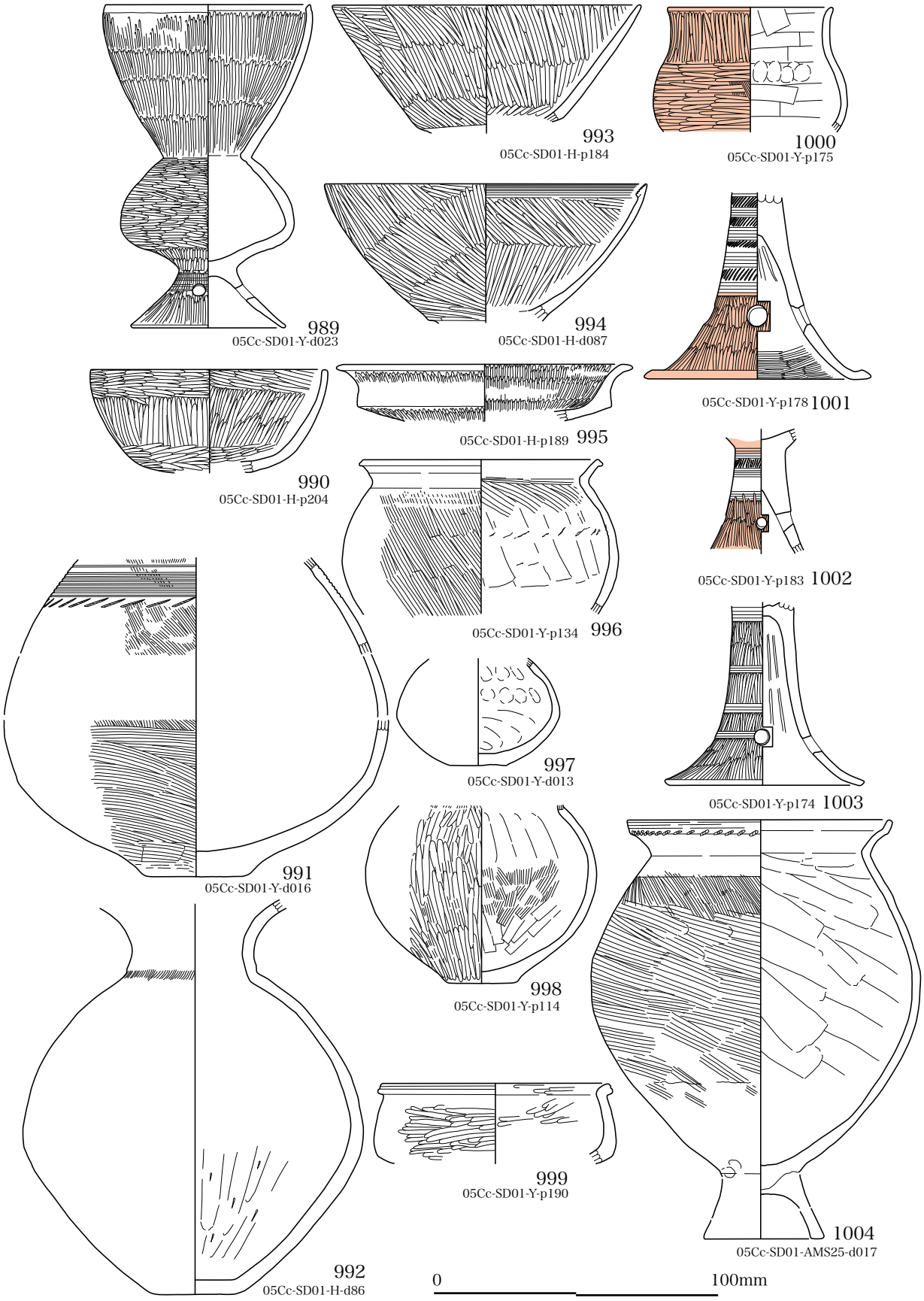


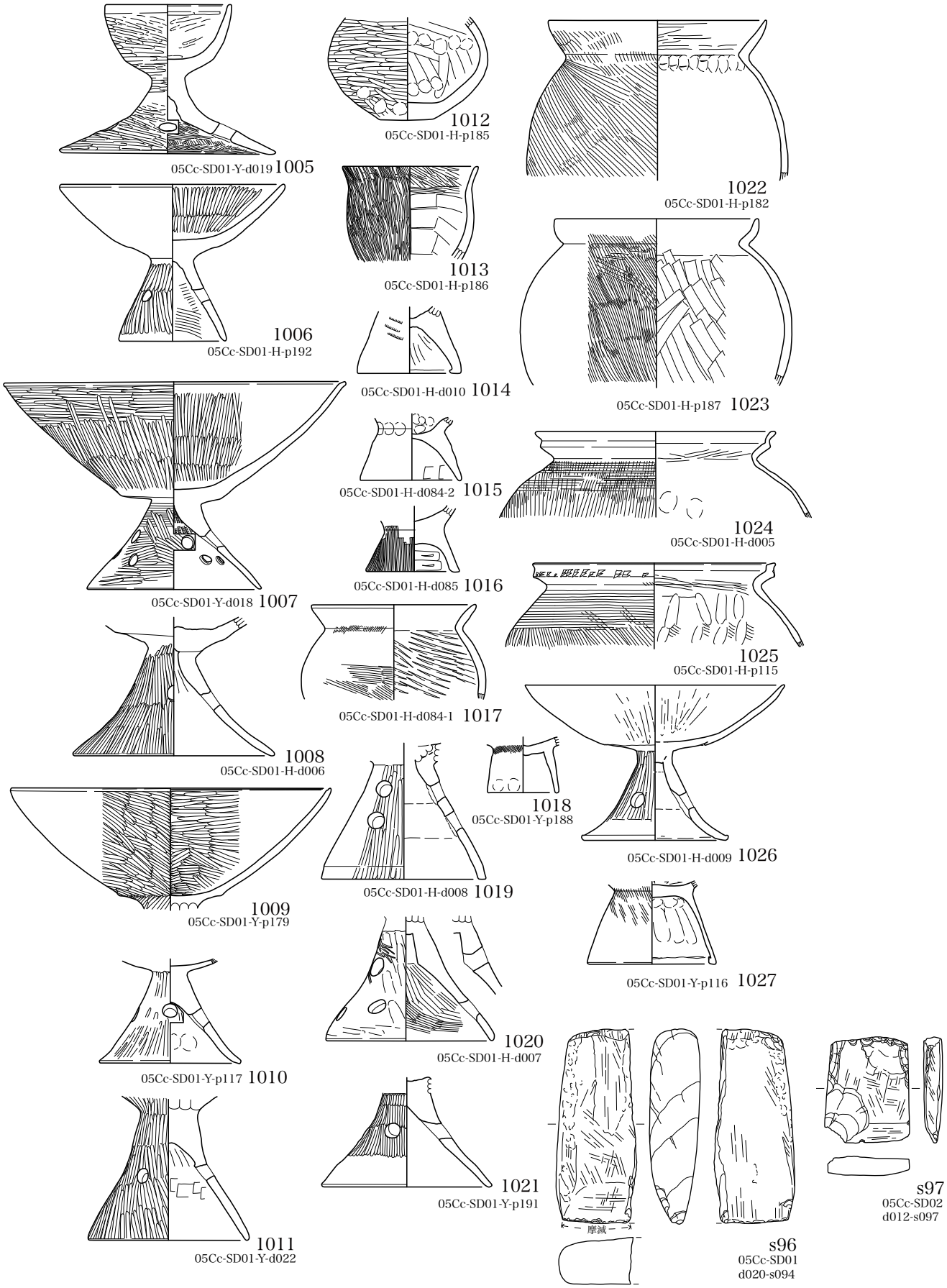
図 3.4.3-7　環濠 05Cc-SD01・SD02　1/150

05Cc-SD01_1

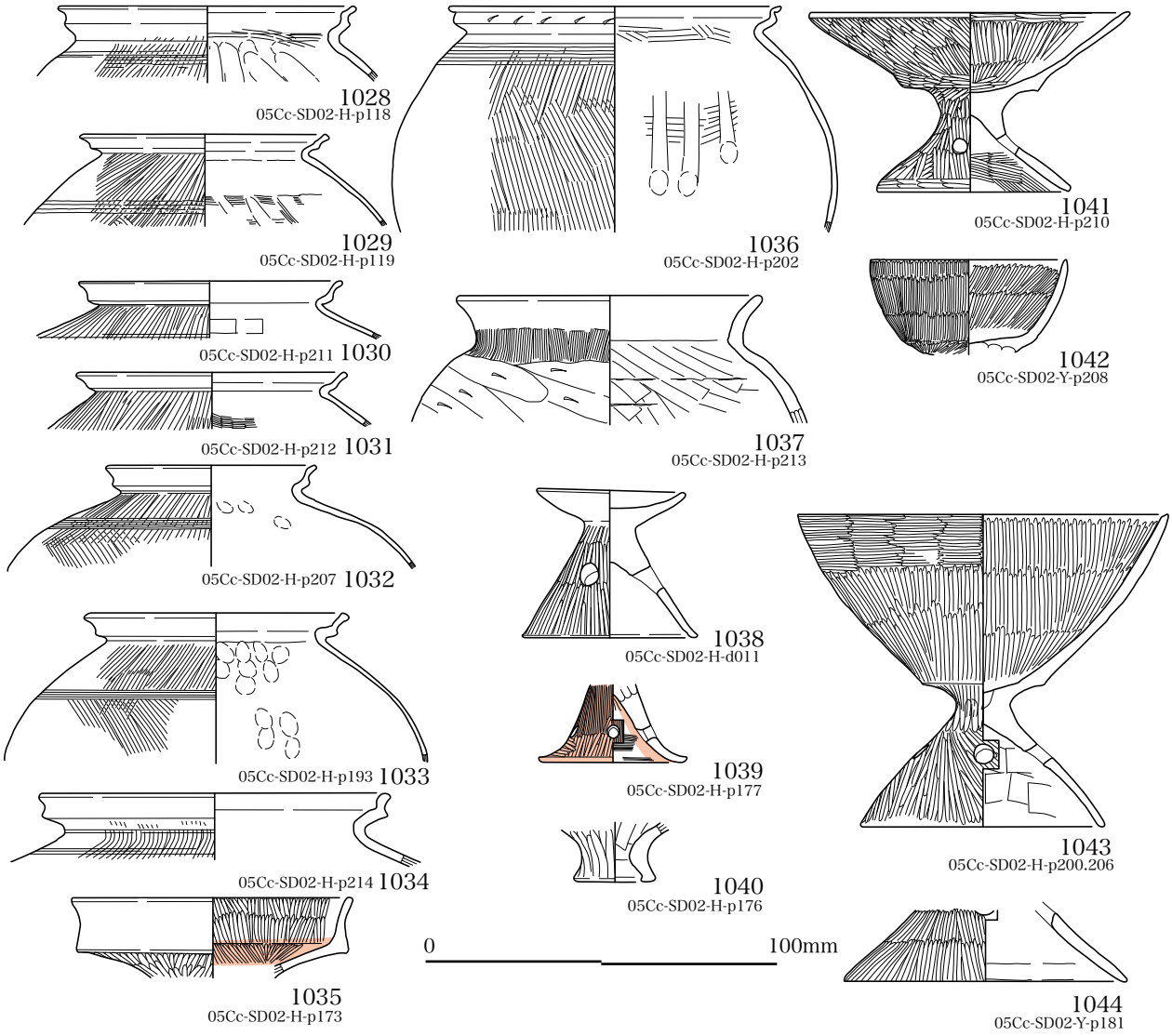


＊図 3.4.3-5 での 6 ～ 8 朝日 H 層内出土土器（H），9 層出土土器（Y）で表示

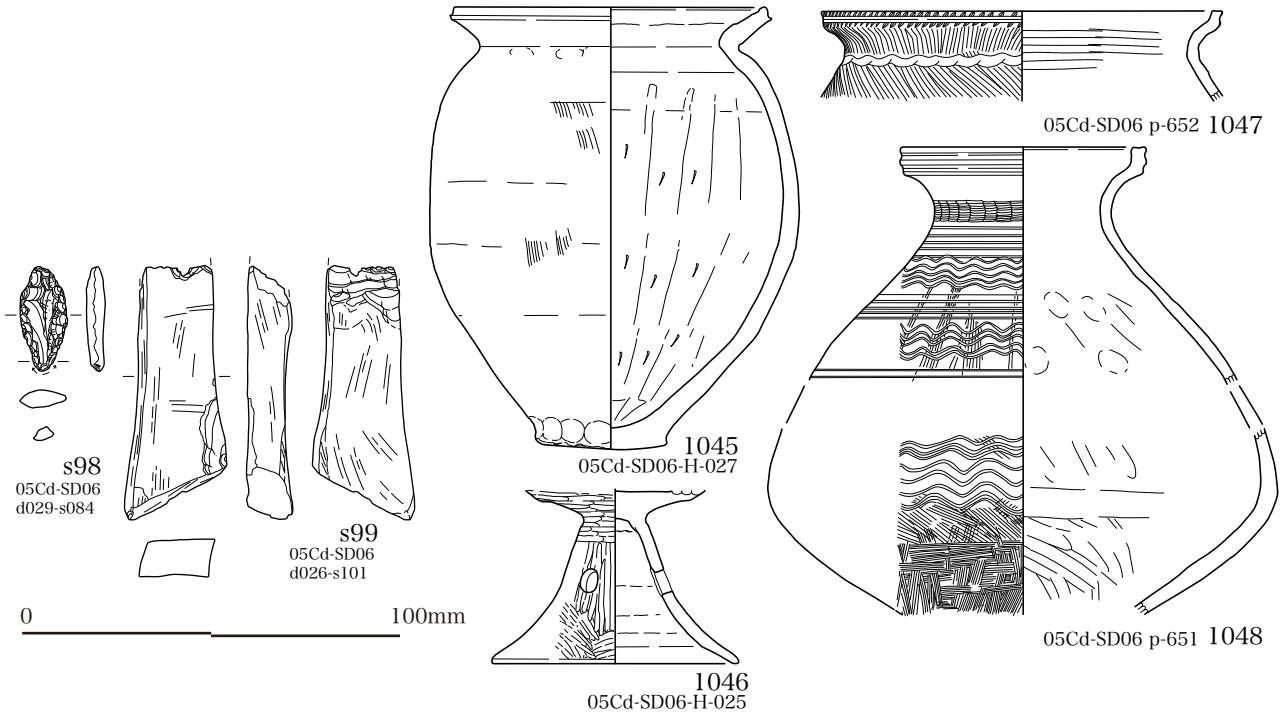
05Cc-SD01_2


05Cc-SD01-Y-d019 1005
1012
05Cc-SD01-H-p185
1022
05Cc-SD01-H-p182
1013
05Cc-SD01-H-p186
1006
05Cc-SD01-H-p192
05Cc-SD01-H-d010 1014
05Cc-SD01-H-p187 1023
05Cc-SD01-H-d084-2 1015
1024
05Cc-SD01-H-d005
05Cc-SD01-H-d085 1016
05Cc-SD01-Y-d018 1007
1025
05Cc-SD01-H-p115
05Cc-SD01-H-d084-1 1017
1008
05Cc-SD01-H-d006
1018
05Cc-SD01-Y-p188
05Cc-SD01-H-d009 1026
1009
05Cc-SD01-Y-p179
05Cc-SD01-H-d008 1019
05Cc-SD01-Y-p116 1027
1020
05Cc-SD01-H-d007
05Cc-SD01-Y-p117 1010
1021
05Cc-SD01-Y-p191
1011
05Cc-SD01-Y-d022
摩滅
s97
05Cc-SD02
d012-s097
s96
05Cc-SD01
d020-s094

05Cc-SD02_3



05Cd-SD06

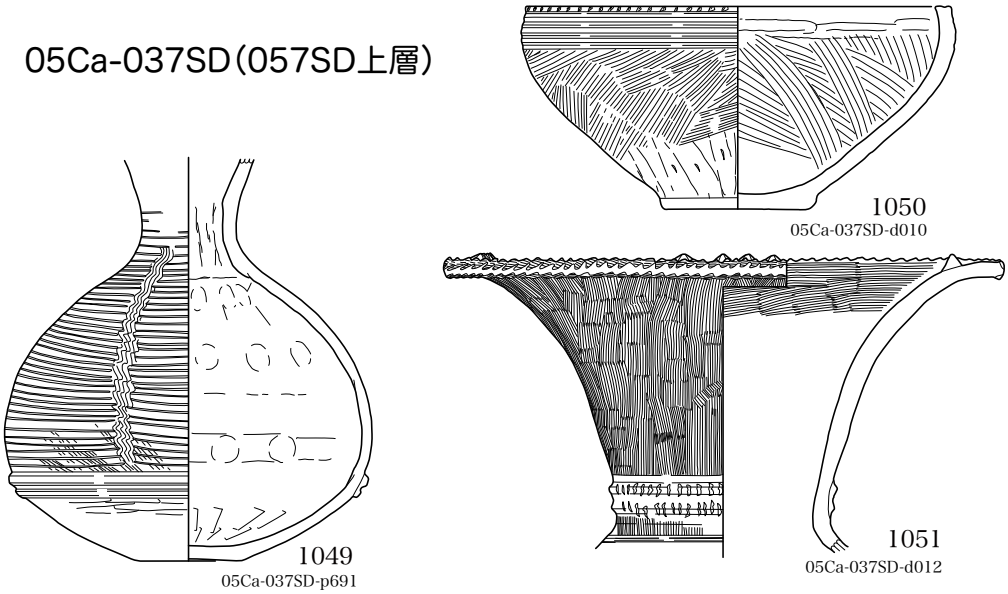


3.4.3.5　SZ436

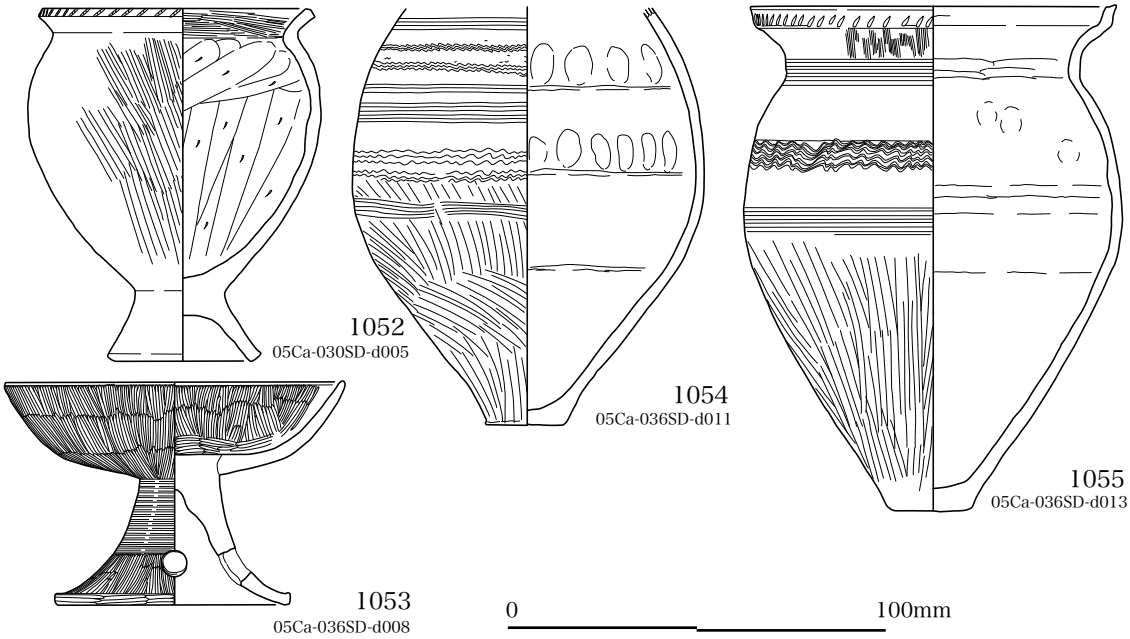
05Cc-SD09・05Cd-SD02・SD04
05Ca-030SD・036SD・037SD・057SD

SZ436 は高蔵式期に所属するもので，谷 B 右岸に存在する大型の方形周溝墓。墳丘のほぼ中央部には大型の墓壙（029SK）が存在し，黄色中粒砂基盤層（朝日 G 層）を混在する埋土が見られる。その内側には 033SK の木棺墓と思われる痕跡が検出でき，頭部を含めわずかに人骨痕跡が確認できた。SZ436 はいくつかの陸橋部をもつ長方形を呈する周溝墓で，規模は 17.5×12.6m を測る。墓壙 029SK は 3.46×2m 以上で深さ 0.58m。033SK は 2.49×1.0m で深さは 0.43m。

05Ca-037SD（057SD上層）



05Ca-030･036SD上層



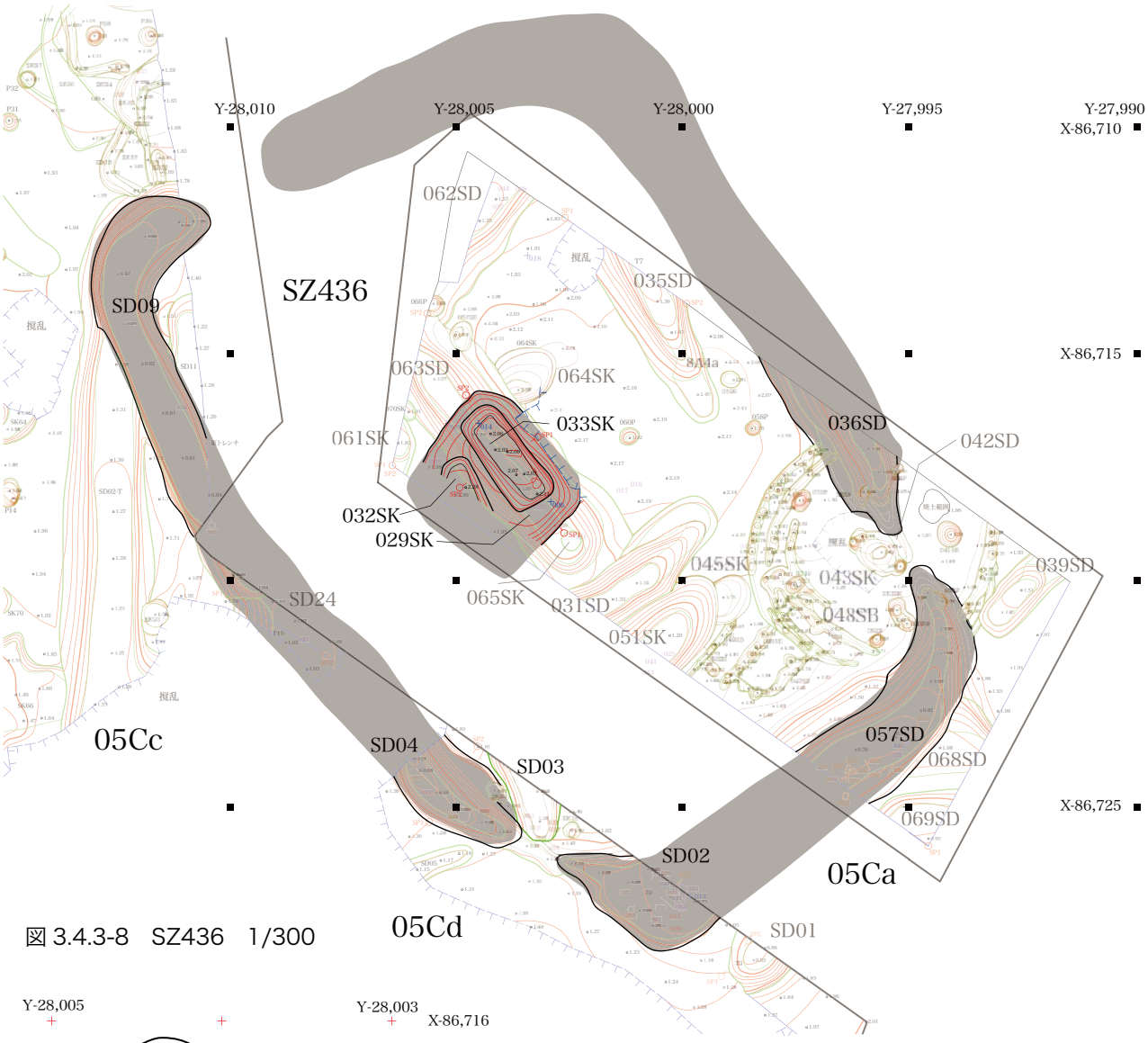


図 3.4.3-8　SZ436　1/300

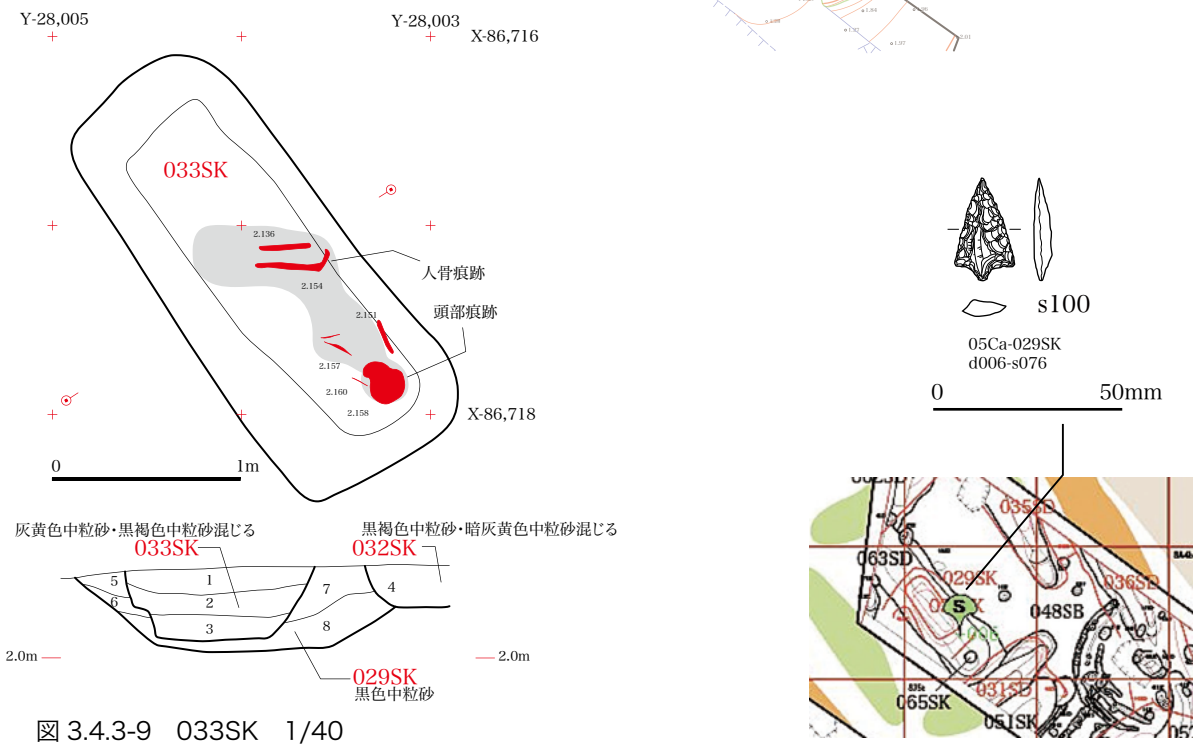
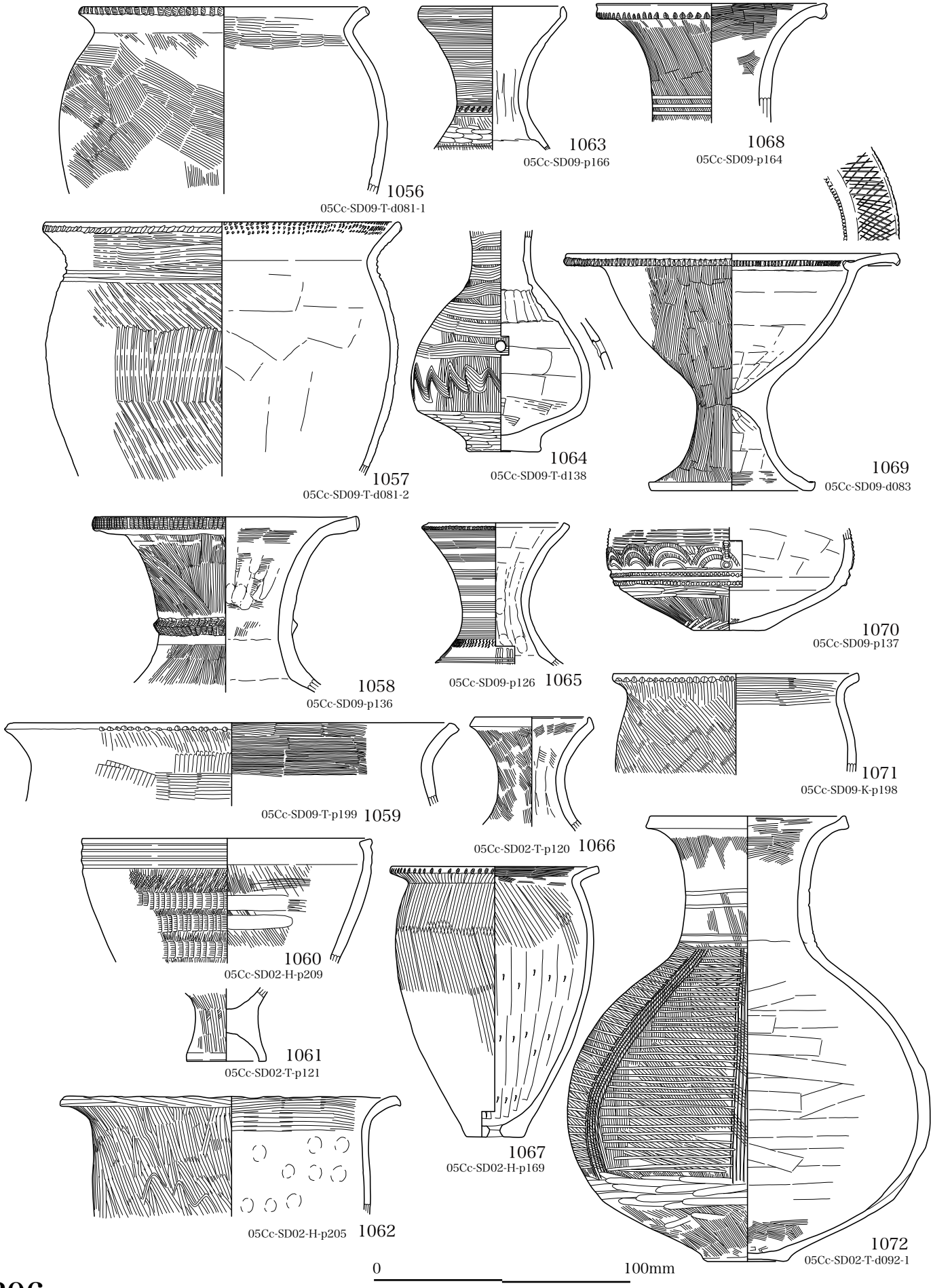
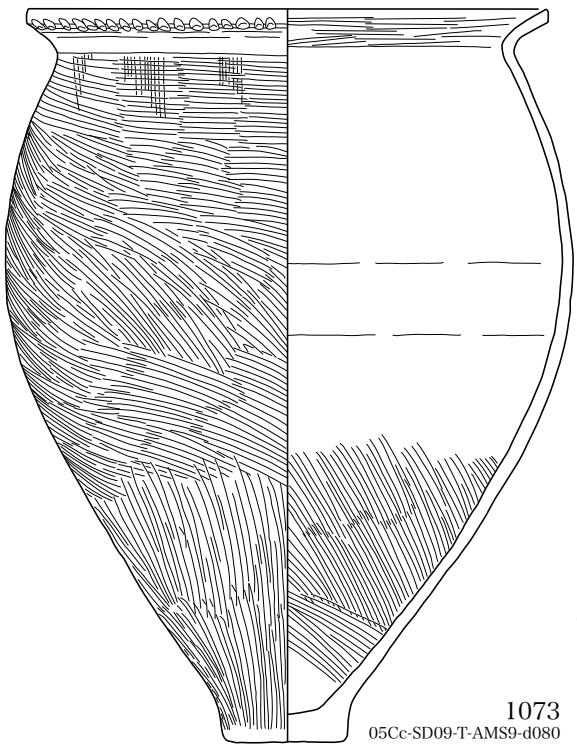


図 3.4.3-9　033SK　1/40

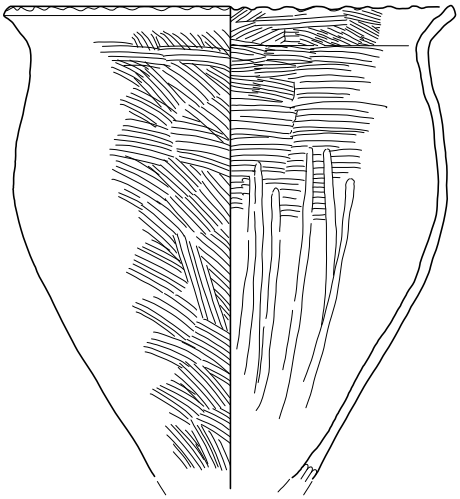
05Cc-SD09_1


1056
05Cc-SD09-T-d081-1
1063
05Cc-SD09-p166
1068
05Cc-SD09-p164
1057
05Cc-SD09-T-d081-2
1064
05Cc-SD09-T-d138
1069
05Cc-SD09-d083
1058
05Cc-SD09-p136
05Cc-SD09-p126 1065
1070
05Cc-SD09-p137
05Cc-SD09-T-p199 1059
05Cc-SD02-T-p120 1066
1071
05Cc-SD09-K-p198
1060
05Cc-SD02-H-p209
1061
05Cc-SD02-T-p121
1067
05Cc-SD02-H-p169
05Cc-SD02-H-p205 1062
1072
05Cc-SD02-T-d092-1
0
100mm

05Cc-SD09_2

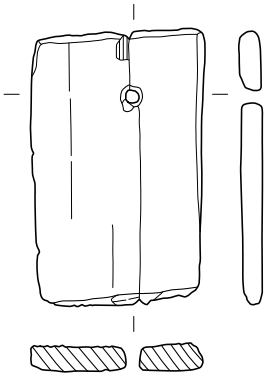


1073
05Cc-SD09-T-AMS9-d080

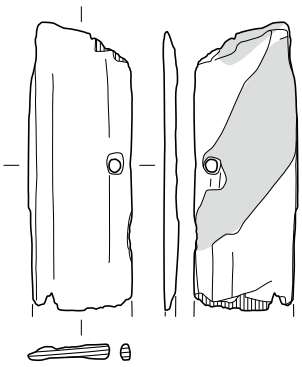


1074
05Cc-SD09-T-d082

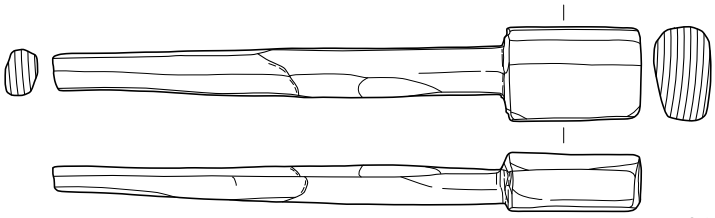
0 100mm



w311
05Ca-057SD-d035-w486

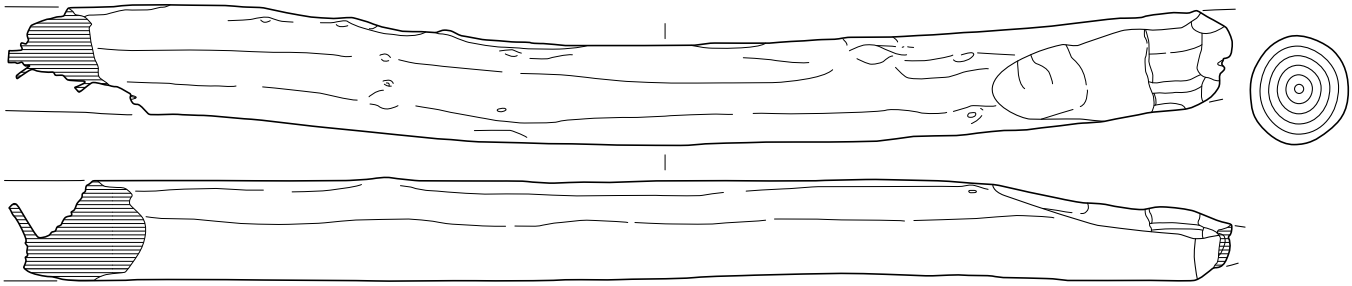


w312
05Ca-057SD-w472



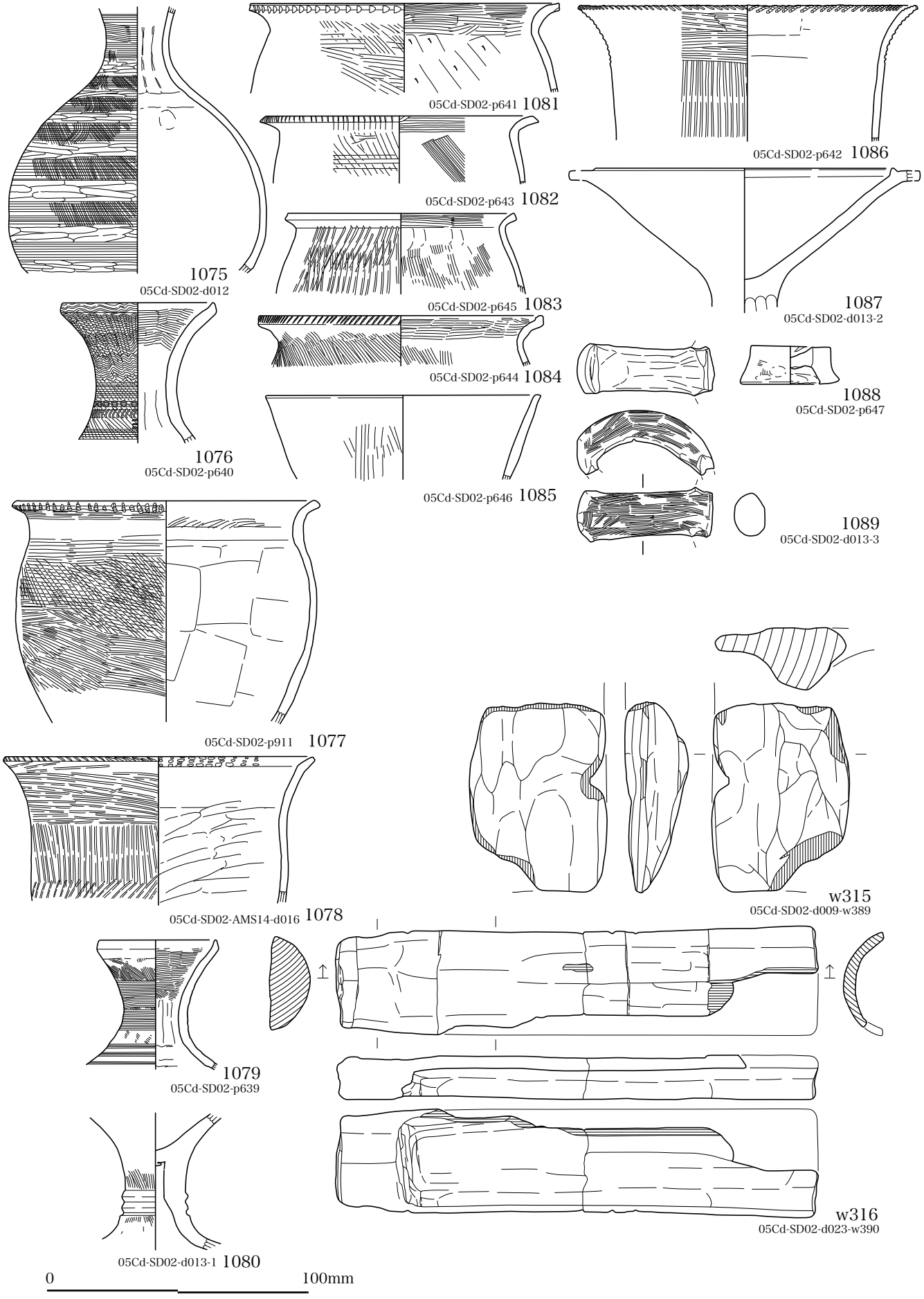
w313
05Ca-057SD-d033-w485

0 100mm

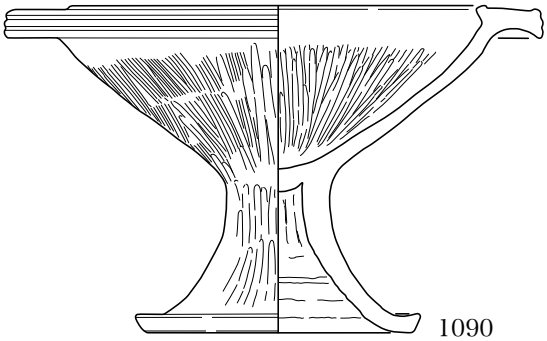


w314
05Ca-057SD-w379

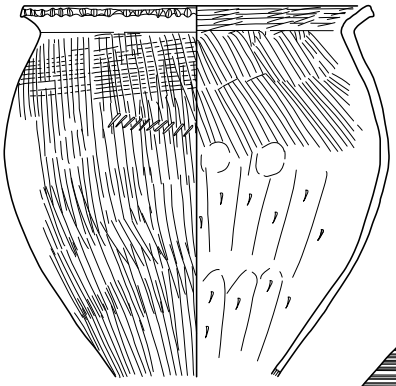
05Cd-SD02


1075
05Cd-SD02-d012
05Cd-SD02-p641 1081
05Cd-SD02-p642 1086
05Cd-SD02-p643 1082
05Cd-SD02-p645 1083
1087
05Cd-SD02-d013-2
05Cd-SD02-p644 1084
1088
05Cd-SD02-p647
1076
05Cd-SD02-p640
05Cd-SD02-p646 1085
1089
05Cd-SD02-d013-3
05Cd-SD02-p911 1077
05Cd-SD02-AMS14-d016 1078
w315
05Cd-SD02-d009-w389
1079
05Cd-SD02-p639
w316
05Cd-SD02-d023-w390
05Cd-SD02-d013-1 1080
0
100mm

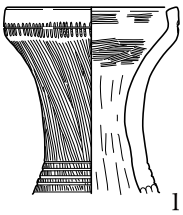
05Cd-SD03



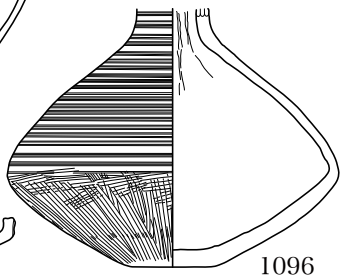
1090
05Cd-SD03-d001



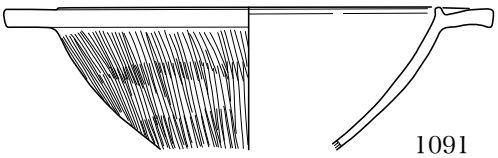
1093
05Cd-SD03-d005.010.004-1



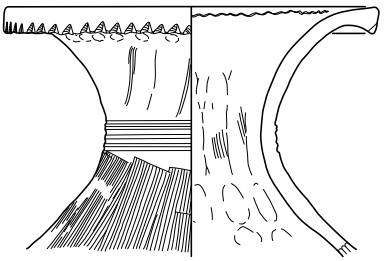
1095
05Cd-SD03-p649



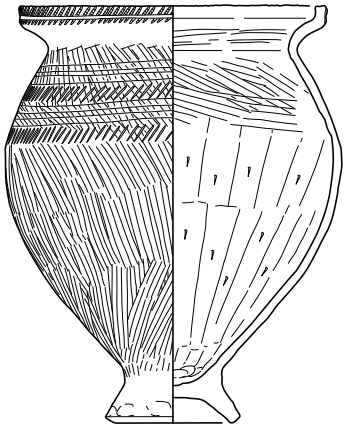
1096
05Cd-SD03-d003



1091
05Cd-SD03-004-2



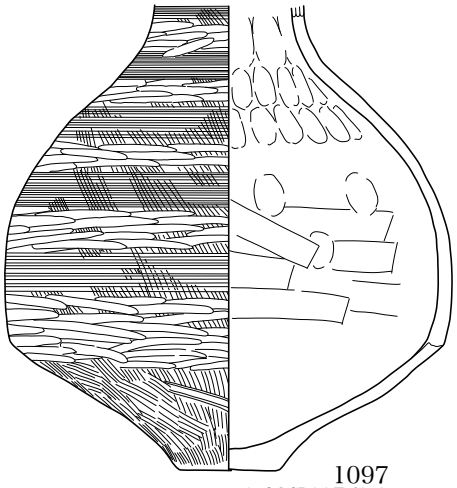
1092
05Cd-SD03-d002



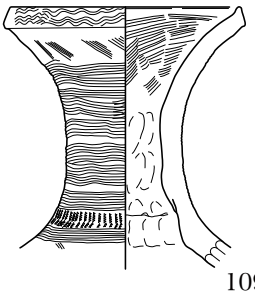
1094
05Cd-SD03-p648

05Cd-SD04

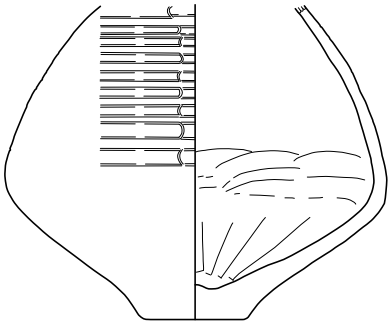
0 100mm



1097
05Cd-SD04-T-d018



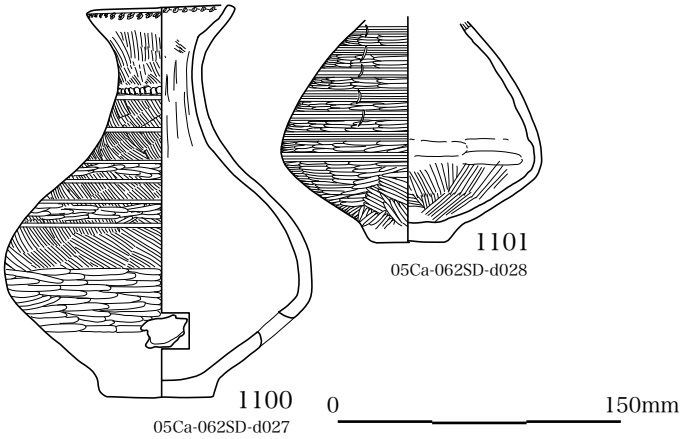
1098
05Cd-SD04-T-d020

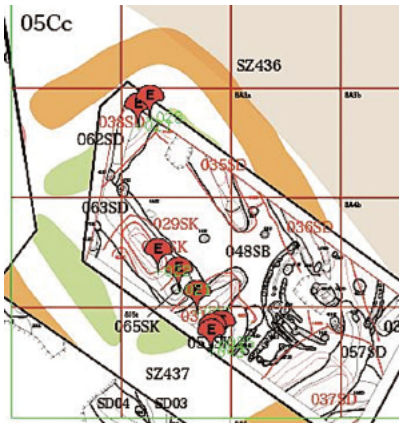


1099
05Cd-SD04-p650

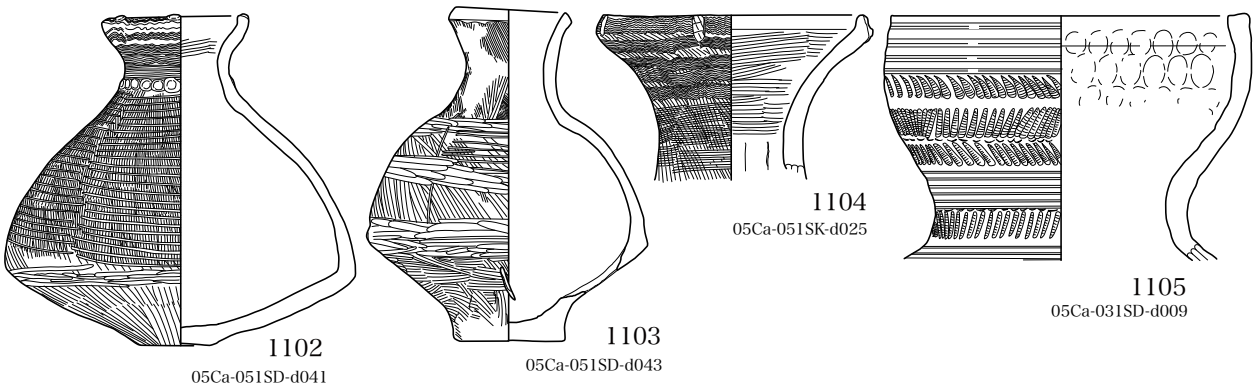
3.4.3.6　SZ437
05Ca-038SD・035SD・031SD・062SD

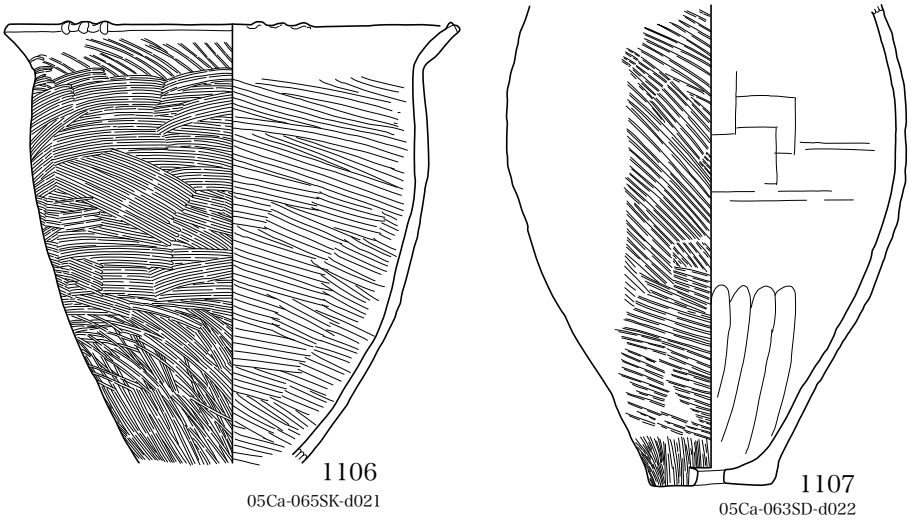
SZ437





関連遺物出土地点





3.4.3.7　05Ca-048SB

048SB は 05Ca 区で方形周溝墓 SZ436 の下層で検出した竪穴建物。二重の円形壁溝を伴い，主柱穴が 6 ヶ所確認できる。中央土坑には両脇に小ピットを伴う松菊里型住居であるが，南側には長方形状の突出部と思われる施設が伴う。径 5.46m 深さ 0.27m を測る。貝田町式前葉に所属するものと思われる。なお南側にはベンガラの散布が見られる。

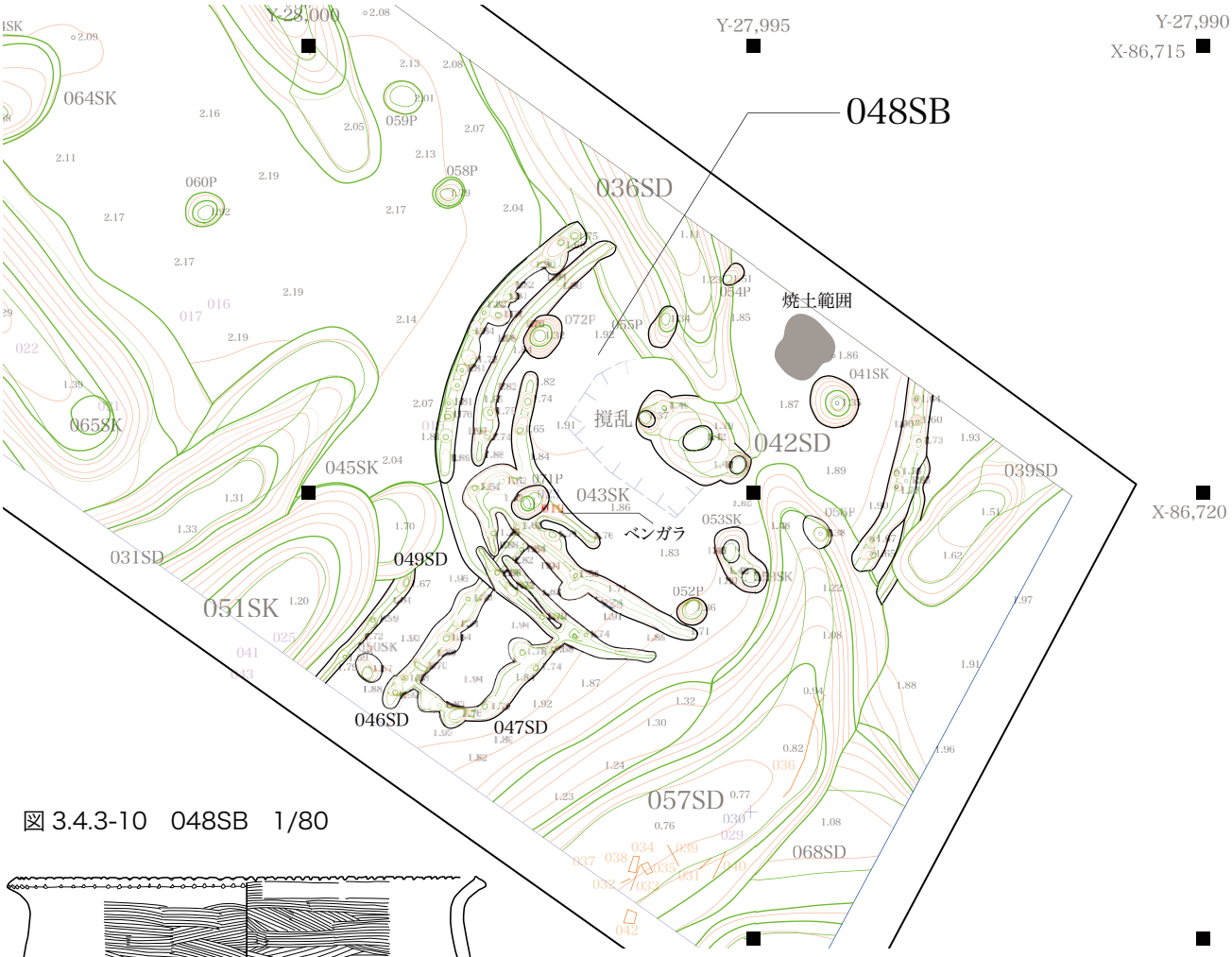
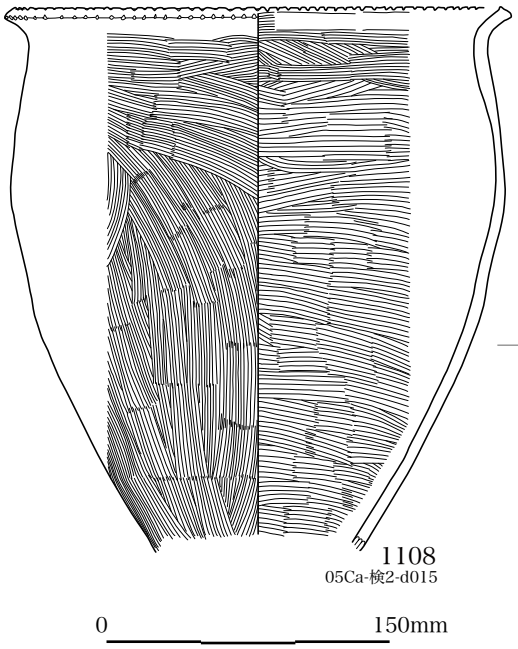


図 3.4.3-10　048SB　1/80



3.4.3.8　05Cc- 遺物集積
05Cc-SU01 ～ SU10

05Cc 区の北東側で確認できた遺物集積群。

後期環濠の出入口付近には，土器を含む小規模な土手状の若干の高まりが存在し，高蔵式期を中心とした土器が多く含まれる。おそらく後期環濠の掘削とその出入口および谷 B 右岸の整備のための造成面と推測でき，高蔵式期の土器廃棄面と考えるよりも，二次的な整地等に伴うものと評価したい。

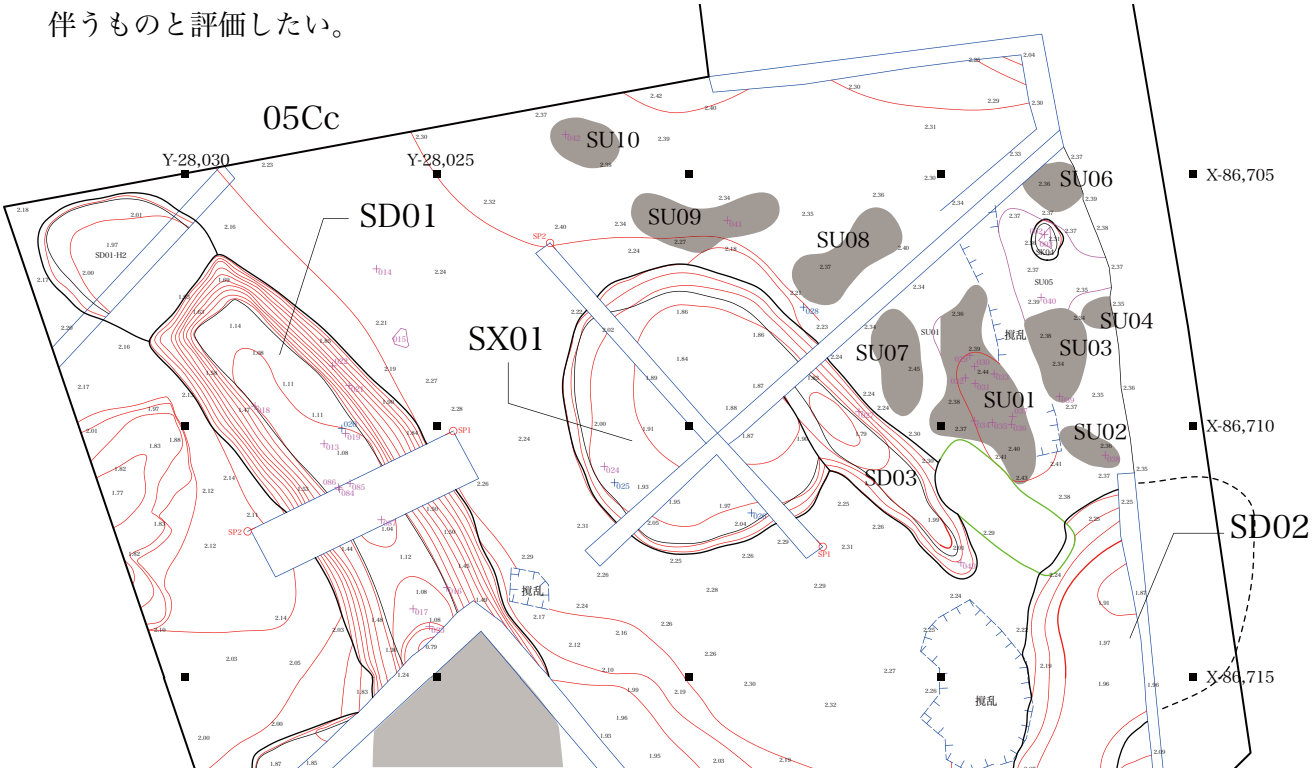
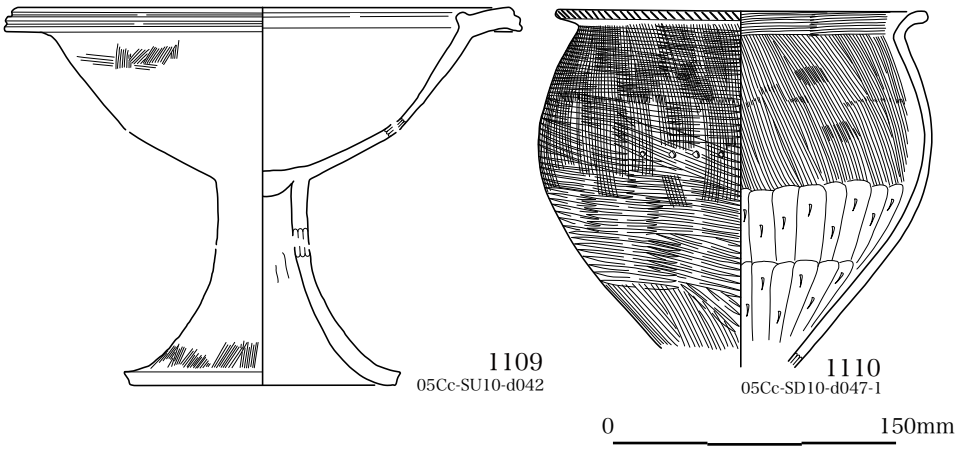
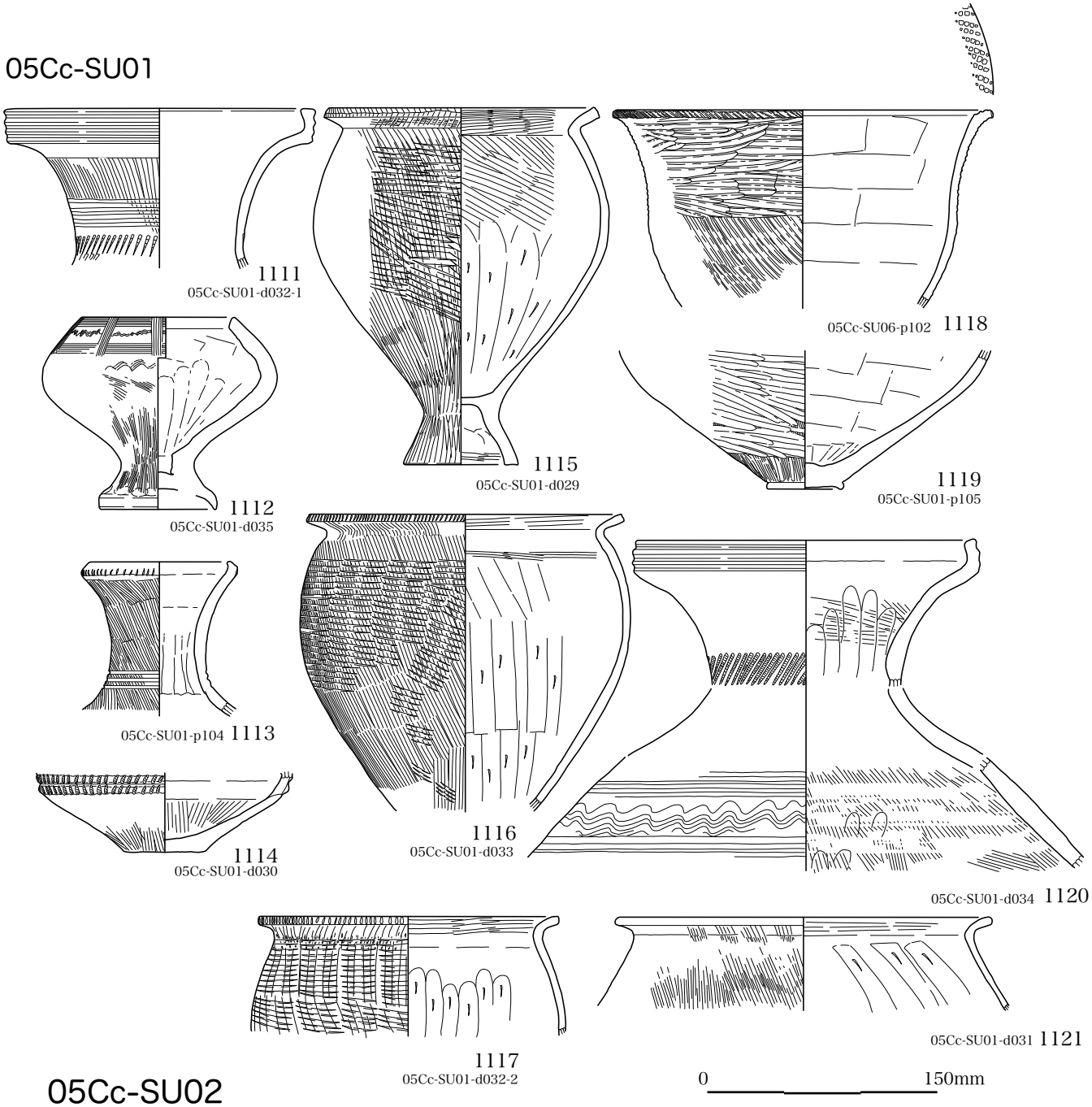


図 3.4.3-11　遺物集積　1/150

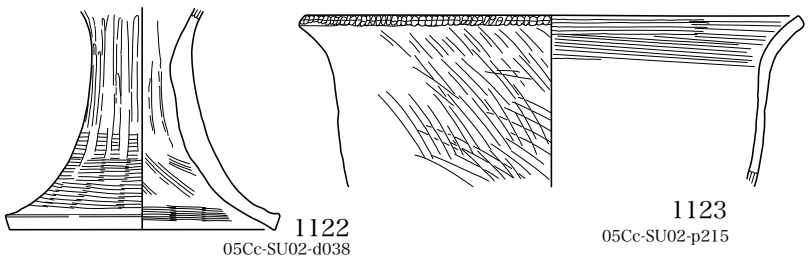
05Cc-SU10

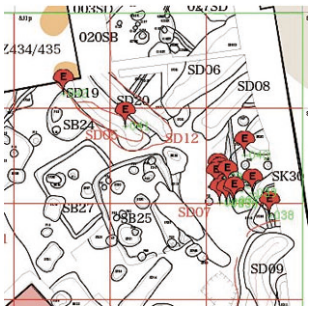


05Cc-SU01



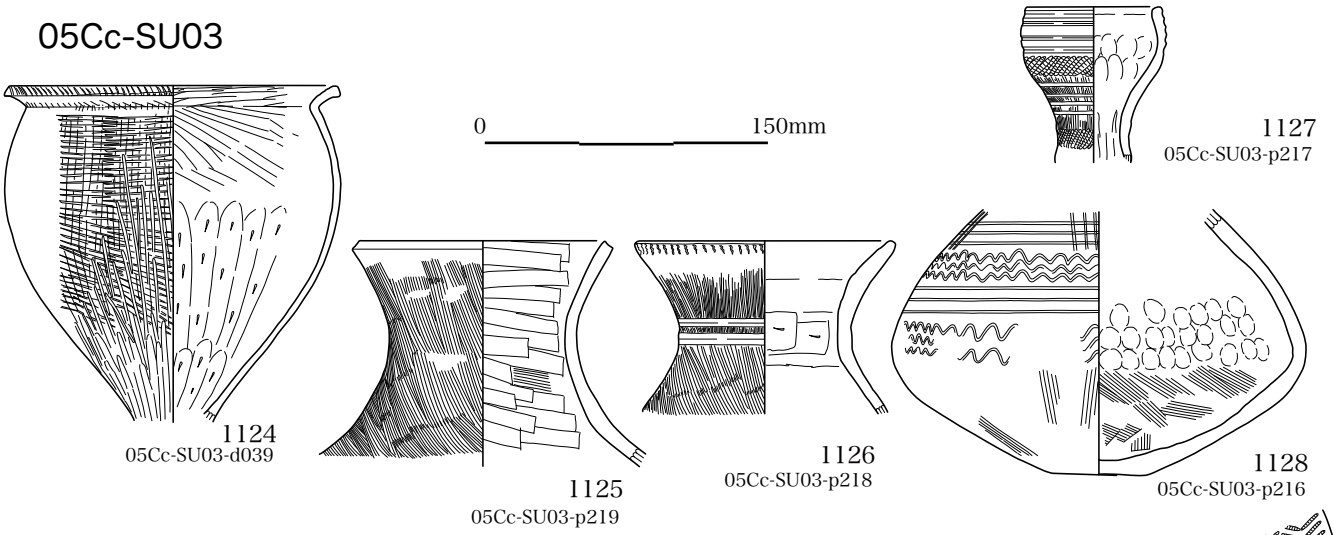
05Cc-SU02



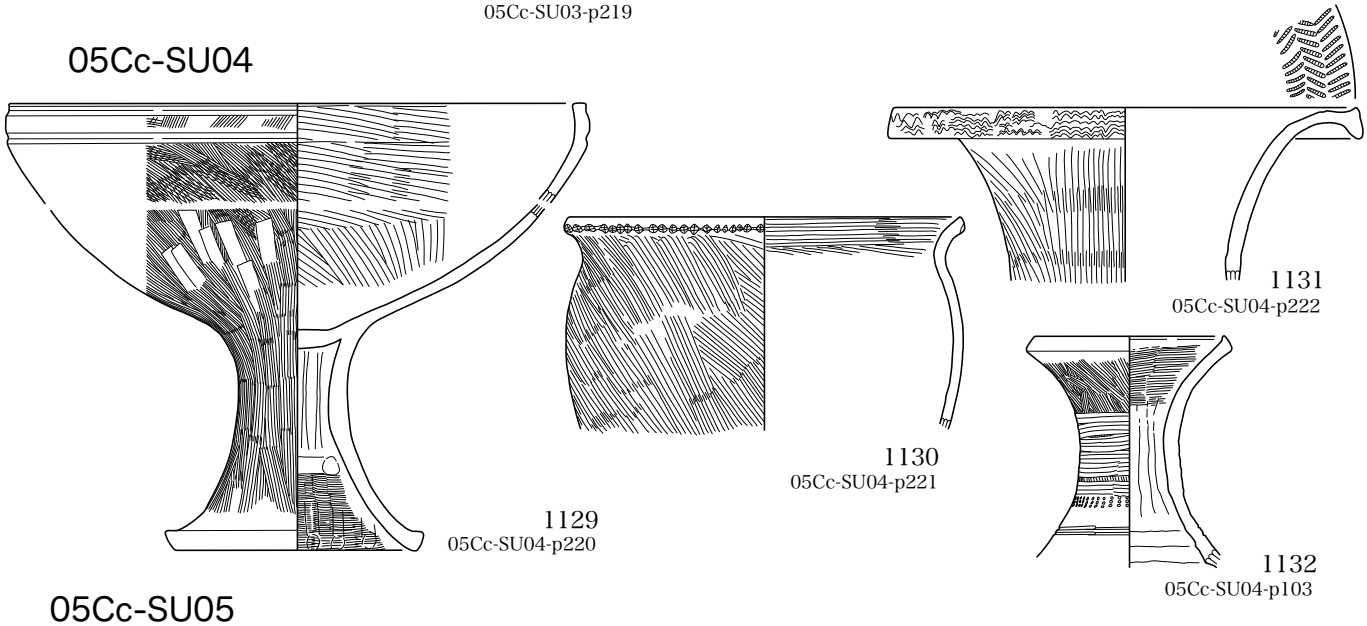


遺物集積（SU）遺物分布（加工面との照合）

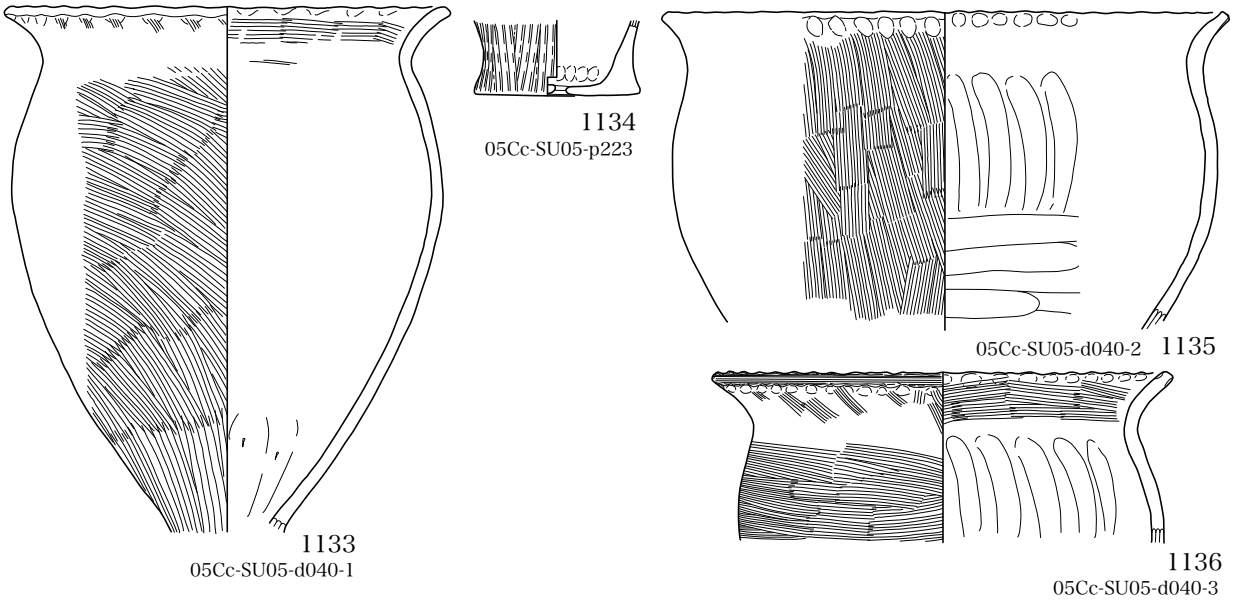
05Cc-SU03



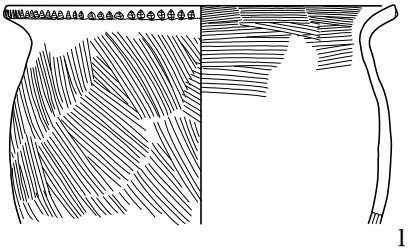
05Cc-SU04



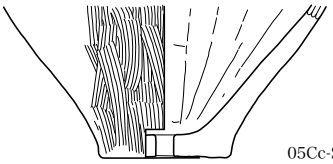
05Cc-SU05



05Cc-SU07

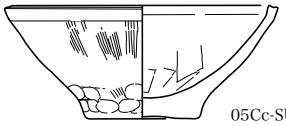


1137
05Cc-SU07-p224



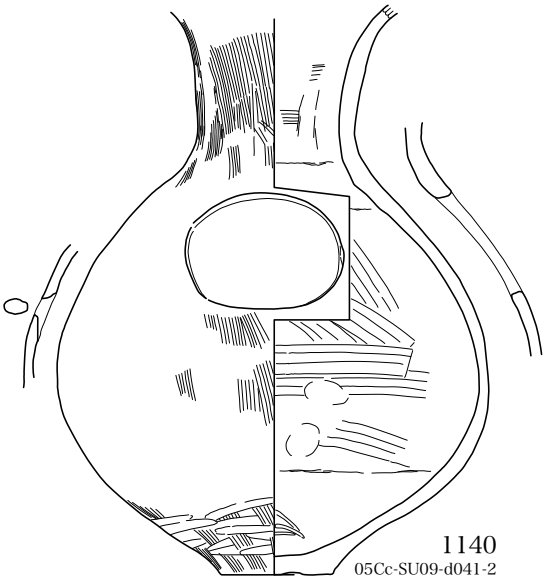
1138
05Cc-SU07-p106

05Cc-SU08

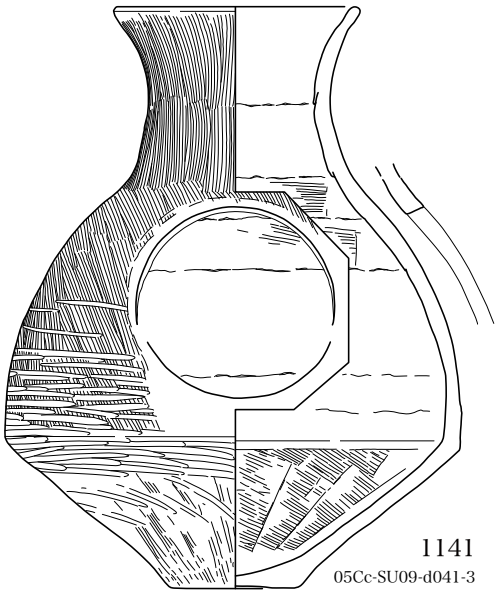


1139
05Cc-SU08-p129

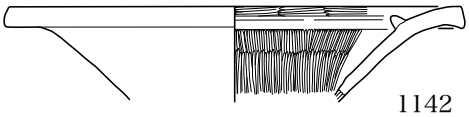
05Cc-SU09



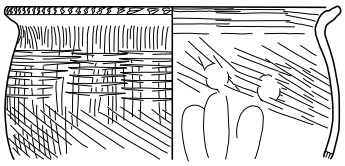
1140
05Cc-SU09-d041-2



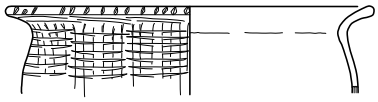
1141
05Cc-SU09-d041-3



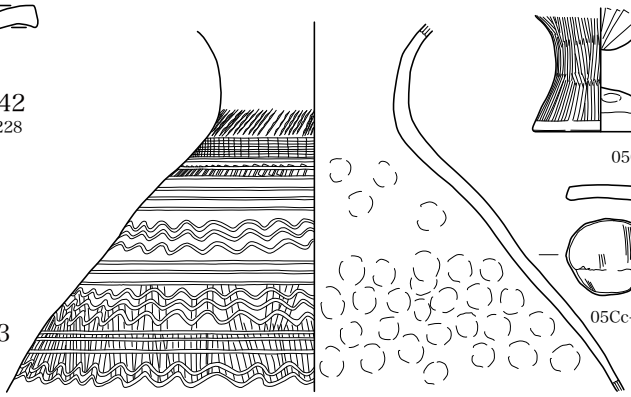
1142
05Cc-SU09-p228



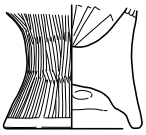
05Cc-SU09-p225 1143



05Cc-SU09-p226 1144



1145
05Cc-SU09-p227



1146
05Cc-SU09-d041

1147
05Cc-SU09-d041-4

0 150mm

3.4.3.9　05Cd- 遺物集積と竪穴建物

05Cd-SU01 ～ SU08・SB03・SB07

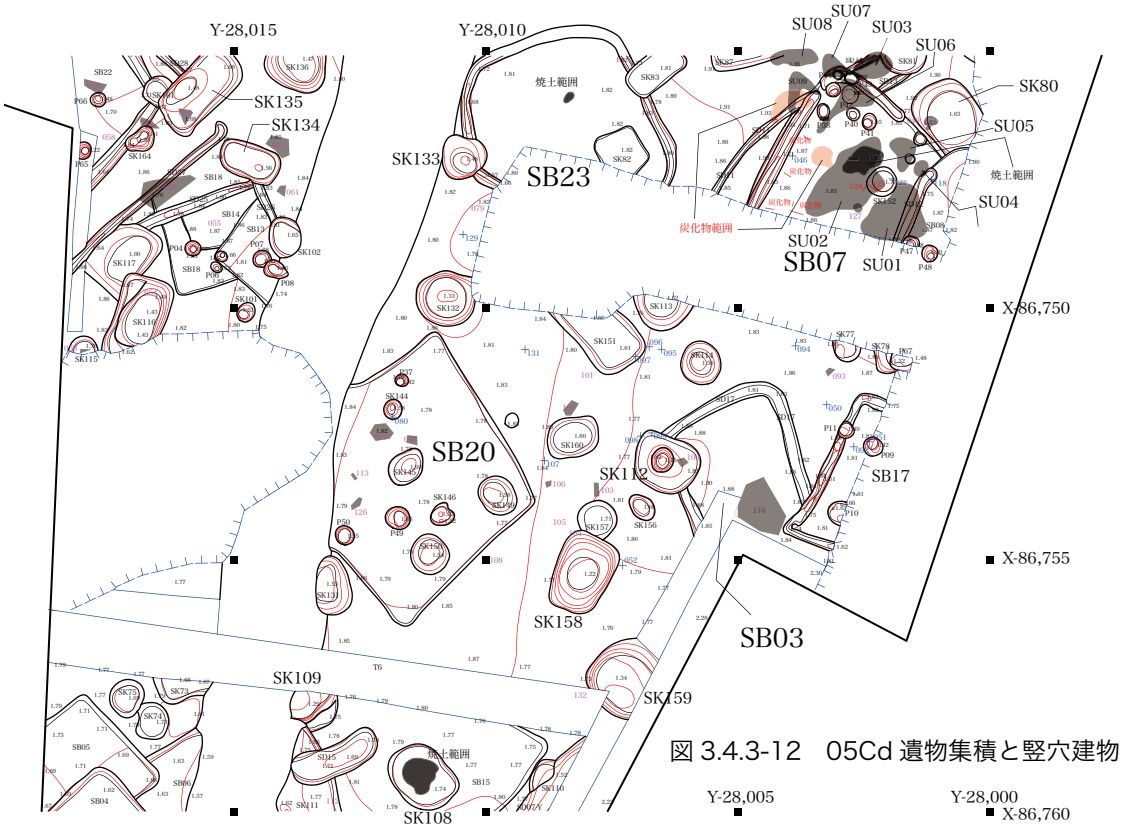
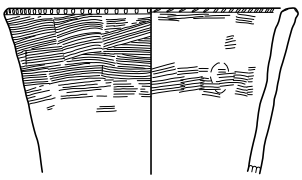
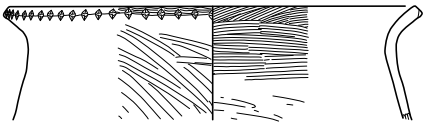


図 3.4.3-12　05Cd 遺物集積と竪穴建物　1/150

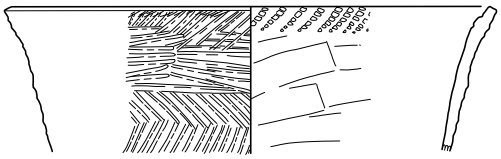
05Cd-SK



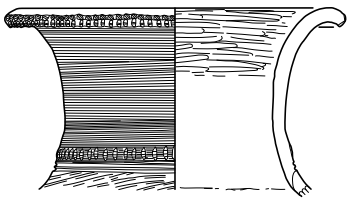
05Cd-SK80-p667　1148



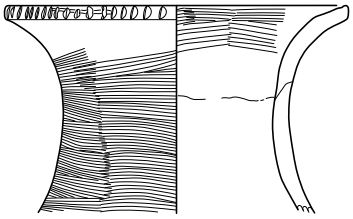
1151
05Cd-SK80-p670



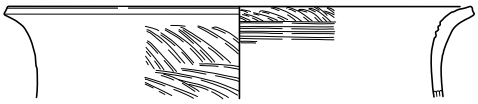
1154
05Cd-SK80-p668



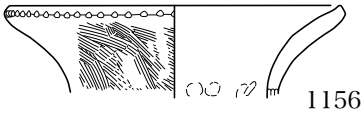
1149
05Cd-SK109-p673



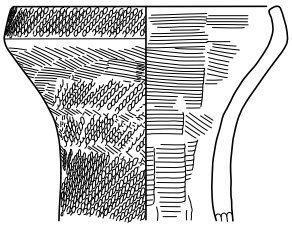
1152
05Cd-SK109-d146



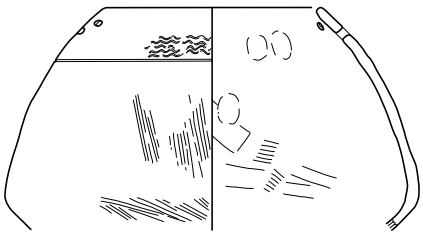
1155
05Cd-SK80-p669



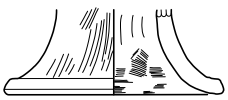
1156
05Cd-SK97-d133-3



1150
05Cd-SK134-p674

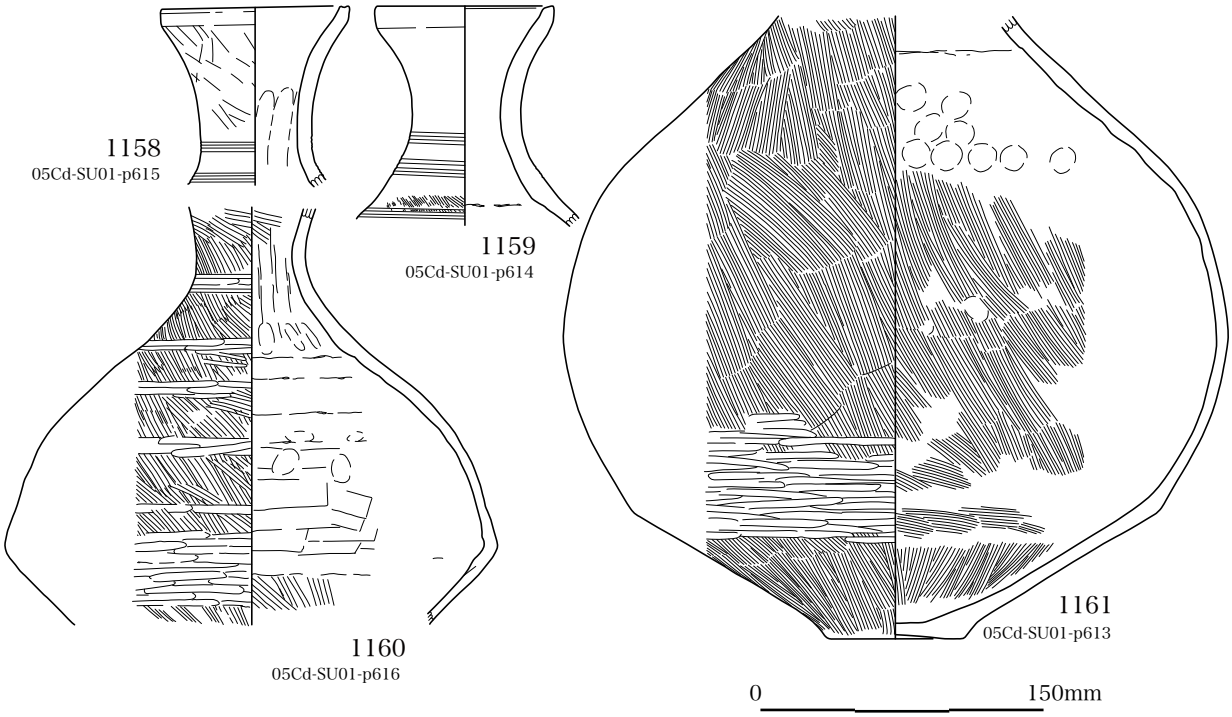


1153
05Cd-SK135-p675

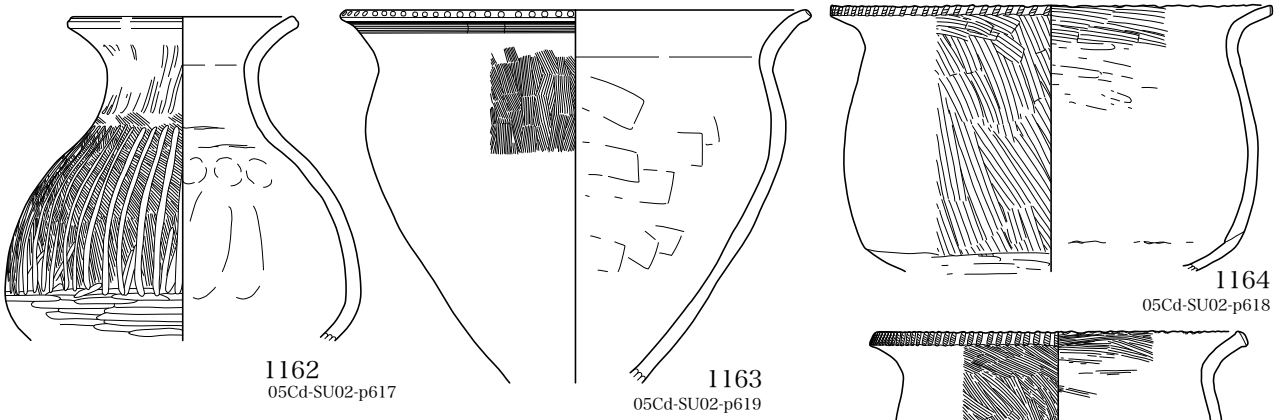


1157
05Cd-SK97-d133-4

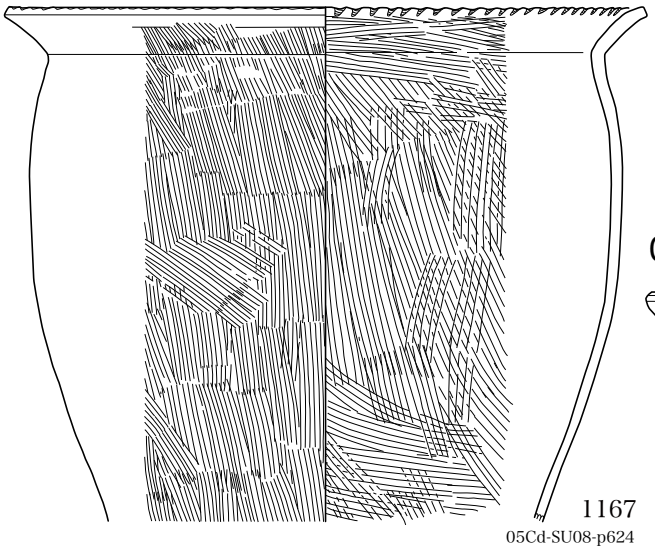
05Cd-SU01



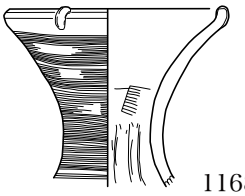
05Cd-SU02



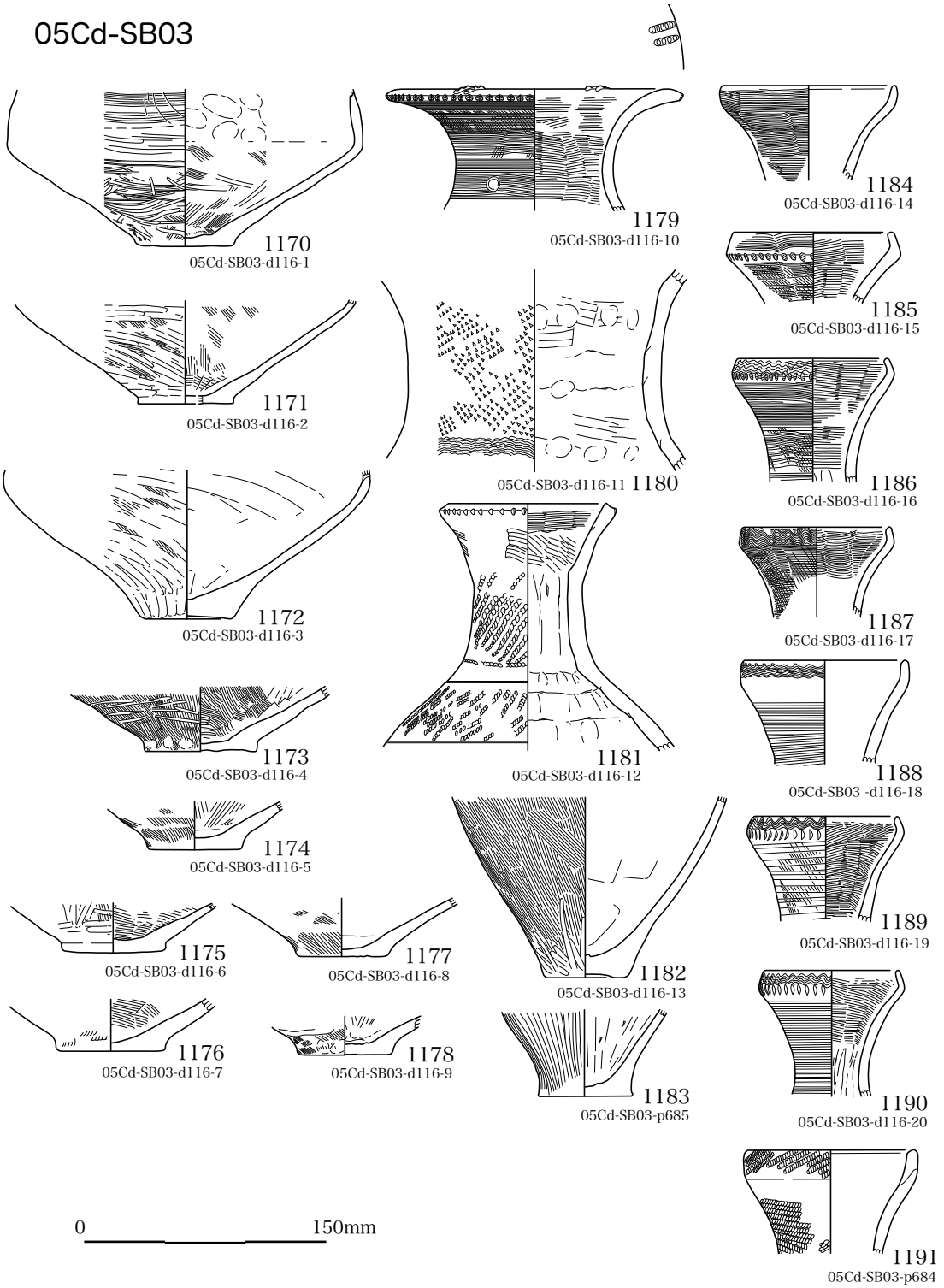
05Cd-SU08



05Cd-SU07

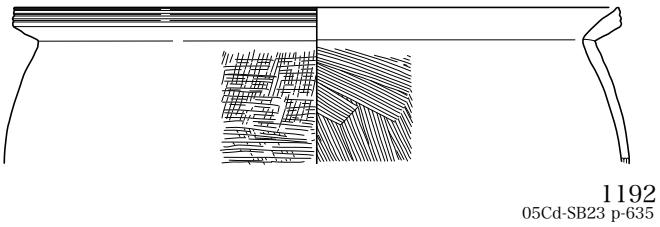


05Cd-SB03

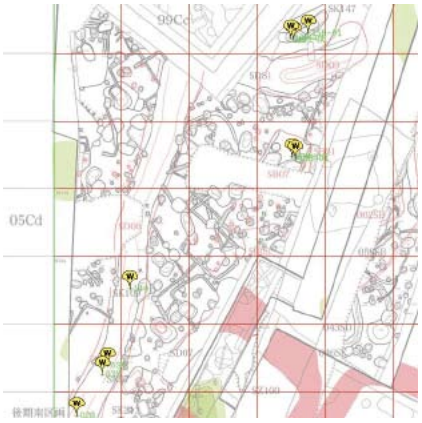


05Cd 区中央部で検出した竪穴建物と廃棄土坑群。SB07 の上層には貝田町式 3 期新を中心とした土器集積が見られる。竪穴建物は 3 ～ 4m 前後の小規模なものが多く，部分的に焼土面が見られる。

05Cd-SB23

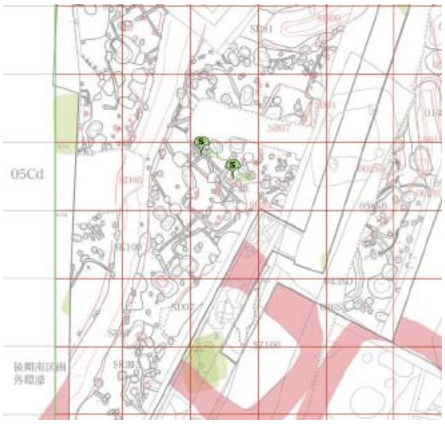


05Cd　遺物分布

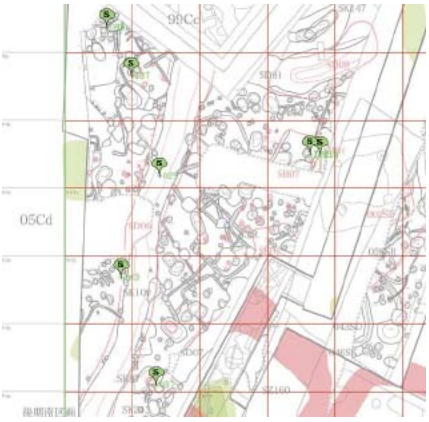


木製品の分布

石器の分布

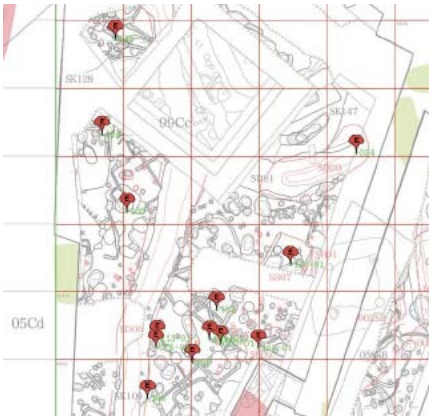


石斧の分布



石鏃の分布

高蔵式期の土器分布



貝田町式期の土器分布

3.4.3.10　SZ439（05Cd-SD09・SD81）

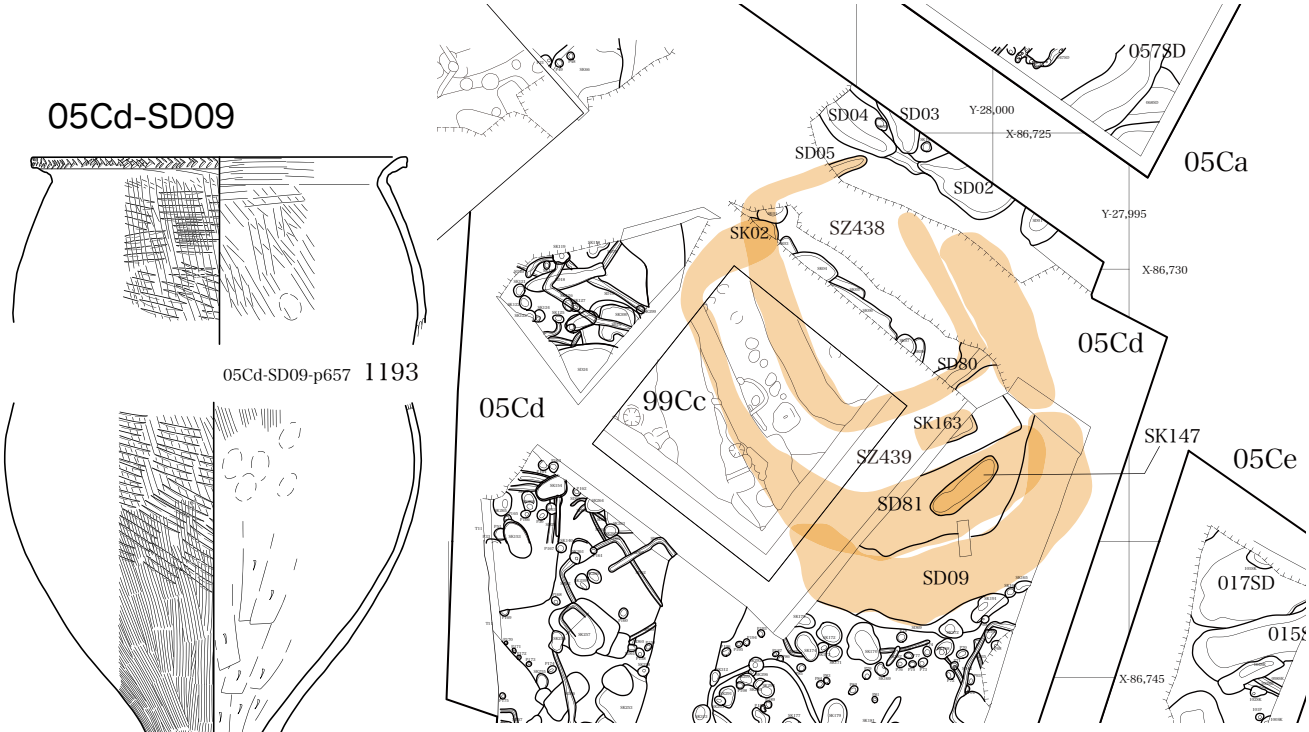
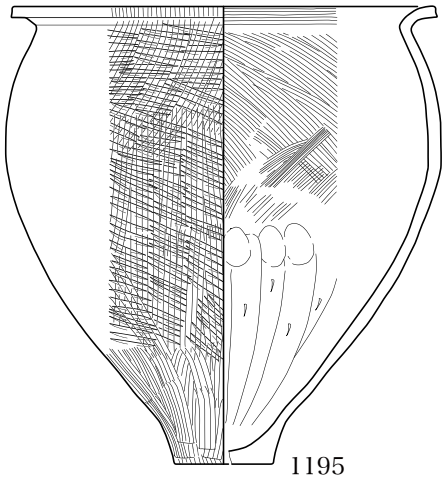
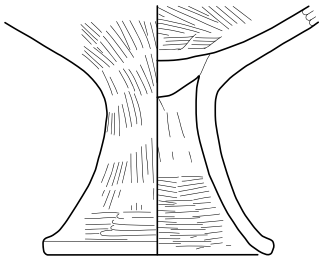


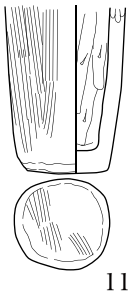
図 3.4.3-13　05Cd 区 SZ439　1/300



1195
05Cd-SD09-p654

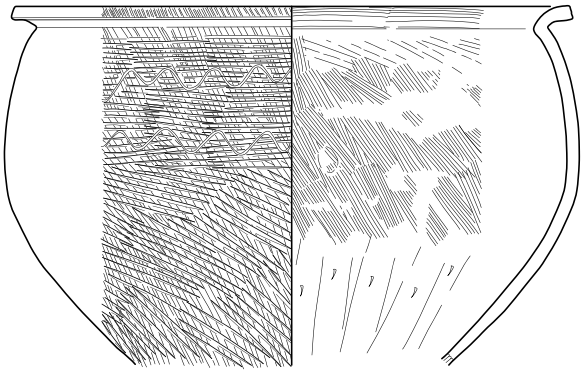


1197
05Cd-SD09-p655

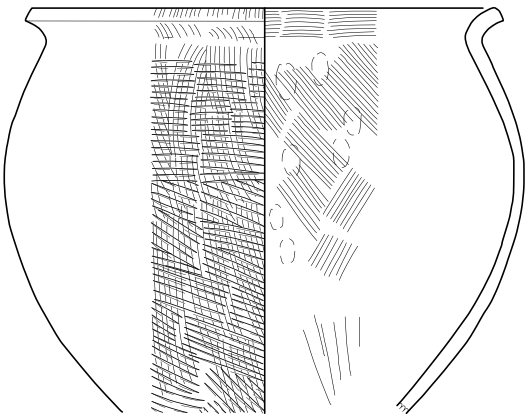


1198
05Cd-SD09-p220

0　150mm



1196
05Cd-SD09-p653

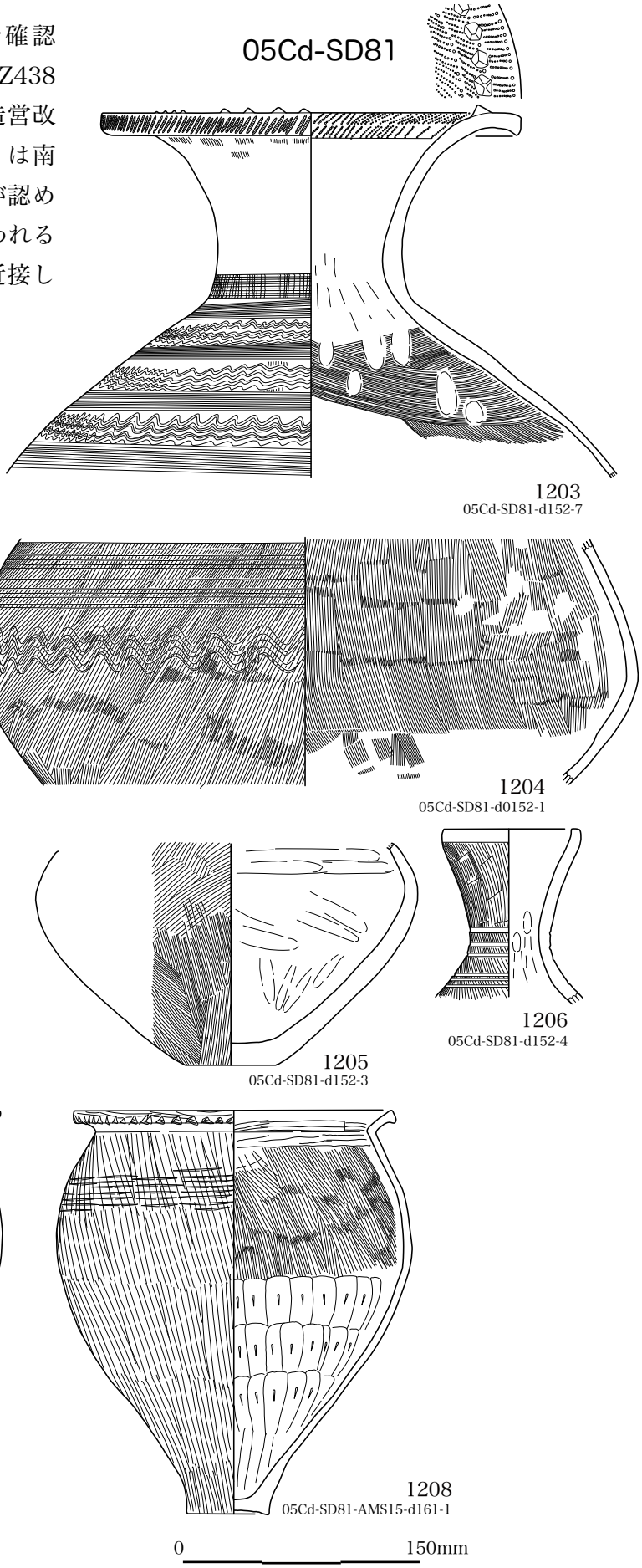


05Cd-SD09-p658 1199

SZ439 は 05Cd 区と 99Cc 区で確認できた高蔵式期の方形周溝墓。SZ438 を基軸にして，合わせて三回の造営改変が行われる墳墓であり，SZ439 は南側への拡張（SD81 から SD09）が認められる。SD81 上には主体部と思われる SK147 が存在し，その北側には近接して SK163 が見られる。

SZ438 は 8.6×5.9m

SZ439 は 10.5×9.7m から 13.5×10m に拡張。



3.4.3.11　05Cd-SK128・SB21 とその周辺遺構等

SB21 は南北 5.06m で深さ 0.25m を測る竪穴建物で，建直しの痕跡がうかがえる。貝田町式古段階に所属する。また周囲には高蔵式の遺構が点在し，SK128 は黒色砂質土ブロック・大量の炭化物・多量の酸化鉄分・多量の腐植物含む楕円形の土坑で，1.17×0.53m で深さ 0.30m を測る。

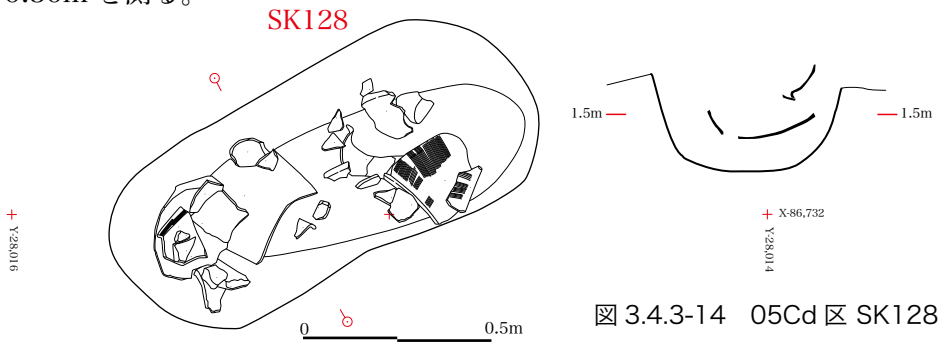


図 3.4.3-14　05Cd 区 SK128　1/20

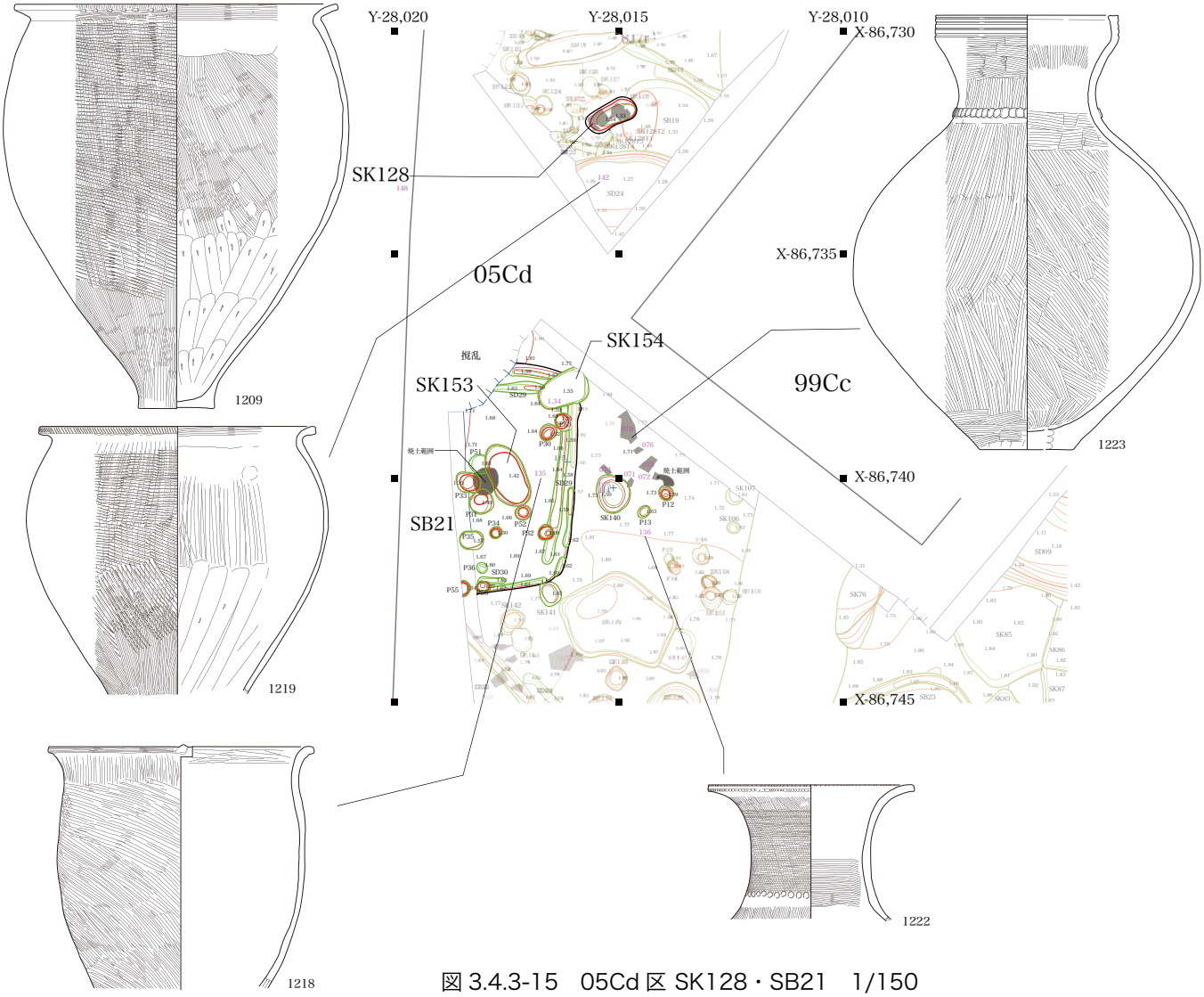
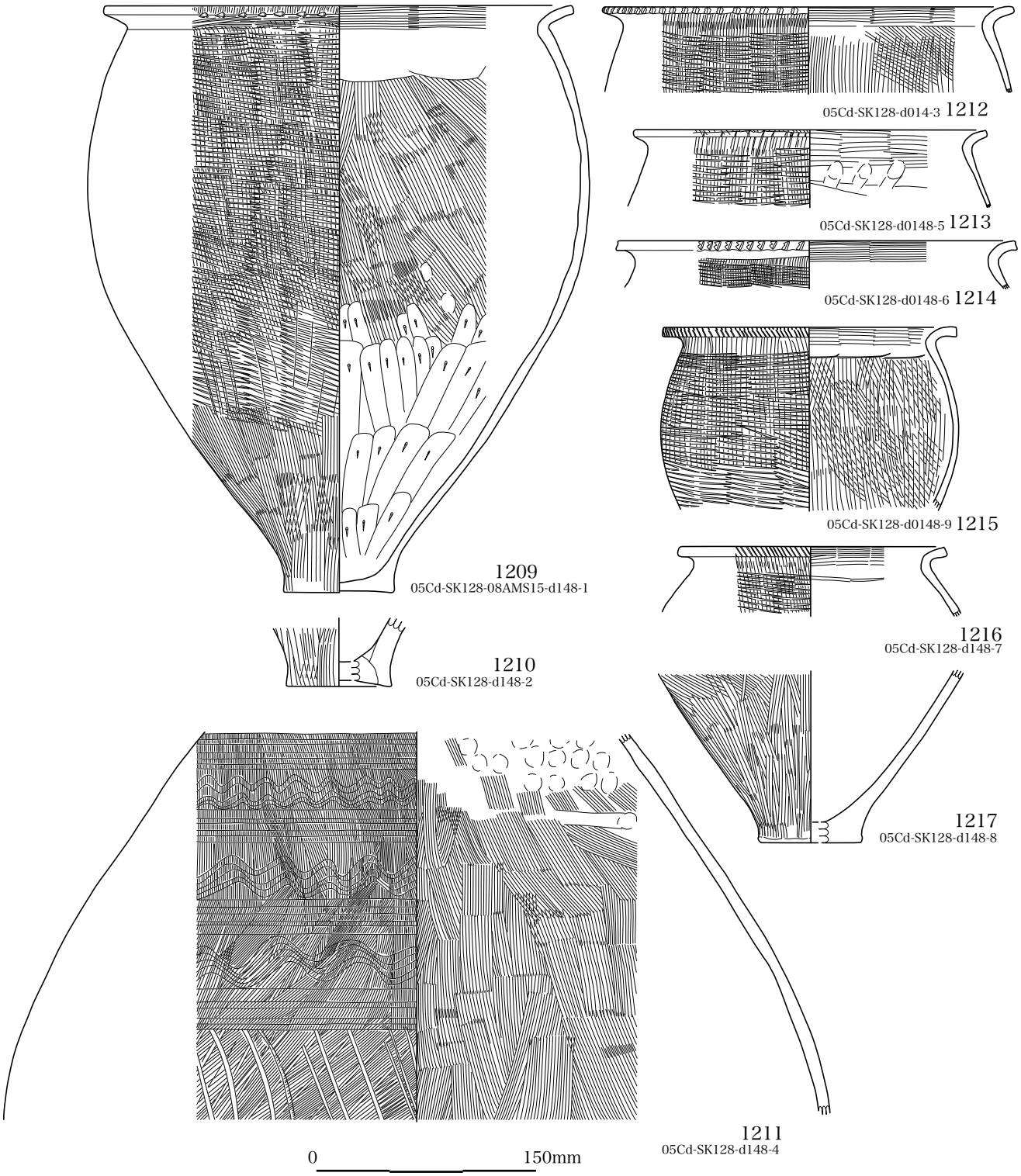
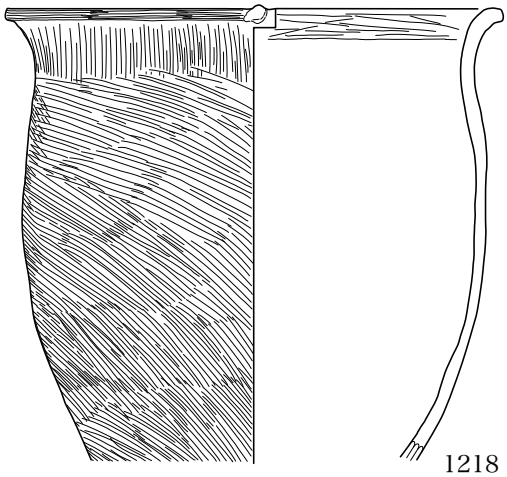


図 3.4.3-15　05Cd 区 SK128・SB21　1/150

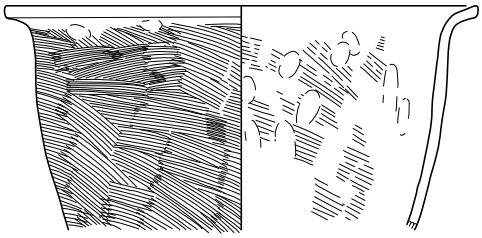
05Cd-SK128


05Cd-SK128-d014-3 1212
05Cd-SK128-d0148-5 1213
05Cd-SK128-d0148-6 1214
05Cd-SK128-d0148-9 1215
1209
05Cd-SK128-08AMS15-d148-1
1216
05Cd-SK128-d148-7
1210
05Cd-SK128-d148-2
1217
05Cd-SK128-d148-8
1211
05Cd-SK128-d148-4
0
150mm

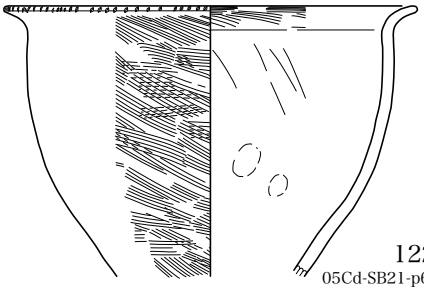
05Cd-SB21



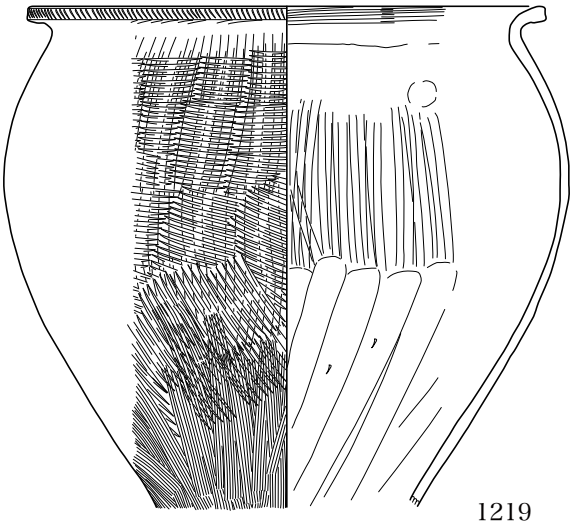
1218
05Cd-SB21-d135



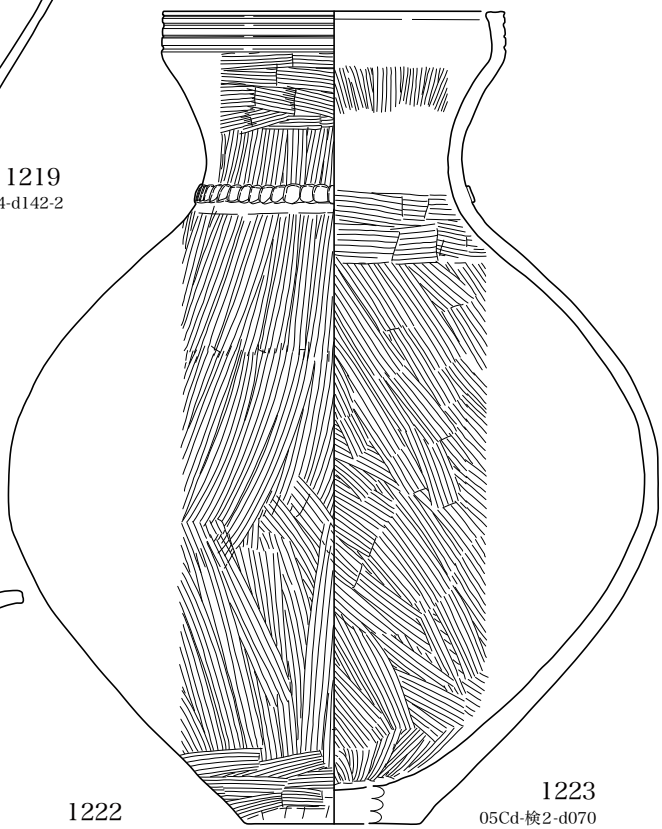
1220
05Cd-SB21-p634



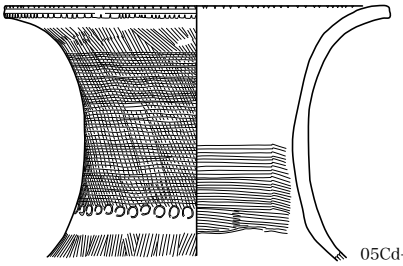
1221
05Cd-SB21-p633



1219
05Cd-SD24-d142-2



1223
05Cd-検2-d070

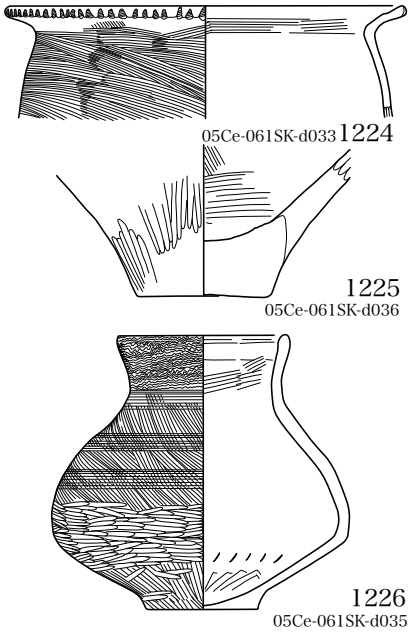


1222
05Cd-検2-T-d136

3.4.3.12　SZ441

05Ce-014SD・015SD

05Ce-061SK



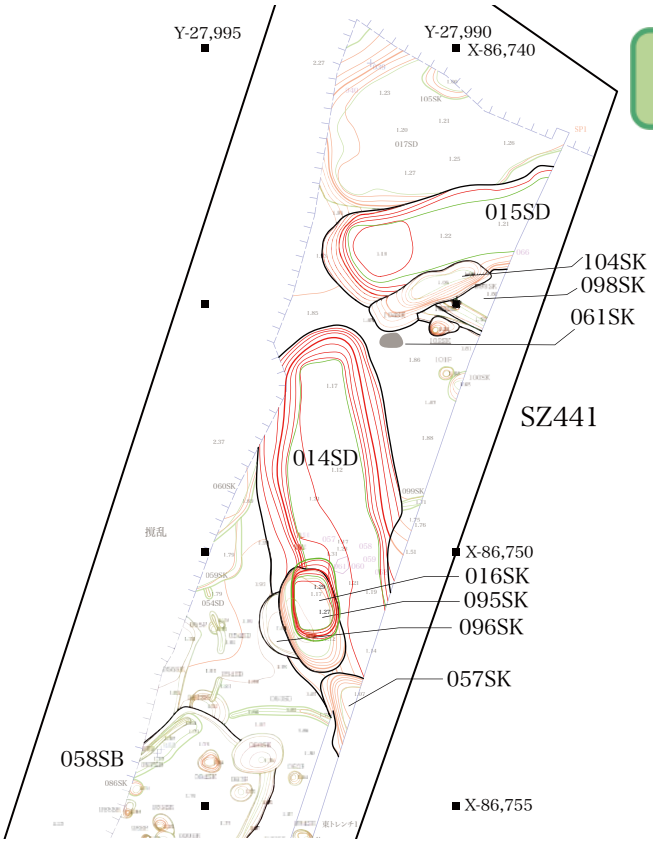
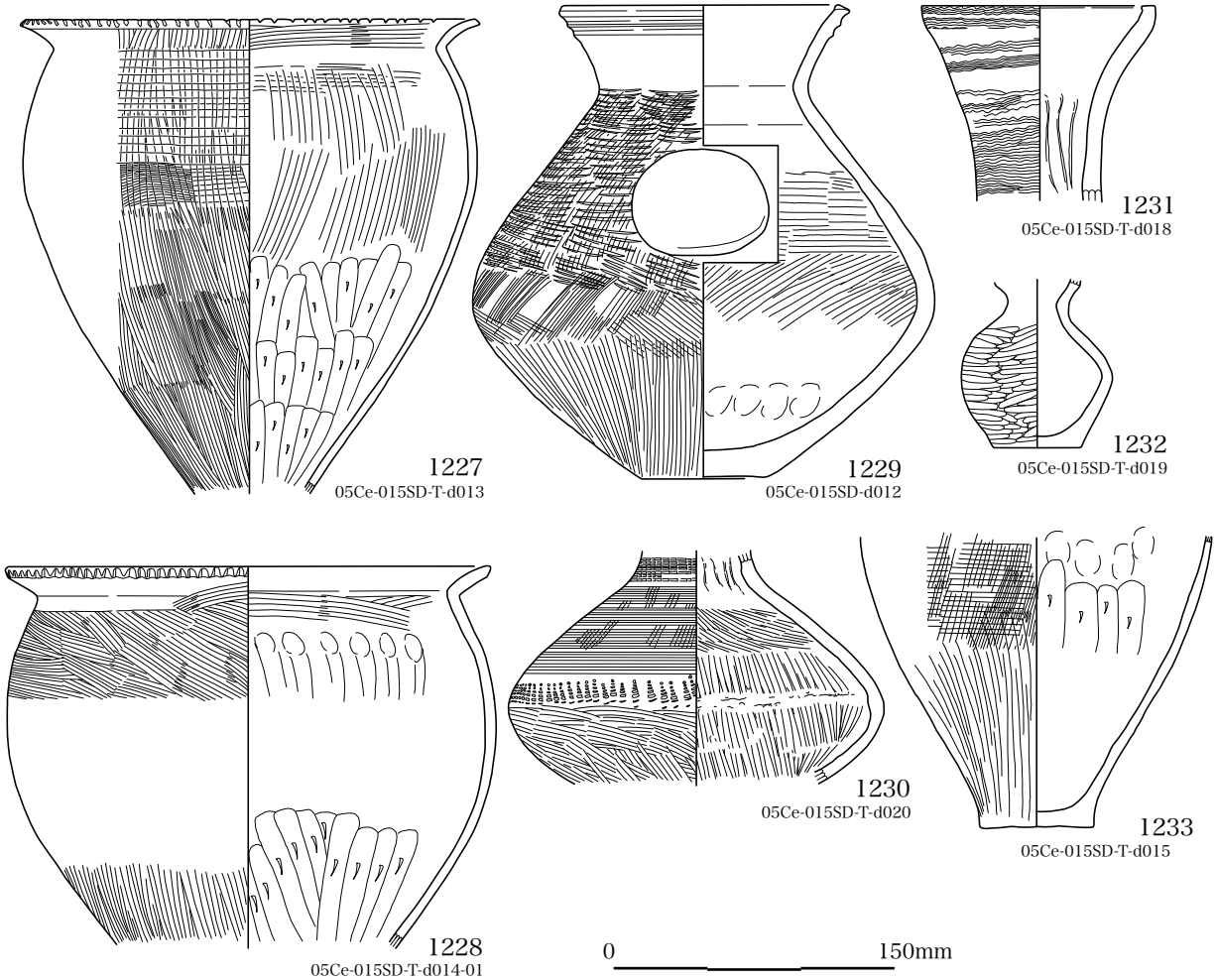
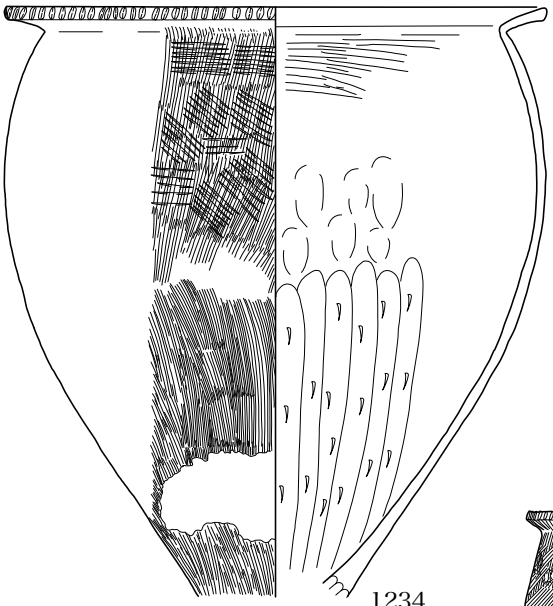


図 3.4.3-16　SZ441 1/150

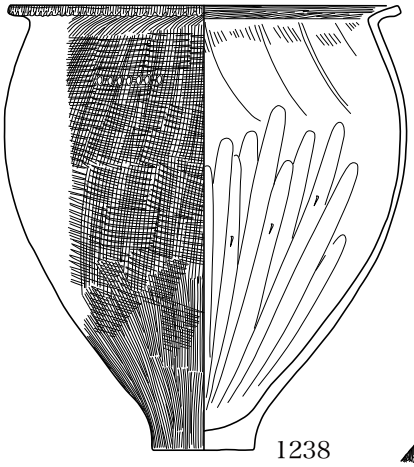
05Ce-SD15



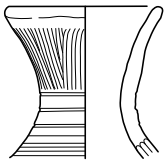
05Ce-SD14



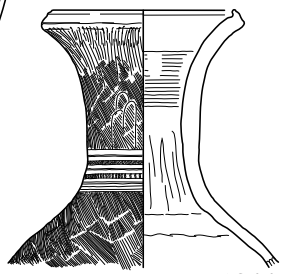
1234
05Ce-014SD-T-d028-1



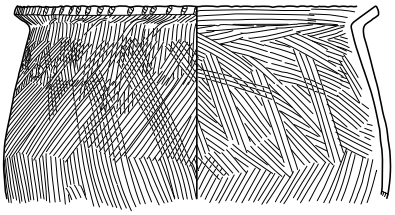
1238
05Ce-014SD-p661



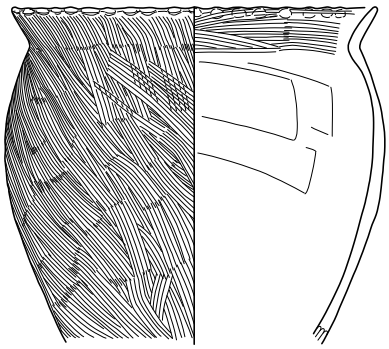
1243
05Ce-014SD-T-d026



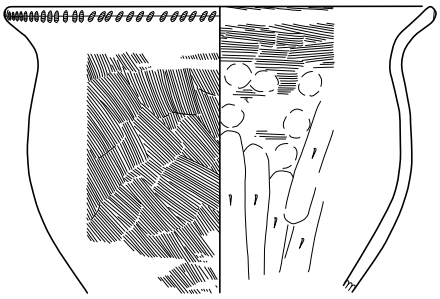
1244
05Ce-014SD-d058



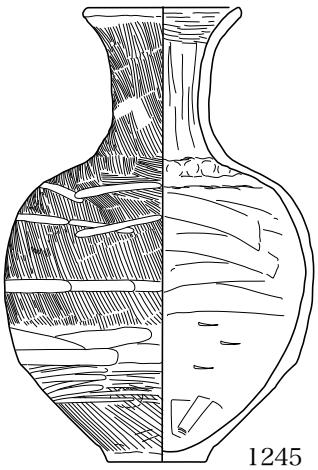
05Ce-014SD-d061-2 1239



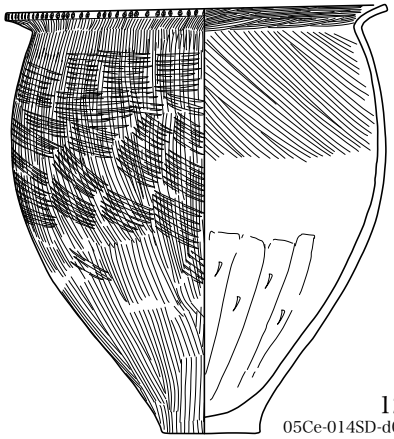
05Ce-014SD-d038 1235



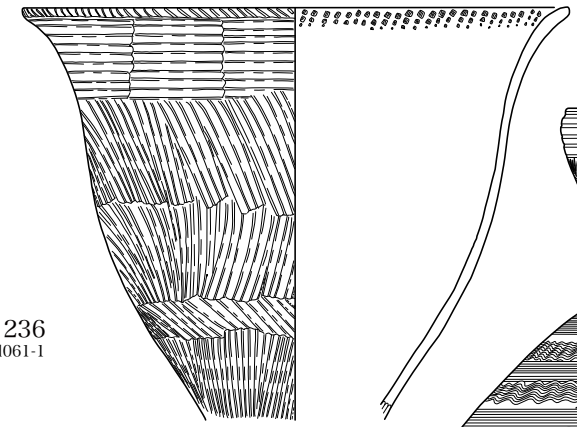
05Ce-014SD-p662 1240



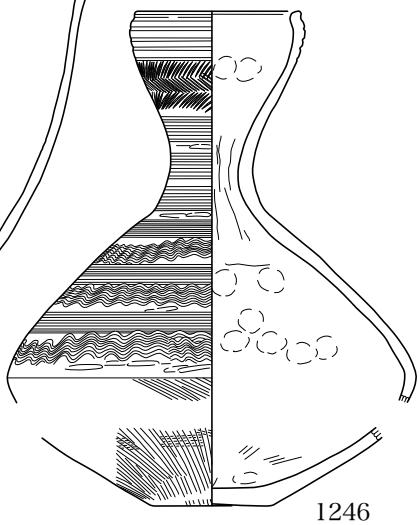
1245
05Ce-014SD-d059.062



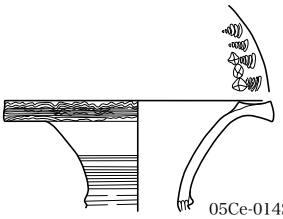
1236
05Ce-014SD-d061-1



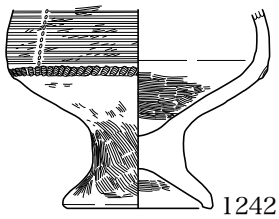
1241
05Ce-014SD-T-d025



1246
05Ce-014SD-p660



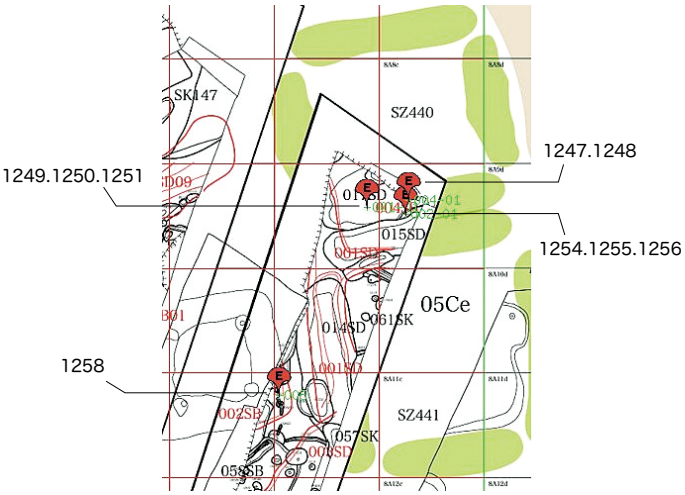
1237
05Ce-014SD-d010



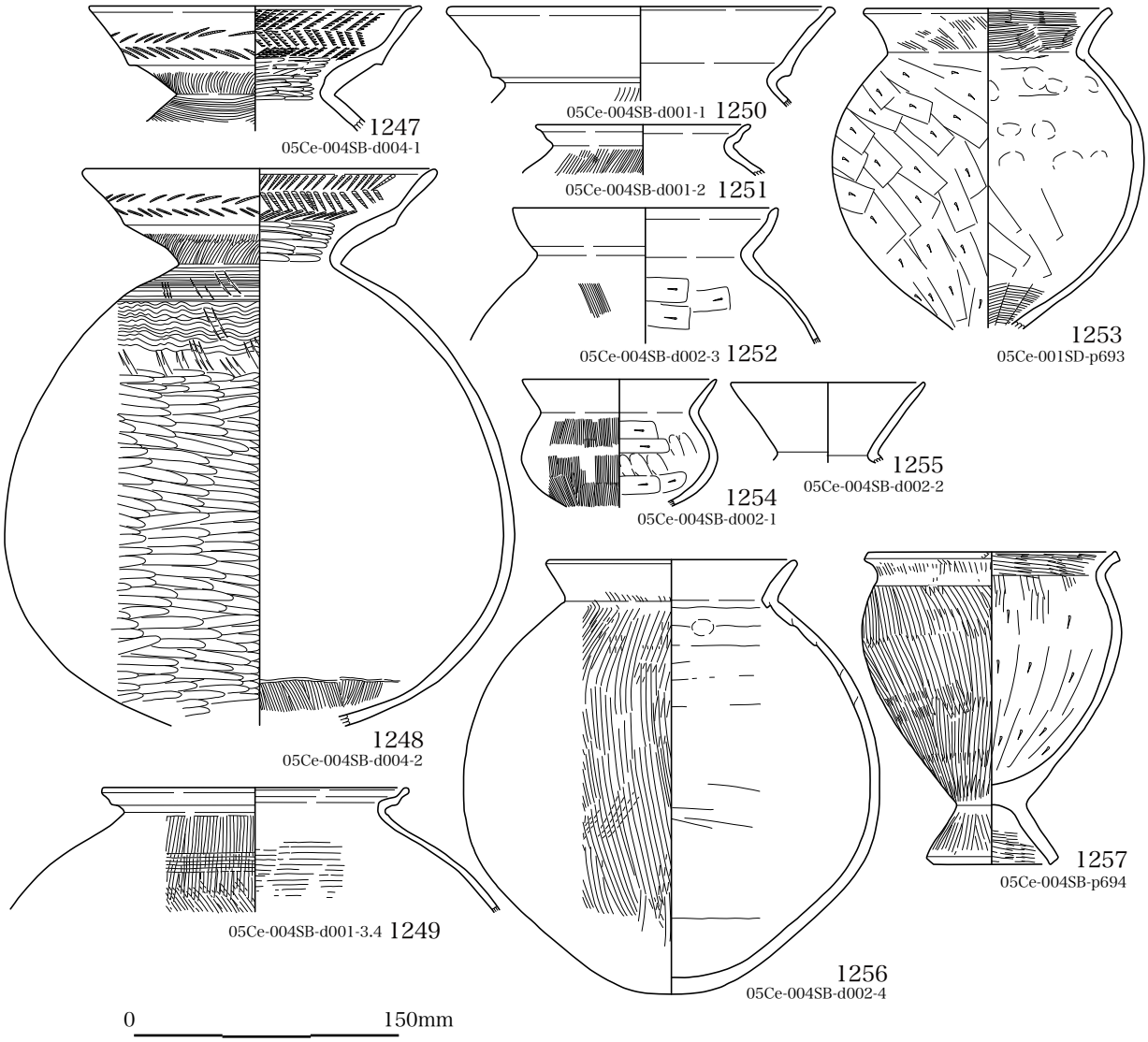
1242
05Ce-014SD-p659

3.4.3.12　05Ce-004SB

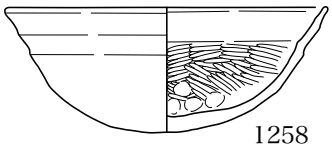
05Ce 区の北端に存在する 004SB は方形周溝墓の周溝と墳丘の高まりを利用して営まれた竪穴建物と考えられる。廻間Ⅲ式期の遺物が出土している。谷 B 右岸に面した周辺は 05Ce 区 002SB・020SB や 02Cc 区 SB01・SB03 など廻間Ⅲ式期から松河戸Ⅰ式期にかけての竪穴建物が点在する地区である。



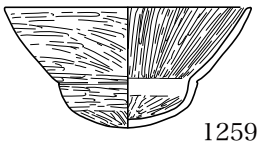
05Ce-004SB



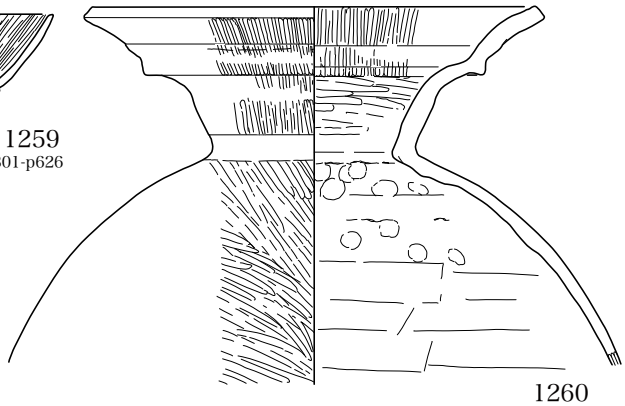
05Ce-002SB・05Cd-SB01



1258
05Ce-002SB-d005

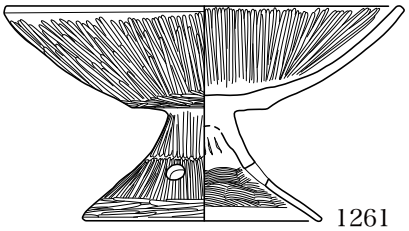


1259
05Cd-SB01-p626



1260
05Cd-SB01-H-d033

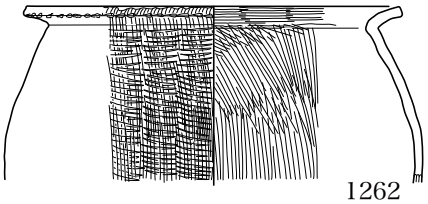
05Ce-021SB



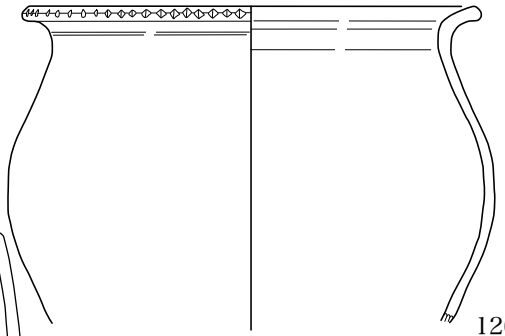
1261
05Ce-021SB-d031

0 150mm

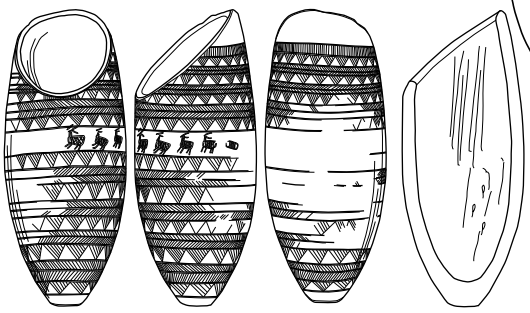
05Da-SK63・SK13



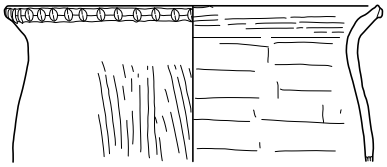
1262
05Da-SK63-d034-2



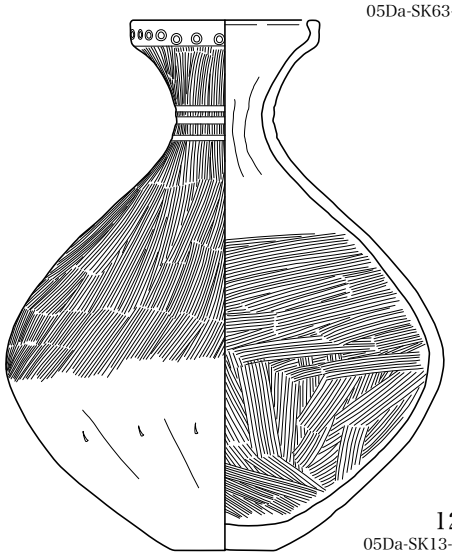
1265
05Da-SK63-d034-1



05Da-SK63-d034 1263



1264
05Da-SK13-p689



1266
05Da-SK13-p688

0 150mm

3.4.4　D 区の遺構

05Da 区では後期の八王子古宮式から山中式期の竪穴建物が展開し，これに重複する形で加工面上に高蔵式期の竪穴建物が残存する。調査区南東隅の山中 I 式期の SB10 は，建直しが認められ，基盤層の黄色シルトと黒色シルトを混合させた三面の貼床が明瞭に残存する。

3.4.4.1　05Da-SB10

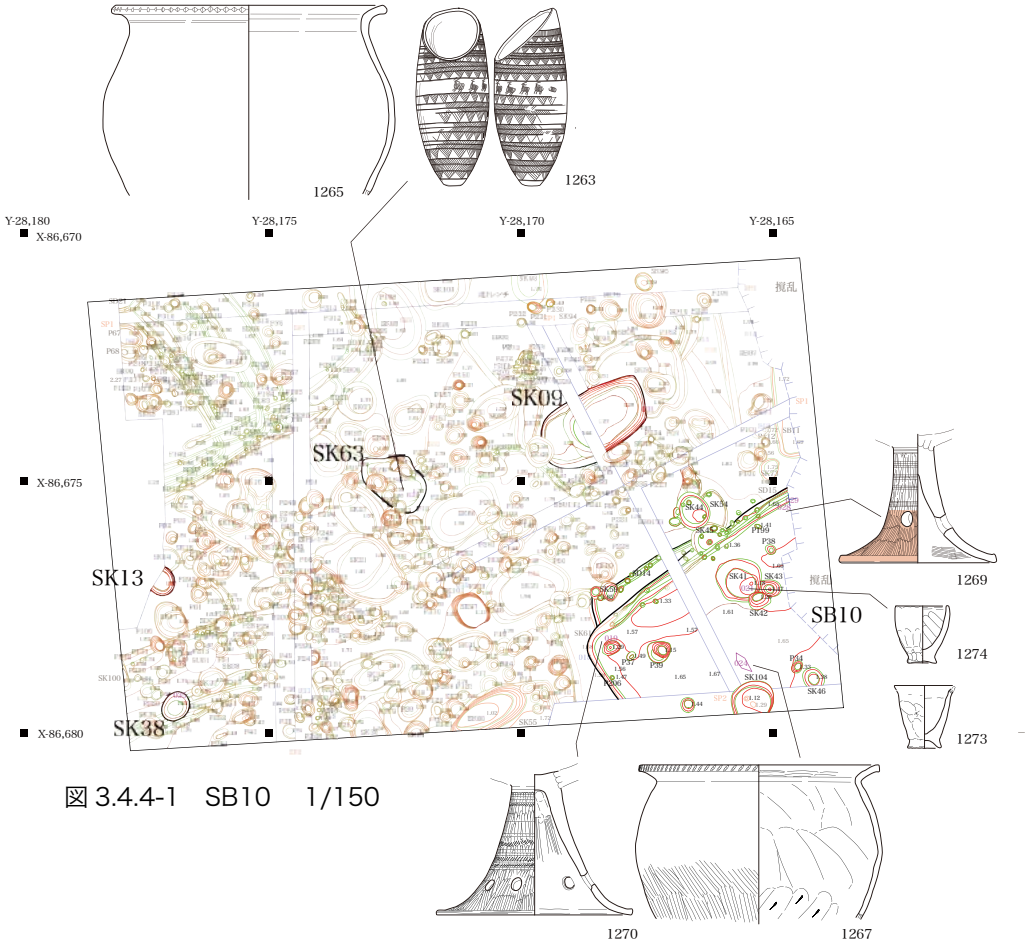
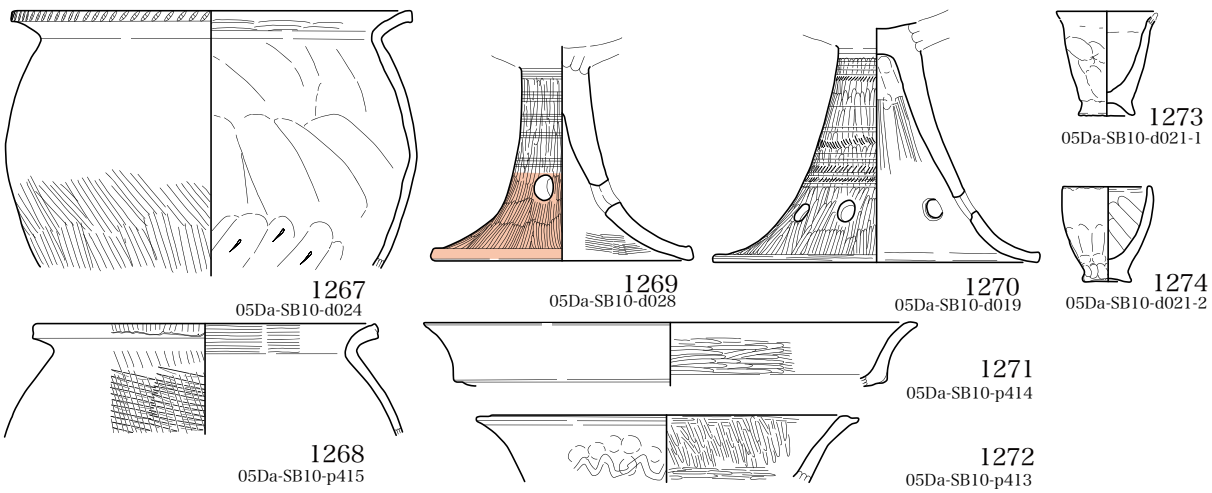
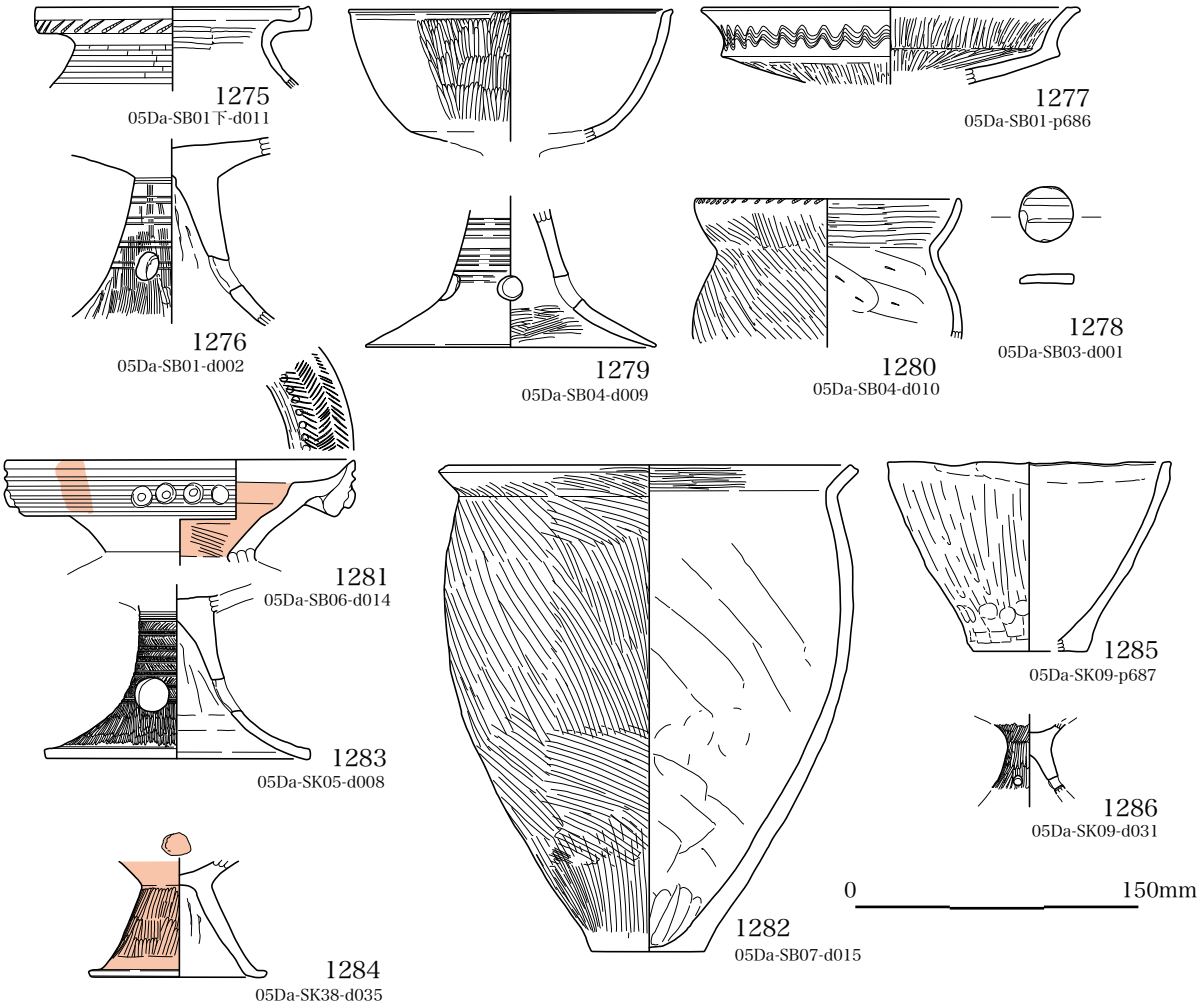


図 3.4.4-1　SB10　1/150

05Da-SB10

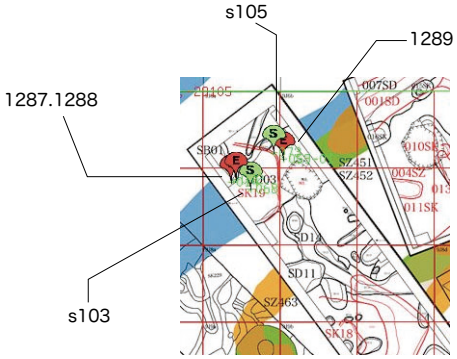


05Da-SB

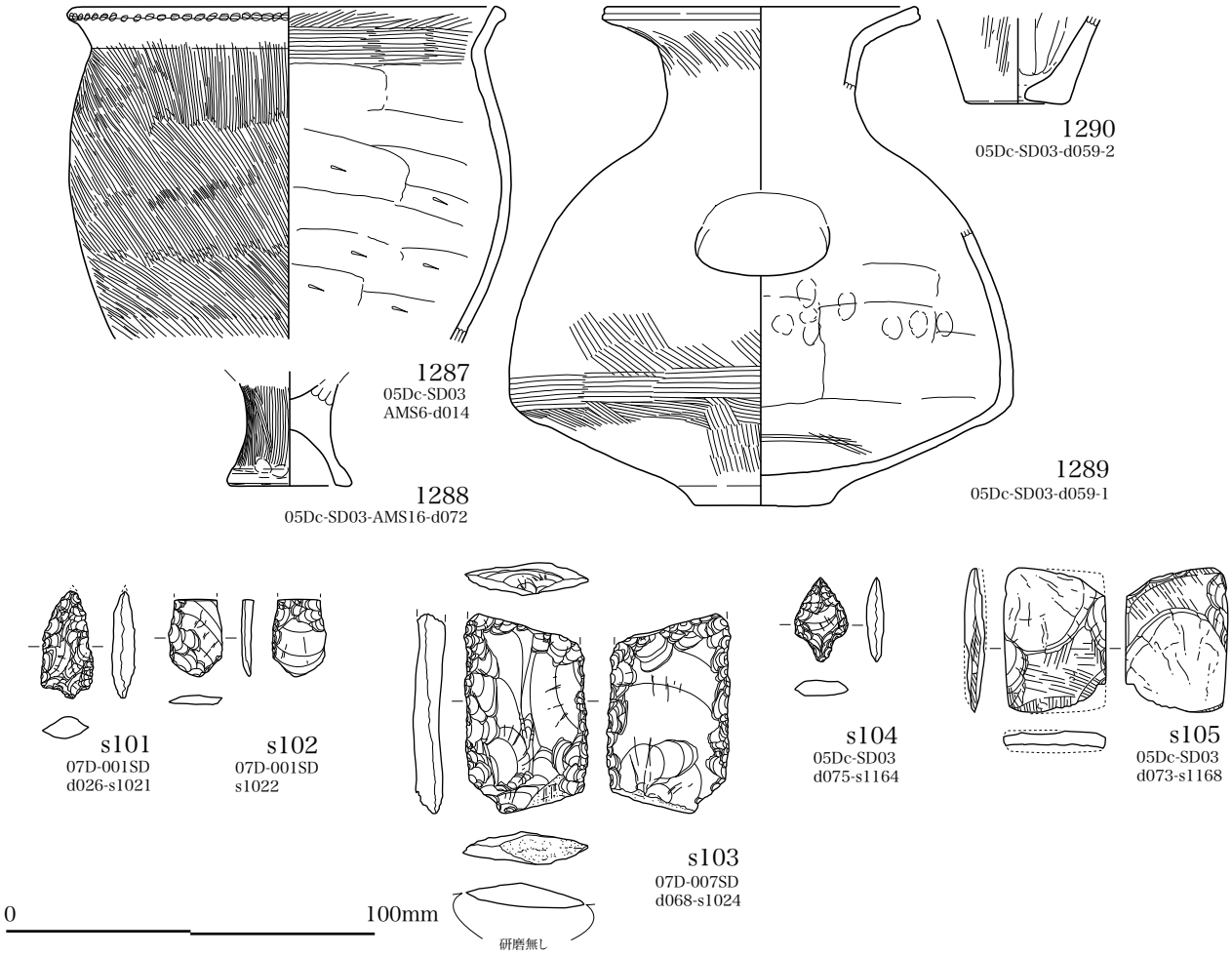

1275
05Da-SB01下-d011
1277
05Da-SB01-p686
1276
05Da-SB01-d002
1279
05Da-SB04-d009
1280
05Da-SB04-d010
1278
05Da-SB03-d001
1281
05Da-SB06-d014
1283
05Da-SK05-d008
1284
05Da-SK38-d035
1282
05Da-SB07-d015
1285
05Da-SK09-p687
1286
05Da-SK09-d031
0
150mm

3.4.4.2　中期南区画環濠
05Dc-SD03 下層・SD32・07D-007SD

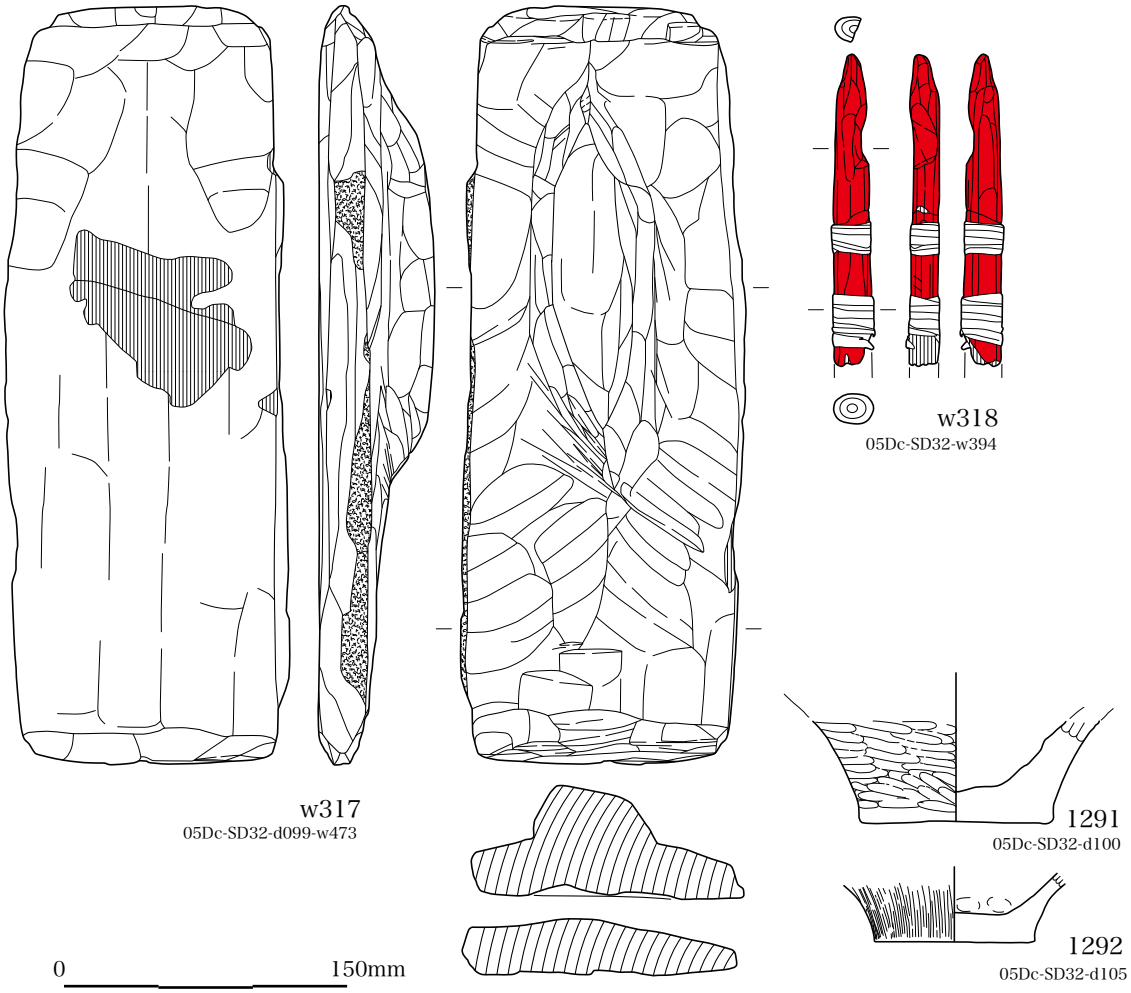
05Dc 区北端と 07D 区北西隅で検出した大溝で，幅 4.4m で深さ 0.83m を測る。大溝の上層は多様な遺構により再利用されており，複雑な様相を呈している。主に SZ451・452 の方形周溝墓の北溝として利用されている。この遺構を境にして南側には南墓域が展開し，遺物の出土は著しく少なくなる。なお溝の掘削（SD32）は朝日式期に遡り，貝田町式 2 期まで機能する。



05Dc-SD03



05Dc-SD32


w318
05Dc-SD32-w394
w317
05Dc-SD32-d099-w473
1291
05Dc-SD32-d100
1292
05Dc-SD32-d105
0
150mm

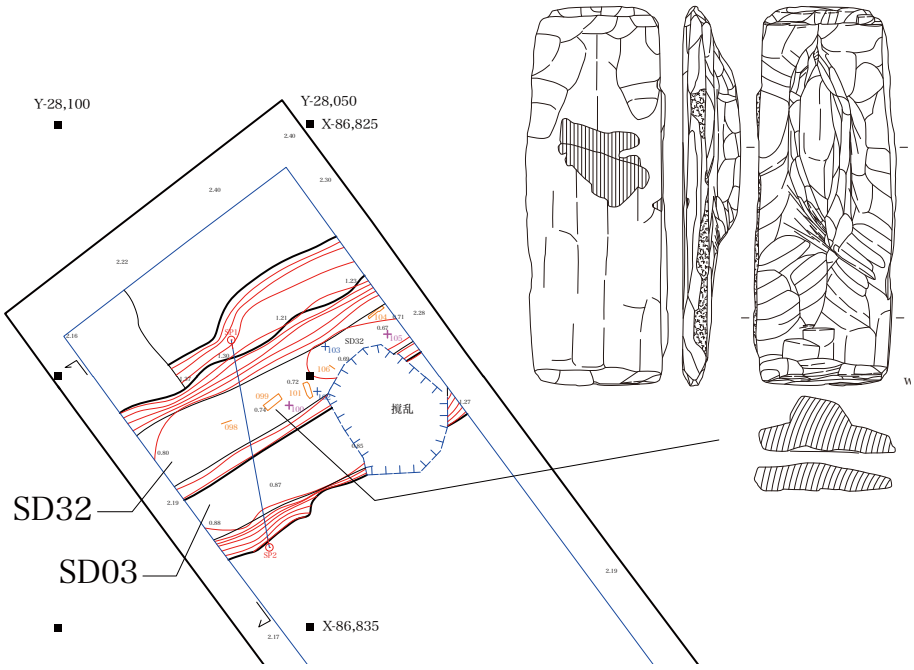


図 3.4.4-2　05Dc 区 SD32（最終加工面）　1/150

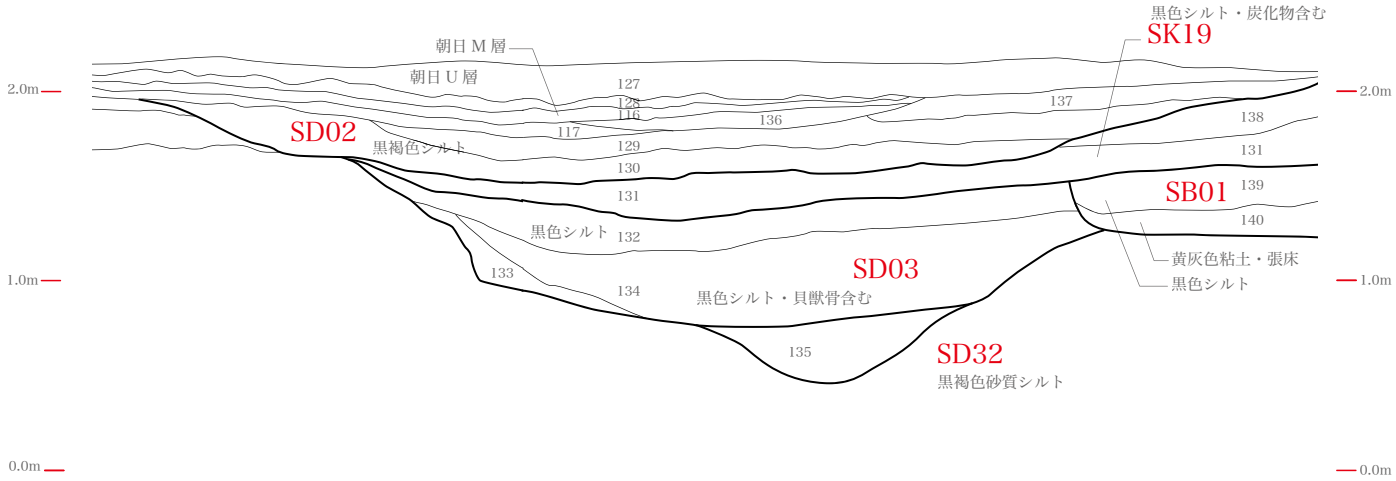


図 3.4.4-3　05Dc 区 SD32 西壁断面図　1/40

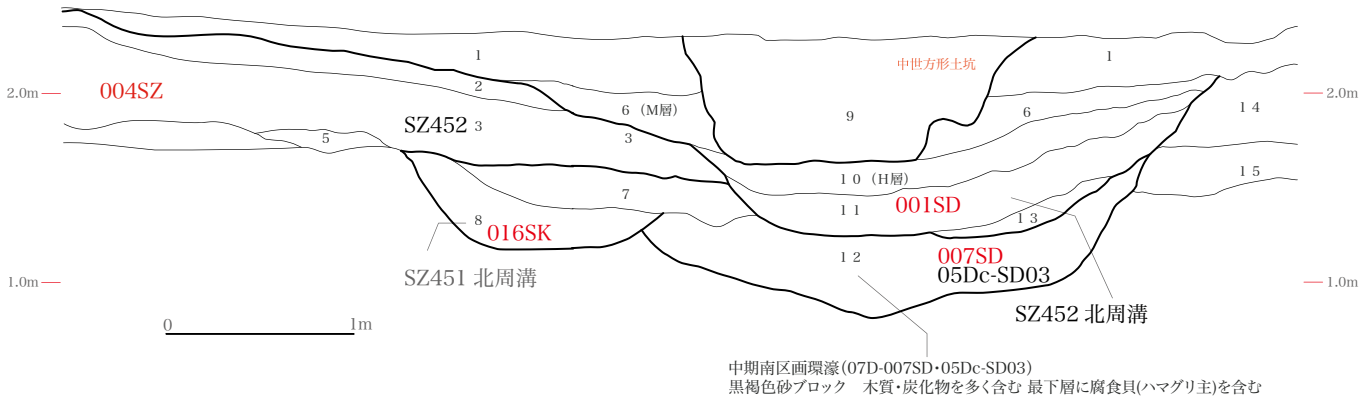
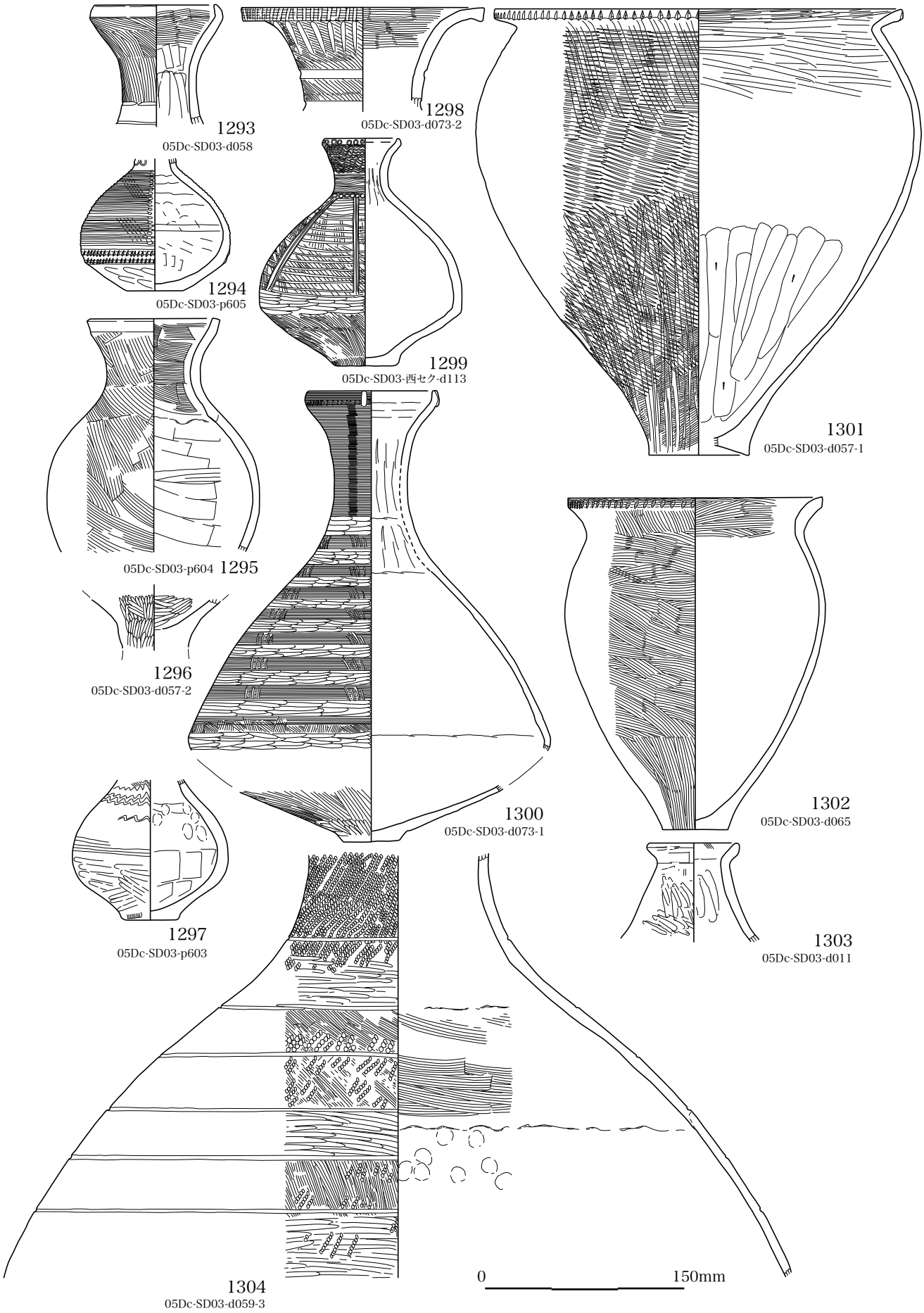


図 3.4.4-4　07D 区西壁断面図　1/40　SZ452・SZ451・SD03

05Dc-SD03


1293
05Dc-SD03-d058
1298
05Dc-SD03-d073-2
1294
05Dc-SD03-p605
1299
05Dc-SD03-西セク-d113
1301
05Dc-SD03-d057-1
05Dc-SD03-p604 1295
1296
05Dc-SD03-d057-2
1300
05Dc-SD03-d073-1
1302
05Dc-SD03-d065
1297
05Dc-SD03-p603
1303
05Dc-SD03-d011
1304
05Dc-SD03-d059-3
0
150mm

3.4.4.3　SZ451・452
05Dc-SD14・07D-001SD・002SD・006SD

調査区 07D の形に合わせるように，方形周溝墓 004SZ（SZ452）が存在する。北溝は南区画を画する中期環濠の上層を利用して設けられた溝 07D-001SD が存在し，東溝 002SD と南溝 003SD はほぼ連続する周溝となる。陸橋部は西北隅に存在し，基盤層である黄色シルトを混在させた斑土により丁寧に傾斜面を作り出している。05Dc 区で

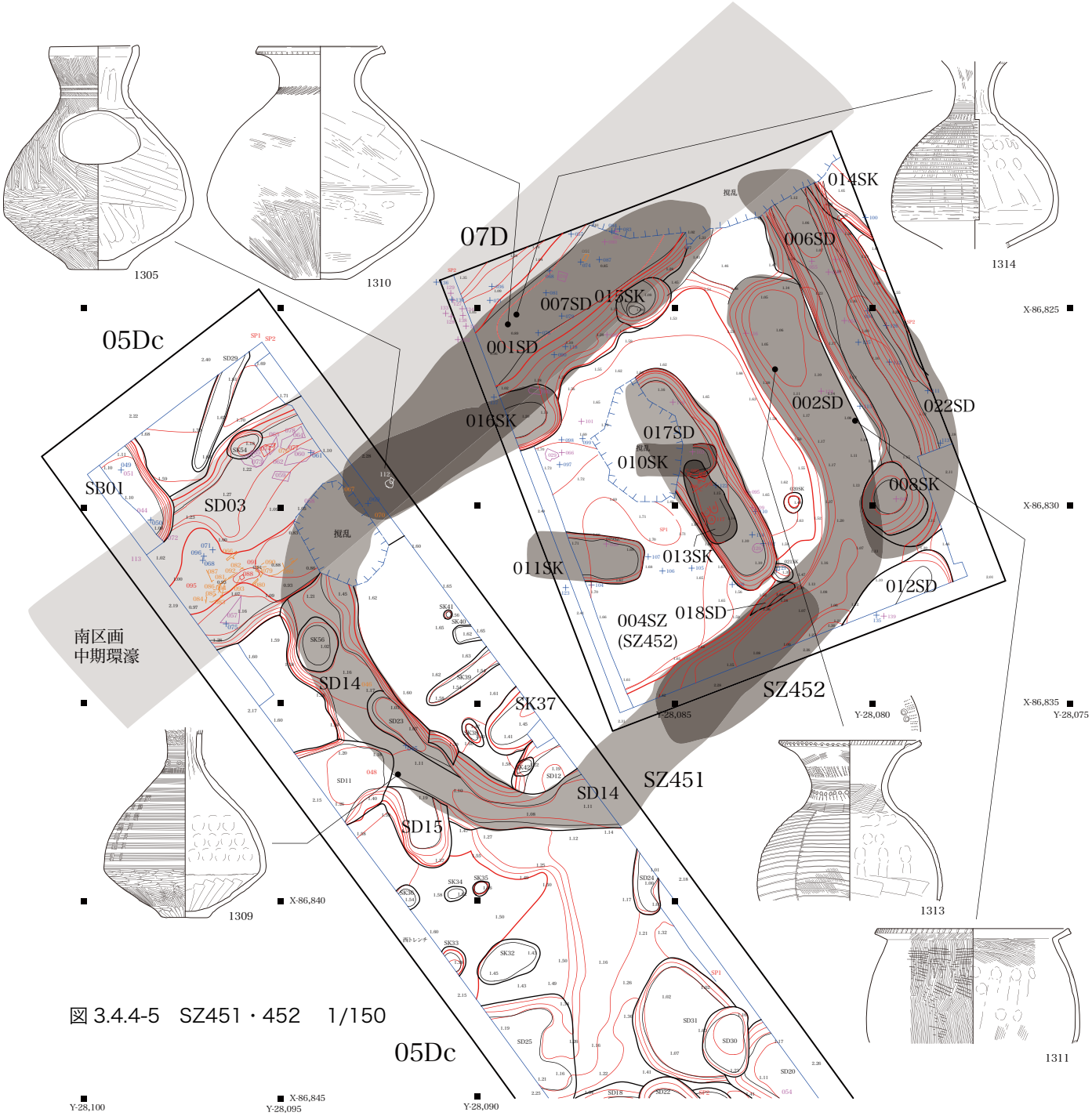
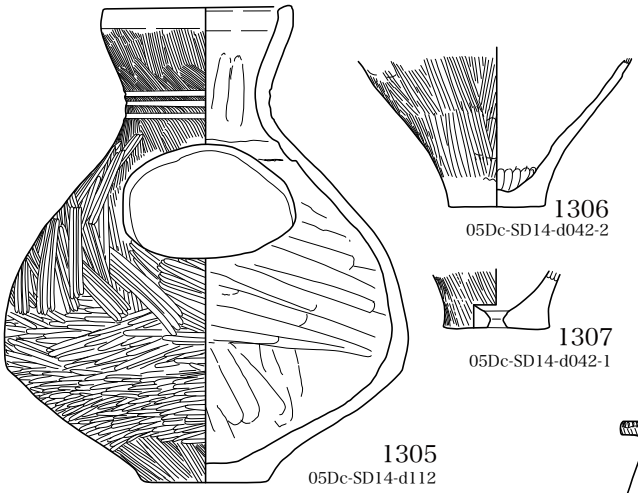


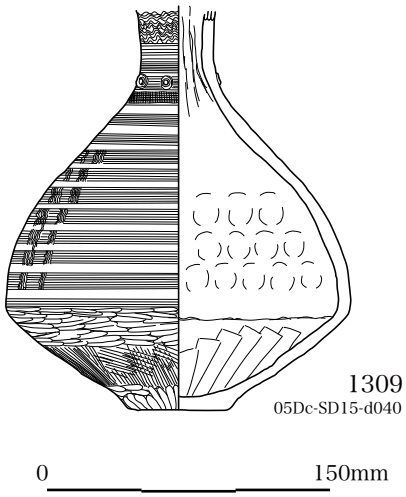
図 3.4.4-5　SZ451・452　1/150

確認できた溝 SD14 を西溝と想定すると，墳丘墓の規模は東西 14m で南北 10m，高さは 1.2m を測る。東西に長軸をもつ長方形を呈する。しかし，その後の墳丘盛土下で，あらたに溝 017SD が確認でき，さらに北溝に重複する 016SK と南溝に重複する 018SD の痕跡を検出したため，方 10m 規模の正方形を呈する方形周溝墓 019SZ（SZ451）であったものを，墳丘を利用して東側に大きく拡張する形で増改築したものと推定した。築造時期は最初に築かれた SZ451 は，共伴した土器などから貝田町式 3 期に所属し，その後の東側への増築は 05Dc 区の円窓付土器（1305）の出土や基盤シルトによる陸橋部の付設を考慮すると，高蔵式期に所属するものと想定したい。なお調査区東端には 006SD・022SD が存在するが，断面観察等からは 002SD 以前と推測でき，この溝を SZ452 に伴う東溝と想定すると，やや規模を縮小する再度の墳丘改変を想定することになる。墳丘墓 004SZ は 3 ヶ所の主体部を検出でき，墳丘墓のほぼ中央部に存在する東西方向に主軸を置く 011SK と，拡張された溝を埋め立てられた後に埋葬された 013SK・010SK が存在する。013SD は南北 2.24m，東西 083m，深さ 015m の楕円形状を呈し，人骨の痕跡が認められる。頭位を南方向に置く横臥屈葬と推測できる。両者とも墳丘盛土の構築段階に設置されており，増改築された 004SZ（SZ452）に伴うものと思われる。

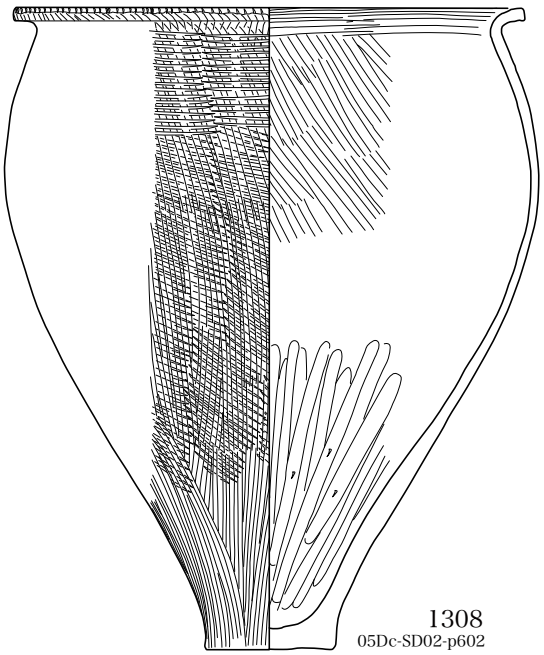
05Dc-SD14



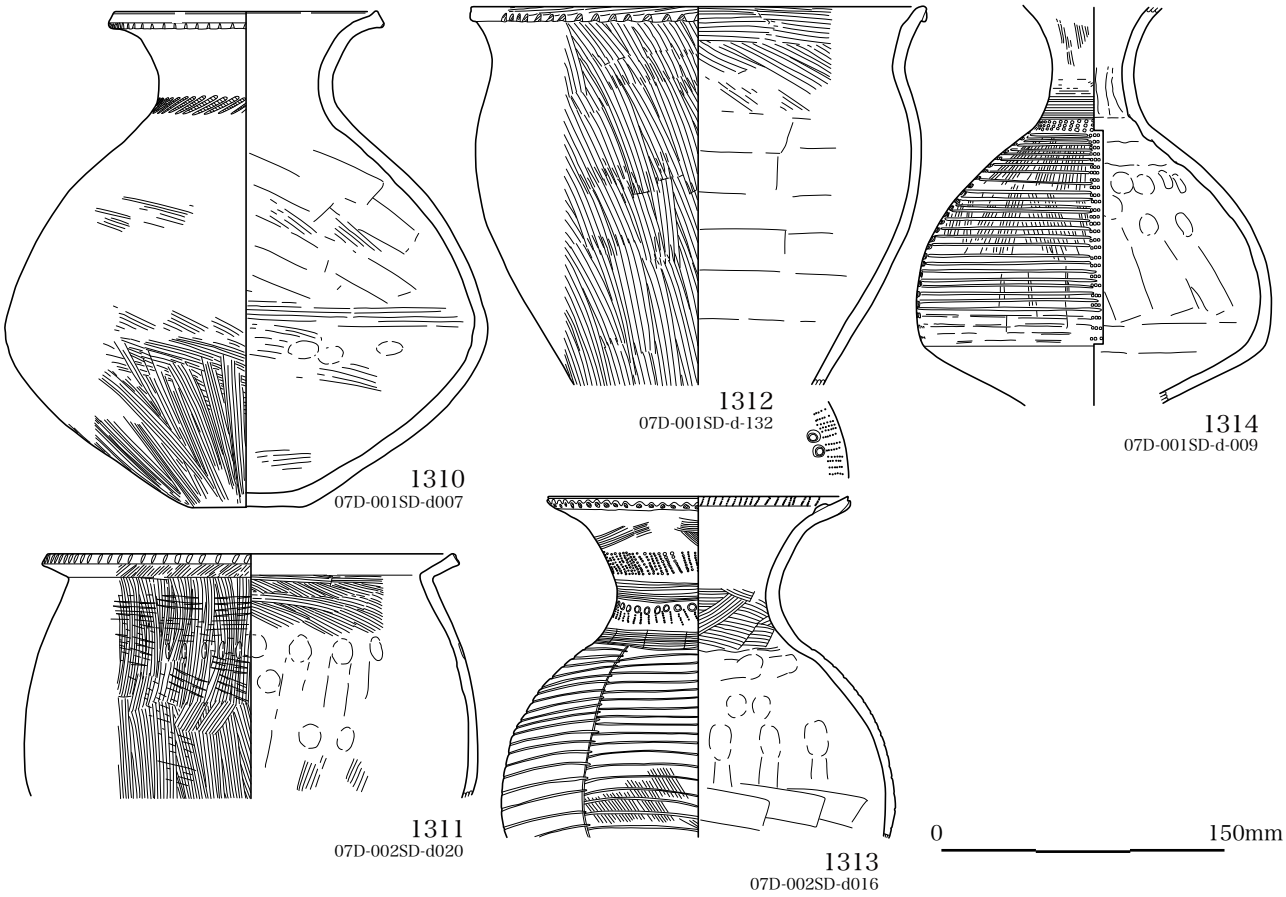
05Dc-SD15

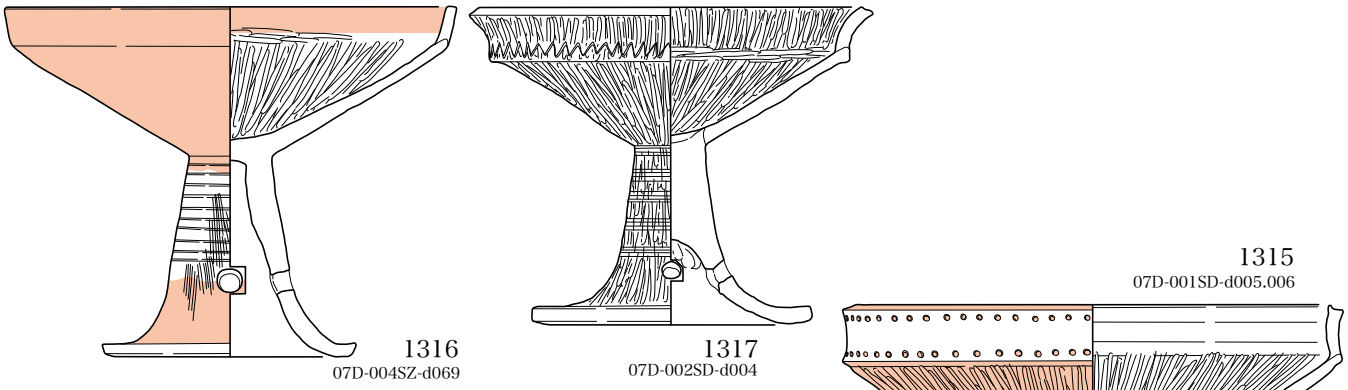


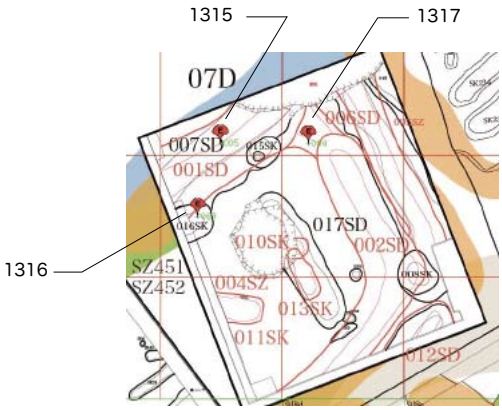
05Dc-SD02（SD14 上層）



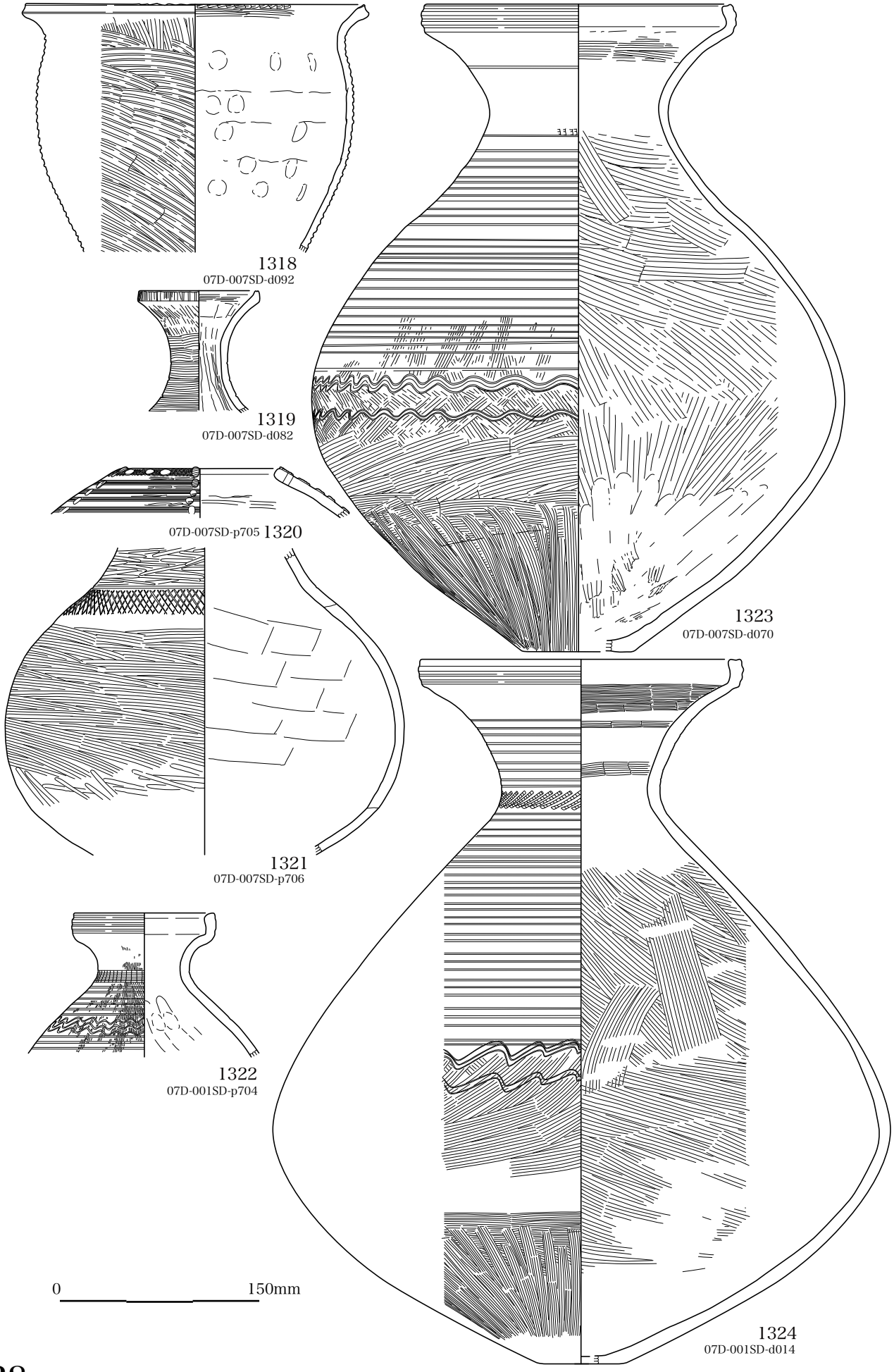
07D-001SD・002SD

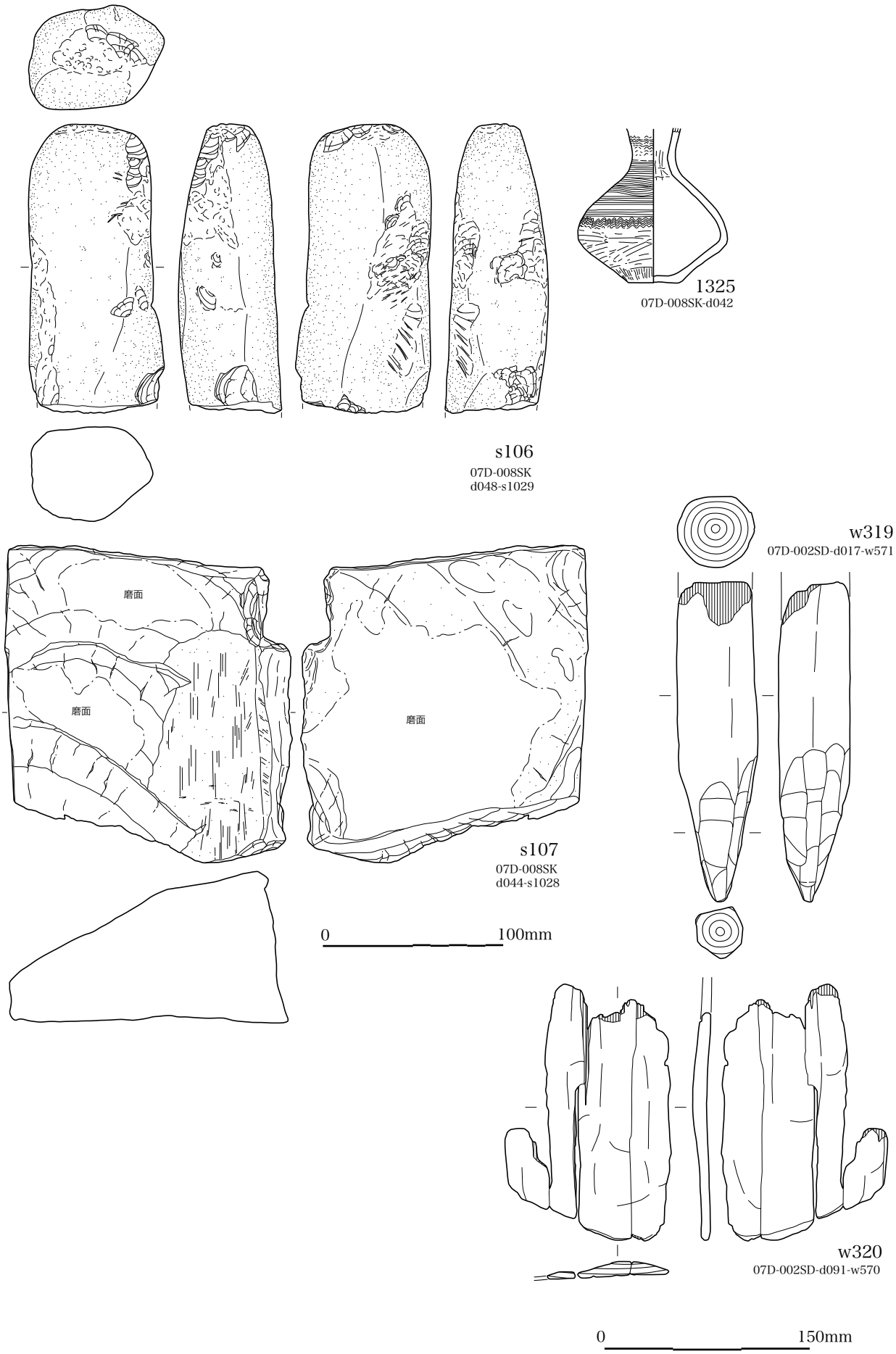






07D-007SD


1318
07D-007SD-d092
1319
07D-007SD-d082
07D-007SD-p705 1320
1321
07D-007SD-p706
1322
07D-001SD-p704
1323
07D-007SD-d070
1324
07D-001SD-d014
0
150mm


1325
07D-008SK-d042
s106
07D-008SK
d048-s1029
w319
07D-002SD-d017-w571
磨面
磨面
磨面
s107
07D-008SK
d044-s1028
0
100mm
w320
07D-002SD-d091-w570
0
150mm

3.4.4.4　SZ463
05Dc-SK21・SD11・SD13

0SZ463 は 05Dc 区北端に位置する方形周溝墓で，主体部 SK18 を伴う。墳丘は 5.7×5.0m の小規模なもので，高さ 1.0m が残存する。SK18 は長軸 2.41m で深さ 0.26m を測る。第 27 区の状況を考慮すると北溝と南溝のほぼ中央部に陸橋部をもつ B 型墳と推定できる。SK21 とした北溝上層からは石剣を含めてまとまって遺物が出土しており，溝内埋葬の可能性が高い。高蔵式期に所属。

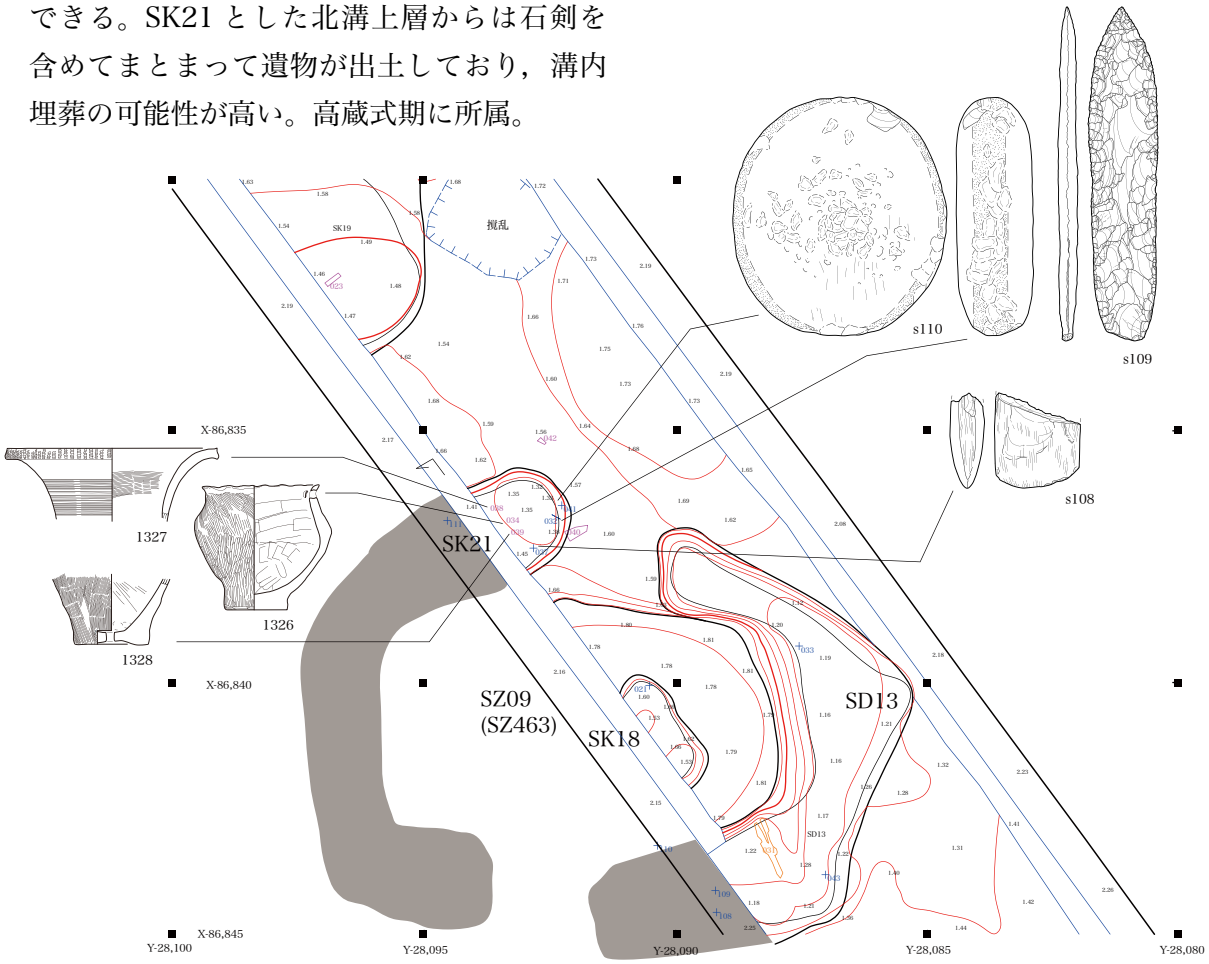


図 3.4.4-6　05Dc 区 SZ463　1/150　（土器：1/6・石器 :1/4）

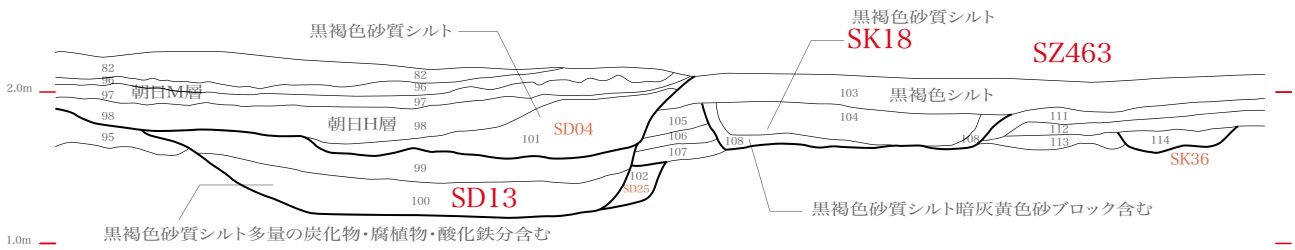
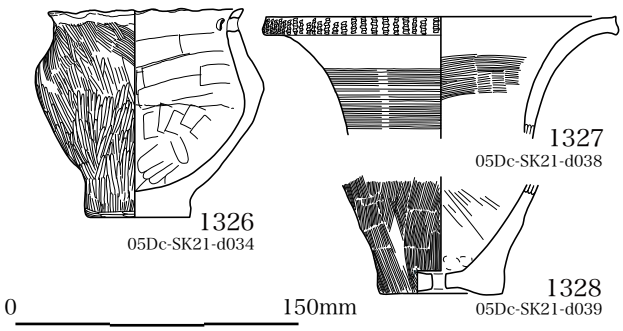
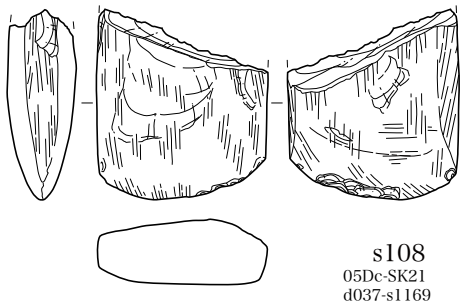
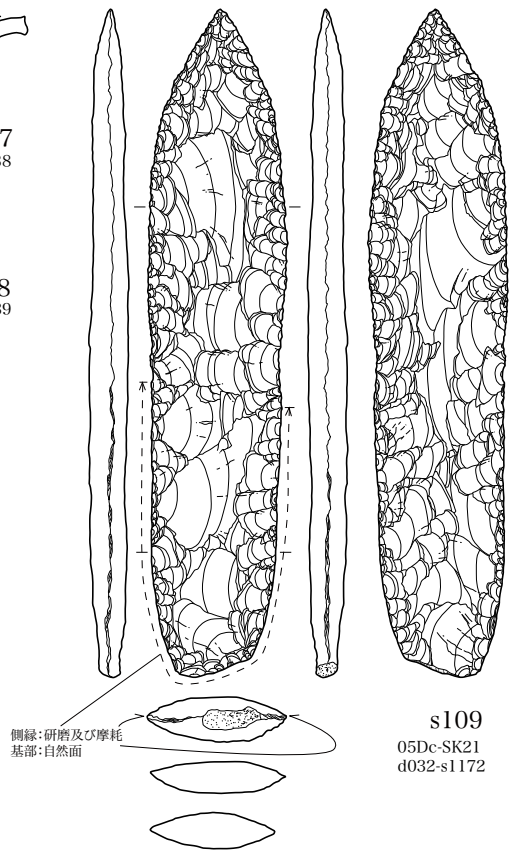
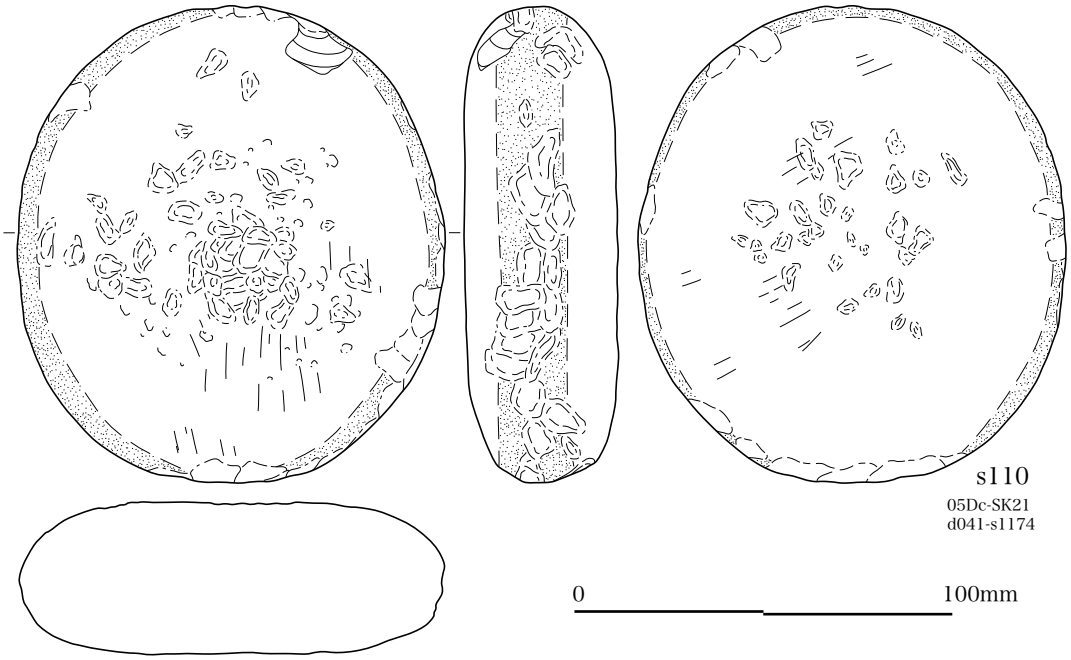


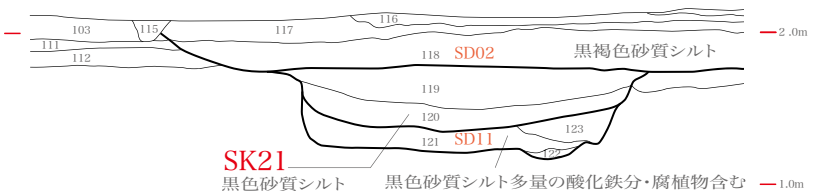
図 3.4.4-7　05Dc 区 SZ463 西壁断面図　1/50


1326
05Dc-SK21-d034
1327
05Dc-SK21-d038
1328
05Dc-SK21-d039
0
150mm

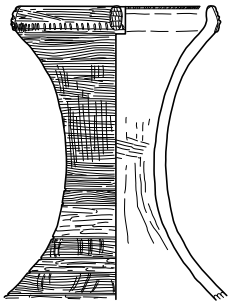

s108
05Dc-SK21
d037-s1169


側縁:研磨及び摩耗
基部:自然面
s109
05Dc-SK21
d032-s1172

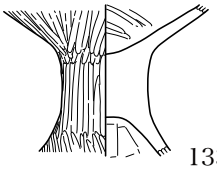

s110
05Dc-SK21
d041-s1174
0
100mm


103
115
117
116
111
112
118
SD02
黒褐色砂質シルト
2.0m
119
120
121
SD11
123
122
SK21
黒色砂質シルト
黒色砂質シルト多量の酸化鉄分・腐植物含む
1.0m

07D-004SZ関連遺構

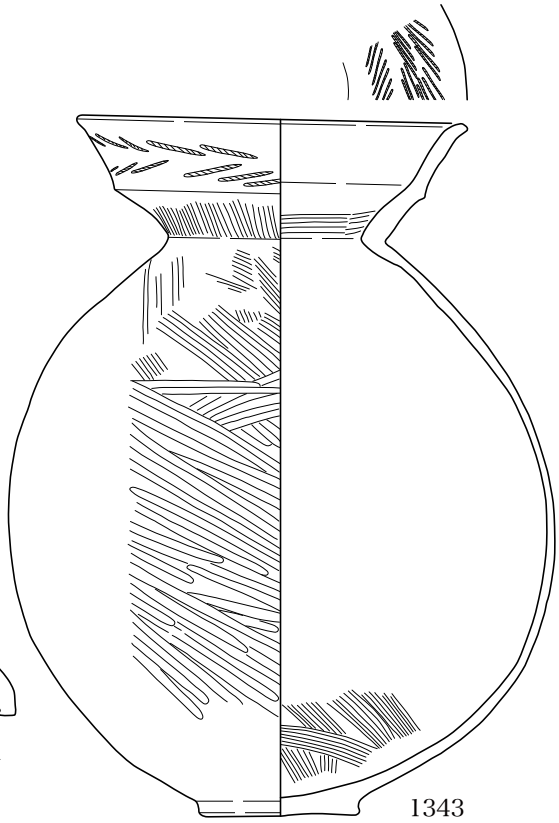


1329
07D-004SZ-d029

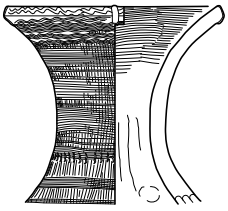


1330
07D-004SZ-d001

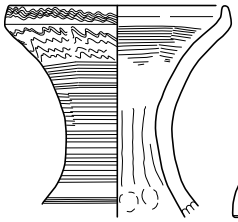
0 150mm



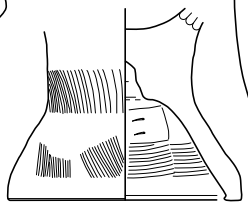
1343
07D-006SZ-M-d002



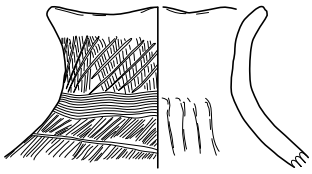
07D-006SD-d054 1331



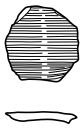
1332
07D-006SD-d055



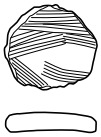
1333
07D-006SD-d061



07Dd-012SD-d139 1334



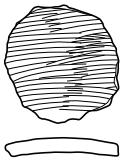
1335
07Dd-002SD
d124



1336
07Dd-検3
d116

1337
07Dd-001SU
d134

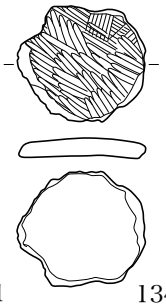
1338
07Dd-004SZ-d095



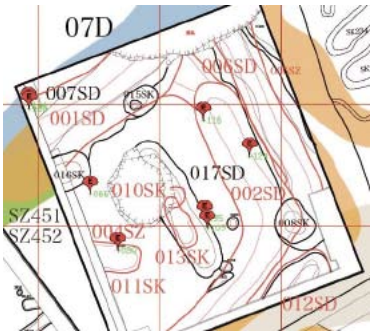
1339
07Dd-007SD
d138

1340
07Dd-004SZ
d109

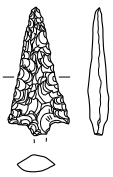
1341
07D-004SZ-d030



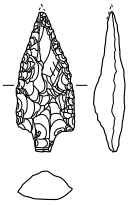
1342
07D-004SZ-d066



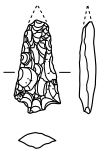
加工円盤の分布



s111
07D-004SZ
d027-s1019

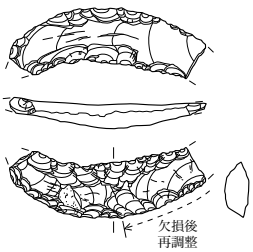


s112
07D-検2
s1020



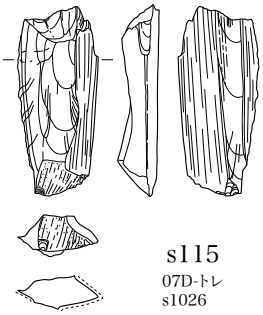
s113
07D-トレ
s1023

0 100mm



欠損後
再調整

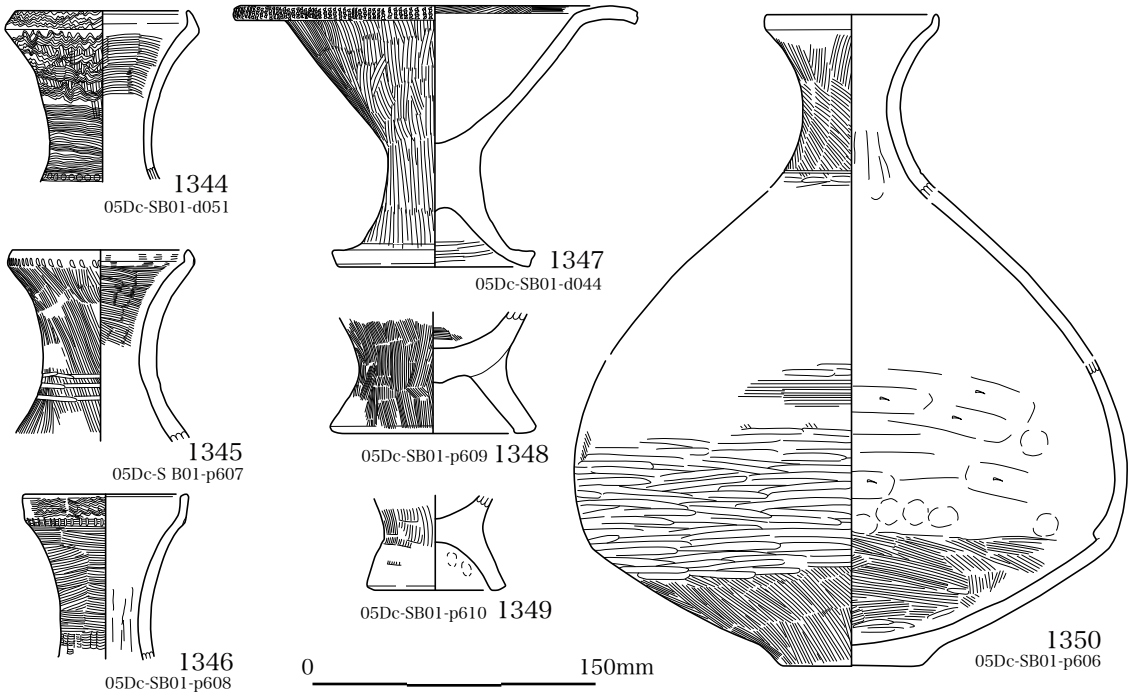
s114
07D-004SZ
s1025



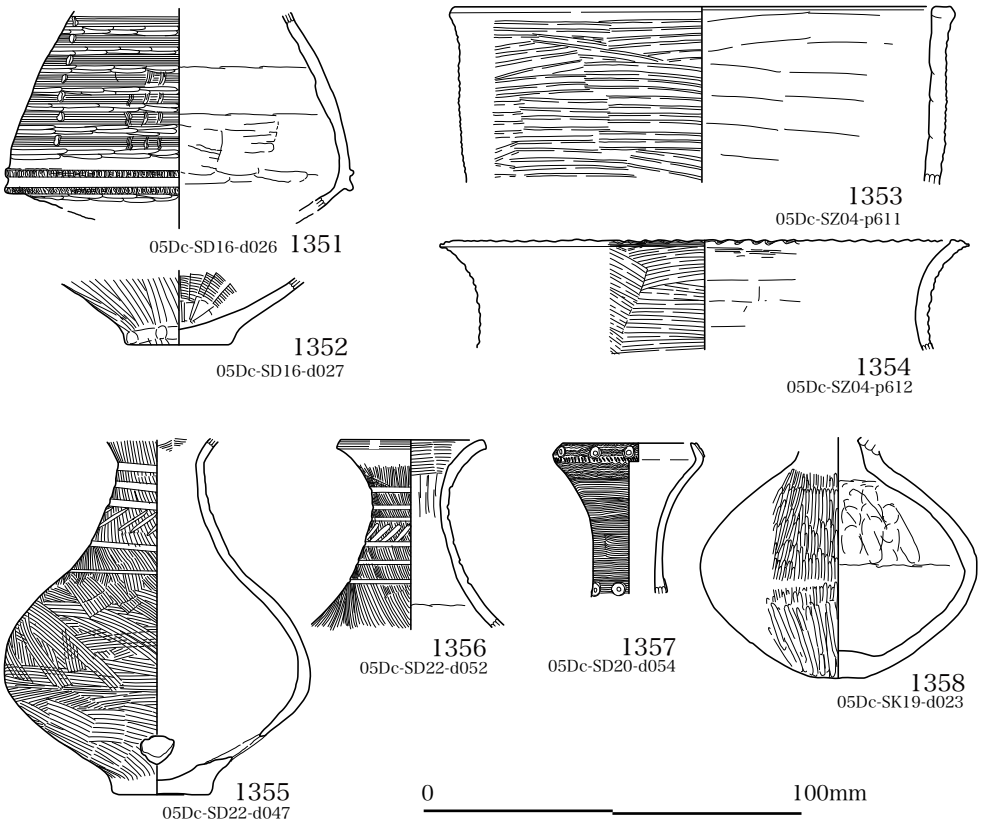
s115
07D-トレ
s1026

s116
07D-004SZ
d059-s1027

05Dc-SB01



SZ453・SZ164関連遺構



3.4.4.5　SZ461
05Dc-SD10・SD16・SD01・05Dc-SZ04

05Dc 区の中央部に存在する方形周溝墓で，第 27 区・28 区の成果を踏まえると，東溝両端に陸橋部を持つ 20.6×17.2m の大型の墳墓と推定できる。また墳丘上には複数の土坑が重複し，その多くが SZ461 に伴う埋葬主体と推測できる。溝最下層からは高蔵式期の遺物が出土する。現状での墳丘残存高は 1.05m。

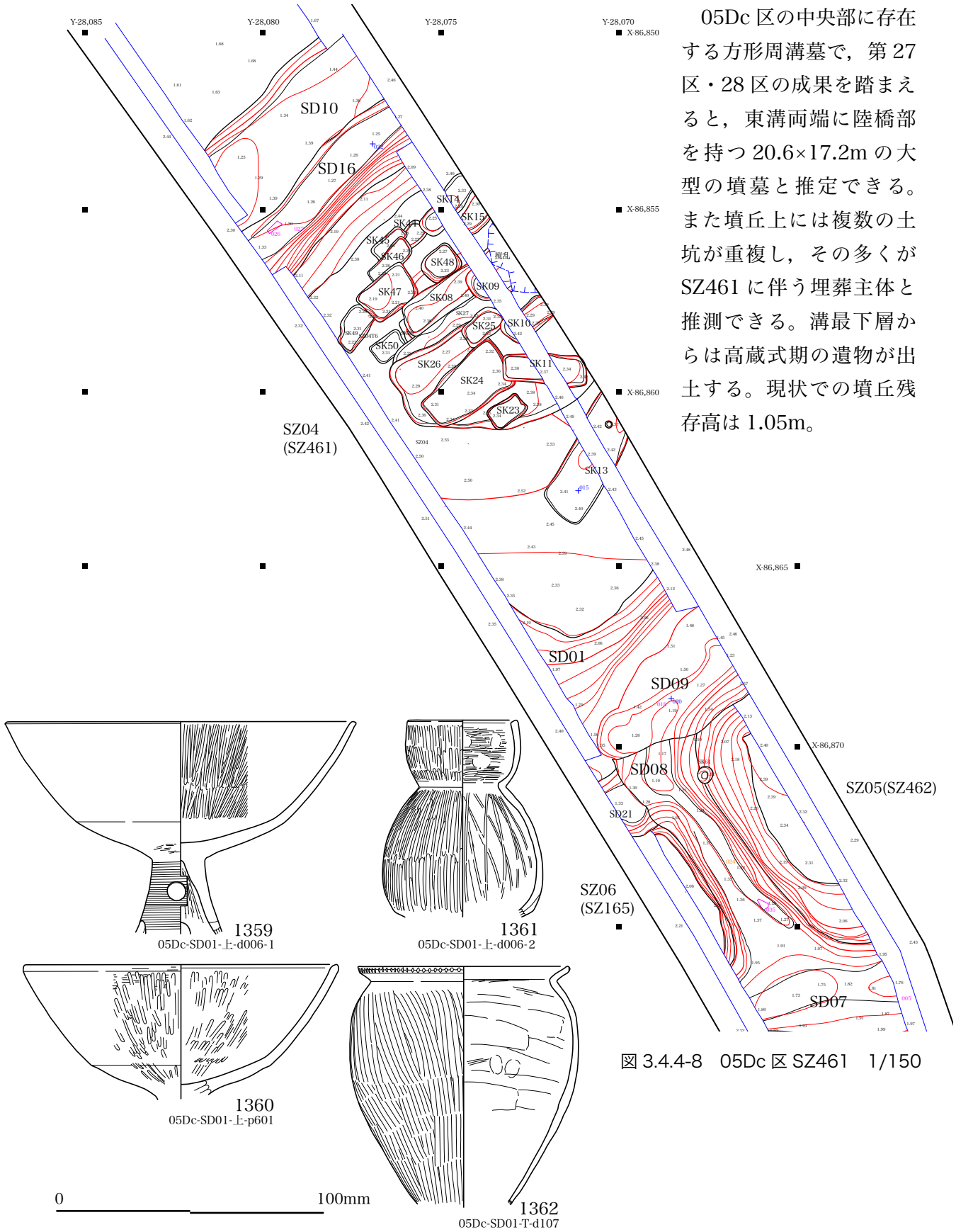
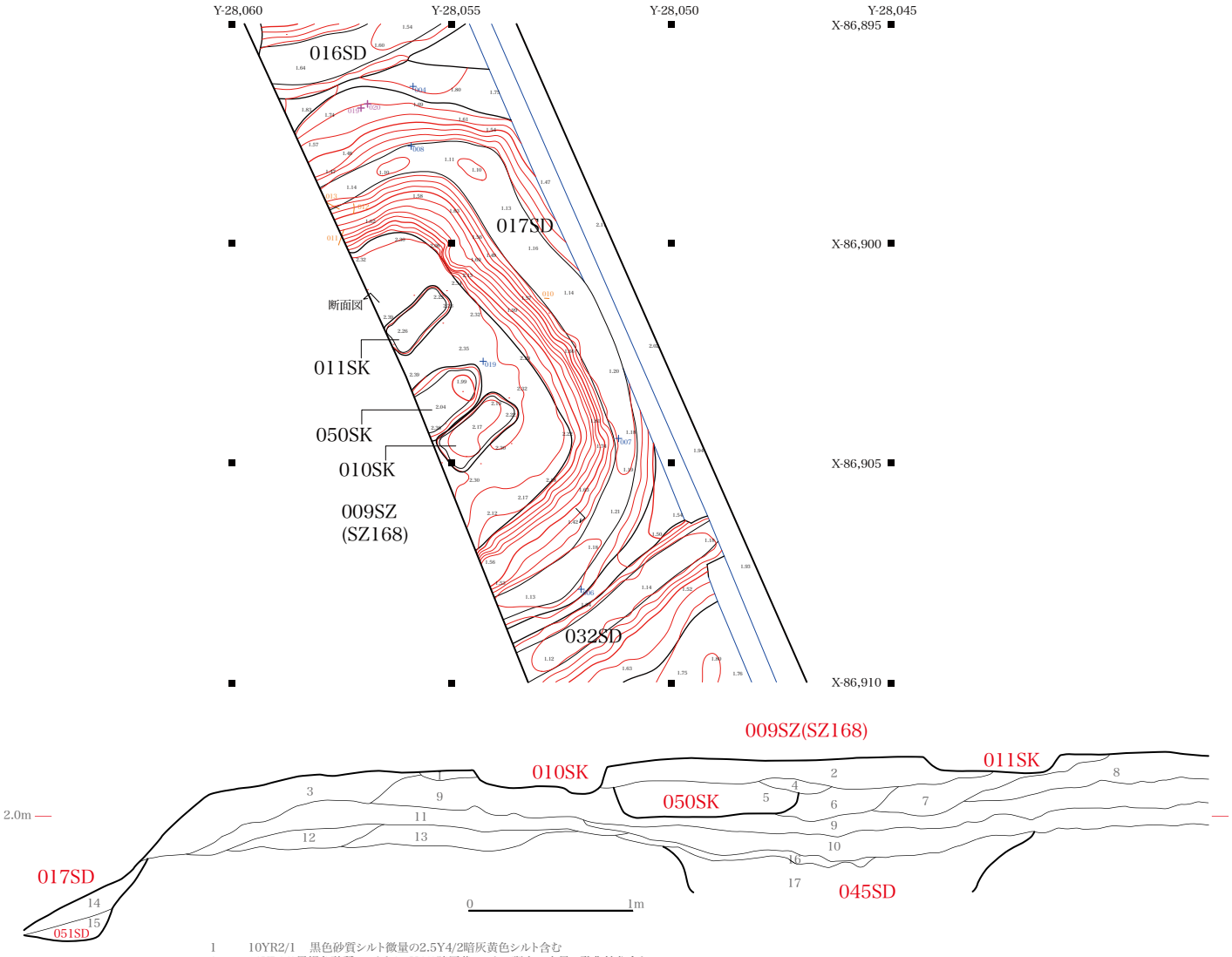


図 3.4.4-8　05Dc 区 SZ461　1/150

3.4.4.6　SZ168

05Dd-017SD

05Dd 区の中央部に存在する方形周溝墓で，第 25 区の成果を踏まえると規模は 9.5×9.0m で，現状での高さは 1.2m を測る。調査区内では墳丘上に主軸を同じくする三つの主体部が確認できた。050SK はほぼ中央部に位置し，その後に封土を盛り足した後に 010SK と 011SK が営まれたものと推測できる。遺物の出土は見られないが，周囲の遺構配置と基本層序からは高蔵式期に所属するものと思われる。



1　10YR2/1　黒色砂質シルト微量の2.5Y4/2暗灰黄色シルト含む
2　10YR2/2黒褐色砂質シルトと2.5Y4/2暗灰黄シルトの斑土　少量の酸化鉄分含む
3　10YR3/1黒褐色砂質シルトと2.5Y4/2暗灰黄シルトの斑土　多量の酸化鉄分含む
4　10YR2/2黒褐色砂質シルトと2.5Y4/2暗灰黄シルトの斑土
5　10YR3/2黒褐色砂質シルトと2.5Y5/6黄褐色中粒砂の斑土　微量の2.5Y4/2暗灰黄色砂・炭化物含む
6　10YR2/1黒色砂質シルトと2.5Y3/1黒褐色砂質シルトと2.5Y4/2暗灰黄色シルトの斑土　多量の酸化鉄分、微量の炭化物含む
7　10YR2/3黒褐色砂質シルトと2.5Y4/2暗灰黄色シルトの斑土　多量の酸化鉄分を含む
8　10YR3/1黒褐色砂質シルトと2.5Y4/2暗灰黄色シルトの斑土　多量の酸化鉄分含む
9　10YR2/1黒色砂質シルトと2.5Y3/1黒褐色砂質シルトと2.5Y4/2暗灰黄色シルトの斑土　多量の酸化鉄分、微量の炭化物含む
10　10YR3/1　黒褐色砂質シルト微量の炭化物、少量の酸化鉄分含む
11　10YR3/1黒褐色砂質シルトと2.5Y4/2暗灰黄色シルトの斑土　微量の炭化物含む
12　10YR2/1　黒色砂質シルト少量の2.5Y4/2暗灰黄色シルト、微量の腐植物含む
13　2.5Y2/1　黒色砂質シルト微量の2.5Y4/2暗灰黄色シルト含む
14　10YR3/1　黒褐色砂質シルト微量の腐植物含む
15　10YR3/1黒褐色砂質シルトと2.5Y4/3オリーブ褐色中粒砂の斑土　微量の2.5Y2/1黒色砂質シルト・腐植物含む
16　10YR3/2黒褐色砂質シルトと2.5Y4/2暗灰黄色シルトの斑土
17　10YR2/1　黒色砂質シルト

図 3.4.4-9　05Dc 区 SZ168（1/150）と墳丘断面図（1/40）

3.5　特定遺物の概要

3.5.1　玉類の分布

勾玉・管玉・ガラス小玉等の玉類の分布を見ていくと，まず北区画竪穴建物周辺部から数多く出土している傾向がうかがえる。さらに貝塚・貝層内からの出土も目立つが，その多くは溶結凝灰岩・翡翠等を使っての装身具類製造過程で生み出される残滓の廃棄と思われる。なお今回の調査区からは方形周溝墓の埋葬主体部からの出土は確認できていない。石材の種類は緑色の溶結凝灰岩・翡翠・ガラスなどが一般的で，その他に水晶・瑪瑙なども見られる。玉造関係の施設として，05Ab 区環濠帯付近に存在する竪穴建物 634SB が想定できる。

表 3.5.1-1　玉類一覧表

登録	種別	調査区	グリッド	遺構	d 番号	備考	材質
s330	勾玉	05Cc	8J4o	SK18		7.9×2.5mm	翡翠
s331	石核	04Aa	6H11s	SB16			水晶
s332	石核	04Bb	5J20d	検 2			翡翠
s333	石核	04Bc	6A11a	SD01 上層	1		溶結凝灰岩
s334	管玉	04Aa	6H3t	SB03		5.8（破損）×2.1mm	溶結凝灰岩
s335	管玉	04Aa	6H14r	SB04		破片	溶結凝灰岩
s336	管玉	04Aa	6H4t	SB07		破片	溶結凝灰岩
s337	管玉	04Aa	6H4t	SB07		5.1（破損）×2.3mm	溶結凝灰岩
s338	管玉	04Aa	6I2a	SB08		5.4（破損）×2.4mm	溶結凝灰岩
s339	管玉	04Aa	6I2a	SB08		7.3（破損）×4.1mm	溶結凝灰岩・軟質
s340	管玉	04Aa	6H13r	SB10		破片	溶結凝灰岩
s341	管玉	04Aa	6H13r	SB10		6.2（破損）×2.5mm	不明（赤色）
s342	管玉	04Aa	6H10s	SB17	111	8.7×3.4mm・ベンガラ付着	溶結凝灰岩
s343	管玉	04Aa	6H10s	SK144	172	8.6×4.1mm（両面穿孔）	溶結凝灰岩
s344	管玉	04Aa	6I4a	検 1		6.6×2.9mm	溶結凝灰岩
s345	管玉	05Ab		108SD		9.8×4mm 貝層内	不明
s346	管玉	05Ab	6I16e	1687SD	1146	15×4.3mm	溶結凝灰岩
s347	管玉	05Ab	6I7e	検 2	258	6.7×2.4mm	溶結凝灰岩
s348	管玉	05Ab	6I12e	検 2	1016	41×11.5mm（両面穿孔）	溶結凝灰岩
s349	管玉	05Ab	6I15e	検 2	869	7.9×2.2mm	溶結凝灰岩・軟質
s350	管玉	05Ab	6I9d	検 2	241	5.3×2.8mm	溶結凝灰岩
s351	管玉	05Ab	6I10e	検 2	421	9（破損）×5.0mm	溶結凝灰岩
s352	管玉	05Cd	8J11t	検 2	50	8.8×2.2mm	溶結凝灰岩
s353	管玉	05Ce	8A10b	014SD	30	8.8×2.3mm	溶結凝灰岩
s354	管玉	05Da	7I16f	SB09		12×2.7mm	溶結凝灰岩
s355	管玉	05Da	7I16f	西トレンチ		10（破損）×4.9mm	溶結凝灰岩
s356	翡翠原石	06Bc	6J13m	051SK			翡翠
s357	翡翠原石片	04Aa	6H3t	SB03			翡翠
s358	翡翠原石片	04Aa	6I2a	SB08			翡翠
s359	翡翠原石片	05Aa	6I2d	301SK			翡翠
s360	翡翠原石片	07Bb	6I7t	003SZ			翡翠
s361	翡翠装身具	05Aa	6I2c	070SB	175	勾玉状	翡翠
s362	翡翠チップ	04Aa	6H4t	SB07			翡翠
s363	翡翠チップ	05Ab	6I9d	検 2			翡翠
s364	溶結凝灰岩片	05Db	8I16l	036SB			溶結凝灰岩・軟質
s365	瑪瑙剥片	05Aa	6I2d	168SB	557		瑪瑙
s366	チップ	04Aa	6H4t	SB05			翡翠
s367	チップ	04Aa	6H10s	SD02			溶結凝灰岩
s368	チップ	04Bc	6j10t	SB03			溶結凝灰岩
s369	チップ	05Ab	6I18f	052SQ 下層			溶結凝灰岩
s370	チップ	05Ab	6I15e	634SB		溶結凝灰岩・下呂石・チャート等	
s371	チップ	05Ab	6I15e	634SB	1077		溶結凝灰岩
s372	チップ	05Ab	6I5e	634SB		溶結凝灰岩・下呂石・チャート等	
x69	ガラス小玉	04Ac	7H1o	T1		黄緑	
x70	ガラス小玉	06Bc	6J12m	014SZ	101	黄緑？	
x71	ガラス小玉	04Aa	6H13r	SB10		紺	
x72	ガラス小玉	04Aa	6H13r	SB10		紺	
x73	ガラス小玉	04Aa	6H13r	SB10		紺	
x74	ガラス小玉	04Aa	6H13r	SB10		紺	
x75	ガラス小玉	04Aa	6H9s	SB11		紺	
x76	ガラス小玉	04Aa	6H9t	検出 I		紺	
x77	ガラス小玉	04Aa	6H13r	SB10		水	
x78	ガラス小玉	04Aa	6H13r	SB10		水	
x79	ガラス小玉	04Aa	6H13r	SB10		水	
x80	ガラス小玉	04Aa	6H13r	SB10		水	
x81	ガラス小玉	04Aa	6H13t	SB03		水	
x82	ガラス小玉	04Aa	6H15r	SB02		水	
x83	ガラス小玉	04Aa	6H4t	SB05		水	
x84	ガラス小玉	04Aa	6H9s	SB11		水	
x85	ガラス小玉	04Aa	6H9t	検出 III-1		水	
x86	ガラス小玉	05Ab	6I10d	検出 2-Y	228	水	
x87	ガラス小玉	05Ab	6I14e	検出 2-Y3	864	水	
x88	ガラス小玉	05Ab	6I10d	検出 2-Y		水	
x89	ガラス小玉	06C	7J16q	004SX	84	水	
x90	ガラス小玉	06C	7J17p	004SX	86	水	
x91	ガラス小玉	06C	7J17q	001NR-M	30	水	
x92	ガラス小玉	05Cf		004SK		水	

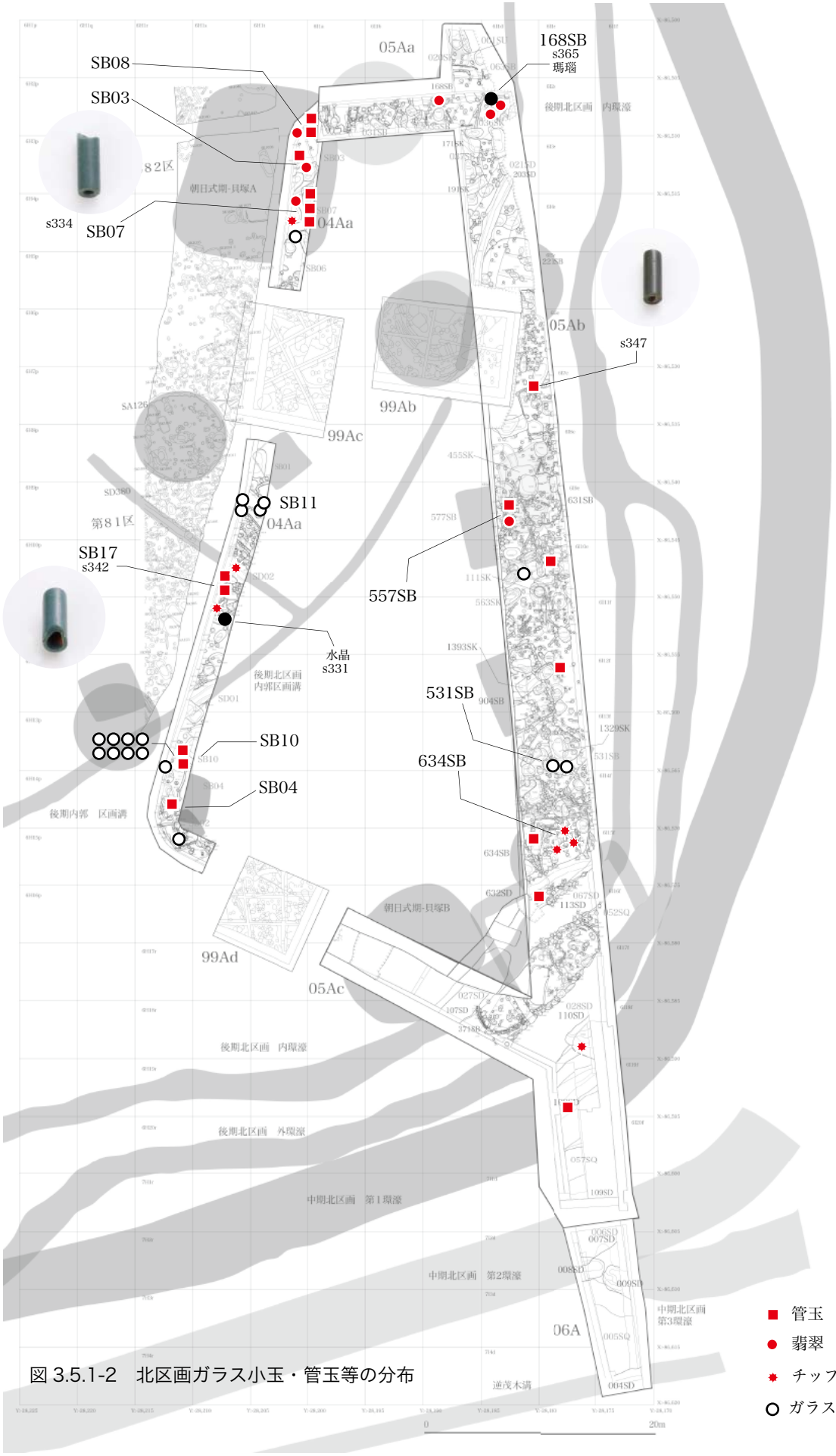


図 3.5.1-2　北区画ガラス小玉・管玉等の分布

3.5.2　動物遺体

樋泉岳二（早稲田大学）・中村賢太郎・孔智賢（パレオ・ラボ）

試料は採集，選別済の動物遺体である。同定方法は現生標本との比較を基本とした。現生標本は筆者（樋泉）の所蔵標本のほか，国立歴史民俗博物館西本豊弘氏の所蔵標本も参照させていただいた。

3.5.2.1 貝類

貝類の組成（表 3.5.2-1・図 3.5.2-2）は，遺構によってばらつきはあるが，ハマグリが個体数比で約 50 ～ 80％と最も多く，ヤマトシジミが約 15 ～ 30％前後でこれに次ぐ点では共通している。すべての試料において，これら 2 種が 70％以上を占めている。マガキ，イボウミニナ，フトヘナタリ，アカニシも普通である．その他，タニシ科，カワニナ，ウミニナ，サルボウ，シオフキ，カガミガイが若干数見られた。

ハマグリとヤマトシジミはいずれも大型のものが多い。計測可能な資料が多かったサンプルでの計測結果（図 3.5.2-3）をみると，ハマグリは SD04-T で殻高約 50 ～ 80mm（平均 64mm），ヤマトシジミは SD02・SD04-T ともに殻高 25 ～ 40mm 前後の個体が主体で，平均約 30mm であった。マガキは SD04-T で殻長 40 ～ 75mm が主体（平均 58mm）で，本種としては中型の個体が主体である。上記以外試料では計測可能な資料が少なかったが，おおむね同傾向とみてよい。

生息環境別にみると，内湾砂質干潟に生息するハマグリなどが最も多く，次いで汽水域に生息するヤマトシジミが多い。内湾泥質干潟に生息するマガキ・イボウミニナや，内湾干潟上部のアシ原に生息するフトヘナタリも，ある程度の量見られた。内湾から汽水域にかけての広い範囲で貝類採集が行われていたと考えられる。

貝類の採集域が広範囲と考えられる一方で，確認された貝の種数は少ない。すなわち，内湾砂質干潟の代表的な生息種としてはハマグリ以外にアサリ・シオフキなど，内湾泥質干潟の代表的な生息種としては，マガキ・イボウミニナ以外にハイガイ・オキシジミなどがあるが，これらはほとんど出土していない。また，ハマグリとヤマトシジミのサイズが比較的大型のものに限られている点も特徴である。こうしたことから，貝類採集において種類とサイズに強い選択性が働いていたと推定される。

いっぽう，淡水性種のタニシ類・カワニナはごく少なく，遺跡周囲の淡水域（水田・水路など）における貝類採集は不活発であったと推定される。

なお，SD02 出土のアカニシには死殻（死んだ貝の貝殻）が見られた。食用以外の何らかの意図で採集されたものと推定される。

表 3.5.2-1　朝日遺跡出土貝類の同定結果

試料	遺構	腹足網						二枚貝網											合計
		タニシ科 Viviparidae	カワニナ *Semisulcospira bensoni*	ウミニナ *Batillaria multiformis*	イボウミニナ *B. zonalis*	フトヘナタリ *Cerithidea rhizophorarum*	アカニシ *Rpana venosa*	サルボウ *Scapharca subcrenata*		マガキ *Crassostrea gigas*		シオフキ *Mactra veneriformis*		ヤマトシジミ *Corbicula japonica*		カガミガイ *Phacosoma japonicum*	ハマグリ *Meretrix lusoria*		
								左	右	左	右	左	右	左	右		左	右	
試料No.1	IAS05Cc SD02埋土(貝層)			1	17	2	3		1	6	3			41	36		69	64	223
試料No.2	IAS05Cc SD07埋土(貝層)				1	2	1	1			1			15	15		20	15	68
試料No.3	IAS05Cc SD12(貝層)													2	4		24	13	43
試料No.4	IAS05Cc SD19(貝層)				2									7	10		37	37	91
試料No.5	IAS05Cc SD19(T14)						1			6	11						1		19
試料No.6	IAS05Cc SD02埋土(貝層)				2		1				1						1	3	6
試料No.7	IAS05Cd SD02(貝層)										1			6	9		1	3	20
試料No.8	IAS05Cd SD04-T	1	1		5	11	8			23	31	1	1	47	45	1	86	86	329
合計		1	1	1	27	15	14	1	1	35	48	1	1	118	119	1	239	221	799

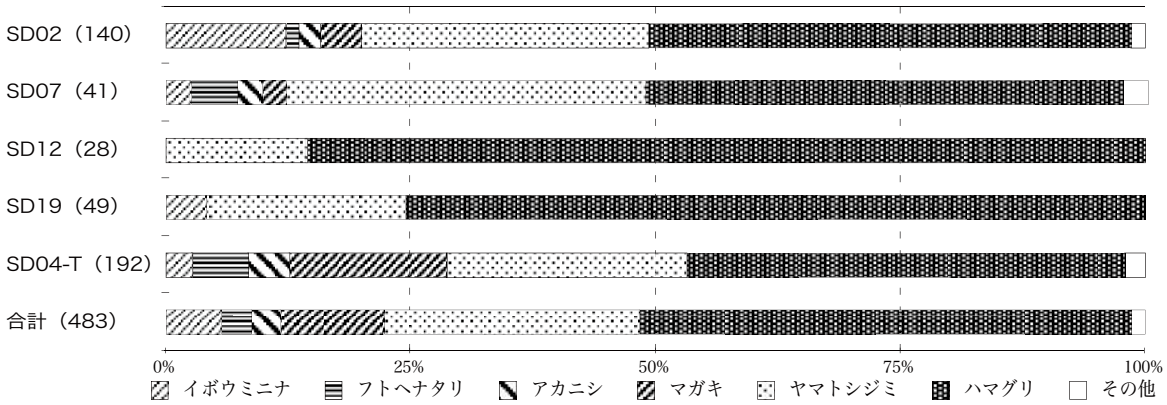


図 3.5.2-2　朝日遺跡の貝類組成　合計資料数 20 個体以上の試料のみ表示

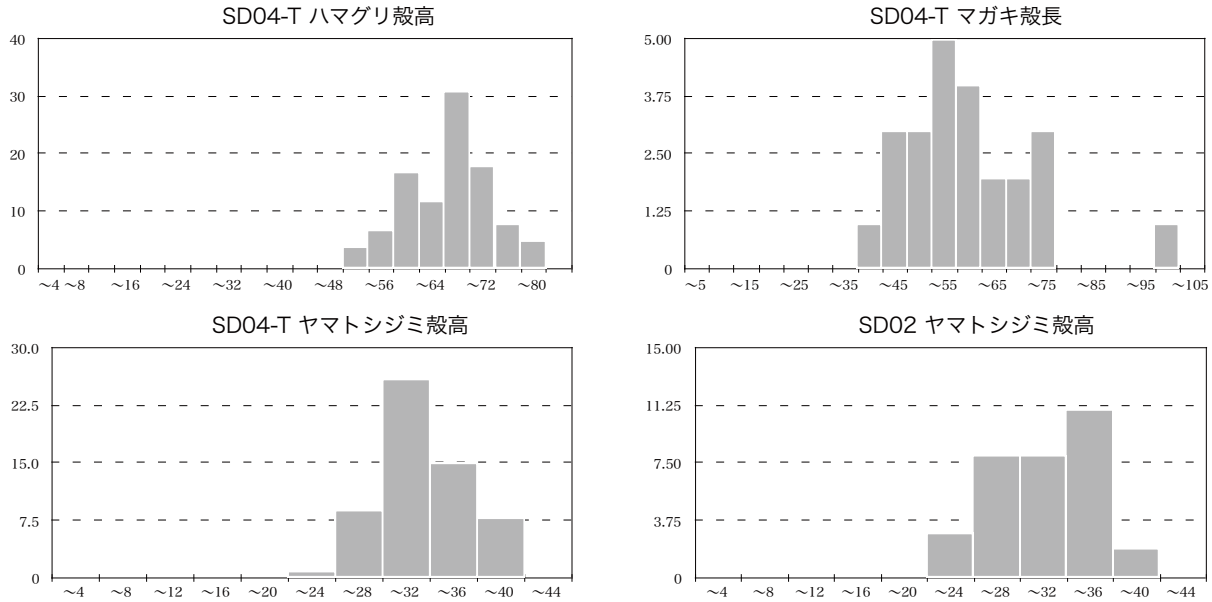


図 3.5.2-3　朝日遺跡の主要貝類のサイズ分布　計測値の単位は mm

3.5.2.2 魚類

出土数は少ない。淡水性種としてコイおよび種不明のコイ科・ナマズ・ウナギ属，海生種としてサメ類（メジロザメ科？）・ニシン科・クロダイ属が見られた（表 3.5.2-4）。SD02 では同一個体と考えられるナマズの頭部骨格がまとまって出土している。

淡水魚が多く，大型魚が少ない傾向があるが，現時点では魚骨の採集・選別方法の詳細が不明なので，以上の結果が魚類利用の実態を示しているかは判断できない。

3.5.2.3 両生類・爬虫類

出土数は少ない。SK03・SD02・SD10a・SD19 でカエル類，SD02 でヘビ類が確認された（表 3.5.2-5）。SK03・SD02 では，それぞれ複数個体のカエル類の骨がまとまって採集されており，何らかの意図的な利用がなされた可能性も考えられる。

3.5.2.4 鳥類

出土数は少ない。SK03 でカモ科（ガン類），005SD でワシ科，110SD-Y でカラス属，027SD で種の判別困難な鳥骨が見られた（表 3.5.2-6）。

005SD 出土のワシ科大腿骨・脛骨・中足骨は同一個体である。いずれも関節のサイズはトビ程度だが，長さははるかに長いことから，比較的小型のワシ科で脚が長いタイプ（オオノスリ・チュウヒ・オオタカなど）の可能性がある。

3.5.2.5 哺乳類（ヒト以外）

出土数はきわめて多い（表 3.5.2-7 ～ -13）。組成としてはイノシシが MNI（最小個体数）=6 と最も多く，次いでイヌ（MNI=3），ニホンジカ（MNI=2）が多く見られた（表 3.5.2-13）。その他にモグラ科，ネズミ科，キツネ？，イタチ，クジラ類が同定されたが，いずれも少数である。

イノシシとシカの部位組成を比較すると，イノシシは全身の部位が見られ，部位の偏りは認められないのに対し，ニホンジカでは歯が少ない傾向が認められた。

イノシシの年齢構成は，顎骨・歯が多くないため明確でないが，乳歯を残す幼獣から M3 萌出完了の成獣までが混在しており，とくに明確な偏りはみられないようである。

001NR-K 出土のイノシシ下顎骨は左右の下顎が連合した良好資料で，左右とも関節突起・筋突起を欠くが，下顎体～下顎角はよく保存されている。左右とも切歯～ P3 は脱落している。雌で，M3 が萌出しており成獣で

表 3.5.2.-4　朝日遺跡出土魚類遺体の同定結果

遺構	種類	部位	左右	数	備考
027SD	ニシン科	椎骨		1	
	クロダイ属	歯骨	R	1	
110SD-Y	クロダイ属	前上顎骨	R	1	
		臀鰭第2棘		1	
SD02	板鰓類	椎骨		1	ごく小型
	コイ	下咽頭骨	R	1	
	コイ科	腹椎		2	
	コイ科？	尾椎		1	
	ナマズ	歯骨	L	1	同一個体
			R	1	
		角骨	L	1	同一個体
			R	1	
		基後頭骨		1	おそらく同一個体
		尾椎		1	おそらく同一個体
	真骨類同定不可	頭骨破片		多数	おそらくナマズ同一個体
		尾椎		2	
SD07	ウナギ属	腹椎		1	
	真骨類同定不可	椎骨破片		1	
SD19	サメ類	歯		1	メジロザメ科？
	ウナギ属	腹椎		1	
	真骨類同定不可	椎骨破片		2	

表 3.5.2-5　朝日遺跡出土両生類・爬虫類遺体の同定結果

残存位置の略号凡例は表 3.5.2.-7 を参照

遺構	種類	部位	左右	残存位置	数	備考
SK03	カエル類	椎骨			2	小型
		椎骨			1	
		仙骨			1	
		尾骨			2	小型
		上腕骨	R	d	2	小型
		橈尺骨	?	p	1	小型
		橈尺骨	L	w	1	同一個体
		橈尺骨	R	w	1	
		寛骨	R		2	小型
		寛骨	L		1	小型
		寛骨	L		1	
		脛腓骨	?	w	1	
		距骨+踵骨	?		2	別個体の可能性大
		四肢骨			15	小型
	カエル類？	不明		fr	多数	
SD02	カエル類	頭蓋骨		fr	1	
		椎骨			7	
		上腕骨	L	w	1	小型
				d	1	ごく小型
			R	d	1	
		橈尺骨	R	p	1	
		寛骨	L		1	中型
			R		2	中・小型
		四肢骨			11	
	ヘビ類	椎骨			2	
SD10a	カエル類	尾骨			1	ごく小型
SD19	カエル類	椎骨			1	
		上腕骨	L	d	1	

表 3.5.2-6　朝日遺跡出土鳥類遺体の同定結果

残存位置の略号凡例は表 3.5.2.-7 を参照

遺構	種類	部位	残存位置	左右	数	備考	
SK03	カモ科（ガン類）	尺骨	d	R	1	Did16.1+，ハクチョウとカモ類の中間大	
005SD	ワシ科	大腿骨	d	R	1	幼鳥，Bd14.4	同一個体
		脛骨	(p-)-d	R	1	幼鳥，最大長113.7，Bd11.2	
		足根中足骨	(p-)-d	R	1	幼鳥，最大長90.5±，Bd11.7	
027SD	鳥類同定不可	足根中足骨	d	L	1		
		不明（長骨）	mfr		1		
110SD-Y	カラス属	脛骨	d	L	1		

表 3.5.2-7　朝日遺跡出土イノシシ遺体の同定結果

顎骨の詳細は表 3.5.2-8 参照

＊残存位置位置の凡例：　w 完存，p 近位端，m 骨幹，d 遠位端，fr 破片．(p)・(d) は未癒合の骨端のみ，(p-)・(d-) は骨端未癒合脱落，<p->・<d-> は骨端のみ欠損．

遺構	頭蓋骨	頭頂骨	前頭骨	側頭骨	切歯骨	上顎骨	遊離歯(上顎)					下顎骨			遊離歯(下顎)									歯	環椎	軸椎	肩甲骨		上腕骨										橈骨		尺骨		第4中手骨	寛骨					大腿骨							脛骨		距骨		踵骨	末節骨	NISP
							L	R							L				R								R		L					R				L	R			R	L		R		L			R				L	R								
		fr	L	R	L	R	M1	C	P4	M2	L	R	fr	I2	P3	M1	M2	I1	I2	M2	M3	臼歯 fr			関節部	烏口甲棘	(p-)-(d-)	<p-><d->	<p->-d	<d->-(d)	(p-)-d	<p->-<d->	d	p	p	L	R	p-(d-)	w	臼	w	臼	m	(d-)	p	<d->	(d-)+(d)	fr	d	<p->	L	R	R								
001NR-K											2	1																					1																													4
001NR-T																																																								1							1
004SD					1	2				3	1	1					1	1					1	1		1	1	1		1						1										1			1	1											20
027SD																									1																																				1
028SD																							1		1																																				2
108SD		1	1					1				1		1					1	1	1												1				1									2	1			1					1			1	16
110SD-Y				1									1		1	1					1																																				1				6
113SD																													1			1		1																											3
455SK																		1																																										1
SD01																												1				1		1			1			1																				4
SD02	1			1			1					2										2												1		1		1				1															1	1		13
SD12														1																																															1
SD19									1													2																																							3
SK03																												1		1				1		1			1	1	1			1																9
計	1	1	1	2	1	2	1	1	1	3	3	5	1	2	1	1	1	2	1	1	2	4	2	1	2	1	1	3	1	1	1	3	1	1	2	3	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	84

ある。歯周症の兆候がみられる点や，下顎連合部－下顎底の角度がやや大きい点は西本（1991）が主張する「ブタ」の特徴と一致することから，家畜化の可能性も考慮する必要がある。

イヌは同一個体の一部がまとまって出土する傾向が見られた。004SD では同一個体の成獣左右下顎骨および椎骨 2 点・四肢骨 3 点，110SD-Y では同一個体と推定される幼獣の左右下顎骨と尺骨 1 点・肋骨 6 点，SD02 でも同一個体の可能性の強い幼獣骨 8 点および成獣骨 6 点（成獣骨は同一個体か不明）が，それぞれまとまって採集されている。これらは埋葬個体の可能性もあるが，確実ではなく，出土状況との照合を要する。

3.5.2.6 ヒト

110SD-Y と 113SD でヒトの散乱骨が確認された（表 3.5.2-14）。

3.5.2.7 小結

朝日遺跡で採集された動物遺体を同定した。貝類は，内湾砂質干潟でのハマグリ採集，汽水域でのヤマトシジミ採集が中心で，内湾泥質干潟でのマガキ・イボウミニナの採集も行われている。採集域の多様性は強いが，確認された貝の種数は少なく，種類とサイズの選択性が強い点が特徴である。淡水性種は少なく，水田・水路などにおける貝類採集は不活発であったと推定される。

魚類は少ない。淡水魚のコイ科・ナマズ・ウナギ属がやや目立ち，海生種のサメ類・ニシン科・クロダイ属が若干見られた。ただし，これが埋蔵されていた魚骨の実態を示しているかについては，さらに検討を要する。

両生類では，SK03・SD02 でカエル類がまとまって採集されており，意図的な利用がなされた可能性がある。爬虫類・鳥類は少ない。

哺乳類ではイノシシが最も多く，次いでイヌ・ニホンジカが多い。他の種は少ない。001NR-K 出土のイノシシ下顎骨は家畜化の可能性を検討する必要がある。イヌには埋葬個体の可能性のある個体が複数みられたが，出土状況と照合した上で判断する必要がある。

謝辞
国立歴史民俗博物館西本豊弘氏からはイノシシの形質的な所見についてご教示を賜った。厚く御礼申し上げる。

参考文献
西本豊弘（1991）「弥生時代のブタについて」国立歴史民俗博物館研究報告第 36 集，pp.175-194

表 3.5.2-8　朝日遺跡出土イノシシ・イヌの顎骨詳細　　[ ] は顎骨の残存範囲，( ) は萌出中の歯を示す．

種類	遺構	上顎／下顎	左右	残存位置	備考	
イノシシ	001NR-K	下顎骨	L	[i_1-m_1 × m_2・m_3]	幼獣	
イノシシ	001NR-K	下顎骨	L	[I_1-P_3× P_4-M_3 下顎角]　関節突起・筋突起欠	左右連合．♀	同一個体
イノシシ	001NR-K		R	[I_1-P_3 × P_4-M_3 下顎角]　関節突起・筋突起欠		
イノシシ	004SD	上顎骨	R	[P^3 P^4 M^1x]		
イノシシ	004SD	上顎骨	R	[P^3 P^4 M^1 M^2]		
イノシシ	004SD	下顎骨	L	[m_2 m_3 M_1 (M_2)]		
イノシシ	004SD	下顎骨	R	下顎角		
イノシシ	108SD	下顎骨	R	下顎体fr		
イノシシ	110SD-Y	下顎骨	?	fr		
イノシシ	SD02	下顎骨	R	[P_4 M_1 M_2 M_3]		
イノシシ	SD02	下顎骨	R	[m_3 M_1]		
イヌ	004SD	下顎骨	L	完存（P_1～M_1残存）	M_1L=20.7mm	同一個体
イヌ	004SD	下顎骨	R	完存（全歯残存）	M_1L=20.2mm．切歯～犬歯の咬耗顕著．	
イヌ	110SD-Y	下顎骨	R	[(M_1)]	幼獣．M_1L=17.4	同一個体
イヌ	110SD-Y	下顎骨	L	吻端欠損（(M_1)残存）	幼獣．M_1L=17.3	
イヌ	SD01	下顎骨	R	下顎角fr		
イヌ	SD02	上顎骨	R	歯槽中に(P^3)・(P^4)	幼獣	
イヌ	SD02	下顎骨	R	吻・下顎枝欠（P_3・P_4・M_2残存）		

表 3.5.2-9　朝日遺跡出土ニホンジカ遺体の同定結果　　残存位置の略号凡例は表 3.5.2-7 を参照

遺構	前頭骨＋角	角	側頭骨	側頭骨～頭頂骨	後頭骨	遊離歯(上顎)	環椎	軸椎	頸椎	上腕骨	第3手根骨	寛骨	肩甲骨	大腿骨				脛骨	距骨	中足骨	中手/中足骨	基節骨	NISP
						R				L				L			R	L	L	R	?		
	L	fr	L	R		M3				<d->	L	L	L	p	<p->	d	<p->	<p->-d		d	d		
004SD	1					1			1	1		1						1	1	1	1		9
005SD							1																1
027SD																			1				1
107SD-Y					1																		1
108SD										1												1	2
110SD-Y				1										1									2
113SD													1		1								2
455SK			1		1			1								1							4
SD01		1					1										1						3
SD02											1										1		2
計	1	1	1	1	2	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	27

表 3.5.2-10　朝日遺跡出土イノシシまたはニホンジカ遺体の同定結果　　残存位置の略号凡例は表 3.5.2-7 を参照

遺構	下顎骨	頚椎	胸椎	腰椎	仙椎	椎骨	肋骨		上腕骨		寛骨	脛骨			手根/足根骨	NISP
									?			L	R	?		
	fr						p	fr	m	m fr	fr	m	m	m	?	
001NR-K							1									1
004SD	1					1	1			1		1	1			6
005SD					1			1						1		3
107SD-Y			1													1
108SD				1		1										2
110SD-Y											1				1	2
455SK				1												1
SD02								1				1				2
SD10								1	1							2
SD19													1			1
SK03	1	1											1			3
計	2	1	1	2	1	2	2	3	1	1	1	2	3	1	1	24

表 3.5.2-11　朝日遺跡出土イヌ遺体の同定結果
斜字はイヌか確実でないもの．残存位置の略号凡例は表 3.5.2-7 を参照．顎骨の詳細は表 3.5.2-8 参照

遺構	上顎骨	下顎骨						環椎	頸椎	腰椎	椎骨	肋骨	肩甲骨	上腕骨		橈骨	尺骨		寛骨	大腿骨	脛骨			距骨	踵骨	中手／中足骨		第2中足骨		末節骨	NISP
		L	R										L	R		R	L	R	L	R	R					?		R			
	R	w	w	吻端欠	[(M1)]	吻・下顎枝欠	下顎角					p	関節部	<d->	(d)	(d)	滑車切痕	滑車切痕	寛骨臼	(d-)	p	(p-)	(p-)-(d-)	L	L	m	(d)	w	p-(d-)	?	
001NR-T																					1										1
004SD		1	1					1																		1		1			5
005SD										1									1												2
108SD											1			1																	2
110SD-Y				1	1							1					1														4
113SD										1					1																2
SD01							1																								1
SD02	1					1			1				1			1		1		1		1	1	1	1		1		1	1	14
計	1	1	1	1	1	1	1	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	30

表 3.5.2-12　朝日遺跡から出土したその他の哺乳類遺体の同定結果　　残存位置の略号凡例は表 3.5.2-7 を参照

遺構	モグラ			ネズミ科	イタチ	キツネ?	食肉目（種同定不可）	クジラ類	哺乳類（種同定不可）								
	軸椎	上腕骨 L/w	尺骨 L	切歯 ?	上腕骨 L/w	上顎P4 L	切歯 ?	不明 fr	頭骨 fr	胸椎	腰椎	椎骨	肋骨	脛骨 R (p-)-(d-)	長骨 m	長骨 fr	不明 fr
004SD					1				2	1						2	
005SD														1		5	2
027SD																1	1
107SD-Y												1				1	
108SD								1								3	2
110OP																	1
110SD-Y		1											3			12	12
455SK																1	3
SD01											1					1	1
SD02	1			2		1	1								2	2	1
SD04-T																1	
SD19			1													1	1
SK03													1			1	
計	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	4	1	2	31	24

表 3.5.2-13　朝日遺跡から出土した動物遺体の組成

NISP：同定標本数，MNI：最小個体数（全資料の合計値に基づいて算出）

種類		NISP																					MNI
		001NR-K	001NR-T	004SD	005SD	027SD	028SD	107SD-Y	108SD	110OP	110SD-Y	113SD	455SK	SD01	SD02	SD04-T	SD07	SD10	SD12	SD19	SK03	合計	
サメ類	Carcharhinidae ?																			1		1	1
板鰓類	Elasmobranchii														1							1	1
ニシン科	Clupeidae					1																1	1
ウナギ属	Anguilla																1			1		2	1
コイ	*Cyprinus carpio*														1							1	1
コイ科	Cyprinidae														3							3	1
ナマズ	*Silurus asotus*														6							6	1
クロダイ属	Acanthopagrus					1					2											3	1
真骨類同定不可	Teleostei														2		1			2		5	-
カエル類	Salientia														26			1		2	33	62	4
ヘビ類	Ophidia														2							2	1
カラス属	Corvus										1											1	1
ワシ科	Accipitridae				3																	3	1
カモ科（ガン類）	Anatidae																				1	1	1
鳥類同定不可	Aves					2																2	-
モグラ科	Talpidae										1				1					1		3	1
ネズミ科	Muridae														2							2	1
イヌ	*Canis familiaris*		1	5	2				2		4	2		1	14							31	3
キツネ?	*Vulpes vulpes ?*														1							1	1
イタチ	*Mustela*			1																		1	1
食肉目・種同定不可	Carnivora														1							1	-
イノシシ	*Sus scrofa*	4	1	20		1	2		16		6	3	1	4	13				1	3	9	84	6
ニホンジカ	*Cervus nippon*			9	1	1		1	2		2	2	4	3	2							27	2
イノシシまたはニホンジカ	*Sus scrofa / Cervus nippon*	1		6	3			1	2		2		1		2			2		1	3	24	-
クジラ類	Cetacea								1													1	1
哺乳類同定不可	Mammalia			5	8	2		2	5	1	27		4	3	5	1				2	2	67	-
合計		5	2	46	17	8	2	4	28	1	45	7	10	11	82	1	2	3	1	13	48	336	32

表 3.5.2-14　朝日遺跡から出土した人骨の同定結果

遺構	部位	残存位置	左右	数	備考
110SD-Y	橈骨	m	R	1	小さいが骨質は堅緻
113SD	腓骨	m	L	1	

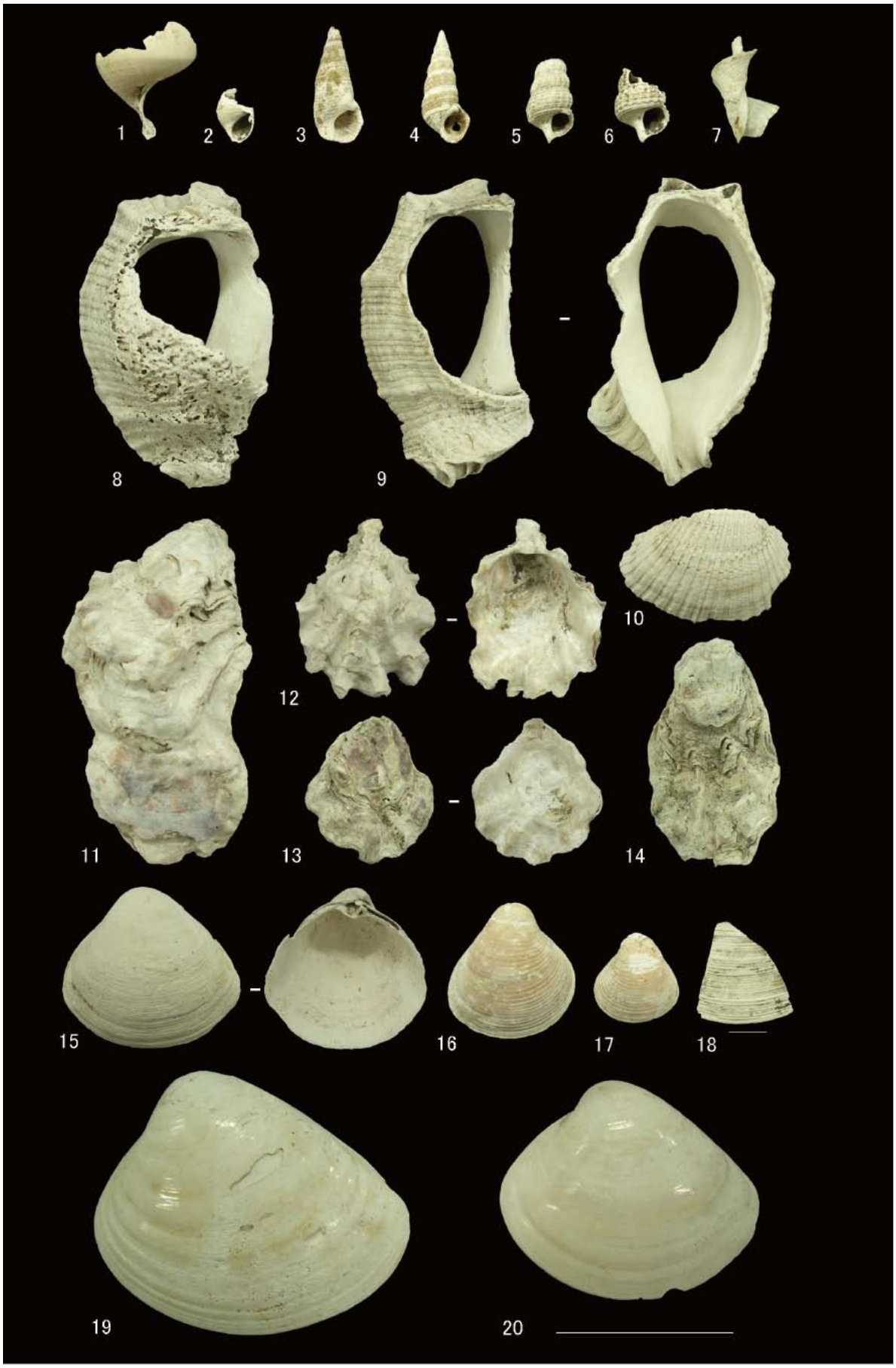


図 3.5.2-15　朝日遺跡出土の貝類 (スケールバー ,1-7･10･15-18:1cm,8-14･19･20:5cm)

1. タニシ類　2. カワニナ　3. ウミニナ　4. イボウミニナ　5･6. フトヘナタリ　7-9. アカニシ
10. サルボウガイ　11-14. マガキ　15. シオフキ　16･17. ヤマトシジミ　18. カガミガイ　19･20. ハマグリ

図 3.5.2-16　朝日遺跡出土の両生類と魚類貝類 (スケールバー 1cm)

1. カエル類寛骨 L(IAS04Ab,SK03)　2. カエル類橈尺骨 L(IAS04Ab,SK03)　3. コイ下咽頭骨 R(IAS05Cc,SD02)
4. ナマズ歯骨 L(IAS05Cc,SD02)　5. ナマズ角骨 L(IAS05Cc,SD02)

図 3.5.2-17　朝日遺跡出土の鳥類 (スケールバー 5cm)

1. カモ科（ガン類）尺骨 R(IAS04Ab,SK03)　2. ワシ科大腿骨 R(IAS06Ba,005SD-A)　3. ワシ科脛骨 R(IAS06Ba,005SD-A)
4. ワシ科足根中足骨 R(IAS06Ba,005SD-A)　5. カラス属脛骨 L(IAS05Ab,110SD-Y)

図 3.5.2-18　朝日遺跡出土の哺乳類その他

1. クジラ類不明 (IAS05Ab,108SD)　2. イタチ上腕骨 L(IAS06A,004SD)　3. キツネ？上顎 L,P4(IAS04Ab,SD02)

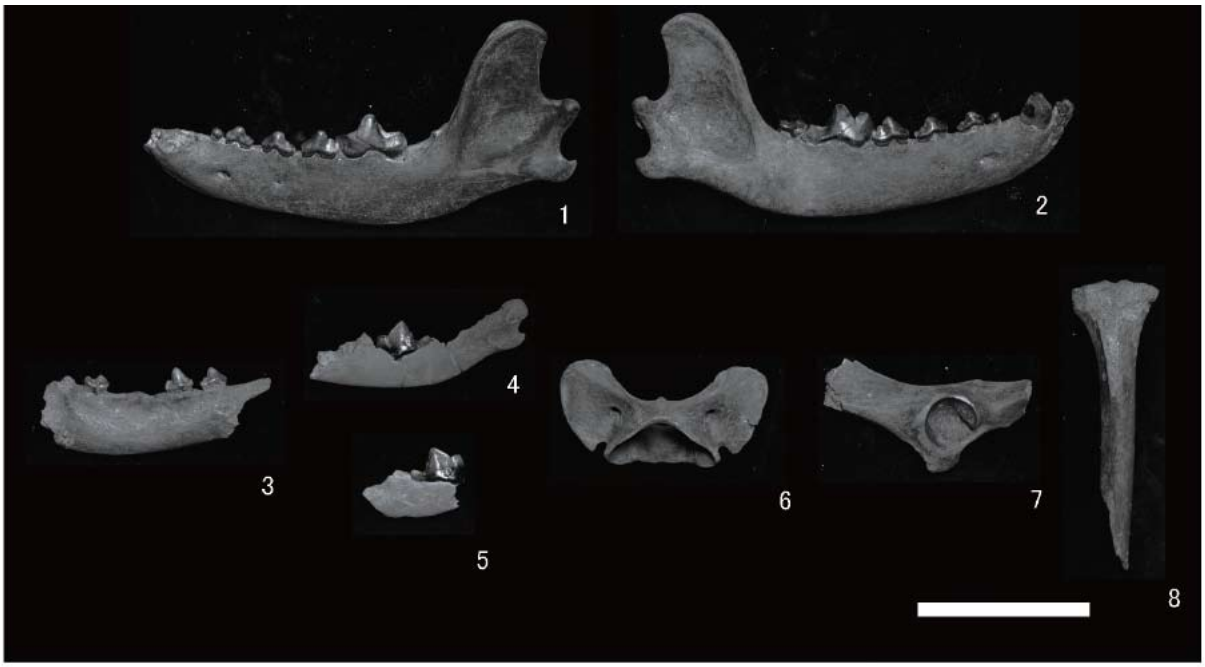


図 3.5.2-19　朝日遺跡出土のイヌ (スケールバー 5cm)

1. イヌ下顎骨 L(IAS06A,004SD)　2. イヌ下顎骨 R(IAS06A,004SD)　3. イヌ下顎骨 R(IAS04Ab,SD02)
4. イヌ幼獣下顎骨 L(IAS05Ac,110SD-Y)　5. イヌ幼獣下顎骨 R(IAS05Ac,110SD-Y)　6. イヌ環椎 (IAS06,004SD)
7. イヌ寛骨 L(IAS06Ba,005SD-A)　8. イヌ脛骨 R(IAS06Bd,001NR-T)

図 3.5.2-20　朝日遺跡出土のイノシシ (スケールバー 5cm)

1. イノシシ頭蓋骨 (IAS05Cd,SD02)　2. イノシシ上顎骨 R(IAS06A,004SD)　3. イノシシ幼獣下顎骨 L(IAS06Bd,001NR-K)
4. イノシシ下顎骨 L(IAS06A,004SD)　5. イノシシ下顎骨 L(IAS06Bd,001NR-K)　6. イノシシ下顎骨 R(IAS06Bd,001NR-K)
7. イノシシ環椎 (IAS05Ab,028SD)　8. イノシシ上腕骨 L(IAS06A,004SD)　9. イノシシ上腕骨 L(IAS04Ab,SK03)
10. イノシシ橈骨 R(IAS05Cd,SD02)　11. イノシシ尺骨 R(IAS05Cc,SD02)　12. イノシシ寛骨 R(IAS05Cd,SD02)
13. イノシシ大腿骨 R(IAS06A,004SD)　14. イノシシ脛骨 L(IAS06Bd,001NR-T)

図 3.5.2-21　朝日遺跡出土のニホンジカ (スケールバー 5cm)

1. ニホンジカ前頭骨＋角 (IAS06A,004SD)　2. ニホンジカ環椎 (IAS06Ba,005SD-AS)　3. ニホンジカ軸椎 (IAS05Ab,455SK)
4. ニホンジカ肩甲骨 L(IAS05Ab,113SD-Y)　5. ニホンジカ大腿骨 L(IAS05Ac,110SD-Y)
6. ニホンジカ大腿骨 L(IAS05Ab,455SK)
7. ニホンジカ脛骨 L(IAS06A,004SD)　8. ニホンジカ距骨 L(IAS06A,004SD)　9. ニホンジカ中足骨 R(IAS06A,004SD)

図 3.5.2-23　朝日遺跡出土脊椎動物遺体の同定結果

残存位置・顎骨表記の略号凡例は表 3.5.2-7・表 3.5.2-8 を参照．計測は Driesch（1976）に準拠．
損傷の略号凡例　CM：カットマーク，SF：スパイラル・フラクチャー

遺構	袋 No.	調査区	その他記載	種類	部位	残存位置	左右	数	損傷	備考・計測
001NR-K	1	IAS06Bd	6J19o,1 層下 ,d-88	イノシシ	上腕骨	<p->	R	1	SF	
001NR-K	2	IAS06Bd	6J19o,1 層下 ,d-94	イノシシ	下顎骨	下顎枝欠	L	1		m2・m3 残存．幼獣
001NR-K	3	IAS06Bd	6J19o,1 層下 ,d-112	イノシシ / シカ	肋骨	p		1		
001NR-K	4	IAS06Bd	6J19o,2 層下 ,d-113	イノシシ	下顎骨	関節 / 筋突起欠	R	1		P4-M3 残存．♀．同一個体
001NR-K	5	IAS06Bd	6J19o,2 層下 ,d-125	イノシシ	下顎骨	関節 / 筋突起欠	L	1		P4-M3 残存．♀．同一個体
001NR-T	1	IAS06Bd	6J19o, 下層砂 ,d-012	イノシシ	脛骨	d	L	1		
001NR-T	2	IAS06Bd	6J19o, 下層砂	イヌ	脛骨	p	R	1		
004SD	1	IAS06A	7I4f	イノシシ	上顎骨	[P3 P4 M1x]	R	1		
004SD	1	IAS06A	7I4f	イノシシ	下顎 M2		L	1		
004SD	1	IAS06A	7I4f	イノシシ / シカ	脛骨	m	R	1		
004SD	1	IAS06A	7I4f	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		
004SD	2	IAS06A	7I4f	シカ	上顎 M3		R	1		
004SD	3	IAS06A	7I4f	シカ	寛骨	腸骨	L	1		
004SD	4	IAS06A	7I4f	イノシシ / シカ	上腕骨	mfr	?	1		
004SD	5	IAS06A	7I4f	イノシシ	上顎 M2		R	1		
004SD	6	IAS06A	7I4f	イノシシ / シカ	下顎骨	fr	?	1		
004SD	6	IAS06A	7I4f	イノシシ	下顎骨	下顎角	R	1		
004SD	6	IAS06A	7I4f	イノシシ	上顎 M2		R	1		
004SD	6	IAS06A	7I4f	イヌ	第 2 中足骨	w	R	1		
004SD	6	IAS06A	7I4f	イヌ	中手骨 / 中足骨	m	?	1		
004SD	6	IAS06A	7I4f	シカ	距骨		L	1		
004SD	6	IAS06A	7I4f	イノシシ / シカ	椎骨	棘突起 fr		1		
004SD	6	IAS06A	7I4f	イタチ	上腕骨	w	L	1		
004SD	7	IAS06A	7I4f	イヌ	環椎			1		
004SD	7	IAS06A	7I4f	イノシシ	上腕骨	(p-)-(d-)	L	1		
004SD	7	IAS06A	7I4f	イノシシ	下顎 I1		R	1		
004SD	7	IAS06A	7I4f	イノシシ	環椎			1		
004SD	7	IAS06A	7I4f	シカ	中足骨	d	R	1	切断	
004SD	8	IAS06A	7I4f	イヌ	下顎骨	w	L	1		M1L=20.7mm．P1 ～ M1 残存．R と同一個体
004SD	8	IAS06A	7I4f	哺乳類同定不可	頭骨	fr		1		
004SD	9	IAS06A	7I4f	イヌ	下顎骨	w	R	1		M1L=20.2mm．全歯残存．切歯～犬歯の咬耗顕著．
004SD	9	IAS06A	7I4f	シカ	前頭骨 + 角		L	1	角座に CM	1 本角＝若獣
004SD	9	IAS06A	7I4f	シカ	上腕骨	<d->	L	1	SF	
004SD	9	IAS06A	7I4f	イノシシ	上顎 M2		R	1		
004SD	9	IAS06A	7I4f	イノシシ	切歯骨		L	1		
004SD	9	IAS06A	7I4f	イノシシ	上腕骨	<p-><d->	L	1		
004SD	9	IAS06A	7I4f	イノシシ	尺骨	滑車切痕	L	1		
004SD	9	IAS06A	7I4f	シカ	頸椎			1		
004SD	9	IAS06A	7I4f	イノシシ	肩甲骨	肩甲棘	R	1		
004SD	9	IAS06A	7I4f	イノシシ / シカ	脛骨	m	L	1		
004SD	9	IAS06A	7I4f	イノシシ	大腿骨	fr		1		
004SD	10	IAS06A	7I4f	イノシシ	上顎骨	[P3 P4 M1 M2]	R	1		
004SD	10	IAS06A	7I4f	イノシシ	下顎骨	[m2 m3 M1 (M2)]	L	1		
004SD	10	IAS06A	7I4f	イノシシ	大腿骨	p	R	1	SF	
004SD	10	IAS06A	7I4f	イノシシ	大腿骨	(d-)+(d)	R	1		
004SD	10	IAS06A	7I4f	シカ	脛骨	<p->-d	L	1		骨幹に変形（病変？）
004SD	10	IAS06A	7I4f	イノシシ	上腕骨	(d)	L	1		
004SD	10	IAS06A	7I4f	シカ	中手骨 / 中足骨	d	?	1	切断	
004SD	10	IAS06A	7I4f	イノシシ	軸椎			1		
004SD	10	IAS06A	7I4f	イノシシ / シカ	肋骨	p		1		
004SD	10	IAS06A	7I4f	哺乳類同定不可	胸椎			1		小型種
004SD	10	IAS06A	7I4f	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		
004SD	10	IAS06A	7I4f	哺乳類同定不可	頭骨	fr		1		
005SD-A	1	IAS06Ba	6J17f	イヌ？	腰椎			1		
005SD-A	2	IAS06Ba	6J17f	イヌ	寛骨	臼	L	1		
005SD-A	2	IAS06Ba	6J17f	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		3		
005SD-AS	3	IAS06Ba	6J17e	シカ	環椎			1		
005SD-AS	3	IAS06Ba	6J17e	イノシシ / シカ	脛骨	m		1		
005SD-AS	3	IAS06Ba	6J17e	哺乳類同定不可	不明	fr		1		
005SD-TK	4	IAS06Ba	6J17e	イノシシ / シカ	仙椎			1		
005SD-A	5	IAS06Ba	6J18e, ベルト崩し	ワシ科	足根中足骨	(p-)-d	R	1		幼鳥．最大長 90.5±，Bd12.7．
005SD-A	6	IAS06Ba	6J17f	イノシシ / シカ	肋骨	fr		1		
005SD-A	6	IAS06Ba	6J17f	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		
005SD-A	7	IAS06Ba	6J18e, ベルト崩し	ワシ科	大腿骨	d	R	1		幼鳥．Bd14.4
005SD-A	7	IAS06Ba	6J18e, ベルト崩し	ワシ科	脛骨	(p-)-d	R	1		幼鳥．最大長 113.7，Bd11.2
005SD	8	IAS06Ba	6J18f,d-010	哺乳類同定不可	不明	fr		1		
005SD-A	9	IAS06Ba	6J17f.18f,d-178	哺乳類同定不可	脛骨	(p-)-(d-)	R	1		イノシシ？幼獣
005SD-A	9	IAS06Ba	6J17f.18f,d-178	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		
027SD-Y	1	IAS05Ac	6I18c	シカ	距骨		L	1		
027SD-Y	2	IAS05Ac	6I17c	イノシシ	肩甲骨	関節部	R	1		
027SD-Y	3	IAS05Ac	6I18c	鳥類同定不可	足根中足骨	d	L	1		
027SD-Y	4	IAS05Ac	6I18c	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		
027SD-Y	5	IAS05Ac	6I17c, 土嚢	ニシン科	椎骨			1		
027SD-Y	5	IAS05Ac	6I17c, 土嚢	クロダイ属	歯骨	post	R	1		
027SD-Y	5	IAS05Ac	6I17c, 土嚢	鳥類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		
027SD-M	6	IAS05Ac	6I17d	哺乳類同定不可	不明	fr		1		
028SD	1	IAS05Ab	6I19e, 西トレンチ内一括	イノシシ	環椎			1		
028SD	2	IAS05Ab	6I17e	イノシシ	肩甲骨	関節部	R	1		
107SD-Y	1	IAS05Ac	6I19c, 貝層 , 土嚢	哺乳類同定不可	椎骨			1		小型種
107SD-Y	2	IAS05Ac	6I17c,d-297	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		
107SD-Y	3	IAS05Ac	6I18c	シカ	後頭骨	右後頭顆		1		
107SD-Y	4	IAS05Ac	6I17c,d-302	イノシシ / シカ	胸椎			1		
108SD-T	1	IAS05Ab	6I19e	シカ	基節骨			1		
108SD-Y	2	IAS05Ab	6I19e	哺乳類同定不可	不明	fr		1		
108SD-T	3	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	大腿骨	<d->	R	1		
108SD-T	4	IAS05Ab	6I19e	シカ	上腕骨	<d->	L	1		
108SD-T	5	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	大腿骨	m	L	1	SF	
108SD-T	5	IAS05Ab	6I19e	イノシシ / シカ	腰椎			1		
108SD-T	5	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	下顎 I2		L	1		
108SD-T	6	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	寛骨	臼	R	1		
108SD-T	7	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	下顎骨	下顎体 fr	R	1		
108SD-T	8	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	上顎 C		R	1		♂
108SD-Y	9	IAS05Ab	6I19e	欠番（骨ではない）						
108SD-T	10	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	下顎 M3		R	1		
108SD-T	10	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	頭頂骨	fr		1		
108SD-T	11	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	前頭骨		L	1		
108SD-T	11	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	末節骨			1		
108SD-T	11	IAS05Ab	6I19e	イヌ	椎骨			1		
108SD-T	12	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	寛骨	臼	R	1		
108SD-T	13	IAS05Ab	6I19e	イノシシ / シカ	椎骨			1		
108SD-T	13	IAS05Ab	6I19e	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		
108SD-T	14	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	下顎 I2		R	1		
108SD-T	15	IAS05Ab	6I19e	哺乳類同定不可	不明	fr		1		
108SD-T	16	IAS05Ab	6I19e	イヌ	上腕骨	<d->	R	1		
108SD-T	17	IAS05Ab	6I19e	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		
108SD-T	18	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	下顎 M2		R	1		

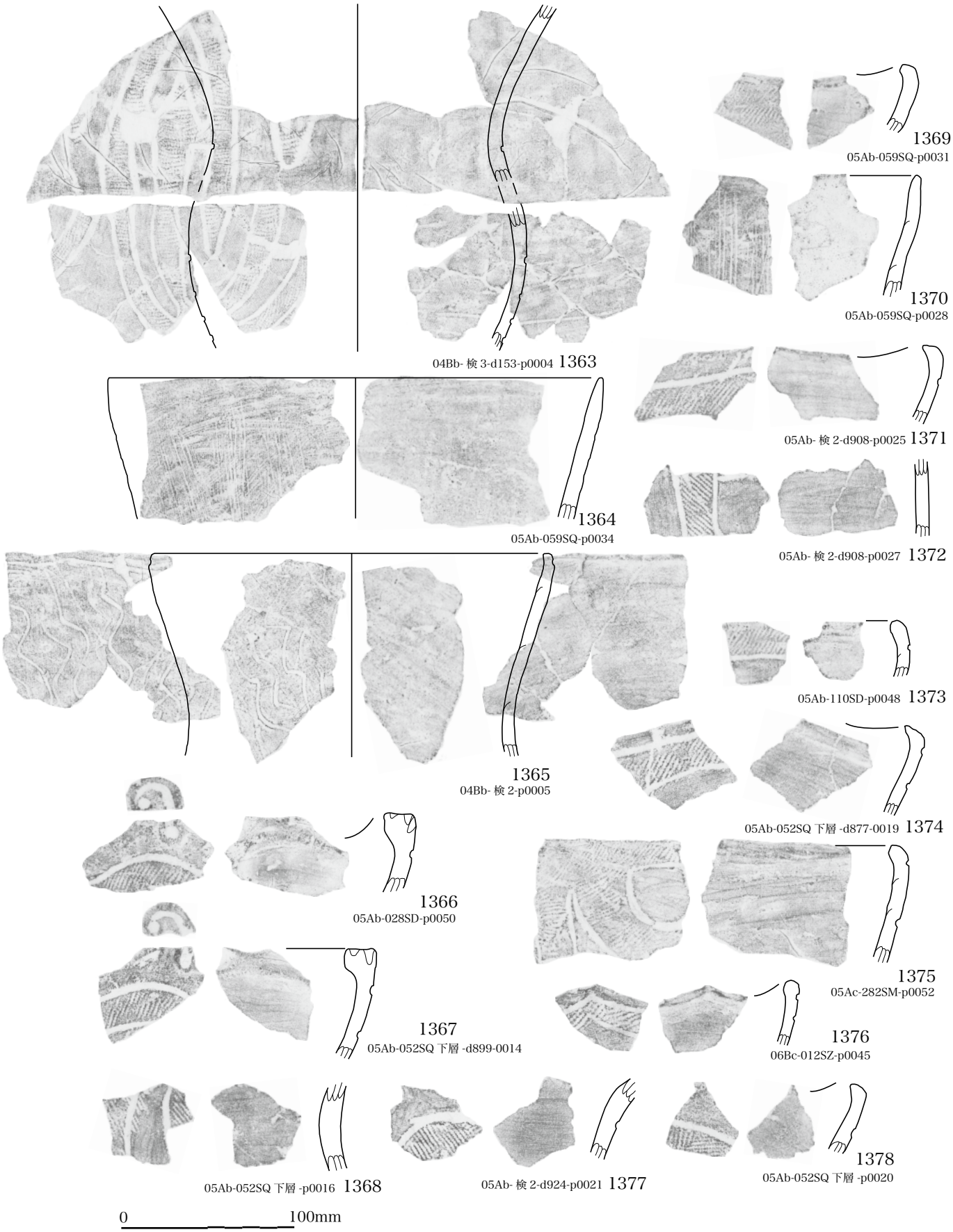
108SD-K	19	IAS05Ab	6I20e	イノシシ	脛骨	<p>	R	1	SF		
108SD-Y	20	IAS05Ab	6I20e	イノシシ	尺骨	滑車切痕	R	1			
108SD-T	21	IAS05Ab	6I20e	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1			
108SD-T	22	IAS05Ab	6I19e	イノシシ	上腕骨	d	R	1			
108SD	23	IAS05Ab	6I19e,d-340	クジラ類	不明	fr		1			きわめて大型
110OP		IAS05Ab	6I10d	哺乳類同定不可	不明	fr		1			
110SD-Y	1	IAS05Ac	6I18e,d-354	シカ	大腿骨	p	L	1	SF		
110SD-Y	2	IAS05Ac	6I18d	シカ	側頭骨～頭頂骨		R	1			
110SD-Y	3	IAS05Ab	6I18e,d-534	イノシシ	下顎 M3		R	1			
110SD-Y	4	IAS05Ab	6I18e	哺乳類同定不可	不明	fr		1			
110SD-Y	5	IAS05Ab	6I18e	哺乳類同定不可	不明（長骨）	fr		1			
110SD-Y	6	IAS05Ab	6I18e,d-366	哺乳類同定不可	不明（長骨）	fr		1			
110SD-Y	7	IAS05Ab	6I18d	哺乳類同定不可	不明（長骨）	fr		1			
110SD-Y	8	IAS05Ab	6I18e,d-400	哺乳類同定不可	不明（長骨）	fr		1			
110SD-Y	9	IAS05Ab	6I16e	哺乳類同定不可	不明（長骨）	fr		1			
110SD-Y	10	IAS05Ab	6I18d	哺乳類同定不可	不明（長骨）	fr		1			
110SD-Y	11	IAS05Ab	6I18e	哺乳類同定不可	不明（長骨）	fr		1			
110SD-Y	11	IAS05Ab	6I18e	哺乳類同定不可	不明（長骨）	fr		1			
110SD-Y	11	IAS05Ab	6I17e	哺乳類同定不可	不明（長骨）	fr		1			
110SD-Y	12	IAS05Ab	6I18e	哺乳類同定不可	不明（長骨）	fr		1			
110SD-Y	13	IAS05Ab	6I18e	イノシシ	距骨		L	1			
110SD-Y	13	IAS05Ab	6I18e	イヌ	下顎骨	[(M1)]	R	1			幼獣．26 と同一個体．M1L=17.4
110SD-Y	14	IAS05Ab	6I17e	哺乳類同定不可	不明（長骨）	fr		1			
110SD-Y	14	IAS05Ab	6I17e	イノシシ / シカ	手根 / 足根骨			1			
110SD-Y	15	IAS05Ab	6I18d	イノシシ	側頭骨	関節結節	R	1			
110SD-Y	16	IAS05Ab	6I18e,d-531	イノシシ / シカ	寛骨	fr		1			
110SD-Y	17	IAS05Ab	6I18e,d-687	ヒト	橈骨	m	R	1			小さいが骨質は堅緻
110SD-Y	18	IAS05Ab	6I18e	イノシシ	下顎骨	fr	?	1			
110SD-Y	18	IAS05Ab	6I18e	哺乳類同定不可	不明	fr		1			
110SD-Y	19	IAS05Ab	6I8e,d-535	イノシシ	下顎 M1		L	1			
110SD-Y	20	IAS05Ab	6I18e	イノシシ	下顎 P3		L	1			
110SD-Y	21	IAS05Ab	6I18d	モグラ	上腕骨	w	L	1			
110SD-Y	22	IAS05Ab	6I18d	哺乳類同定不可	不明	fr		1			
110SD-Y	23	IAS05Ab	6I18e	哺乳類同定不可	肋骨	fr		2			
110SD-Y	24	IAS05Ab	6I18e	クロダイ属	前上顎骨	post	R	1			
110SD-Y	25	IAS05Ab	6I18d,d-462	クロダイ属	臀鰭第 2 棘			1			
110SD-Y	26	IAS05Ac	6I18d,d-351	イヌ	下顎骨	吻端欠損	L	1			幼獣．13 と同一個体．(M1) 残存．M1L=17.3
110SD-Y	26	IAS05Ac	6I18d,d-351	イヌ	尺骨	p	L	1			幼獣．おそらく下顎骨と同一個体
110SD-Y	26	IAS05Ac	6I18d,d-351	イヌ	肋骨	p		6			幼獣．おそらく下顎骨と同一個体
110SD-Y	26	IAS05Ac	6I18d,d-351	哺乳類同定不可	不明			9			イヌ幼獣？
110SD-Y	26	IAS05Ac	6I18d,d-351	哺乳類同定不可	肋骨	fr		1			イヌではない
110SD-Y	26	IAS05Ac	6I18d,d-351	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1			
110SD-Y	27	IAS05Ab	6I18e	カラス属	脛骨	d	L	1			
113SD-Y	1	IAS05Ab	6I17d	ヒト	腓骨	m	L	1			
113SD-Y	2	IAS05Ab	6I16e	イヌ	上腕骨	(d)	R	1			若獣
113SD-Y	3	IAS05Ab	6I16e,d-631	シカ	大腿骨	<p>	L	1			
113SD-Y	4	IAS05Ab	6I16e,d-561	シカ	肩甲骨	関節部	L	1			
113SD-Y	5	IAS05Ab	6I17e, 一括	イノシシ	上腕骨	<d>	L	1			
113SD-Y	6	IAS05Ab	6I16e,d-562	イヌ	腰椎			1			
113SD-Y	6	IAS05Ab	6I16e,d-562	イノシシ	上腕骨	<d>	R	1			
113SD-Y	6	IAS05Ab	6I16e,d-562	イノシシ	橈骨	p	R	1			
455SK	1	IAS05Ab	6I9e,d-847	シカ	大腿骨	d	L	1			
455SK	2	IAS05Ab	6I9e,d-648	哺乳類同定不可	不明	fr		1			
455SK	3	IAS05Ab	6I8d.9d	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1			
455SK	4	IAS05Ab	6I9d	イノシシ	下顎 I1		R	1			
455SK	5	IAS05Ab	6I9e	哺乳類同定不可	不明	fr		1			
455SK	6	IAS05Ab	6I9e,d-841	シカ	軸椎			1			
455SK	7	IAS05Ab	6I9e,d-839	哺乳類同定不可	不明	fr		1			
455SK	8	IAS05Ab	6I9e,d-840	シカ	後頭骨			1			同一個体
455SK	8	IAS05Ab	6I9e,d-840	シカ	側頭骨		L	1			同一個体
455SK	9	IAS05Ab	6I8d	イノシシ / シカ	腰椎			1			
SD01	1	IAS04Ab	Ⅶ H1r,1 層	シカ	角	fr		1	焼		
SD01	2	IAS04A c	Ⅶ H2p,1 層	シカ	環椎	fr		1			
SD01	2	IAS04A c	Ⅶ H2p,1 層	イノシシ	上腕骨	<d>	R	1			
SD01	2	IAS04A c	Ⅶ H2p,1 層	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1			
SD01	3	IAS04Ab	Ⅶ H1g,2 層	イノシシ	上腕骨	<p><d>	L	1			
SD01	3	IAS04Ab	Ⅶ H1g,2 層	シカ	大腿骨	<p>	R	1			
SD01	4	IAS04Ab	Ⅶ H1g,3 層	哺乳類同定不可	不明	fr		1			
SD01	5	IAS04Ab	Ⅶ H1g,3 層	哺乳類同定不可	腰椎			1			やや小型．イヌ？
SD01	6	IAS04Ab	Ⅶ H1r,3 層	イノシシ	寛骨	臼	L	1			
SD01	6	IAS04Ab	Ⅶ H1r,3 層	イヌ	下顎骨	下顎角 fr	R	1			
SD01	7	IAS04Ab	Ⅵ H20r,4 層	イノシシ	尺骨	滑車切痕	L	1			
SD02	1	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	イノシシ	下顎骨	[P4 M1 M2 M3]	R	1			
SD02	1	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	イノシシ	下顎骨	[m3 M1]	R	1			
SD02	1	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	イノシシ	上顎 M1		L	1			
SD02	1	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	イノシシ	臼歯	fr		2			
SD02	2c	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	カエル類	頭蓋骨	fr		1			
SD02	2c	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	カエル類	椎骨			3			
SD02	2c	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	カエル類	上腕骨	w	L	1			小
SD02	2c	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	カエル類	上腕骨	d	L	1			ごく小
SD02	2c	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	カエル類	橈尺骨	p	R	1			
SD02	2c	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	カエル類	寛骨		L	1			中
SD02	2c	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	カエル類	寛骨		R	2			中・小
SD02	2c	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	カエル類	四肢骨			4			
SD02	2c	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	ヘビ類	椎骨			1			
SD02	2c	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	モグラ	軸椎			1			
SD02	2b	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	コイ	下咽頭骨		R	1			
SD02	2b	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	同定不可	不明	fr		16			
SD02	2d	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	ナマズ	歯骨		L	1			同一個体
SD02	2d	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	ナマズ	歯骨		R	1			同一個体
SD02	2d	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	ナマズ	角骨		L	1			同一個体
SD02	2d	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	ナマズ	角骨		R	1			同一個体
SD02	2d	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	ナマズ	基後頭骨			1			おそらく同一個体
SD02	2d	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	ナマズ	尾椎			1			おそらく同一個体
SD02	2d	IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	真骨類同定不可	不明（頭骨）	fr		多数			おそらくナマズ同一個体
SD02	3	IAS05Cd	8J6t,d-008	イノシシ	橈骨	p	R	1			
SD02-T	4	IAS05Cc	8J3r	イノシシ	側頭骨	関節結節	R	1			
SD02	5	IAS05Cc	8J3r, 埋土 , 貝層	イノシシ	尺骨	滑車切痕	R	1			
SD02-H	6	IAS05Cc	8J3r	イノシシ	踵骨		R	1			
SD02	7	IAS05Cd	8J6t,d-015	イノシシ	頭蓋骨			1	CM		左右前頭・頭頂・後頭・左側頭骨．右前頭骨に前後　方向のカットマーク．後頭部にイヌの咬痕．
SD02	7	IAS05Cd	8J6t,d-015	イノシシ	寛骨	w	R	1			
SD02	8	IAS04Ab	Ⅶ H1r,2 層 ,029	欠番（骨ではない？）							
SD02	9	IAS04Ab	Ⅶ H1r,2 層 ,061, 土器の中	欠番（骨ではない？）							
SD02	10	IAS04Ab	Ⅶ H1s,2 層	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1			
SD02	11	IAS04Ab	Ⅶ H2q,2 層	哺乳類同定不可	不明（長骨）	m		1			
SD02	11	IAS04Ab	Ⅶ H2q,2 層	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1			
SD02	11	IAS04Ab	Ⅶ H2q,2 層	哺乳類同定不可	不明	fr		1			
SD02	12	IAS04Ab	Ⅶ H1r,3 層 ,033	欠番（骨ではない？）							
SD02	13	IAS04Ab	Ⅶ H1r,3 層	イヌ？	頸椎			1			
SD02	14	IAS04Ab	Ⅶ H1s,3 層	イヌ	肩甲骨	関節部	L	1			幼獣
SD02	14	IAS04Ab	Ⅶ H1s,3 層	哺乳類同定不可	不明	fr		1			
SD02	15	IAS04Ab	Ⅶ H1q,3 層 ,041	コイ科	腹椎			1			
SD02	16	IAS04Ab	Ⅶ H2r,3 層	イノシシ	上腕骨	<d>	R	1			

SD02	16	IAS04Ab	Ⅶ H2r,3 層	イヌ	下顎骨	吻・下顎枝欠	R	1		P3・P4・M2 残存
SD02	17	IAS04Ab	Ⅶ H2r,3 層	シカ	第３手根骨		L	1		
SD02	18	IAS04Ab	Ⅶ H2r,3 層	シカ	中手骨 / 中足骨	d	?	1	切断	
SD02	18	IAS04Ab	Ⅶ H2r,3 層	イノシシ / シカ	肋骨	fr	?	1		
SD02	18	IAS04Ab	Ⅶ H2r,3 層	イヌ	第２中足骨	p-(d-)	R	1		若獣
SD02	18	IAS04Ab	Ⅶ H2r,3 層	哺乳類同定不可	不明（長骨）	m		1		大腿骨、やや小型、おそらくイヌ若獣
SD02	19	IAS04Ab	Ⅶ H1r,4 層 ,059	同定不可	不明	fr		1		
SD02	20	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	ヘビ類	椎骨			1		
SD02	21	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	キツネ？	上顎 P4		L	1		
SD02	22	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	板鰓類	椎骨			1		ごく小
SD02	22	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	ネズミ科	切歯			1		
SD02	22	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	食肉目同定不可	切歯			1		
SD02	23	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	イヌ	脛骨	(p-)	R	1		若獣
SD02	24	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	イノシシ	距骨		R	1		
SD02	25	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	真骨類同定不可	尾椎			1		
SD02	26	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	イヌ	上顎骨		R	1		歯槽中に P3・P4（未萌出）、幼獣
SD02	26	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	イヌ	尺骨	滑車切痕	R	1		幼獣、おそらく上顎と同一個体
SD02	26	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	イヌ	脛骨	(p-)-(d-)	R	1		幼獣、おそらく上顎と同一個体
SD02	27	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	イヌ	橈骨	(d)	R	1		若獣
SD02	27	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	イヌ	距骨		L	1		
SD02	27	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	イヌ	踵骨		R	1		
SD02	27	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	イヌ	大腿骨	(d-)	R	1		若獣、他より若い？
SD02	27	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	イヌ	中手骨 / 中足骨	(d)	?	1		若獣
SD02	27	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	イヌ	末節骨		?	1		
SD02	27	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	真骨類同定不可	尾椎			1		
SD02	27	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	ネズミ科	切歯			1		
SD02	27	IAS04Ab	Ⅶ H2r,4 層	カエル類	四肢骨			1		
SD02	28	IAS04Ab	Ⅶ H2q,4 層	イノシシ / シカ	脛骨	m	L	1		
SD02	29	IAS04Ab	Ⅶ H1r,4 層	カエル類	四肢骨			4		
SD02	30	IAS04Ab	Ⅶ H1r,4 層 ,058	同定不可	不明	fr		+		
SD02	31	IAS04Ab	Ⅶ H1s,4 層	カエル類	上腕骨	d	R	1		
SD02	31	IAS04Ab	Ⅶ H1s,4 層	カエル類	四肢骨			2		
SD02	31	IAS04Ab	Ⅶ H1s,4 層	コイ科	腹椎			1		
SD02	31	IAS04Ab	Ⅶ H1s,4 層	コイ科？	尾椎			1		
SD02	31	IAS04Ab	Ⅶ H1s,4 層	カエル類	椎骨			4		
SD04-T		IAS05Cc	8J5s	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		
SD07		IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	ウナギ属	腹椎			1		
SD07		IAS05Cc	埋土 (貝層), 土嚢	真骨類同定不可	椎骨	fr		1		
SD10	1	IAS04Ab	Ⅶ H2r	イノシシ / シカ	上腕骨	m		1		
SD10	2	IAS04Ab	Ⅶ H2r	イノシシ / シカ	肋骨	fr		1		
SD10a	3	IAS04Ab	Ⅶ H2r	カエル類	尾骨			1		ごく小型
SD12		IAS05Cc	貝層 , 土嚢	イノシシ	下顎 I2		L	1		
SD19	1	IAS05Cc	8J2g,No.143	イノシシ / シカ	脛骨	m	R	1		
SD19	2	IAS05Cc	8J1p,T14	イノシシ	上顎 P4		R	1		
SD19	2	IAS05Cc	8J1p,T14	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		
SD19	3	IAS05Cc	8J1p, 貝層 , 土嚢	イノシシ	臼歯	fr	?	1		
SD19	3	IAS05Cc	8J1p, 貝層 , 土嚢	哺乳類同定不可	不明	fr		1		
SD19	4	IAS05Cc	8J1p, 貝層 (魚骨), 土嚢	サメ類	歯			1		メジロザメ科？
SD19	4	IAS05Cc	8J1p, 貝層 (魚骨), 土嚢	ウナギ属	腹椎			1		
SD19	4	IAS05Cc	8J1p, 貝層 (魚骨), 土嚢	真骨類同定不可	椎骨	fr		1		
SD19	4	IAS05Cc	8J1p, 貝層 (魚骨), 土嚢	カエル類	上腕骨	d	L	1		
SD19	4	IAS05Cc	8J1p, 貝層 (魚骨), 土嚢	カエル類	椎骨			1		
SD19	5	IAS05Cc	8J1p, 貝層 (獣骨), 土嚢	モグラ	尺骨	滑車切痕	L	1		
SD19	5	IAS05Cc	8J1p, 貝層 (獣骨), 土嚢	イノシシ	臼歯	fr	?	1		
SD19	5	IAS05Cc	8J1p, 貝層 (獣骨), 土嚢	真骨類同定不可	椎骨	fr		1		
SK03	1	IAS04Ab	Ⅵ H2r, 下層	イノシシ	大腿骨	(d-)	L	1	CM	
SK03	1	IAS04Ab	Ⅵ H2r, 下層	イノシシ / シカ	脛骨	m	R	1		
SK03	1	IAS04Ab	Ⅵ H2r, 下層	イノシシ / シカ	頸椎	fr		1		
SK03	2	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 下層	イノシシ	橈骨	p	L	1		
SK03	2	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 下層	イノシシ	第４中手骨	p-(d-)	R	1		
SK03	2	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 下層	イノシシ	寛骨	w	L	1	CM	
SK03	3	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 下層	同定不可	不明	fr		1		
SK03	4	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 上層	同定不可	不明	fr		1		
SK03	5	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 上層	イノシシ / シカ	下顎骨	fr	?	1		
SK03	5	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 上層	カモ科（ガン類）	尺骨	d	R	1		Did16.1+、ハクチョウとカモ類の中間大
SK03	6	IAS04Ab	Ⅶ H2r	イノシシ	寛骨	臼	L	1		
SK03	7	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 壺の中から	カエル類	椎骨			2		小型
SK03	7	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 壺の中から	カエル類	上腕骨	d	R	2		小型
SK03	7	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 壺の中から	カエル類	橈尺骨	p	?	1		小型
SK03	7	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 壺の中から	カエル類	寛骨		L	1		小型
SK03	7	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 壺の中から	カエル類	寛骨		R	2		小型
SK03	7	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 壺の中から	カエル類	尾骨			2		小型
SK03	7	IAS04Ab	Ⅶ H2r, 壺の中から	カエル類	四肢骨			15		小型
SK03	8	IAS04Ab	Ⅶ H2r	カエル類	椎骨			1		
SK03	8	IAS04Ab	Ⅶ H2r	カエル類	仙骨			1		
SK03	8	IAS04Ab	Ⅶ H2r	カエル類	橈尺骨	w	L	1		同一個体
SK03	8	IAS04Ab	Ⅶ H2r	カエル類	橈尺骨	w	R	1		同一個体
SK03	8	IAS04Ab	Ⅶ H2r	カエル類	寛骨		L	1		
SK03	8	IAS04Ab	Ⅶ H2r	カエル類	脛腓骨	w	?	1		
SK03	8	IAS04Ab	Ⅶ H2r	カエル類	距骨 + 踵骨		?	2		別個体の可能性大
SK03	8	IAS04Ab	Ⅶ H2r	カエル類？	不明	fr		多数		
SK03	9	IAS04Ab	Ⅶ H2r	イノシシ	上腕骨	(p-)-d	R	1		
SK03	9	IAS04Ab	Ⅶ H2r	イノシシ	上腕骨	<p->-d	L	1	CM	
SK03	9	IAS04Ab	Ⅶ H2r	イノシシ	上腕骨	<p->-<d->	L	1		
SK03	9	IAS04Ab	Ⅶ H2r	イノシシ	尺骨	滑車切痕	L	1		
SK03	9	IAS04Ab	Ⅶ H2r	哺乳類同定不可	肋骨	fr		1		やや小型、イヌ？
SK03	9	IAS04Ab	Ⅶ H2r	哺乳類同定不可	不明（長骨）	mfr		1		

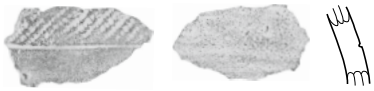
遺物実測図

主要遺構出土遺物については本文編 3.4 を参照
* 弥生土器は 1/4　石製品・骨角器は 1/2　木製品は 1/4 を原則とし，大きさに応じて変更。
* キャプション記号は「愛知県埋蔵文化財センター基本マニュアル 2002」に基づく分類を用い，
焼き物一般を E（無記名）・石製品 S・木製品 W・金属製品 M・その他 X とする。
< 例 >　05Ab-001SD- 下層 -d004-1（調査区 - 遺構番号 - 層序 - 座標取上番号 - 枝番）
ただし p.s.w.m.x は座標取上以外の実測図面・整理番号

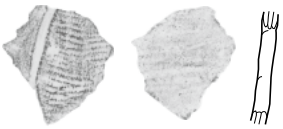
縄文土器_1


1369
05Ab-059SQ-p0031
1370
05Ab-059SQ-p0028
04Bb- 検 3-d153-p0004 1363
05Ab- 検 2-d908-p0025 1371
1364
05Ab-059SQ-p0034
05Ab- 検 2-d908-p0027 1372
05Ab-110SD-p0048 1373
1365
04Bb- 検 2-p0005
05Ab-052SQ 下層 -d877-0019 1374
1366
05Ab-028SD-p0050
1375
05Ac-282SM-p0052
1367
05Ab-052SQ 下層 -d899-0014
1376
06Bc-012SZ-p0045
1378
05Ab-052SQ 下層 -p0020
05Ab-052SQ 下層 -p0016 1368
05Ab- 検 2-d924-p0021 1377
0
100mm

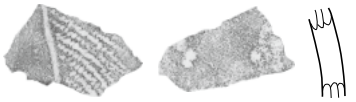
縄文土器_2



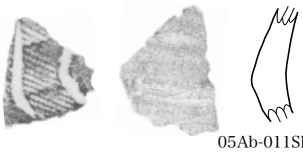
1379
05Ab-067SD-p0007



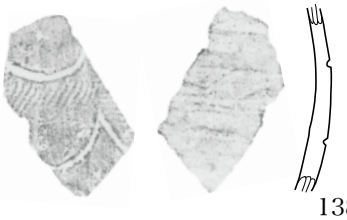
1383
05Ab-011SD-p0012



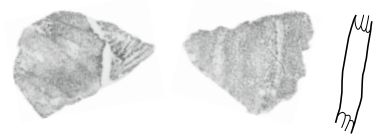
1380
05Ab-067SD-p0008



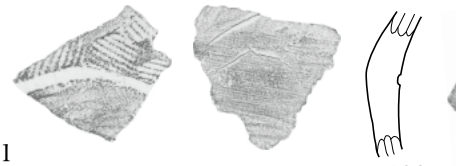
1384
05Ab-011SD-p0010



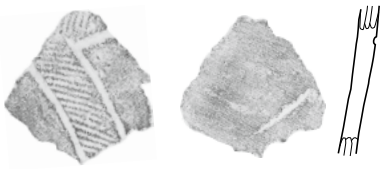
1387
05Ab-011SD-p0046



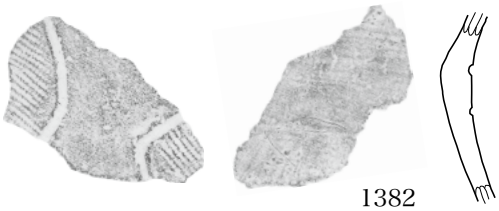
1381
05Ab-013SD-p0009



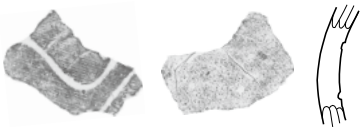
1385
05Ab- 検 2-p0026



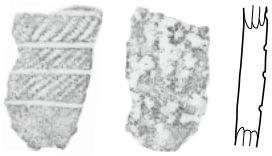
1388
05Ab-011SD-p0047



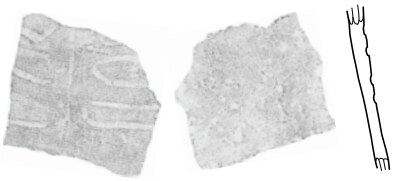
1382
05Ab-011SD-p0049



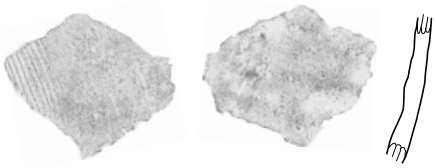
1386
05Ab-108SD-p0051



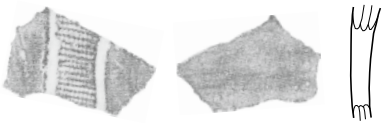
1389
05Ab-052SQ-p0030



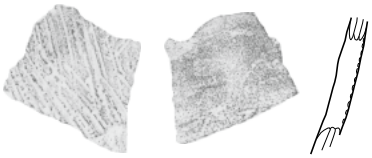
05Ab-052SQ-p0037 1390



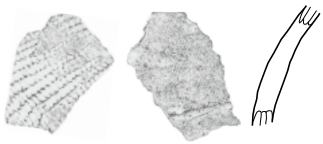
05Ab-052SQ-p0039 1391



1392
05Ab-052SQ-p0040

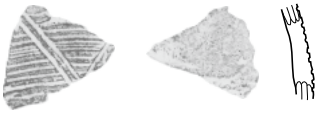


1393
05Ab-052SQ-p0041

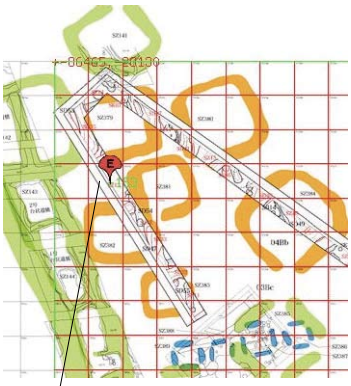


1394
05Ab-052SQ 下層 -p0042

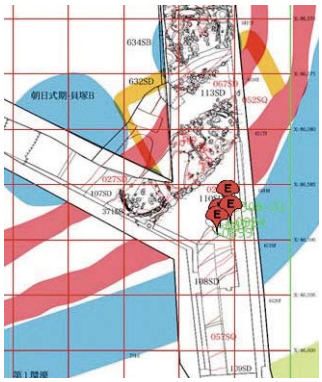
0 100mm



1395
05Ab- 検 2-d908-p0023

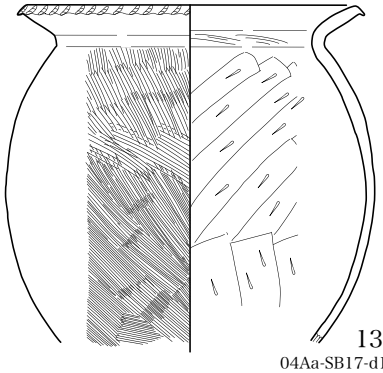


1363

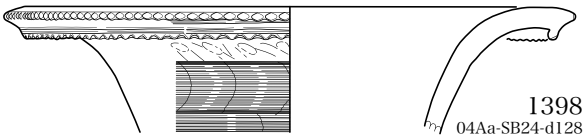


05Ab 区　縄文土器の分布

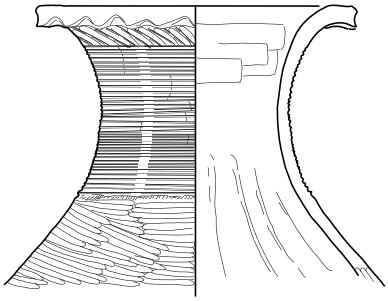
04Aa-SB



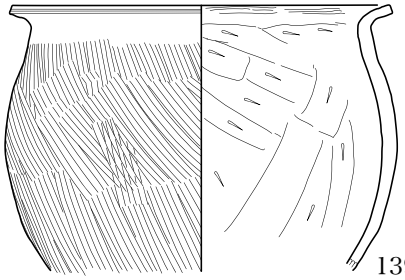
1396
04Aa-SB17-d112



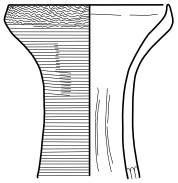
1398
04Aa-SB24-d128



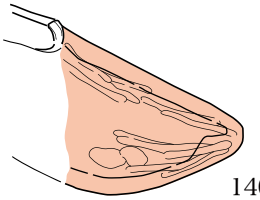
1399
04Aa-SB28-d162



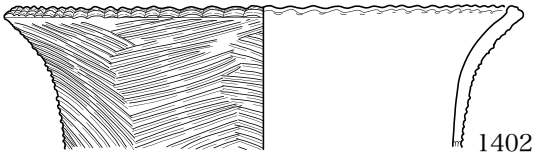
1397
04Aa-SB18-d113



1400
04Aa-SB25-d156



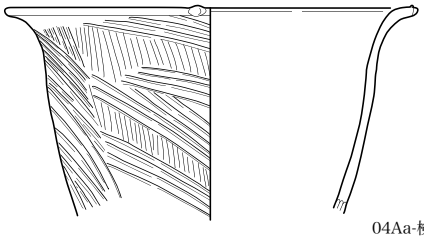
1401
04Aa-SB14-d102



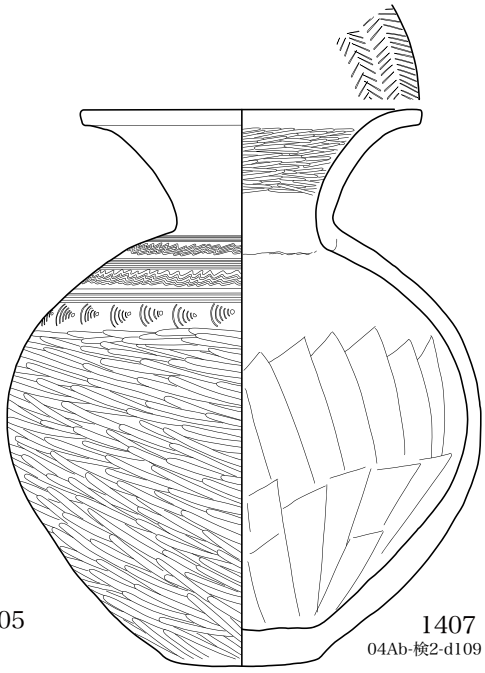
1402
04Aa-SB29-p700

0 150mm

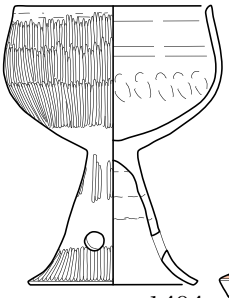
04Ab



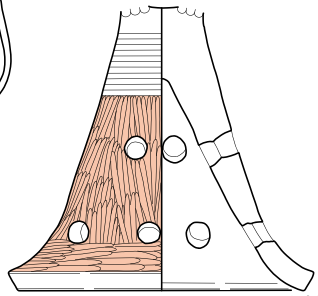
1403
04Aa-検2-d154



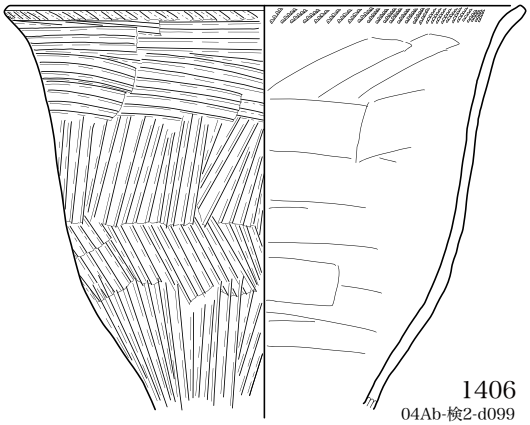
1407
04Ab-検2-d109



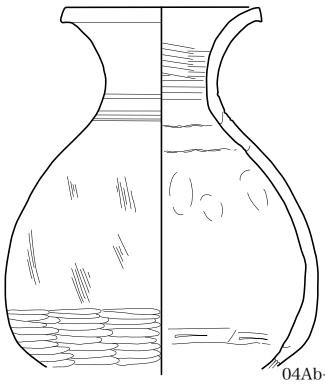
04Ab-検2-d111 1404



04Ab-検2-d108 1405

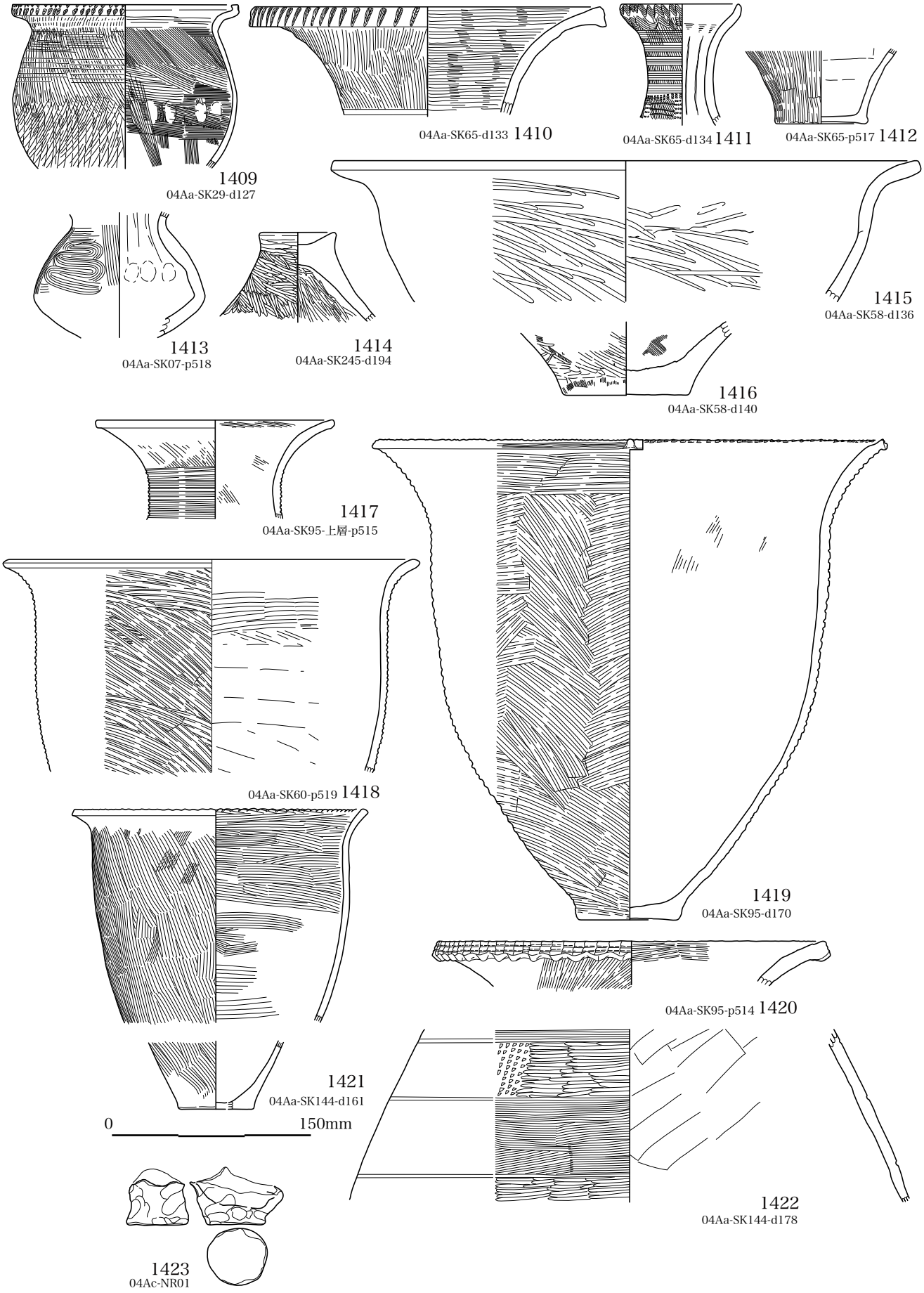


1406
04Ab-検2-d099

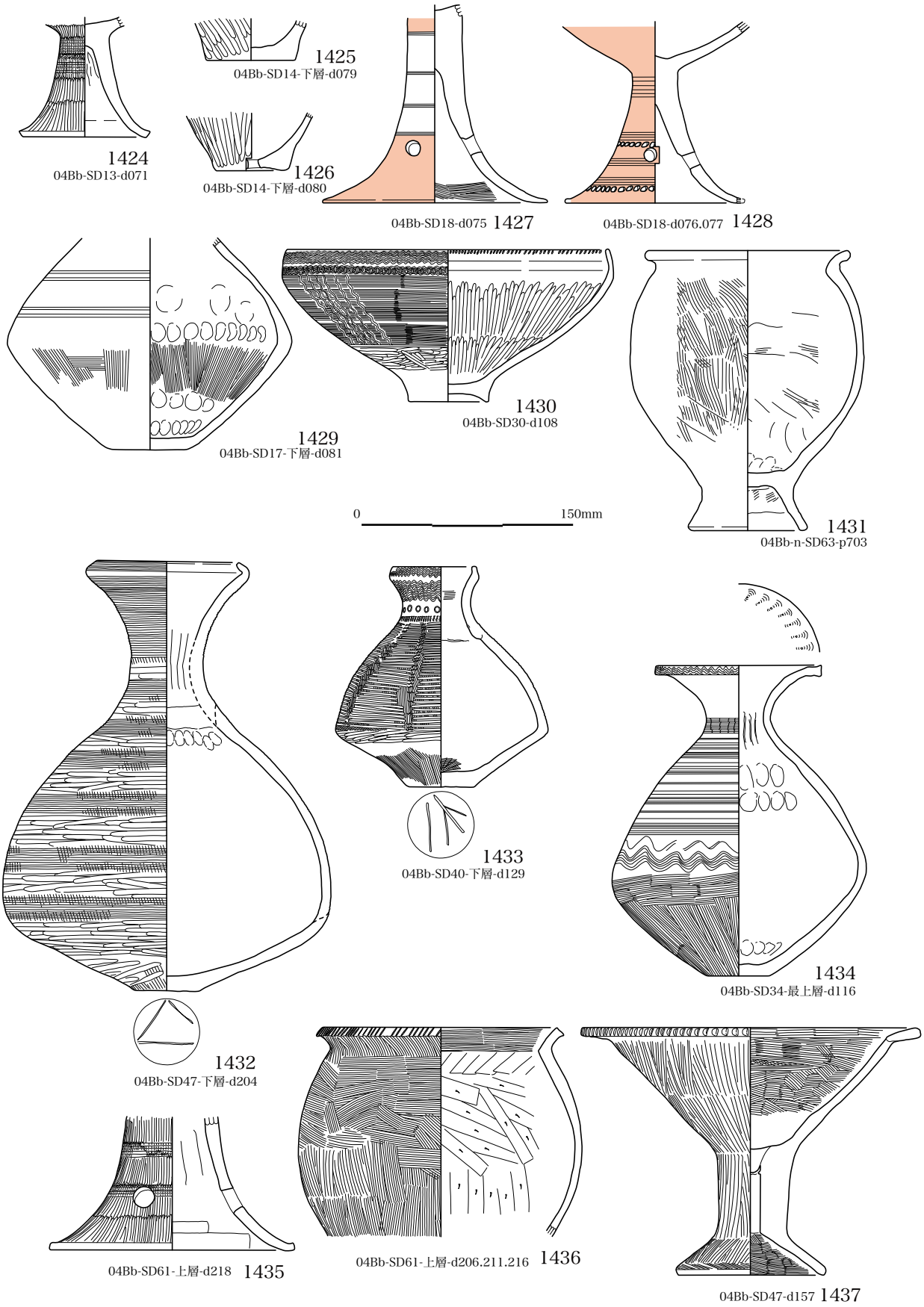


1408
04Ab-検2-d107

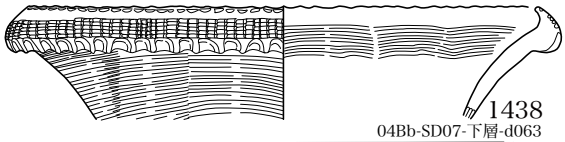
04Aa-SK


1409
04Aa-SK29-d127
04Aa-SK65-d133 1410
04Aa-SK65-d134 1411
04Aa-SK65-p517 1412
1413
04Aa-SK07-p518
1414
04Aa-SK245-d194
1415
04Aa-SK58-d136
1416
04Aa-SK58-d140
1417
04Aa-SK95-上層-p515
04Aa-SK60-p519 1418
1419
04Aa-SK95-d170
04Aa-SK95-p514 1420
1421
04Aa-SK144-d161
0
150mm
1422
04Aa-SK144-d178
1423
04Ac-NR01

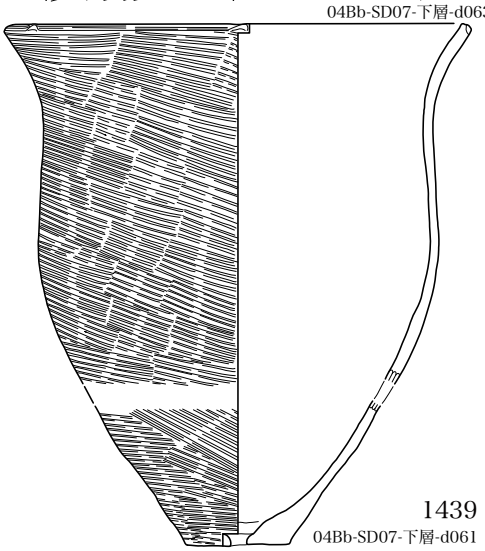
04Bb-SD


1424
04Bb-SD13-d071
1425
04Bb-SD14-下層-d079
1426
04Bb-SD14-下層-d080
04Bb-SD18-d075 1427
04Bb-SD18-d076.077 1428
1429
04Bb-SD17-下層-d081
1430
04Bb-SD30-d108
0
150mm
1431
04Bb-n-SD63-p703
1432
04Bb-SD47-下層-d204
1433
04Bb-SD40-下層-d129
1434
04Bb-SD34-最上層-d116
04Bb-SD61-上層-d218 1435
04Bb-SD61-上層-d206.211.216 1436
04Bb-SD47-d157 1437

04Bb-SD07

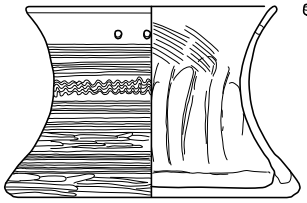


1438
04Bb-SD07-下層-d063

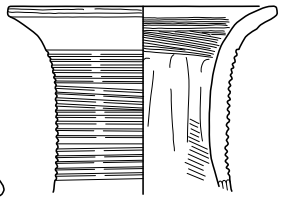


1439
04Bb-SD07-下層-d061

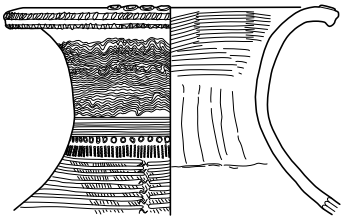
04Bb-SD65



04Bb-SD65-下層-d219 1441

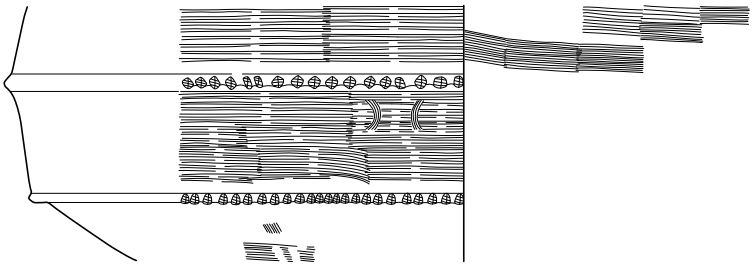


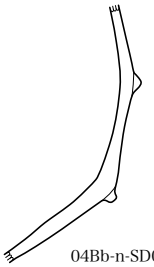
04Bb-SD65-下層-d220 1442



1443
04Bb-SD35-下層-d126

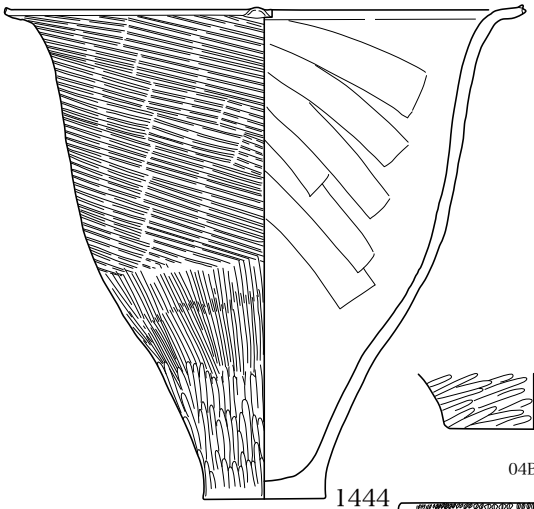
0 150mm



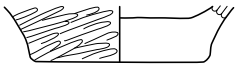


1440
04Bb-n-SD07下層-d060

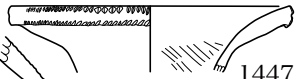
04Bb-SD11



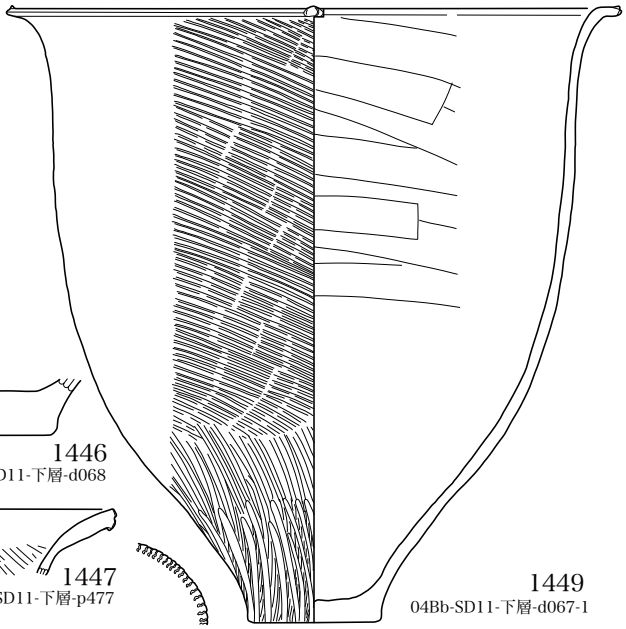
1444
04Bb-SD11-下層-d067-2



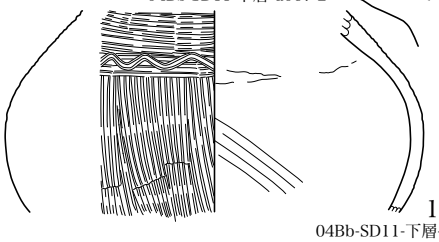
1446
04Bb-SD11-下層-d068



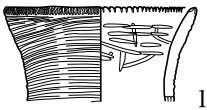
1447
04Bb-SD11-下層-p477



1449
04Bb-SD11-下層-d067-1



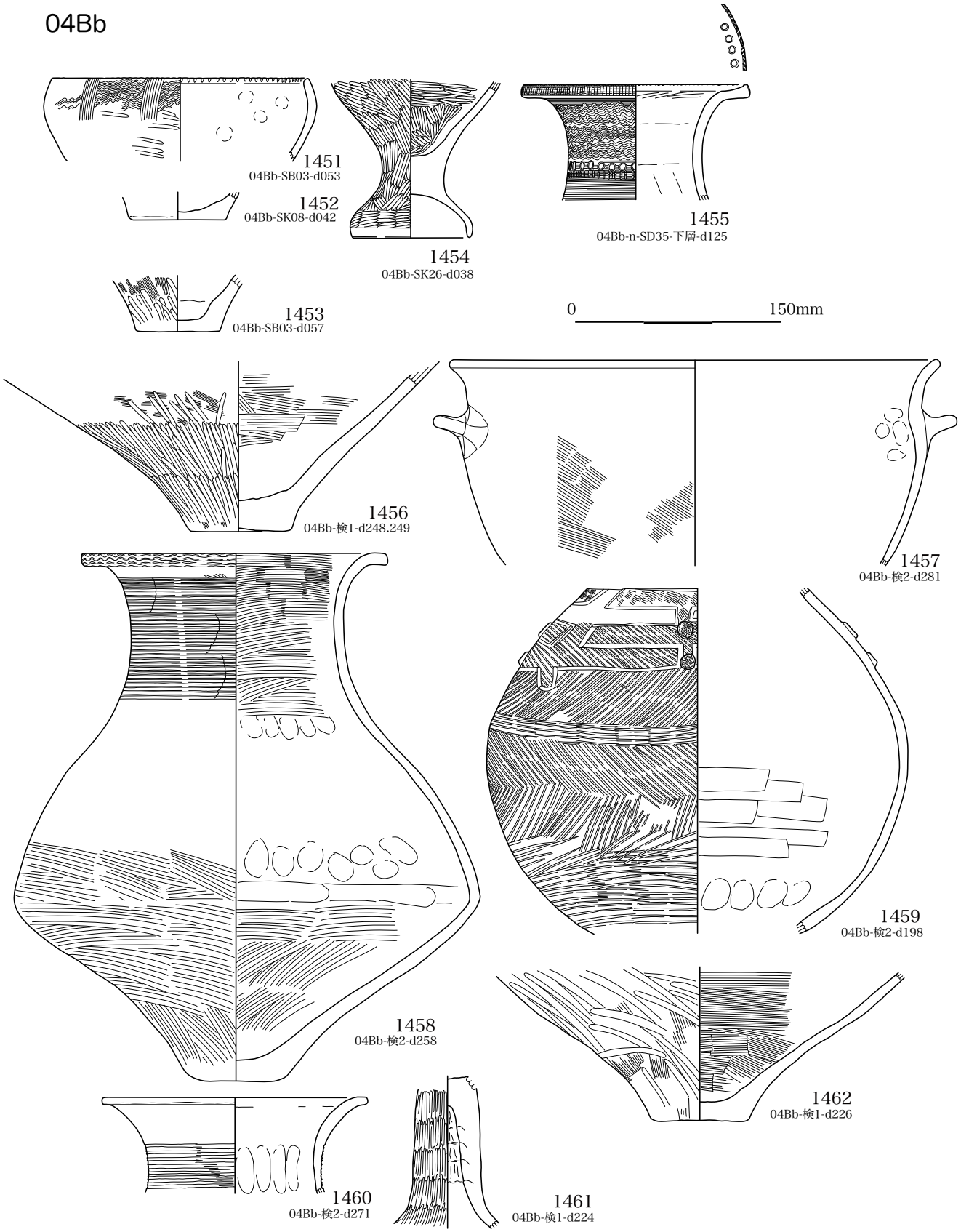
1445
04Bb-SD11-下層-p476



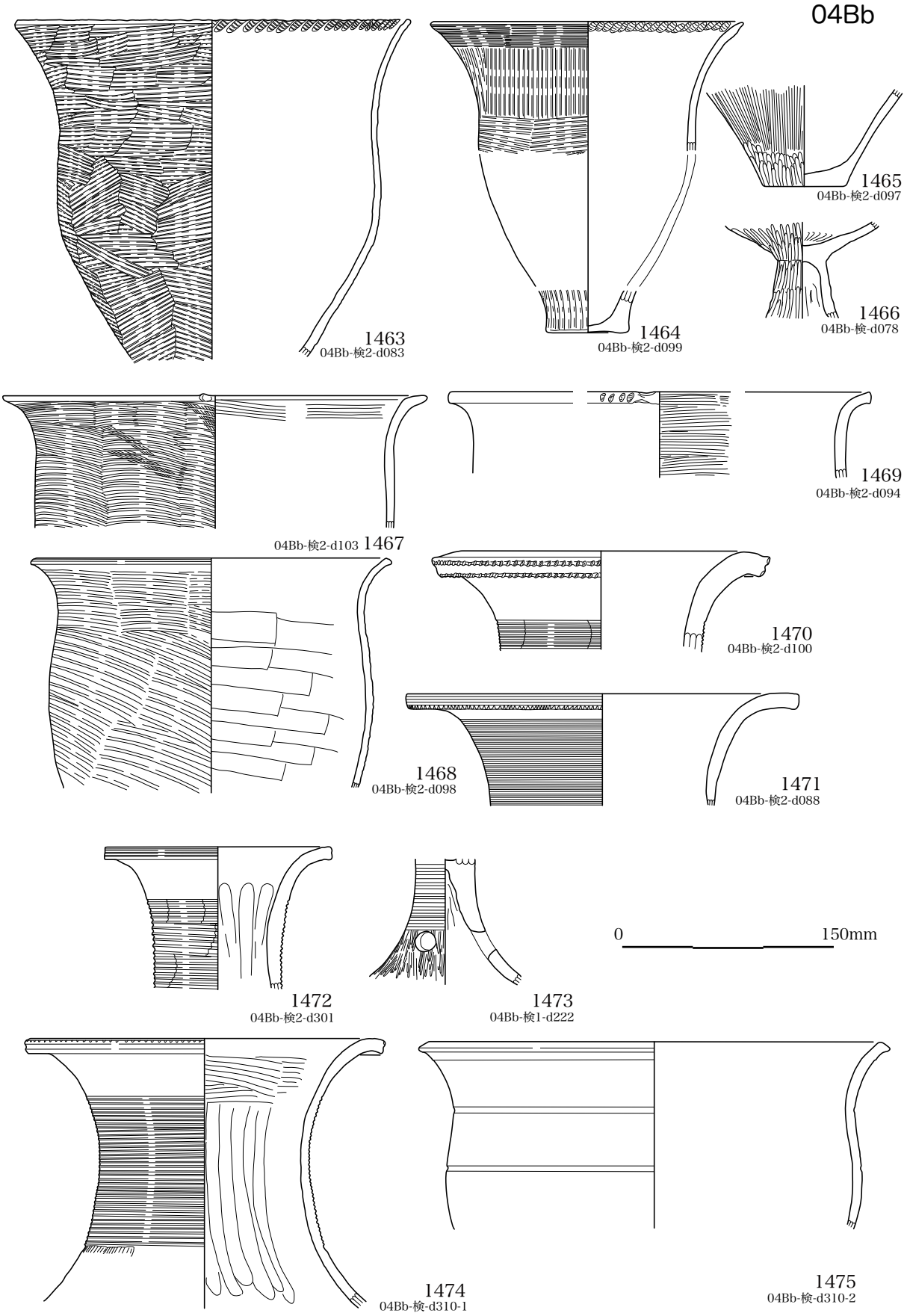
1448
04Bb-SD11-下層-p475

1450
04Bb-SD11-上層-p474

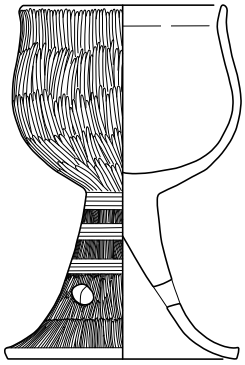
04Bb


1451
04Bb-SB03-d053
1452
04Bb-SK08-d042
1454
04Bb-SK26-d038
1455
04Bb-n-SD35-下層-d125
1453
04Bb-SB03-d057
0
150mm
1456
04Bb-検1-d248.249
1457
04Bb-検2-d281
1458
04Bb-検2-d258
1459
04Bb-検2-d198
1462
04Bb-検1-d226
1460
04Bb-検2-d271
1461
04Bb-検1-d224

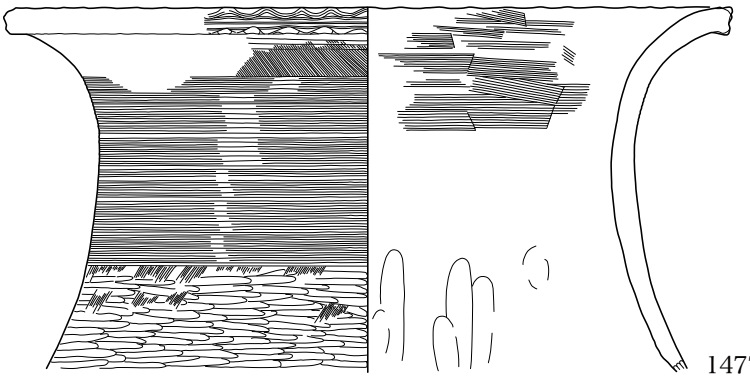
04Bb


1463
04Bb-検2-d083
1464
04Bb-検2-d099
1465
04Bb-検2-d097
1466
04Bb-検-d078
1467
04Bb-検2-d103
1468
04Bb-検2-d098
1469
04Bb-検2-d094
1470
04Bb-検2-d100
1471
04Bb-検2-d088
1472
04Bb-検2-d301
1473
04Bb-検1-d222
0
150mm
1474
04Bb-検-d310-1
1475
04Bb-検-d310-2

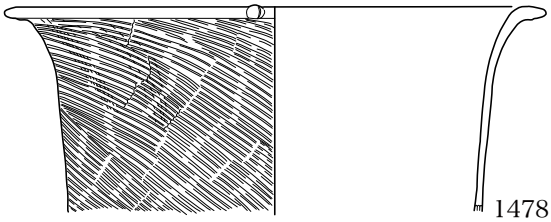
04Bc



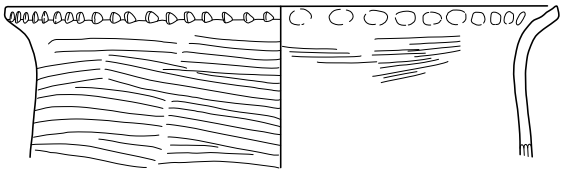
1476
04Bc-SD01-上層-d003



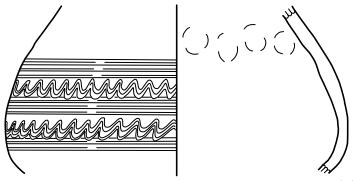
1477
04Bc-SB01-上層-d006.010



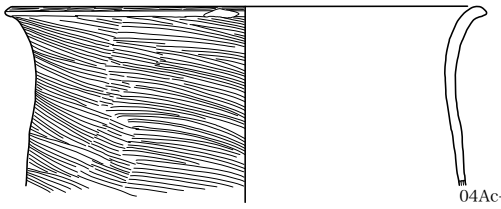
1478
04Bc-SB01-上層-d008



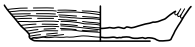
1480
04Bc-検2-d004



1479
04Bc-SK08-d054



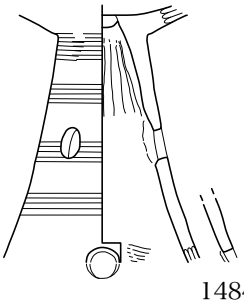
1481
04Ac-NR02-AMS1-p901



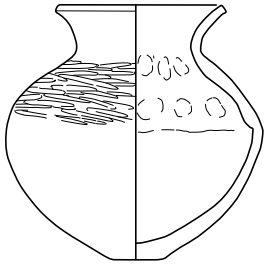
1483
04Bc-検2-d032

1482
04Bc-検2-d034

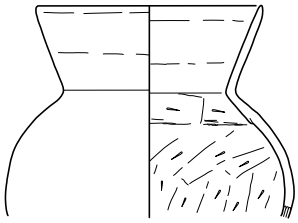
05A



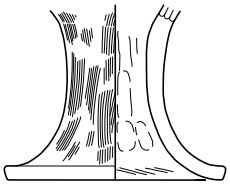
1484
05Aa-043SK-H-d038



1485
05Aa-237SK-d006



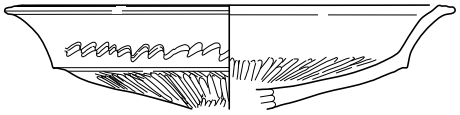
1486
05Aa-032SK-H-d046



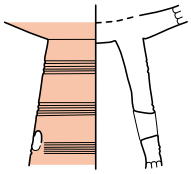
1487
05Aa-073SK-Y-d142

1488
05Aa-062SB-Y-d099

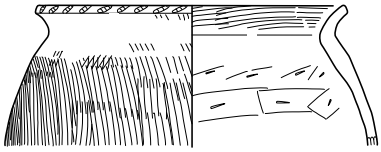
05A-578SK



1489
05Ab-578SK-d912

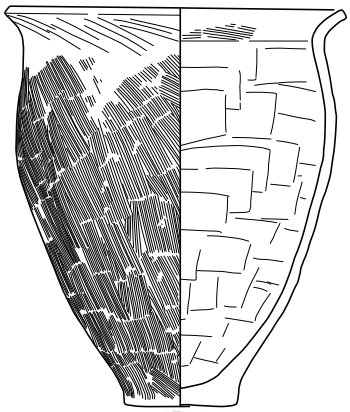


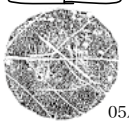
1490
05Ab-578SK-d911



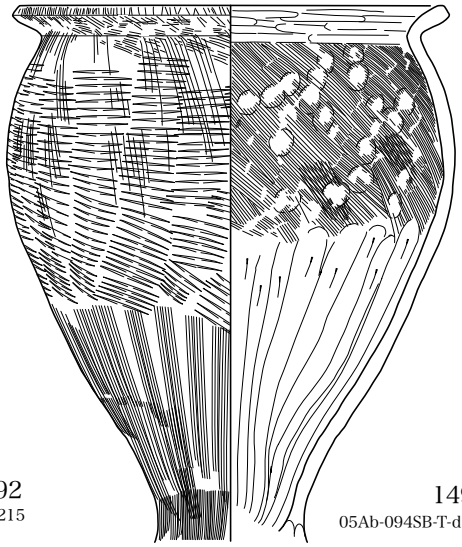
1491
05Ab-578SK-d913

05Ab-094SB

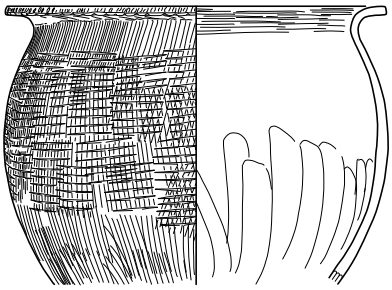




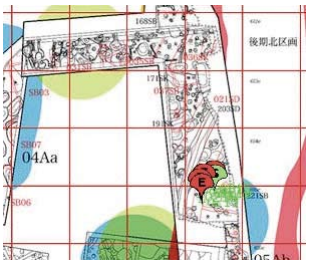
1492
05Ab-094SB-T-d215



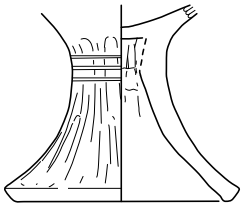
1493
05Ab-094SB-T-d217



1494
05Ab-094SB-T-d218



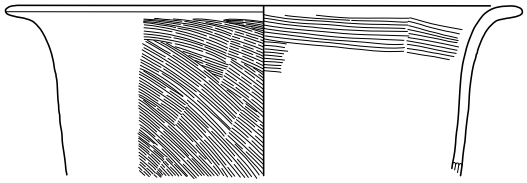
094SB（221SB 上層）



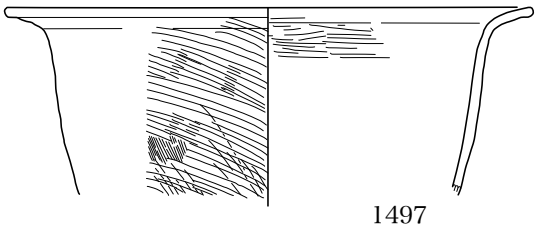
1495
05Ab-094SB-T-p219

0 150mm

05Ac-375SK

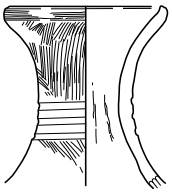


1496
05Ac-375SK-p095

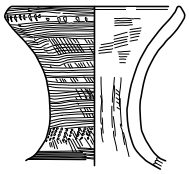


1497
05Ac-375SK-p097

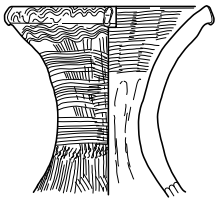
05Ab-1218SK



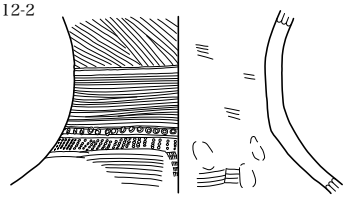
1498
05Ab-1218SK-d1112-1



1499
05Ab-1218SK-d1112-2

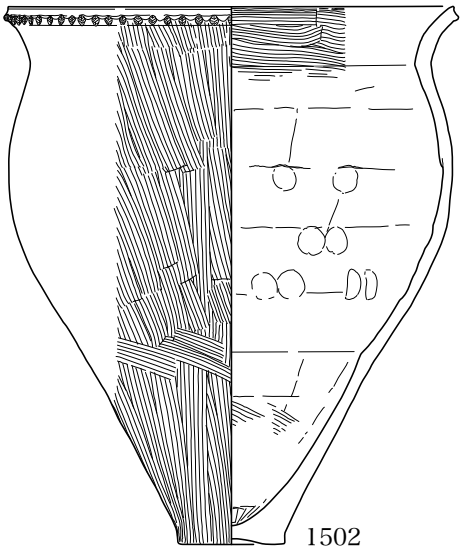


05Ab-1218SK-d1112-3 1500



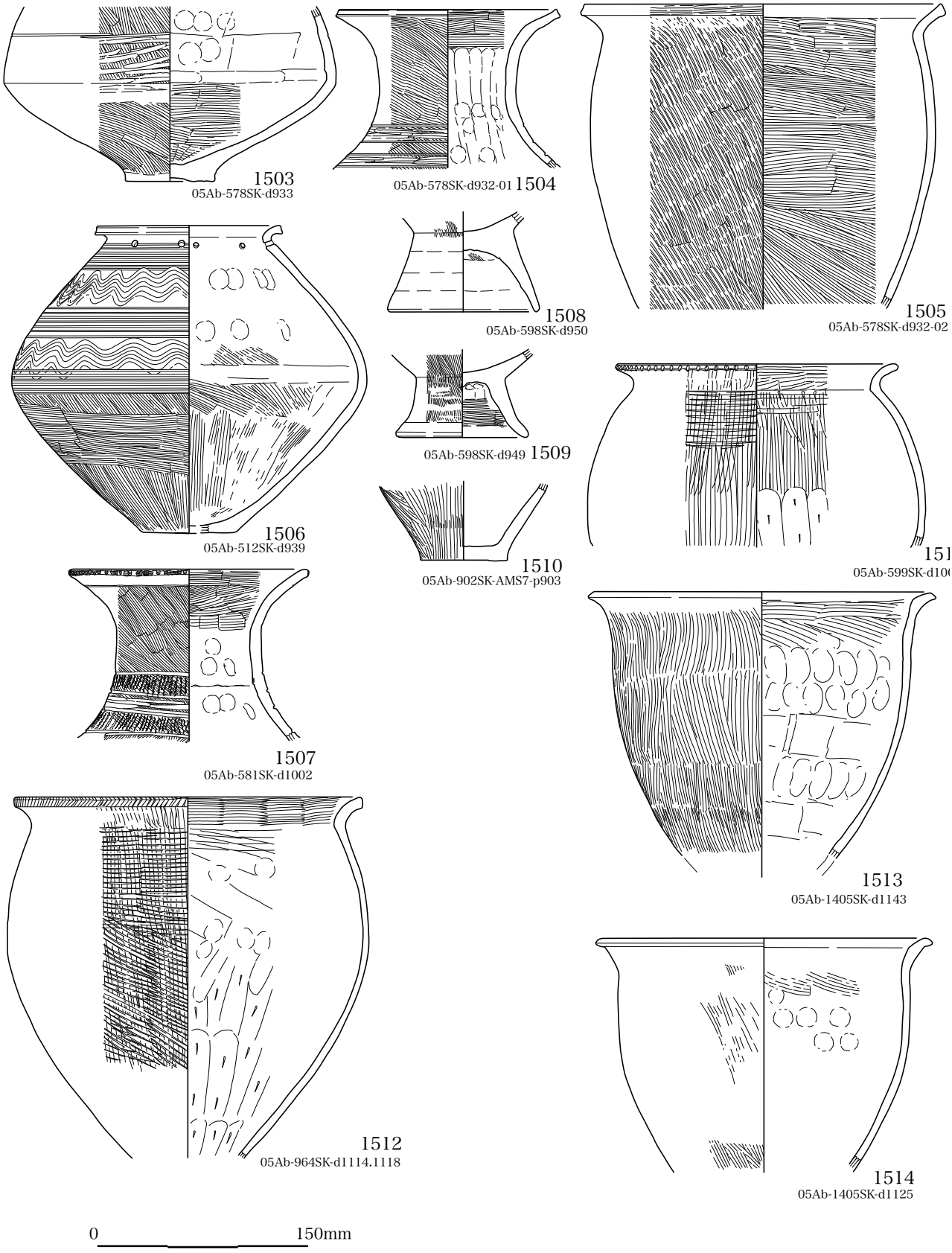
1501
05Ab-1218SK-d1112-4

05Ab-563SK

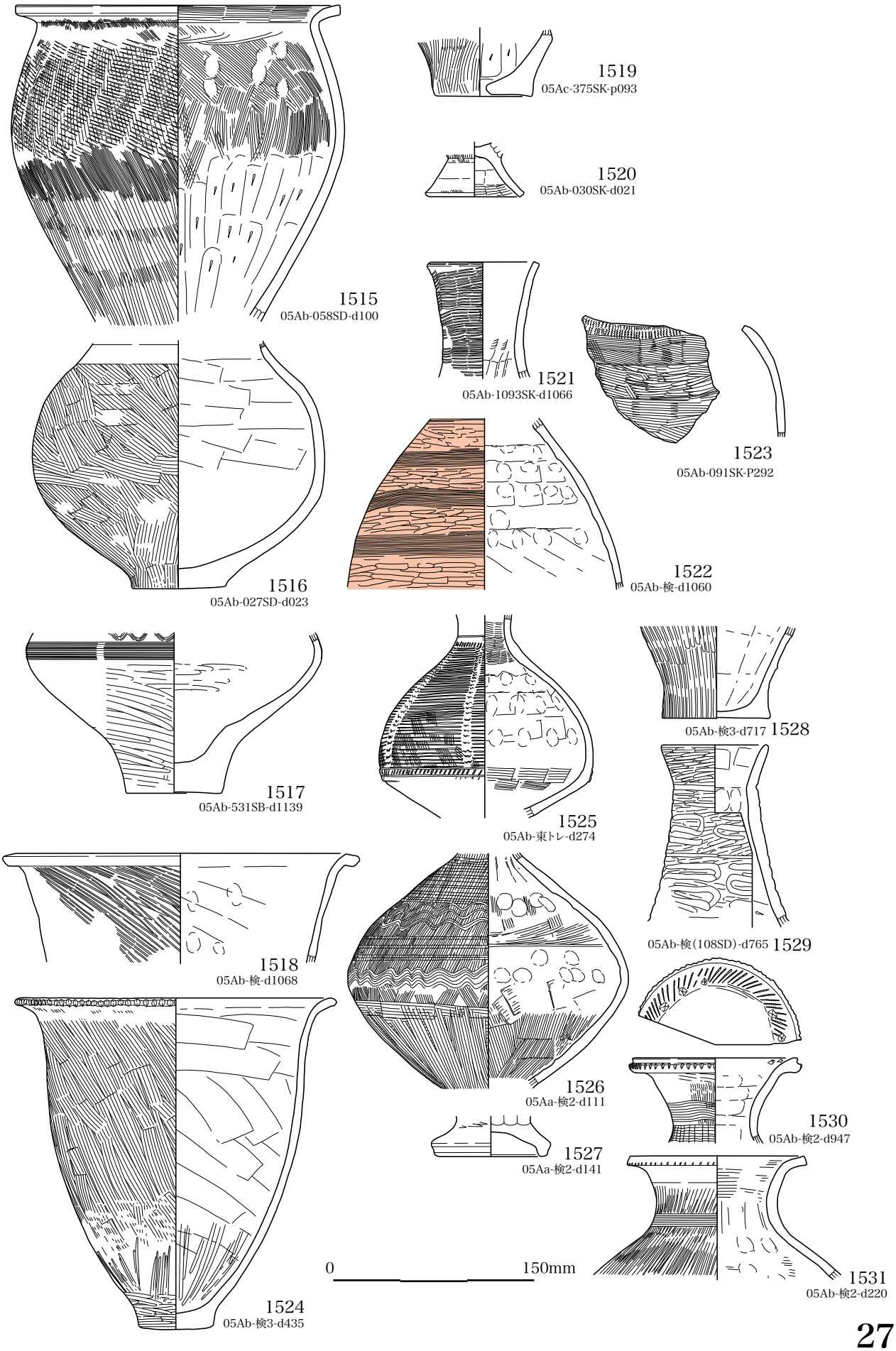


1502
05Ab-563SK-d1111

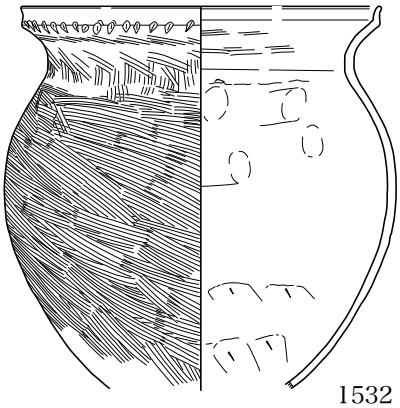
05Ab-SK

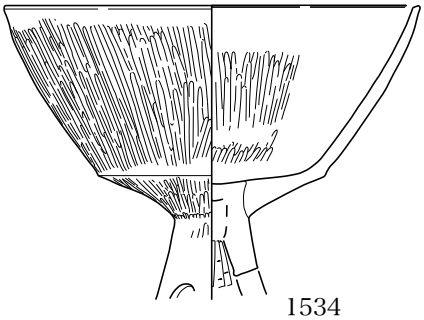

1503
05Ab-578SK-d933
05Ab-578SK-d932-01 1504
1505
05Ab-578SK-d932-02
1508
05Ab-598SK-d950
1506
05Ab-512SK-d939
05Ab-598SK-d949 1509
1510
05Ab-902SK-AMS7-p903
151
05Ab-599SK-d10
1507
05Ab-581SK-d1002
1513
05Ab-1405SK-d1143
1512
05Ab-964SK-d1114.1118
1514
05Ab-1405SK-d1125
0
150mm

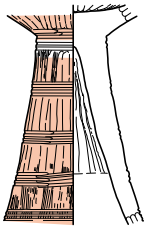
05Ab


1515
05Ab-058SD-d100
1519
05Ac-375SK-p093
1520
05Ab-030SK-d021
1521
05Ab-1093SK-d1066
1523
05Ab-091SK-P292
1516
05Ab-027SD-d023
1522
05Ab-検-d1060
1517
05Ab-531SB-d1139
1525
05Ab-東トレ-d274
05Ab-検3-d717 1528
05Ab-検(108SD)-d765 1529
1518
05Ab-検-d1068
1526
05Aa-検2-d111
1527
05Aa-検2-d141
1530
05Ab-検2-d947
1524
05Ab-検3-d435
0
150mm
1531
05Ab-検2-d220

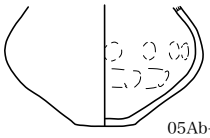
05Ab

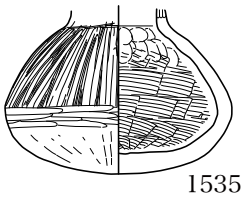

1532
05Ab-112SU-d332

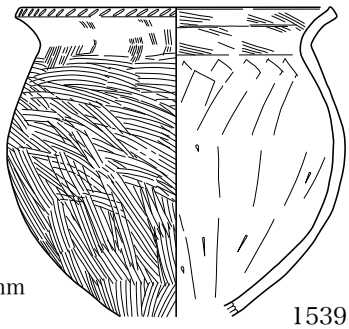

1534
05Ab-112SU-d333


1537
05Ab-077SK-d185

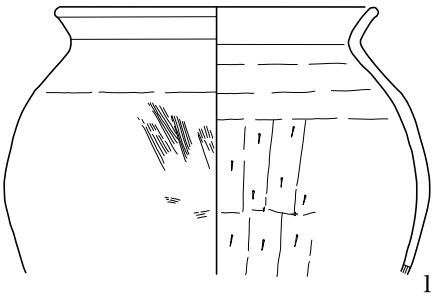
1538
05Ab-077SK-d189

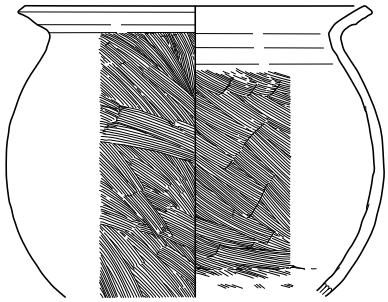

1533
05Ab-112SU-d331

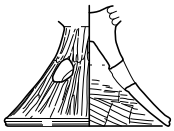

1535
05Ab-112SU-d306

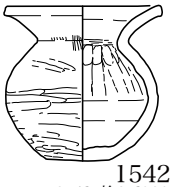

1539
05Ab-456SK-d883

0 150mm


1536
05Ab-075SQ-d156

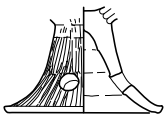

1540
05Ab-531SK-d942

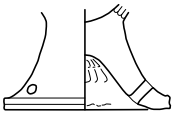

1541
05Ab-検2-d294


1542
05Ab-検2-d309

1543
05Ab-検2-d352

1544
05Ab-検-d018


1545
05Ab-検2-d308


1546
05Ab-検1-d053

1547
05Ab-検2-d152

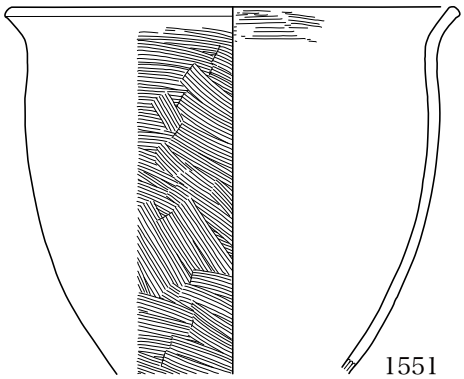
1548
05Ab-検2-d229

1549
05Ab-検2-d224

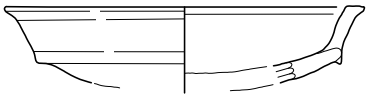
1550
05Aa-検2-d108

05Ab 区　ミニチュア土器の分布
北区画 - 内郭区画溝出入口に集中

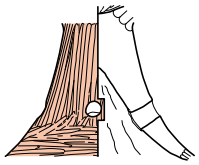
05Ac


1551
05Ac-検2-d234

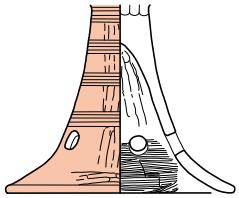
05Ab



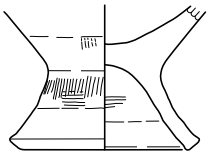
05Ab-検2-p910 1552



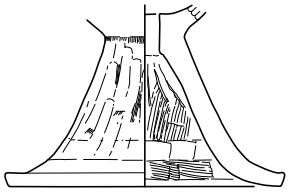
1553
05Ab-検2-d231



1554
05Ab-532-P946

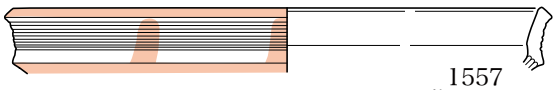


1555
05Ab-検2-d181

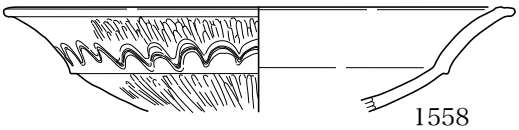


1556
05Ab-東トレ-d015

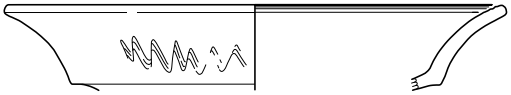
0 150mm



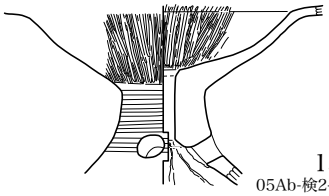
1557
05Ab-検2-d267



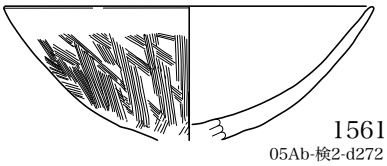
1558
05Ab-検2-d888



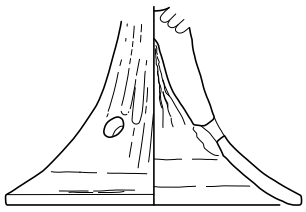
1559
05Ab-検2-d334



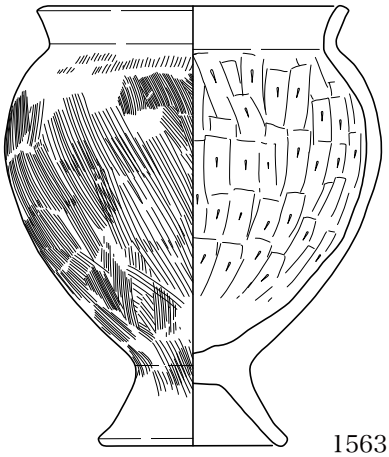
1560
05Ab-検2-d295



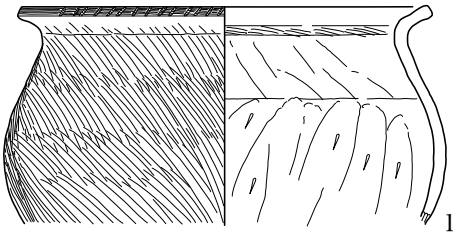
1561
05Ab-検2-d272



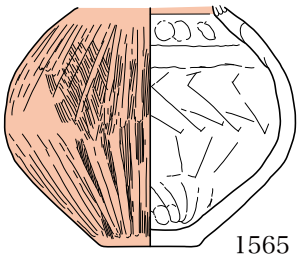
1562
05Ab-検2-d322



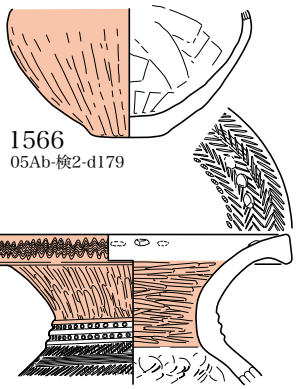
1563
05Ab-検2-d223



1564
05Ab-検2-AMS23-d148

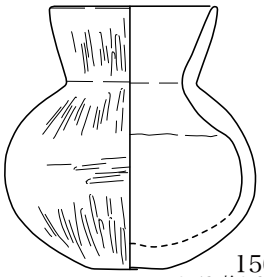


1565
05Ab-検2-d269

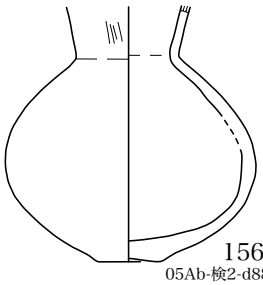


1566
05Ab-検2-d179

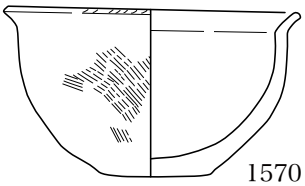
1567
05Ab-検2-d137



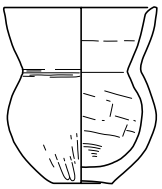
1568
05Ab-検2-d114



1569
05Ab-検2-d887

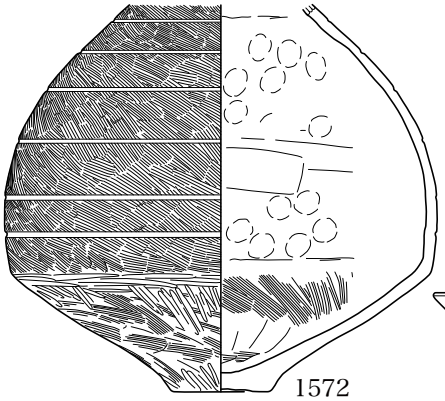


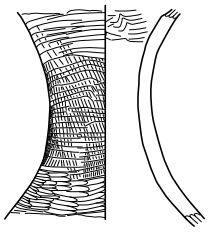
1570
05Ab-検2-Y2-884

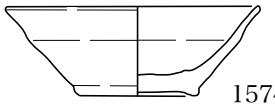


1571
05Ab-検2-d319

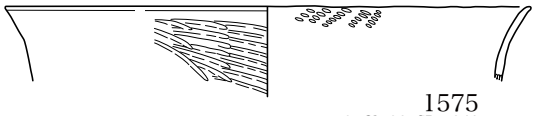
05Ca


1572
05Ca-051SK-p690

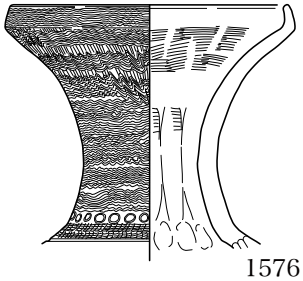

1573
05Ca-057SD-d029

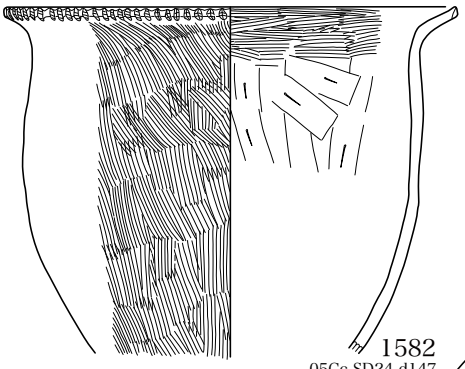

1574
05Ca-001NR-d001

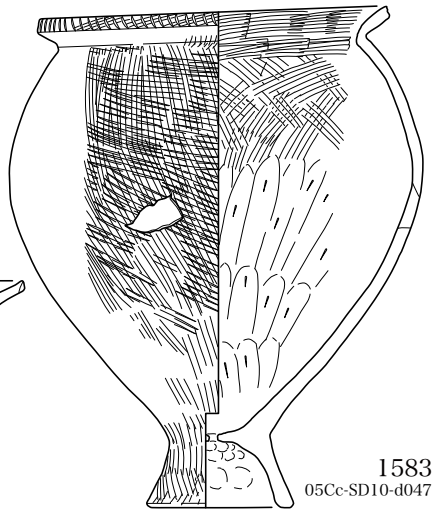
05Cb

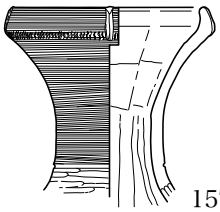

1575
05Cb-025SB-p242

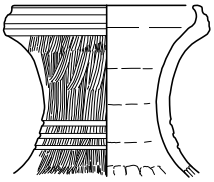
05Cc


1576
05Cc-SD02-d092

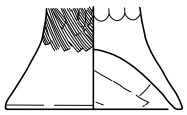

1582
05Cc-SD24-d147

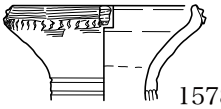

1583
05Cc-SD10-d047

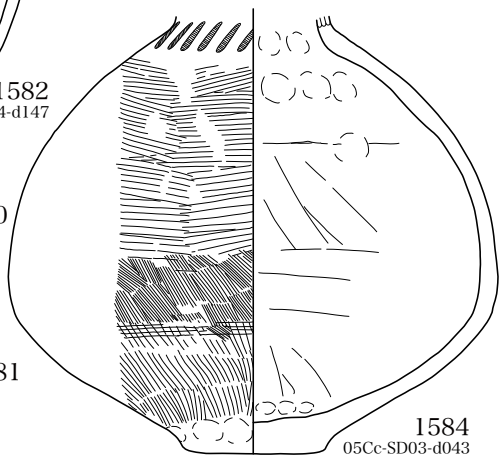

1577
05Cc-SK54-d118-1

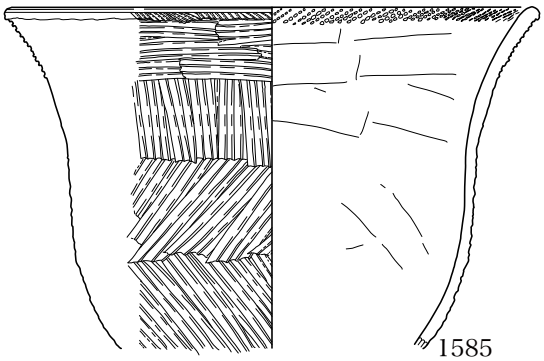

1579
05Cc-SK92-p109

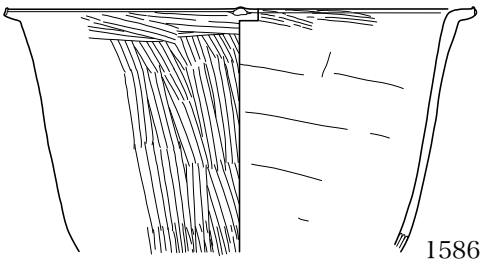
05Cc-SK24-p111 1580

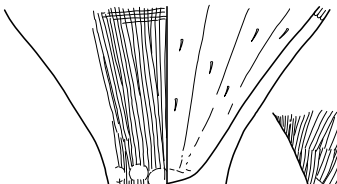

05Cc-SK92-p108 1581

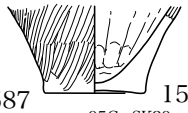

1578
05Cc-SK30-d110

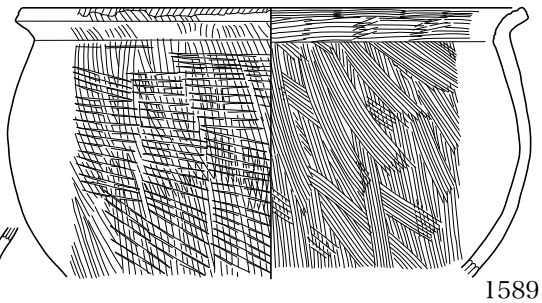

1584
05Cc-SD03-d043


1585
05Cc-SK18-p107

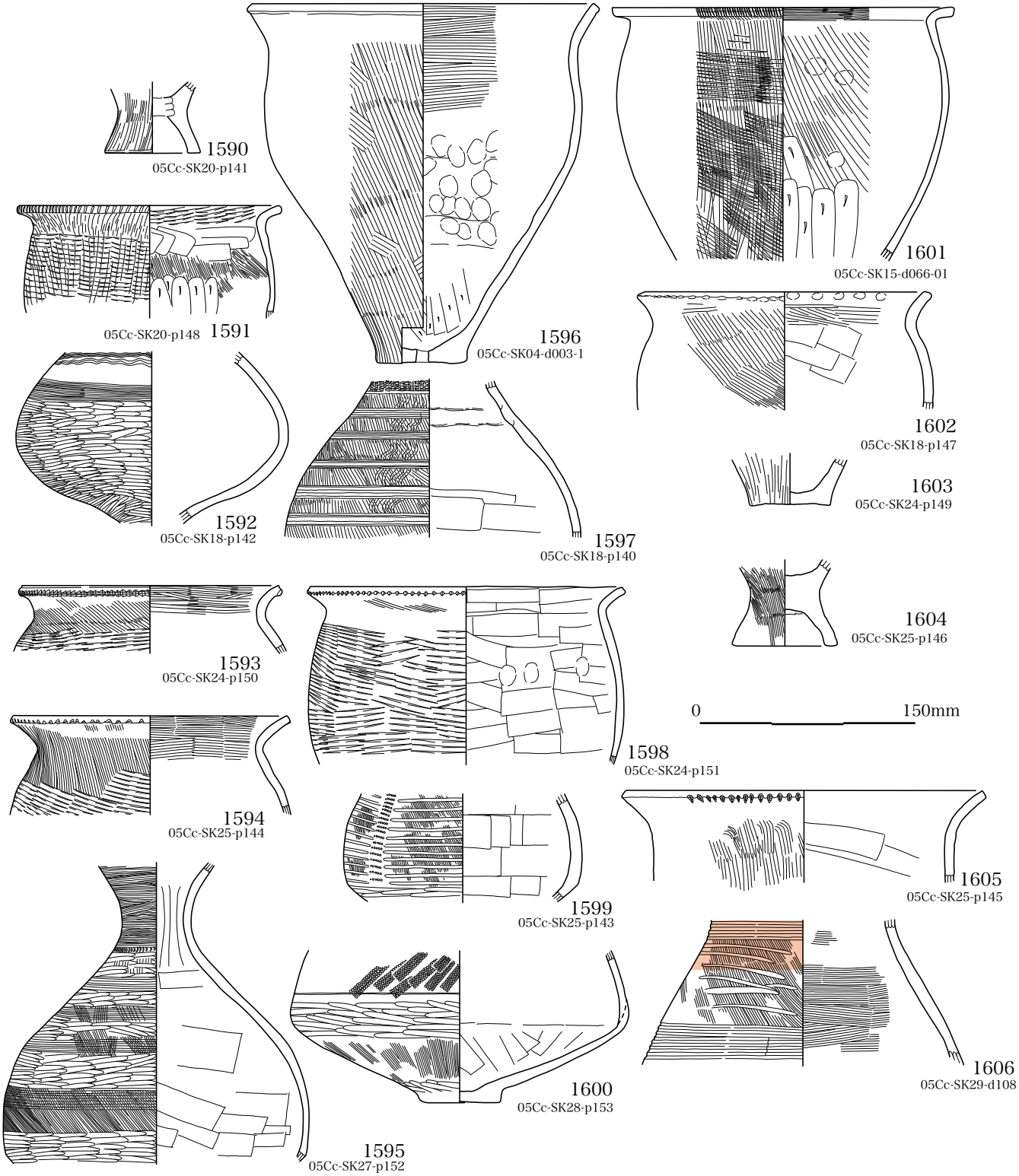

1586
05Cc-SK29-p110


1587
05Cc-SK63-d111-1

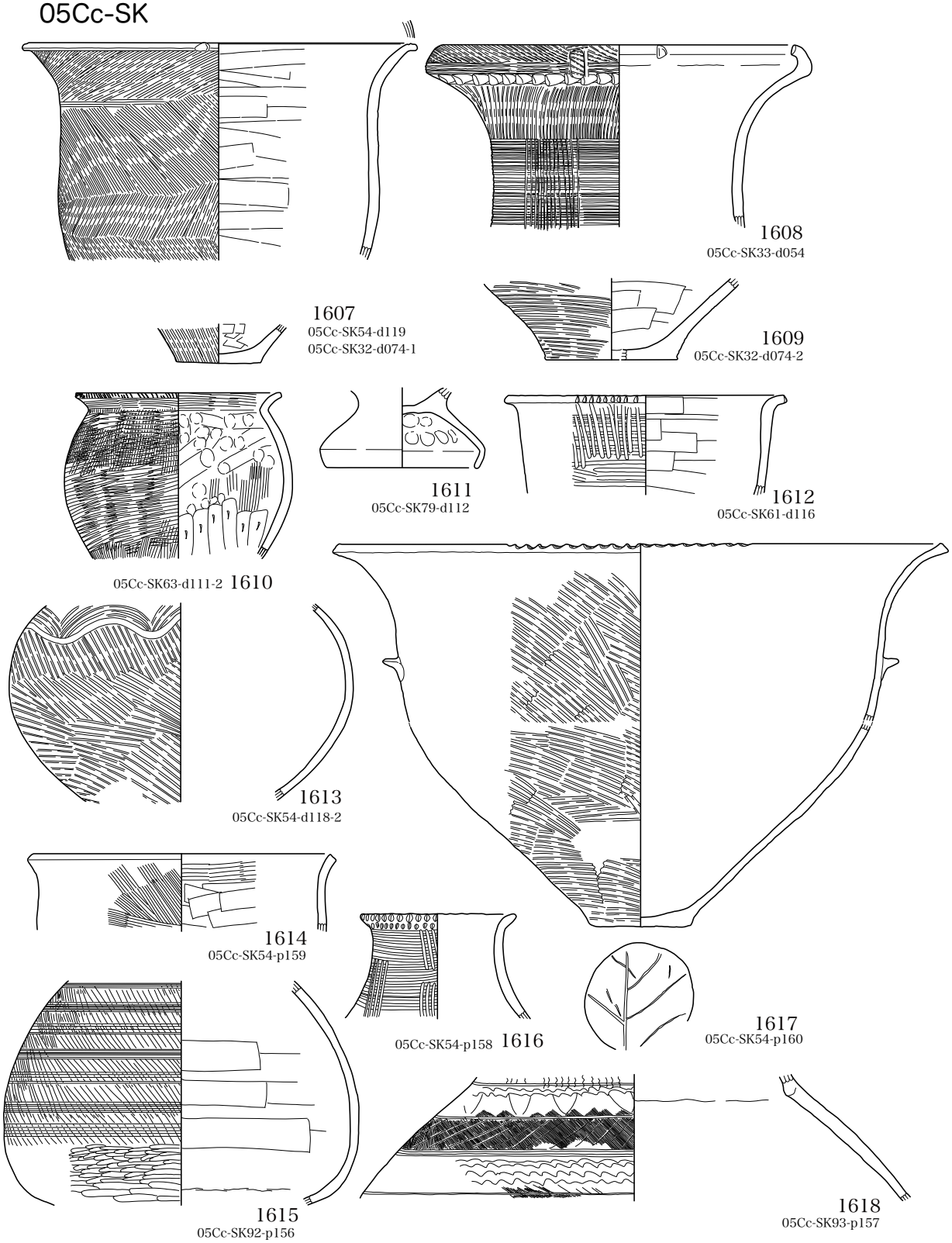

1588
05Cc-SK20-p112


1589
05Cc-SK20-p113

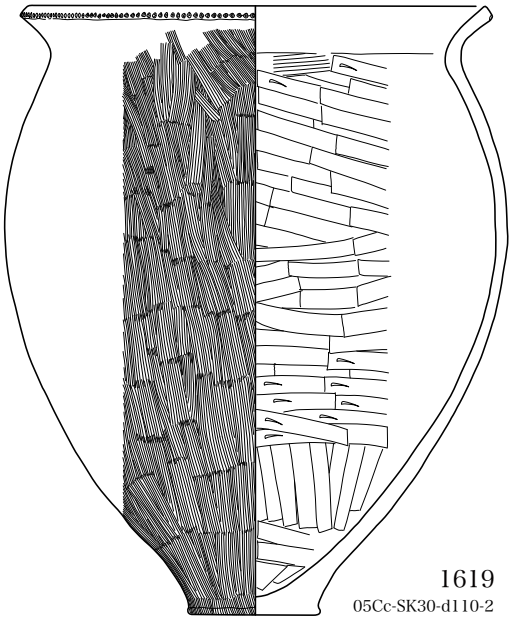
05Cc-SK


1590
05Cc-SK20-p141
05Cc-SK20-p148 1591
1596
05Cc-SK04-d003-1
1601
05Cc-SK15-d066-01
1602
05Cc-SK18-p147
1603
05Cc-SK24-p149
1592
05Cc-SK18-p142
1597
05Cc-SK18-p140
1604
05Cc-SK25-p146
1593
05Cc-SK24-p150
0 150mm
1598
05Cc-SK24-p151
1594
05Cc-SK25-p144
1605
05Cc-SK25-p145
1599
05Cc-SK25-p143
1606
05Cc-SK29-d108
1600
05Cc-SK28-p153
1595
05Cc-SK27-p152

05Cc-SK

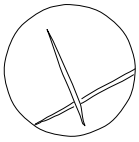

1608
05Cc-SK33-d054
1607
05Cc-SK54-d119
05Cc-SK32-d074-1
1609
05Cc-SK32-d074-2
1611
05Cc-SK79-d112
1612
05Cc-SK61-d116
05Cc-SK63-d111-2 1610
1613
05Cc-SK54-d118-2
1614
05Cc-SK54-p159
05Cc-SK54-p158 1616
1617
05Cc-SK54-p160
1615
05Cc-SK92-p156
1618
05Cc-SK93-p157

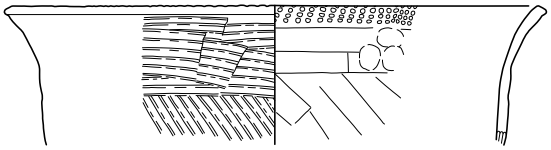
05Cc-SK30



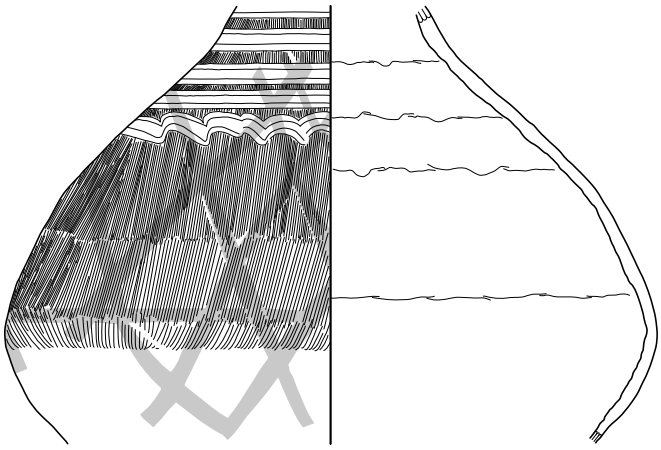
1619
05Cc-SK30-d110-2

1622
05Cc-SK30-d110-1

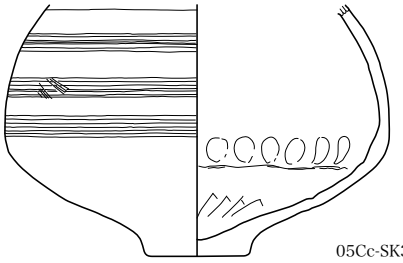




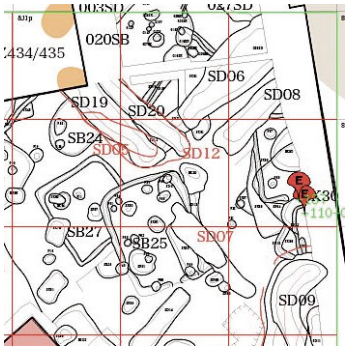
1623
05Cc-SK30-p154



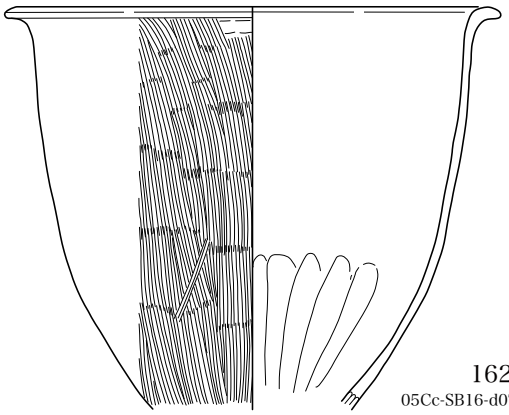
1620
05Cc-SK30-d137



1624
05Cc-SK30-p155

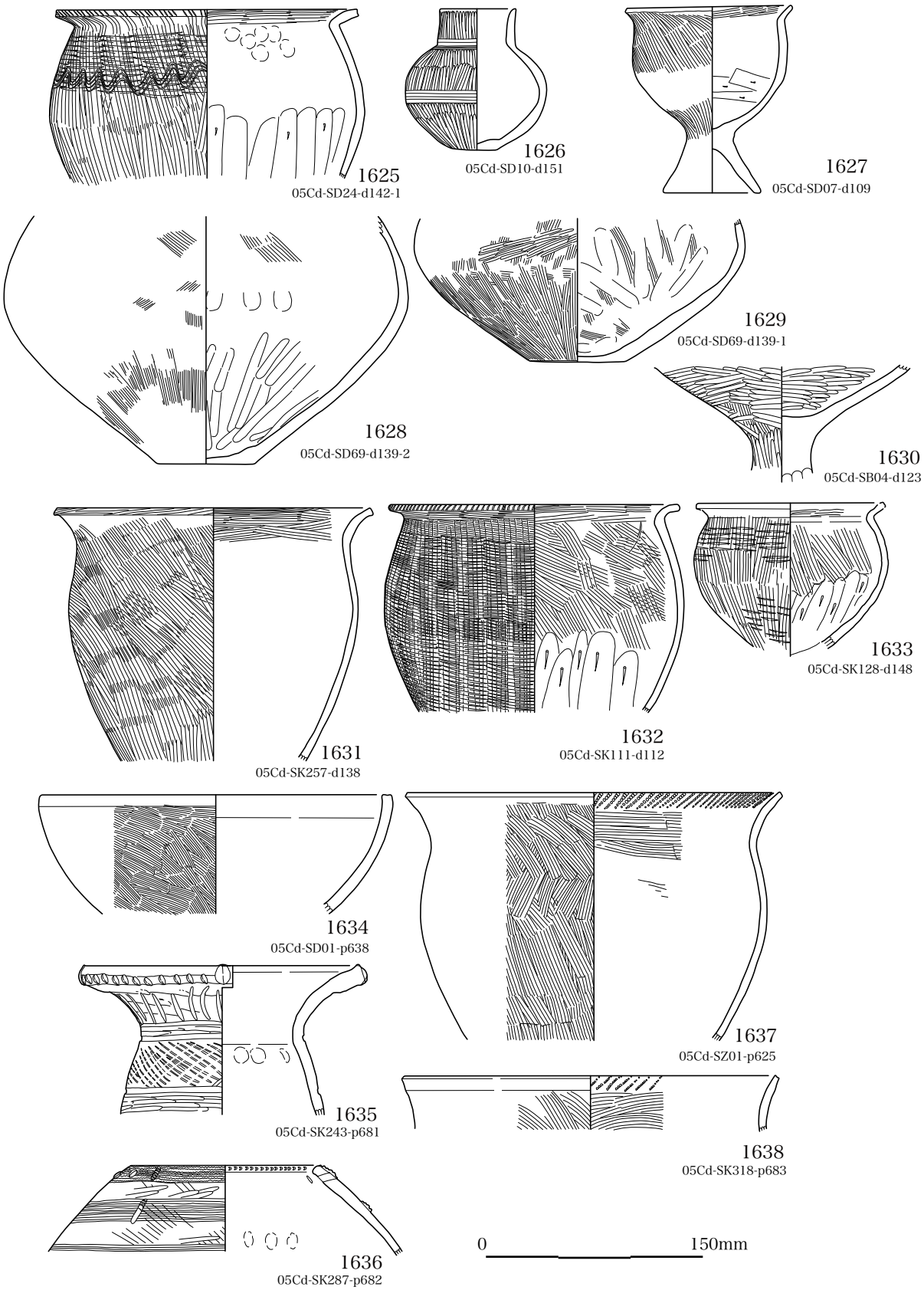


05Cc-SB16

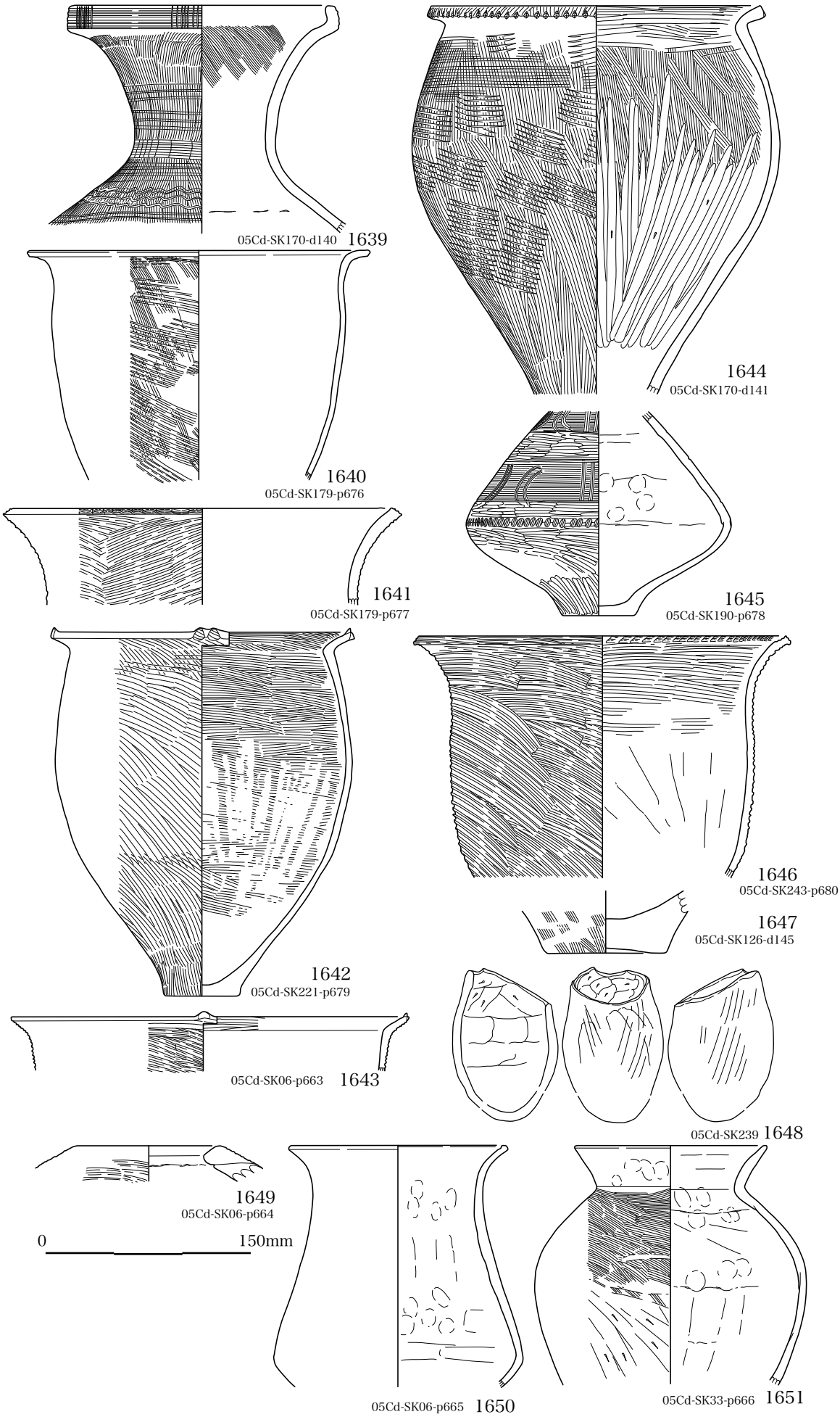


1621
05Cc-SB16-d072

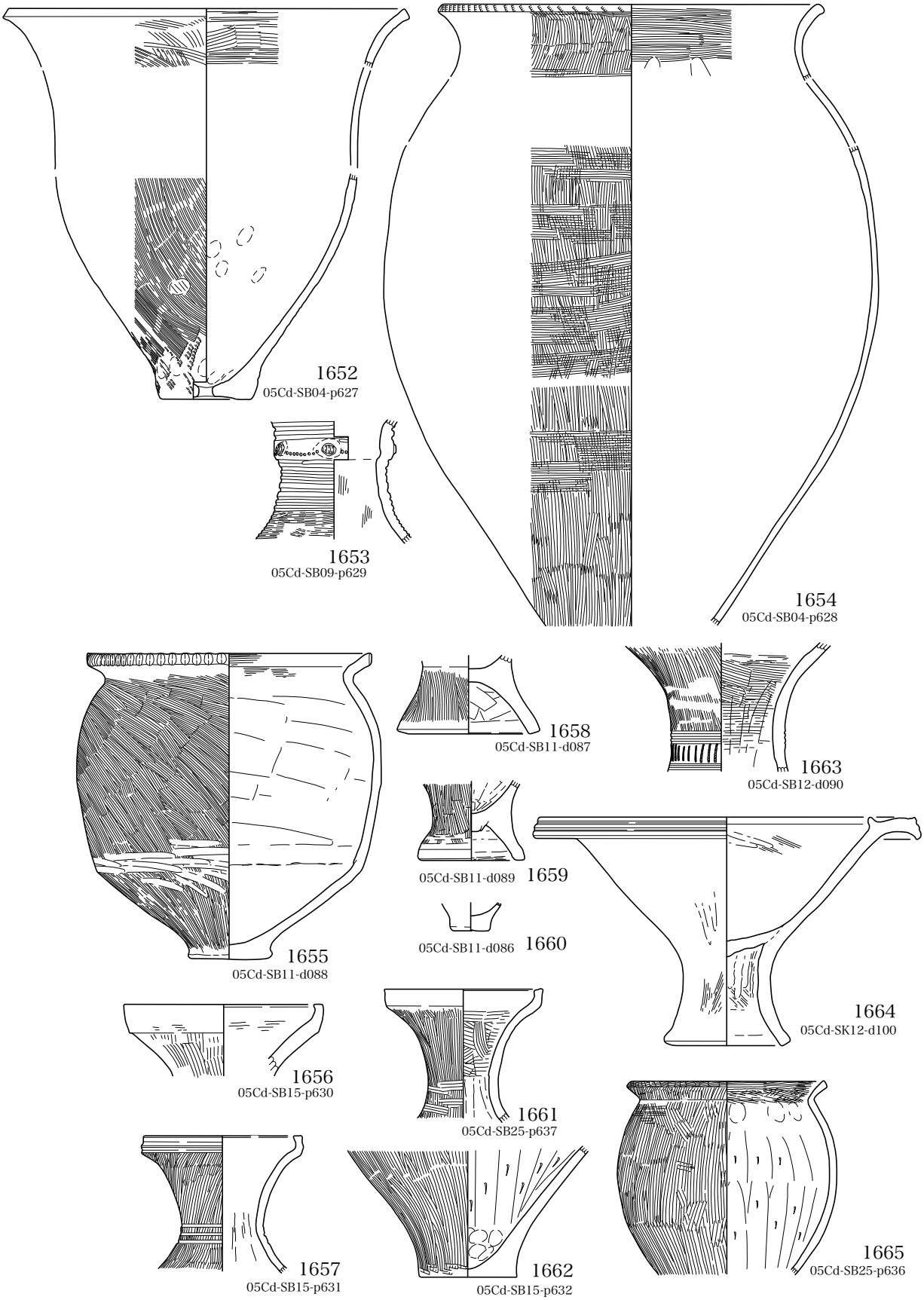
05Cd


1625
05Cd-SD24-d142-1
1626
05Cd-SD10-d151
1627
05Cd-SD07-d109
1628
05Cd-SD69-d139-2
1629
05Cd-SD69-d139-1
1630
05Cd-SB04-d123
1631
05Cd-SK257-d138
1632
05Cd-SK111-d112
1633
05Cd-SK128-d148
1634
05Cd-SD01-p638
1635
05Cd-SK243-p681
1636
05Cd-SK287-p682
1637
05Cd-SZ01-p625
1638
05Cd-SK318-p683
0
150mm

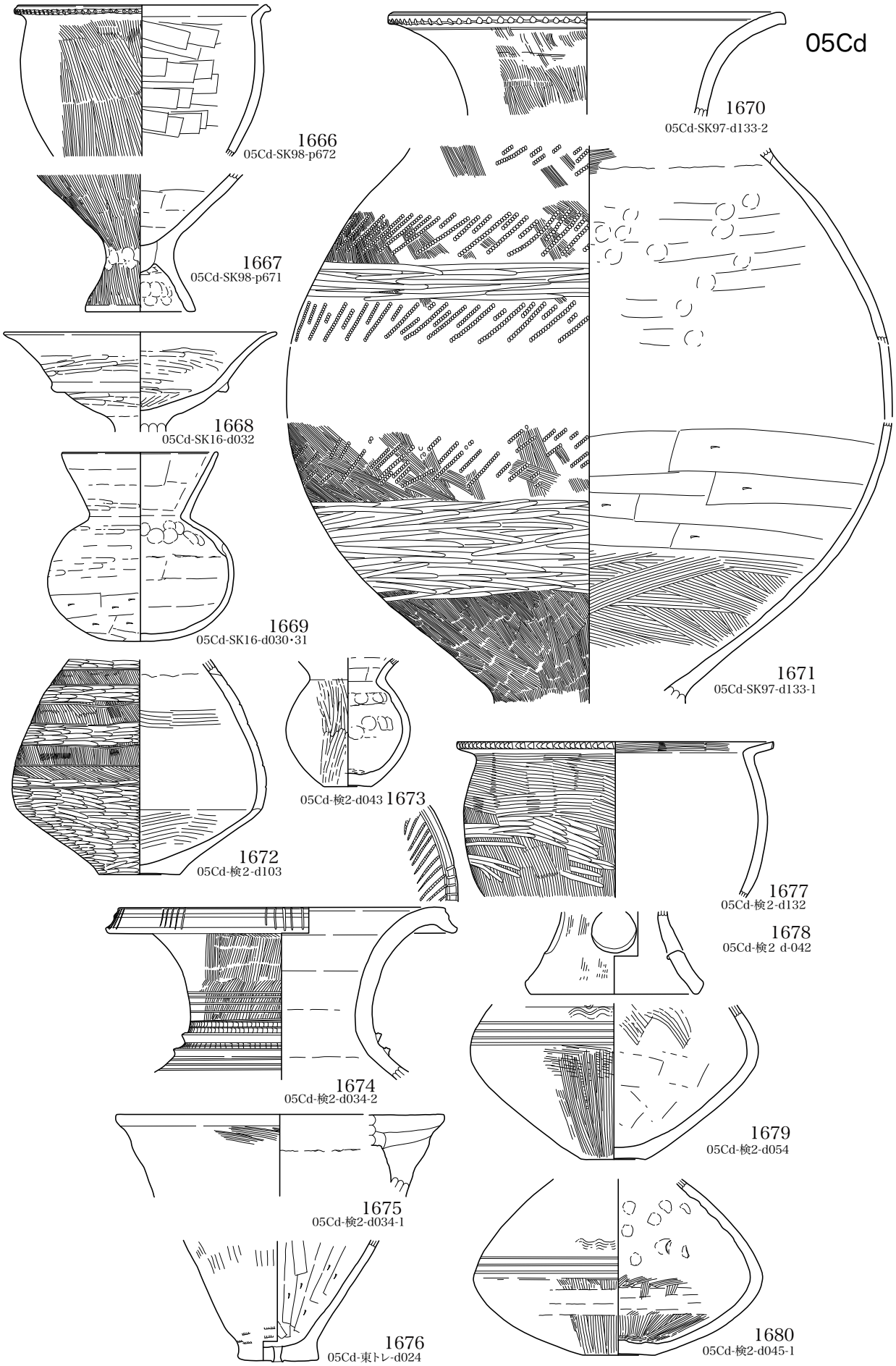
05Cd-SK


05Cd-SK170-d140 1639
1640
05Cd-SK179-p676
1641
05Cd-SK179-p677
1642
05Cd-SK221-p679
05Cd-SK06-p663 1643
1644
05Cd-SK170-d141
1645
05Cd-SK190-p678
1646
05Cd-SK243-p680
1647
05Cd-SK126-d145
05Cd-SK239 1648
1649
05Cd-SK06-p664
0 150mm
05Cd-SK06-p665 1650
05Cd-SK33-p666 1651

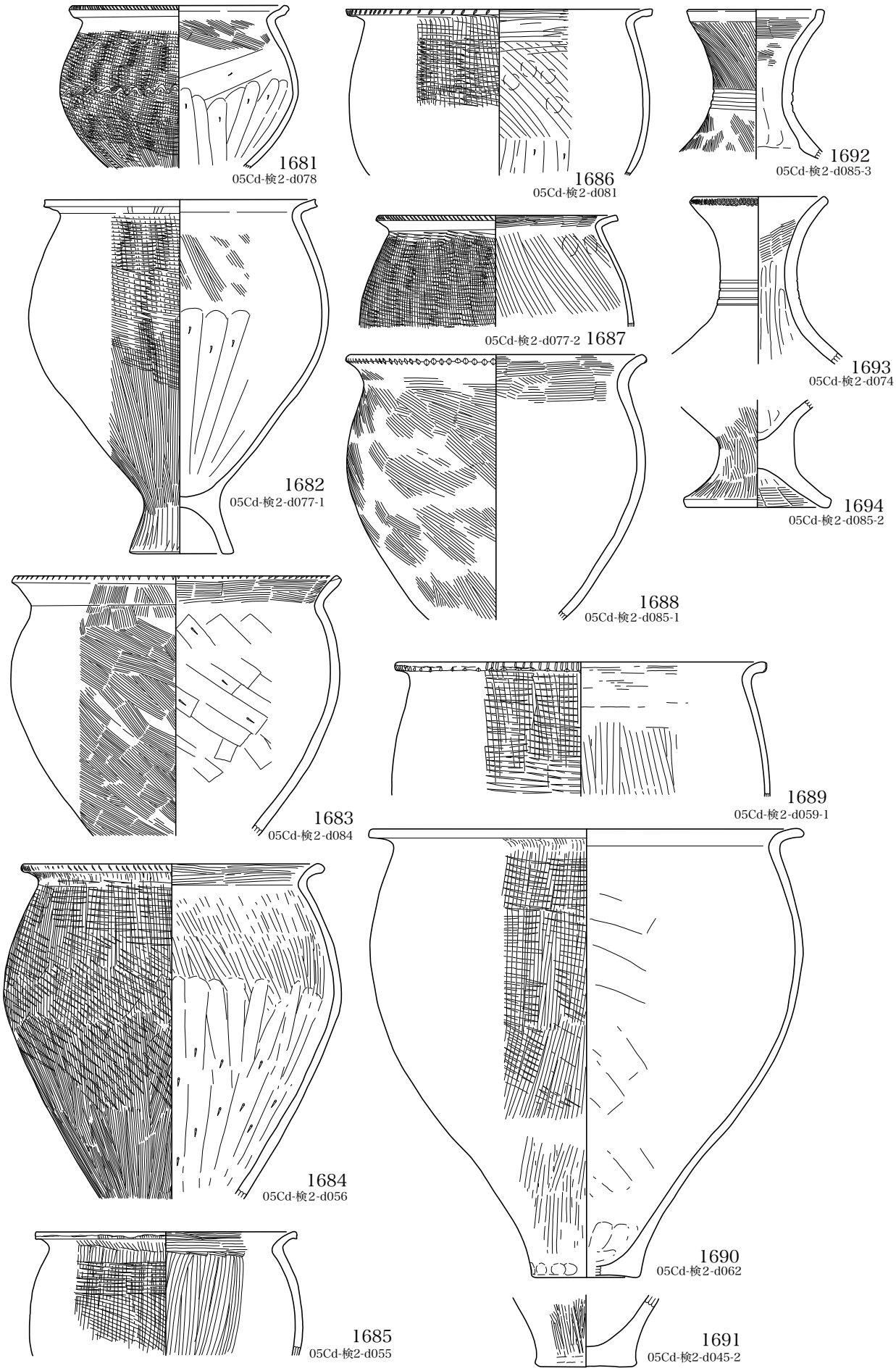
05Cd-SB


1652
05Cd-SB04-p627
1653
05Cd-SB09-p629
1654
05Cd-SB04-p628
1655
05Cd-SB11-d088
1658
05Cd-SB11-d087
1663
05Cd-SB12-d090
05Cd-SB11-d089 1659
05Cd-SB11-d086 1660
1664
05Cd-SK12-d100
1656
05Cd-SB15-p630
1661
05Cd-SB25-p637
1657
05Cd-SB15-p631
1662
05Cd-SB15-p632
1665
05Cd-SB25-p636

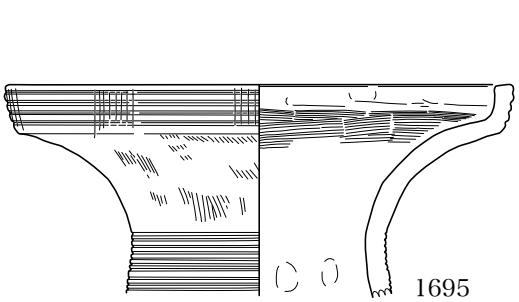
05Cd

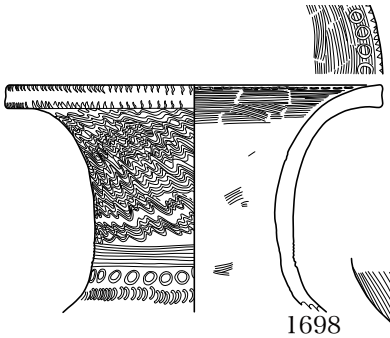

1666
05Cd-SK98-p672
1667
05Cd-SK98-p671
1668
05Cd-SK16-d032
1669
05Cd-SK16-d030・31
1670
05Cd-SK97-d133-2
1671
05Cd-SK97-d133-1
1672
05Cd-検2-d103
05Cd-検2-d043 1673
1674
05Cd-検2-d034-2
1675
05Cd-検2-d034-1
1676
05Cd-東トレ-d024
1677
05Cd-検2-d132
1678
05Cd-検2 d-042
1679
05Cd-検2-d054
1680
05Cd-検2-d045-1

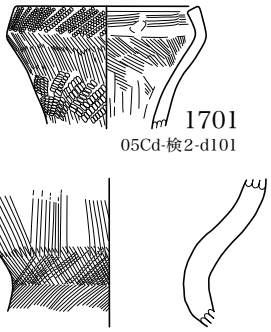
05Cd


1681
05Cd-検2-d078
1686
05Cd-検2-d081
1692
05Cd-検2-d085-3
05Cd-検2-d077-2 1687
1693
05Cd-検2-d074
1682
05Cd-検2-d077-1
1694
05Cd-検2-d085-2
1688
05Cd-検2-d085-1
1683
05Cd-検2-d084
1689
05Cd-検2-d059-1
1684
05Cd-検2-d056
1690
05Cd-検2-d062
1685
05Cd-検2-d055
1691
05Cd-検2-d045-2

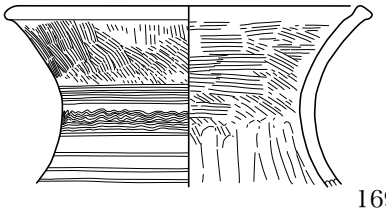
05Cd

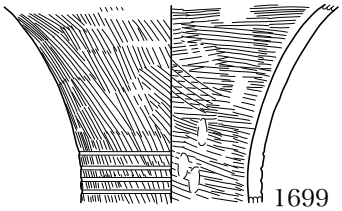

1695
05Cd-検2-d067

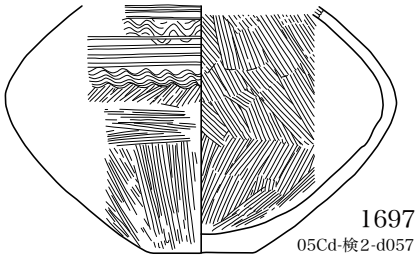

1698
05Cd-検2-d068

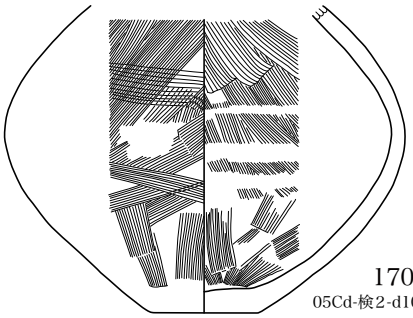

1701
05Cd-検2-d101

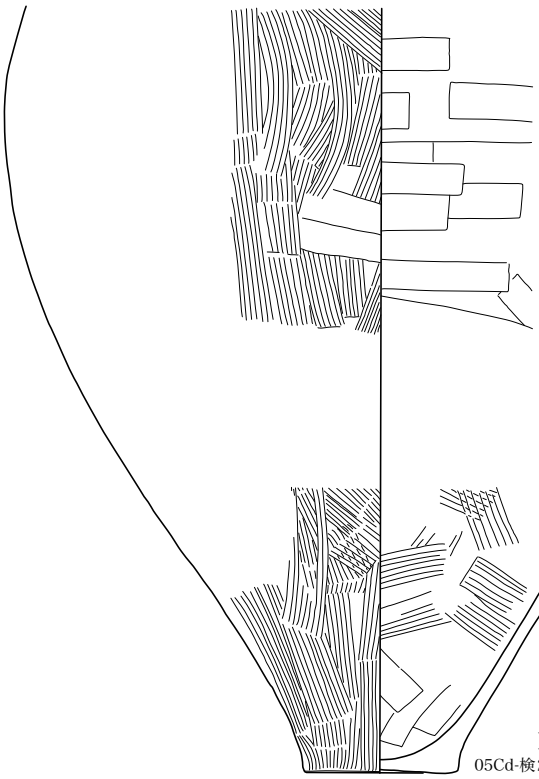
1702
05Cd-検出2-d108

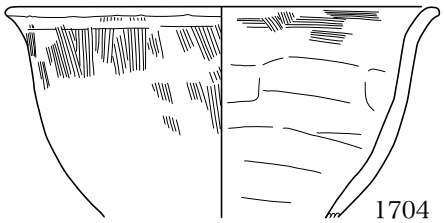

1696
05Cd-検2-d060-1

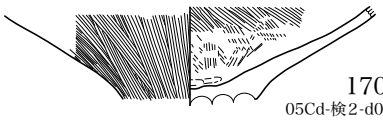

1699
05Cd-検2-d071

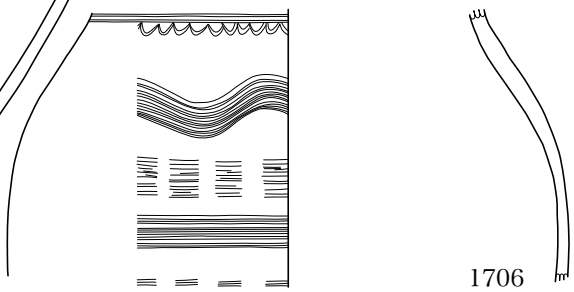

1697
05Cd-検2-d057

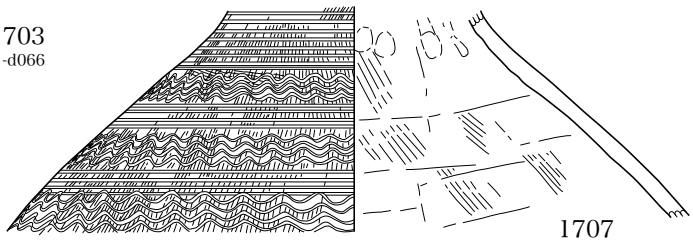

1700
05Cd-検2-d102


1703
05Cd-検2-d066

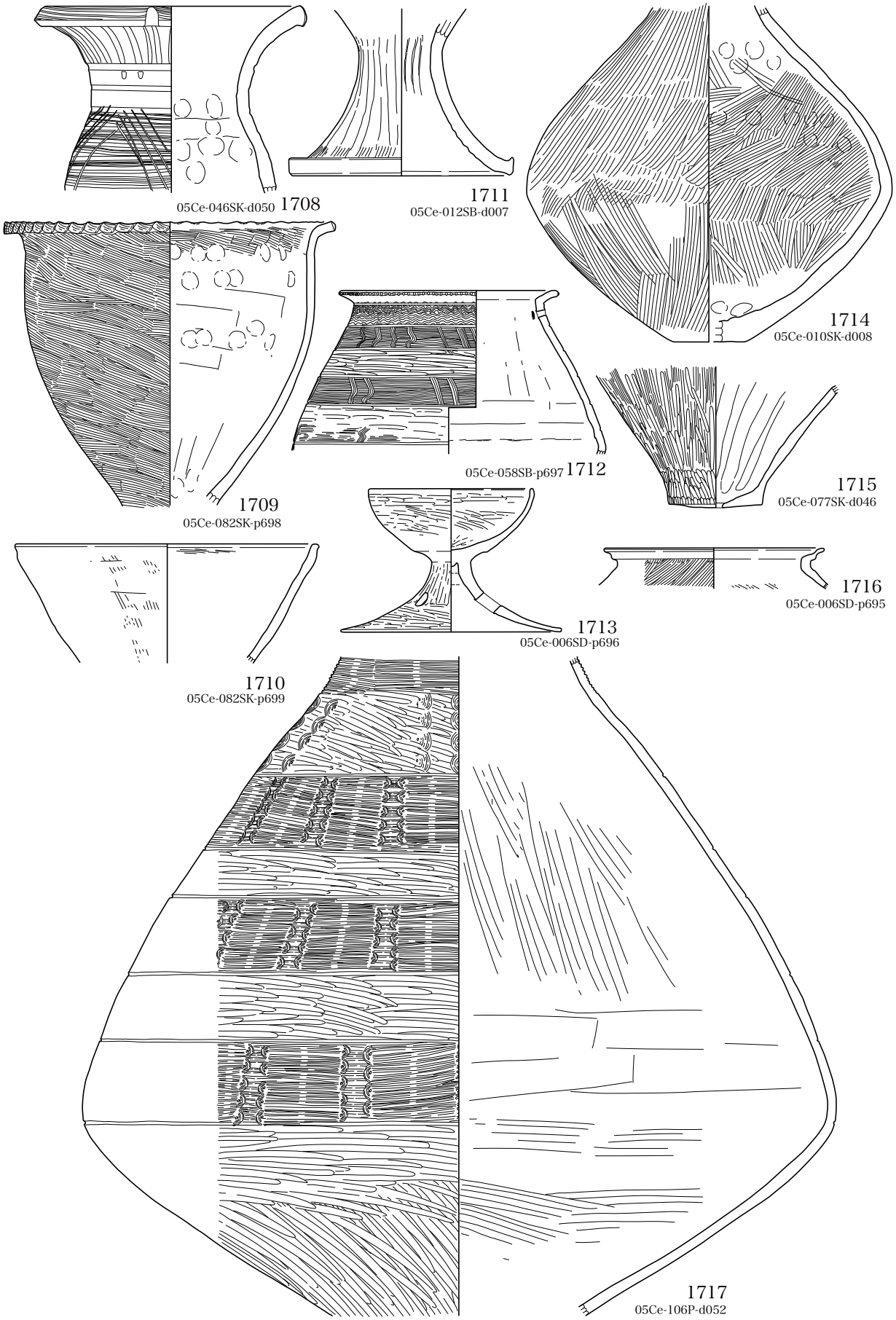

1704
05Cd-検2-d069


1705
05Cd-検2-d058

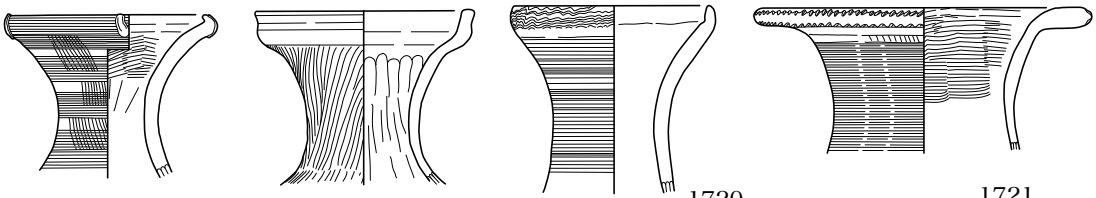

1706
05Cd-検出2-d059-2


1707
05Cd-検2-d060-2

05Ce


05Ce-046SK-d050 1708
1711
05Ce-012SB-d007
1714
05Ce-010SK-d008
1709
05Ce-082SK-p698
05Ce-058SB-p697 1712
1715
05Ce-077SK-d046
1710
05Ce-082SK-p699
1713
05Ce-006SD-p696
1716
05Ce-006SD-p695
1717
05Ce-106P-d052

05Ce-SD

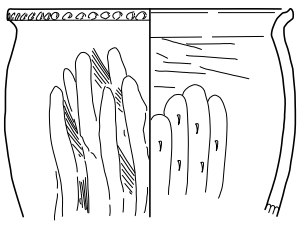


1718
05Ce-074SD-d043-1

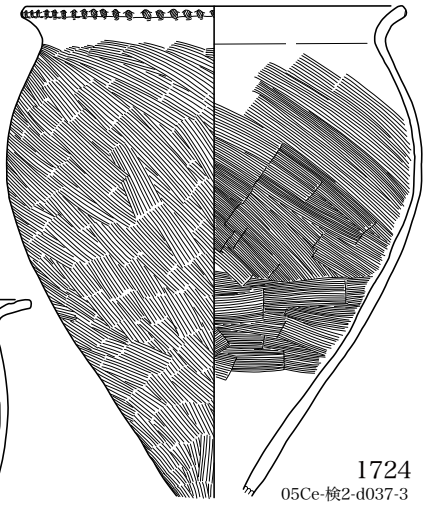
1719
05Ce-066SD-d044

1720
05Ce-076SD-d063

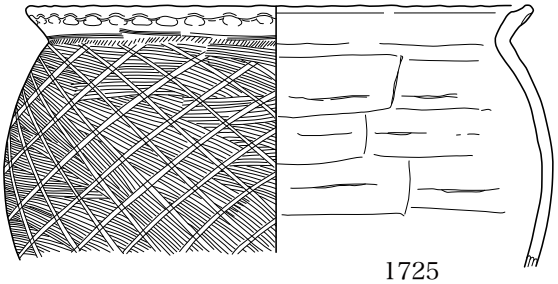
1721
05Ce-076SD-d064



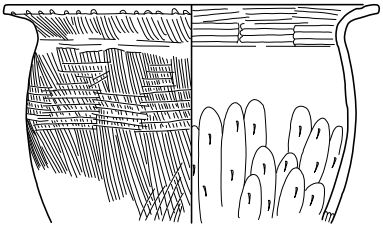
1722
05Ce-検2-d037-1



1724
05Ce-検2-d037-3

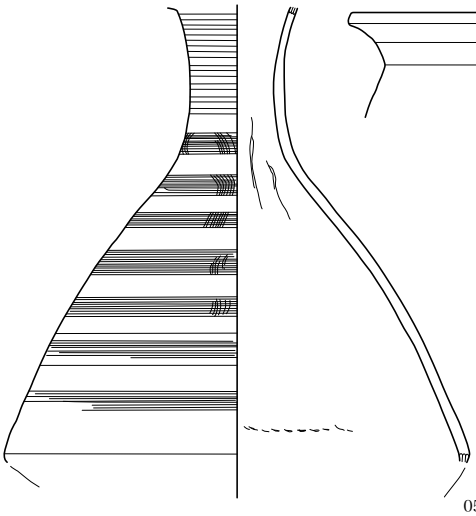


1725
05Ce-検2-d040

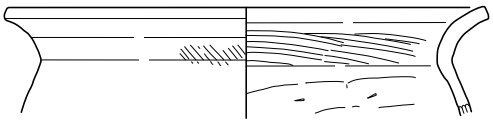


1723
05Ce-検2-d037-2

05Da

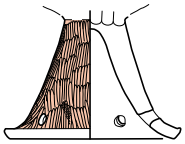


1726
05Da-SK08-29

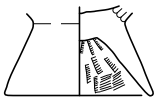


1727
05Da-西トレ-d006

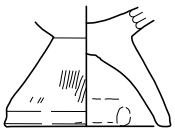
1728
05Da-西トレ-d005



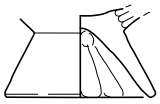
1729
05Da-検-d012



05Da-検2-d020-3 1730

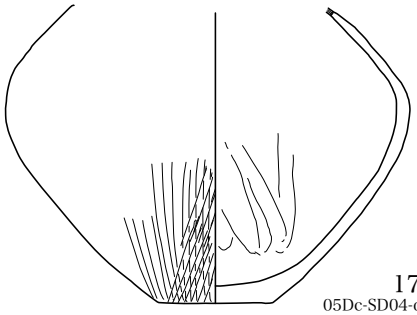


05Da-検2-d020-1 1731

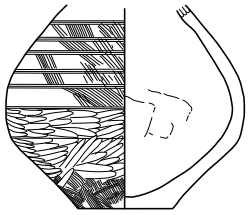


05Da-検2-d020-2 1732

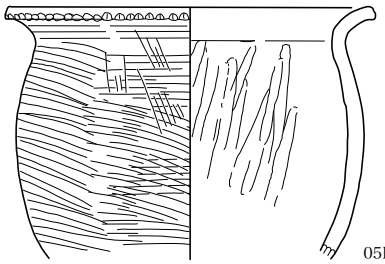
05Dc



1733
05Dc-SD04-d010

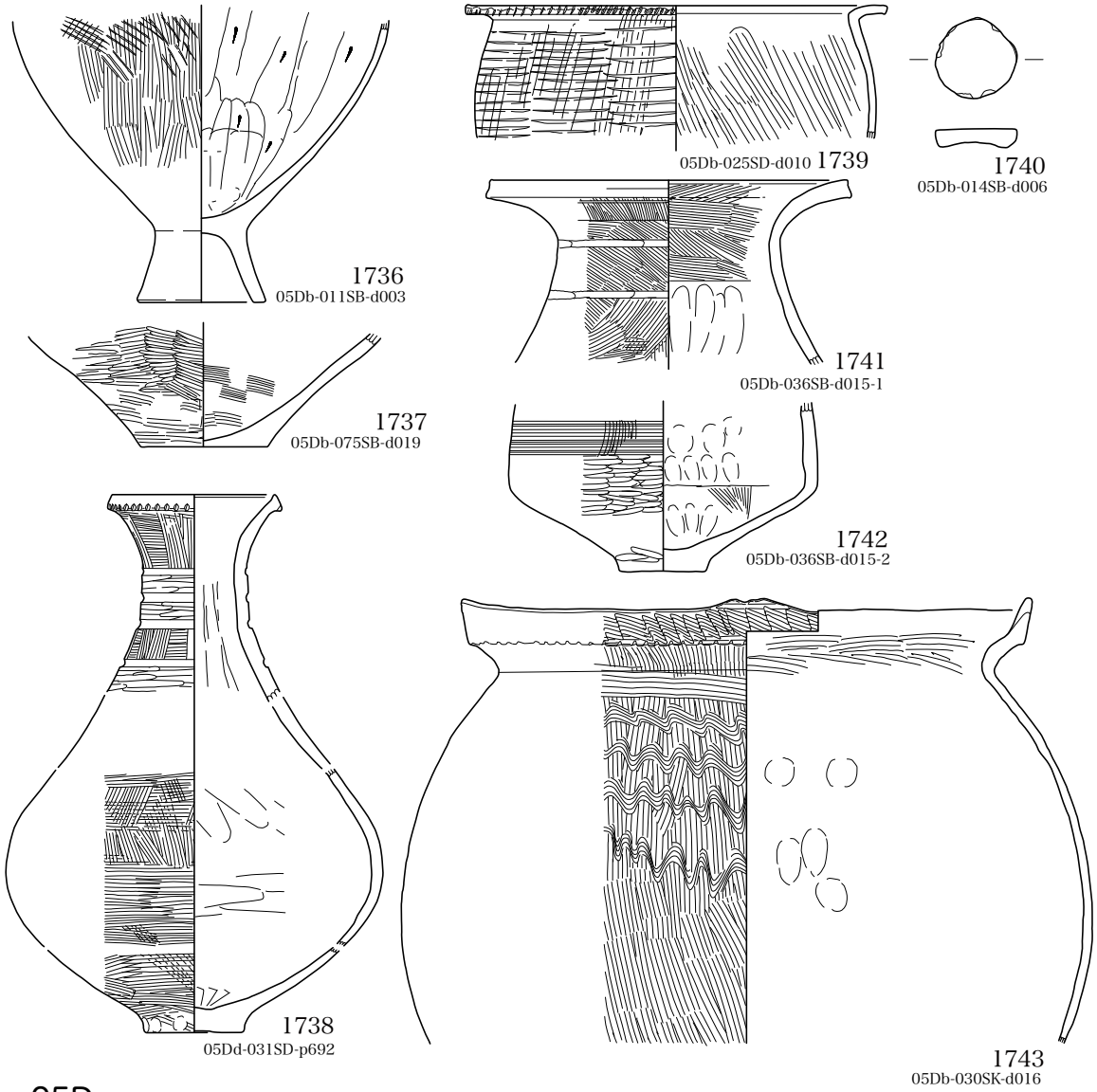


1734
05Dc-SD09-d018

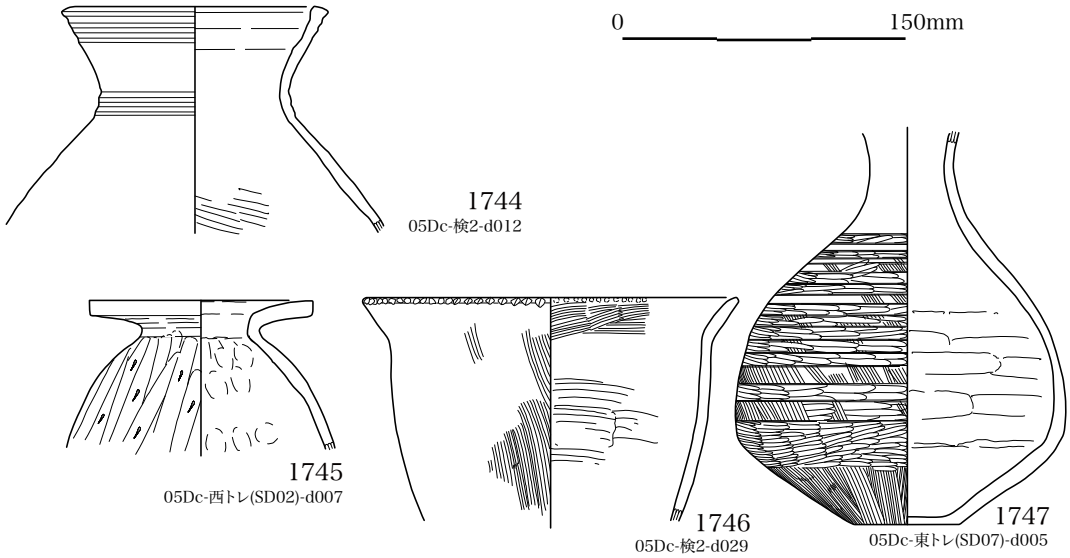


1735
05Dc-SD08-d035

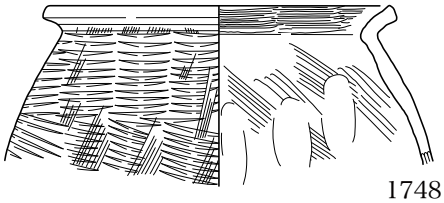
05Db


1736
05Db-011SB-d003
1737
05Db-075SB-d019
1738
05Dd-031SD-p692
05Db-025SD-d010 1739
1740
05Db-014SB-d006
1741
05Db-036SB-d015-1
1742
05Db-036SB-d015-2
1743
05Db-030SK-d016

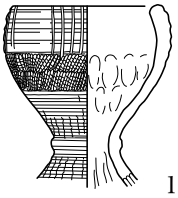
05Dc


0
150mm
1744
05Dc-検2-d012
1745
05Dc-西トレ(SD02)-d007
1746
05Dc-検2-d029
1747
05Dc-東トレ(SD07)-d005

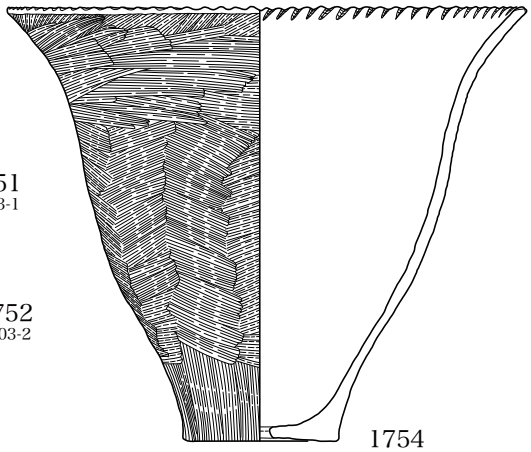
05De



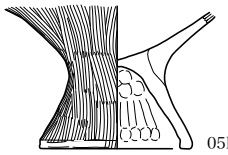
1748
05De-SK04-d004



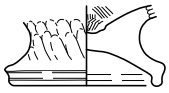
1751
05De-SK04-d003-1



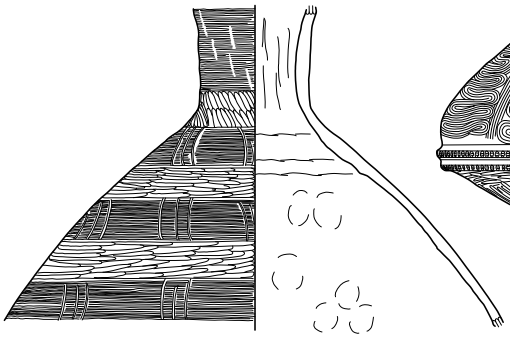
1754
05De-SD02-南セク-d011



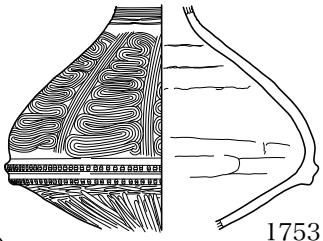
1749
05De-SK04-d005



1752
05De-SK04-d003-2

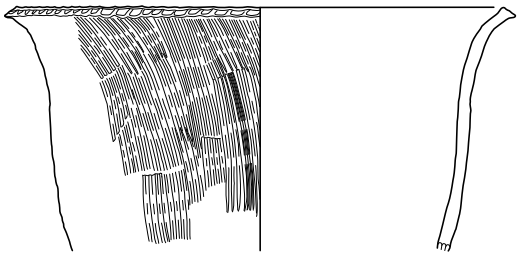


1750
05De-P13-d010

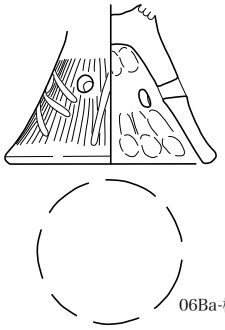


1753
05De-SD01-d006

06Ba

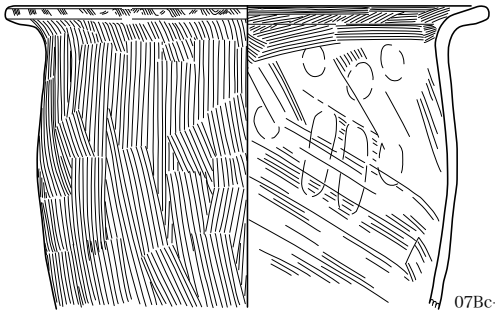


1755
06Ba-検2-d078



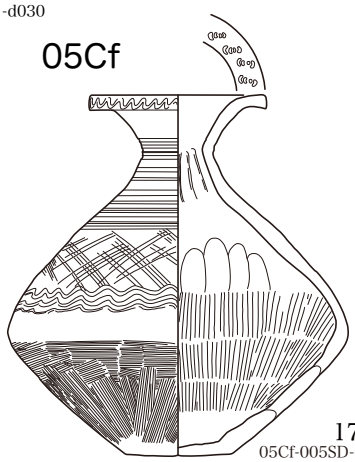
1756
06Ba-検2-d030

07Bc



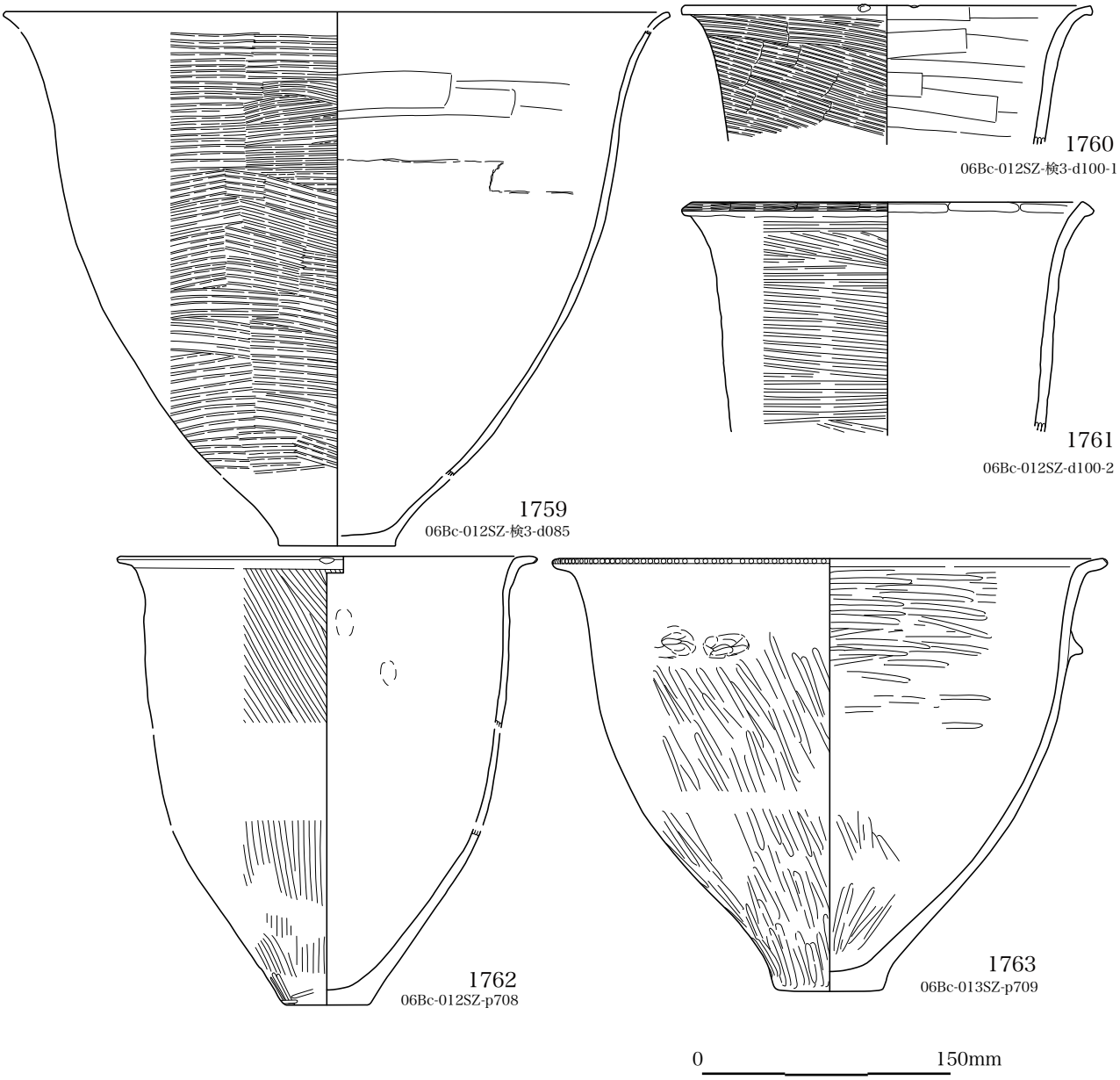
1757
07Bc-001SD-d002

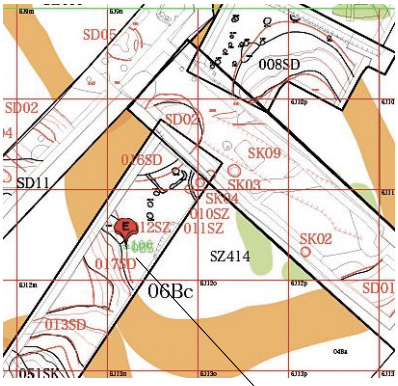
05Cf



1758
05Cf-005SD-d001

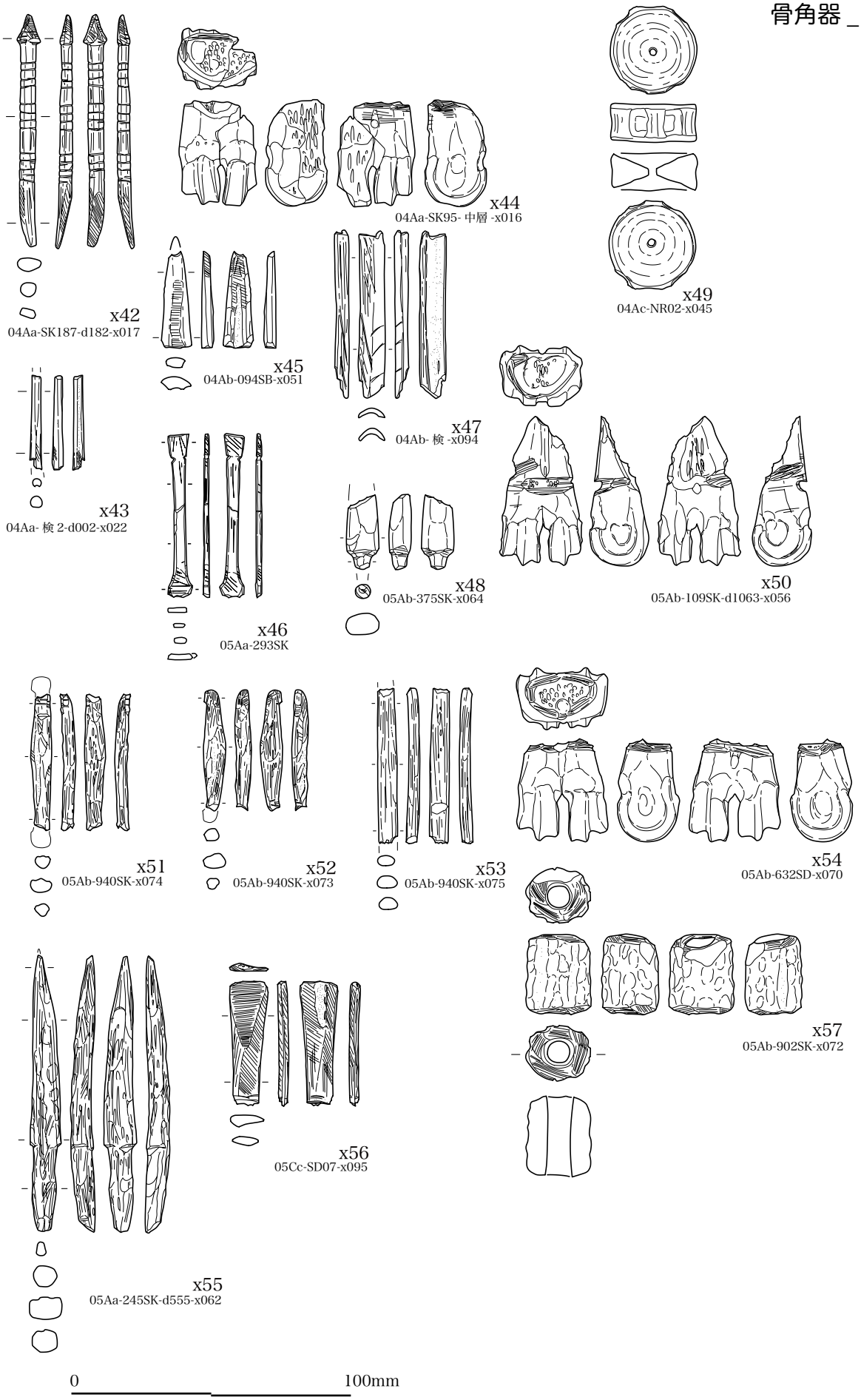
06Bc-周溝墓下層



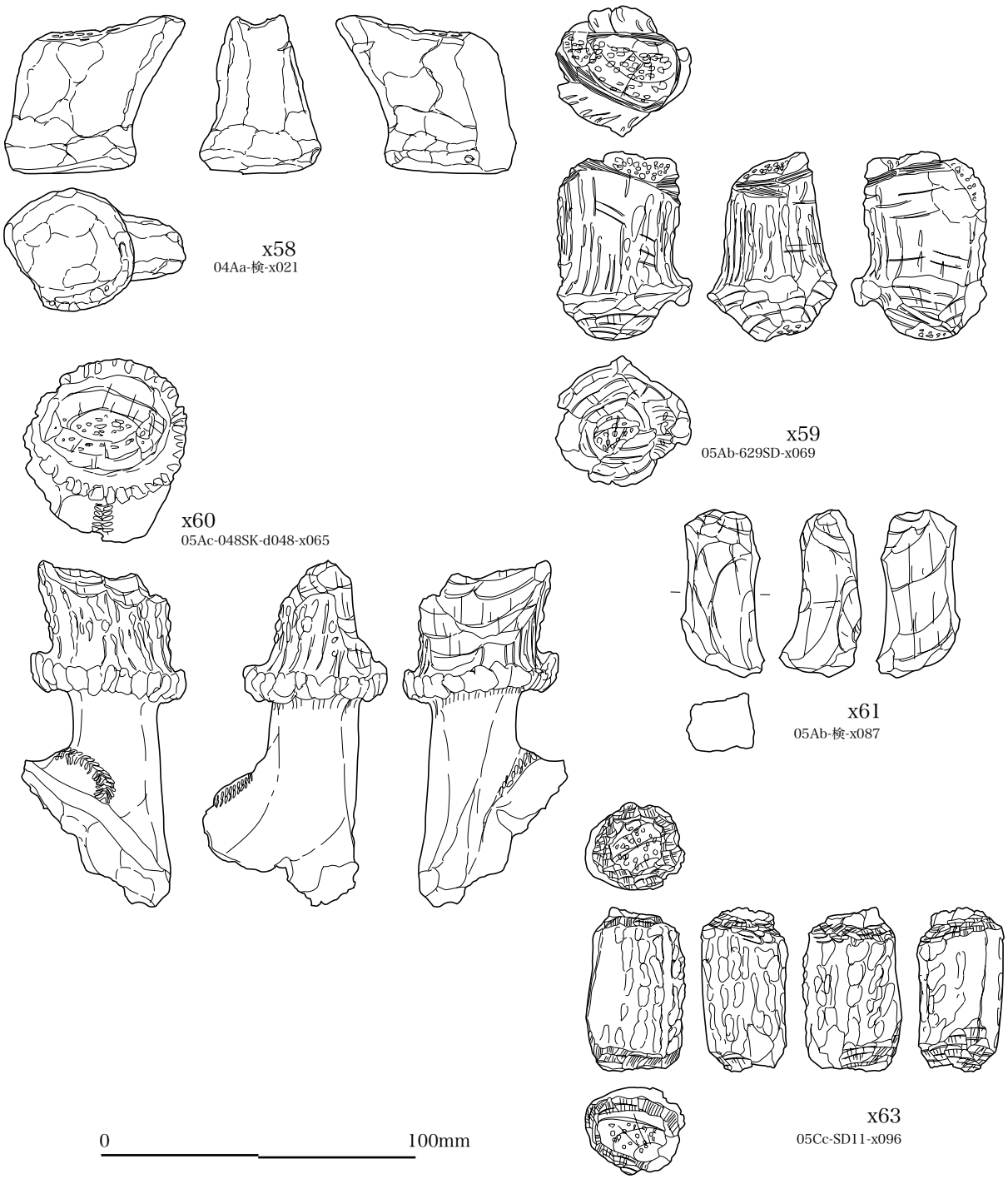


1759.1760.1761

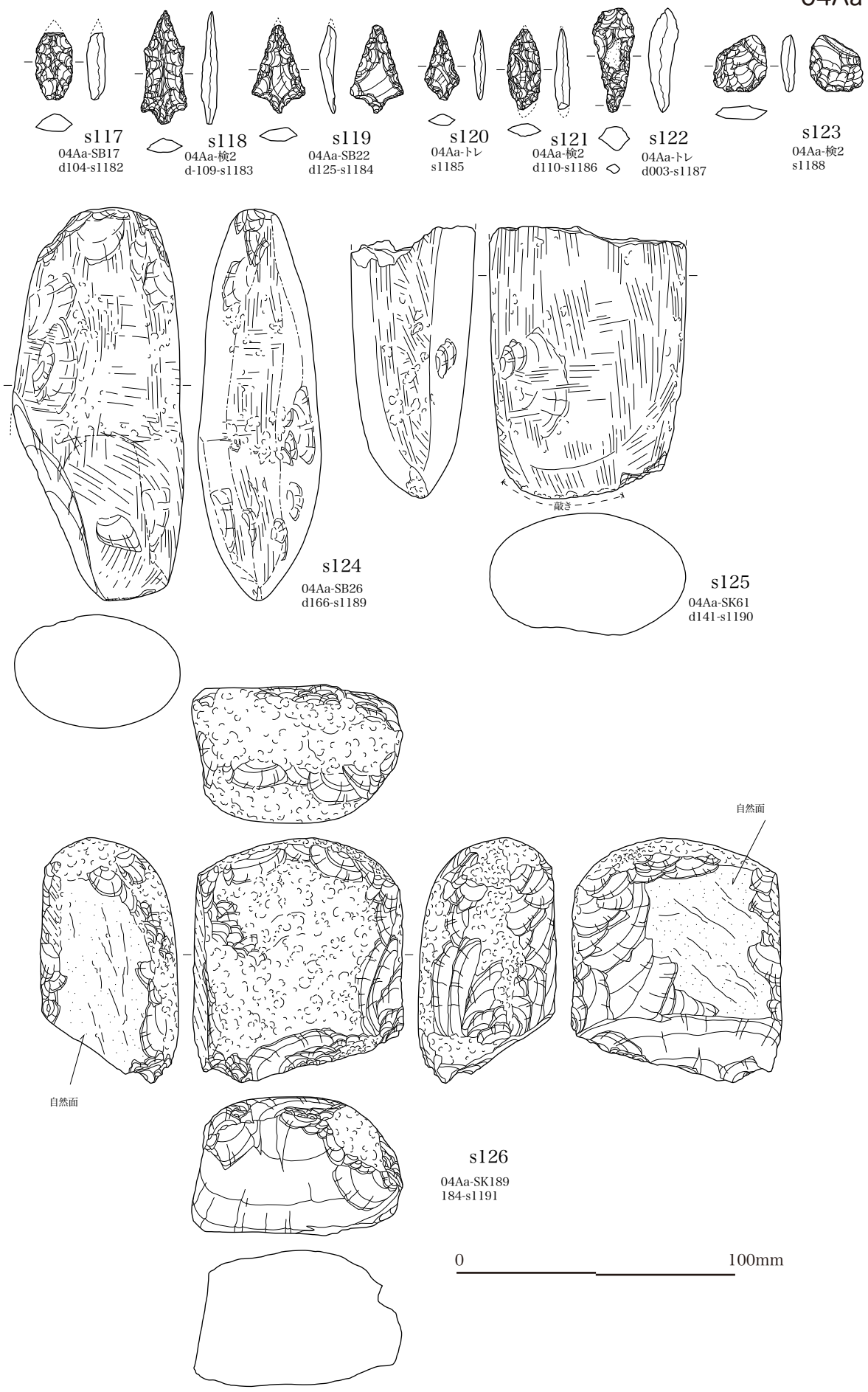
骨角器 _1


x42
04Aa-SK187-d182-x017
x44
04Aa-SK95- 中層 -x016
x49
04Ac-NR02-x045
x45
04Ab-094SB-x051
x47
04Ab- 検 -x094
x43
04Aa- 検 2-d002-x022
x48
05Ab-375SK-x064
x50
05Ab-109SK-d1063-x056
x46
05Aa-293SK
x51
05Ab-940SK-x074
x52
05Ab-940SK-x073
x53
05Ab-940SK-x075
x54
05Ab-632SD-x070
x57
05Ab-902SK-x072
x56
05Cc-SD07-x095
x55
05Aa-245SK-d555-x062
0
100mm

骨角器 _2


x58
04Aa-検-x021
x59
05Ab-629SD-x069
x60
05Ac-048SK-d048-x065
x61
05Ab-検-x087
x63
05Cc-SD11-x096
0
100mm

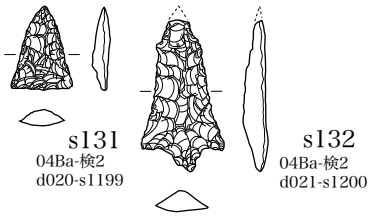
04Aa


s117
04Aa-SB17
d104-s1182
s118
04Aa-検2
d-109-s1183
s119
04Aa-SB22
d125-s1184
s120
04Aa-トレ
s1185
s121
04Aa-検2
d110-s1186
s122
04Aa-トレ
d003-s1187
s123
04Aa-検2
s1188
s124
04Aa-SB26
d166-s1189
敲き
s125
04Aa-SK61
d141-s1190
自然面
自然面
s126
04Aa-SK189
184-s1191
0
100mm

04Aa

s127
04Aa-SB26
d165-s1193
s128
04Aa-SD10
d174-s1192
s129
04Aa-検2
s1195
s130
04Aa-SB25
d159-s1194
0
100mm

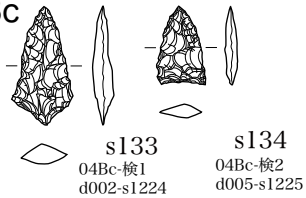
04Ba



s131
04Ba-検2
d020-s1199

s132
04Ba-検2
d021-s1200

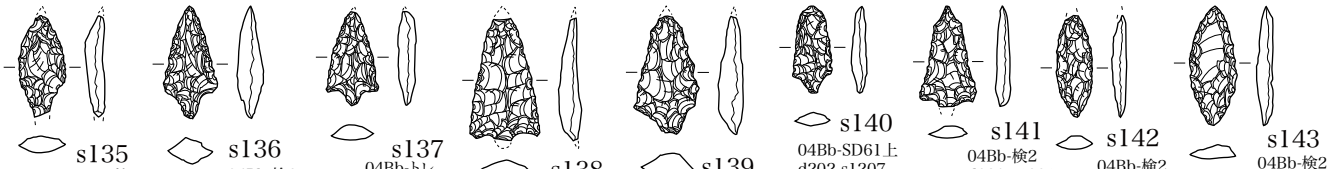
04Bc



s133
04Bc-検1
d002-s1224

s134
04Bc-検2
d005-s1225

04Bb



s135
04Bb-検2
d011-s1206

s136
04Bb-検2
d021-s1208

s137
04Bb-トレ
d005-s1211

s138
04Bb-SB22
s1202

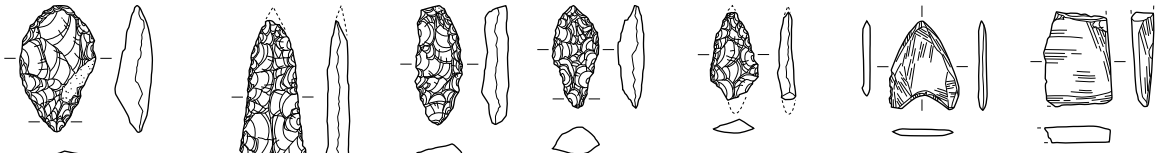
s139
04Bb-検2
d293-s1204

s140
04Bb-SD61上
d202-s1207

s141
04Bb-検2
d083-s1201

s142
04Bb-検2
d084-s1209

s143
04Bb-検2
s1203



s144
04Bb-検1
s1215

s145
04Bb-検2
d092-s1205

s146
04Bb-SD52
s1212

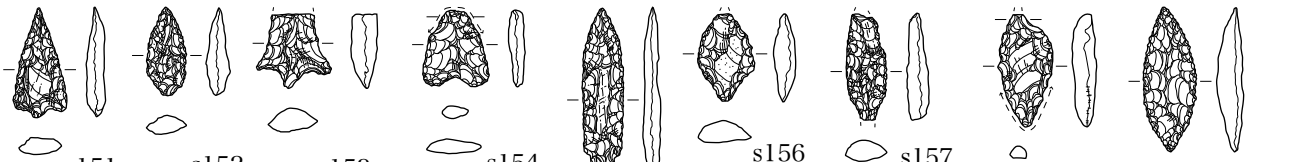
s147
04Bb-検2
d155-s1213

s148
04Bb-検2
d192-s1210

s149
04Bb-検2
d070-s1214

s150
04Bb-SD08上
d002-s1219

05Aa



s151
05Aa-検3
d401-s001

s152
05Aa-236SK
d438-s002

s153
05Aa-検3
d601-s003

s154
05Aa-検2
d069-s004

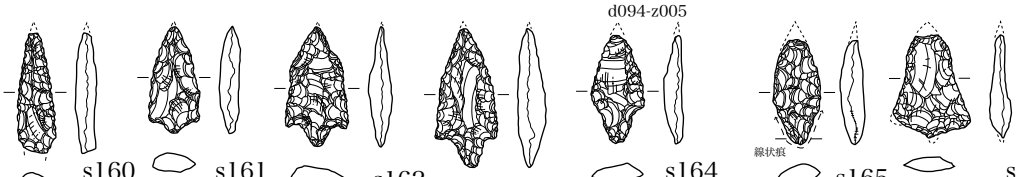
s155
05Aa-062SB
d094-z005

s156
05Aa-072SB
d116-s006

s157
05Aa-963SB
d112-s007

s158
05Aa-検1
d011-s037

s159
05Ab-1175SK
d967-s013



s160
05Ab-検3
d609-s008

s161
05Ab-936SK
d968-s010

s162
05Ab-検3
d430-s011

s163
05Ab-457SK
d809-s012

s164
05Ab-検2
d964-s015

s165
05Ab-検2
d292-s044

s166
05Ac-205SX
d413-s1147

05Ab

s167
05Ab-検2
d1014-s016

s168
05Ab-547SB
d910-s017

s169
05Ab-079SB
d226-s018

s170
05Ab-検2
d299-s019

s171
05Ab-検1
d056-s020

s172
05Ab-検2
d881-s021

s173
05Ab-検2
d174-s022

s174
05Ab-検2
d757-s025

s175
05Ab-検2
d882-s039

s176
05Ab-検2
d177-s028

s177
05Ab-検2
d1017-s029

s178
05Ab-191.445SK
s1099

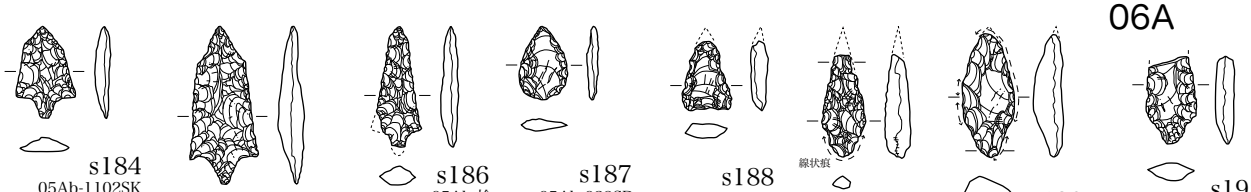
s179
05Ab-021SD
s1100

s180
05Ab-検1
s1101

s182
05Ab-検2
d151-s030

s183
05Ab-検2
s1105

06A



s184
05Ab-1102SK
s1094

s185
05Ab-トレ
s1097

s186
05Ab-検
s1104

s187
05Ab-028SD
s1140

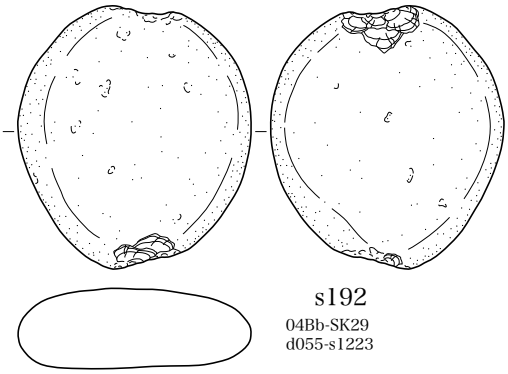
s188
05Ab-066SB
d146-s040

s189
05Ab-020SK
d017-s034

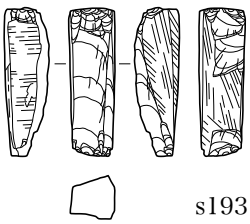
s190
05Ab-検2
d863-s043

s191
06A-トレ
s1031

04Bb

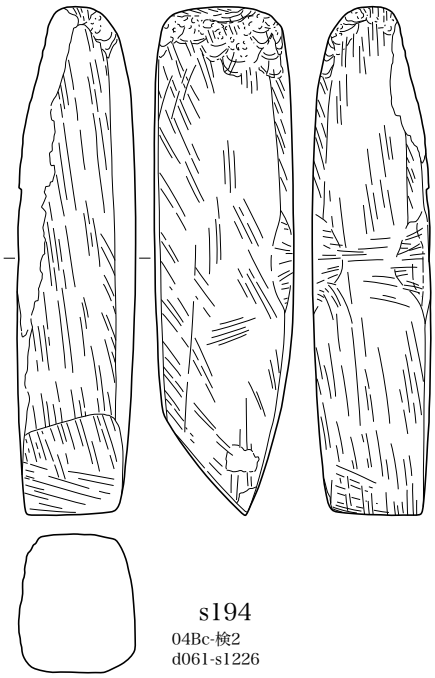


s192
04Bb-SK29
d055-s1223

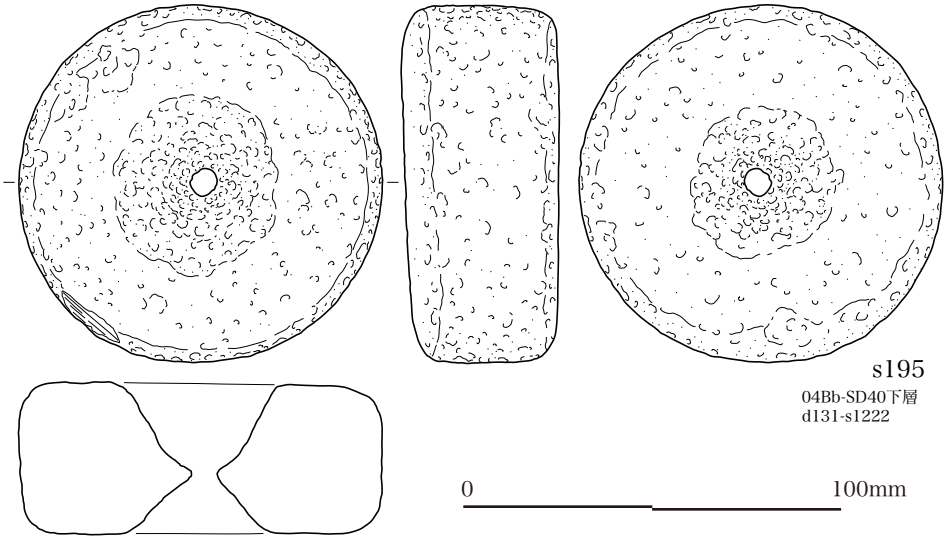


s193
04Bb-SB20
d296-s1221

04Bc

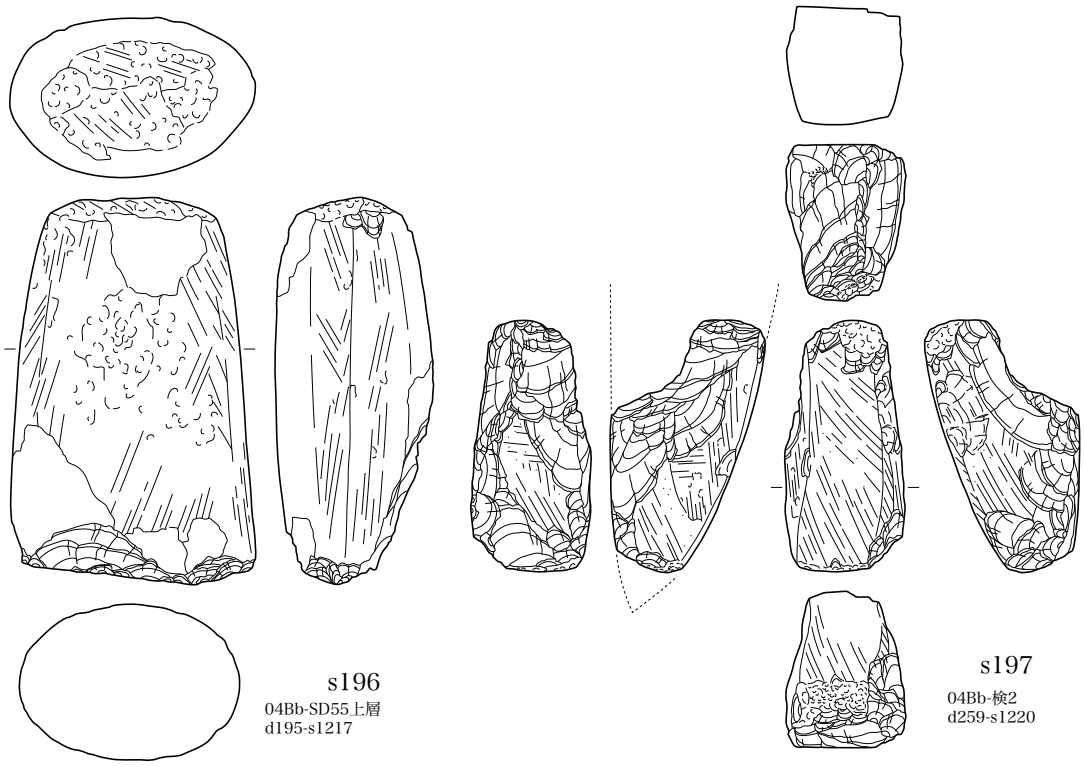


s194
04Bc-検2
d061-s1226



s195
04Bb-SD40下層
d131-s1222

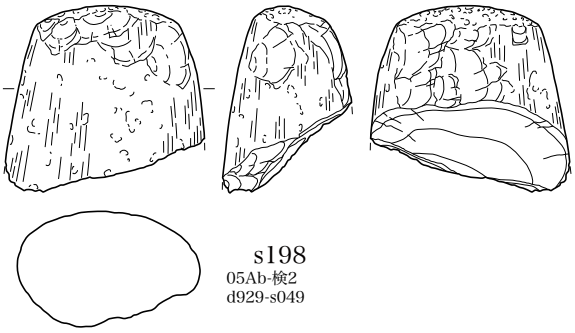
0 100mm



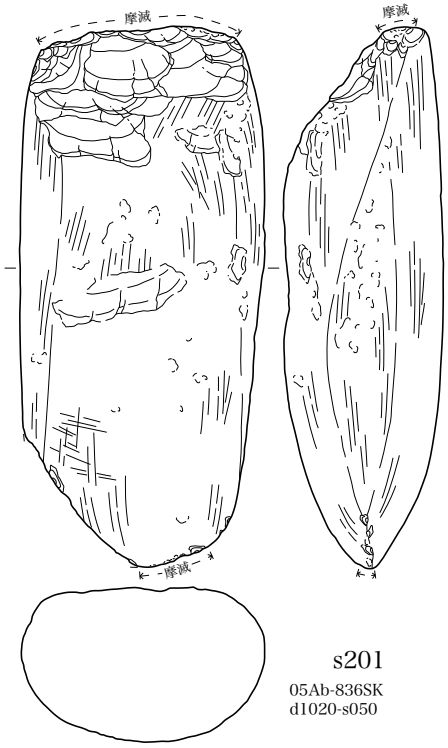
s196
04Bb-SD55上層
d195-s1217

s197
04Bb-検2
d259-s1220

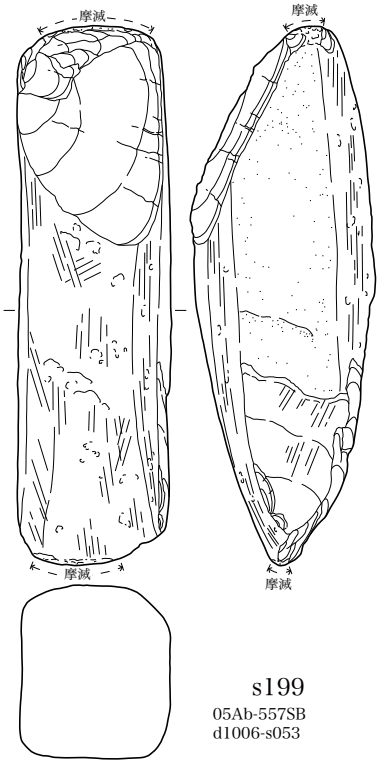
05Ab



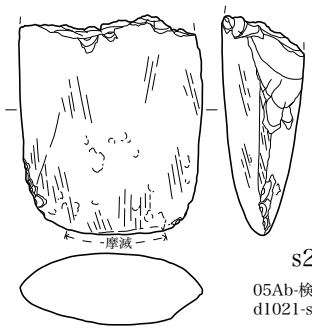
s198
05Ab-検2
d929-s049



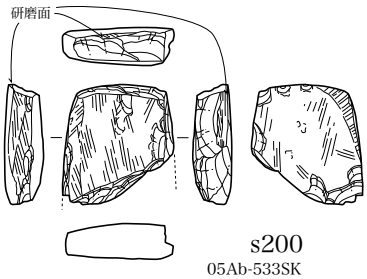
s201
05Ab-836SK
d1020-s050



s199
05Ab-557SB
d1006-s053



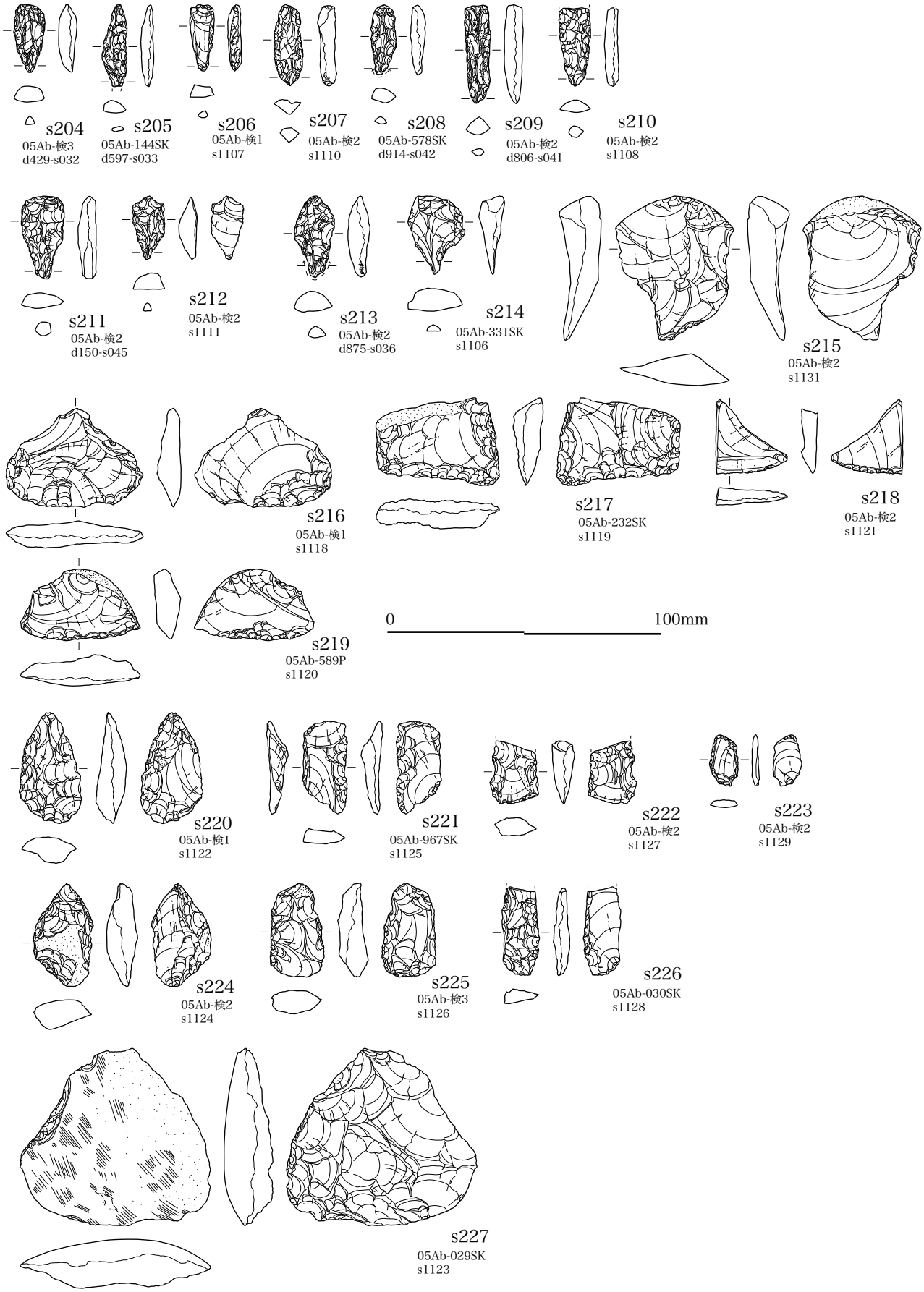
s202
05Ab-検2
d1021-s051



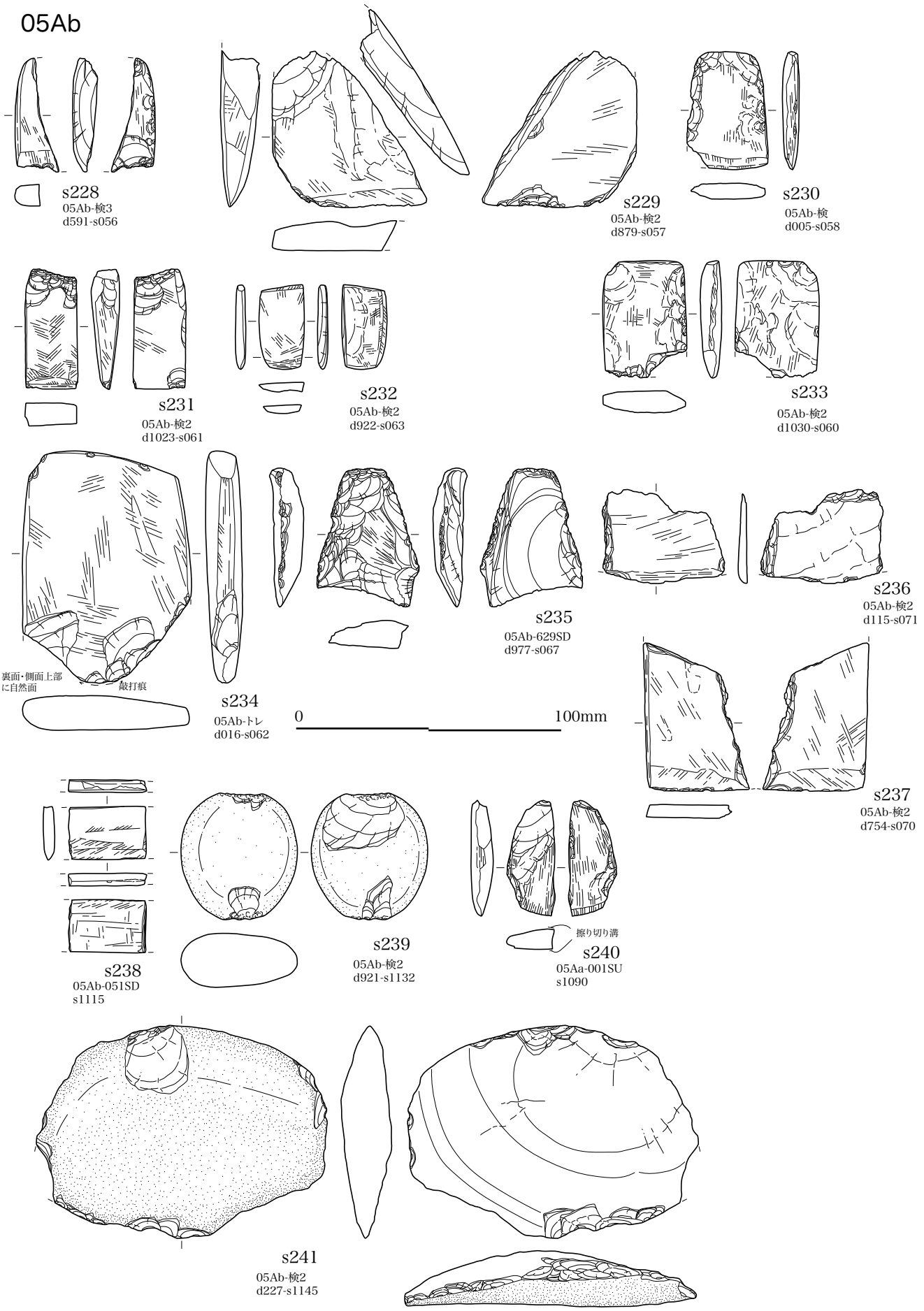
s200
05Ab-533SK
s1114

s203
05Ab-検2
d139-s052

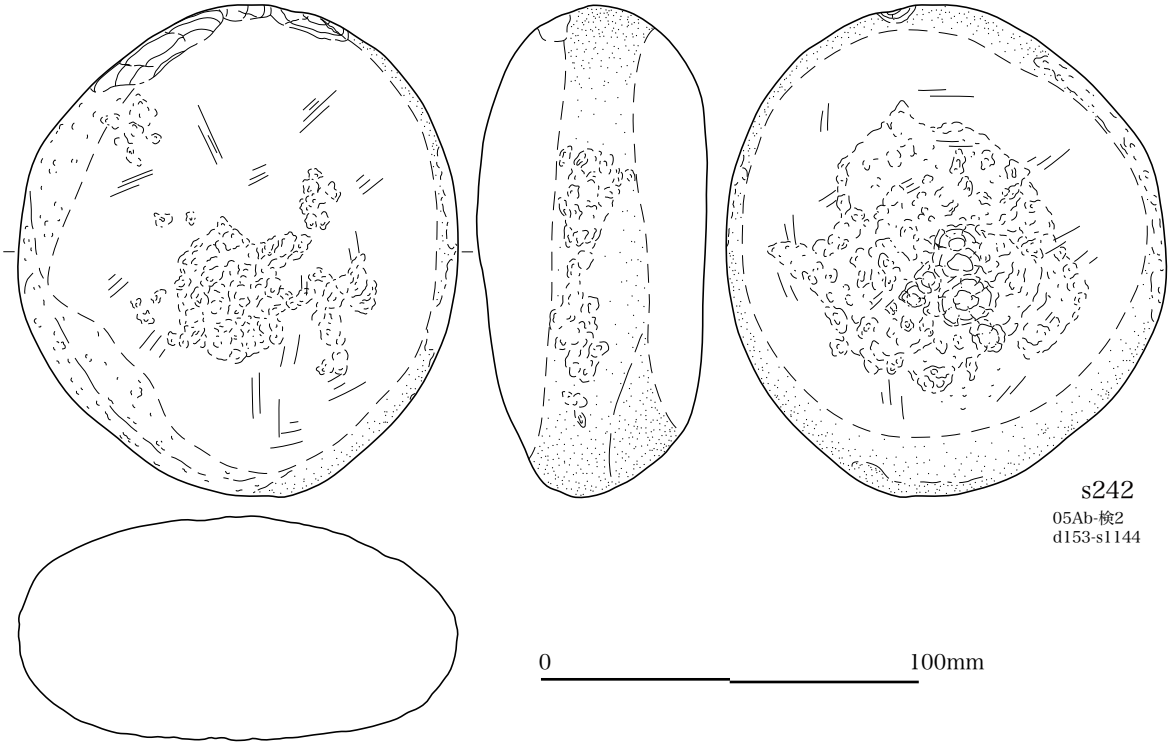
05Ab


s204
05Ab-検3
d429-s032
s205
05Ab-144SK
d597-s033
s206
05Ab-検1
s1107
s207
05Ab-検2
s1110
s208
05Ab-578SK
d914-s042
s209
05Ab-検2
d806-s041
s210
05Ab-検2
s1108
s211
05Ab-検2
d150-s045
s212
05Ab-検2
s1111
s213
05Ab-検2
d875-s036
s214
05Ab-331SK
s1106
s215
05Ab-検2
s1131
s216
05Ab-検1
s1118
s217
05Ab-232SK
s1119
s218
05Ab-検2
s1121
s219
05Ab-589P
s1120
0
100mm
s220
05Ab-検1
s1122
s221
05Ab-967SK
s1125
s222
05Ab-検2
s1127
s223
05Ab-検2
s1129
s224
05Ab-検2
s1124
s225
05Ab-検3
s1126
s226
05Ab-030SK
s1128
s227
05Ab-029SK
s1123

05Ab


s228
05Ab-検3
d591-s056
s229
05Ab-検2
d879-s057
s230
05Ab-検
d005-s058
s231
05Ab-検2
d1023-s061
s232
05Ab-検2
d922-s063
s233
05Ab-検2
d1030-s060
裏面・側面上部に自然面
敲打痕
s234
05Ab-トレ
d016-s062
0
100mm
s235
05Ab-629SD
d977-s067
s236
05Ab-検2
d115-s071
s237
05Ab-検2
d754-s070
s238
05Ab-051SD
s1115
s239
05Ab-検2
d921-s1132
擦り切り溝
s240
05Aa-001SU
s1090
s241
05Ab-検2
d227-s1145

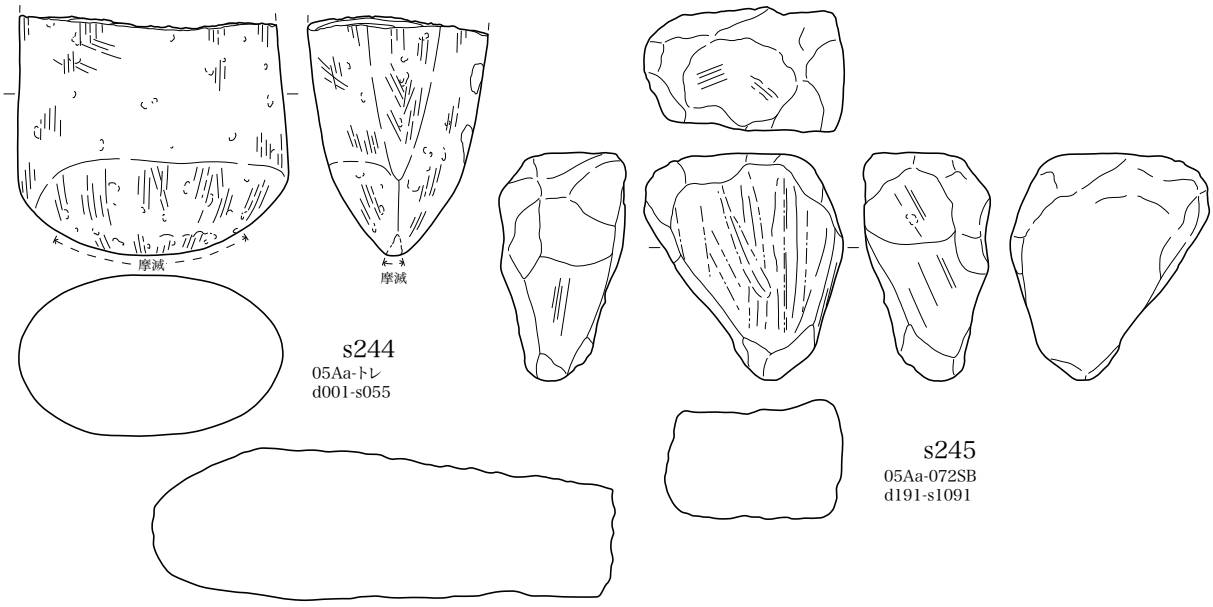
05Ab



s242
05Ab-検2
d153-s1144

s243
05Ab-634SB
d1135-s1135

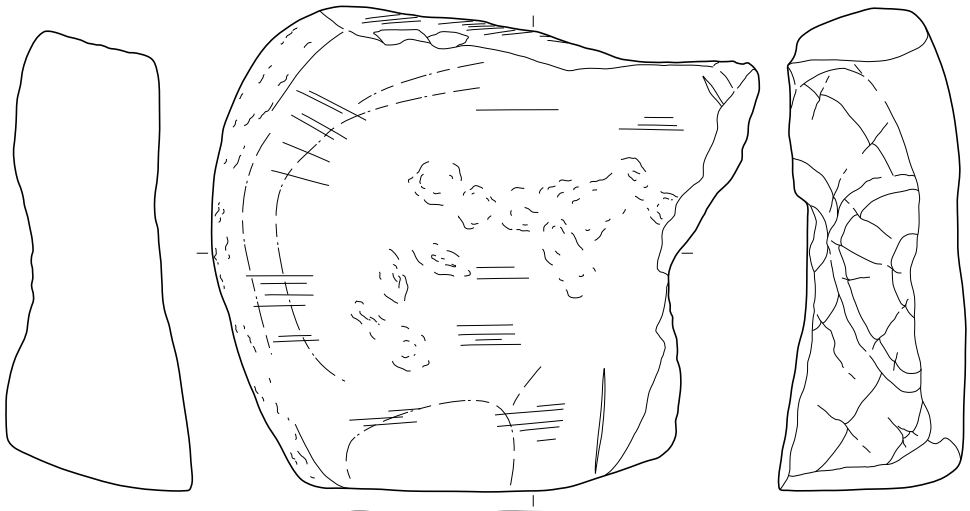
05Aa



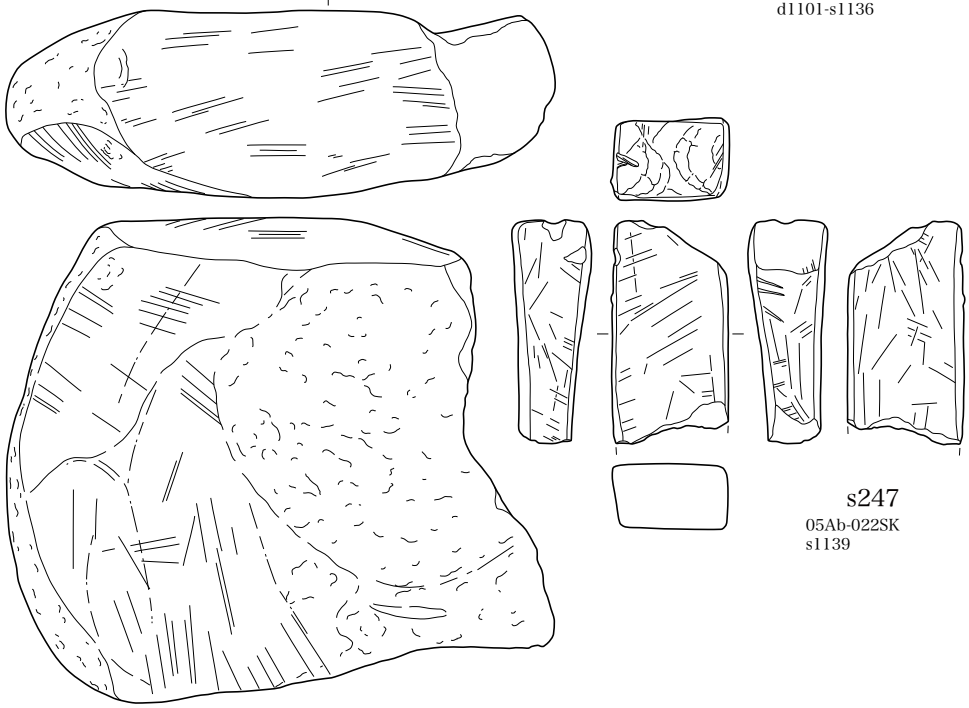
s244
05Aa-トレ
d001-s055

s245
05Aa-072SB
d191-s1091

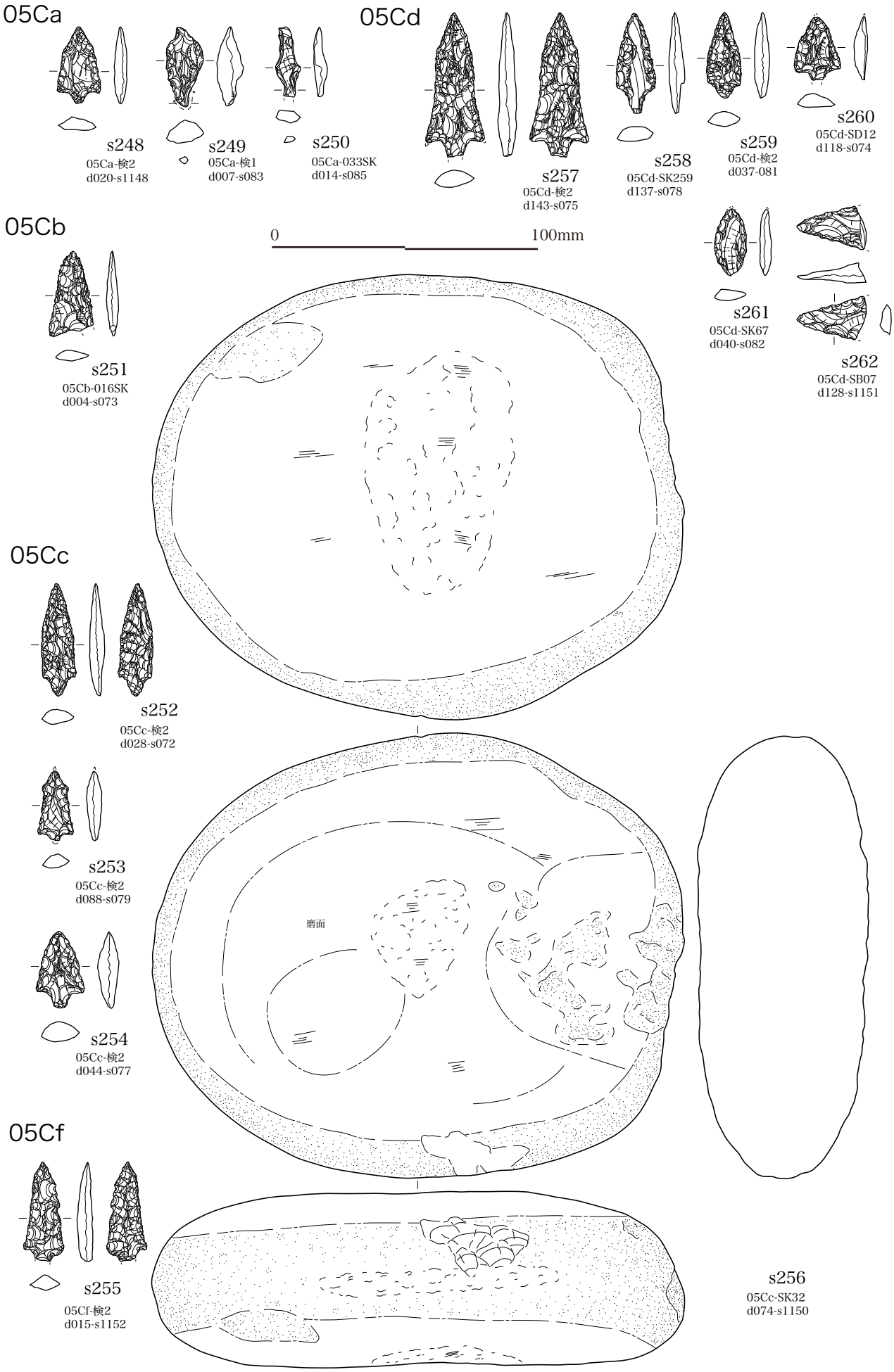
05Ab



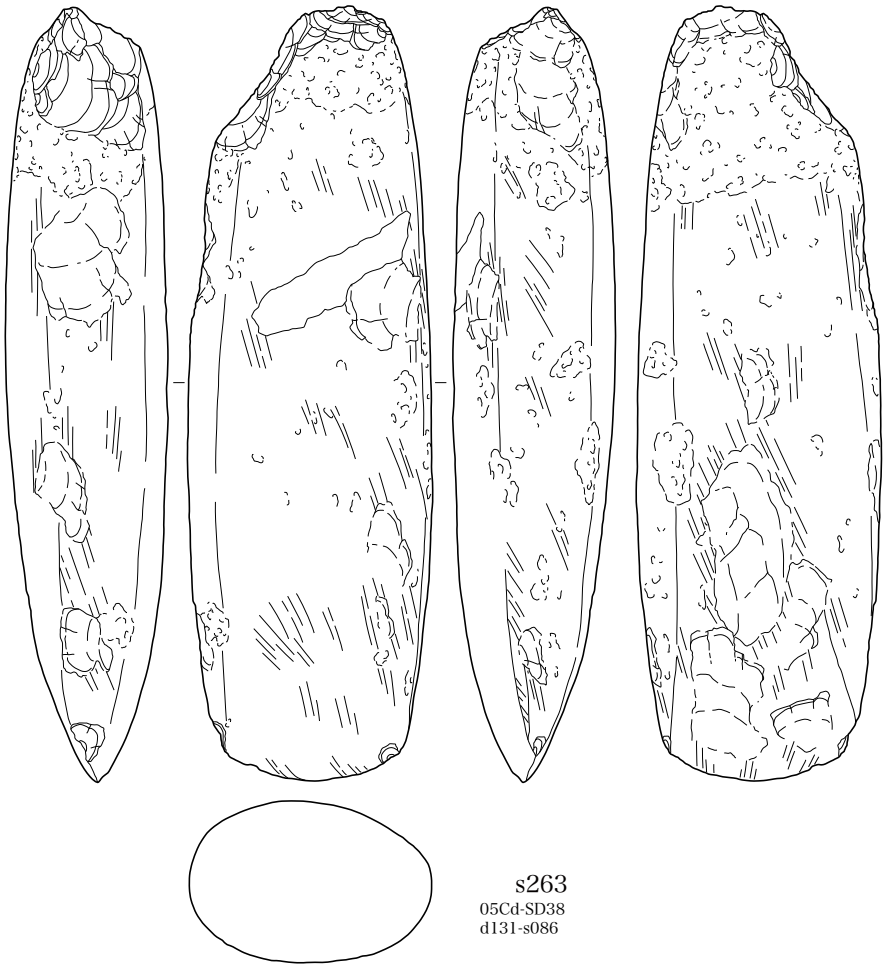
s246
05Ab-779SB
d1101-s1136



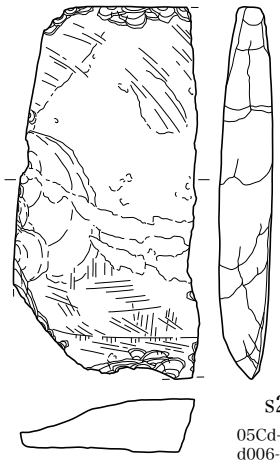
s247
05Ab-022SK
s1139


05Ca
s248
05Ca-検2
d020-s1148
s249
05Ca-検1
d007-s083
s250
05Ca-033SK
d014-s085
05Cd
s257
05Cd-検2
d143-s075
s258
05Cd-SK259
d137-s078
s259
05Cd-検2
d037-081
s260
05Cd-SD12
d118-s074
s261
05Cd-SK67
d040-s082
s262
05Cd-SB07
d128-s1151
05Cb
s251
05Cb-016SK
d004-s073
0
100mm
05Cc
s252
05Cc-検2
d028-s072
s253
05Cc-検2
d088-s079
s254
05Cc-検2
d044-s077
磨面
05Cf
s255
05Cf-検2
d015-s1152
s256
05Cc-SK32
d074-s1150

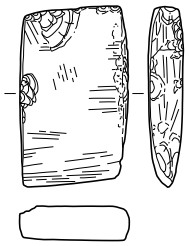
05Cd



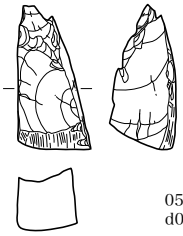
s263
05Cd-SD38
d131-s086



s264
05Cd-SK03
d006-s093

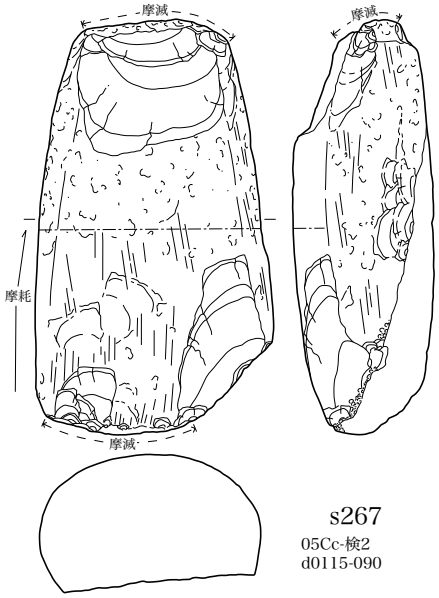


s265
05Cd-SK79
d117-s098

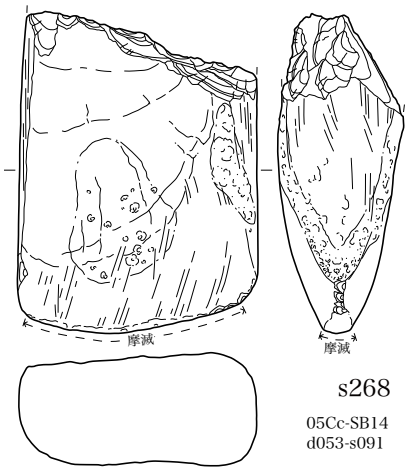


s266
05Cd-SK112
d098-s096

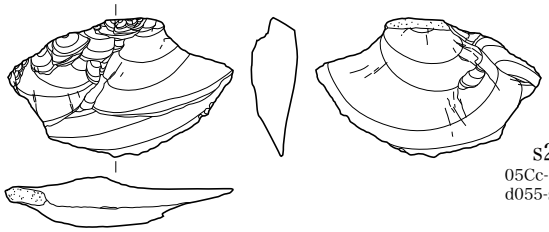
05Cc



s267
05Cc-検2
d0115-090

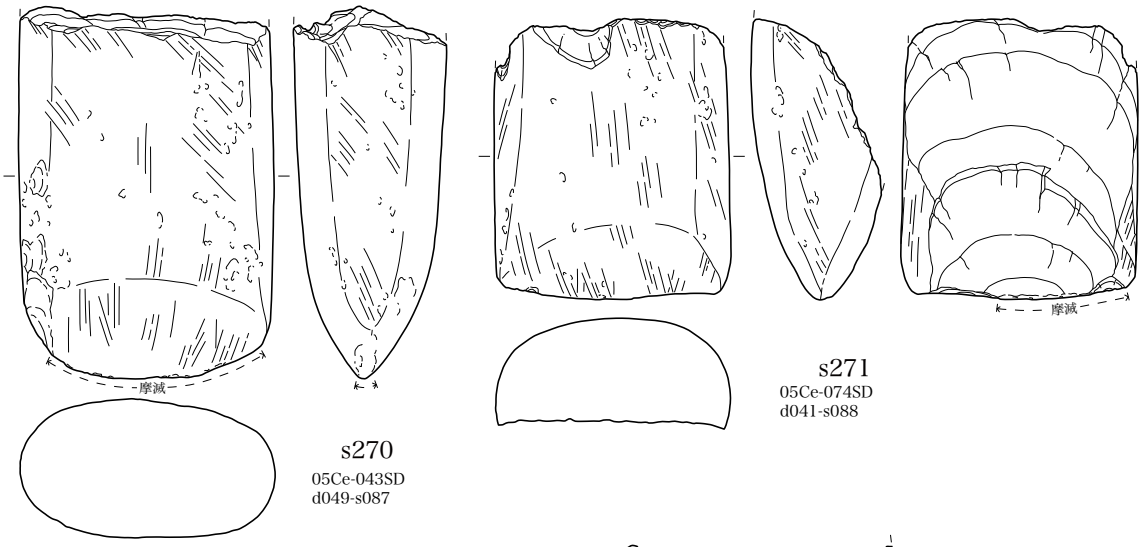


s268
05Cc-SB14
d053-s091



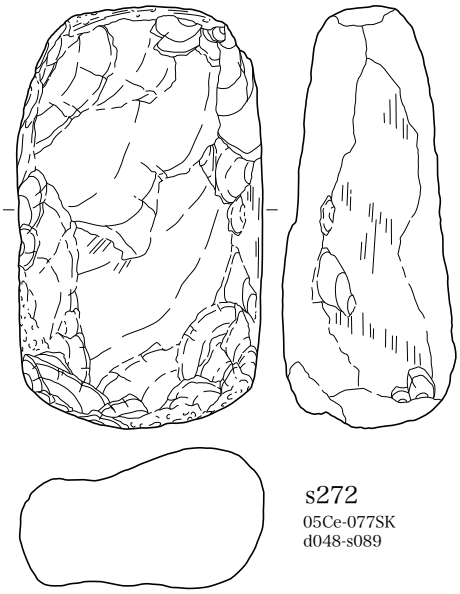
s269
05Cc-SB11
d055-s1149

05Ce

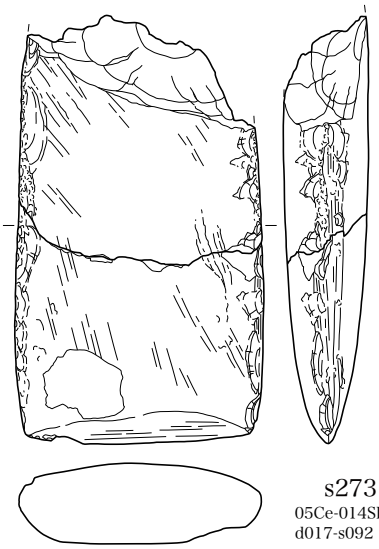


s270
05Ce-043SD
d049-s087

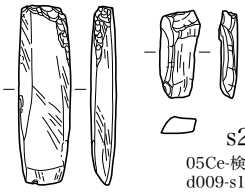
s271
05Ce-074SD
d041-s088



s272
05Ce-077SK
d048-s089



s273
05Ce-014SD
d017-s092

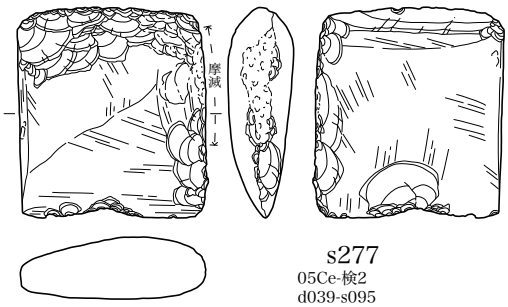


s276
05Ce-検1
d009-s100A

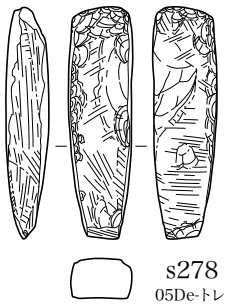
s274
05Ce-トレ
d003-s099

s275
05Ce-検1
d009-s100B

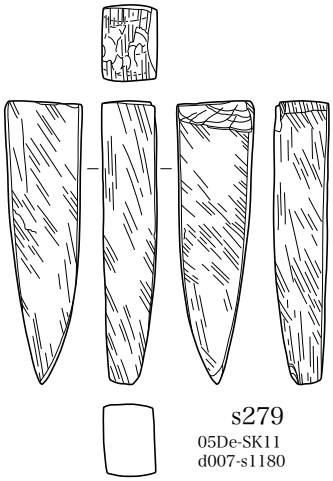
05De



s277
05Ce-検2
d039-s095

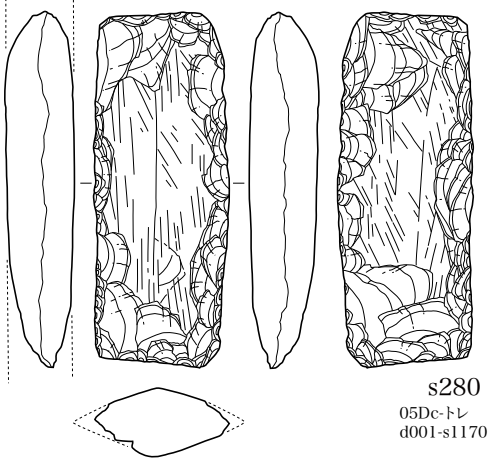


s278
05De-トレ
d001-s1179

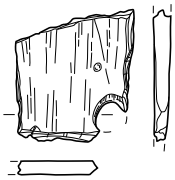


s279
05De-SK11
d007-s1180

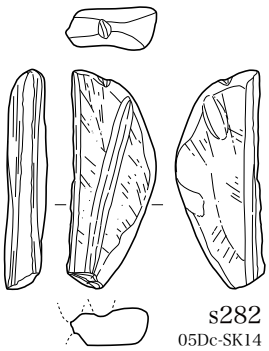
05Dc



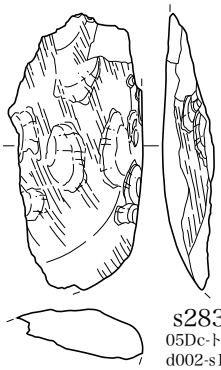
s280
05Dc-トレ
d001-s1170



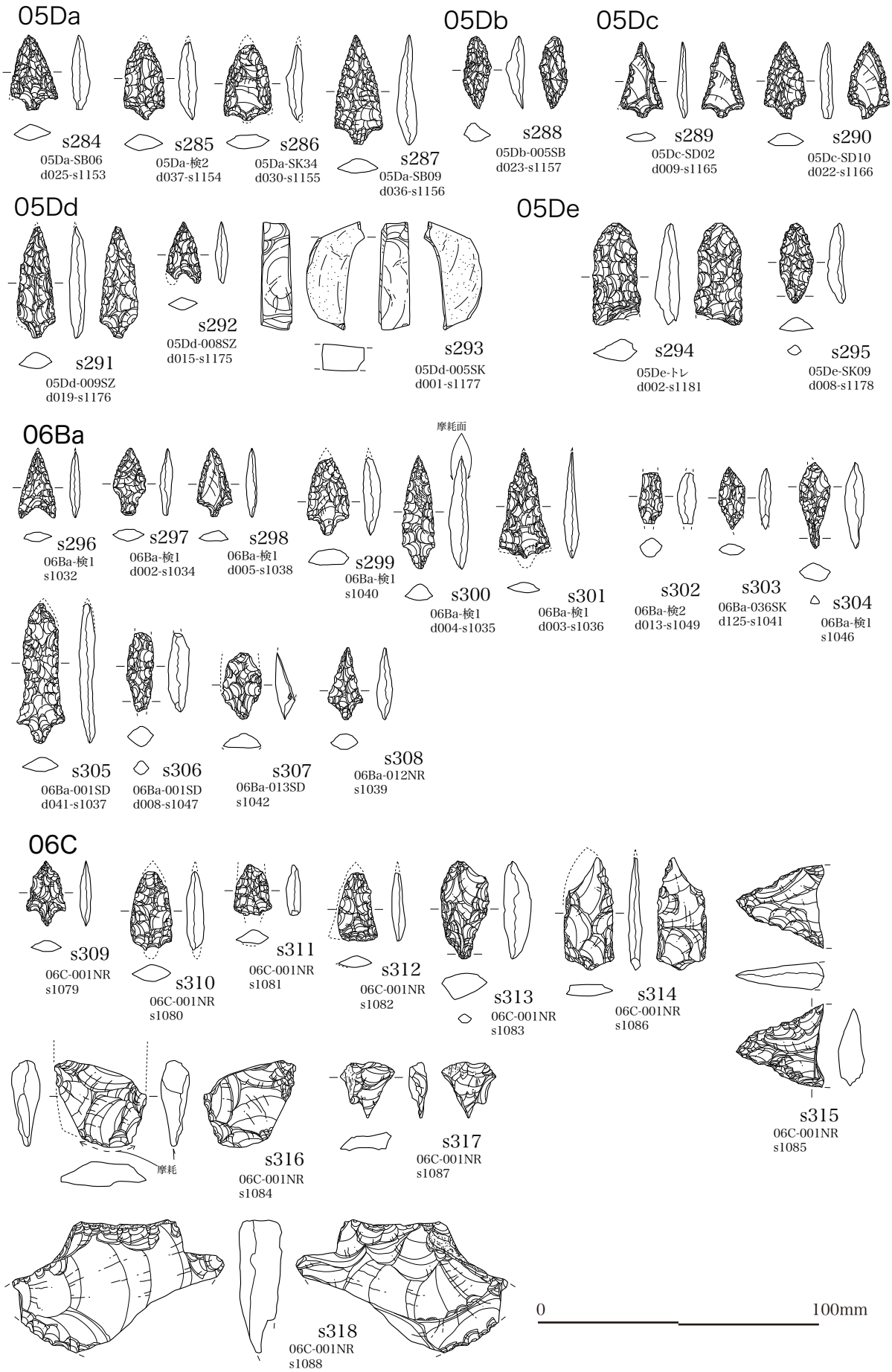
s281
05Dc-SD24
s1167



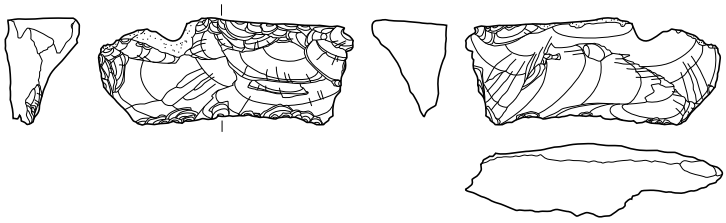
s282
05Dc-SK14
s1173



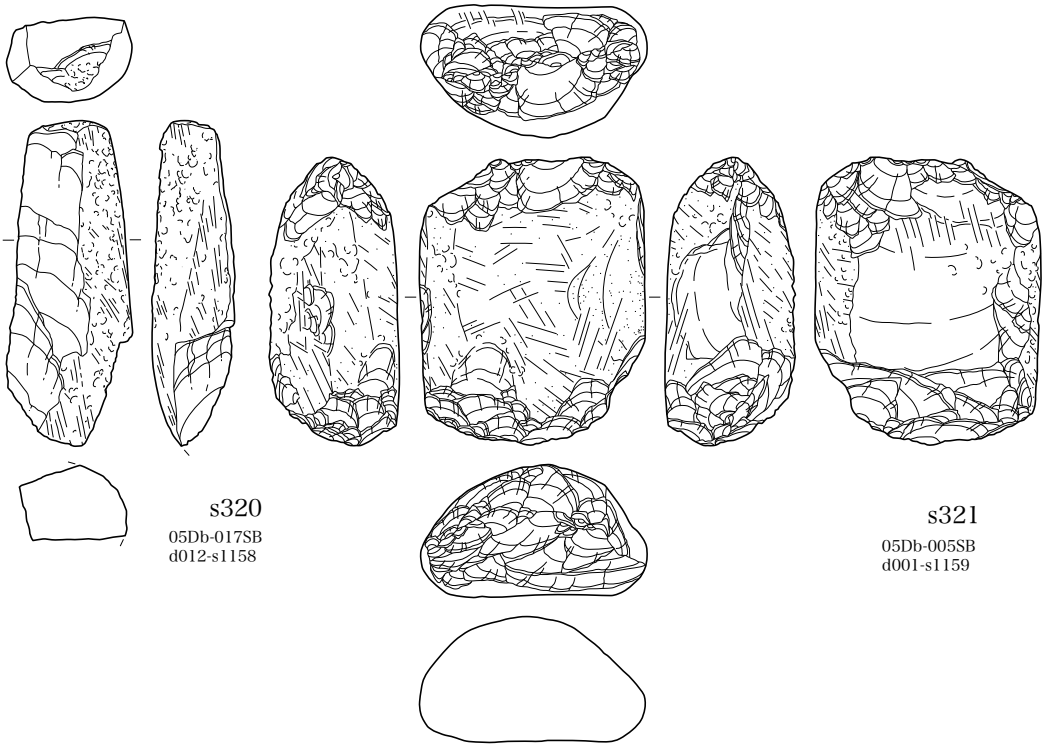
s283
05Dc-トレ
d002-s1167


05Da
s284
05Da-SB06
d025-s1153
s285
05Da-検2
d037-s1154
s286
05Da-SK34
d030-s1155
s287
05Da-SB09
d036-s1156
05Db
s288
05Db-005SB
d023-s1157
05Dc
s289
05Dc-SD02
d009-s1165
s290
05Dc-SD10
d022-s1166
05Dd
s291
05Dd-009SZ
d019-s1176
s292
05Dd-008SZ
d015-s1175
s293
05Dd-005SK
d001-s1177
05De
s294
05De-トレ
d002-s1181
s295
05De-SK09
d008-s1178
06Ba
s296
06Ba-検1
s1032
s297
06Ba-検1
d002-s1034
s298
06Ba-検1
d005-s1038
s299
06Ba-検1
s1040
摩耗面
s300
06Ba-検1
d004-s1035
s301
06Ba-検1
d003-s1036
s302
06Ba-検2
d013-s1049
s303
06Ba-036SK
d125-s1041
s304
06Ba-検1
s1046
s305
06Ba-001SD
d041-s1037
s306
06Ba-001SD
d008-s1047
s307
06Ba-013SD
s1042
s308
06Ba-012NR
s1039
06C
s309
06C-001NR
s1079
s310
06C-001NR
s1080
s311
06C-001NR
s1081
s312
06C-001NR
s1082
s313
06C-001NR
s1083
s314
06C-001NR
s1086
s315
06C-001NR
s1085
摩耗
s316
06C-001NR
s1084
s317
06C-001NR
s1087
s318
06C-001NR
s1088
0
100mm

05Db

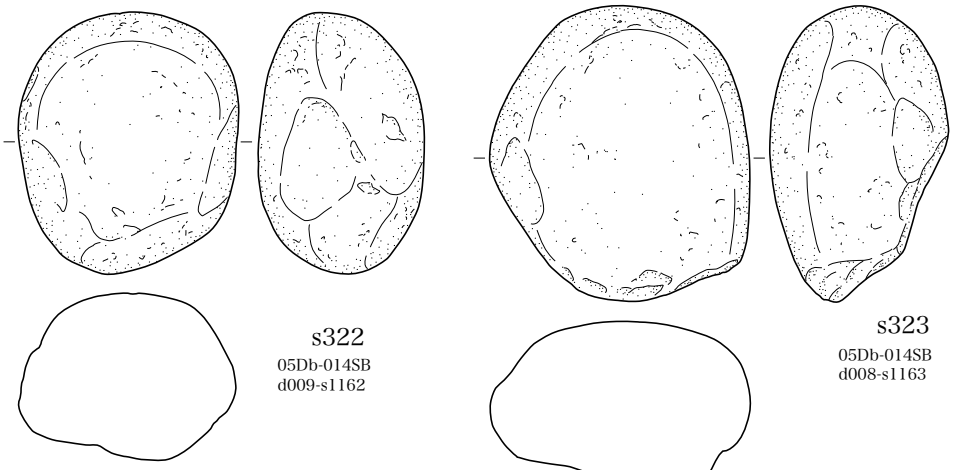


s319
05Db-015SB
d002-s1161



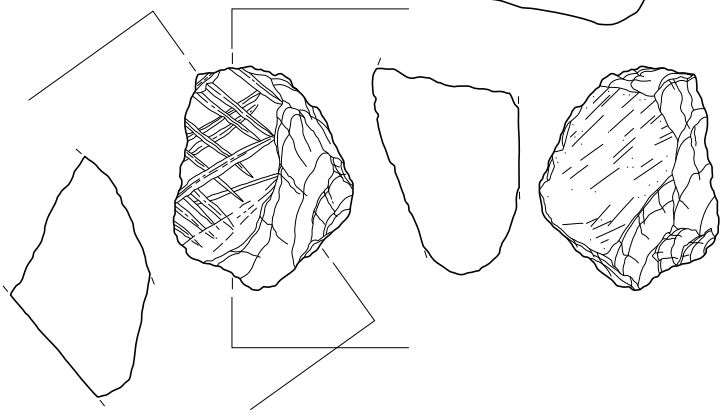
s320
05Db-017SB
d012-s1158

s321
05Db-005SB
d001-s1159



s322
05Db-014SB
d009-s1162

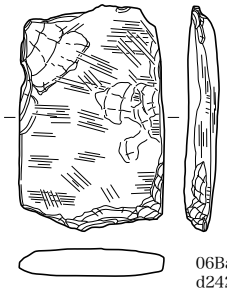
s323
05Db-014SB
d008-s1163



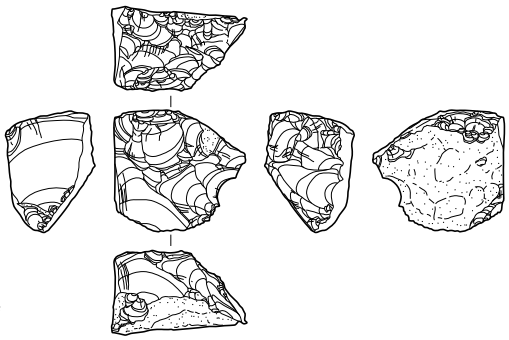
s324
05Db-011SB
s1160

06Ba

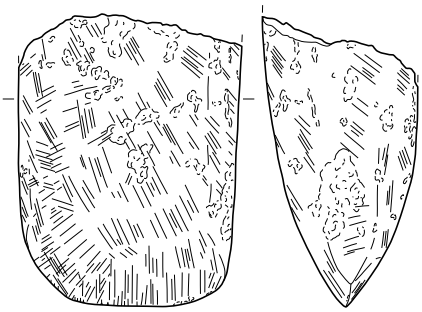
s325
06Ba-トレ
d001-s1053

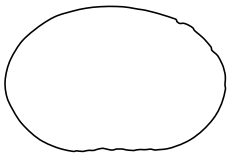


s326
06Ba-トレ
d242-s1054

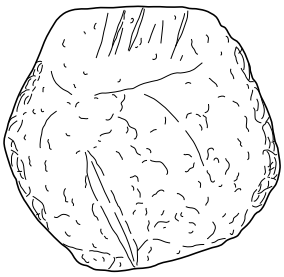


s327
06Ba-109SX-2層
s1002

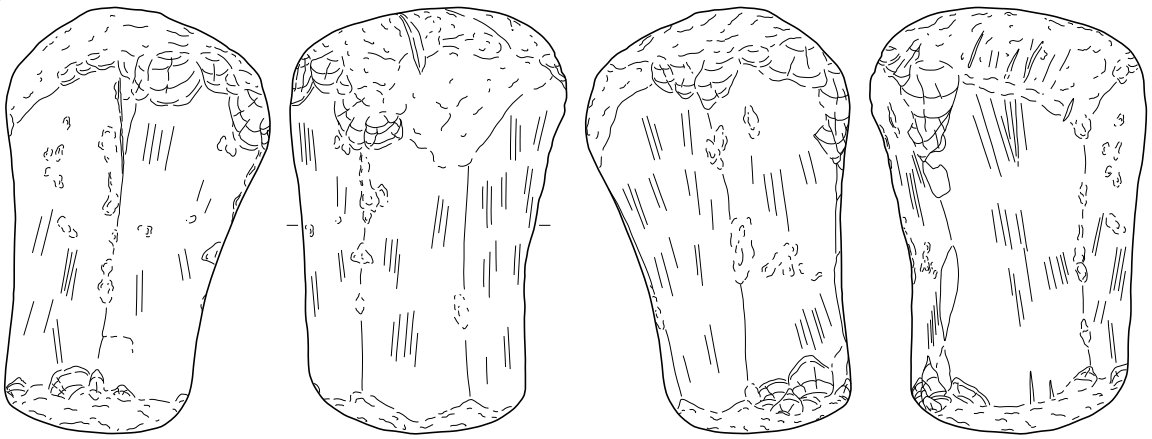




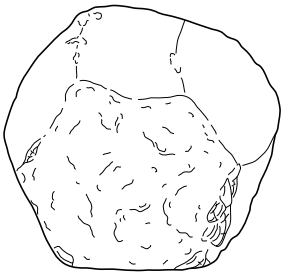
s328
06Ba-検2
d014-s1051

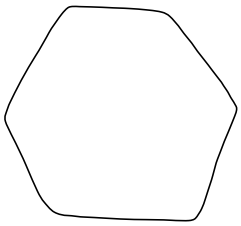


06Bc

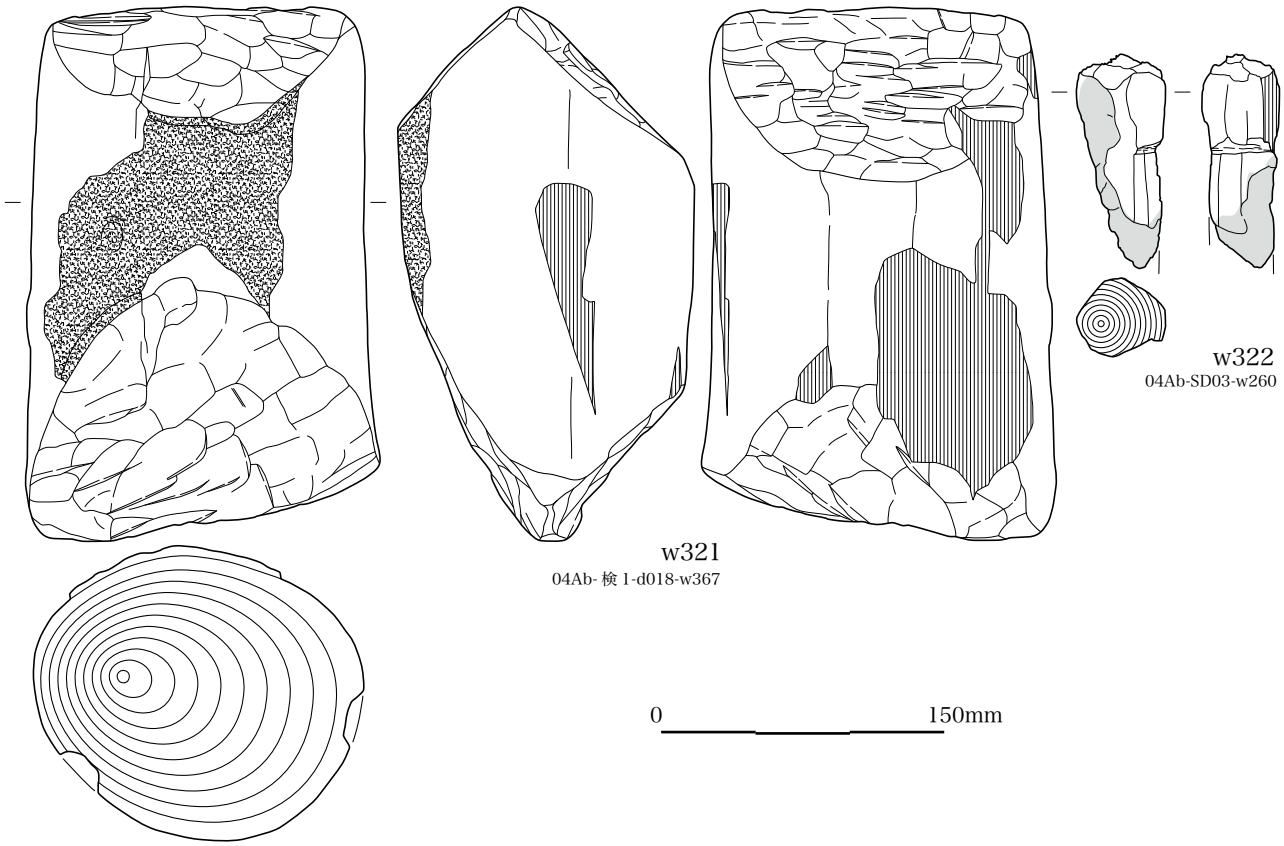


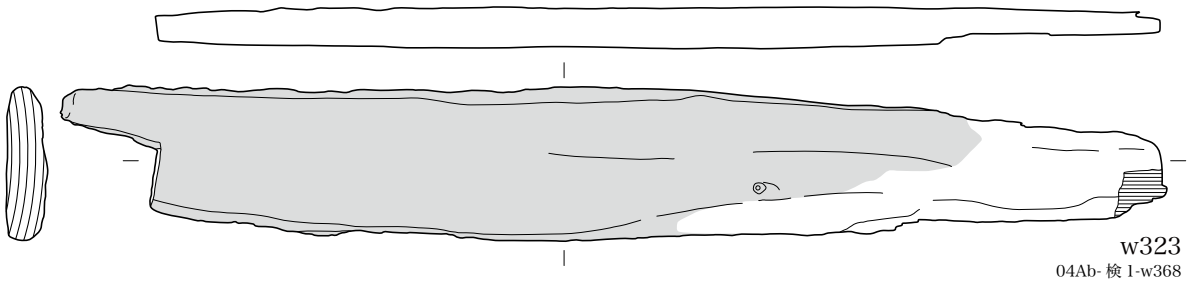
s329
06C-001NR
d032-s1089



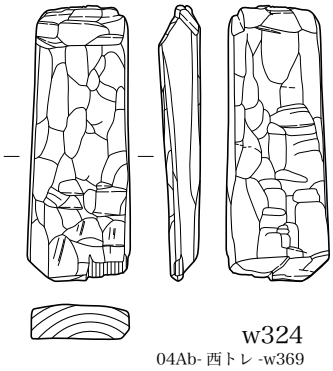


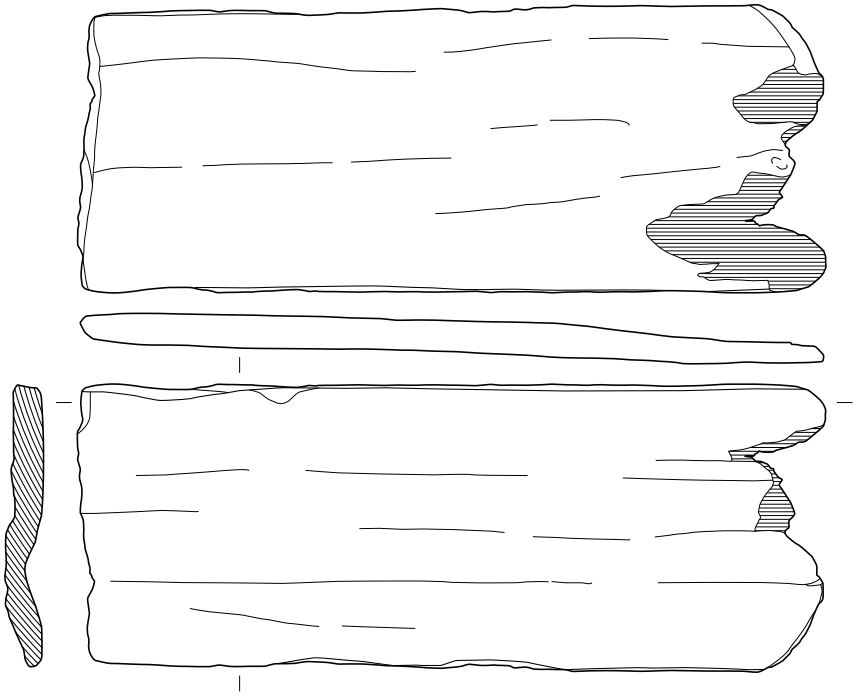
04Ab


w322
04Ab-SD03-w260
w321
04Ab- 検 1-d018-w367
0
150mm

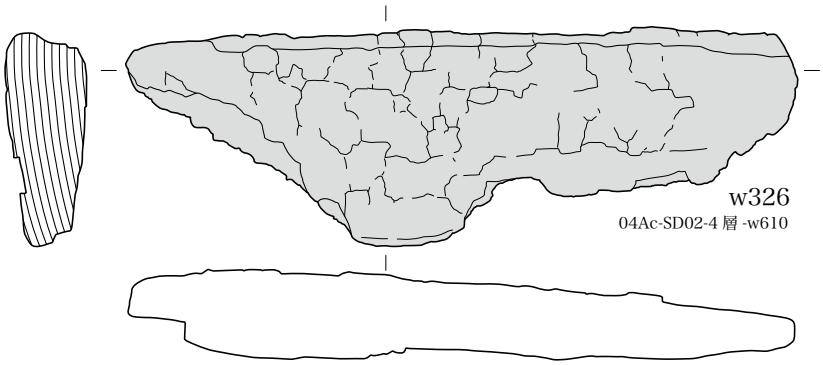

w323
04Ab- 検 1-w368

06A

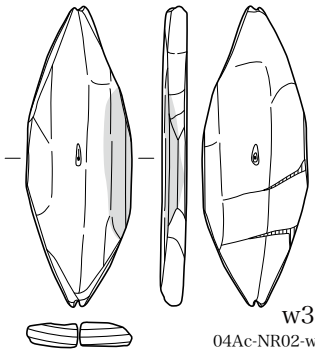

w324
04Ab- 西トレ -w369


w325
06A- 検 -d089-w551

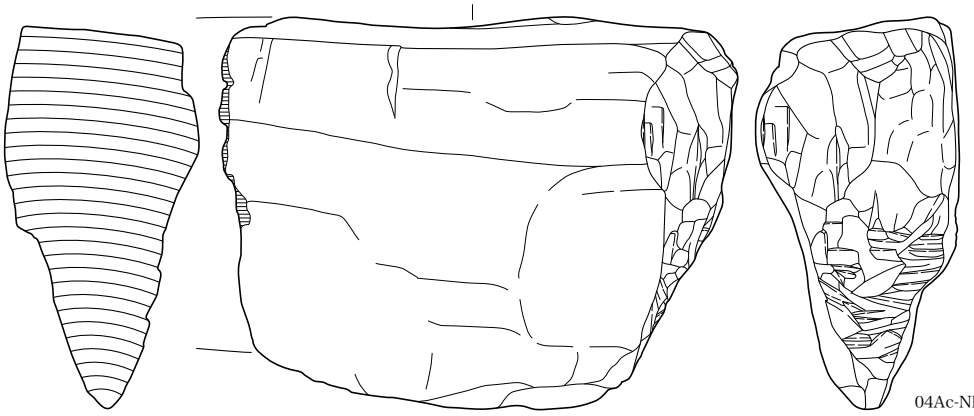
04Ac



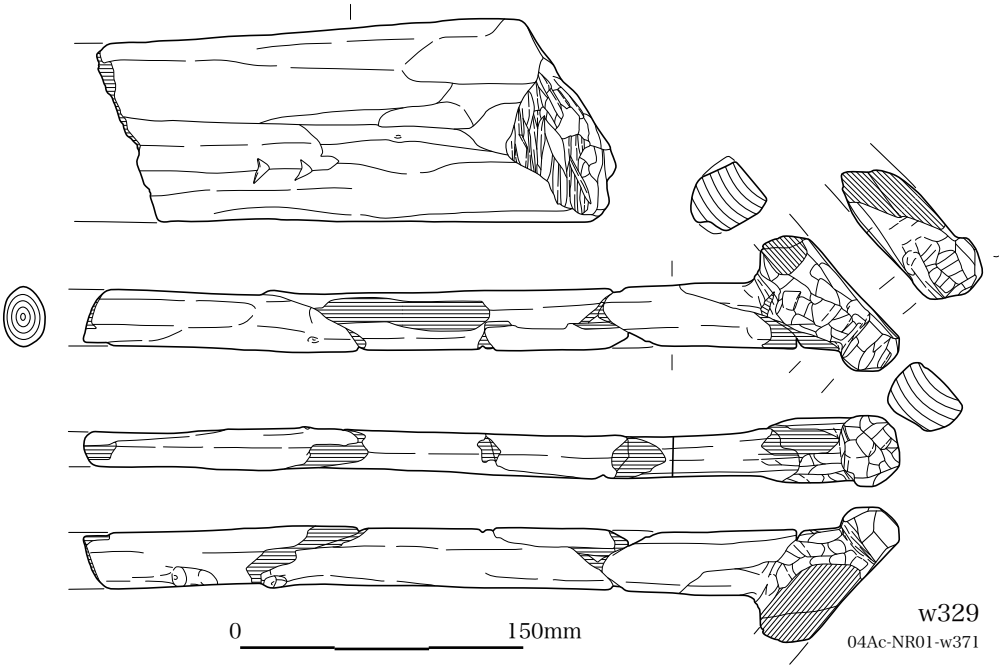
w326
04Ac-SD02-4 層 -w610



w327
04Ac-NR02-w373

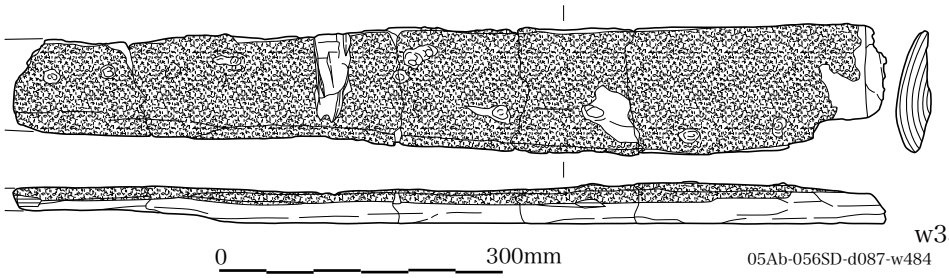


w328
04Ac-NR01-w372



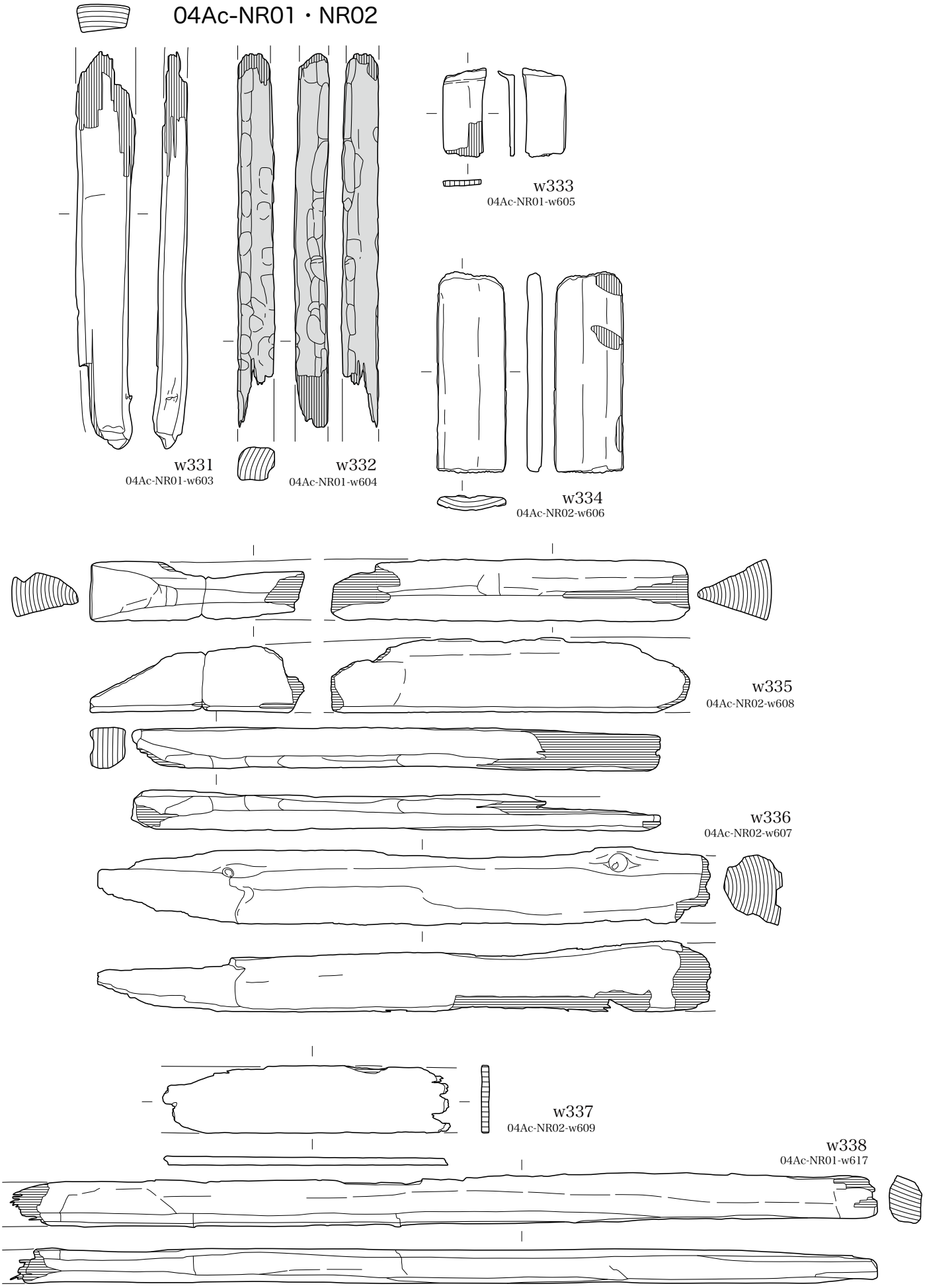
w329
04Ac-NR01-w371

05Ab

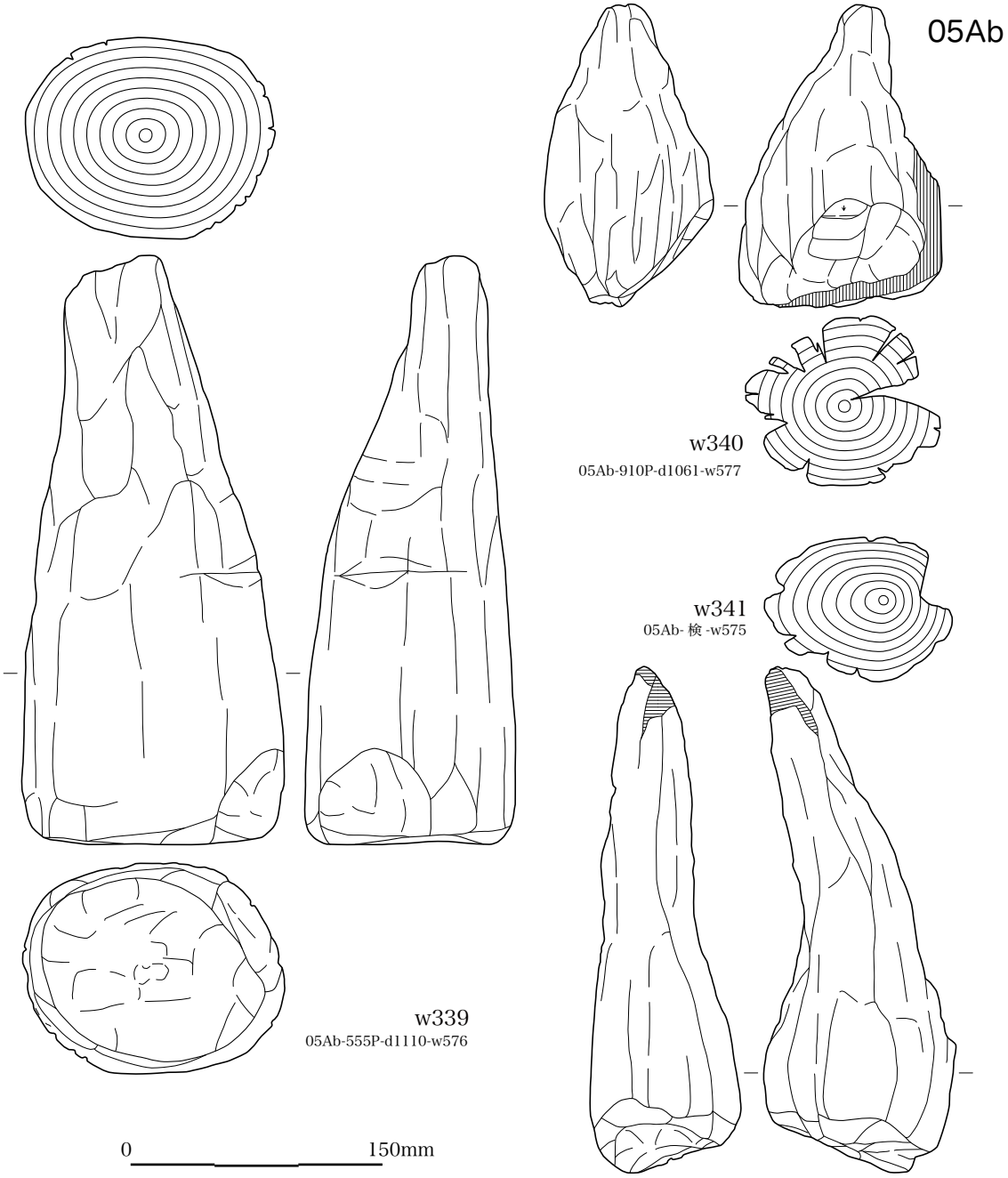


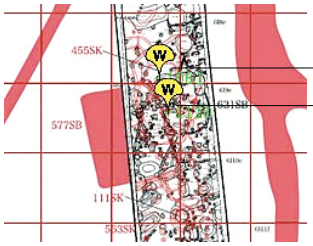
w330
05Ab-056SD-d087-w484 1/8

04Ac-NR01・NR02



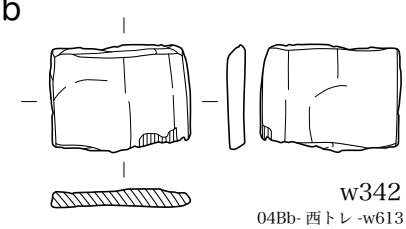
05Ab





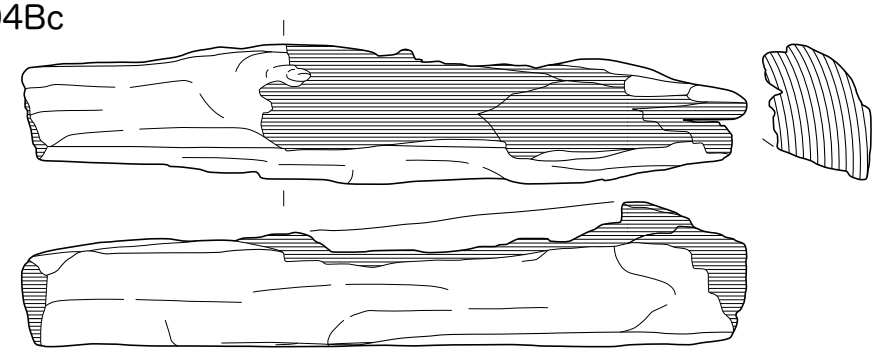
577SB 関連遺構　3.4.1.10 参照

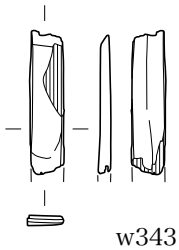
04Bb



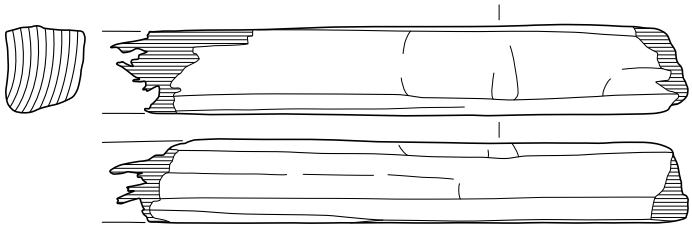
w342
04Bb- 西トレ -w613

04Bc



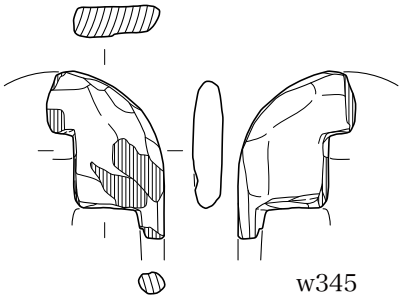


w343
04Bc-NR01-3 層 -w614

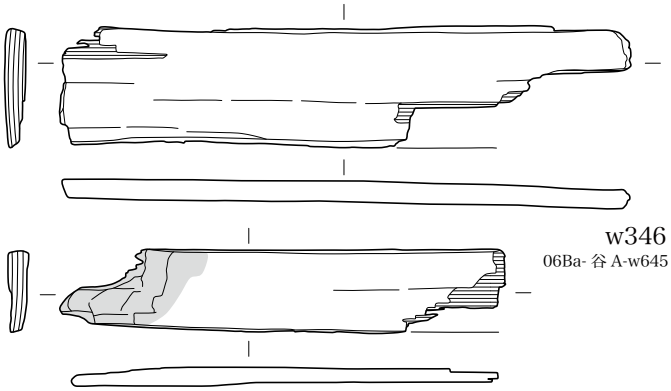


w344
04Bc-NR01- 下層 -w615

06Ba



w345
06Ba-003NR- 下層 -w564



w346
06Ba- 谷 A-w645

ふりがな	あさひいせき　はち
書　　名	朝日遺跡　Ⅷ
副　書　名	本文編、写真図版編、総集編
巻　　次	
シリーズ名	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第154集
編著者名	永井宏幸，堀木真美子，赤塚次郎，早野浩二，石黒立人，川添和暁 樋上　昇，鬼頭　剛，樋泉岳二，中村賢太郎，孔智賢，奥野絵美 森　勇一，藤尾慎一郎，尾嵜大真
編集機関	財団法人　愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター
所在地	〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24　　TEL.0567(67)4161
発行年月日	西暦 2009年 3月 31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
あさひ　いせき 朝日遺跡	清須市（きよすし） 名古屋市西区（なごや し にしく） 西春日井郡春日町（にしかすがいぐん はるひちょう）	21	210001	35度 13分 16秒	136度 51分 16秒	2004年10月 ～ 2007年8月	5607㎡	近畿自動車道名古屋関線清洲JCT, 名岐道路, 県道高速清洲一宮線及び県道高速名古屋朝日線建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
朝日遺跡	集落	弥生時代 ～ 古墳時代	環濠、竪穴建物 掘立柱建物 方形周溝墓溝 溝、土坑 貝塚・旧河道など	弥生土器、土師器、 石器、木器 ガラス小玉 骨角器 動物遺体など	弥生時代の 環濠集落とその墓域 弥生中期の貝塚 方形周溝墓と その埋葬主体部 弥生後期の 祭祀遺構 鹿が描かれた筒形土器・舌状石製品

文書番号	発掘届（16埋セ第51号/平16-09-13・17埋セ第38号/平17-08-10 17埋セ第125号/平18-03-22・18埋セ第108号/平19-03-29） 発掘許可（16教生第1182号/平16-09-29・17教生第1104号/平17-08-31 18教生第45号/平18-04-12・19教生第19号/平19-04-05） 発見届（16埋セ第124号/平17-03-31・17埋セ第125号/平18-03-22 18埋セ第109号/平19-03-20・19埋セ第55号/平19-08-30） 終了届（16埋セ第124号/平17-03-31・17埋セ第125号/平18-03-22 18埋セ第109号/平19-03-20・19埋セ第55号/平19-08-30） 鑑査結果（17教生第364号/平17-05-23・18教生第466号/平18-06-14 19教生第469号/平19-05-23・19教生第1686号/平19-10-22）

要約

今回の朝日遺跡の調査では，弥生後期の環濠である北区画内南側に広場的な空間があり，祭祀関係の遺構が存在する点が明らかとなった。また遺跡北東部の北墓域では，弥生時代中期を中心とした方形周溝墓群が展開し，その下層において中期前葉の居住域が広く営まれていた。遺跡南端部では南墓域が存在し，中期後葉を中心とした造営地であることが明らかとなった。さらに洪水性の砂層堆積が旧河道を中心に存在し，中期後葉の高蔵式期末葉段階に位置づけられる。朝日遺跡全体の集落景観とその変遷を考える上で，大変重要な資料を得ることができた。

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第154集

朝日遺跡Ⅷ　本文編

2009年3月31日

編集・発行　財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

印　　刷　サンメッセ株式会社